

StorageTek Enterprise Library Software

メッセージおよびコード

リリース 7.3

E63456-02

2016 年 9 月

StorageTek Enterprise Library Software

メッセージおよびコード

E63456-02

Copyright © 2015, 2016, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション (人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む) への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性 (redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporation およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle および Java はオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Intel、Intel Xeon は、Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC の商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴ、AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様と Oracle Corporation との間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporation およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

はじめに	9
対象読者	9
ドキュメントのアクセシビリティについて	9
関連ドキュメント	9
表記規則	10
新機能	11
HSC/VTCS メッセージ	11
SMC メッセージ	12
1. メッセージの表記規則	15
メッセージの形式	15
メッセージの説明	16
変数の定義	16
2. HSC、VTCS、および CDRT メッセージ	19
メッセージの説明	19
3. SMC メッセージ	763
メッセージの説明	763
SMC メッセージ	889
4. HSC コード	915
HSC リターンコード	915
HSC オペレータコマンドのリターンコード	915
HSC 初期化/終了のリターンコード	916
HSC マウント/マウント解除のリターンコード	916

HSC ユーティリティーのリターンコード	917
HSC CAP 処理のリターンコード	918
HSC ボリューム/セルのリターンコード	921
HSC 構成のリターンコード	923
HSC LMU サーバーのリターンコード	926
HSC データベースサーバーのリターンコード	930
HSC アドレス空間通信のリターンコード	931
HSC 回復のリターンコード	933
HSC サービスコンポーネントのリターンコード	934
HSC ホスト通信サービスのリターンコード	938
HSC UUI リターンコード	939
HSC UUI の理由コード	939
HSC 異常終了理由コード	940
HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード	940
HSC マウント/マウント解除の異常終了理由コード	942
HSC ユーティリティーの異常終了理由コード	945
HSC CAP 共通の異常終了理由コード	949
HSC サブシステム割り当てモジュールの異常終了理由コード	950
HSC ボリューム/セルの異常終了理由コード	951
HSC 構成制御の異常終了理由コード	952
HSC 初期化/終了の異常終了理由コード	953
HSC インストールコンポーネントの異常終了理由コード	953
HSC TMS/ユーザーインタフェースの異常終了理由コード	955
HSC LMU ドライバの異常終了理由コード	955
HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード	957
HSC WTO サーバーの異常終了理由コード	960
HSC ASCOMM 異常終了理由コード	960
HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード	962
HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード	965
HSC ホスト通信の異常終了理由コード	968
HSC メッセージのルートコードと記述子コード	969

5. SMC のリターンコードと理由コード	993
SMC UUI のリターンコードと理由コード	993
UUI R15 処理コード	993
UUI 機能のリターンコード	993
UUI 機能の理由コード	994
SMC ASCOMM の理由コード	996
SMC 通信コンポーネントの理由コード	997
6. VTCS コード	1001
VTCS のリターンコードと理由コード	1001
VTCS 異常終了理由コード	1003
VTCS メッセージのルートコードと記述子コード	1004
7. ECAM と VLE UUI のリターンコード	1009
ECAM メッセージの完了コードとリターンコード	1009
VLE UUI リターンコード	1029

表の一覧

1.1. 変数データの定義	17
2.1. 要求コードの説明	174
2.2. 関数値とエラーコード	313
4.1. HSC オペレータコマンドのリターンコード	915
4.2. HSC 初期化/終了のリターンコード	916
4.3. HSC マウント/マウント解除のリターンコード	916
4.4. HSC ユーティリティーのリターンコード	917
4.5. Audit ユーティリティーのリターンコード	918
4.6. HSC CAP 処理のリターンコード	919
4.7. HSC ボリューム/セルのリターンコード - パラメータリストなし	921
4.8. HSC ボリューム/セルのリターンコード - パラメータリスト付き	921
4.9. HSC 構成のリターンコード	924
4.10. HSC LMU サーバーのリターンコード	926
4.11. HSC データベースサーバーのリターンコード	930
4.12. HSC アドレス空間通信のリターンコード	932
4.13. HSC アドレス空間通信のファンクションコード	932
4.14. 回復のリターンコード	933
4.15. サービスコンポーネントのリターンコード	934
4.16. HSC ホスト通信サービスのリターンコード	938
4.17. 統合ユーザーインタフェース (UI) のリターンコード	939
4.18. 統合ユーザーインタフェース (UI) の理由コード	940
4.19. HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード	941
4.20. HSC マウント/マウント解除の異常終了理由コード	942
4.21. HSC ユーティリティーの異常終了理由コード	945
4.22. HSC CAP 共通の異常終了理由コード	949
4.23. HSC サブシステム割り当てモジュールの異常終了理由コード	951
4.24. HSC ボリューム/セルの異常終了理由コード	951
4.25. HSC 構成制御の異常終了理由コード	952
4.26. HSC 初期化/終了の異常終了理由コード	953
4.27. HSC インストールコンポーネントの異常終了理由コード	954

4.28. HSC TMS/ユーザーインタフェースの異常終了理由コード	955
4.29. HSC LMU ドライバの異常終了理由コード	955
4.30. HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード	957
4.31. HSC WTO サーバーの異常終了理由コード	960
4.32. HSC ASCOMM 異常終了理由コード	960
4.33. HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード	962
4.34. HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード	965
4.35. HSC ホスト通信の異常終了理由コード	968
4.36. HSC メッセージのルートコードと記述子コード	969
5.1. SMC UUI R15 処理コード	993
5.2. SMC UUI 機能のリターンコード	993
5.3. SMC UUI 機能の理由コード	994
5.4. SMC ASCOMM の理由コード	997
5.5. SMC 通信コンポーネントの理由コード	998
5.6. SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンの理由コード	998
5.7. SMC CGI ルーチン/HTTP サーバールーチンの理由コード	999
6.1. VTCS のリターンコードと理由コード	1001
6.2. VTCS 異常終了理由コード	1003
6.3. VTCS メッセージのルートコードと記述子コード	1004
7.1. ECAM 完了コード、リターンコード、および説明	1009
7.2. ECAM 完了コード、リターンコード、および説明	1024
7.3. VLE UUI リターンコード	1029

はじめに

このドキュメントでは、ELS の基本ソフトウェア製品である SMC、HSC、VTCS、および CDRT によって発行されるメッセージとコードについて説明します。

対象読者

このドキュメントは、ELS の構成および保守を担当するストレージ管理者、システムプログラマ、およびオペレータを対象としています。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility Program の Web サイト (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>) を参照してください。

Oracle Support へのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Support を通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>) か、聴覚に障害のあるお客様は (<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>) を参照してください。

関連ドキュメント

詳細は、ELS ドキュメントセット内の次のドキュメントを参照してください。

- ELS の概要
- ELS のインストール
- ELS コマンド、制御文、およびユーティリティーリファレンス
- ELS 構文クイックリファレンス
- ELS プログラミングリファレンス
- ELS レガシーインタフェースリファレンス
- HSC および VTCS の構成
- HSC および VTCS の管理
- SMC の構成と管理
- ELS 障害回復およびオフサイトデータ管理ガイド

表記規則

このドキュメントでは、次のテキスト表記規則を使用しています。

表記規則	意味
太字	太字は、アクションに関連付けられたグラフィカルユーザーインターフェースの要素、またはテキストや用語集で定義される用語を示します。
斜体	斜体は、マニュアルタイトル、強調、または特定の値を指定するプレースホルダー変数を示します。
モノスペース	モノスペースは、段落内のコマンド、URL、例のコード、画面に表示されるテキスト、またはユーザーが入力するテキストを示します。

新機能

このリビジョンには、次の更新が含まれています。

HSC/VTCS メッセージ

新しいメッセージ:

- SLS0044I
- SLS0780I
- SLS0781I
- SLS0782I
- SLS0783I
- SLS0784I
- SLS0785I
- SLS0786I
- SLS0787I
- SLS0788I
- SLS0789I
- SLS0790I
- SLS0791I
- SLS0792I
- SLS0793I
- SLS1670I
- SLS1734E
- SLS4775I
- SLS6822I
- SLS7533I
- SLS7535I
- SLS7538I

変更されたメッセージ:

- SLS0157I
- SLS0453I
- SLS0910I
- SLS1008I
- SLS1656E
- SLS2008I
- SLS2014I
- SLS4001I
- SLS4369I
- SLS3625I
- SLS4419I
- SLS5024I
- SLS6690E
- SLS6697I
- SLS6870I
- SLS6900I
- SLS7552E
- SLS7553I
- SLS7554E
- SLS7555E

SMC メッセージ

新しいメッセージ:

- SMC0174
- SMC0239
- SMC0284
- SMC0285
- SMC0286
- SMC0287
- SMC0295
- SMC0296

- SMC0297
- SMC0304

変更されたメッセージ:

- SMC0133
- SMC0221

第1章 メッセージの表記規則

ELS メッセージは、管理者やオペレータが次の操作を行う場合に役立つように設計されています。

- ソフトウェアアクティビティをモニターすることによってシステムパフォーマンスを維持する。
- 発生する可能性のあるシステムの問題を診断して修正する。

この章では、ELS メッセージで使用される形式、説明、および変数の定義について説明します。

メッセージの形式

ELS メッセージは、次の形式でコンソールに表示されます。

PPPnnnn message-type
message-text

ここでは:

- ***PPP*** は、メッセージを発行しているソフトウェアコンポーネントを識別するために使用される 3 文字の接頭辞です。
 - SLS 接頭辞は、HSC、VTCS、または CDRT メッセージを識別します。
 - SMC 接頭辞は、SMC メッセージを識別します。
- ***nnnn*** は、4 文字のメッセージ番号です。
- ***message-type*** は、メッセージタイプを識別するために使用される 1 文字です。
 - I は、情報メッセージを識別します。
 - E は、結果として発生するアクションを必要とするメッセージを識別します。
 - D は、判断を必要とするメッセージを識別します。
 - A は、アクションを必要とするメッセージを識別します。

- W は、警告メッセージを識別します。
- *message-text* は、ジョブログまたはシステムログに表示される実際のテキストです。

注記:

message-type は、HSC/VTCS メッセージにのみ適用されます。

メッセージの説明

このドキュメントでは、メッセージごとに次の説明情報を提供します。

メッセージレベル

メッセージレベルは、メッセージのカテゴリを表します。SMC MSGDEF または MSGJOB オペレータコマンドを使用して、メッセージレベルを指定することにより、どのカテゴリのメッセージが発行されるかが制御されます。

- メッセージレベルは、SMC メッセージにのみ適用されます。
- SMC MSGDEF および MSGJOB コマンドの詳細は、『ELS コマンド、制御文、およびユーティリティーリファレンス』を参照してください。

説明

説明は、メッセージについて説明します。

システムアクション

システムアクションは、メッセージをトリガーするイベントが発生したときに SMC、HSC、または VTCS がどのように反応するかについて説明します。

ユーザーの対応

ユーザーの対応は、メッセージへの対応方法について説明します。多くの場合、対応は必要ありません。

変数の定義

斜体のテキストは、メッセージが発行されるときに実際の値で置き換えられる変数データを示します。メッセージ固有の変数データは、次のように表されます。

表1.1 変数データの定義

変数データ	定義
AA	ACSid
AA:LL	LSMid
AA:LL:CC	CAPid
AA:LL:PP:NN	DRIVEid (PP は LSM に関連付けられたパネル番号 [01-10] であり、NN はそのパネル上のドライブ番号 [0-19] です)
AA:LL:PP:RR:CC	カートリッジの場所 (LSMid、パネル、行および列)
LL	LSM 番号
n または D	10 進数値
X	16 進数値
各種の文字 (C、N、K など)	変数情報 (文字データ)
数字 (1、2 など)(文字との組み合わせ)	関連する変数情報。例: コマンド CCCCCCCC1 および CCCCCCCC2。
{ }	複数の選択肢
[]	オプションフィールド (メッセージには表示されない可能性がある)

第2章 HSC、VTCS、および CDRT メッセージ

この章では、HSC、VTCS、および CDRT によって発行されるメッセージについて説明します。これらのメッセージは「SLS」接頭辞で識別されます。

メッセージの説明

SLS0000I

command string

説明: このメッセージはオペレータが入力したコマンド文字列を返すものです。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0001I

Invalid Command CCCCCCCC

説明: 有効なサブシステムコマンドではないコマンド (CCCCCCCC) の入力が試みられました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しいコマンドを入力します。

SLS0002I

Keyword CCCCCC1 must have a value for CCCCCC2 command

説明: キーワード CCCCCC1 の値が指定されなかったか、キーワード CCCCCC1 に指定された値をパーサーが正しく解釈できませんでした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: そのキーワードの値を正しく指定してコマンドを再入力します。

SLS0003I

No value allowed for keyword CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

説明: コマンド CCCCCCCC2 のキーワード CCCCCCCC1 には値を指定できませんが、値が入力されました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 値を指定しないでコマンドキーワードを再入力します。

SLS0004I

CCCCCCCC1 mutually exclusive with CCCCCCCC2 for CCCCCCCC3 command

説明: 2つの相互に排他的なパラメータ (CCCCCCCC1、CCCCCCCC2) が CCCCCCCC3 コマンドに入力されました。位置指定パラメータは POSxx (xx はパラメータの位置) として識別されます。キーワードパラメータはその名前によって識別されます。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: いずれか1つのパラメータを削除してコマンドを再入力します。

SLS0005I

Parameter error on CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC1 で示される位置指定パラメータに、コマンドで無効な構文が含まれています。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しいパラメータを再入力します。

SLS0006I

*Syntax error at parm offset DDDDDDDD for CCCCCCCC1 command
-----CCCCCCCCCCCCC2*

説明: CCCCCCCCCCCC2 という理由で、CCCCCCCC1 コマンドのパラメータオフセット DDDDDDDD で構文エラーが検出されました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 構文エラーなしでコマンドを再入力します。

SLS0007I

Data Base Status:

CDS	DSN	Active
Primary	Primary DSN	Yes No
Secondary	Secondary DSN or (not configured)	Yes No
Standby	Standby DSN or (not configured)	Yes No

説明: 構成されてアクティブになっている HSC データベース名が一覧表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0008I

CCCCCCCC1 name changed from CCCCCCCC2 to CCCCCCCC3

説明: CDS オブジェクト (レコード) の名前が変更されました。CCCCCCCC1 は次のいずれかです。

- ACS
- LSM
- CAP

CCCCCCCC2 は古い名前を示しています。

CCCCCCCC3 は新しい名前を示しています。

システムアクション: アクションはありません。処理が続行されます。

ユーザーの対応: 情報メッセージであるため、必要なアクションはありません。

SLS0009I

Null is a reserved word and cannot be used

説明: 予約語「NULL」を許可されていない場所で使用しようとしてしました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 別の単語を選択して、コマンドを再発行します。

SLS0010I

Invalid value for CCCCCCCC1 on CCCCCCCC2 command

説明: 指定のパラメータ (CCCCCCCC1) に入力されたデータが CCCCCCCC2 コマンドでは無効です。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 有効なデータでコマンドを再入力します。

SLS0011I

Mandatory parameter CCCCCCCC1 missing for CCCCCCCC2 command

説明: 必須パラメータ (CCCCCCCC1) を指定しないでコマンド (CCCCCCCC2) が入力されました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 必須パラメータを指定してコマンドを再入力します。

SLS0012I

LIST ID NAME

説明: NAME LIST コマンドからの出力。

システムアクション: アクションはありません。処理が続行されます。

ユーザーの対応: 情報メッセージであるため、必要なアクションはありません。

SLS0013I

Command CCCCCCCC not implemented

説明: 有効なサブシステムコマンドが入力されましたが、そのコマンドはまだ導入されていません。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0014I

Keyword CCCCCCCC1 specified more than once for the CCCCCCCC2 command

説明: 指定されたコマンドで、キーワード CCCCCCCC1 が重複して使用されています。このコマンド構文では、そのキーワードを 1 度しか指定できません。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: コマンドを訂正して、再入力します。

SLS0015I

Host to Host Broadcast failed for MODIFY command; RC=XXXXXXXX

説明: すべてのオンラインホストにコマンドをブロードキャストしようとした。そのブロードキャストは失敗しました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: メッセージに出力されたリターンコード (XXXXXXXX) を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0016I

ACS subsystem command rejected; ASCOMM RC=XXXXXXXX

説明: ACS サブシステムコマンドの入力が試みられましたが、HSC のアドレス空間通信コンポーネントの障害が原因で処理されませんでした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: メッセージに出力されたリターンコード (XXXXXXXX) を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0017I

MODIFY command failed; LSM lock not available

説明: LSM ロックとは、LSM の状態の変更を直列化するために使用されるソフトウェア構成です。LIBGEN には、LSM ごとに LSM ロックが 1 つ定義されています。

LSM ロックは、オンライン/オフライン処理中には HSC の「MODify lsm」コマンドによって保持され、HSC サブシステムの起動中には構成制御の初期化タスクによって保持されます。

メッセージ SLS0017I は、同じ LSM に対する別の MODify コマンドがすでに処理中である場合に、このホストまたはシステム内のほかの何らかのホスト上で発行されます。前の MODify コマンドはアクティブである場合も、キューに入れられて LSM が作動可能になるまで待機する場合があります。

また、システム内の別のホストで構成制御の初期化が処理中である場合にもこのメッセージが発行されることがあります。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: キューに入っているコマンドがすべて完了するまで、または HSC サブシステムの初期化がシステム内のほかのいずれかのホストで完了するまで数秒待ってから、コマンドを再発行します。

それでも問題が続く場合は、HSC の Display Request コマンドを発行します。コマンド出力に「Vary lsm」というタイプのリクエストと、「WAITING」または「TEMP OUT」というステータスが示されている場合は、LSM にハードウェアの問題が発生している可能性があります。LSM を調べて、それが作動可能状態にあり、HSC と通信していることを確認します。

ハードウェアの問題をすぐに解決できない場合は、HSC コマンド「MODify lsm OFFline FORCE」を発行する必要があることがあります。ハードウェアの問題が解決されたあとで、もう一度 MODify コマンドを発行して LSM をオンラインにすることができます。

MODify lsm OFFline FORCE コマンドに続いて、メッセージ SLS0057I が表示され、SLSFCNF からのリターンコード 45344534 が示されることがあります。このメッセージが発行されるのは、アクティブであるか、キューに入っている MODify コマンドが保持する LSM ロックが MODify FORCE コマンドによって「盗まれた」からです。このメッセージは無視してかまいません。

注記:

MODify lsm OFFline FORCE コマンドは細心の注意を払って使用してください。LSM が強制的にオフラインにされると、その LSM に対する未処理のリクエストはすべて除去されるため、LSM を IML する必要がある場合があります。

SLS0018I

Invalid keyword CCCCCCCC1 for CCCCCCCC2 command

説明: 指定のコマンド (CCCCCCCC2) に対して入力されたキーワード (CCCCCCCC1) が無効であるか、その長さが 9 文字以上でした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しいキーワードを指定してコマンドを再入力します。

SLS0019I

DISPLAY data unavailable; database I/O error

説明: Display コマンドの入力が試みられましたが、情報の収集中に制御データセットのエラーが発生しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。ただし、可能であれば一部の情報が表示されることがあります。

ユーザーの対応: 制御データセットのエラーの原因を調べて、修正します。その後、コマンドを再入力します。

SLS0020I

CCCCCCCC1 co-requisite CCCCCCCC2 missing for CCCCCCCC3 command

説明: CCCCCCCC3 コマンドで、あるパラメータ (CCCCCCCC1) と相互に必要なもう 1 つのパラメータ (CCCCCCCC2) が入力されませんでした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しい相互に必要なパラメータを指定してコマンドを再入力します。

SLS0021I

Value for CCCCCCCC1 parameter contained invalid data for CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC2 コマンドで、パラメータ (CCCCCCCC1) に入力された値が無効であるか、構文エラーが含まれていました。

一般的な構文エラーの 1 つは、左アポストロフィ/括弧または右アポストロフィ/括弧が不足しているか、その位置が正しくないアポストロフィまたは括弧内に入れられたテキストです。

値の指定エラーは、10 進値が必要とされる場所に 16 進値を指定するなど、間違った文字タイプの使用が考えられます。また、必要に応じて、位置を区切るためにコロンの代わりにピリオドが使用されるライブラリアドレスなど、無効な区切り文字が指定された可能性があります。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しい値または構文でコマンドを再入力します。

SLS0022I

Invalid value length for CCCCCCCC1 parameter on the CCCCCCCC2 command

説明: CCCCCCCC2 コマンドで、このパラメータ (CCCCCCCC1) に入力された値がその長さ指定を超えました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しい値を指定してコマンドを再入力します。

SLS0023I

Invalid {CCCCCCC} range (CCCCCC-CCCCC) for {CCCCCCCC} command

説明: 無効な範囲を指定して CCCCCCCC コマンドを入力しようとした。2 番目の要素が最初の要素よりも大きくないか、CAP 範囲の場合に PCAP が指定されました。

システムアクション: 場合によっては、そのコマンドは実行されません。また、無効な部分が無視してコマンドが実行される場合もあります。

ユーザーの対応: 2 番目の要素が最初の要素よりも大きくなるか、CAP 範囲であれば、いずれの CAPid も PCAP を指定しないような有効な範囲を指定して、コマンドを再入力します。

SLS0024I

EJECT volser volser ignored; volume is {SELECTED|ERRANT|NOT FOUND|NOT IN ACS|IN OFFLINE LSM|INVALID}

説明: Eject コマンドが、SELECTED、ERRANT、NOT FOUND、NOT IN ACS、IN OFFLINE LSM、または INVALID であったボリュームに対して入力され、回復できませんでした。

- SELECTED は、イジェクトが試みられたときにボリュームが使用中であったことを示します (ボリュームがマウントされていた可能性があったなど)。ボリュームが間違っって選択されている場合は、UNSElect ユーティリティーを実行してから、コマンドを再入力します。
- ERRANT は、エラーが発生したときに、ボリュームがある場所から別の場所に移動中であったことを示します。ボリュームの場所は不明です。ボリュームがエラントであったため、(1) セル位置に対して AUDIT を実行する、(2) CAP および以前の MVS SYSLOG/SCP CONSLOG を調べてボリュームがエラントになった理由を

見つける、(3) VIEw コマンドによって、取られたアクションに関連するさまざまな場所を調べるなどの他のアクションを実行することが必要な場合があります。

- NOT FOUND は、ボリュームがどの LSM 内にもないことを示します。他のライブラリ以外の保管場所を調べてください。
- NOT in ACS は、ボリュームが CAP と同じ ACS 内にはないことを示します。適切な ACS 内の CAP を指定して EJECT コマンドを入力してください。ボリュームの位置を判別するには、Display Volume コマンドを使用します。
- OFFLINE LSM は、ボリュームがオフラインの LSM 内にあることを示します。
- INVALID は、ボリュームに無効なボリュームシリアルラベルまたはメディアラベルが含まれていることを示します。イジェクトは続行されます。

システムアクション: INVALID のボリュームがイジェクトされます。他のすべての状態では、ボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの対応: ボリュームが次の場合:

- SELECTED。ボリュームが選択解除になるまで待ってから、コマンドを再入力します。
- ERRANT。エラー回復を呼び出してボリュームを探し、コマンドを再入力します。
- NOT FOUND。応答はありません。
- NOT in ACS。ボリュームが含まれている ACS を判別し、正しい CAPid を指定して EJECT コマンドを再入力します。
- OFFLINE LSM。LSM をオンラインにして、コマンドを再入力します。
- INVALID。応答はありません。

SLS0025I

Command CCCCCCCC not allowed from console

説明: HSC システムに発行されたコマンドは有効なコンソールコマンドではありませんが、ユーティリティーからは実行できます。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: HSC および VTCS コマンドに有効な環境を調べるには、Display CMD CCCCCCCC を使用します。コンソールからは有効でないコマンドを実行するには、SLUADMIN ユーティリティーを実行します。

SLS0028I

Volume volser {ENTER|EJECT} error; {ACS IN PATH OFFLINE| LSM IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID| CARTRIDGE MADE ERRANT}

説明: ボリューム *volser* で、CAP IN PATH OFFLINE、LSM IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH OFFLINE、CAP IN PATH INVALID、または CARTRIDGE MADE ERRANT 状態のために、コマンド ENter または Eject のエラーが発生しました。

システムアクション: コマンドは続行されますが、ボリューム *volser* に対しては機能しません。

ユーザーの対応: エラーの原因を修正します。

SLS0029I

CAP preference value for CAPid AA:LL:CC=D

説明: CAPPref コマンドの実行が完了しました。プリファレンス値は表示のとおりを設定されています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0030I

Message ID DDDD Help Info:

説明: Display Msg コマンドが入力されました。制御行 (最初の行) に続くデータは、Display Msg コマンドに入力されたメッセージ ID に関する情報です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0031D

CCCCCCC command in progress; to continue termination reply DRAIN, else reply WAIT

説明: オペレータコマンドの終了処理で、CAP を使用するアクティブなタスクが 1 つ以上検出されました。これらは、直前の SLS2628E メッセージで識別されています。DRAIN と応答して HSC にこれらのすべてのタスクをただちにドレインさせるか、WAIT と応答してそれらが正常に終了するまで待機させることができます。

WAIT と応答した場合、このメッセージが、依然としてアクティブなままのタスクを記述する SLS2628E メッセージとともに 3 分以内に再表示されます。DRAIN と応答した場合、HSC はタスクごとに DRAIn コマンドを入力したかのように動作します。アクティブなタスクを記述する SLS2628E メッセージは 3 分ごとに表示されますが、SLS0031D メッセージはそれ以上発行されません。

EJect は、CAP ごとに現在のテープを処理したあとで停止し、それらのテープがオープンされ、空になり、クローズされると、タスクが終了します。ENter は、CAP 内のすべてのカートリッジの処理を完了したときにのみ停止します。

システムアクション: タスクは、ユーザーが DRAIN または WAIT と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: Display Status コマンドを発行して未処理のアクションを判別します。DRAIN または WAIT と応答します。

SLS0032I

Operator Command Termination in progress

説明: オペレータコマンドの終了処理は、コマンドが終了するのを待ってから続行されます。

システムアクション: 終了処理は、オペレータコマンドが完了するまで待機します。

ユーザーの対応: 同様に、Display Status コマンドを発行して未処理のアクションを判別します。

SLS0033A

Enter password for EJECT command

説明: EJect コマンドの入力が試みられ、「EJCTPAS=」パラメータが HSC LIBGEN 内の SLILIBRY マクロで指定されました。処理を続行するには、パスワードを入力する必要があります。

システムアクション: コマンドは応答を待ちます。パスワードが検証されると、コマンドは続行されます。

ユーザーの対応: 正しいパスワードを入力します。

SLS0034I

Password not accepted; CCCCCCCC command rejected

説明: 無効なパスワードが入力されたあとでコマンドが拒否されました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しいパスワードを指定してコマンドを再入力します。

SLS0035A

ENTER scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明: ENter コマンドが CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENter はスケジュールされました。このメッセージは強調表示され、CAP 上で進行中の Eject が割り込まれて ENter が試みられるまで画面に表示され続けます。

システムアクション: 次の Eject のあとで CAP のロックを解除して、ユーザーがカートリッジを挿入できるようにします。

ユーザーの対応: CAP がイジェクトのために次回オープンされたときに、CAP の最初のスロットに必要なカートリッジを入れます。

SLS0036I

{ENTER|EJECT} ended on CAPid AA:LL:CC

説明: そのコマンドが CAPid AA:LL:CC の制御を解放しました。

システムアクション: その CAP は、他の操作に使用できるようになります。

ユーザーの対応: なし

SLS0037I

CAPid AA:LL:CC has been allocated to the {ENTER|EJECT} command

説明: 指定された CAPid AA:LL:CC が ENter または Eject のどちらかのコマンドに割り当てられました。

システムアクション: 示された操作を実行するために CAP が割り当てられます。

ユーザーの対応: なし

SLS0038I

Message ID DDDD No help available

説明: Display Msg コマンドが入力されましたが、そのメッセージ番号で使用できるヘルプテキストはありませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0040I

{ENTER|EJECT|MODIFY|RELEASE} command rejected; CAPid AA:LL:CC is busy

説明: HSC が特定の CAPid (AA:LL:CC) に対して ENter、EJect、MODify、または RELease コマンドを実行しようとしたましたが、その CAP はビジーでした。

システムアクション: EJect、ENter、MODify、または RELease コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 指定されたコマンドが EJect、ENter、または MODify である場合は、別のプロセスでその CAP がアクティブに使用されています。その CAP が使用可能になったらコマンドを再入力するか、別の CAPid を指定してコマンドを再入力します。指定されたコマンドが RELease である場合は、別の RELease コマンドがアクティブになっているか、別のプロセスがその CAP を解放しています。

SLS0041I

Command CCCCCC Help Info:

説明: Display CMd コマンドが入力されました。制御行 (最初の行) に続くデータは、指定されたコマンド (CCCCCC) に関する情報です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0042I

{ENTER|EJECT} volser failed; LMU/LSM error (XXXX)

説明: ボリューム *volser* の ENter または EJect の試みが失敗しました。考えられる LMU/LSM エラーは次のとおりです。

- 6510 - 転送用のパススルーポートがありません
- 6511 - LMU がオフラインになっています
- 6512 - LMU との通信が失われました
- 6514 - LSM のハードウェアエラーです
- 6515 - LMU のハードウェアエラーです
- 6528 - LMU サーバーが停止しています
- 6592 - LSM がオフラインになっています
- 65FF - リクエストがページされました

システムアクション: 進行中のアクション (ENter, EJect) は完了しません。障害の発生した時点によっては、そのカートリッジがエラントになる場合があります。

ユーザーの対応: エラーの原因を調べて修正し、再試行します。

SLS0044I

CCCCCCCCCCC command ignored; ACS AA is switching

説明: コマンドに関係する ACS が切り替え中のため、コマンド CCCCCCCC は実行されませんでした。

システムアクション: そのコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: ACS が完全に切り替わったら、コマンドを再入力します。

SLS0045I

CCCCCCC command ignored; subsystem is shutting down

説明: サブシステムの終了処理が進行中であるため、コマンド CCCCCCCC は実行されませんでした。

システムアクション: そのコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: HSC が操作可能になったら、コマンドを再入力します。

SLS0046I

RECOVER CCCCCCCC ignored; recovery already active for specified host

説明: 現在別のホストによって回復中のホストに対して RECover コマンドが入力されました。

システムアクション: RECover コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0047I

ONLINE or OFFLINE required on {VARY|MODIFY} command

説明: ONline または OFFline を指定しないで Vary または MODify コマンドが入力されました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: ONline または OFFline を指定して、目的のコマンドを再入力します。

SLS0048I

Vary {ACS AA|station C...C} {ONLINE|OFFLINE} failed; command timed out

説明: Vary Station コマンドがタイムアウトになったか、すべてのステーションで Vary ACS コマンドがタイムアウトになりました。ハードウェアエラーまたは通信エラーが発生した可能性があります。

システムアクション: Vary コマンドは失敗しました。

ユーザーの対応: ハードウェア (LMU) との通信の問題を解決して、コマンドを再試行します。

SLS0049I

CCCCCCCC1 set to CCCCCCCC2

説明: コマンド上に指定された関数が、表示された値に設定されています。CCCCCCCC1 はそのコマンドに入力された関数です。CCCCCCCC2 はそのコマンドに入力された値です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0050I

Invalid {DEVICE XXXX|UNIT XXXX|STATION XXXX|LSMid AA:LL ACSid AA|NETid NN|CAPid AA:LL:CC|DISPLAY TYPE CCCCCCCC|HOSTid CCCCCCCC} for {ACS|CAPPREF|CLEAN|DISMOUNT|DISPLAY|DRAIN|LSM|MODIFY|MOUNT|MNTD|RECOVER|RELEASE|SENDER|VARY} command

説明: 入力されたコマンドに、無効な ID が含まれていました。VARY ACS ACSID NETC NETID コマンドの場合、NETID はオフラインに変更する ACS の最後のアクティブな接続である可能性があるため、それは無効です。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 正しい ID を指定してコマンドを再入力します。VARY ACS ACSID NETC NETID コマンドの場合、最後のアクティブな NETID をオフラインにするためには、VARY ACS ACSID OFFLINE コマンドを使用して ACS をオフラインに変更する必要があります。

SLS0053I

{MODIFY|VARY|ENABLE|DISABLE|JOURNAL} rejected; {LSMid AA:LL|ACS AA|STATION C...C|NETC NN|DATA SET DSNAME|EVERY CDS COPY|ABEND OPTION|CONTINUE OPTION} is already {ONLINE|OFFLINE|ENABLED|DISABLED|ON}

説明:すでに ONline、OFFline、Enabled、Disabled、または ON になっている LSMid、ACS、STation、NETC、CDs、または OPTion に対して MODify、Vary、Enable、Disable、または Journal リクエストを入力しようとした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0054I

CC..CC1 CC..CC2 now CC..CC3

説明: このメッセージは、ACS、NETC、LSM、Station、または CAP の接続/切断、オンライン/オフライン、未割り当て、またはスタンバイステータスを示します。

- **CC..CC1**

ACS、NETC、LSM、STATION、または CAP

- **CC..CC2**

ACSid、NETid、LSMid、ステーション番号、または CAPid

- **CC..CC3**

- CONNECTED は、表示された ACS に対して少なくとも 1 つのステーションがオンラインになっていることを示します。
- DISCONNECTED は、表示された ACS に対してオンラインになっているステーションが 1 つもないことを示します。
- ONLINE は、LMU への伝送作業にステーションを使用できること、HSC のための作業を実行できるよう LSM にリクエストできること、あるいは ENter または Eject 処理に CAP を使用できるようになったことを意味します。

ネットワーク接続の場合は、アクティブまたはスタンバイの接続がライブラリに対してオンラインになっていることを意味します。接続がアクティブである場合は、ライブラリへの伝送作業にその接続を使用できること、HSC のための作業を実行できるよう LSM にリクエストできること、あるいは ENter または Eject 処理に CAP を使用できるようになったことを意味します。

- STANDBY は、ステーションがデュアル LMU 構成のスレーブ LMU に接続されていることを意味します。ネットワーク接続の場合は、スタンバイが冗長電子デバイス構成の代替コントローラに接続されていることを意味します。

- OFFLINE は、ステーション、ネットワーク接続、または LSM を実働作業に使用できないことを意味します。
- UNALLOCATED ACS は、その ACS がプレースホルダー ACS であることを意味します。ACS は次のコマンドによって HSC 構成に戻されます。

F CONFIG ADD ACSType (SL8500 または SL3000)

- UNALLOCATED CAP は、その CAP が物理的にインストールされていないか、別のパーティション専用になっているかのどちらかを意味します。

システムアクション: オペレータコマンドにより、指定のコンポーネントは表示された状態になりました。

ユーザーの対応: なし

SLS0055I

{ENTER|MODIFY|EJECT|DISPLAY LSM} rejected; ACSid AA is not CONNECTED

説明: オフラインの ACS (AA) に対してコマンドを入力しようとした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: Vary コマンドを発行して ACS をオンラインにしてから、コマンドを再入力します。

SLS0056I

{ENTER|SENDER|EJECT|MODIFY} rejected; {ACSid AA}|{LSMid AA:LL}|{CAPid AA:LL:CC}|{TLSM AA:LL} is {OFFLINE|INVALID|UNAVAILABLE|NOT EJECTING|RELEASING}

説明: ENter、SENter、EJect、または MODify コマンドはリクエストされた操作を完了できませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応:

- ACSid、LSMid、または CAPid がオフラインであることを示すメッセージが表示される場合は、その要素をオンラインに変更してから、コマンドを再入力します。
- ACSid、LSMid、または CAPid が無効であることを示すメッセージが表示される場合は、正しい ID を指定してコマンドを再入力します。

- ACSid、LSMid、または CAPid が使用不可であることを示すメッセージが表示される場合は、その CAP がドレインされていることを確認してから、ENter または Eject コマンドを再入力します。
- CAPid がイジェクト処理を行っていないことを示すメッセージが表示される場合は、ENter コマンドを発行してカートリッジを ACS に入れることができます。
- CAPid が解放されていることを示すメッセージが表示される場合は、RELease コマンドが完了するまで待ってから、ENter、SENter、または Eject コマンドを再発行します。

SLS0057I

Unknown RC XXXXXXXX from {SLSFCNF SLSFATHS SLSFLSMV LMURQST MRQST CAPRQST}

説明: アクティブになっている HSC コンポーネントが、下位のコンポーネントからリターンコードを受け取りましたが、それをメッセージに変換できませんでした。

システムアクション: そのリクエストは拒否されます。

ユーザーの対応: リターンコードに関する追加の情報や説明は、適切な ELS ガイドを参照してください。

SLS0059I

Cleaning {HAS BEEN|WAS NOT} scheduled for drive DDD

説明: デバイス番号 *DDD* に対して *CLean* コマンドが入力されました。クリーニングがスケジュールされていなかった場合は、クリーニングリクエストが失敗した理由を示すメッセージ *SLS0069I* も発行されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0060I

Error parsing CCCCCCCC command; SLSSPARS RC=XXXXXXXX

説明: 構文エラーではない解析のリターンコードは、このように報告されます。

- RC = 4

解析のためにパーサーに渡された文字列の長さはゼロでした。

- RC = 12

パーサーに渡されたパラメータリストに無効なフォーマットがありました。

- RC = 16

パーサーに渡された解析テーブルに無効なフォーマットがありました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。内部理由コードによって、追加のメッセージが生成されるはずですが。

ユーザーの対応: コマンドを再試行します。それでも失敗が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0061I

Structure CCCCCCCC1 not allocated; CCCCCCCC2 command rejected

説明: 指定された構造 (CCCCCCCC1) に対してアドレス可能である必要のあるコマンド (CCCCCCCC2) の入力を試みました。構造 (データ域) ポインタはゼロでした。そのため、アクセスは不可能でした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しい構造名を指定してコマンドを再入力します。

SLS0062I

Invalid structure or equate name CCCCCCCC1; CCCCCCCC2 command rejected

説明: 特定のデータ域へのアクセスを必要とするコマンド (CCCCCCCC2) の入力を試みました。そのデータ域名 (CCCCCCCC1) が記号テーブル内に見つかりませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しい構造名またはそれと同等の名前を指定してコマンドを再入力します。

SLS0063I

LIST {CCCCCCCC|XXXXXXXX} accepted

説明: 指定されたアドレスまたはデータ域に対して LIST コマンドが入力されました。

システムアクション: そのコマンドにより、示されたアドレスまたは構造名にあるデータが一覧表示されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0068I

Current TRACE Status:

component_name {Traced|NOT Traced}

説明: TRace コマンドが正常に完了しました。ACS サブシステムコンポーネントとそのトレースステータスのリストが表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0069I

Host to Host Broadcast failed: CCCCCCCC

説明: CLean drive コマンドの結果として LMU サーバーのホストからホストへのブロードキャストリクエストが発行されました。リクエストは失敗しました。CCCCCCCC は障害の性質を示す説明テキストです。

システムアクション: 障害が回復可能である場合は、リクエストされたデバイスに対してクリーニングがスケジュールリングされなかったことを示すメッセージ SLS0059I が発行され、CLean コマンドの処理が続行されます。障害が回復不能である場合、CLean コマンドは理由コード 0018 を出して異常終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS0070I

{ENTER|EJECT} rejected; CAPid AA:LL:CC recovery failed, RC XXXXXXXX

説明: ENter または EJect のどちらかのコマンドを入力しようとしたのですが、指定された CAP (AA:LL:CC) の回復が必要だったため、そのコマンドは拒否されました。リターンコード XXXXXXXX で回復は失敗しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: RELease CAPid コマンドを使用して CAP を回復します。解放後、ENter コマンドを使用して CAP をオープンし、カートリッジがあるかどうかを確認します。カートリッジがあればそれを CAP から取り出し、前のコマンド (ENter または EJect) を再入力します。

SLS0071I

Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明: コンポーネント CCCCCCCC から予期しないリターンコード XXXXXXXX が返されました。

システムアクション: リクエストは実行されません。

ユーザーの対応: ACS および LSM が完全にオンラインになるまで待ってから、コマンドを再発行します。これが失敗した場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0072I

EJECT failed; unable to recover errant volume volser

説明: Eject 処理中、エラントボリュームを回復できませんでした。

システムアクション: そのボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの対応: MVS SYSLOG/SCP CONSLOG を調べてエラント状態の原因を見つけます。ホーム位置および宛先位置を確認するには、View コマンドを使用します。必要に応じて AUDIt または UNSElect ユーティリティ (あるいはその両方) を実行して、ボリュームを回復します。

SLS0073I

Length LLLL is greater than the 4096 byte limit

説明: 4096 バイトの制限を超えてダンプしようとしてしました。LLLL は無効な長さです。

システムアクション: そのコマンドは終了します。

ユーザーの対応: 有効な長さを指定して LIST コマンドを再入力します。

SLS0074I

Attempting immediate cleaning of drive DDDD

説明: ドライブ DDDD に対して、IMMED パラメータを指定した CLean コマンドが発行されました。

システムアクション: そのドライブの予約が試みられます。成功した場合は、そのドライブのクリーニングが行われます。

ユーザーの対応: なし

SLS0076I

SLS - software failure - XXXXXXXX volser

説明: HSC がソフトウェアエラーを検出しました。指定されたエラーが発生しました。

- XXXXXXXX に 3 桁の 16 進数が表示される場合、そのコードはシステム異常終了コードです。
- XXXXXXXX に 8 桁の 16 進数が表示される場合、そのコードは HSC 異常終了理由コードです。
- volser が表示される場合、それには処理中のボリュームシリアル番号が入ります。疑問符が表示される場合、ボリュームシリアル番号は不明です。

システムアクション: ERDS エントリが作成され、ダンプが生成されます。影響を受けるボリュームの処理は停止します。

ユーザーの対応: ダンプを保存します。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0077I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume is selected

説明: トランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム volser をマウント解除しようとしたのですが、そのボリュームはすでに選択されていました。

システムアクション: マウント解除は実行されません。

ユーザーの対応: ボリュームをマウントしたホストからライブラリの DISMount を発行するか、ホスト間回復を実行して、その回復を行なったホストからライブラリの DISMount を発行します。

SLS0078I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume is errant

説明: トランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) のマウント解除リクエストの処理中にエラントボリューム volser を見つけようとした。ボリューム volser は見つかりませんでした。

システムアクション: マウント解除は終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS0080I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume at AA:LL:PP:RR:CC

説明: {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) 上にマウントすべきボリューム *volser* が AA:LL:PP:RR:CC (LSMid: パネル番号:行番号:列番号) で見つかりました。

システムアクション: マウントが続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0081I

Volume volser found mounted on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - attempting dismount

説明: HSC が別のボリュームのマウントを試みたときに、トランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) 上にマウントされたボリューム *volser* を見つけました。そのドライブ上のボリュームに読み取り不能なラベルがある場合、*volser* は疑問符で表示されます。

システムアクション: マウントが続行されます。HSC はマウントされたボリュームのマウント解除を試みます。

ユーザーの対応: なし

SLS0082I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LSMid AA:LL is in manual mode; manual mount is required

説明: ボリューム *volser* をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にマウントしようとしたのですが、指定された LSM AA:LL が手動モードになっていました。手動でのマウントが必要です。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: ボリュームを手動でマウントします。

SLS0083I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - ACS AA is disconnected; library mount is required

説明: ボリューム *volser* をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にマウントしようとしたのですが、指定された ACS AA が切断されていました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: ACS に接続されているホストから、ライブラリの Mount コマンドを入力します。

SLS0085I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - ACS AA is disconnected; library dismount command is required

説明: トランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、指定された ACS AA が切断されていました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: ACS に接続されているホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力します。

SLS0086I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LSMid AA:LL is in manual mode; manual dismount is required

説明: トランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、指定された LSM AA:LL が手動モードになっていました。手動でのマウント解除が必要です。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: ボリュームを手動でマウント解除し、LSM から取り出します。

SLS0087I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume is not on drive

説明: HSC がトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、ドライブが空であるか、別のカートリッジがマウントされています。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: Display DRives コマンドを発行して、そのドライブに現在マウントされているボリューム (存在する場合) を判別します。現在のボリュームをマウント解除する場合は、HSC DISMount コマンドを発行します。

SLS0088D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Intervention required; Mount or Ignore (M/I)

説明: ボリューム *volser* をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にマウントしようとしたが、オペレータの介入が必要でした (このドライブに対して IEC512I I/O ERR が表示されている場合など)。

システムアクション: マウントは、ユーザーが M または I と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- M. マウントを続行する場合。
- I. マウントを無視する場合。HSC はマウントを保留のままにしておきます。

SLS0089E

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Unable to allocate cell in ACS AA

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたが、ACS AA 内に空のセルがありませんでした。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: (Eject によって) セルを解放してから、DISMount コマンドを再入力します。

SLS0090I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Unable to insert volume in the database

説明: ボリュームを制御データセットに追加できなかったため、指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除する試みに失敗しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: 制御データセットに重複がないことを確認してから、DISMount コマンドを再入力します。

SLS0091I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Complete

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からの volser のマウント解除が完了しました。このメッセージを受け取っても、必ずしもマウント解除が成功したとは限りません。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0092I

Swap of volser to {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LSMid AA:LL is in manual mode; manual mount is required

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser をスワップしようとしたが、LSM AA:LL が手動モードになっていました。そのため、手動でのマウントが必要です。

システムアクション: スワップは失敗します。

ユーザーの対応: ボリュームを手動でスワップします。

SLS0093I

Swap of volser to {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - ACS AA is disconnected; library dismount command is required

説明: ボリューム volser を指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にスワップしようとしたが、ACS AA が切断されていました。そのため、ライブラリの DISMount コマンドが必要です。

システムアクション: スワップは失敗します。

ユーザーの対応: スワップを実行するには、ACS に接続されているホストから、ライブラリの DISMount コマンドを入力します。

SLS0094I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - DRIVEid is AA:LL:PP:NN

説明: マウント解除処理で、指定されたトランスポート {drive XXXX|driveid AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) を参照しましたが、そのトランスポートがオフラインの LSM 内にありました。

システムアクション: DISMount コマンドは実行されません。

ユーザーの対応: ボリュームをトランスポートから手動でマウント解除し、LSM から取り出します。

SLS0095I

Immediate cleaning of drive DDDD has failed

説明: IMMED パラメータを指定した CLean コマンドが失敗しました。

システムアクション: ドライブを予約する試みが失敗しました。そのドライブに対して次回マウント解除が行われたあとでクリーニングするようにドライブがスケジュールされます。

ユーザーの対応: なし

SLS0096I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volume not dismounted

説明: ボリューム volser をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からマウント解除しようとしたのですが、エラーが発生しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、DISMount コマンドを再入力します。

SLS0098A

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - No non-zero priority CAPs in ACS AA; reply C to cancel wait

説明: ACS AA にゼロ以外の優先度を持つ使用可能な CAP が 1 つもないときに、ボリューム volser を {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) を永続的または一時的に挿入してマウントする試みが行われました。

システムアクション: マウントは、ユーザーが「C」と応答するか、CAP が使用可能になるまで待機します。

ユーザーの対応: CAPPref コマンドを使用するか、アクティブな CAP をドレイン (DRAin) して、CAP を使用可能にします。マウントの処理が必要ない場合は、「C」と応答します。

SLS0099I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume at AA:LL:PP:RR:CC

説明: {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からマウント解除されているボリューム volser が現在 AA:LL:PP:RR:CC の場所にあります。

システムアクション: マウント解除は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0101I

CCCCCCCC invalid reply

説明: CCCCCCCC は WTOR への無効な応答です。

システムアクション: WTOR が再発行されます。

ユーザーの対応: 有効な応答で対応します。

SLS0102I

Error parsing XML command input for CCCCCCCC command

説明: システムによって受信されたコマンドは XML 形式 (先頭にある XML 開始文字「小なり記号」に基づく) でしたが、その XML の解析を試みたときに解析エラーが発生しました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力に不正な形式の XML がないか調べ、コマンド形式を訂正します。

SLS0103E

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Drive unload error

説明: ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしているときに、ドライブのアンロードエラーが発生しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: エラーを訂正し、指定されたトランスポートと *volser* に対してライブラリの *DISMount* コマンドを入力します。

SLS0105A

Dismount of {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} -

drive is loaded; reply I to cancel wait

説明: マウント解除用のボリュームシリアル番号を判別しようとしたが、カートリッジがトランスポートにロードされていました。

システムアクション: マウント解除は、ユーザーが応答するまで待機します。

ユーザーの対応: マウント解除を無視する場合は、「I」と応答します。ボリュームがドライブにあり、しかもどのプロセッサのジョブにも割り当てられていないことがわかっている場合は、そのボリュームをドライブからアンロードします。(MVSでドライブをアンロードするには、*UNLOAD* コマンドを発行します。VMでドライブをアンロードするには、ドライブをいずれかの仮想マシンに接続 (*ATTACH*) してから、切断 (*DETACH*) します。)ドライブが使用中の場合は、ジョブがドライブ上のボリュームの処理を終了するまで待機します。誤動作のためにドライブをアンロードできない場合は、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、このメッセージには「I」と応答します。

SLS0106I

Unrecognized XML tag for CCCCCCCC command: TTT...TTT

説明: コマンドで定義されていない XML タグを含む XML コマンドが受信されました。

システムアクション: 認識されていないタグは無視され、コマンドは正常に処理されます。

ユーザーの対応:

- XML タグが正しくコード化されなかった場合は、タグを修正してコマンドを再送信してください。

- リリースやサーバーの非互換性のために XML タグが処理されなかった場合は、何も行う必要はありません。

SLS0107D

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - drive has loaded cartridge; reply Dismount, Retry or Ignore (D/R/I)

説明: ボリュームをマウント解除するリクエストが出されました。しかし、ボリュームの巻き戻しおよびアンロードが完了していません。

システムアクション: マウント解除処理は、ユーザーが「D」(マウント解除)、「R」(再試行)、または「I」(無視)のいずれかを応答するか、ドライブの巻き戻しとアンロードが行われるまで待機します。

ユーザーの対応: 巻き戻しとアンロードが完了するまで待つか、次のいずれかで応答します。

- D. ボリュームを巻き戻してアンロードする場合。
- R. 巻き戻しを強制しないでマウント解除を再試行する場合。
- I. リクエストを無視する場合。

「D」と応答すると、トランスポートに対する介入を必要とするメッセージが出され、トランスポートが使用中であればジョブが異常終了する可能性があります。MVS では、そのトランスポートに対して UNLOAD コマンドを発行する必要があります。それがオンラインになっている場合、UNLOAD コマンドは、デバイスが割り当てられなくなるまで、そのアンロードを延期します。VM では、デバイスがテープ管理仮想マシン (VMTAPE など) に接続 (ATTACH) されている場合は「D」と応答してください。デバイスがどの仮想マシンにも接続 (ATTACH) されていない場合は、デバイスをいずれかの仮想マシンに接続 (ATTACH) してから切断 (DETACH) することにより、テープをアンロードするようにしてください。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、ATTACH は失敗します。

「R」と応答すると、最初にボリュームの巻き戻しを試みないでマウント解除リクエストが再発行されます。

「I」と応答すると、マウントされたカートリッジをトランスポートに入れたままにできます。MVS では、システムがマウントされたカートリッジを使用する場合、そのトランスポートがマウントリクエストなしに割り当てられます。トランスポートが別のカートリッジに必要な場合は、マウント解除リクエストのあとで新しいマウ

ントリクエストが出されます。VM では、デバイスがテープ管理システム以外の仮想マシンに接続 (ATTACH) されている場合、そのデバイスは、切断 (DETACH) されるときにアンロードされます。

SLS0108D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - External label is unreadable; reply Mount, Bypass, or Ignore (M/B/I)

説明: ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたが、外部ラベルが読み取り不可でした。

システムアクション: マウントは、ユーザーが *Mount*、*Bypass*、または *Ignore* のいずれかで応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- *M*。ボリュームをマウントする場合。外部ラベルチェックは、このマウント処理中、一時的にバイパスされます。
- *B*。ボリュームをマウント解除する場合。そのボリュームには、読み取り不可の外部ラベルを持つことを示すマークが永続的に付けられます。
- *I*。リクエストを無視する場合。必要に応じて、*Eject* コマンドを発行して、ボリュームをイジェクトできます。

SLS0109D

Swap of XXXX1 to XXXX2 - Volume volser is in the library; reply Eject, Dismount, or Ignore (E/D/I)

説明: ライブラリの外部にあるトランスポートにボリュームをスワップしようとした。

システムアクション: スワップは、ユーザーが *Eject*、*Dismount*、または *Ignore* のいずれかで応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- *Eject (E)*。ボリュームをイジェクトする場合。
- *Dismount (D)*。ボリュームをマウント解除して、ライブラリ内に保存する場合。
- *Ignore (I)*。リクエストを無視する場合。

SLS0110I

Eject of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Unable to eject, volume errant

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、エラーが発生してボリュームがエラントになりました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームがエラントになった理由を判別して、適切な訂正を行います。

SLS0112E

Swap of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: XXXX または AA:LL:PP:NN からのボリューム *volser* のスワップを試みているときに、LMU エラー XXXXXXXX が受け取られました。

システムアクション: スワップは失敗します。

ユーザーの対応: そのボリュームに対して、ライブラリの DISMount および Mount コマンドを入力します。問題が再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0113D

Mount of volser1 on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - OCR volser mismatch (volser2); Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)

説明: 指定されたトランSPORT {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser1* をマウントしようとしたが、LMU が異なる外部ラベルを持つボリュームシリアル番号 (*volser2*) を見つけました。

システムアクション: マウントは、ユーザーが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- R。マウントを再試行する場合。
- E。ボリュームをイジェクトする場合。ボリューム *volser1* は制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
- I。マウントを無視する場合。

SLS0114D

*Enter of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volser invalid;
reply E,volser or I to Enter a different volume, or Ignore*

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser* を挿入 (ENter) しようとしたが、そのボリュームシリアル番号は受け入れられませんでした。

システムアクション: マウントは、ユーザーが「E,volser」または「I」と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- E,volser。異なるボリュームシリアル番号を入力する場合。
- I。マウントを無視する場合。

SLS0115I

*Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Overridden by a
dismount request*

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、そのマウントはマウント解除リクエストによってオーバーライドされました (同じトランスポートに対してマウントリクエストとマウント解除リクエストが出されていました)。

システムアクション: Mount コマンドも DISMount コマンドも実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0116I

*Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID} AA:LL:PP:NN - Newly
unreadable volser; EJECTING*

説明: *volser* のマウント解除時に、LMU が、以前は読み取り可能であった外部ラベルが読み取り不可になっていることを示しました。

システムアクション: そのボリュームはライブラリからイジェクトされます。

ユーザーの対応: カートリッジのラベルを調べて、ラベルが読み取り不可である理由を判別します。問題が解決されると、カートリッジをライブラリに挿入できます。メッセージ SLS0116I 内のボリュームシリアル番号が #URBL または SCRTCH のどちらかである場合は、カートリッジからの実際のボリュームシリアル番号を使用して

DISPLAY VOLUME コマンドを発行します。この表示からのセルを監査する必要があります。

SLS0117E

*Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LMU error
XXXXXXXX ACS AA*

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム volser をマウント解除しようとしたが、LMU エラー XXXXXXXX が発生しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: そのボリュームに対して、ライブラリの DISMount コマンドを入力します。問題がすぐに再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0118D

*Enter of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; bad CAPid AA:LL:CC;
reply "T,capid", "U", or "I" - Try another/Use any/Ignore*

説明: ボリューム volser をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} に挿入しようとしたが、不良な CAPid (AA:LL:CC) が指定されていました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのどちらかです。

システムアクション: 挿入 (ENter) は、ユーザーが T,capid、U、または I と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- T,capid (Try another CAP)。ボリュームの挿入を進める場合。ここでの CAPid は使用する CAP です。
- U (Use any CAP)。サブシステムに CAP を選択させる場合。
- I (Ignore)。ボリュームの挿入を無視する場合。

SLS0119D

*Enter of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volume already in
database; reply "M,volser", or "I" to Mount or Ignore*

説明: ボリューム volser をトランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN に挿入しようとしたが、volser がすでに制御データセット内にありました。

システムアクション: 挿入 (ENter) は、ユーザーが「M,volser」または「I」と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- M,volser (Mount)。ボリュームの挿入を進める場合は、制御データセット内にはないボリュームシリアル番号を指定します。
- I (Ignore)。ボリュームの挿入を無視する場合。

SLS0120E

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser をマウントしようとしたが、ACS AA に対して LMU エラー XXXXXXXX が発生しました。

システムアクション: マウントは失敗します。ボリュームがそのセルにない場合、それはエラーになります。

ユーザーの対応: 問題を解決し、そのボリュームに対してライブラリの Mount を入力します。

SLS0121I

Invalid library {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}

説明: 無効なライブラリトランスポートを指定して、オペレータコマンドによるボリュームのマウントまたはマウント解除を試みしました。

システムアクション: マウントまたはマウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: 有効なトランスポートを指定してコマンドを再入力します。

SLS0122D

Enter of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - no cell space available in ACS AA; Retry or Ignore (R/I)

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser を挿入しようとしたが、その ACS に使用可能なセルスペースがありませんでした。

システムアクション: 挿入 (ENter) は、ユーザーが Retry または Ignore と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- R. ボリュームの挿入を進める場合は、「R」と応答する前にボリュームのいくつかをイジェクトします。
- I. ボリュームの挿入を無視する場合。

SLS0123I

*Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Suppressed;
mount was not initiated*

説明: *volser* のマウント解除は、それに先行するマウントが抑止されて、ボリュームがトランスポートに配置されていないために抑止されました。

システムアクション: マウント解除は実行されません。

ユーザーの対応: なし。

SLS0124I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Complete

説明: マウントリクエストに応じて、ボリューム *volser* が指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にマウントされました。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0125D

*Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume not in
cell AA:LL:PP:RR:CC; Retry, Eject, or Ignore (R,E,I)*

説明: ボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、セル AA:LL:PP:RR:CC にボリュームが見つかりませんでした。

システムアクション: マウントは、ユーザーが Retry、Eject、または Ignore と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- R. マウントを再試行する場合。

- E. 見つかったボリュームを制御データセットから削除する場合。ボリュームが ACS の外部にあって入力処理を行う必要がある場合は、Eject と応答します。次に、HSC オペレータコマンドを使用して、ボリュームを挿入およびマウントします。
- I. マウントを無視して、ボリュームを制御データセットから削除しない場合。

SLS0127I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: トランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム volser をマウント解除しようとしたときに、ドライブまたはホーム位置のどちらかのスキャンが必要となりました。しかし、LMU によって、移動エラーが発生したか、ドライブと通信できないことが示されました。

システムアクション: マウント解除は実行されません。

ユーザーの対応: 必要に応じて、コマンドを再入力します。

SLS0128A

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Waiting for volume; reply "I" to cancel wait

説明: ボリューム volser をトランSPORT XXXX または AA:LL:PP:NN にマウントしようとしたが、ボリュームが使用中でした。

システムアクション: マウントは、ボリュームが使用可能になるまで待機します。

ユーザーの対応: マウントを無視する場合は、「I」と応答します。

SLS0129I

XML input not supported for CCC...CCC command

説明: XML の開始文字で始まるコマンド入力は、XML 入力をサポートしないコマンド CCC...CCC では受け取られませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 標準のテキスト構文を使用してコマンドを入力します。

SLS0130I

{DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} found full while attempting mount of volser

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、トランスポートがいっぱいでした。

システムアクション: システムは、トランスポート上のカートリッジをマウント解除し、マウントを再試行しようとしています。マウント解除に失敗すると、マウントが中断されたり、SLS0105A が発行されたりすることがあります。

ユーザーの対応: なし

SLS0131I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしたときに、ドライブまたはホーム位置のどちらかのスキャンが必要となりました。しかし、LMU によって、移動エラーが発生したか、ドライブと通信できないことが示されました。

システムアクション: マウントは実行されません。

ユーザーの対応: 必要に応じて、コマンドを再入力します。

SLS0132I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Suppressed; prior dismount queued or active

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、そのドライブに対する先行するマウント解除がアクティブになっているか、キューに入っているため、マウント解除が抑止されました。

システムアクション: マウント解除は実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0133I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Mount active; attempting suppression

説明: トランスポート XXXX または AA:LL:PP:NN からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたのですが、そのドライブ上のボリューム *volser* に対してマウントリクエストがすでにアクティブになっていました。

システムアクション: システムはマウントを抑止しようとします。マウントの抑止が正常に行われると、マウント解除も抑止されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0134D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume and drive are in different ACSs; Eject, Retry, or Ignore (E,R,I)

説明: ボリューム *volser* をトランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* にマウントしようとしたが、そのマウントには異なる ACS 内にあるボリュームが必要です。

システムアクション: マウントは、ユーザーが Eject、Retry、または Ignore と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- E. 必要なボリュームをイジェクトする場合。
- R. マウントを再試行する場合。
- I. マウントを無視する場合。

SLS0136D

Eject of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - bad CAPid AA:LL:CC; reply "T,capid", "U", or "I"; Try another/Use any/Ignore

説明: ボリューム *volser* をイジェクトして、トランスポート *XXXX* または *AA:LL:PP:NN* からマウント解除しようとしたが、不良な CAPid が指定されました。CAPid が定義されていないか、その CAP が使用中であるかのどちらかです。

システムアクション: イジェクト (Eject) は、ユーザーが T,capid、U、または I と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- T,capid (Try another CAP)。イジェクトを進める場合。ここでの CAPid は使用する CAP です。
- U (Use any CAP)。サブシステムに CAP を選択させる場合。
- I (Ignore)。マウント解除を無視する場合。

SLS0137E

*Eject of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LMU error
XXXXXXXX ACS AA*

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、LMU エラー (XXXXXXXX) が受け取られました。

システムアクション: イジェクトは失敗します。

ユーザーの対応: そのボリュームに対してライブラリの DISMount コマンドを入力し、Eject コマンドを再試行します。問題がすぐに再発する場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0138D

*Eject of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - No non-zero
priority CAPs in ACS AA; reply C to cancel wait*

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をイジェクトしようとしたが、ゼロ以外の優先度を持つ使用可能な CAP がありませんでした。

システムアクション: マウント解除は、ユーザーが C と応答するか、CAP が使用可能になるまで待機します。

ユーザーの対応: CAPPref コマンドを入力するか、アクティブな CAP をドレイン (DRAin) して、CAP を使用可能にします。イジェクトの処理が必要ない場合は、C と応答します。

SLS0140I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Suppressed

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、マウント解除によって抑止されました。

システムアクション: マウントは実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0141I

*Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Suppressed;
prior scratch request active or queued*

説明: スクラッチリクエストに対してボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、それに先行する非特定のリクエストが、そのドライブでキューに入っているかアクティブになっていました。

システムアクション: 2 番目のマウントリクエストは実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0142I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Unable to recover volume - XX

説明: エラントボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、それが見つかりませんでした。XX は、ボリュームが見つからなかった理由を次のように示します。

- 04 - 回復時にボリュームが見つかりませんでした
- 08 - 制御データセットのエラーが発生しました
- 0C - 回復が異常終了しました
- 10 - LMU エラーが発生しました

システムアクション: マウントは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS0143I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Cancelled due to operator request

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム *volser* をマウントしようとしたのですが、オペレータのリクエストのためにそのマウントは取り消されました。

システムアクション: マウント処理は終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS0144I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Overriding a mount scratch request

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) に *volser* をマウントし始めたときに、シス

テムが、そのドライブに対して出されたマウント SCRTCH リクエストを検出し、そのリクエストをオーバーライドしました。

システムアクション: マウント SCRTCH は実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0145I

Mount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Mount scratch active; attempting suppression

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser をマウントしようとしたが、そのドライブに対してマウント SCRTCH リクエストがアクティブになっていました。

システムアクション: システムはマウント SCRTCH を抑止しようとします。

ユーザーの対応: なし

SLS0147I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} suppressed - prior mount request queued

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser をマウントしようとしたが、そのボリュームへの先行するマウントリクエストがそのドライブでキューに入っていました。

システムアクション: 2 番目のマウントリクエストは実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0148I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Cancelled by overdue response handler

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) にボリューム volser をマウントしようとしたが、未完了応答ハンドラが、このリクエストに時間がかかり過ぎていると判断して、そのリクエストをフラッシュする許可をユーザーから得ました。

システムアクション: そのマウントリクエストは取り消されます。

ユーザーの対応: 必要に応じて、マウントリクエストを再入力します。

SLS0149I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Cancelled by overdue response handler

説明: 指定されたトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} (XXXX はドライブ、AA:LL:PP:NN はドライブ ID を示す) からボリューム *volser* をマウント解除しようとしたが、未完了応答ハンドラが、このリクエストに時間がかかり過ぎていると判断して、そのリクエストをフラッシュする許可をユーザーから得ました。

システムアクション: そのマウント解除リクエストは取り消されます。

ユーザーの対応: 必要に応じて、マウント解除リクエストを再入力します。

SLS0150I

Missing or invalid SLSIN DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティープログラムが、必要なユーティリティー制御文ファイル (DD 名 SLSIN) を正常に開く (OPEN) ことができませんでした。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: 80 バイトのカードイメージ制御文を含む SLSIN データセットを指定して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0151I

Value in JCL PARM field PPPPPPPP is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリテীগジョブが PARM= パラメータを指定して送信されましたが、キーワード PPPPPPPP に指定された値が無効です。有効なキーワードとその値は次のとおりです。

*MIXED, NOHDR, LINECNT=nn, DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}, および
XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD}*

ここで、*nn* は 10 - 99 の値です。NOHDR と LINECNT は相互に排他的です。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: JCL PARM フィールドの値を訂正するか、PARM 値全体を削除してから、ジョブを再送信します。

SLS0152I

SLUCON__must be authorized when specifying "LIBONLY" parameter

説明: 表示されたスクラッチ変換ユーティリティーは、「LIBONLY」実行時パラメータが指定されているときは APF 許可モードで実行される必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: そのユーティリティーが存在するライブラリが APF 許可を受けていることを確認して、ジョブを再送信します。

SLS0153I

Conflicting utility is currently active on the system -- try again later

説明: もう 1 つの SLUADMIN ユーティリティージョブがシステム上でアクティブであり、この SLUADMIN ユーティリティージョブでリクエストされたユーティリティー機能と競合するユーティリティー機能を実行していました。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: もう一方の SLUADMIN ユーティリティージョブが終了するまで待つから、この SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0154A

A CCCCCCCCCCCCC library utility active during termination; waiting for completion

説明: HSC サービスレベルの一方または両方を終了させようとしたが、CCCCCCCCCCCC SLUADMIN ユーティリティージョブがシステム上のアクティブなライブラリソフトウェアを必要としています。

システムアクション: 終了処理は、そのユーティリティー機能が終わるまで待機します。

ユーザーの対応: 現状に基づいて次のいずれかのアクションを実行します。

- SLUADMIN ユーティリティージョブが終わるまで待機します。これにより、ライブラリソフトウェアの終了処理が続行されます。
- SLUADMIN ユーティリティージョブを取り消します。これにより、ライブラリの終了処理を続行できます。
- ライブラリソフトウェアを取り消します。これにより、ライブラリソフトウェアは異常終了します。

SLS0155I*Condition code for utility function is DD*

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブ内で単一の制御文で表されるユーティリティー機能が完了し、指定された条件コードが返されました。考えられる条件コードは次のとおりです。

- 0 - ユーティリティー機能は正常に完了しました
- 4 - エラーが検出されましたが、ユーティリティー機能は完了できました
- 8 - エラーが検出され、ユーティリティー機能は取り消されました
- 12 - エラーが検出され、ユーティリティープログラム (すべてのユーティリティー機能) が取り消されました

システムアクション: ユーティリティー機能は、示されたとおりに終了します。

ユーザーの対応: 条件コードがゼロ (0) 以外の場合は、他のユーティリティーメッセージを参照してエラーの正確な原因を解決し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信する必要があるかどうかを判断します。

SLS0156I*No qualifying SMF records found*

説明: SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーがすべての SMF レコードを読み取りましたが、指定された日付および時間のレコードがありませんでした。

システムアクション: アクティビティーレポートユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 与えられた SMF データ (DD 名 SLSSMF) またはリクエストされたレポート期間 (制御文の BEGIN パラメータと END パラメータ)、あるいはその両方をチェックし、エラーを修正してから、その SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0157I*Host Software Component not active, a NCO, or a Switch event temporarily disabled utilities*

説明: ライブラリソフトウェアを必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が試行されましたが、そのライブラリソフトウェアがアクティブでなかったか、動的再構成 (NCO) または切り替え処理がアクティブであってユーティリティーを一時的に無効化しました。

システムアクション: そのユーティリティー機能は実行されません。

ユーザーの対応: ホストライブラリソフトウェアを起動し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

1. ホストライブラリソフトウェアがまだアクティブでない場合はこれを開始し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。
2. NCO または切り替えイベントが発生した場合、ELS ログを調べて SLUADMIN ユーティリティーを再送信する時点を判別します。

SLS0158I

Conflicting audit in progress on this Host

説明: 別の SLUADMIN AUDIT ユーティリティーですでに監査中のライブラリコンポーネントに対して SLUADMIN AUDIT ユーティリティーを実行しようとしたか、「アクティブ」な AUDIT ユーティリティー (パラメータ APPLY(YES)) を「レポートのみ」の AUDIT ユーティリティー (パラメータ APPLY(NO)) と同時に実行しようとした。

システムアクション: リクエストされたユーティリティー機能は実行されません。

ユーザーの対応: もう一方の AUDIT ユーティリティージョブが終了するまで待つてから、この SLUADMIN AUDIT ジョブを再送信します。あるいは、この AUDIT 制御文のパラメータを、もう一方の AUDIT ユーティリティーと競合しないように変更します。

SLS0159I

Conflicting audit in progress within the LSM

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、現在の AUDIT ユーティリティー、カートリッジ初期化ユーティリティー (MVS)、またはカートリッジ挿入ユーティリティー (VM) の LSM と同じ LSM 内で処理されています。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーまたは一連の並行 AUDIT ユーティリティーが完了するまで待つてから、この SLUADMIN ユーティリティーを再送信します。

SLS0160I

All DD journals are successfully sorted

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージであり、DD (アクティブジャーナルの数) ファイルからのすべてのジャーナルレコードが正常にソートされたことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0161I

Control database is successfully copied from the backup copy

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージであり、制御データセットがバックアップデータセットの制御データセットで正常に置き換えられたことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0162I

PPPPPPPP parameter value VVVVVVVV invalid

説明: 示された VOLRpt パラメータ値が、無効なパラメータ値で指定されました。

システムアクション: VOLRpt ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: ボリュームレポート (VOLRpt) 制御文上の示されたパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0163I

Volume volser not in library

説明: 特定のボリュームシリアル番号 (*volser*) がリクエストされた機能に与えられました。しかし、リクエストされたボリュームがライブラリ内で見つからないため、ボリュームシリアルを処理できませんでした。このメッセージは、特定のボリュームシリアル番号が指定されず、ボリュームが内部関数呼び出しからリクエストされるときにも表示されることがあります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: その機能に指定したボリュームシリアル番号を見直し、必要に応じてリクエストを再送信します。

SLS0164I

Volume volser already defined in library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールに追加しようとしたますが、そのボリュームはすでにスクラッチとして定義されていました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このエラーでスクラッチ更新ユーティリティーが取り消されることはありませんが、指定されたボリュームシリアル番号をチェックし、それを訂正して、SLUADMIN SCRAatch 更新ジョブを再送信することをお勧めします。

SLS0165I

Control database is successfully restored by applying sorted journals

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージであり、バックアップで置き換えられた制御データセットが、すべてのアクティブジャーナルファイルからのレコードで更新されたことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0166I

Volume volser not defined in library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールから除去しようとしたますが、そのボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは機能し続けます。

ユーザーの対応: このエラーでスクラッチ更新ユーティリティーが取り消されることはありませんが、指定されたボリュームシリアル番号をチェックし、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS0167I

Volume volser successfully added to library as scratch

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールに追加しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0168I

Volume volser successfully deleted from library scratch pool

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールから削除しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0169I

Secondary is successfully copied from the restored control database

説明: これは、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーからのチェックポイントメッセージであり、制御データセットのセカンダリコピーが、復元された制御データセットの内容で正常に置き換えられたことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0170I

Volume volser in use; unavailable for processing

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対してユーティリティー固有の処理を実行しようとしたが、そのボリュームは別のプロセスによって現在選択されているか、すでに使用されているかのどちらかであるため、スクラッチできませんでした。そのユーティリティーの処理は実行できませんでした。

システムアクション: 処理は続行されますが、このボリュームは無視されています。

ユーザーの対応: これはエラーとはみなされませんが、競合するプロセスまたはジョブによってこのボリュームが解放されたあとで、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信することをお勧めします。

SLS0171I

CAPid AA:LL:CC is invalid

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の CAPid (AA:LL:CC) をユーティリティー制御文に指定しましたが、その CAPid は無効でした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: CAPid の指定を変更して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0172I

CAP could not be successfully allocated

説明: CAP を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の CAP (ユーティリティー制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別のプロセスで使用中的であるために割り当てられなかったか、CAP が必要とされる ACS 内にゼロ以外の優先度を持つ予約されていない CAP がありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは、CAP 操作を行わずに終了します。

ユーザーの対応: 異なる CAPid を指定するか、その特定の CAP を使用するプロセスが完了するまで待ってから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。CAP が指定されていない場合は、ACS 内の CAP のプリファレンス優先度を表示し、使用可能な CAP のプリファレンスをゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0173I

Missing or invalid SLSTAPE DD statement

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが SLSTAPE DD 文を見つけられなかったか、SLSTAPE DD 文がトランスポートを表していなかったかのどちらかです。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL に、有効なライブラリトランスポートを表す SLSTAPE DD 文が含まれていることを確認します。特定の CAP をリクエストする場合は、SLSTAPE DD 文で表されたライブラリトランスポートと同じ ACS 内にその CAP があることも確認します。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0174I

Volume volser successfully ejected from library

説明: カートリッジのイジェクトにかかわる SLUADMIN ユーティリティー機能が、指定のボリュームシリアル番号 (*volser*) をカートリッジアクセスポート (CAP) に正常に移動しました。

システムアクション: そのカートリッジは制御データセットからイジェクトされます。

ユーザーの対応: なし。(オペレータには、カートリッジのイジェクトが通知され、CAP がいっぱいの場合または SLUADMIN ユーティリティー機能が完了した場合は CAP を空にするよう要求されます。)

SLS0175I***Missing or invalid SLSCNTL DD statement***

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、SLSCNTL DD 文で表された制御データセットを正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 制御データセット用の SLSCNTL DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0176I***Missing or invalid SLSBKUP DD statement***

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティーまたは RESTORE ユーティリティーが、SLSBKUP DD 文で表されたバックアップデータセットを正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN ユーティリティー機能用のバックアップデータセットを正しく参照する SLSBKUP DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0177I***Missing or invalid SLSJRNnn DD statement***

説明: SLUADMIN BACKUP ユーティリティーが、SLSJRNnn 文 (*nn* は 01 - 32) で表されたジャーナルを正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN BACKUP ユーティリティー用のすべてのアクティブジャーナルファイルを正しく参照する SLSJRNnn 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0178I

APPLY(YES) specified or defaulted, but journaling not active

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティーが、ジャーナルレコードが復元された制御データセットに適用されることを意味する APPLy(YES) パラメータを指定または暗黙指定した状態で送信されましたが、ジャーナル処理がそのライブラリソフトウェアで有効になっていませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 制御データセットを参照されたバックアップデータセット (SLSBKUP DD文) の状態に実際に復元するべき場合は、RESTORE ユーティリティー (RESTore) の制御文に APPLy(NO) を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0179I

I/O error reading backup file specified by SLSBKUP DD statement

説明: CDS バックアップデータセットで I/O エラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。CDS は影響を受けません。

ユーザーの対応: 別のバックアップデータセットを確立し直して、CDS BACKUP ユーティリティーを再実行します。

SLS0180I

I/O error processing control database

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能の処理中に制御データセットで I/O エラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティーは、リクエストされた機能を完了せずに終了します。

ユーザーの対応: I/O エラーの原因を調べます。制御データセットの問題を解決したあとで、そのユーティリティーを再送信します。

SLS0181I

I/O error reading journal specified by SLSJRNnn DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP または RESTORE ユーティリティの実行中、SLSJRNnn 文 (nn は、BACKUP の場合は 01 - 32、RESTORE の場合は 01 - 99) で表されたジャーナルファイルを読み取るときに I/O エラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティは途中で終了します。

ユーザーの対応: ローカルの回復手順を参照してください。

- BACKUP でジャーナル I/O エラーがあった場合は、SLICREAT を使用して新しい (リセットされた) ジャーナルファイルを作成します。
- RESTORE でジャーナル I/O エラーがあった場合は、ジャーナルファイルの別のコピーがあるかどうかを調べて、そのコピーを使用します。
- コピーがない場合は、復元が不完全なまま終わるか、ライブラリ全体の監査を行うかを選択します。

SLS0182I

I/O error writing journal specified by SLSJRNnn DD statement

説明: SLUADMIN BACKUP または OFFLOAD ユーティリティの実行中、SLSJRNnn 文 (nn は、OFFLOAD の場合は 01 - 02、BACKUP の場合は 01 - 32) で表されたジャーナルファイルを書き込むときに I/O エラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティは、ジャーナルファイルをリセットしないで終了します。

ユーザーの対応: OFFLOAD で I/O エラーがあった場合は、ただちにバックアップを作成します。BACKUP で I/O エラーがあった場合は、SLICREAT を使用してジャーナルファイルを作成 (リセット) します。

SLS0183I

Cartridge volser in cell AA:LL:PP:RR:CC:NN has an unreadable external label; ejecting

説明: volser のセルへのマウント解除後に、LMU が、以前は読み取り可能であった外部ラベルが読み取り不可になっていることを示しました。

システムアクション: そのボリュームはライブラリからイジェクトされます。

ユーザーの対応: カートリッジのラベルを調べて、ラベルが読み取り不可である理由を判別します。問題が解決されると、カートリッジをライブラリに挿入できます。

SLS0184I

DD1 hosts defined, but only DD2 SLSJRNnn DD statements supplied

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティーが、定義されたホストの数 DD1 から、SLSJRNnn 文の数が不足していると判断しました。DD2 は、存在していた SLSJRNnn 文の数を表しています。ライブラリに接続された各ホストには 2 つのジャーナルファイル (BACKUP の場合は 01 - 32、RESTORE の場合は 01 - 99) が必要です。

システムアクション: RESTORE ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: ライブラリに接続されたホストごとに 2 つの SLSJRNnn 文を指定して、SLUADMIN RESTORE ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0186E

MISSING OR INVALID SYSPRINT DD STATEMENT

説明: ユーティリティーで、必要な SYSPRINT DD を正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 必要な SYSPRINT DD 文を指定して、ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0191I

Journal specified by SLSJRNnn DD statement successfully reset

説明: SLUADMIN BACKUP または OFFLOAD ユーティリティーから発行されたチェックポイントメッセージであり、SLSJRNnn (nn は、OFFLOAD の場合は 01 - 02、BACKUP の場合は 01 - 32) DD 文で表されたいずれかのジャーナルファイルが正常にリセットされたことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0194I

I/O error writing to control database specified by SLSCNTL DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーがプライマリ制御データセット (DD 名 SLSCNTL) で I/O エラーを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSCNTL DD 文の割り当てパラメータをチェックし、ユーティリティーを再送信します。

SLS0195I

I/O error reading from data set specified by SLSDELTA DD statement

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティーが、一時作業ファイル (DD 名 SLSDELTA) 上のソートされたジャーナルレコードの読み取り時に I/Oエラーを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSDELTA DD 文で表されたソート済みの一時ジャーナルレコードファイルを再割り当てしてから、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0196I

LSM LL is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能制御文の「LSM」パラメータを通じて取得された LSMid (LL) が無効でした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: ライブラリの構成をチェックし、「LSM」パラメータを指定し直してから、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0197I

LSMid AA:LL is offline

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の LSMid (AA:LL) への機能パスを必要としましたが、その LSM がユーティリティーの実行されたホストに対してオフラインであるか割り当てられていないことがわかりました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: LSM をこのホストに対してオンラインにして (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。LSM が割り当てられて

いない場合は、LSM をユーティリティー制御文から削除し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0198I

Panel index DD is invalid

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、AUDIt 制御文の PANel パラメータに指定された無効なパネル索引 (DD) を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: PANel パラメータのパネル索引を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0199I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is in control database at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、制御データセットとは異なるライブラリ位置にある、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを検出しました (最初のセルはカメラによって確認された位置で、2 番目のセルは制御データセット位置です)。監査が「アクティブ」であった (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、省略されていた) 場合、データセットは更新されています。

システムアクション: APPLy パラメータに応じて、監査は制御データセット内のボリュームの位置を変更します。

ユーザーの対応: なし

SLS0200I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is not in control database

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、制御データセット内に存在しない、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを、指定された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) で検出しました。監査が「アクティブ」である (制御文に APPLy(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている) 場合、そのボリュームは制御データセットに加えられます。

システムアクション: APPLy パラメータの指定に応じて、ボリュームは制御データセットに加えられます。

ユーザーの対応: なし

SLS0201I

Cartridge in cell AA:LL:PP:RR:CC has an unreadable or illegal external label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不可のカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) で検出しました。監査が「アクティブ」である (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている) 場合、そのカートリッジはイジェクトされます。

システムアクション: APPLY(YES) が指定されている場合、そのカートリッジはライブラリから物理的にイジェクトされます。

ユーザーの対応: APPLY(YES) が指定されている場合は、カートリッジを CAP から取り出し、そのボリュームシリアル番号を確認して、再度挿入します。APPLY(NO) が指定されている場合は、元のボリュームに対するエラー回復を呼び出して、そのカートリッジを論理的にイジェクト (制御データセットから削除) することが必要な場合もあります。エラー回復を呼び出すには、そのボリュームに対して Mount または Eject コマンドを発行します。

SLS0202I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is a duplicate with volume in cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つ複数のライブラリカートリッジを検出しました。最初に指定された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。監査が「アクティブ」である (制御文に APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている) 場合、そのボリュームはイジェクトされます。

システムアクション: 監査がアクティブである場合、重複したボリュームはライブラリから物理的にイジェクトされます。

ユーザーの対応: ライブラリ内にどちらのボリュームがあるべきかに応じて、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトし、もう一方のボリュームを再度挿入する必要がある場合があります。

SLS0203I

ACS AA is invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、ユーティリティー制御文の ACS パラメータの無効な指定を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: ACS を指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0204I

ACS AA is disconnected

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が特定の ACS (AA) への機能パスを必要としましたが、その ACS がユーティリティーの実行されたホストから切断されていることがわかりました。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: このホストに ACS を接続して (Vary コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0205I

Missing or invalid SLSINIT DD statement

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが、必要なプロトタイプ初期化制御文ファイル (DD 名 SLSINIT) を正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: 80 バイトのカードイメージ制御文レコードと、ボリュームシリアル番号を表す 6 文字の代入フィールド (「*****」) を含む SLSINIT DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0206I

Missing or invalid initialization control statement (CCCCCCCC DD statement)

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが、必要な初期化制御文ファイル (DD 名は CCCCCCCC、IEHINITT では SYSIN) を正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: 初期化カートリッジ制御文 (デフォルトの DD 名は SYSIN) の CNTLDD パラメータで指定された DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0207I

Invalid SLSINIT prototype initialization control statement

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティが、SLSINIT ファイル内に無効なプロトタイプ初期化制御文を見つけました。ファイルが null (カードイメージレコードを含まない) か、7つ以上のカードイメージレコードがあるか、あるいは6文字のボリュームシリアル番号代入フィールド (「*****」) がないかのいずれかです。

システムアクション: そのユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの対応: 80 バイトのカードイメージ制御文レコードと、ボリュームシリアル番号を表す 6 文字の代入フィールド (「*****」) を含む SLSINIT DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0208I

OPTION parameter value invalid; must be SCRatch or EJEct

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティが、カートリッジ初期化 (INITialize) 制御文の OPTion パラメータに無効な値を見つけました。

システムアクション: そのユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの対応: カートリッジ初期化制御文の OPTion パラメータを指定し直すか、除去してから、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0209I

Initialize cartridge program CCCCCCCC not found

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティが、カートリッジ初期化制御文の PROGram パラメータで指定されているか、デフォルトで IEHINITT に指定されている初期化プログラム (CCCCCCCC) をロードしようとした。

システムアクション: そのユーティリティ機能は終了します。

ユーザーの対応: PROGram パラメータの初期化プログラムの指定をチェックし、それが SLUADMIN のリンクリストからアクセス可能であることを確認します。

SLS0210I

Library scratch list deletion completed successfully

説明: これは、REPLaceall 制御文を持つ SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーによって発行されるチェックポイントメッセージであり、現在のスクラッチリストからすべてのスクラッチボリュームが削除されたことを示しています。

システムアクション: 通常の操作が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0211I

Volume volser successfully entered into library

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティー (MVS) またはカートリッジ挿入ユーティリティー (VM) が、外部ラベル (volser) を持つカートリッジをライブラリに挿入しました。MVS カートリッジ初期化ユーティリティーは、初期化プログラムを呼び出す前にこのメッセージを発行します。

システムアクション: カートリッジはライブラリに挿入されています。

ユーザーの対応: なし。

SLS0212I

Missing or invalid SLSSMF or SLSPARM DD statement

説明: SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーが、必要な SMF レコードファイル (DD 名 SLSSMF または SLSPARM) を正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSSMF または SLSSMF DD 文を指定してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0213I

Volume volser not located by Audit

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を監査されたライブラリ要素内に見つけれませんでした。制御データセットには監査されたライブラリ要素内に位置を持つそのボリュームが含まれています。監査が「アクティブ」である (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている) 場合、そのボリュームはデータベースから削除されます。

システムアクション: APPLy(YES) が指定されている場合、そのボリュームはライブラリから論理的にイジェクト (制御データセットから削除) されます。

ユーザーの対応: そのボリュームがライブラリ内にあるとまだ思われる場合は、LSM 全体またはその ACS が含まれるように、監査の対象となるライブラリ項目を増やします。それでも ACS 内にボリュームが見つからない場合は、SMF データと MVS SYSLOG または SCP CONSLOG を調べて、ボリュームがイジェクトされたか、あるいは手でライブラリにマウントされたあとで取り出されたかを判断します。

SLS0214I

'APPLY' parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能に、YES または NO 以外の値で APPLy パラメータが指定されました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティー制御文の APPLy パラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0215I

An error occurred in the initialize cartridge program CCCCCCCC

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが、カートリッジ初期化プログラム (CCCCCCCC) を呼び出し、ゼロ以外のリターンコードを受け取りました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: カートリッジ初期化プログラムからのエラーメッセージをチェックして、その原因を解決します。次に、カートリッジをイジェクトして、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを再送信します。

SLS0216I

Invalid date and/or time specified on SLSIN control statement

説明: SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーが、ACTIvities 制御文の BEGIN または END パラメータの日付または時間、あるいはその両方のフォーマットが間違っていることを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: ACTIvities 制御文の BEGIN または END パラメータ (あるいはその両方) を指定し直します。その際、日付の場合は「MM/DD/YY」または

「YYYYMMDD」(01 =< MM =< 12、01 =< DD =< 31)、時間の場合は「HH:MM:SS」(00 =< HH =< 23、00 =< MM、SS =< 59) というフォーマットで指定します。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0217I

BEGIN date and/or time is the same or later than END date and/or time

説明: SLUADMIN アクティビティーレポートユーティリティーが、BEGIN パラメータの日付/時間が、ACTivities 制御文の END パラメータの日付/時間よりも前でないことを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: ACTivities 制御文の BEGIN または END、あるいはその両方のパラメータを指定し直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0218I

Invalid date specified in PARM parameter of JCL statement

説明: スクラッチ変換ユーティリティーの PARM フィールドに指定された日付が有効な日付値ではありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 日付値を訂正して、スクラッチ変換ユーティリティーを再送信します。

SLS0219I

Missing or invalid SLSTMS DD statement

説明: SLUCONDB スクラッチ変換ユーティリティープログラムが、必要なユーティリティー制御文ファイル (DD 名 SLSTMS) を正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 処理の対象となるテープ管理システムデータベースを含む SLSTMS データセットを指定します。SLUCONDB ユーティリティーを再送信します。

SLS0220I

Invalid command

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、SLSIN 制御文に、認識できないコマンドを検出しました。

システムアクション: そのコマンド文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のコマンドを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0221I

CCCCCCCC1 parameter mutually exclusive with CCCCCCCC2 parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、相互に排他的な 2 つのパラメータ (CCCCCCCC1 と CCCCCCCC2) が指定されている SLSIN 制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 参照されたパラメータの 1 つを除去することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0222I

CCCCCCCC1 parameter requires corequisite parameter CCCCCCCC2

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、別のパラメータ (CCCCCCCC2) の指定を必要とするパラメータ (CCCCCCCC1) を含む SLSIN 制御文を検出しましたが、別のパラメータがその制御文にありませんでした。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 必要なパラメータを指定することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。このエラーは、無効な継続と関係していることがあります。

リクエストされた欠落パラメータが受け入れ可能な唯一のパラメータではない可能性があることに注意してください。パラメータによっては、相互に必要ないくつかのパラメータが要件を満たすことがあります。メッセージにはそれらパラメータの 1 つしか表示されません。

SLS0223I

Parameter CCCCCCCC is an unknown parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、そのコマンドで許可されていないパラメータ (CCCCCCCC) または 9 文字以上のパラメータのどちらかが指定されている SLSIN 制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 無効なパラメータを除去するか、有効なパラメータのスペルを修正することにより制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0224I

CCCCCCCC parameter has a value with a length error

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、許可された値よりも長いか短い値のパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のパラメータ値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0225I

CCCCCCCC parameter requires a value

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値のないパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しましたが、そのパラメータには値が必要でした。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のそのパラメータに値を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0226I

Value not allowed with CCCCCCCC parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値のあるパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しましたが、そのパラメータには値を指定できません。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のそのパラメータから値を除去して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0227I

Parameter CCCCCCCC has an illegal value

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、不正な値を含むパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しました。リストが許可されていない箇所にリ

ストがあるか、値のタイプ (すなわち、16 進値、数字、英字) が許可されているものと異なるかのどちらかです。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のそのパラメータの値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0228I

CCCCCCCC parameter has too many values

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、値リストの項目の数が多すぎるパラメータ (CCCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しました。たとえば、PANel パラメータでのパネル索引の数は最大 20 個です。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のそのパラメータの値リストを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0229I

PANEL parameter not allowed with LSM value list parameter

説明: コマンドまたはユーティリティーが、PANel パラメータと、値リスト (複数の LSM 番号) を含む LSM パラメータが指定されている制御文を検出しました。パネルも指定されている場合、LSM は 1 つしか許可されません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: パラメータを訂正して、コマンドを再送信します。

SLS0230I

Parameter P1 or P2 required

説明: リストされたパラメータの 1 つを必要とするコマンドまたはユーティリティー機能がリクエストされました。

システムアクション: そのコマンドまたはユーティリティーは実行されません。

ユーザーの対応: コマンドまたは制御文上のそれらのパラメータの 1 つを指定して、コマンドを再入力するか、ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0231I

Audit phase 1 (Registration) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージであり、監査の登録フェーズが完了したことを示しています。リクエストされた監査が正当なものであり、他のいずれのライブラリユーティリティとも競合しないことが確認されました。また、エラーの発生した ACS 用にカートリッジアクセスポート (CAP) が予約されています。

システムアクション: 監査処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0232I

Audit phase 2 (Volumes Check) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージであり、監査のボリューム検査フェーズが完了したことを示しています。制御データセット内のすべてのボリュームレコードが読み取られ、監査済みライブラリ要素内のボリュームの項目が監査済みボリュームテーブルに作成されました。最後のアクティブ監査が完了すると、見つからなかったボリュームはすべて、制御データセットから削除されます。

システムアクション: 監査処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0233I

Audit phase 3 (Cell Scan) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティのチェックポイントメッセージであり、監査のセルスキャンフェーズが完了したことを示しています。監査対象のすべてのライブラリ要素が LSM カメラによってスキャンされ、これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている場合)、制御データセットがそれらの要素の実際の内容を反映するように更新されています。また、重複するラベルや読み取り不可のラベルを持つカートリッジはすべてイジェクトされました。

システムアクション: 監査処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0234I

Audit phase 4 (Finish) completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティーのチェックポイントメッセージであり、監査の最終フェーズが完了したことを示しています。この監査で予約されたすべてのカートリッジアクセスポート (CAP) が解放され、これが最後の「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている場合)、監査済みボリュームテーブルがスキャンされ、監査で見つからなかったボリュームはすべて制御データセットから削除されました。

システムアクション: これが (最終で) 開始された場合、監査処理は続行されます。それ以外の場合、監査処理は終了し、終了のリターンコードメッセージが発行されず (SLS0155I)。

ユーザーの対応: なし

SLS0235I**Audited volume volser is errant (lost)**

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、監査済みライブラリ要素内のボリュームに対して「エラント」(失われた) とマークされたボリュームレコードを制御データセット内に検出しました。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている場合)、そのボリュームがセルスキャンフェーズで見つければ、ボリュームレコードは更新されます。

システムアクション: APPLY(YES) が指定されていて、ボリュームが LSM セルスキャンフェーズ中に見つければ、ボリュームはエラントセットから取り除かれます。

ユーザーの対応: ボリュームが見つからない場合は、そのボリュームを表示して、最後にわかっている位置を確認します。最後にわかっている位置を確認するには、VIEW コマンドを使用します。それでもライブラリ内にボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがイジェクトされたか、あるいは手動で ACS にマウントされたあとで取り出されたかを判断します。監査の範囲を広げます。

SLS0236I**Audited volume volser has a cell index mismatch**

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、監査済みライブラリ要素内にホーム位置があるボリュームレコードを制御データセット内に検出しましたが、その位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル

番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を一切反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。

システムアクション: 制御データセットのセル索引部分は、APPLY(YES) が指定されていれば更新されます。

ユーザーの対応: APPLY(NO) が指定されている場合は、セル索引の不一致が発生します。この不一致は、監査された場合、または実際にセル内にあるボリュームがイジェクトされたか、LSM 外に移動させられた場合にのみ解消できます。(ACS または LSM パラメータを指定して) 範囲を限定したボリュームレポートを実行すれば、セル索引の不一致が表示されます。

SLS0237I

Audited volume volser is errant (lost) and has a cell index mismatch

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、エラント (失われた) とマークされたボリュームレコードを制御データセット内に検出しましたが、そのホーム位置のセル索引にボリュームシリアル番号がないか、または異なるボリュームシリアル番号が指定されています。これが「アクティブ」監査である場合 (APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている場合)、セル索引レコードは、それがボリュームシリアル番号を一切反映していないか、含まれるボリュームシリアル番号が存在しないか、あるいはそのボリュームレコードのホーム位置が異なっていれば更新されます。また、そのボリュームが監査のセルスキャンフェーズで見つかった場合、制御データセットは更新されて、ボリュームは非エラントになります。

システムアクション: セル索引は、アクティブ監査であれば更新されます。LSM セルスキャン中にボリュームが見つかり、これがアクティブ監査である場合、ボリュームのエラント状態は解消されます。

ユーザーの対応: ボリュームが見つからない場合は、監査の範囲を広げてみます。それでもボリュームが見つからない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG および SMF データを調べて、ボリュームがいつイジェクトされたか、または手動でマウントされたかを確認します。

SLS0238I

Audit scan for LSMid AA:LL, panel DD has completed

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティーによって発行されたチェックポイントメッセージであり、指定された LSMid (AA:LL) とパネル (DD) の物理セルスキャンが完了したことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0239I

Audit scan for panels in LSMid AA:LL has terminated

説明: これは、SLUADMIN AUDIT ユーティリティーによって発行されたチェックポイントメッセージであり、指定された LSMid の物理セルスキャンが正常に完了したか、あるいは SLSPRINT 出力内の別のメッセージで識別されるエラーが原因で早期に終了したことを示しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0240I

Control data set configuration does not match the hardware configuration

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、制御データセット構成と、物理セルスキャンで検出されたハードウェア構成との間に相違を見つけました。

システムアクション: AUDIT ユーティリティーは取り消されます。

ユーザーの対応: LIBGEN によって制御データセット構成を変更するか、CSE に依頼して、LMU に保管されている ACS 構成を変更します。

SLS0241I

Invalid utility control statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、ユーティリティー制御文の継続やその他の一般的な構文エラー (括弧の不一致など) を検出したか、連結された制御文が 32767 文字の最大長を超えています。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 構文エラーを訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0242I

Required parameter CCCCCCCC is missing

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、必要なパラメータ (CCCCCCCC) の欠落している制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 欠落しているパラメータを指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0243I

LMU or LSM failure during operation in LSMid AA:LL, RC=XXXXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、自身の要求した LMU または LSM 操作から返されたエラーを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 障害の発生したおよその時間を記録して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。修理/調節アクションの実行後、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0244I

Scratch Redistribution completed successfully for ACS AA

説明: SLUADMIN SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーが、指定された ACS (AA) でのスクラッチボリュームの均衡化 (導入時に定義された許容範囲内での) を完了しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0245I

Specified ACS has fewer than two LSMs online; Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーが、スクラッチが均衡化されている ACS 内にオンラインの LSM が 1 つしかないと判断しました。この構成では、スクラッチ再分配はスクラッチボリュームを再分配できません。

システムアクション: 再分配は、スクラッチカートリッジを移動させないままで終了します。

ユーザーの対応: 指定された ACS 内に複数の LSM が存在する場合は、少なくとも 2 つの LSM をオンラインにして (MODify コマンドを参照)、スクラッチ再分配のユーティリティジョブを再送信します。

SLS0246I

No scratch volumes exist; Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーが、スクラッチが均衡化されている ACS 内にスクラッチボリュームが 1 つもないと判断しました。

システムアクション: そのユーティリティーは、スクラッチカートリッジを移動させないまま終了します。

ユーザーの対応: スクラッチ更新ユーティリティーを使用して ACS 内にスクラッチボリュームを定義してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0247I

Offline LSM in path for ejecting volume volser

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、カートリッジをイジェクトしようとしたが、そのカートリッジがオフラインの LSM 内にあるか、またはオフラインの LSM を通過する必要がありました。

システムアクション: そのユーティリティーは、カートリッジをイジェクトしないまま続行されます。

ユーザーの対応: すべての LSM がオンラインになったら、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0248I

CAP is in offline LSM (LSMid AA:LL); eject utility terminating

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーがカートリッジをイジェクトしようとしたが、そのカートリッジがイジェクトされる CAP がオフラインの LSM 内にありました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: すべての LSM がオンラインになったら、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0249I

Invalid scratch pool specified in PARM parameter of JCL statement

説明: 指定されたスクラッチプールが、SLUADMIN ユーティリティーによって認識されるものではありません。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: スクラッチプールに AL、SL、NL、または NSL を指定して、ユーティリティーを再送信します。

SLS0250D

Unnamed Cartridge in CAP cell AA:LL:CC:RR:C; reply "V,volser" or "Eject"

説明: 光学ラベルのないカートリッジが CAP セル AA:LL:CC:RR:C (RR は CAP 行、C は CAP 列を示す) に見つかりました。オペレータは、そのカートリッジのボリュームシリアル番号を指定するようにリクエストされます。カートリッジは、このボリュームシリアル番号によって「認識」されます。

システムアクション: カートリッジの挿入は、オペレータが照会に応答するまで待機します。ボリュームシリアル番号が別のライブラリカートリッジの重複でなければ、カートリッジはライブラリに挿入されます。

無効な応答を入力すると、メッセージ SLS0926I が発行され、そのあとでメッセージ SLS0250D が再発行されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- V,volser。ここで、volser は問題になっているカートリッジに適切なボリュームシリアル番号です。
- Eject。カートリッジをイジェクトする場合。

SLS0251E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:C is a duplicate and cannot be entered

説明: 重複したカートリッジ volser が CAP セル AA:LL:CC:RR:C (RR は CAP 行、C は CAP 列を示す) に見つかりました。重複したカートリッジをライブラリに挿入することはできません。

システムアクション: カートリッジの挿入は、カートリッジの見つかった CAP セル内にそれを残したまま、その CAP 内の次のカートリッジに処理を進めます。

ユーザーの対応: 重複したカートリッジを CAP から取り出します。カートリッジを挿入する必要がある場合は、同じボリュームシリアル番号を持つもう一方のカートリッジをイジェクトして、カートリッジの挿入を再度試みます。

SLS0252I

Cartridge volser entered into LSMid AA:LL

説明: ボリュームシリアル番号 *volser* がライブラリに挿入されます。その位置は、指定された ACS および LSM 内です。

システムアクション: カートリッジが挿入され、そのボリュームシリアル番号が光学的に検証されて、カートリッジがその新しい位置に移動されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0253I

Keyword CCCCCCCC cannot be specified more than once

説明: SLUADMIN ユーティリティーキーワード *CCCCCCCC* の重複がある SLSIN 制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0254I

Cartridge volser ejected to CAP cell AA:LL:CC:RR:C

説明: ボリュームシリアル番号 *volser* がイジェクトされ、指定の CAP 内にあります。

システムアクション: カートリッジがイジェクトされ、そのボリュームシリアル番号が制御データセットから削除されます。

ユーザーの対応: カートリッジを CAP から手動で取り出します。

SLS0255E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:C has an invalid volser and cannot be entered

説明: ボリュームシリアル番号 *volser* に無効な文字が含まれているため、ACS で許可されません。

システムアクション: カートリッジは CAP 内に残されるため、CAP が開くときに取り出す必要があります。

ユーザーの対応: カートリッジを CAP から取り出します。

SLS0256I

Scheduled Enter (SEnTER) cancelled

説明: イジェクト中の CAP に対して SEnTER コマンドが入力されました。カートリッジが挿入されなかったため、EJECT はカートリッジを挿入させないで完了します。

システムアクション: なし

User Response: The operator may want to start an ENter on the CAP in order to enter the cartridge needed.

SLS0257I

{ENTER|EJECT|END|BEGIN} failed; CAPid AA:LL:CC; DDDD1-DDDD2, CCC...CCC

説明: ENTER、EJECT、END、または BEGIN が、指定された CAPid (AA:LL:CC) 上で LMU エラーのために失敗しました。DDDD1 は LMU リターンコードであり、それに続く DDDD2 は LMU エラーのカテゴリとコードを示します。CCC...CCC は、そのエラーに関する 32 バイトの説明です。

考えられる LMU リターンコードは次のとおりです。

- 6500 - ソースが無効です
- 6501 - ソースが空です
- 6502 - ソースのボリュームシリアル番号が一致しません
- 6503 - ソースのボリュームシリアル番号が読み取り不可です
- 6504 - 予期しないボリュームシリアル番号がソースにあります
- 6505 - ターゲットが無効です
- 6506 - ターゲットがいっぱいです
- 6507 - ソースとターゲットが同じ ACS 内にありません
- 6508 - ソースとターゲットが同じ LSM 内にありません
- 6509 - ソースとターゲットが同じタイプではありません
- 6510 - LSM 接続パスが使用できません

- 6511 - LMU がオンラインになっていません
- 6512 - LMU との通信が失われました
- 6513 - 未完了応答ハンドラによって終了しました
- 6514 - LSM のハードウェアエラーです
- 6515 - LMU エラーです
- 6516 - CAP が保守モードになっています
- 6517 - CAP のドアが開いています
- 6518 - 挿入リクエストが保留になっています
- 6519 - イジェクトリクエストが保留になっています
- 6520 - CAP カタログが保留になっています
- 6521 - ドライブのロードエラーです
- 6522 - ドライブのアンロードエラーです
- 6524 - CAP はこのホストにすでに予約されています
- 6525 - CAP が別のホストに予約されています
- 6526 - CAP がこのホストに予約されていません
- 6527 - CAP との間の移動が保留になっています
- 6528 - LMU が停止しています
- 6529 - 無効なオプションフラグが指定されました
- 6530 - オプションコードが無効です
- 6532 - ボリュームシリアル番号が予想に反して読み取り可能です
- 6541 - LMU リスナーの接続に失敗しました
- 6542 - LMU タイマーの接続に失敗しました
- 6543 - LMU ステーションドライバの接続に失敗しました
- 6544 - LMU ステーションシミュレータの接続に失敗しました
- 6545 - LMU シミュレータの接続に失敗しました
- 6546 - LMU ワーカーの接続に失敗しました
- 6548 - LVT に HCT アドレスが見つかりませんでした
- 6549 - オフラインリクエストがすでに進行中です
- 6550 - ステーションがオフラインになっていません
- 6551 - ステーションがオンラインになっていません
- 6552 - LMU が存在しません

- 6553 - ステーションが存在しません
- 6554 - ソースとターゲットが同じパネル内にありません
- 6555 - ステーションがオフラインになっています
- 6558 - 無効な機能です
- 6568 - ブロードキャストメッセージがありません
- 6574 - ボリュームシリアル番号に無効な文字があります
- 6575 - メッセージに無効な文字があります
- 6578 - ステーションをオンラインに変更する際の通し番号がありません
- 6579 - ステーションをオンラインに変更する際のタイムアウトです
- 6582 - ボリューム動作が完了しました
- 6584 - 無効なブロードキャスト ID です
- 6586 - ドライブがアクティブであるか、巻き戻されていません
- 6587 - 特殊使用カートリッジのドライブのロードに失敗しました
- 6590 - ステーションを割り当てられません
- 6591 - ステーションのオープンに失敗しました
- 6592 - LSM がオフラインになっています
- 6593 - ホストバスグループの設定に失敗しました
- 6595 - 挿入操作が終了しました
- 6596 - 解放要求に対して挿入を取り消すことができません
- 6598 - LMU から受け取られた応答が無効です
- 65A0 - LSM がオンラインになっています
- 65A1 - LSM がオンライン保留になっています
- 65A2 - LSM がオフライン保留になっています
- 65A3 - LSM の準備ができていません
- 65A4 - LSM がオフラインになっていません
- 65A5 - LSM が保守モードになっています
- 65A6 - LMU の I/O エラーです
- 65A7 - 無効な取り消しリクエストです
- 65A8 - リクエストが取り消されました
- 65A9 - 取り消し対象のリクエストがアクティブではありません
- 65AA - リクエストの取り消しはもうできません

- 65AC - メディアが一致しません
- 65AD - メディアとボリュームシリアル番号が一致しません
- 65AE - メディアとドライブの互換性がありません
- 65AF - CAP マガジンが欠落しています
- 65FF - リクエストがパージされました

システムアクション: 進行中のアクション (ENTER、EJECT、END、または BEGIN) は完了しません。障害の発生した時点によっては、そのカートリッジがエラントになる場合があります。このメッセージに続いて、SDUMP または SVC ダンプが出力される場合があります。

ユーザーの対応: 問題の解決を試みます。これが不可能な場合は、ダンプと、MSP SYSLOG および SCP CONSLOG のコピーを保管しておき、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0258I

Request allowed selection of CAPid AA:LL:CC

説明: ENter または EJect リクエストは、システムによって選択された CAP (AA:LL:CC) をデフォルトとして使用します。このメッセージは、システムがそのリクエストに対して選択した CAP を示しています。

システムアクション: リクエストされたカートリッジは、示された CAP を介して挿入またはイジェクトされます。

ユーザーの対応: なし

SLS0261A

Open CAPid AA:LL:CC for entering when unlocked

説明: CAP 処理で、CAP AA:LL:CC を介してカートリッジの挿入が行われようとしています。LSM インジケータが点灯しているときは、オペレータがドアを開けてカートリッジを挿入できるように、CAP ドアのロックが解除されています。CAP は AA:LL:CC で識別されます。ここで、AA は ACSid、LL は LSMid、CC は LSM 内の特定の CAP 番号を示します。

システムアクション: システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで待機します。このとき、CAP の確認と CAP 内に見つかったカートリッジの挿入が行われます。

ユーザーの対応: CAP のドアを開けて、CAP に挿入すべきカートリッジを入れてから、CAP のドアを閉めます。

SLS0262I

Volume volser made errant

説明: ボリュームの現在位置を確認できませんでした。

システムアクション: そのボリュームはエラントになります。

ユーザーの対応: なし

SLS0263D

No storage space available for enter; reply Retry or Abort (R,A)

説明: 次のいずれかの状態のために挿入リクエストを完了できません。

- TLSM パラメータが ENter コマンドで指定されましたが、リクエストされた LSM 内に十分な格納スペースがないか、その LSM がオフラインまたはオフライン保留になっています。
- リクエストされた ACS 内に十分な格納スペースがないか、その ACS 内のすべての LSM がオフラインまたはオフライン保留になっています。

監査が進行中の場合、新しいセルの割り当ては一時的に停止されます。

システムアクション: カートリッジは、ユーザーが応答するまで CAP 内に残されません。

ユーザーの対応: 必要な格納スペースを解放してリクエストを再試行するか、リクエストを中止してカートリッジを CAP から取り出します。

LSM がオフライン保留の場合は、その LSM をオフラインにできるように挿入リクエストを中止します。カートリッジの挿入が必要な場合は、LSM を一時的にオンラインにして、挿入を再試行します。

SLS0265A

More than one cartridge in CAPid AA:LL:CC; expected only cartridge volser

説明: トランスポート挿入処理は、挿入とマウントの対象となるカートリッジを 1 回につき 1 つしか受け入れません。LSM によってスキャンされたときに、言及された CAP には複数のカートリッジが含まれていました。

システムアクション: トランスポート挿入は、CAP 内にすべてのカートリッジを残して、ドアのロックを解除し、指定されたカートリッジを除くすべてのカートリッジを取り出せるようにします。

ユーザーの対応: CAP のドアを開けて、*volser* を除くすべてのカートリッジを取り出してから、CAP のドアを閉めます。

SLS0266I

Invalid function code (XX) passed in parm list

説明: CAP エラーハンドラプログラムである SLSCESET に、無効な機能コード (XX) が渡されました。有効な機能コードは次のとおりです。

- 01 - ENTER
- 02 - EJECT
- 03 - END
- 04 - BEGIN

システムアクション: このメッセージは、ユーザーの異常終了 U1096、RC=262 の前に表示されます。

ユーザーの対応: SDUMP と、MVS SYSLOG および SCP CONSLOG のコピーを保管しておきます。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0267A

CAP processing {ejecting|terminating}; empty CAPid AA:LL:CC

説明: CAP のイジェクトプロセスで、除去する CAP にカートリッジがロードされたか、CAP の挿入プロセスで CAP からライブラリにボリュームを挿入できませんでした。オペレータは CAP のドアを開けて、示された CAP からカートリッジを取り出せます。

システムアクション: システムは、オペレータが CAP のドアを開閉するまで待機します。このとき、ロボットによって CAP が空であることが確認されます。システムによって CAP が空であることが確認されたあと、CAP プロセスが終了していない場合は、挿入プロセスまたはイジェクトプロセスが続行されます。CAP 内にカートリッジが残っている場合は、このメッセージが再発行されることがあります。

ユーザーの対応: CAP のドアを開けて、すべてのカートリッジを取り出してから、CAP のドアを閉めます。CAP の挿入プロセスを続行するには、システムによっ

て CAP が空であることが確認されるまで待機し、CAP ドアのロックを解除してからカートリッジを CAP に挿入します。

SLS0268I

UNSELECT failed for volser, RC=XXXX; volume is still selected

説明: Eject の実行時にソース位置が空であることがわかり、オペレータはその操作が無視されるようリクエストしました。ボリューム (volser) を選択解除しようとしたましたが、そのリクエストは失敗して、指定されたリターンコード (XXXX) が返されました。

システムアクション: ボリュームは選択されたままになります。ボリュームが完全にイジェクトされなかったため、制御データセット項目はそのまま存在します。

ユーザーの対応: リターンコードに従って、適切な一連のアクションを判断します。

SLS0269I

CAP termination found CAPid AA:LL:CC still active; will attempt Drain

説明: HSC が終了しようとしています。CAP 処理で、このホストに対してアクティブな CAP を検出し、その CAP 処理の停止を試みます。

システムアクション: システムは内部終了 CAP を呼び出し、それによって CAP 内のすべてのカートリッジがイジェクトされる可能性があります。

ユーザーの対応: オペレータのアクションをリクエストする可能性のあるメッセージが表示されるまで待機します。

SLS0270I

Attempt to enter duplicate volume volser rejected

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティー (MVS) またはカートリッジ挿入ユーティリティー (VM) が、すでにライブラリ内にあるボリューム (volser) を挿入する試みを検出しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティージョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの対応: 特定のボリュームを挿入する必要がある場合は、カートリッジのラベルを付け直して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0271I

Specified CAPid is not within ACS of Audit

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、指定された ACS 内での監査で特定の CAPid をリクエストしましたが、その CAP は、監査が行われる ACS とは異なる ACS 内にありました。

システムアクション: 監査処理は終了します。

ユーザーの対応: AUDIt ユーティリティー制御文をチェックします。指定された ACS が実際に、監査の実行されるべき要素を含む ACS であることを確認します。そうであれば、その ACS 内の CAPid を参照するように CAP パラメータを変更するか、CAP パラメータを指定しないで、ユーティリティーが使用可能なもっとも優先度の高い CAP を選択できるようにします。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0272I***Volume volser is not in same ACS as CAP***

説明: SLUADMIN EJECT (カートリッジイジェクト) ユーティリティーが、イジェクト用に選択された CAP を持つ ACS 以外の ACS 内にあるカートリッジの *volser* を指定しました。

システムアクション: そのボリュームはイジェクトされません。ユーティリティーは、指定された次のボリュームに処理を進めます。

ユーザーの対応: リクエストされたボリュームシリアル番号のある ACS の CAP を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0273I***Attempt to enter unlabeled cartridge rejected***

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティー (MVS) またはカートリッジ挿入ユーティリティー (VM) が、ラベルのないカートリッジをライブラリに挿入する試みを検出し、オペレータはその挿入を中止しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティージョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの対応: 特定のカートリッジを挿入する必要がある場合は、カートリッジに外部ボリュームラベルを付けるか、オペレータに対して、オペレータメッ

セージに受け入れ可能なボリュームシリアル番号で応答するよう指示します。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0274I

Attempt to enter cartridge with invalid label volser rejected

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティー (MVS) またはカートリッジ挿入ユーティリティー (VM) が、無効な *volser* またはメディアラベルを持つカートリッジを挿入する試みを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティージョブは、そのほかのボリュームに処理を進めます。

ユーザーの対応: 特定のボリュームを挿入する必要がある場合は、受け入れ可能な外部ラベルをカートリッジに付け直して、ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0276I

HSC server task abend; completion code XXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、HSC アドレス空間で実行される関連サーバータスクの異常終了を検出して終了しました。完了コード (XXXXXX) は、システム (最初の 3 桁の 16 進数) またはユーザー (最後の 3 桁の 16 進数) のどちらかの異常終了コードを示しています。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。また、「UTILITIES ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連サーバータスクの異常終了からの SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管しておけば、問題を診断する際に役立ちます。

SLS0277I

All journals are logically empty

説明: 指定されたジャーナルに、最後のバックアップ以降に書き込まれた差分が含まれていなかったため、復元処理中にそれらが制御データセットに適用されませんでした。これは、バックアップの直後に復元が実行されたときに起こるもので、ジャーナルを制御データベースに適用する必要がないことを意味しているにすぎません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0278I

LSM server subtask servicing LSMid AA:LL abended

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティーが、HSC アドレス空間内の LSM サーバーサブタスクの異常終了を検出し、監査を終了しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。また、「AUDIT LSM SERVER ESTAE ROUTINE」というラベルの付いた、関連サーバータスクの異常終了からの SVC ダンプもあります。このダンプのコピーを保管しておけば、問題を診断する際に役立ちます。

SLS0279I

An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、制御データセット内に割り当て済みのセルを検出しました。ユーティリティーが VOLRPT の場合、そのセルに割り当てられているボリュームはありません。ユーティリティーが AUDIT の場合、物理セルスキャンでそのセルが空であることがわかりました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このメッセージが APPLy(YES) の指定された監査から発行された場合、そのセルは解放されます。それ以外の場合、そのセルのあるパネルに対し、APPLy(YES) を指定した監査を実行して、セルを解放します。

SLS0280I

Journaling is not active; journal offload is not performed

説明: SLUADMIN ジャーナルオフロードユーティリティーが、導入に必要な HSC ジャーナルに対して試行されましたが、制御データセットは、この導入ではジャーナル処理が LIBGEN オプションとして選択されていないことを示しました。

システムアクション: ジャーナルオフロードを実行できません。

ユーザーの対応: BACKUP ユーティリティーを参照して、通常の BACKUP ユーティリティーを実行すべきかどうか、あるいは SET ユーティリティーを実行して回復技法を変更すべきかどうかを判断します。

SLS0281I

Missing or invalid SLSOFFdd DD statement

説明: SLUADMIN ジャーナルオフロードユーティリティーが、SLSOFFdd DD 文 (dd は 01 - 02) で表されたオフロードファイルを正常に開けませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: オフロードファイルを的確に参照する正しい SLSOFFdd DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0282I

Journal at DDname SLSJRNNn1 successfully off-loaded to data set defined by SLSOFFnn2 DD statement

説明: SLUADMIN ジャーナルオフロードユーティリティーから発行されたチェックポイントメッセージであり、識別されたジャーナルファイルが、識別されたオフロードファイルに正常にオフロードされたことを示しています (nn1 は 01 - 02、nn2 は 01 - 02)。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0283I

Offload of journal at DDname SLSJRNNn failed

説明: SLUADMIN ジャーナルオフロードユーティリティーが、識別されたジャーナルファイルの内容をオフロードデータセットに正常にコピーできませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 先行するメッセージを調べてエラーの原因を判断し、それについての説明とアクションを参照してください。

SLS0284I

SLSOFF02 DD statement specified, but no corresponding SLSJRNN02 DD statement

説明: SLUADMIN ジャーナルオフロードユーティリティーが、識別されたオフロードファイルを検出しましたが、対応するジャーナルファイルを見つけられませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN ジョブの JCL に、対応するオフロードおよびジャーナルファイル DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0286I

DDDDD volumes have been selected for scratching

説明: 出力された数字は、スクラッチ用に選択されたボリュームの総数を表していません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0287I

VOLSER parameter has a range value error

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、範囲フォーマットの値を含む VOLser パラメータが指定されている SLSIN 制御文を検出しましたが、その範囲が正しくありませんでした。低い値の長さ高い値の長さが等しくなかったか、低い値と高い値の非増分部分が同じではなかったか、または低い範囲の増分部分が低い範囲の増分部分に等しいか、それよりも大きかったかのいずれかです。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 制御文の VOLser パラメータの範囲値を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0288I

User not authorized to use this utility function

説明: 許可ライブラリから実行される必要のある SLUADMIN ユーティリティー機能が、無許可のライブラリから呼び出されたことを検出しました。無許可のユーザーが SLUADMIN ユーティリティー機能を使用しようとしたか、またはユーティリティーソフトウェアが不適切にインストールされたかのどちらかです。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 担当のシステムプログラミング要員に問い合わせ、StorageTek の自動ライブラリユーティリティー機能を必要とする場合の要件を明確にするように

してください。システムプログラミング要員は、ライブラリソフトウェアが許可ライブラリに正しくインストールされるようにする必要があります。

SLS0289I

SORT failure; refer to the sort message data set or job log

説明: SORT プログラムを必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、SORT からのエラーリターンコードを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: ソートメッセージデータセット (SYSOUT DD) またはジョブログ (SYSOUT DD がない場合) 内の SORT からのメッセージを参照して問題を解決し、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0290I

Subsystem is active on this host; restore terminated

説明: RESTORE ユーティリティーが、復元操作の実行されているホスト上で HSC ソフトウェアサブシステムがアクティブであることを検出しました。復元操作では、サブシステムが実行されていない必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: サブシステムを停止させて、RESTORE ユーティリティーを再実行します。

SLS0291I

Volume volser is currently errant; unavailable for processing

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が特定ボリュームシリアル番号 (volser) に対してユーティリティー固有の処理を実行しようとしたましたが、その時点でボリュームはエラント状態にあった (失われていた) ため、ユーティリティープロセスは実行できませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは、次のボリュームシリアル番号に処理を進めます。

ユーザーの対応: これはエラーとはみなされませんが、次の HSC サブシステムの初期化が実行されたあと、またはボリュームのエラント回復が完了したあとで、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信することをお勧めします。

SLS0292I

Scratch Redistribution failed - target LSM:LL has no available cells

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能が、SCREdist (スクラッチ再分配) を実行しようとしたが、指定された LSM にスクラッチボリュームの移動先として使用可能なセルがありませんでした。スクラッチ再分配を行うためには、各ターゲット LSM に空きセルが少なくとも 1 つ必要です。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 指定された LSM 内のセルの解放を試みてユーティリティージョブを再送信するか、再分配の範囲を少なくとも 1 つの空きセルを持つ LSM に縮小します。

SLS0293I

SLSTAPE DD statement does not identify a library transport

説明: SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが、ライブラリトランスポートを表していない SLSTAPE DD 文を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSTAPE DD 文が有効なライブラリトランスポートを識別するように JCL を変更します。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0294I

SLSTAPE DD statement identifies a library transport in a different ACS than the specified CAPid

説明: 特定の CAP をリクエストしている SLUADMIN カートリッジ初期化ユーティリティーが、指定された CAPid とは異なる ACS 内のライブラリトランスポートを割り当てている SLSTAPE DD 文を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSTAPE DD 文が、指定された CAP と同じ ACS 内の特定のライブラリトランスポートを識別するように JCL を変更するか、カートリッジ初期化ユーティリティーの制御文の CAP パラメータを変更します。次に、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0295I

Scratch Redistribution failed; too many LSMids specified

説明: LIBGEN に定義されているよりも多くの LSMid が、SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーへのパラメータとして使用されました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: LSMid の数を正しく指定して、ユーティリティーを再送信します。

SLS0296I

Scratch Redistribution prematurely ended; even distribution may not have occurred

説明: SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーが終了する前に、特定の LSM 内にあるスクラッチボリュームの数が予想された値よりも多いことが判明しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は完了します。

ユーザーの対応: 指定された ACS 内にある LSM 全体のスクラッチボリュームの分布を評価して、十分に行き渡っているかどうかを判断します。十分な場合は、それ以上何も行いません。不十分な場合は、ボリュームの分布が予想どおりではなかった原因を特定します (1 LSM あたりのスクラッチボリュームの平均数とスクラッチ許容レベルとの和または差)。必要に応じて、ユーティリティーを再実行してプロセスを完了します。

SLS0297I

VOLSER parameter not present with SCRATCH or UNSCRATCH option

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、スクラッチまたはスクラッチ解除するボリュームを識別するために必要な VOLser パラメータが指定されていない SCRATCH または UNSCRATCH 制御文を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SCRATCH または UNSCRATCH 制御文に VOLser パラメータを指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0298I

Missing or invalid SLSSOUT DD statement

説明: ユーティリティー機能が、選択されたトランザクションを入れるために必要な出力ファイルを見つけられませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLSSOUT DD 文を指定して、ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0299I

Unexpected return code; RC=XXXXXXXX

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、予期しないリターンコードを HSC アドレス空間コンポーネントから受け取りました。

システムアクション: ユーティリティーの処理は続行され、最終条件コードの 4 が返されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0320I

No value for tag T...T within header H...H for command C...C

説明: ヘッダー XML タグの処理中にデータタグが見つかりましたが、その値が指定されていませんでした。ヘッダータグが指定されている場合、データタグには値が必要です。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力コマンドの構文を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0321I

Tag H...H missing required element preceding tag T...T for command C...C

説明: ヘッダー XML タグの処理中にデータタグが見つかりましたが、ヘッダータグでは有効でないか、正しい位置にありませんでした。

ライブラリ位置タグ (acs、lsm、cap など) はグループタグ内で論理的な順番になっている必要があるので注意してください。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力コマンドの構文を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0322I

Both primary tag T...T and synonym T...T specified for command C...C

説明: シノニムとみなされる 2 つの XML タグが、両方とも同一のコマンド上で指定されていました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力コマンドの構文を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0323I

Illogical XML table setup between keywords K...K and K...K for command C...C

説明: これは内部エラーです。コマンドの解析テーブルに、2 つの異なるキーワードに対して同じ XML タグが指定されていました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: これは内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0324I

Illogical XML table setup for keyword K...K for command C...C

説明: これは内部エラーです。コマンドの解析テーブルに、同一のキーワードで同じ XML タグが 2 回指定されていました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: これは内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0325I

Header tag H...H contains unrecognized data tag T...T for command C...C

説明: ヘッダー XML タグの処理中に、有効でない (32 文字を超えるタグなど) データタグが検出されたか、定義されている下位のデータタグがすべて処理されたあとでデータタグが検出されました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力コマンドの構文を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0326I

No compatible virtual scratch volumes found [in subpool S...S]

説明: 仮想スクラッチボリュームを選択しようとした際、互換性のあるボリュームが見つかりませんでした。リクエストでサブプールが指定されていた場合、指定されたサブプールには使用できるボリュームがありませんでした。

システムアクション: スクラッチボリュームは選択されません。

ユーザーの対応: 可能であれば、リクエストに別のサブプールを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためのスクラッチリクエストを送信します。

SLS0327I***No compatible scratch volumes found in ACS AA [for media M...M] [for rectech R...R] [in subpool S...S]***

説明: スクラッチボリュームを選択しようとした際、要求された ACS 内に互換性のあるボリュームが見つかりませんでした。メディア、サブプール、または記録技法が指定されていた場合、これらの基準を満たす使用可能なボリュームがありませんでした。

システムアクション: スクラッチボリュームは選択されません。

ユーザーの対応: 可能であれば、リクエストに別のサブプールまたはメディアを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためのスクラッチリクエストを送信します。

SLS0328I***No scratch volumes found [for media M...M] [for rectech R...R] [in subpool S...S]***

説明: スクラッチボリュームを選択しようとした際、ライブラリスクラッチボリュームが見つかりませんでした。メディア、記録技法、またはサブプールが指定されていた場合、これらの基準を満たす使用可能なボリュームがありませんでした。

システムアクション: スクラッチボリュームは選択されません。

ユーザーの対応: 可能であれば、リクエストに別のサブプールまたはメディアを指定するか、スクラッチボリュームを使用可能にするためのスクラッチリクエストを送信します。

SLS0329I***Volume volser1 media is incompatible with first volume volser2***

説明: 複数のボリュームとドライブ情報の両方を指定した QUery VOLUME_INFO リクエストに、指定した最初のボリュームとそれ以降のボリューム間で互換性のないメディアがありました。

システムアクション: 選択されたドライブ用のメディアと記録技法は、最初のボリュームに基づいています。同じドライブにボリュームを2つマウントしようとする、2つめのマウントリクエストは失敗します。

ユーザーの対応: 入力を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0330I

Parameter P...P value V...V is incompatible with parameter P2...P2 volser2

説明: パラメータ P...P の値 V...V が、パラメータ P2...P2 の存在と互換性がありません。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0331I

Either parameter P...P or parameter P2...P2 is required for command C...C

説明: 指定された2つのパラメータのうちの1つを必要とするコマンド C...C が入力されました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 入力を訂正して、リクエストを再送信します。

SLS0332I

No compatible drives for request volser2

説明: 特定のボリュームまたはスクラッチボリュームのどちらかに対する照会コマンドが受け取られました。ボリュームのメディアおよび場所、またはスクラッチポリシーに基づき、そのリクエストで互換性があるドライブは見つかりませんでした。

システムアクション: ドライブ情報は返されません。

ユーザーの対応: 可能であれば、リクエストを変更して再送信します。

SLS0333I

No virtual volumes in subpool

説明: 仮想スクラッチボリュームの照会が受け取られました。リクエスト時に、仮想ボリュームが1つも含まれていないサブプールを指定したか、VOLPARM が有効になっているシステムでサブプールを指定しなかったために、DEFAULTPOOL 内に仮想ボリュームが存在していません。

システムアクション: そのリクエストから警告が返されます。

ユーザーの対応: スクラッチを選択したりスクラッチマウントを試みたりする前に、サブプール内で仮想ボリュームが使用可能になっていることを確認します。

SLS0334I

No valid media, model or rectech specified

説明: 照会コマンドの送信時にメディア、モデル、記録技法の各パラメータのある組み合わせが指定されましたが、これらのパラメータの有効な値が一切見つかりませんでした。

システムアクション: そのリクエストからエラーが返されます。

ユーザーの対応: 指定されたメディア、モデル、または記録技法のパラメータを訂正し、リクエストを再送信します。

SLS0350I

Invalid TMS specified in PARM parameter of JCL

説明: スクラッチ更新機能のスクラッチ変換ユーティリティーの PARM フィールドに指定された名前が TMS、TLMS、または RMM ではありません。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 値を訂正して、スクラッチ更新機能のスクラッチ変換ユーティリティーを再送信します。

SLS0351I

Scratch cartridges are within scratch tolerance level - Scratch Redistribution completed successfully

説明: SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティー機能が正常に完了して、プロセスに参与する LSM にはスクラッチ許容レベル内の数のスクラッチカートリッジが含まれています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0352I

Audit unable to physically scan cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能で、指定されたセル (AA:LL:PP:RR:CC) の物理スキャンを実行できませんでした。監査が「アクティブ」である (制御文に APPLY(YES) が指定されているか、デフォルト設定されている) 場合、そのセルに対する訂正アクションは実行できません。

システムアクション: この状態は条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: セルの内容および制御データセットの状態によっては、識別されたセルを含むライブラリ要素に対して 2 度目の監査を実行する必要がある場合があります。

SLS0353I

Audit unable to eject volume volser at cell AA:LL:PP:RR:CC which is a duplicate with volume in cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ機能が、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つ複数のライブラリカートリッジを検出しました。最初に指定された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) は重複したボリュームを示し、2 番目の位置は元のボリュームを示します。重複したものをイジェクトしようとしたのですが、監査は LMU エラーを検出したために、重複したボリュームを正常にイジェクトできませんでした。

システムアクション: この状態は条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: エラーが続く場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。ライブラリ内にどちらのボリュームがあるべきかに応じて、ライブラリ内に残されたボリュームをイジェクトし、重複したものを見つけて、再度挿入する必要がある場合があります。

SLS0354I

Audit unable to eject cartridge at cell AA:LL:PP:RR:CC which has an unreadable or illegal external label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ラベルの付いていないカートリッジ、外部ラベルが読み取り不可のカートリッジ、または不当な文字を含むラベルの付いたカートリッジを、定義された位置 (AA:LL:PP:RR:CC) で検出しました。カートリッジをイジェクトしようとしたのですが、監査は LMU エラーを検出したために、カートリッジを正常にイジェクトできませんでした。

システムアクション: この状態は条件コード 4 のエラーとして処理されます。監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: エラーが続く場合は、担当の StorageTek CSE に連絡してください。カートリッジを見つけて、ラベルを調べるようにしてください。ラベルが壊れている場合は、ラベルを付け直してカートリッジをライブラリに再挿入するか、カートリッジを元の位置で交換してから、そのセル位置を含むライブラリ要素に対してもう一度監査を実行するようにしてください。

SLS0355I

ROW parameter not allowed with PANEL value list parameter

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、ROW パラメータと、値リスト (複数の Panel id) を含む PANEL パラメータが指定されている制御文を検出しました。ROW パラメータが指定されている場合、AUDIT 制御文では 1 つのパネルしか識別できません。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0356I

COLUMN parameter not allowed with ROW value list parameter

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティが、COLUMN パラメータと、値リスト (複数の ROW id) を含む ROW パラメータが指定されている制御文を検出しました。COLUMN パラメータが指定されている場合、AUDIT 制御文では 1 つの行 (ROW) しか識別できません。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のパラメータを訂正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信します。

SLS0357I

Row index XX is invalid

説明: コマンドまたはユーティリティー制御文で指定された行番号 (XX) が LSM タイプでは無効です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: ROW パラメータを指定し直して、リクエストを再送信します。

SLS0358I

Column index XX is invalid

説明: コマンドまたはユーティリティー制御文で指定された列番号 (XX) が LSM タイプでは無効です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: COLUMN パラメータを指定し直して、リクエストを再送信します。

SLS0360E

{EJECT|AUDIT} Utility unable to reserve CAPid AA:LL:CC; utility waiting

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、特定の CAP (ユーティリティー制御文に CAP パラメータが指定されている場合) を、その CAP が別のプロセスで使用しているために割り当てられなかったか、CAP が必要とされる ACS 内にゼロ以外のプリファレンス優先度を持つ予約されていない CAP がありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは、ゼロ以外の優先度を持つ CAP が使用可能になるか、または特定の CAP が使用可能になるまで待機します。

ユーザーの対応: ユーティリティーを取り消して異なる CAPid を指定するか、その特定の CAP を使用するプロセスが完了するまで待機します。そのユーティリティーは継続的に CAP を獲得しようとします。CAP が指定されなかった場合は、ACS 内の CAP のプリファレンス優先度を表示し、使用可能な CAP のプリファレンスをゼロ以外に設定して (Display および CAPPref ライブラリコマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0361I

Duplicate CAPid AA:LL:CC specified; duplicate is ignored

説明: SLUADMIN EJECT ユーティリティーが、ユーティリティー制御文に同じ CAPid (AA:LL:CC) を複数回指定しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティージョブは続行されますが、以前に指定された CAPid が重複して指定された場合、それらは無視されます。

ユーザーの対応: ユーティリティー制御文上にある重複した CAPid 指定を削除します。

SLS0363I***Invalid specification of MIXED in PARM field of JCL statement***

説明: 大文字/小文字混合表記 (Mixed) のレポート見出しやメッセージ用に PARM フィールドに指定された名前が無効です。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: Mixed を正しく指定して、SCRAtch 更新変換プログラムを再送信します。

SLS0365I***An audit of LSM AA:LL is recommended; utility terminated***

説明: SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティーの実行中に、スクラッチボリュームの新しい場所として空のセルが選択されました。スクラッチボリュームをその新しいホームセルに移動している間に、新しいホームセル内にボリュームが見つかりました。CDS 情報が実際のハードウェアステータスと一致しませんでした。このエラーが3回発生すると、このメッセージが発行され、ユーティリティーは途中で終了します。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 指定された LSM の監査を実行して、それらの不一致を訂正することをお勧めします。LSM の監査に要する時間が長すぎる場合は、HSC ジョブログの SLS0698I メッセージを見直して、監査対象とすべき正確なセルを判別します。監査が完了したら、そのユーティリティーを再送信します。

SLS0366I***Volume volser not found in location (AA:LL:PP:RR:CC) specified in Control Data Set***

説明: ボリュームとその位置の検証処理中に、そのボリュームが制御データセットで指定されている場所に適合しませんでした。

システムアクション: この操作中にボリュームは移動されませんでした。

ユーザーの対応: 問題のあるボリュームの特定を試みるようにしてください。必要に応じて、そのボリュームの置かれていたパネルの監査を行います。

SLS0367I

External label on volume volser is unreadable

説明: SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティの実行中に、参照されたボリュームのラベルを読み取れませんでした。

システムアクション: この操作中にボリュームは移動されませんでした。制御データセットには、この状態を反映するマークが付けられました。

ユーザーの対応: 言及されたボリュームをライブラリからイジェクトし、その外部ラベルを調べて、ラベルが読み取り可能でない理由を特定するようにしてください。この状態がいくつかのボリュームで起こっている場合は、StorageTek CSE にその状態を報告してください。

SLS0368I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is empty - found during Scratch Redistribution

説明: SCREDIST (スクラッチ再分配) ユーティリティの実行中に、問題のセルが空であることが判明しました。この状態が検出されたときに、制御データセットは、そのセルにスクラッチボリュームがあることを示しており、それを移動させようとしていました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 指定されたセルを監査して、この状態を解消します。

SLS0369I

Volume volser is a cleaning cartridge; labelling ignored

説明: カートリッジ初期化ユーティリティの実行中に、クリーニングカートリッジのボリュームシリアル番号に一致するボリュームシリアル番号を持つカートリッジが挿入されました。このテープは初期化されませんが、LSM に挿入されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: クリーニングカートリッジを挿入する予定である場合は、何も行いません。クリーニングカートリッジを間違えて挿入した場合は、カートリッジをイジェクトすることをお勧めします。

SLS0370I

Volume volser is a cleaning cartridge; cannot be entered into Scratch List

説明: SLUADMIN スクラッチ更新ユーティリティーが、指定されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールに追加しようとしたが、そのボリュームシリアル番号はライブラリのクリーニングカートリッジとして定義されているため、スクラッチボリュームとして処理できません。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このエラーでスクラッチ更新ユーティリティーが取り消されることはありませんが、指定されたボリュームシリアル番号をチェックし、それを訂正して、SLUADMIN SCRAtch 更新ジョブを再送信することをお勧めします。

SLS0371I

Required DDNAME CCCCCCCC not found

説明: SLUADMIN JCL に、要求された DDname が指定されていませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS0373I

DDname CCCCCCCC failed to open

説明: 指定されたファイルを開こうとしたが、失敗しました。

システムアクション: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切なアクションを実行します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS0374I

Cleaning cartridge prefix has been set to CCC

説明: 自動クリーン変換ユーティリティーが正常に実行され、自動クリーンカートリッジの接頭辞が CCC に設定されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0375I

Duplicate Data Set names have been found

説明: ユーティリティの実行を試みたため、実行中に、重複したデータセット名が複数の DD 文に存在することが判明しました。

システムアクション: すべての DD 文のデータセット名を確認します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティを再度実行します。

SLS0376I

Volume volser is now unselected; owning host was CCCCCCCC

説明: UNSELECT ユーティリティが正常に実行されたため、指定されたボリュームが選択解除されます。そのボリュームを所有していたホストが示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0377I

Volume volser was not selected

説明: UNSELECT ユーティリティが、指定されたボリュームが選択されていないことを検出しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0378I

volser not ejected, not found in cell; IGNORED

説明: Eject 処理中に、イジェクト対象のボリュームがそのセル内に見つかりませんでした。HSC から SLS0698I、SLS0699I、および SLS0925D の各メッセージがコンソールに表示される場合もあります。オペレータは SLS0925D に対して「I」と応答しました。

システムアクション: Eject は、カートリッジをイジェクトしないまま続行されます。条件コード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: 必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際に AUDIT ユーティリティを実行することが望ましい場合もあります。

SLS0379I

volser not ejected, not found in cell; DELETED FROM CONTROL DATA SET

説明: Eject 処理中に、イジェクト対象のボリュームがそのセル内に見つかりませんでした。

システムアクション: Eject は、カートリッジをイジェクトしないまま続行されます。対応するボリュームレコードは、制御データセットから削除されます。

ユーザーの対応: 必要ありません。ただし、ボリュームを見つける際に AUDIT ユーティリティを実行することが望ましい場合もあります。

SLS0380I

Unable to communicate with CCCCCCCC to unselect volser

説明: UNSELECT ユーティリティが、選択解除リクエストを指定されたホストに送ってメモリー内テーブルのいくつかを更新されたことを確認しようとしたが、失敗しました。

システムアクション: そのユーティリティは終了します。

ユーザーの対応: 指定されたホストとの通信を再確立するか、指定されたホストで UNSELECT ユーティリティを実行します。

SLS0381A

{AUDIt|EJect|INITialize} Utility unable to reserve a CAP in ACS AA; utility waiting

説明: SLUADMIN ユーティリティ機能が、すべての CAP が別のプロセスで使用中的であるために、指定された ACS 内で必要な CAP を割り当てられなかったか、CAP が必要とされる ACS 内にゼロ以外のプリファレンス優先度を持つ予約されていない CAP がありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティは、ゼロ以外の優先度を持つ CAP が使用可能になるか、または指定された ACS 内にあるゼロの優先度を持つ CAP がゼロ以外になるまで待機します。

ユーザーの対応: ACS 内の CAP のプリファレンス優先度を表示して、使用可能な CAP のプリファレンスをゼロ以外に設定します (Display および CAPPref ライブラリ

コマンドを参照)。そのユーティリティーは継続的に CAP を獲得しようとしているため、新しくプリファレンス設定された CAP が選択されます。

SLS0382I

*SMF input file is not sorted by SMF record type, Date and Time;
utility terminated*

説明: HSC アクティビティーレポートユーティリティーを実行するリクエストが出されましたが、SMF 入力データが、SMF レコードタイプ、日付および時間でソートされていませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 次のようにソート制御文を指定して、SMF 入力データをソートします。

```
INCLUDE COND=(6,1,BI,EQ,'FF')
SORT FIELDS=(15,4,CH,A,11,4,PD,A,7,4,BI,A)
SUM FIELDS=NONE
```

注記:

X'FF' は SMFid のデフォルト 255 です。SMFid は 00 から FF までの範囲にでき、使用している SMFid に一致させるようにしてください。

SMF データのソート後、必要に応じて、新しくソートされたファイルを指すようにアクティビティーレポートの JCL を変更し、ジョブを再実行します。

SLS0383I

I/O error CCCCCCCC

説明: ユーティリティーデータセットの 1 つで I/O エラーが発生しました。CCCCCCCC はエラーを説明するメッセージ情報です。これには、ジョブ名、ユニットアドレス、DD 名、DECB ECB の 16 進ダンプ、相対ブロック番号などが含まれている可能性があります。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 問題を訂正して、ユーティリティーを再実行します。

SLS0384I

CCCCCCCC parameter changed from DDDDDDDD to EEEEEEEE

説明: SET ユーティリティーが、CCCCCCCC パラメータを DDDDDDDD から EEEEEEEE に正常に変更しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0385I

Hostid CCCCCCCC is active

説明: ユーティリティーが、指定されたホストがアクティブであると判断しました。しかし、リクエストされた機能では、指定されたホストが停止している必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 指定されたホストが非アクティブであることを確認してから、ユーティリティーを再実行します。

SLS0386I

HOSTid CCCCCCCC is active

説明: SET ユーティリティーが、指定されたホストがアクティブであると判断しました。しかし、リクエストされた機能では、指定されたホストが非アクティブである必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 非アクティブなホスト ID を指定してユーティリティーを再実行します。

SLS0387I

Parameter CCCCCCCC1 would create duplicate values of CCCCCCCC2

説明: SET ユーティリティーが、パラメータに指定された値が重複していると判断しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 重複したパラメータを指定しないで、ユーティリティーを再実行します。

SLS0388I

Hostid CCCCCCCC not found

説明: ホスト ID CCCCCCCC がデータベース内に見つかりませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 有効な CDS ホストになるようにホスト ID を訂正し、ジョブを再送信します。

SLS0389I

Database not formatted for dynamic Host addition

説明: 新しいホストをデータベースに追加するには、データベースが HSC リリース 2.1.0 以上である必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 最新リリースの HSC をインストールして、ユーティリティージョブを再実行します。

SLS0390I

Database already contains maximum number of Hostids

説明: データベースにはすでに 16 個のホスト ID が含まれています。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: データベース内のすべてのホストが導入に必要であるかどうかを確認します。必要であれば、この構成に新たなホストを追加することはできません。必要でなければ、LIBGEN を再実行して非アクティブなホストを削除し、新しいホストを追加します。

SLS0391I

All host DHBFLAGS reset in CDS

説明: SLUADMIN RESTORE ユーティリティーの実行中、プライマリ CDS が再構成されてからセカンダリコピーにコピーされるまでに、すべてのホストのすべての DHBFLAGS が null にリセットされました。これにより、すべてのホストが残存ステータス情報なしで通常どおりに開始されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0392I

Option CCC...CCC is invalid

説明: 指定されたオプション (CCC...CCC) が無効です。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: オプションを指定し直して、ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0393I

Cell location parameter contains non-hex value

説明: セル位置パラメータの値に、有効な 16 進データが含まれていません。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: セル位置パラメータを訂正して、ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0394I

Audit at ROW or COLUMN level of non-existent cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能で、指定されたセル (AA:LL:PP:RR:CC) の行 (ROW) または列 (COLUMN) レベルの監査を実行できませんでした。これは、指定されたセル位置が、存在しないセルであったためです。

システムアクション: 訂正アクションは必要ありませんが、ユーザーには、存在しないセル (複数の場合もある) を除外するように AUDIT 制御文を変更することをお勧めします。これは条件コード 4 のエラーとして処理され、監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: 何も必要ありません。ただし、類似した AUDIT ユーティリティー制御文は、その監査が ROW または COLUMN レベルの場合、存在しないセルを除外するように変更することをお勧めします。

SLS0395I

Panel free-cell count corrected for LSMid AA:LL, panel PP

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、LSM AA:LL 内のパネル PP の空きセルカウントが監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査がパネルレベル以上 (つまり、LSM または ACS)

のレベルで実行された場合にのみ発行されます。このカウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

システムアクション: 訂正アクションは必要ありません。監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0396I

LSM free-cell count corrected for LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティー機能が、LSM AA:LL 内の空きセルカウントが監査で見つかった空きセルの実際の数と一致しないことを検出しました。このメッセージは、監査が LSM または ACS レベルで実行された場合にのみ発行されます。このカウントは、検出された空きセルの実際の数に一致するように訂正されました。

システムアクション: 訂正アクションは必要ありません。監査ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0397I

Volume volser not found in library; not ejected

説明: SLUADMIN INIT ユーティリティー機能が特定ボリュームシリアル番号 (*volser*) に対して EJECT 処理を実行しようとしたのですが、そのボリュームシリアル番号がライブラリ内にありませんでした。

システムアクション: これは、初期化ジョブが完了する前に、別の CAP を介してボリュームシリアル番号 (*volser*) がイジェクトされているためです。リターンコード 4 が設定され、EJECT リクエストがほかにあれば、その処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0398I

Host CCCCCCC added to database

説明: 新しいホスト CCCCCCC がデータベースに追加されました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありません。

SLS0399I

Parameter CCCCCC has an invalid syntax

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、閉じ括弧の欠落といった無効な構文を含むパラメータ (CCCCCCC) が指定されている SLSIN 制御文を検出しました。

システムアクション: その制御文は無視されます。

ユーザーの対応: 制御文のそのパラメータの構文を訂正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信します。

SLS0400E*CCC...CCC CONFLICTS WITH CCC...CCC*

説明: ログファイルデータセット 1 がログファイルデータセット 2 と同名であったり、新しく指定した名前の中に既存名と競合する名前があったりするなど、2つのログファイル名が競合していることを SET LOGFILE ユーティリティーが検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: SET LOGFILE データセット名を訂正して、ユーティリティーを再送信します。

SLS0401I*Disabled logfile [1|2] is queued to be re-enabled*

説明: SET LOGFILE ユーティリティーの処理中に、新しいログファイルの DSN が、対応するアクティブ位置にある DSN と同一であり、そのログファイルに無効のフラグが付けられていることが判明しました。フォーマットの検証が行われたあと、そのログファイル名は再有効化されるためにキューに入れられます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 無効になっているログファイルを再有効化するには、OFFLOAD LOG ユーティリティーを実行する必要があります。

SLS0402I*SET LOGFILE not allowed; OFFLOAD LOG in progress*

説明: SET LOGFILE プロセスの実行中に、CDS によって、ログファイルの OFFLOAD が進行中であることが示されました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: OFFLOAD ユーティリティーが現在実行中の場合は、オフロードを完了させてから、SET LOGFILE ユーティリティーを再送信します。

OFFLOAD ユーティリティーが以前に失敗した場合は、RESTART キーワードを付けて OFFLOAD LOGFILE を実行してから、SET LOGFILE ユーティリティーを再送信します。

既存のログファイルデータを一切残さずにロギングを完全に停止するには、次のコマンドを実行します。

```
SET LOGFILE(OFF) IMMED
```

SLS0403E

```
SET LOGFILE DSN CCCCCC1 is not valid; CCCCCC2
```

説明: SET LOGFILE ユーティリティーの処理中に、リクエストされた新しいログファイル名の検証が試みられ、データセット名 CCCCCC1 のファイルに CCCCCC2 というエラーがあるため、それを使用できないことが判明しました。

システムアクション: SET LOGFILE ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: 示されたデータセット名のログファイルが存在し、カタログに入っていることを確認し、さらにそれが FMTLOG ユーティリティーでフォーマットされていることを確認します。現在アクティブなログファイルがある場合は、新しいログファイル内のブロック数が既存のログファイル内の数と一致していることを確認します。

SLS0404I

```
Volume Serial volser found selected at HSC Termination
```

説明: HSC 終了中にライブラリボリューム (volser) が選択されていることが判明しました。これは、そのボリュームがまだ使用中であるか、HSC 機能がそのボリュームを「所有」している (つまり、それが選択されている) 間に異常終了して、オペレータがその HSC を停止したことを示しています。

システムアクション: HSC の終了によって、そのボリュームは選択解除されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0405I

```
LOGFILE [1|2] DSN CCCCCC is unchanged
```

説明: SET LOGFILE ユーティリティーの処理中、示されたログファイルのデータセット名はこの位置にあるアクティブなログファイルと同一でした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0406W

WARNING: Error on offload logfile restart; log offload flag is reset

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが、失敗したオフロードを再起動しようとしたが、オフロード中のログファイルが、現在アクティブになっているログファイルの名前と一致しませんでした。また、オフロードされたログファイルが無効になっているため、再起動も失敗しました。

システムアクション: オフロード中を示すインジケータがリセットされます。

ユーザーの対応: 失敗したオフロードが実行中であったため、そのログファイルをオフロードすることはできません。前のオフロードで新しいログファイルを設定していた場合は、正常に処理を続行できます。それ以外の場合は、アクティブなログファイルが現在システム上にありません。SET LOGFILE ユーティリティーを使用すると、新しいログファイル名を設定したり、無効になっているログファイルを再アクティブ化したりできます。

SLS0410I

Free-Cell count error detected for LSM AA:LL, Panel PP

説明: LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、パネル PP に関するエラーがあります。HSC は、この LSM 内の別のパネルに空きセルを割り当てようとしています。

システムアクション: 今すぐ実行すべきアクションはありません。ただし、LSM AA:LL 内の指定されたパネル PP に対する監査をスケジュールして、CDS エラーを訂正するようにしてください。

ユーザーの対応: なし

SLS0411I

Free-Cell count error detected for LSM AA:LL

説明: LSM AA:LL に使用可能な空きセルを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードにエラーがあります。LSM の空きセルカウントはゼロではないのに、

いずれのパネル空きセルマップにも使用可能な空きセルがありませんでした。HSC は、LSM の空きセルカウントをゼロにします。

システムアクション: 今すぐ実行すべきアクションはありません。ただし、LSM AA:LL に対する監査をスケジュールして、CDS セルの割り当て情報を確認するようにしてください。

ユーザーの対応: なし

SLS0451I

No matching HOSTid

説明: LVT 内にあるホスト識別子が、LCT 内にあるホスト識別子のいずれとも一致しません。構成の初期化は完了できませんでした。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: LIBGEN エラーが発生したか、LIBGEN の行われていないホスト上で HSC を実行しようとした可能性があります。LIBGEN マクロの入力をチェックします。エラーが見つかった場合は、LIBGEN を再実行して制御データセットを再生成します。

SLS0452I

Attach failed for module SLSFLSMC

説明: 構成制御の初期化が、SLSFLSMC (LSM 機能変更リスナータスク) ロードモジュールの接続時に ATTACH からエラーリターンコードを受け取りました。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: HSC がその JOBLIB またはリンクリストを介して使用できるライブラリ内に SLSFLSMC ロードモジュールがあることを確認します。

SLS0453I

LMU error XXXXXXXX varying {ACS AA|station C...C} online

説明: 構成制御機能が、ステーション (デバイスアドレス C...C) または ACS AA をオンラインに変更しようとした際に、LMU ドライバからエラー (リターンコードは XXXXXXXX) を受け取りました。

システムアクション: 構成制御機能は中止されます。これにより、そのほかの上位機能も中止される可能性があります。

ユーザーの対応: 同じ時間帯に発生した LMU I/O エラーがあるかを MVS SYSLOG で調べて、それが LMU デバイスエラーであるか、それともソフトウェアの問題であるかを判別します。LMU エラー X'6559' の場合、別のホスト上で進行中の ACS 切り替えが存在します。別のホスト上の切り替えが完了するまで待機し、ACS オンラインを変更します。ソフトウェアの問題が疑われる場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0457I

LMU error XXXXXXXX modifying LSMid AA:LL online

説明: 構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオンラインに変更しようとした際に、LMU ドライバからエラーリターンコード (XXXXXXX) を受け取りました。

システムアクション: LSM はオフライン状態のままです。

ユーザーの対応: LMU がホストとの通信を行なっていて、オンライン状態であり、かつ LSM の準備ができていることを確認してから、コマンドを再発行します。

SLS0458I

LMU error XXXXXXXX modifying LSMid AA:LL offline

説明: 構成制御機能が、特定の LSM (AA:LL) をオフラインに変更しようとし、なおかつオペレータコマンド MODify lsm OFFline を FORCE オプション付きで発行した可能性があるのに、LMU ドライバからエラーリターンコード (XXXXXXX) を受け取りました。

システムアクション: 変更リクエストは中止されます。LSM は以前の状態のままです。

ユーザーの対応: LMU がホストとの通信を行なっていて、オンライン状態であり、かつ LSM の準備ができていることを確認してから、コマンドを再発行します。それがうまくいかない場合は、LMU ステーションをオフラインに変更して、コマンドを再発行します。

SLS0459E

LSMAA:LL not selected - Lock held by host CCCCCCCC

説明: HSC は LSM AA:LL をオンラインにしようとしてしました (初期化中、または「MODify LSM AA:LL ONLINE」オペレータコマンドにより)。ホスト CCCCCCCC で実行中の HSC が CDS 内の LSM レコードをロックしているため、そのレコードの排他的制御を取得できませんでした。

システムアクション: LSM はオンラインになりますが、一部の構成検証はスキップされます。特に、テープドライブのタイプは認識されないことがあり、デフォルトタイプに割り当てられます。これにより、割り当てや RTD の使用に悪影響が及ぶ場合があります。この状況を改善するには、オペレータの介入が必要です。

ユーザーの対応: まず、HSC ホスト CCCCCCCC がアクティブかどうかを確認します。万が一ちょうど同じ時点で HSC が初期化中である場合、その問題は一時的なものです。回復するには、LSM AA:LL をオフラインに変更してからオンラインに戻します。

```
MODify LSM AA:LL OFFline
MODify LSM AA:LL ONline
```

HSC ホスト CCCCCCCC がアクティブではないか、または LSM をオフラインに変更しようとして失敗した場合は、LSM を強制的にオフラインにしてからオンラインに戻す必要があります。

```
MODify LSM AA:LL OFFline FORCE
MODify LSM AA:LL ONline
```

LSM がオンラインに戻ったら、Display Drives コマンドを発行して、すべてのドライブが検出され構成されていることを確認できます。

SLS0460I

LSM AA:LL mismatch: LMU value T - CDS value T

説明: 構成制御検証機能が、LMU に定義されている LSM 構成と、LSM AA:LL の制御データセット内にある構成との間に不一致を検出しました。それぞれの T は、次のいずれかの値に置き換えられます。

- X - LSM が 4410 または 9310 として定義されています
- 3 - LSM が 9360 として定義されています
- 6 - LSM が 9740 として定義されています
- 7 - LSM が SL8500 として定義されています
- 8 - LSM が SL3000 として定義されています
- . - LSM は定義されていません

システムアクション: 構成制御検証機能は、すべての不一致を報告するために処理を続けます。HSC は起動したままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままになります。

ユーザーの対応: 2つのステータス行を比較すると、LSM 構成内のどこに相違があるかがわかります。実際の物理構成に基づき、(1) LMU 構成に合わせて LIBGEN パラメータを変更し、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成する、(2) StorageTek CSE に依頼して、LIBGEN パラメータに合わせて LMU 構成を変更する、のどちらかを行います。

SLS0500I

Copyright (C) 1991, 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

説明: このメッセージは、ホストソフトウェアの初期化中に発行されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0501I

Module CCCCCCCC return code XXXXXXXX

説明: 呼び出されたモジュールが、初期化または終了リストの処理中にリターンコード XXXXXXXX で終了しました。

システムアクション: 初期化中にエラーが発生すると、ほとんどの場合、HSC は終了し次のレベルに移ります。いくつかの重大なエラーが発生した場合、HSC は終了します。終了中にエラーが発生すると、HSC は終了処理を続けます。

ユーザーの対応: 初期化中または終了中に問題が絶えず発生し、リターンコードでは問題を特定するのに十分な情報が得られない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0503I

SMF subtype XX is invalid and is ignored

説明: このサブシステムの SUBPARM パラメータに、無効なサブタイプが指定されました。使用できる値は、「1」から、ドキュメントに記載された最大値までです。

システムアクション: この値は無視され、次のサブタイプ値がある場合はその処理に進みます。

ユーザーの対応: 導入で、記録されるサブタイプを変更する必要がある場合は、「SYS1.PARMLIB」内の該当する SMFPRM_{xx} メンバーを編集し

て、SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...))) に正しいサブタイプを指定します。次に、SET SMF を発行して、それらのサブタイプを有効にします。

SLS0504I

Error processing CCCCCCCC1; abend CCCC2 RCXXXXXXXXX

説明: モジュール CCCCCCCC1 への呼び出しが、初期化または終了リストの処理中に、ユーザーまたはシステムの異常終了 (CCCC2) により、理由コード RCXXXXXXXXX で終了しました。

システムアクション: 異常終了のタイプによっては、初期化/終了処理が続行される場合があります。

ユーザーの対応: SYSLOG およびジョブログ内に、関連するメッセージがあるかどうかを調べます。問題がシステムの異常終了である場合は、『IBM MVS Extended Architecture Message Library: System Codes Manual』を参照してください。問題がユーザーの異常終了である場合は、該当する IBM のドキュメントを参照してください。これらのマニュアルを使用しても問題を解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0505I

SSCVT CCCC not allocated for HSC subsystem

説明: 初期化中に、HSC サブシステムが、そのサブシステムの呼び出し用の SSCVT が作成されていないことを検出しました。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: HSC サブシステムが SYS1.PARMLIB の IEFSSNxx メンバー内に正しく定義されていることと、モジュール SLSBPREI がシステムリンクリストのライブラリ内にあることを確認します。

SLS0506I

Modify commands not supported by CCCC HSC subsystem

説明: MODIFY (F) コマンドが HSC サブシステムに送られました。この時点では、MODIFY インタフェースはサポートされていません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0507I*HSC preinitialization failure*

説明: 初期化中に、HSC サブシステムが初期化前処理のエラーを検出しました。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0508I*Multiple subsystem start not allowed; ACS CCCC {ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING| RECONFIGURING|INVALID FLAG} in single mode*

説明: 別の HSC サブシステムが単一モードで実行されているために、追加の HSC サブシステムを起動する試みが拒否されました。

システムアクション: 新しいサブシステムの処理は終了し、実行中のサブシステムの処理が継続されます。

ユーザーの対応: 実行されているサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止します。

SLS0509I*Single mode HSC start rejected; another HSC subsystem is active*

説明: 別の HSC サブシステムが実行されているために、HSC サブシステムを起動する試みが拒否されました。

システムアクション: 新しいサブシステムの処理は終了し、実行中のサブシステムの処理が継続されます。

ユーザーの対応: 実行されているサブシステムを判別して、正しいサブシステムを起動または停止します。

SLS0510I*Multiple SSCVTs exist for HSC subsystem CCCC*

説明: サブシステムの初期化中に、サブシステムが、同じ SSCTSNAM フィールドを持つ 2 つの HSC SSCVT が存在することを検出しました。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: サブシステム名テーブルには HSC サブシステムのエントリが必ず 1 つだけ含まれるようにします。再 IPL を行なって SSCVT チェーンを再作成します。

SLS0511I

All keywords following error are ignored

説明: EXECParm 文に、無効なキーワードが含まれていました。前のメッセージに表示されたキーワードで解析は停止し、サブシステムの初期化が継続されます。

システムアクション: HSC の初期化は、解析済みの PARM 文字列の一部のみを使用して継続されます。

ユーザーの対応: 前のエラーメッセージに表示されたエラーを訂正して、サブシステムを再起動します。

SLS0512E

HSC subsystem CCCC is {ACTIVE|TERMINATING|INITIALIZING| RECONFIGURING| INVALID FLAG}

説明: サブシステムが起動され、CCCC という名前の別の HSC サブシステムが ACTIVE、TERMINATING、INITIALIZING、RECONFIGURING、または INVALID FLAG であることが判明しました。

システムアクション: 新しいサブシステムの処理は終了します。

ユーザーの対応: メッセージが間違っていて発行されたとオペレータが判断した場合は、起動パラメータに RESET オプションを指定して、サブシステムを再起動します。

SLS0518D

**WARNING* The HSC subsystem is not in key 1-7; results may be unpredictable; reply YES to continue or NO to terminate execution*

説明: HSC の保護キーが 1-7 以外であることが判明しました。HSC サブシステムが正しく動作するには、そのキーが 1-7 であるべきです。

システムアクション: 初期化は応答待ちになります。

ユーザーの対応: 「NO」と応答すると、HSC は終了します。「YES」と応答すると、初期化は継続されますが、HSC は限られた機能で実行されます。予測できないイベントがいくつか発生する可能性があります。たとえば、HSC が異常な数の SLS0107D メッセージを生成したり、EDL (適格デバイスリスト) が正しく変更されなかったりする可能性があります。担当のシステムプログラマか、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0519I

HSC subsystem CCCC terminating abnormally

説明: サブシステムが、異常終了またはオペレータの取り消しにより、異常終了しようとしています。

システムアクション: HSC の処理は終了します。

ユーザーの対応: 終了がオペレータの取り消しによるものではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0520I

{GTF EID|GTF FID} invalid or not provided, defaulting to XXXX

説明: GTF EID または GTF FID が指定されなかったか、HSC の起動プロシージャの EXEC 文、または PARMLIB 内の EXECParm 制御文のパラメータとして正しく指定されませんでした。

システムアクション: XXXX というデフォルトの EID または FID が使用されます。

ユーザーの対応: HSC EXECParm 制御文に指定されているか、起動プロシージャの EXEC 文のパラメータとして指定されている GTF EID または GTF FID 値を訂正します。次回 HSC を起動したときに、新しい値が取得されます。

SLS0521I

CCCCCCCC failed to open; no automatic commands issued

説明: HSC の自動コマンドコンポーネントから、SLSSYScc メンバーまたは DD 名を指定するよう要求されています。cc は、メンバーまたは DD 文名の接尾辞を表します。CCCCCCCC は、データセット名とメンバーまたは DD 文名を示します。

システムアクション: HSC は、自動コマンドリストなしで起動します。

ユーザーの対応: 導入で、サブシステム起動時に自動コマンドを発行する必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc または SLSSYScc DD 文を作成して、起動プロシージャの MEMBER パラメータに接尾辞(cc)を指定します。

SLS0522I

Allocation of SYS1.PARMLIB(SLSSYScc) failed; no automatic commands issued; RC=XXXX

説明: HSC の自動コマンドコンポーネントから、発行元の SLSSYScc メンバーを指定するよう要求されているか、EXEC パラメータのメンバー名が正しく指定されませ

んでした。cc は、メンバーまたは DD 文名の接尾辞を表します。XXXX は動的割り当てエラーの理由コード (S99ERROR) です。

システムアクション: システムは、自動コマンドリストなしで起動されます。

ユーザーの対応: 導入で、サブシステム起動時に自動コマンドを発行する必要がある場合は、SYS1.PARMLIB メンバーの SLSSYScc を作成し、起動プロシージャの MEMBER パラメータに接尾辞を指定するか、SLSSYScc DD 文を指定します。

SLS0523I

Volume volser found errant during reconfiguration, home location is AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能が、古い制御データセット内に、AA:LL:PP:RR:CC をホーム位置とするエラントボリューム (volser) を検出しました。

システムアクション: 検出されたエラントボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) エラントとマークされました。

ユーザーの対応: 上記のステータスを解消するために、指定されたセルの監査を新しい制御データセットで実行するようにしてください。

SLS0524I

Volume volser found selected during reconfiguration, home location is AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能が、古い制御データセット内に、AA:LL:PP:RR:CC をホーム位置とする選択ボリューム (volser) を検出しました。

システムアクション: 選択ボリュームは、新しい制御データセットにコピーされて、(その新しい制御データセット内で) 選択解除とマークされました。

ユーザーの対応: ボリュームステータスを検証するために、指定されたセルの監査を新しい制御データセットで実行するようにしてください。さらに、再構成の実行中に、別のホストでアクティブになっていたほかの HSC サブシステムがないことを確認します。別のホストで HSC がアクティブになっていた場合、新しく作成された制御データセットは破損する可能性があります。別のホストで HSC がアクティブになっていなかった場合、新しく作成された制御データセットは正常とみなされます。

SLS0525I

Reconfiguration completed successfully

説明: 再構成機能が正常に完了しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 新しく作成された制御データセットを使用してサブシステムを起動する必要があります。次に、VOLRPT (ボリュームレポート) ユーティリティー機能を実行し、そのレポートの内容を分析します。

SLS0527I

Reconfiguration function is currently executing; DO NOT START other HSC subsystems

説明: 再構成機能が現在実行されています。変更や非同期状態が起こるのを防ぐため、同じ CDS を共有するホストでほかの HSC サブシステムを実行させたり、起動させたりしないでください。

システムアクション: 再構成処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0529I

An empty but allocated cell detected at cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能の実行中に、割り当て済みのセルが空であることがわかりました。

システムアクション: 再構成機能の処理は続行されます。

ユーザーの対応: 再構成機能によってエラーメッセージが発行されていなければ、新しいデータセットは正常とみなされます。割り当て済みのセルが空である状態を解消するには、HSC ソフトウェアを新しく構成されたデータセット (複数の場合もある) で起動し、上記のセルに対して監査を実行します。

SLS0530I

Reconfiguration completed having found the above control data set conditions

説明: 再構成が完了しました。しかし、制御データセットの破損につながる可能性のある状況が、機能の実行中に検出されました。

システムアクション: 再構成から出されたほかの出力メッセージを調べて、メッセージの重大度を判断します。

ユーザーの対応: 新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行い、考えられるエラー状態をすべて訂正します。

SLS0531I

Database mismatch; Volume volser, Cell Index AA:LL:PP:RR:CC, VAR Location AA:LL:PP:RR:CC

説明: 再構成機能が、セル索引位置とボリュームホーム位置を比較した際に不一致を検出しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 新しく作成された制御データセットで、生成されたメッセージ対象のセルの監査を行い、考えられるエラー状態をすべて訂正します。

SLS0539I

Unknown volume found, review prior SLS0874A Messages; 'Y' to acknowledge

説明: HSC の起動中に、(HSC にとって) 未知のボリュームが見つかり、LSM から手動で取り出す必要があることを知らせるメッセージ SLS0874A が発行されました。このメッセージは、そのボリュームが取り出されるまで、HSC の起動のたびに発行されます。このメッセージへの応答は、ユーザーがメッセージを確認したことを示すだけです。LSM にカートリッジを放置しておいても HSC の通常の機能が妨げられることはありません。

システムアクション: 応答を受け、処理は正常に続行されます。カートリッジは見つかった場所に放置されます。

ユーザーの対応: LSM を開き、メッセージ SLS0874A の指示に従って、ライブラリから該当のカートリッジを取り出します。このメッセージは、HSC の起動、および HSC サービスレベルが BASE から FULL になるたびに発行されます。

SLS0545I

HSC subsystem CCCC STOP (P) command received

説明: オペレータコマンド STOP (P) が、指定されたサブシステムに対して発行されました。

システムアクション: サブシステムは終了処理を開始します。

ユーザーの対応: なし

SLS0548I

LMURQST error XXXXXXXX for Read ACS statistics

説明: パフォーマンスモニターが、READ ACS STATISTICS コマンドを発行し、表示されたリターンコードを受け取りました。

システムアクション: SMF 統計レコードは書き込まれません。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0551I

{SMF|COMPRFX|MAJNAME|EJCTPAS|

{SMF|COMPRFX|MAJNAME|EJCTPAS|HOSTID(CCCCCCCC)|

NNLBDRV(CCCCCCCC)|ADJACNT(CCC)} parameter outside valid range

{SMF|COMPRFX|MAJNAME|EJCTPAS|HOSTID(CCCCCCCC)|

説明: LIBGEN パラメータの

SMF、COMPRFX、MAJNAME、EJCTPAS、HOSTID(CCCCCCCC)、NNLBDRV(CCCCCCCC)、または ADJACNT(CCC) が有効な範囲内にありません。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0552I

STATION(XXXX1)|LSM(AA:LL)|SYSLIST(CCCCCCCC1)|STATION(XXXX1)|

LSM(AA:LL)|SYSLIST(CCCCCCCC1)|

HOSTDRV(CCCCCCCC2)|HOSTID| PASTHRU(D)|LSMDRV(CCCCCCCC3)|

ADJACNT(CCCCCCCC4)|DRIVE(DD)| DRVELST(CCCCCCCC5)|

ADDRESS(XXXX2)| ACSDRV(CCCCCCCC6) parameter not found

説明: 必須の LIBGEN パラメータが指定されませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0553I

```
{ACSDRV=(CCCCCCC1)|ADDRESS|LSMDRV=(CCCCCCC2)|PASTHRU=(D)|
DRIVE=(CCCCCCC3)|TYPE/WINDOW|
WINDOW=(D)|TYPE=(CCC4)|DELDISP|SCRLABL|
TCHNIQE|DOOR=(CCC5)|VSMONLY=CCCCCCC6|
FUTRACS=(DD,DD)|
FUTRLSM=(8500,CCC7)}
```

parameter invalid value

説明: LIBGEN パラメータに指定された値が無効です。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0554I

```
TOO MANY {ACSDRV|LSM|LSM=(CCCCCCC1)|ADDRESS|
```

```
ADDRESS=(XXXX1)|HOSTID(CCCCCCCC2)|NNLBDRV|
```

```
LSMDRV|DRIVE|PASTHRU|'PASTHRU=(D)''|
```

```
'ADJACNT=(CCCCCCC3)''|SYSLIST|
```

```
DRIVE=(CCCCCCC4)|'DRVELST=(CCCCCCC5)''|
```

```
HOSTID|ADDRESS(XXXX2)|WINDOW=(D)|SYSLIST(CCCCCCCC6)} values
specified
```

説明: 指定されている値が多すぎます。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、ジョブを再実行します。

SLS0555I

Too many CCCCCCCC macros specified

説明: LIBGEN に指定されている CCCCCCCC マクロの数が多すぎます。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0556I

CCCCCCCC macro missing or out of sequence

説明: CCCCCCCC が LIBGEN に指定されなかったか、間違った順序で指定されました。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0557I

*Database successfully initialized; total cartridge capacity:
DDDDDDDDDDDD*

説明: 制御データベースまたはジャーナル、あるいはその両方のすべてのコピーが正常に初期化されました。DDDDDDDDDDDD は、このデータベース用のカートリッジ容量の合計を示します。

SL3000 または SL8500 に対して LIBGEN を実行する際の DDDDDDDDDDDDD は、使用しているライブラリの実際の容量ではありません。LSM をオンラインに変更したあとで、D ACS または D LSM オペレータコマンドを使って実際の容量を表示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0558I

CLNPRFX operand must be three volser characters, valid values are (A-Z, 0-9, AND \$#@)

説明: CLNPRFX オペランドが、A-Z、0-9、\$、#、または @ で構成された 3 文字ではありません。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、ジョブを再実行します。

SLS0559I

Drive panel numbers must be in ascending order

説明: DRIVE PANEL 番号が昇順で指定されていませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS0560E

CCCCCCCC errors encountered

説明: CCCCCCCC 機能でエラーが検出されました。

システムアクション: そのユーティリティーはゼロ以外のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、ジョブを再送信します。

SLS0562I

CCCCCCCC - Installation verified

説明: CCCCCCCC によって導入の検証が行われました。ここで、CCCCCCCC は実行されていた IVP を示します。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 00 で終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS0563I

Host SID CCCCCCCC, UNITNAME CCCCCCCC is not in EDT or has no supported tape devices

説明: ユーティリティー (ホスト SID CCCCCCCC で実行されている) が、SLILIBRY マクロの>NNLBDRV パラメータまたは SLIACS マクロの ACSDRV パラメータのどちらかに指定されたユニット名がこのホストの EDT 内になかったか、あるいはユニット名は存在するがサポートされているテープデバイスが含まれていなかったと判断しました。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかのアクションを実行します。

- LIBGEN を繰り返して、ユニット名を変更します。

- SET ユーティリティを使用します。
- そのホストで EDTGEN を実行して、ユニット名を追加します。

SLS0564E

Host SID CCCCCCCC was not defined in LIBGEN

説明: ユーティリティ (ホスト SID CCCCCCCC で実行されている) が、ホスト SID CCCCCCCC が LIBGEN 内に指定されていなかったと判断しました。

システムアクション: 処理は終了します。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかのアクションを実行します。

- LIBGEN を繰り返し、SLILBRY マクロの HOSTID パラメータに CCCCCCCC を指定します。
- SET ユーティリティを使用します。
- LIBGEN に定義されているホストでジョブを実行します。

SLS0565E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a supported tape device

説明: ホスト ID (CCCCCCCC) が、デバイス番号 XXXX が SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに指定されているサポート対象のテープデバイスではないと判断しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかのアクションを実行します。

- LIBGEN を繰り返し、SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除します。
- SET ユーティリティを使用します。
- HCD を使用して、そのユニットをサポート対象のテープデバイスとして定義します。

SLS0566E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is not a 3278

説明: ホスト ID (CCCCCCCC) が、デバイス番号 XXXX が SLISTATN マクロの ADDRESS パラメータに指定されている 3278 ではないと判断しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかのアクションを実行します。

- LIBGEN を繰り返し、SLISTATN マクロの ADDRESS パラメータから XXXX を削除します。
- SET ユーティリティーを使用します。
- HCD を実行してデバイス番号を 3278 にします。

SLS0567E

Unable to allocate drive XXXX1; SVC 99 = XXXX2, XXXX3

説明: ユーティリティーが、デバイス番号 XXXX1 を割り当てられませんでした。XXXX2 は情報理由コードで、XXXX3 はエラー理由コードです。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 動的割り当てエラーの原因を解決して、ジョブを再送信します。

SLS0568I

Message DDDD does not exist

説明: LIBGEN マクロが、メッセージ DDDD を発行するようリクエストしました。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 14 が設定されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0569E

Invalid LIBGEN load module specified

説明: LIBGEN ロードモジュールに対して発行されたロードマクロが失敗しました。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: LIBGEN ロードモジュールが使用可能であることを確認します。

SLS0570I

Macro CCCCCC already specified

説明: 指定された LIBGEN マクロはすでに発行されています。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: ラベルを訂正して、ジョブを再送信します。

SLS0571I

Number of values for {STATION|HOSTDRV} parameter must equal number of hosts

説明: 指定された LIBGEN パラメータには、SLILIBRY マクロの HOSTID パラメータに指定されているホスト識別子の数に等しい数の値を指定する必要があります。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信します。

SLS0572I

Number of values for {PASTHRU|DRIVE} parameter must equal number of values for {ADJACNT|DRVELST} parameter

説明: 指定された LIBGEN パラメータのペアには、同じ数の値を指定する必要があります。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信します。

SLS0573E

Parameter list is missing or invalid

説明: ユーティリティーが、そのユーティリティーに指定されたパラメータが欠落しているか、無効であると判断しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 一連のパラメータを指定します。

SLS0574E

CCCCCCC program not permitted to do Dynamic Allocation

説明: このユーティリティーによる動的割り当ての実行が、導入検証ルーチン (IEFDB401) で許可されませんでした。

システムアクション: 処理は停止します。

ユーザーの対応: そのプログラムによる動的割り当ての実行を許可して、ジョブを再送信します。

SLS0575E

CCCCCCCC DD statement missing

説明: 指定された DD 文が見つかりませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 指定された DD 文を定義して、ジョブを再送信します。

SLS0576E

Unable to load LIBGEN module CCCCCCCC (XXXX1 - XXXX2)

説明: 指定されたロードモジュール CCCCCCCC をロードできませんでした。XXXX1 - XXXX2 は、システムから発行された異常終了コードと理由コードです。

システムアクション: 処理は停止します。

ユーザーの対応: CCCCCCCC を含むライブラリが STEPLIB に指定されていることを確認してから、ジョブを再送信します。

SLS0577I

Panel number 10 must be specified as the last operand for the DRIVE= parameter

説明: SLILSM マクロの DRIVE= パラメータには、ドライブパネルとしてパネル 10 を指定する必要があります。このパネルが DRIVE= オペランドから欠落しているか、DRIVE= パラメータの最後のオペランドとして指定されていません。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、ジョブを再実行します。

SLS0578E

Invalid ACSid

説明: SLIEXERS プログラムの EXEC 文の PARM= パラメータに指定された ACSid が無効 (範囲外) です。

システムアクション: 処理は停止します。

ユーザーの対応: 正しい ACSid を指定して、ジョブを再送信します。

SLS0579I

Number of CCCCCC values specified is less than the number of hosts

説明: CCCCCC に指定されたマクロパラメータは、SLILIBRY HOSTID パラメータに指定されたホストの数と同数のオペランドを持つ必要があります。あるホストについてオペランドを意図的に省略する場合は、プレースホルダーとしてコンマを使用する必要があります。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 04 に設定されます。

ユーザーの対応: パラメータの数を訂正して、ジョブを再送信します。

SLS0580I

The RESERVE= parameter has been discontinued and is ignored; it should be removed

説明: RESERVE= パラメータは、初期の保守サイクルで削除されたため、もう使用されていません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは正常に続行され、結果となる LIBGEN モジュールは影響を受けません。

ユーザーの対応: 都合のよいときに、SLIRCVRY マクロから RESERVE= パラメータを削除します。LIBGEN アセンブリを再実行する必要はありません。

SLS0581I

SLIPTPCK - PASTHRU parameter #N of BBB does not have a corresponding ADJACENT parameter specified

説明: BBB というラベルの、SLILSM マクロに定義された N 番目の PASTHRU パラメータに、適合する ADJACNT パラメータエントリがありません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: パススルーポートが定義されているもう一方の LSM に対応する ADJACNT パラメータエントリを追加します。LIBGEN アセンブリを再実行します。

SLS0582I

SLIPTPCK - AAA is adjacent to BBB, but BBB is not adjacent to AAA

説明: LSM AAA は LSM BBB の SLILSM マクロ内に、隣接するものとして定義されていますが、BBB は LSM AAA の SLILSM マクロ内では、隣接するものとして定義されていません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: AAA の SLILSM マクロの ADJACNT パラメータに LSM BBB のエントリを入れます。LIBGEN アセンブリを再実行します。

SLS0583I

SLIPTPCK - ADJACENT parameter N (VVV) of AAA does not have a corresponding PASTHRU parameter specified

説明: AAA というラベルの、SLILSM マクロの ADJACNT キーワードにある N 番目のパラメータには VVV という値が含まれていますが、これには対応する PASTHRU パラメータがありません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: LSM AAA の N 番目の ADJACNT パラメータに対応する PASTHRU パラメータに値を入れます。LIBGEN アセンブリを再実行します。

SLS0584I

SLIPTPCK - PASTHRU parameter N of AAA and PASTHRU parameter O of BBB are both defined as type TTT

説明: LSM AAA の N および LSM BBB の O という対応する PASTHRU パラメータが、どちらも同じ PTP タイプの TTT (MASTER または SLAVE) として定義されています。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: 競合している PASTHRU パラメータの一方を、反対のタイプに変更します。

SLS0585I

SLILSM - SLILSM macro labeled CCCCCC has a DRIVE/PASTHRU PORT/WINDOW assigned to number NN

説明: CCCCCC というラベルの付いたマクロに、ドライブ、パススルーポート、またはウィンドウに割り当てられているのと同じパネル番号があります。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: PASTHRU、DRIVE、または WINDOW パラメータを変更して、パネル番号を訂正します。

SLS0586I

SLISTATN address DDDD will not be used by HSC

説明: SLISTATN マクロはステーションアドレスを 0 に定義しました。HSC は、アドレスが 0 のステーションを「ダミー」ステーションであるとみなし、それを使用しません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 8 に設定されます。

ユーザーの対応: そのステーションを使用する予定の場合は、0 以外のアドレスに変更します。

SLS0587I

PASTHRU parameter required when defining an ACS with multiple LSMS

説明: SLIACS マクロが複数の LSM を定義しました。SLILSM マクロでは、PASTHRU パラメータをコーディングして、隣接する LSM 間のパススルーポートを定義する必要があります。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは続行され、アセンブリのリターンコードは 12 に設定されます。

ユーザーの対応: SLILSM マクロで PASTHRU パラメータをコーディングして、隣接する LSM 間のパススルーポートを定義します。

SLS0600I

Volume volser; AA:LL:PP:RR:CC, {Selected|Unselected}, {Scratch|Nonscratch}<, Mounted>

説明: Display Volume コマンドがボリューム *volser* に対して発行されました。そのボリュームのホームセルは *AA:LL:PP:RR:CC* です。ここで、*AA* は ACSid、*LL* は

LSMid、*PP* は 10 進数でのパネル番号、*RR* は 10 進数での行番号、そして *CC* は 10 進数での列番号を示します。表示には、そのボリュームが現在選択されているかどうかを示されます。ボリュームのスクラッチステータスも表示されます。

「Mounted」がメッセージに表示されるのは、そのボリュームがドライブにマウントされている場合のみです。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0601I

Volume volser - detail:

```
Home cell:          AA:LL:PP:RR:CC
Scratch:            {YES|NO}
Selected:           {YES|NO}
<Mounted:           drive DDDD|driveid AA:LL:PP:NN>
<Owning host:       CCCCCCCC>
External label:     {YES|NO}
<Label readable:   {YES|NO}>
Inserted:           YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Last selected:      YYYY-MM-DD HH:MM:SS
Select count:       DDDD
Media type:         MMMMMMMM
Rectech:            RRRRRRRR
Media Label:        LLLLLLLL
Media Match:        {YES|NO|VOLATTR Only|Label Only|Undefined}
Warranty Life:      NNN%|UNKNOWN}
<Not eligible for SCRATCH>
```

説明: DETail オペランドを持つ Display Volume コマンドがボリューム *volser* に対して発行されました。そのボリュームに関する使用可能なすべての情報が複数行の WTO に表示されます。

「Home cell」行では、*AA* は ACSid、*LL* は LSMid、*PP* は 10 進数でのパネル番号、*RR* は 10 進数での行番号、そして *CC* は 10 進数での列番号を示します。

「Mounted」行は、ボリュームがマウントされている場合にのみ表示されます。drive *DDDD*|driveid *AA:LL:PP:NN* は、ボリュームのマウント先ドライブを示します。

「Owning host」(*CCCCCCCC*) 行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。

「Label readable」行は、ボリュームに外部ラベルがある場合にのみ表示されます。

「Inserted」と「Last selected」の行はそれぞれ、ボリュームがライブラリに挿入された日時と、最後に選択された日時を示します。日付のフォーマットは YYYY-MM-DD です。

MMMMMMMM と RRRRRRRR は、ボリュームのメディアタイプと記録技法です。LLLLLLL は、外部ラベルのメディアタイプが読み取り可能かどうかを示します。表示されたメディア値が LMU から読み取られたものでない場合は、値 N/A (該当なし) が表示されます。

Media Match の値は、ボリュームのメディアタイプ値がどのように決められたかを示します。

- YES

LMU はメディアラベルを読み取りました。そのボリュームには VOLATTR または VOLPARM が定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致します。

- NO

LMU はメディアラベルを読み取りました。そのボリュームには VOLATTR または VOLPARM が定義されています。メディアラベルと VOLATTR または VOLPARM は、メディアタイプに関して一致しません。

- VOLATTR Only

ボリュームの VOLATTR または VOLPARM は存在しますが、LMU はメディアタイプを判別できませんでした。これは、ライブラリ外にあるボリュームに対して VOLATTR または VOLPARM が定義されているときに有効です。

- Label Only

LMU はメディアタイプを判別しましたが、そのボリュームの VOLATTR または VOLPARM は存在しません。

- Undefined

LMU はメディアタイプを判別しませんでした。そのボリュームの VOLATTR または VOLPARM は存在しません。

「No」、「Label Only」、または「Undefined」の値は、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。ライブラリ内のボリュームについての「VOLATTR Only」の値も、VOLATTR/VOLPARM 文にエラーがあることを示します。どちらの

状況でも、Display SCRatch コマンドで無効なスクラッチカウントが生じることがあります。

「Not usable」は、クリーニングカートリッジまたは診断カートリッジをマウントしようとする、許可されていないリクエストを示します。

「Warranty Life」は、ボリュームのマウント解除時に、LMU 互換性レベルが 21 以上のテープライブラリのために取得されるパーセント値です。サポートされていないライブラリにあるボリュームや、MWL サポートの適用後にマウント解除されていないボリュームに対しては、「Unknown」が表示されます。

「Not eligible for SCRATCH」は、ボリュームが VSM MVC である場合に表示され、ボリュームをスクラッチできないことを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0602I

Volume volser - errant:

```
Scratch:                {YES|NO}
Selected:               {YES|NO}
<Owning Host:          CCCCCCCC>
Last known locations:
Home:                   CELL AA:LL:PP:RR:CC
Source:                 {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
Destination:           {CELL AA:LL:PP:RR:CC |
                        CAP AA:LL:RR:CC |
                        DRIVE XXXX
                        DRIVEID AA:LL:PP:NN}
<Lost in:              LSM AA:LL>
```

説明: Display Volume コマンドがボリューム volser に対して発行されました。そのボリュームがエラントであることが判明しました。そのボリュームの最後にわかっている位置が一覧表示されます。ボリューム位置の行では、AA は ACSid、LL は LSMid、PP は 10 進数でのパネル番号、RR は 10 進数での行番号、CC は 10 進数での列番号、NN は 10 進数でのドライブ番号、そして XXXX はデバイスユニットアドレスを示します。「Owning host」行は、ボリュームが選択されている場合にのみ表示されます。「Lost in」行は、LSM 内でボリュームが失われた場合にのみ表示されます。

システムアクション: ボリュームは、エラント回復によって処理されるか、ライブラリから論理的に取り出されるまでは、エラント状態のままです。

ユーザーの対応: そのボリュームに対してエラント回復を呼び出します。エラント回復を呼び出すには、ボリュームをマウントしたり、LSM をオンラインに変更したりする方法があります。

SLS0603I

Volume(s) volser1<-volser2> not in ACS

説明: Display Volume コマンドでリクエストされた 1 つまたは複数のボリュームが ACS 内に見つかりませんでした。コマンドにボリューム範囲が指定されていて、その範囲内の一連のボリュームが見つからなかった場合は、その一連のボリュームに対して 1 つのメッセージが表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0604I

Invalid volser range (volser1-volser2) for CCCCCCCC command, CC=XX

説明: CCCCCCCC コマンドにボリュームの範囲 (volser1-volser2) が指定されましたが、その範囲が構文的に無効でした。XX は構文エラーの性質を示す条件コードで、次のものがあります。

- 08 - ボリュームシリアル番号の増分時にオーバーフローが発生しました。その結果がボリュームシリアル番号の増分部分よりも大きくなりました。
- 12 - 指定された範囲内のボリュームシリアル番号の 1 つに、増分できない部分があります。
- 16 - 指定された範囲内のボリュームシリアル番号の 1 つに、無効な文字が含まれています。
- 20 - 指定された範囲内の 2 番目のボリュームシリアル番号が最初のボリュームシリアル番号以下です。
- 24 - 範囲内に指定されたボリュームシリアル番号の増分可能部分に互換性がありません。
- 28 - volser が英字の場合は、比較対象となる volser が必要です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: ボリュームシリアル番号の有効な範囲を指定して、CCCCCCCC コマンドを再入力します。

SLS0605I

Volser range (volser1-volser2) for CCCCCCCC command exceeds NNN volumes

説明: CCCCCCCC コマンドにボリュームの範囲 (volser1-volser2) が指定されました。その指定された範囲に、NNN を超えるボリュームが含まれています。CCCCCCCC コマンドのボリューム範囲内にあるボリュームの数は、最大 NNN に制限されています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: NNN 以下のボリュームを含む範囲を指定して複数の CCCCCCCC コマンドを入力するか、volser の範囲に制限のない関連バッチユーティリティーを実行します。

SLS0607I

Invalid CCCCCCCC1 option - CCCCCCCC2

説明: ある特定のコマンドのキーワードに無効なオプションが指定されました。CCCCCCCC1 は入力されたキーワードです。CCCCCCCC2 は CCCCCCCC1 キーワードのオプションです。

システムアクション: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: 該当する ELS ガイドを参照するか、HSC の「Display CMd」コマンドを発行して、指定されたコマンドキーワードでサポートされているオプションを確認します。

SLS0609I

Invalid {OPTION} CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 value - DDDDDDDD1; value must be within range DDDDDDDD2-DDDDDDDD3

説明: OPTion コマンドのオプションに数値が指定されました。その指定された値が、そのオプションで許容される最小値を下回るか、そのオプションで許容される最大値を上回っています。CCCCCCCC1 は OPTion コマンドに入力された機能です。CCCCCCCC2 は OPTion コマンドに入力されたオプションです。DDDDDDDD1 は OPTion コマンドに入力された値です。DDDDDDDD2 はそのオプションで許容される最小値です。DDDDDDDD3 はそのオプションで許容される最大値です。

システムアクション: OPTion コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: 該当する ELS ガイドを参照するか、HSC の「Display CMd OPTion」コマンドを発行して、指定された機能でサポートされている値を確認します。

SLS0612I

The CCCCCCCC1 command is at a command Service Level unknown to the HSC

説明: オペレータコマンドが入力されましたが、HSC はそのコマンドのサービスレベルを認識しませんでした。CCCCCCCC1 は入力されたオペレータコマンドです。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: これは HSC の内部エラーです。StorageTek ソフトウェアサポートに報告するようにしてください。

SLS0613I

The CCCCCCCC1 command cannot be processed at the current HSC Service Level

説明: オペレータコマンドが入力されましたが、HSC はそのコマンドを実行できるサービスレベルにありませんでした。CCCCCCCC1 は入力されたオペレータコマンドです。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: HSC が適切なサービスレベルにあるときに、CCCCCCCC1 コマンドを再入力します。

SLS0614I

The number of ACSes to add exceeds Future ACS

説明: F CONFIG ADD ACSTYPE (acstype,N) コマンドが発行されたときに、指定された ACS の数が予約されている将来の ACS の数を超過しています。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: コマンドを再入力し、ACS の数が将来の ACS の数に等しいか、それよりも小さくなるように指定します。または、LIBGEN を再生成して、将来の ACS の数を増やします。LIBGEN のソースを参照して、FUTRACS パラメータ値を確認します。

SLS0615I

Invalid ACSTYPE option format

説明: ACSTYPE オプションの指定されたパラメータフォーマットが正しくありません。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 該当する ELS ガイドを参照するか、HSC の「Display CMd」コマンドを発行して、ACSTYPE オプションの正しいフォーマットを確認します。

SLS0651I

Allocation of station device XXXX failed - XX1, XX2

説明: 指定されたステーションを割り当てようとしているときに、エラーが発生しました。XX1 には SVC 99 エラーコードが含まれ、XX2 には情報コードが含まれます。

システムアクション: そのステーションはオンラインに変更されません。

ユーザーの対応:

- ステーションアドレスが有効である場合は、問題を解決して、Vary Station コマンドを再発行します。
- ACS に対して IP アドレスが定義されていた場合は、有効な LMUPATH 文が作成され、LMUPDEF データセットに入っていることを確認します。
- 問題が続く場合は、Oracle ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0652I

Open of station device XXXX failed

説明: 指定されたステーションを開こうとしているときに、エラーが発生しました。

システムアクション: そのステーションはオンラインに変更されません。

ユーザーの対応: 問題を解決して、Vary Station コマンドを再発行します。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0653I

SHPG of station C...C failed - CCCCCC

説明: 指定されたステーションでのホストパスグループの設定 (SHPG) に失敗しました。

システムアクション: そのステーションにはオフラインのマークが付けられます。

ユーザーの対応: LMU 接続およびステータスを確認します。HSC のすべての初期化が完了していることを確認してから、ステーションまたは ACS をオンラインに変更します。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0655I

ACS AA station C...C communicating

説明: 指定されたステーションが通信を開始しました。

システムアクション: LMU を待機しているすべてのリクエストが再発行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0657E

ACS AA station C...C not communicating

説明: ステーションを ACS AA との通信に使用できません。

システムアクション: すべてのリクエストが別のステーション (使用可能な場合) にルーティングされます。

ユーザーの対応: 問題を診断して解決します。3270 ステーションに対して I/O エラーメッセージが生成された場合は、そのステーションをオフラインに変更することが必要な場合があります。

SLS0658I

A Configuration or Capacity Changed Request was received from ACS NN

説明: ライブラリが、リクエスト外の構成または容量変更のメッセージを LMU または ACS NN で発行しました。これは、ライブラリのハードウェア構成が変更され、NCO 構成の更新が必要であることを示しています。

システムアクション: NCO 構成の更新は自動的に開始されます。NCO の試みによって SLS4458E メッセージが受け取られる場合は、現在の NCO 操作が完了した時点でそれが再開される可能性があります。

ユーザーの対応: SLS4458E メッセージが受け取られ、なおかつ現在の NCO アクティビティが完了したのに NCO がリクエスト側 ACS で更新を開始しない場合は、MODIFY CONFIG UPDATE ACS(NN) オペレータコマンドを発行する必要があります。

SLS0660I

ERR BCST - CCCCCCC

説明: 無効なブロードキャストが受け取られました。このメッセージはそのブロードキャストについて説明しています。

システムアクション: 処理が続行されます。そのブロードキャストは無視されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0661E

ACS AA not communicating

説明: ACS AA との通信に使用されるステーションがすべて応答していません。

システムアクション: すべてのリクエストが LMU ハードウェアエラー (6515) とともに戻されます。

ユーザーの対応: Vary コマンドを使用してステーションをオフラインにしてから、オンラインに変更します。ステーションがオンラインにならない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS0662I

LMU Response error - AA,XXXX,XX,DD

説明: エラーのある応答が受け取られました。

- AA はブロックの送信先または送信元である ACS の ACSid を表します。
- XXXX は使用されているステーションのデバイス番号を表します。
- XX は次のいずれかのエラーコードを表します。
 - 04 - 複数の応答タイプが無効です
 - 08 - シーケンス番号が数値ではありません
 - 0C - 応答は予期されていませんでした
 - 10 - 応答が無効です (理由コードを参照)
 - 14 - 応答タイプが数値ではありません
 - 18 - エラー応答が受け取られました
 - 20 - ブロードキャストタイプが不明です
 - 28 - ブロードキャストが無効です (理由コードを参照)
- DD は次のいずれかの理由コードを表します。

- 00 - 該当なし
- 01 - 応答コードが無効です
- 02 - 応答サイズが無効です
- 03 - ホスト ID が無効です
- 04 - スレーブ ID が無効です
- 05 - 無効な LSM 変更ステータスが見つかりました
- 06 - パススルーポートカウントが無効です
- 08 - 応答の長さが無効です - 短すぎます
- 09 - 応答の長さが無効です - 均等に分割できません
- 0A - 月が無効です
- 0B - 日が無効です
- 0C - 時間が無効です
- 0D - 分が無効です
- 0E - 秒が無効です
- 0F - アームの使用率が無効です
- 10 - パススルーカウントが無効です
- 11 - 応答の長さが無効です - 長すぎます
- 12 - LRQ の応答が欠落しています
- 13 - LSM が無効です
- 14 - ドライブパネルが無効です
- 15 - ドライブ行が無効です
- 17 - ソフト障害の回復カウントが無効です
- 80 - 構成ステータスが無効です
- 81 - マスター LSM が無効です
- 82 - マスターパネルが無効です
- 83 - スレーブ LSM が無効です
- 84 - スレーブパネルが無効です
- 90 - LSM カウントが無効です

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0663I

LMU Block error - AA,XXXX,XX,DDD

説明: エラーのあるブロックが受信または送信されました。

- AA はブロックの送信先または送信元である ACS の ACSid を表します。
- XXXX は使用されているステーションのデバイス番号を表します。
- XX は次のいずれかのエラーコードを表します。
 - 1C - ブロック解除エラーです。LMU が不正なブロックを送信しました。
 - 24 - ACK エラーです。LMU または HSC が不正なブロックを送信しました。
- DDDD は次のいずれかの理由コードを表します。
 - 1 - 有効なブロックインジケータが受け取られませんでした
 - 2 - 伝送の始めが見つかりません
 - 3 - 伝送の終わりが見つかりません
 - 4 - トランザクションの始めが見つかりません
 - 5 - トランザクションの終わりが見つかりません
 - 6 - インタフェースがどのホストに対してもグループ化されていません
 - 7 - ホスト ID が不正です
 - 8 - ホストパスグループ設定オプションが不正です
 - 9 - インタフェースが別のホストに参加しています
 - 10 - ホスト ID が所有ホストと一致しません
 - 11 - ブロックヘッダーに数値以外のデータがあります
 - 12 - スタンバイ LMU はリクエストのブロックを受け入れられません
 - 13 - スイッチオーバーはすでにアクティブです
 - 50 - 不正なブロックシーケンス番号が予期しない ACK で見つかりました
 - 51 - スタンバイ LMU からのリクエストブロックの ACK が不正です
 - 52 - スタンバイ LMU からのリクエストブロックの ACK が不当です
 - 124 - LMU からの ACK のブロック長が数値ではありません
 - 136 - 不正なブロックシーケンス番号が LMU からの ACK にあります

システムアクション: 処理が継続されます。

ユーザーの対応: MVS SYSLOG または SCP CONSLOG および PM2 ACS ブロック解除レポートを StorageTek ソフトウェアサポートに送信します。

SLS0664I

ACS AA Busy; station C...C offline pending

説明: Vary OFFline が、指定されたステーションまたは ACS に対して発行されました。ステーション C...C は LMU でオンラインにされている最後のステーションであり、LMU に対してアクティブな作業がありました。

システムアクション: そのリクエストは、LMU のアクティブな作業が完了するまで待機します。

ユーザーの対応: なし

SLS0665E

ACS AA Degraded; LSM AA:LL, Condition D, FSC XXXX

説明: パフォーマンス低下の原因となる障害が発生した ACS AA からメッセージを受信しました。ACS は通常どおりに機能し続けます。

- LL は LSM を示します。「FF」の場合、障害の発生したデバイスは LMU です。
- D は条件コードです。「1」の場合、デバイスは動作不能です。「2」はパフォーマンスの低下を示します。
- XXXX は障害症状コード (FSC) です。それぞれのエラーコードについては、障害症状コードディクショナリを参照してください。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。そのときに、FSC (XXXX) も用意しておいてください。

SLS0666A

LSM AA:LL access door has been opened

説明: 指定された LSM アクセスドアが開いていました。

システムアクション: その LSM に関係しているリクエストはすべて、ドアが閉められて準備完了になるか、LSM が強制的にオフラインに変更されるまで待機します。

ユーザーの対応: LSM ドアを閉め、LSM を強制的にオフラインに変更して手動モードにします。

SLS0667I

LSMAA:LL access door has been closed

説明: 指定された LSM アクセスドアが閉まっていました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0668I

LSMAA:LL CCC...CCC

説明: LSM が、メッセージの可変テキスト部分に従って、正常にオンラインまたはオフラインに変更されました。

CCC...CCC のテキストに次のように示されている場合:

Is Offline; Temp Outage Queue has been purged.

LSM はすでにオフラインになっており、MODify lsm ONline が一時停止キュー上に見つかりませんでした。

Ready; Temp Outage Queue Will Be Re-Driven.

MODify lsm ONline コマンド、LSM 準備完了イベント、または LMU 準備完了イベントのいずれかが正常に処理され、一時停止キュー上の保留中のすべてのリクエストが待機リクエストキューにふたたび入れられます。

システムアクション: システムは、メッセージのテキストに示されているように一時停止キューを処理します。

ユーザーの対応: なし

SLS0669A

LSMAA:LL not ready (C)

説明: 指定された LSM の準備ができていません。C は、LSM の準備が完了していない理由を表しています。次の理由があります。

- 0 - 応答が、LSM の準備が完了していないことを示しています。
- 1 - 構成の不一致です
- 2 - 初期化に失敗しました

- 3 - 通信が失われました
- 4 - メカニズムの障害です
- 5 - LSM の初期化ができません - CAP ドアが開いています
- 6 - LSM の初期化ができません - プレイグラウンドを空にする必要があります
- 7 - LSM に容量の不一致があります
- 8 - キードアが開いています

システムアクション: その LSM に関係しているリクエストはすべて、LSM が準備完了になるか、LSM が強制的にオフラインに変更されるまで待機します。

ユーザーの応答: LSM を準備します。これが不可能な場合は、LSM を強制的にオフラインに変更して手動モードにします。

SLS0670I

Modify of LSM AA:LL pending (DDDDDDDD)

説明: LSM に対する別の変更処理がアクティブであるときに、さらに MODify lsm リクエストが発行されました。保留キューは現在 DDDDDDDD の段階にあります。

システムアクション: 変更処理は待ち状態になります。

ユーザーの対応: なし

SLS0671I

Vary of ACS {AA|AA station C...C} pending (DDDDDDDD)

説明: ACS に対する別の Vary 処理がアクティブであるときに、さらに Vary STation または Vary ACS リクエストが発行されました。Vary 処理の保留キューは現在 DDDDDDDD の段階にあります。

システムアクション: Vary 処理は、キューのいちばん上に達するまで待機します。

ユーザーの対応: なし

SLS0672E

LSM AA:LL {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - needs cleaning

説明: 指定されたドライブに、クリーニングカートリッジを挿入する必要があります。トランスポートは、ユニットアドレス (XXXX)、またはドライブがこのホストに

定義されていない場合はドライブ ID (ドライブ AA:LL:PP:NN の acs、lsm、パネル、および番号) のどちらかで識別されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: トランスポートにクリーニングカートリッジをマウントします。

注記:

HSC の自動クリーニング機能はオフに設定されています。このメッセージが発行されないようにするには、HSC MNTD AUtocln(ON) コマンドを使って HSC 自動クリーニング機能をオンにします。

SLS0673I

LSM AA:LL pending offline

説明: 指定された LSM に対して MODify lsm OFFline リクエストが発行されましたが、その LSM は使用中でした。リクエスト (Mount、DISMount など) がアクティブであったか、CAP が予約されていたかのどちらかです。

システムアクション: オフラインリクエストは待ち状態になります。使用中ではなくなると、MODify lsm OFFline リクエストが実行されます。必要であれば、MODify lsm OFFline を FORCE オプション付きで発行し、アクティビティーに関係なく LSM をオフラインにします。

ユーザーの対応: なし

SLS0674I

ACS AA Station C...C driver cannot run without ESTAE

説明: このステーションは、ESTAE 環境の確立に 3 回失敗しました。通常、再試行ルーチンをスケジュールする ESTAE ルーチンがない状態では、回復可能エラーを回復できません。このステーションが稼働停止した場合は、HSC のリサイクルをスケジュールします。

- AA は ACS 番号です。
- C...C はステーションのアドレスです。

システムアクション: HSC の処理は続行しますが、ステーションは非アクティブなままになります。

ユーザーの対応: この問題は、ACS をオフラインに変更してからオンラインに戻すと解決することがあります。

SLS0675E**LSM AA:LL CCC...CCC**

説明: メッセージの可変テキスト部分に示されているように、LSM の障害または部分的な障害が検出されました。

CCC...CCC のテキストに次のように示されている場合:

- Try MODIFY Again; Config Request Failed.

SLSLCLSM は、データベースからの LSM の現行ステータスの取得に 3 回失敗しました。LSM が自動モードであるとデータベースにより示されている場合でも、LSM は論理的にオフラインです。

- Try MODIFY Again; Read LSM Status Failed.

SLSLCLSM は、LMU からの LSM の現行ステータスの取得に 3 回失敗しました。LSM が自動モードであることがデータベースにより示されている場合でも、LSM は論理的にオフラインです。

- Try Modify Again When LSM Is Ready.

LSM が準備可能ではないことが SLSLCLSM により検出されたため、LSM は現在の状態では論理的にオンラインにできません。LSM が自動モードであることがデータベースによって示されている場合でも、LSM は論理的にオフラインです。

- Try MODIFY Again; Modify LSM Online Failed.

LSM が準備可能ステータスであることが検出されましたが、SLSLCLSM は LSM のオンラインへの切り替えに 3 回失敗しました。LSM が自動モードであることがデータベースにより示されている場合でも、LSM は論理的にオフラインです。

- Is Online, But CAP Query Failed.

LSM は現在オンラインですが、LSM のすべての CAP レコードに対する構成照会が失敗しました。CAP 予約/解放処理を実行できません。

- Is Online, But Failed To Re-Reserve CAP CC.

LSM は現在オンラインですが、CAP CC がアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているものと認識し、SLSLCLSM は CAP CC をこのホストに再予約する操作を 3 回失敗しました。

- Is Online, But Failed To Lock CAP CC.

LSM は現在オンラインですが、CAP CC がアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているものと認識し、SLSLCLSM は CAP CC のロックに 3 回失敗しました。

- Is Online, But Failed To Unlock CAP CC.

LSM は現在オンラインですが、CAP CC がアクティブです。LMU はこのホストがそれを所有しているものと認識し、SLSLCLSM は CAP CC のロック解除に 3 回失敗しました。

- Is Online, But Failed To Release CAP CC.

LSM は現在オンラインですが、CAP CC がアクティブではありません。LMU はこのホストがそれを所有しているものと認識し、SLSLCLSM はその解放に 3 回失敗しました。

- Is Online, But Carts.In Motion Not Resolved.

LSM は現在オンラインですが、SLSLCLSM は遷移セットの読み取りに 3 回失敗しました。この LSM で失われたカートリッジが残っている可能性があります。

システムアクション: システムは即時処理を行いませんが、ホームセルで見つからなかったカートリッジに対し、あとで自動的にエラント回復が呼び出される場合があります。

ユーザーの対応: メッセージテキストの可変部分に応じて異なります。CCC...CCC のテキストに次のように示されている場合:

- Try MODIFY Again ...

この場合は LSM ドアを開けてから閉めるか、または MODify lsm ONline を実行します。これが失敗するか、またはすでに失敗している場合、あるいは LSM Lock Not Available というメッセージが出された場合は、ハードウェアが作動していることを前提として、MODify lsm OFFline (FORCE の可能性あり) と MODify lsm ONline を実行します。

- Is Online, But ...

LSM はオンラインになっていますが、CAP が正しく再初期化されなかったか、または遷移セットを読み取れませんでした。エラント回復により、回復されなかったボリュームが自動的に検出されます。ただちにスケジューリングする必要はあ

りませんが、オペレータは最終的に LSM をオフラインにしてからもう一度オンラインにする操作をエラーなしで実行する必要があります。

SLS0676I

Can't process requests; LMU server is terminating

説明: 要求の処理に LMU サーバーを使用できません。タイミングによっては、一部のタスクが LMU に対する要求をキューに入れようとした。この要求は受け入れられません。

システムアクション: 終了処理が続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS0677I

LMU I/O Error XXXX, XX1, XX2, XX3, XX4, XX5

説明: LMU への I/O 中に、I/O エラーが発生しました。

- XXXX はステーションデバイス番号です。
- XX1 は発行された CCW です。
- XX2 はユニットのステータスです。
- XX3 はチャンネルのステータスです。
- XX4 はセンスバイト 0 です。
- XX5 はセンスバイト 1 です。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 必要に応じて、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS0678I

LMU Attention Error DDD, SS

説明: デバイス DDD が、LMU アテンション割り込み処理中に、チャンネルまたはデバイスのステータス SS を戻しました。

システムアクション: ステータスにアテンションインジケータが含まれる場合、そのアテンションは処理されます。

ユーザーの対応: デバイスの問題が発生している可能性があります。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0679E

Restart HSC sometime; an LMU server subtask has abended

説明: 重要ではないリソースが異常終了しました。適切な時点での HSC の再起動をスケジュールリングしてください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 問題が発生しているステーションをオフラインに変更してから、ふたたびオンラインに変更してください。問題が解決しない場合は、該当する異常終了を Oracle に報告し、適切な時点での HSC の再起動をスケジュールしてください。

SLS0680I

ABEND XXX1, CCC1, XXX2, XXX3, CCC2

説明: LMU サーバータスクが異常終了しました。

- XXX1 は、異常終了コードです。
- CCC1 は、異常終了した CSECT の名前です。
- XXX2 は、異常終了した CSECT の開始アドレスです。
- XXX3 は、異常終了した TCB のアドレスです。
- CCC2 は、異常終了した RB のアドレスで異常終了した PRB の名前です。

システムアクション: 失敗したタスクを終了します。

ユーザーの対応: これは、LMU サーバー内で発生した異常終了について生成されるメッセージです。別の HSC メッセージに、この XXX1 異常終了の重大度が示されません。

SLS0681I

ORH interval expired: ACS AA, SEQNO BBCCC, CCC1, CCCCCCCCCCCCCC

説明: 要求の応答待ち時間間隔が期限切れになりました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です。
- CCC は、シーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにない場合は欠落しています。
 - ACT - アクティブなリクエストキュー
 - WTG - 待機リクエストキュー

- TMP - 一時停止キュー
- CCCCCCCCCCCCCC は、EBCDIC 形式の LMU 要求データです。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0683I

ORH aborted request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求は、未完了応答ハンドラによって異常終了しました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です
- CCC は、リクエストのシーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにない場合は、欠落しています。
 - ACT - アクティブなリクエストキュー
 - WTG - 待機リクエストキュー
 - TMP - 一時停止キュー

システムアクション: HSC は選択されているボリュームを解放して、エラントにします。

ユーザーの対応: オペレータは、必要に応じてオーバーライドコマンドを入力できます。

SLS0684I

ORH interval extended: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 応答待ち時間間隔が、未完了応答ハンドラによって延長されました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です
- CCC は、リクエストのシーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにない場合は、欠落しています。
 - ACT - アクティブなリクエストキュー
 - WTG - 待機リクエストキュー
 - TMP - 一時停止キュー

システムアクション: HSC は、LMU にさらに時間を与えて、この要求の処理が完了できるようにします。

ユーザーの対応: なし

SLS0685I

ORH completed request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 未完了応答ハンドラによって、要求は完了したものとマークされました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です
- CCC は、リクエストのシーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにない場合は、欠落しています。
 - ACT - アクティブなリクエストキュー
 - WTG - 待機リクエストキュー
 - TMP - 一時停止キュー

システムアクション: HSC は、この要求を完了済みとしてマークします。

ユーザーの対応: なし

SLS0686I

ORH redrive request: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求は、未完了要求ハンドラによって再処理されました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です
- CCC は、リクエストのシーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにない場合は、欠落しています。
 - ACT - アクティブなリクエストキュー
 - WTG - 待機リクエストキュー
 - TMP - 一時停止キュー

システムアクション: 要求がふたたび一時停止キューに入れられた場合、必要なステーション (パス)、LMU、または LSM は準備可能ではありません。

ユーザーの対応: 適切なアクションを実行し、必要なステーション、LMU、または LSM を準備可能にしてください。

SLS0687I

Invalid reply <CCCCCCCC>

説明: 文字列が HSC により認識されませんでした。CCCCCCCC は、認識されなかった文字列です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0688I

Invalid broadcast message received - XX (ignored)

説明: 無効なブロードキャストを受け取りました。

XX は、ブロードキャストの無効な部分を定義します。

- 04 - 無効なタイプを受け取りました。
- 08 - 無効な番号を受け取りました。
- 0C - 無効な ACS を受け取りました。
- 10 - 無効な ACS を受け取りました。
- 14 - 無効なドライブ番号を受け取りました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0689I

ORH request not on queue: ACS AA, SEQNO BBCCC, {ACT|WTG|TMP}

説明: 要求は示されているキューにはありません。SLS0682D が未処理の状態であるときに、未完了応答を受け取りました。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です。
- CCC は、リクエストのシーケンス番号です。アクティブなリクエストキューにならない場合は、欠落しています。
 - ACT は、アクティブなリクエストキューを表します。
 - WTG は、待機リクエストキューを表します。
 - TMP は、一時停止キューを表します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0690E

ORH: no stations ready for redrive: ACS AA

説明: オペレータが、メッセージ SLS0682D に対し「REDRIVE」と応答しました。HSC は POST に使用可能なステーションドライバを検索しましたが、どのステーションも作動不能であると判別しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: オペレータはステーションのステータスを調べる必要があります。HSC は、LMU との通信のために準備可能なステーションを 1 つ必要とします。

SLS0691I

Invalid UCB for station XXXX

説明: OPEN で無効なデバイスタイプが指定されました。SMS のインストールで、ACS ルーチンが OPEN 要求を誤って変更した可能性があります。

システムアクション: そのステーションはオンラインに変更されません。

ユーザーの対応: ACS ルーチンが、デバイス優先スキームからステーションデバイスを除外していることを確認してください。ACS ルーチンが存在しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0692I

Physical audit in progress for LSM AA:LL

説明: LSM で実行中の物理的監査が検出されました。これは、LSM が準備可能になったとき、または Display LSM コマンドが発行されたときに発生する可能性があります。

システムアクション: LSM の物理的監査が完了すると、SLS0693I メッセージが表示されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0693I

Physical audit has completed for LSM AA:LL

説明: LSM の物理的監査が完了しました。

システムアクション: システムは処理を続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS0694I

ACSAA : Switch has completed

説明: ACS の切り替えが完了しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0695I

CAPid AA:LL:CC CAP reserve overridden by the CLI/SLC

説明: サイト管理者が、CLI または SLConsole から、指定された CAP の CAP 予約を取り消しました。

システムアクション: この CAP に対するアクティビティは終了します。

ユーザーの対応: CAP は、ふたたび使用可能になると、新しい要求に使用できます。

SLS0696I

CAPid AA:LL:CC CAP door opened

説明: 指定された CAP は開かれています。

システムアクション: ENter または Eject は待機状態になります。

ユーザーの対応: CAP を空にするか、充てんしてから閉めてください。

SLS0697I

CAPid AA:LL:CC CAP door closed

説明: 指定された CAP は閉じています。

システムアクション: ENter または Eject は続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS0698I

Req ACS AA SEQ DD/DD REQ CC CCCCCCCCCC Basic info

```

LSM LL CCCCCC A suffix
VOL volser SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX
TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX B C D E suffix
LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC
VOL volser K suffix
TXT CCCCCC...(X53)...CCCCC M suffix
HST DD CCCCCC P suffix
LSM LL Q suffix
SEQ DD/DDD R S ZG suffix
LSM LL CAP CC V W suffix
LSM LL PNL PP ZA ZB ZC ZD ZE suffix

```

説明: このメッセージは、失敗した要求を示します。LMUはこの要求を完了できませんでした。関連するSLS0699Iメッセージに、失敗の理由を含むエラー応答が示されています。すべての要求タイプに関する一般情報が示されます。一部の要求タイプでは、接尾辞が付加されています。また、追加の接尾辞を必要としない要求タイプもあります。

- AA は ACSid です
- DD/DDD は、HOSTid/リクエストのシーケンス番号です
- CC は要求コードです (次の表を参照)
- CCCCCCCCCC は、要求機能の記述です (次の表を参照)

次の表に、要求コードとその機能を示します。

表2.1 要求コードの説明

要求コード	要求機能
A	LSM の変更
B	マウント
C	マウント解除
D	スワップ
E	移動
K	カタログ
L	構成の読み取り
M	volser ステータスの読み取り
N	ACS 統計
P	ホスト間ブロードキャスト

要求コード	要求機能
Q	ホストの休止
R	遷移カートリッジの読み取り
S	LSM ステータス
T	LMU ステータス
V	要求ステータスの照会
W	要求の取り消し
X	要求の表示
ZA	CAP 予約
ZB	CAP 解放
ZC	CAP ロック解除
ZD	CAP ロック
ZE	CAP ステータス
ZG	LSM PTP ステータス
ZH	パネルによる LSM トランスポートステータス
-	不明な要求

タイプ A 接尾辞 (MODify LSM):

"LSM LL CCCCCC"

- LL - LSM 番号 (10 進数)
- CCCCCC - ONline/OFFLine/FORCE

タイプ B、C、D、E 接尾辞 (Mount、DISMount、Swap、MOVE):

"VOL volser SRC LL/PP:RR:CC CCC XXX

TGT LL/PP:RR:CC CCC XXX"

- volser - ボリュームのシリアル番号
- LL/PP:RR:CC - ソース/ターゲット LSM 番号 (10 進数)/パネル/CAPid:行:列
- CCC - CAP/CEL/DRV/RDO

- CAP - CAP セル
- CEL - 通常のストレージセル
- DRV - 書き込み可能ドライブ
- RDO - 読み取り専用ドライブ
- XXXX - ドライブチャンネル/ユニットアドレス (DRV/RDO のみ)

タイプ K 接尾辞 (カタログ/セルスキャン):

"LSM LL START PP:RR:CC END PP:RR:CC CCC"

- LL - LSM 番号 (10 進数)
- PP:RR:CC - 開始/終了パネル:行:列
- CCC - CAP/CEL/DGN/DRV/PNL
 - CAP - CAP スキャン
 - CEL - セルスキャン
 - DGN - 診断セル
 - DRV - ドライブスキャン
 - PNL - パネル全体のスキャン

タイプ M 接尾辞 (volser ステータスの読み取り):

"VOL volser"

volser - ボリュームのシリアル番号

タイプ A 接尾辞 (ホスト間ブロードキャスト):

"TXT CCCCCC.....(x53).....CCCCC"

CCC...CCC - 最大 53 文字のブロードキャストメッセージ

タイプ Q 接尾辞 (ホスト休止):

"HST DD CCCCCCCC"

- DD - HOSTid

- CCCCCCCC - 通常/オーバーライド

タイプ R、S、ZG 接尾辞 (遷移カートリッジ読み取り、LSM ステータス、LSM PTP ステータス):

"LSM LL"

LL - LSM 番号 (10 進数)

タイプ V、W 接尾辞 (要求ステータスの照会、取り消し):

"SEQ DD/DDD"

DD/DDD - HOSTid/リクエストのシーケンス番号

タイプ ZA、ZB、ZC、ZD、ZE 接尾辞 (CAP 予約、解放、ロック、ロック解除、CAP ステータス):

"LSM LL CAP CC"

- LL - LSM 番号
- CC - CAP 番号

タイプ ZH 接尾辞 (パネルによる LSM トランスポートステータス)

"LSM LL PNL PP"

- LL - LSM 番号 (10 進数)
- PP - パネル番号 (10 進数)

システムアクション: SLS0699I エラー応答を参照して、要求を自動的に再試行させるタイプのエラーがあるかどうかを調べます。それ以外の場合は、HSC によってこれ以上のアクションが自動的に行われることはありません。

ユーザーの対応: 対応は、障害のタイプによって異なります。続いて表示される同じ ACS、ホスト ID、およびリクエストのシーケンス番号を持つメッセージ SLS0699I を参照して、このエラーから回復するために必要な対応のタイプを判別してください。

SLS0699I

Response ACS AA SEQ DD/DDD ERR DD/DD CCC... (x28)... CCC CCCCCCCCCCCC

LSM LL Cartridge Status Suffix

CCC DD/D Manual Recovery Suffix

説明: このメッセージは、これよりも前に出力されたメッセージ SLS0698I に示されている要求の完了を妨げるエラーについて説明します。すべてのエラータイプに関する一般情報が示されます。「Cartridge Status」接尾辞は、失敗したカートリッジ移動要求の場合に付加されます。「Manual Recovery」接尾辞は、カートリッジが LSM のメカニズム内でスタックした場合に付加されます。

基本情報 (すべてのエラータイプ):

- AA は ACSid です。
- DD/DDD は、HOSTid/リクエストのシーケンス番号です
- DD/DD は、エラーカテゴリ/エラーコードです (下記を参照)
- CCC..(x28)..CCC は、エラー記述テキストです (下記を参照)

01/xx - 無効なパラメータエラーコードの説明:

- 01/01 - 不正なプライマリ LSM
- 01/02 - 不正なセカンダリ LSM
- 01/05 - 未定義のオプションまたは修飾子
- 01/06 - 無効な LSM
- 01/07 - 無効なパネル
- 01/08 - 無効な行
- 01/09 - 無効な列
- 01/10 - 無効なドライブ
- 01/11 - 無効な CAP 行
- 01/12 - 無効な CAP 列
- 01/13 - 無効なセルアドレス
- 01/14 - 無効なラベル修飾子
- 01/15 - 無効なソース修飾子
- 01/16 - 不正なソースタイプ

- 01/17 - 不正な宛先タイプ
- 01/18 - 不正なカタログセル範囲
- 01/19 - volser 内の不正な文字
- 01/20 - 無効な要求コード
- 01/21 - 無効なトランザクション長
- 01/22 - 無効な HOSTid
- 01/23 - 要求内の不正な文字
- 01/24 - HOSTid が一致しません
- 01/25 - シーケンス番号の重複
- 01/26 - 要求確認応答またはメッセージ確認応答が必要です
- 01/27 - 不正な取り消し要求

02/xx - 構成エラーコード:

- 02/01 - LMU 構成に LSM がありません
- 02/02 - ドライブが存在していません

03/xx - CAP 手続きエラーコード:

- 03/01 - CAP が予約されていません
- 03/02 - CAP はすでに予約されています
- 03/03 - CAP が ENTER モードです
- 03/04 - CAP が EJECT モードです
- 03/05 - CAP 移動がアクティブです
- 03/06 - CAP ドアが開いています
- 03/07 - CAP カタログが進行中です
- 03/08 - 解放要求で ENTER を終了できません
- 03/09 - CAP を解放できません。ドアが開いています (ドアが完全に閉まっていない可能性があります)
- 03/10 - ENTER を取り消すことができません
- 03/11 - CAP マガジンがありません

04/xx - 一般手続きエラーコード:

- 04/01 - LSM が作動不能です

- 04/02 - LSM は保守モードです
- 04/03 - LSM オフライン保留中
- 04/04 - LSM はオフラインです
- 04/05 - ドライブがいっぱいです
- 04/06 - 接続 LSM は使用不可です
- 04/07 - 複数の LSM 要求が保守中です
- 04/08 - パスが拒否されました。完全な PTP デッドロックです
- 04/10 - パスが拒否されました。完全な PTP デッドロックです
- 04/11 - リクエスト最大数を超過しました
- 04/12 - 休止ホストがすでにアクティブです
- 04/13 - 休止ホストがオーバーライドされました
- 04/14 - 最大の volser 読み取り要求がアクティブです
- 04/15 - 要求の取り消しが保留中です
- 04/16 - 取り消し要求により取り消されました
- 04/19 - volser が予想に反して読み取り可能になっています
- 04/20 - volser の読み取りが正しくありません
- 04/21 - volser が一致していません
- 04/22 - セルがいっぱいです
- 04/23 - セルが空です
- 04/24 - ドライブが空です
- 04/25 - ドライブがアクティブです
- 04/26 - ドライブが巻き戻されていません
- 04/27 - カートリッジがマウントされていません
- 04/28 - メディアが一致していません
- 04/29 - メディアと volser が一致しません
- 04/30 - 互換性のないメディア/ドライブです

05/xx - LMU ハードウェアエラーコード:

- 05/01 - 拒否されました。ノードに LSM がありません
- 05/02 - 拒否されました。LSM ID が不正です
- 05/03 - 拒否されました。LSM が通信していません

- 05/04 - 拒否されました。伝送エラーです
- 05/05 - 拒否されました。確認応答がありません
- 05/06 - 拒否されました。LAN が稼働していません
- 05/07 - 拒否されました。バッファが不足しています
- 05/08 - バッファがオーバーフローしています
- 05/09 - 拒否されました。コマンドに対し応答がありません
- 05/10 - 拒否されました。LSM が強制的にオフラインにされました
- 05/11 - CAP ロック解除がすでにアクティブです

06/xx - LMU 論理エラーコード:

- 06/01 - 不明な割り振り要求
- 06/02 - 修飾バイト 0 が不正です
- 06/03 - 修飾バイト 1 が不正です
- 06/04 - 修飾バイト 2 が不正です
- 06/05 - LSM がオンラインです
- 06/06 - オフライン保留がオーバーライドされました
- 06/10 - LMU 構成に不明なパネルタイプがあります
- 06/11 - LMU 論理問題が検出されました
- 06/12 - パススルーポートセルがいっぱいです
- 06/13 - パススルーポートセルが空です
- 06/15 - 動的タスクがメールボックスがいっぱいになったことを検出しました
- 06/16 - 割り振り保留がタイムアウトになりました
- 06/17 - LSM コマンド保留がタイムアウトになりました
- 06/20 - パスが論理的に使用できません

07/xx - LSM ロボットエラーコード:

- 07/01 - アームの誤動作
- 07/02 - ハンドの誤動作
- 07/03 - パススルーポートの誤動作
- 07/04 - パススルーポートが存在しません
- 07/05 - CAP の誤動作

- 07/06 - 到達する方法がありません
- 07/07 - 必要な要素の誤動作
- 07/08 - ロボット動作が失敗しました
- 07/09 - Put が不正です
- 07/10 - Get が不正です
- 07/11 - リーチリトラクションが不正です
- 07/12 - リーチエクステンションが不正です
- 07/13 - パススルーポート位置のエラー
- 07/14 - 準備可能なハンドがありません
- 07/15 - ドライブがカートリッジを検出できませんでした
- 07/16 - 移動ターゲットの設定に失敗しました
- 07/17 - リーチが危険な位置にあります
- 07/18 - セルの再較正が失敗しました

08/xx - LSM ハードウェアエラーコード:

- 08/01 - LSM が応答しませんでした
- 08/04 - CAP ロック解除スイッチの過負荷です
- 08/05 - ロック解除が失敗しました
- 08/06 - ロックが失敗しました
- 08/07 - ドライブが通信していません
- 08/08 - テープユニットインタフェースで障害が発生しました
- 08/09 - メモリーへのイメージのコピーが失敗しました

09/xx - LSM 論理エラーコード:

- 09/01 - Get 応答の LSM が誤っています
- 09/02 - 応答パケットタイプを受信しませんでした
- 09/03 - 応答のタスク ID が誤っています
- 09/04 - 応答の機能 ID が誤っています
- 09/05 - 応答のセルアドレスが誤っています
- 09/06 - LSM がオフラインです
- 09/07 - セル位置が不正です

- 09/08 - 不明な終了ステータスです
- 09/09 - LSM が無効な応答を返しました
- 09/10 - 非論理的な CAP メッセージです
- 09/16 - 終了ステータスの表示。失敗
- 09/17 - 終了ステータスがビジー状態を示しています
- 09/18 - 不正なコマンド
- 09/19 - コマンドに不正なパラメータがあります
- 09/20 - 不正なアドレスタイプです
- 09/21 - パネル、行、または列が不正です
- 09/22 - アームは現在予約されています
- 09/23 - CAP は現在予約されています
- 09/24 - ポート 1 は現在予約されています
- 09/25 - ポート 2 は現在予約されています
- 09/26 - プレイグラウンドは現在予約されています
- 09/43 - LSM はオンラインです
- 09/44 - LSM が保守モードです
- 09/45 - LSM はオフラインです
- 09/46 - LSM アクセスドアが開いています
- 09/47 - LSM が初期化されていません
- 09/50 - 存在しないセル位置です
- 09/51 - ハンドがいっぱいです
- 09/52 - ハンドが空です
- 09/53 - ドライブがいっぱいです
- 09/55 - ドアはすでにロック解除されています
- 09/56 - アイドルではロック解除できません
- 09/57 - ドアが開いています
- 09/58 - ドアはすでにロック解除されています
- 09/60 - すでにアイドルモードにあります
- 09/61 - すでに EJECT モードにあります
- 09/62 - すでに ENTER モードにあります
- 09/63 - ENTER モードでは EJECT を実行できません

- 09/64 - EJECT モードでは ENTER を実行できません
- 09/65 - アイドルではドアをロックできません
- 09/70 - ドライブパネルではありません
- 09/71 - 使用可能なドライブはありません。アドレス内
- 09/72 - ドライブコマンドの指定が無効です
- 09/75 - データをアクティブに受け渡しています
- 09/76 - 巻き戻しできません
- 09/77 - アンロードできません
- 09/78 - ドライブは書き込み保護を処理できません
- 09/79 - ドライブは現在予約されています

10/xx - ドライブエラーコード:

- 10/01 - ドライブが通信を行なっていません
- 10/02 - ドライブが作動していません
- 10/03 - ドライブに対する要求が保留中です
- 10/04 - ドライブが割り振られています
- 10/05 - ドライブがカートリッジをロードしました
- 10/10 - ドライブがカートリッジをロードできません
- 10/11 - ロード/アンロードが進行中です
- 10/12 - 特殊使用カートリッジでロードが失敗しました
- 10/13 - メディアエラーが原因でマウントが失敗しました
- 10/14 - ドライブの保守が必要です

カートリッジステータスの接尾辞 (カートリッジ移動要求):

"CCCCCCCCCCCC LSM LL"

- CCCCCCCCCCCC - カートリッジステータス記述子:
 - Cart Not Mvd - カートリッジはこれまでに移動されていません
 - Recovered In - カートリッジは回復されています
 - Retd To Src - カートリッジはソースに戻されました
 - Stuck In Mch - カートリッジはメカニズム内でスタックしています
 - Unk End Stat - 不明なカートリッジ終了ステータスです

- *LL* - カートリッジが現在位置している LSMid です

手動回復の接尾辞 (機構上の障害発生後):

- *CCC DD/D* - カートリッジがスタックしているメカニズム:
 - *HND D* - ロボットハンド (0/1)
 - *PTP DD* - パススルーポートパネル (01-11)
 - *DRV DD/D* - パネル (01-11) & ドライブ (0/3)

システムアクション: HSC によって自動的に処理が行われることはありません。

注記:

04/01 エラーで終了する要求は一時停止キューに入れられ、影響を受けた LSM がふたたび準備可能になったときに、自動的に再試行されます。04/11 または 10/03 エラーで終了する要求は、待機リクエストキューに入れられ、10 秒後に再試行されます。これらの要求は、最終的に別のエラーで終了しないかぎり、SLS0698I および SLS0699I メッセージでは報告されません。

ユーザーの対応: 発生したエラーのタイプによって異なります。

- CAP のドアが開いていることがエラーに示されている場合は、その CAP ドアを確実に閉めて掛け金をかけてください。
- SWitch ACS の発行後、CAP で 03/01 エラーが発生した場合は、Enter または Eject 処理中にライブラリコントローラを切り替えるための CAP 手動回復の手順について、HSC および VTCS の管理に関する ELS の資料を参照してください。
- SWitch ACS の発行後、CAP で 07/05 エラーが発生した場合は、CAP が自動モードのときにライブラリコントローラを切り替えるための CAP 手動回復の手順について、HSC および VTCS の管理に関する ELS の資料を参照してください。
- パラメータエラーが発生した場合は、該当するパラメータを変更して、要求を再発行してください。
- タイミングの問題が検出された場合は、問題のデバイスが使用可能になってから、要求を再実行してください。
- ハードウェアの問題が示される場合は、失敗した要求を再試行してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。
- HSC または LMU ソフトウェアの問題が示される場合は、失敗した要求を再試行してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0702I

DDname CCCCCCCC failed to open

説明: 指定のファイルをオープンしようとしたのですが、失敗しました。

システムアクション: 開くファイルのデータセット名を検証します。

ユーザーの対応: ACS サブシステムを再起動してみてください。エラーが解決されない場合は、システムプログラマに連絡して支援を求めてください。さらにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0704E

Unable to acquire any ITT blocks; all are owned by host CCCCCCCC

説明: プライマリ制御データセットを検索した結果、ITT ブロックのほとんどが、指定のホストにより所有されていることが判明しました。

システムアクション: ITT ブロックを解放するため、示されているホストの起動を試行します。

ユーザーの対応: HSC サブシステムを再起動してください。

SLS0707I

VARINUSE flag off

説明: ACS 制御データセットのボリュームレコードを更新しようとしたのですが、使用中フラグが設定されていませんでした。

システムアクション: この試行は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0708I

VARVOL mismatch

説明: ボリュームレコードの書き込みを試みましたが、そのレコード内のボリュームシリアル番号が、パラメータリスト内のボリュームシリアル番号と一致しませんでした。

システムアクション: この試行は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0712I

DCH invalid

説明: 制御データセットの更新を試行しましたが、エラーが発生しました。

システムアクション: 更新試行操作は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0713I**VAR area overflow**

説明: 制御データセットへのボリュームの追加を試行しましたが、エラーが発生しました。

システムアクション: ボリューム追加操作は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0714I**DCHFOLL invalid**

説明: 次の DCH キュー項目の検索を試行しましたが、エラーが発生しました。

システムアクション: 制御データセット要求は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0715I**Database {switch|expand} complete**

説明: CDS コピーの追加、削除、名前の変更、または再配置の操作 (switch)、または CDS の拡張操作 (expand) が完了しました。マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、このメッセージが出力されます。

システムアクション: CDS switch または expand が、すべての HSC アクティブホスト上で完了しました。

ユーザーの対応: switch がエラーによって起こる場合は、エラーを解決してから、CDs Enable オペレータコマンドを入力して、データセットを HSC に復元します。また、switch または expand は、オペレータコマンドを使用して意図的に実行することもできます。

SLS0719I

Attach for Insert/Delete User Exit 06 Server failed, RC=XX

説明: 挿入/削除ユーザー出口サーバールーチン (SLSDXIT6) の接続が試行されました。XX は、ATTACH マクロからのリターンコードです。

システムアクション: ユーザー出口 06 コードは使用できません。

ユーザーの対応: 接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。出口をアクティブにするには、HSC をリサイクルする必要があります。問題を解決できない場合は、すべての情報を保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0720I

Insert/Delete server routine - CCC...CCC

説明: 異常終了のため、挿入/削除ユーザー出口 06 サーバールーチン (SLSDXIT6) ESTAE が呼び出されました。CCC...CCC は 30 バイトのフィールドで、次のいずれかが含まれます。

SLSDXIT6 EXIT SERVER ABEND

- SLSDXIT6 挿入/削除サーバーで異常終了が検出されました。

ABEND WITHOUT SDWA

- SLSDXIT6 挿入/削除ユーザー出口サーバータスクで異常終了が検出されましたが、システムが、ESTAE ルーチンに SDWA を提供しませんでした。

システムアクション: ユーザー出口 06 は使用不可になります。

ユーザーの対応: すべての情報を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0721I

Insert/Delete User Exit 06 DISABLED, "Invalid Function" Return Code

説明: ユーザー出口 06 コードが、HSC 出口サーバータスクによってユーザー出口に無効な入口タイプ (ファンクションコード) が渡されたことを示すリターンコードを返したため、挿入/削除ユーザー出口が使用不可になりました。

システムアクション: ユーザー出口 06 は使用不可になります。

ユーザーの対応: ユーザー出口 06 のユーザー作成コードを調べて、リターンコードの 16 進値 FF がコーディングエラーに起因するものではないことを確認してください。

い。そうである場合は、ユーザー出口 06 を修正して動的に再ロードしてください。コーディングエラーがない場合は、すべての情報を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

注記:

ユーザー出口 06 の動的ロード/再ロードは、HSC JCL デッキに「SLSUEXIT」DD カードが含まれている場合にのみ可能です。

SLS0723I*ESTAE creation failed in SLSDXIT6*

説明: 挿入/削除ユーザー出口サーバルーチン (SLSDXIT6) が、ESTAE を確立しようとした。ESTAE の作成が失敗しました。異常終了への入口のレジスタ 2 には、ESTAE リターンコードが含まれます。

システムアクション: ユーザー出口 06 は使用不可になります。

ユーザーの対応: レジスタ 2 のリターンコードと MVS ESTAE マクロからのリターンコードを調べ、エラーがあればそれを修正してください。問題を解決できない場合は、すべての情報を保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0724I*Invalid entry type passed to user exit SLSUX06*

説明: これは内部エラーです。挿入/削除ユーザー出口サーバルーチン (SLSDXIT6) が、SLSUX06 に無効な機能入口タイプを渡しました。異常終了への入口のレジスタ 2 に無効なコードが含まれています。

システムアクション: ユーザー出口 06 は使用不可になります。

ユーザーの対応: すべての情報を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0725E*Too many errant volumes in ACS AA*

説明: ACS AA に含まれるエラントボリュームの数が多すぎます。ボリュームを追加できるようにするには、エラントボリュームの数を減らす必要があります。

システムアクション: エラントセットへの追加は行われません。

ユーザーの対応: LSM を OFFline/ONline に変更するか、あるいはボリュームレポートにリストされたエラントボリュームをマウントまたは取り出して、エラント回復を実行してください。ボリュームが見つからない場合は、それらをライブラリから論理的に取り出してください。

SLS0726I

Invalid ACSid in DESAD

説明: エラント情報レコードを追加するための計算で、使用中の ACSid が無効であることが検出されました。

システムアクション: エラントセットの追加は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0730I

Permanent error attempting to write database

説明: HSC が CDS へのハートビートレコードの書き込みを試行中に、永続 I/O エラーが発生しました。

システムアクション: HSC は異常終了します。

ユーザーの対応: コンソールログを調べ、I/O エラーの原因を判別してください。エラーが見つからず修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0738D

Confirm RECOVER for host CCCCCCCC, reply YES or NO

説明: RECover HOSTid FORCE がオペレータによって要求されました。

システムアクション: このメッセージは、RECover HOSTid が要求されたことの確認を求めています。

ユーザーの対応: ホスト CCCCCCCC が本当にダウンしているかどうかを判別してください。

ダウンしている場合、回復を確定するには YES と応答してください。

注記:

アクティブホストの回復を行うと、制御データセットが破損することがあります。

回復を取り消すには、NO と応答してください。

次のメッセージが表示されます。

SLS0851I Cross Host Recovery not needed for host CCCCCCCC.

これは、停止ホストのために回復するリソースがないことを示しています。適切な回復フラグが設定され、停止ホストは、リサイクルされるまで制御データセットの更新はできません。

SLS0745I

Duplicate volume volser found in database is being deleted

説明: ハッシュのシャッフル中に、volser volser のボリュームレコードが重複して作成されました。

システムアクション: 重複するボリュームレコードは自動的に削除されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0746I

Stray footprint volser found in database is being erased

説明: volser volser のボリュームレコードは、ハッシュ圧縮のために移動されます。重複は見つかりませんでした。

システムアクション: フットプリントは自動的に消去されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0747I

Unexpected empty VAR block

説明: ボリューム削除中に、重大な論理エラーが発生しました。

システムアクション: 異常終了 1096、理由コード 747。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0750I

SLSWMRT INTERFACE ERROR; PLIST=XXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXX2, REASON=XX

説明: サブシステムメッセージ書き込みルーチンで、インタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。

XXXXXXXXX1 は、メッセージ書き込みルーチンに指定されるパラメータリストのアドレスです。

XXXXXXXXX2 は、メッセージ書き込みルーチンの入口におけるレジスタが含まれているレジスタ保存域のアドレスです。

XX は特定のエラー理由コードを定義します。

- 01 - 制御ブロックの頭字語が無効です
- 02 - 処理要求タイプが無効です
- 03 - 応答域アドレスが無効です
- 04 - 応答 ECB アドレスが無効です
- 05 - 応答の長さが無効です
- 06 - 不明なメッセージ ID です
- 07 - MLWTO のラベルテキストが指定されていません

システムアクション: メッセージ要求は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0751I

SLSWMRT MLWTO ERROR; PLIST=XXXXXXXXX1, RSA=XXXXXXXXX2, R15=XX

説明: 複数行要求の出力を試行しているときに、WTO からゼロ以外のリターンコードを受け取りました。これは内部エラーです。

XXXXXXXXX1 は、メッセージ書き込みルーチンに指定されるパラメータリストのアドレスです。

XXXXXXXXX2 は、メッセージ書き込みルーチンの入口におけるレジスタが含まれているレジスタ保存域のアドレスです。

XX は、WTO からのリターンコードです。

システムアクション: メッセージ要求は中止されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0752I

SLSWMRT Unknown message SLSNNNN from module CCCCCCCC

説明: メッセージ NNNN の発行を求める要求を受け取りましたが、このメッセージは、SLSWMRT に指定されたメッセージテーブル内にありませんでした。

システムアクション: ダンプが取られ、処理が続行します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0760I

{DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} BDAM parm error; Unit XXXX; Vol volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD

説明: 示されている制御データセットまたはジャーナルに対する READ または WRITE の試行中に、I/O エラーが発生しました。処理は正しく完了しませんでした。制御データセットがオンラインでありアクセス可能であるかどうかを確認してください。

システムアクション: サブシステムは異常終了を発行します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0761E

{DATABASE|JOURNAL} {READ|WRITE} Permanent error; Unit XXX; Vol volser; DSname CCCCCCCC; Block DDDDDDDD

説明: 示されている制御データセットまたはジャーナルファイルで I/O エラーが発生しました。

システムアクション: 制御データセットまたはジャーナルの切り替えが、自動的に行われます。

ユーザーの対応: ローカルの災害時回復手順に従ってください。

SLS0762E

DATABASE {READ|WRITE|INVALID DATA} error RC=XX

説明: 制御データセットファイルの 1 つに対する READ または WRITE の試行中に、I/O エラーが発生しました。制御データセットファイルの 1 つが正常に READ 処理された可能性もありますが、データブロックは誤っていると判別されました。RC= は、DECB 完了コードフィールド (DECCC2) の 2 番目のバイトにある、I/O 操作からの 16 進数のリターンコードを示します。このファイルに対する I/O 操作が完了しませんでした。

システムアクション: 制御データセットの切り替えが自動的に行われ、SDUMP が作成されますが、HSC の処理は続行します。このメッセージのあとには、エラーが発生した制御データセットを示す別のメッセージが続きます。データブロックが誤りと判別された場合、SDUMP は取られません。SLS0761E が生成され、データベースの切り替えが呼び出されます。

ユーザーの対応: 不良制御データセットの回復については、ローカルの災害時回復手順を参照してください。SDUMP を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0764I

Switching journals; either backup the database or offload the journal(s)

説明: 2つのジャーナルのうち現行のものがいっぱいであるため、もう一方のジャーナルが、新しい現行ジャーナルになります。ジャーナルが使用不可の場合、BACKup または OFFLoad が実行されるまでは、記録は中断されます。BACKup または OFFLoad を実行すると、ジャーナルデータセットはリセットされ、トランザクション記録向けに自動的に使用可能になります。

システムアクション: ジャーナル切り替えが行われます。

ユーザーの対応: 制御データセットのバックアップを作成するか、またはいっぱいになったジャーナルをオフロードしてください。

SLS0765E

Journal DSname CCCCCCCC is DDD% full

説明: 現在アクティブなジャーナルの使用率が DDD% です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 現在使用中のジャーナルファイルは間もなくいっぱいになります。代替ジャーナルがいっぱいになった場合は、制御データセットのバックアップを作成するか、またはジャーナルをオフロードしてください。

SLS0766E

Cannot switch journals; both journals have now had I/O errors

説明: 現在のジャーナルに I/O エラーがあり、かつもう一方のジャーナルにも I/O エラーがあるため、システムはジャーナルの切り替えを行うことができませんでした。

システムアクション: 異常終了 1096、理由コード 733。

ユーザーの対応: ローカルの災害時回復手順に従ってください。

SLS0767E

Cannot switch journals; journal DSname CCCCCCCC has not been reset

説明: 両方のジャーナルがいっぱいです。ジャーナル処理を続行できません。

システムアクション: PARMLIB で JRNDEF FULL=Abend が指定されていた場合、HSC は異常終了 1096、理由コード 736 を発行します。JRNDEF FULL=Continue が指定されていた場合は、ジャーナル処理が中断されます。HSC は、ジャーナルなしで通常どおり処理を続けます。

ユーザーの対応: 異常終了を受け取った場合は、制御データセットのバックアップをより頻繁に行なってください。Continue が指定されている場合は、すべてのデータセットの BACKup を実行してください。ジャーナル処理は自動的に続行されます。

SLS0768E

Error follows journal switch

説明: ジャーナル切り替えの直後にジャーナル処理の I/O エラーが発生しました。

システムアクション: 異常終了 1096、理由コード 735。

ユーザーの対応: ローカルの災害時回復手順に従ってください。

SLS0769I

Neither journal has been reset; you must backup the database to reset them

説明: HSC 初期化時に、ジャーナル処理初期化ルーチンが、いずれのジャーナルもいっぱいであると判別しました。

システムアクション: JRNDEF で FULL=Abend が指定されていた場合、HSC は終了します。JRNDEF で FULL=Continue が指定されていた場合は、ジャーナル処理が無効な状態で HSC が続行します。

ユーザーの対応: HSC BACKup ユーティリティーを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。HSC サブシステムを再起動してください。

SLS0770I

One journal is full; you must backup the database to reset the journals

説明: HSC 初期化時に、ジャーナル処理初期化ルーチンが、1つのジャーナルがいっぱいであると判別しました。

システムアクション: 別のジャーナルを使用して HSC 初期化が続行します。

ユーザーの対応: HSC BACKup ユーティリティーを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。

SLS0780I

Cannot start the oVTCS CDS server; CCCCCCCC

説明: DBSERVER コマンドで START オプションが指定されましたが、表明された理由により、oVTCS CDS データベースサーバーを開始できませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 条件を修正し、DBSERVER コマンドを再送信します。

SLS0781I

oVTCS CDS database server started on PORT=NNNN

説明: DBSERVER コマンドで START オプションが指定され、サーバーが正常に開始され、指定された PORT 番号で待機しています。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SLS0782I

Timeout waiting for oVTCS CDS database server startup

説明: DBSERVER コマンドで START オプションが指定されましたが、oVTCS CDS データベースサーバーが、割り当てられたタイムアウト期間内で正常に開始しませんでした。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: 開始失敗の理由を示すメッセージがコンソールに表示されていないか確認してください。

SLS0783I

Cannot {LIST|RESET|STOP} the oVTCS CDS server; not currently active

説明: DBSERVER コマンドで LIST または STOP オプションが指定されましたが、oVTCS CDS データベースが現在アクティブではありません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS0784I

Timeout waiting for oVTCS server CCCCCCCC termination

説明: DBSERVER コマンドで STOP オプションが指定されましたが、示された oVTCS CDS データベースサーバーコンポーネントが、割り当てられたタイムアウト期間内で正常に終了しませんでした。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: 終了失敗の理由を示すメッセージがコンソールに表示されていないか確認してください。問題が続く場合は、DBSERVER STOP FORCE オプションを使用してください。

SLS0785I

oVTCS CDS database server termination complete

説明: DBSERVER コマンドで STOP オプションが指定され、サーバーが正常に終了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SLS0786I

oVTCS server TCP/IP error; func=CCCCCCCC, errno=NN {TERMINATING|RESETTING|RETRYING|CONTINUING}

説明: oVTCS CDS データベースサーバーの処理中に TCP/IP エラーが発生しました。

システムアクション: oVTCS CDS データベースサーバーは指定されたアクションに応じて、終了するか、リセットされるか、処理を再試行するか、あるいは単にエラーを無視して処理を続行します。

ユーザーの対応: HSC BACKup ユーティリティを実行して、両方のジャーナルをリセットしてください。

SLS0787I

oVTCS server transaction error; CCCCCC

説明: oVTCS CDS データベースサーバーが oVTCS トランザクションまたは応答を処理しているときに、エラーが発生しました。

システムアクション: oVTCS クライアントとの通信がリセットされます。

ユーザーの対応: 問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0788I

oVTCS protocol failure: CCCCCC

説明: oVTCS CDS データベースサーバーが、oVTCS クライアントとの通信中または oVTCS 要求の処理中に、重大なエラーを検出しました。この予想外のエラーまたはプロトコル違反は、oVTCS サーバーの整合性に影響を与えました。

システムアクション: oVTCS クライアントとの通信がリセットされます。

ユーザーの対応: 問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0789I

oVTCS client has held the CDS reserve for NNN seconds

説明: oVTCS CDS データベースサーバーが、oVTCS クライアントによって開始された長期のデータベース予約を検出しました。これは異常であり、予想される CDS 予約期間を超えています。

システムアクション: CDS 予約が解除され、oVTCS クライアントとの通信がリセットされます。

ユーザーの対応: ログファイルに oVTCS クライアントや HSC の情報が含まれていないか確認してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0790I

oVTCS CDS server cannot continue; CCCCCCCC

説明: oVTCS CDS データベースサーバーで重大なエラーが発生したため、処理を続行できません。

システムアクション: oVTCS CDS データベースサーバーが終了します。

ユーザーの対応: 適切なパラメータを指定して DBSERVER START コマンドを発行して oVTCS CDS データベースサーバーを再起動し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0791I

oVTCS CDS server reset complete; awaiting new connection

説明: 予想外のイベントまたは DBSERVER RESET オペレータコマンドへの応答として、oVTCS CDS データベースサーバーが停止してから再起動されました。

システムアクション: 既存の oVTCS クライアント接続が閉じられ、接続プロセスが再起動されます。oVTCS サーバーで、oVTCS クライアントからの再接続の受け入れ準備が整いました。

ユーザーの対応: MVS または HSC ログでリセットイベントの根本原因を確認してください。

SLS0792I

oVTCS client connection accepted from CCCCCCCC

説明: oVTCS CDS データベースサーバーが、IP アドレス CCCCCCCC からの新しいソケット接続を受け入れました。

システムアクション: oVTCS CDS データベースサーバーでは、指定されたクライアントからの要求を処理する準備が整っています。

ユーザーの対応: なし。

SLS0793I

oVTCS Server status:

oVTCS Server started: DD/MM HH:MM:SS
Socket listener port: NNNNN
CDS reserve time in seconds: NNNN
CDS asynchronous read tasks: NN
Data trace length in bytes: NNNNN

Number of input messages: *NNN, NNN, NNN*
Number of output messages: *NNN, NNN, NNN*
Number of input bytes *NNN, NNN, NNN{K|M}*
Number of output bytes: *NNN, NNN, NNN{K|M}*
Number of process resets: *NNN, NNN, NNN*
Client connected *MM/DD HH:MM:SS* from *NN.NN.NN.NN*

説明: DBSERVER コマンドで LIST オプションが指定されました。

システムアクション: oVTCS CDS データベースサーバーの設定やステータスが表示されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS0805I

{LET|EET|EOM} Subsystem Exit Not Used; RC=XXXXXXXX

説明: HSC サブシステムの初期化中に、アドレス空間通信コンポーネント (ASCOMM) が、指定の SSREQ サブシステム出口/ブロードキャストのためのサブシステム機能ルーチンをインストールできませんでした。

- LET - タスクの遅延終了 (Late-End-of-Task)、機能コード 4
- EOM - メモリーの終わり (End-of-Memory)、機能コード 8
- EET - タスクの早期終了 (Early-End-of-Task)、機能コード 50
- XXXXXXXX = 12 - サブシステムの機能コードスロットの数がゼロです、または 8 - サブシステムの定義済み機能コードスロットは、すべて使用されています。

システムアクション: ASCOMM は初期化されますが、一部の回復機能 {LET|EET|EOM} が使用できません。

ユーザーの対応: ローカルシステムのプログラミング担当者に連絡してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0810I

XXXXXXXX1 Abend CCCCCCCC, XXXXXXXX2, XXXXXXXX3

説明: アドレス空間通信 (ASCOMM) コンポーネントが異常終了を検出しました。

- XXXXXXXX1 は異常終了コードです。
- CCCCCCCC はモジュール名です。
- XXXXXXXX2 は、エラー発生時の PSW の下半分です。

- XXXXXXXX3 は、エラー発生時の現行 TCB です。

システムアクション: ASCOMM 要求は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに問題を報告してください。この異常終了に関連する SDUMP が取られている可能性もあります。ダンプがある場合は、問題診断のために、このダンプのコピーを保存しておいてください。

SLS0850I

Host CCCCCCCC is active

説明: ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストはアクティブであると識別されました。

システムアクション: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの対応: 該当するホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。ホストが非アクティブな場合にのみ、RECOVER ホストコマンドに FORCE オプションを指定してもう一度実行してください。

注意:

FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定する前に、指定したホストが実際に非アクティブであることを確認してください。

アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上の HSC をリサイクルする必要があります。テープアクティビティの実行時、または回復されたホスト上での HSC のリサイクル時に予期しない異常終了の原因となるので、回復されたホスト上では、データベースアクティビティは禁止されています。

SLS0851I

Cross host recovery not required for host CCCCCCCC

説明: ホスト間回復が要求されましたが、指定されたホストで進行中の処理がありませんでした。

システムアクション: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0852I

Cross host recovery in progress for host CCCCCCCC

説明: 指定されたホストでホスト間回復が進行中です。

システムアクション: ホスト間回復の実行中です。

ユーザーの対応: なし

SLS0853I

Cross host recovery complete for host CCCCCCCC

説明: 指定されたホストでホスト間回復が完了しました。

システムアクション: ホスト間回復が完了しました。

ユーザーの対応: なし

SLS0854D

Volume volser not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)

説明: 回復処理において、指定されたボリュームが、ライブラリ内に存在しないことが判明しました。ボリュームをデータベースから論理的に削除するかどうかを決定する必要があります。

システムアクション: 回復処理は、オペレータが Delete または Ignore と応答するまで待機状態になります。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

• D

この応答により、ボリュームは CDS から削除されます。ボリュームがライブラリ内にないことが確実な場合、これがもっとも適切な応答です。

注意:

ボリュームがまだライブラリ内にある場合、欠落しているボリュームを見つけるには、Audit または手動介入が必要なことがあります。

ほかのアクションメッセージが出力されることもあり、その場合、指定ボリュームを論理的に削除した結果としてオペレータの応答が必要になります。

• I

この応答では、ボリュームに対する要求は無視されます。ボリュームの位置が不明な場合、これがもっとも適切な応答です。ボリュームが見つからない場合、こ

のメッセージがふたたび表示されることがあります。一方で、ジョブはボリュームが検出されマウントされるまで待機状態になります。

SLS0855I

Volume volser not found; AUDIT or MANUAL intervention may be needed

説明: 回復処理において、指定されたボリュームが、ライブラリ内に存在しないことが判明しました。エラントステータスの CDS にボリュームが残っています。ボリュームを検出するには、監査または手動介入をお勧めします。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームを検出するには、Audit ユーティリティ機能を実行してください。監査でボリュームが見つからない場合は、CDS から削除されている可能性があります。

SLS0856D

No available CAP in ACS AA for LSM LL; Retry or Cancel (R/C)

説明: 回復処理において、ボリュームを取り出すために CAP が必要ですが、選択できる CAP がありませんでした。CAP はオフライン LSM にあるか、優先順位がゼロであるか、またはすべて割り振られているかのいずれかです。

システムアクション: 回復処理は、ユーザーが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP を使用可能にできる (CAP の DRAIN を実行する、LSM をオンライン状態に変更する、または CAP にゼロ以外の CAPPref を与えるなど) 場合、そのようにしたあとで R と応答してください。

- どれも使用可能にできない場合は、C と応答してください。
- 初期化中にこの状態が発生して、CAP を使用可能にできない場合は、C と応答してください。
- サブシステムの初期化が完了したら、CAP を使用可能にして、LSM をオフラインに変更してからオンラインにしてください。

SLS0857I

Invalid reply C

説明: メッセージに対する応答が無効でした。

システムアクション: 応答を必要としている元のメッセージが再発行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0858I

Invalid HOSTid CCCCCCCC

説明: 指定したホストに対してホスト間回復が要求されましたが、そのホストが同一のホストであるか、あるいはライブラリソフトウェアに定義されていないホストです。

システムアクション: ホスト間回復は実行されません。

ユーザーの対応: 正しいホスト ID を指定してコマンドを再発行してください。

SLS0860D

Non-OCR volume volser not found; (logically) Delete or Ignore (D/I)?

説明: 回復処理において、非 OCR ラベルの付いたボリューム (volser) が、ライブラリ内に存在しないことが判明しました。ボリュームをデータベースから削除するかどうかを決定する必要があります。

システムアクション: 回復処理は、ユーザーが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの対応: ボリュームをデータベースから削除する場合は D、それ以外の場合は I と応答してください。回復処理をふたたび呼び出したときに、ボリュームがまだ見つかっていないと、このメッセージがふたたび表示される可能性があります。

SLS0863I

Subtask attach failure; RC=XXXXXXXX; Subsystem not started

説明: サブシステムの開始時に、タスクの ATTACH が失敗し、示されているリターンコードが返されました。

システムアクション: サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: システムプログラマに通知してください。

SLS0864I

Errant recovery of volser - Unable to scan {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; it is loaded

説明: エラントボリューム volser を検索中に、ドライブがロードされていることが判明しました。

システムアクション: ボリュームのエラント回復は停止します。

ユーザーの対応: ドライブをアンロードしてから、エラー回復を再試行してください。MVS でドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM でドライブをアンロードするには、仮想マシンにドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

SLS0865I

Attached task failure; RC=XXXX

説明: 回復処理中、特定の機能の実行を受け持つタスクが正常に終了せず、示されているリターンコードが返されました。

システムアクション: システムダンプが取られます。その他の回復処理は続行されません。

ユーザーの対応: システムプログラマに通知してください。問題診断のために、このダンプのコピーを保存しておいてください。

SLS0866I

Host recovery already in progress for HOSTid CCCCCC

説明: 指定のホストに対するホスト回復処理がすでに進行中のときに、別の RECover host コマンドがそのホストに対して発行されました。

システムアクション: 後の RECover host コマンドの処理は停止します。

ユーザーの対応: なし

SLS0867E

Attempting to locate errant volume volser

説明: HSC は、位置が不明確となったボリュームをエラーボリュームとしてマークしました。この原因は多数考えられます。たとえば、LSM がオフラインに変更された、HSC がキャンセルされた、あるいは LMU または LSM でエラーが発生したなどです。HSC は現在このボリュームを検索中であり、このメッセージを出力しました。

システムアクション: 処理が続行されます。位置の調査処理が完了すると、このメッセージの DOM が実行されます。

HSC は、ACS 内にそのボリュームがないことを確認すると、メッセージを発行して、ボリュームを制御データセットから削除できるようにします。

注記:

HSC が、ボリュームが存在する可能性がある位置をスキャンできない場合には、メッセージは出力されません。たとえば、ボリュームがオフライン LSM 内またはロードされたドライブ上にあると考えられ、そのボリュームがほかのどこにも見つからなかった場合は、メッセージは出力されません。

ユーザーの対応: なし

SLS0868I

LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: HSC が ACS AA へ要求を発行するときに、エラー XXXXXXXX が発生しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS0869D

*Errant recovery of volser - {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} is loaded;
reply Retry, Ignore, or Dismount (R/I/D)*

説明: volser のエラント回復中、ドライブ XXXX またはドライブ ID AA:LL:PP:NN がロードされていることが判明しました。これは、外部ラベルがロボット視認システムによって読み取れなかったことを示しています。

システムアクション: 回復処理は、オペレータが応答するまで待ち状態になります。

ユーザーの対応:

- ドライブで巻き戻しおよびアンロード処理が完了している場合、R と応答してマウント解除を再試行してください。
- ボリュームがドライブにあり、どのプロセッサのジョブにも割り振られていないことがわかっている場合、D と応答してそのボリュームを強制的にマウント解除してください。
- ドライブが使用中の場合は、このメッセージに対して I と応答し、ジョブがドライブ上のボリュームに対する処理を終了するまで待ってください。
- 誤動作が原因でドライブをアンロードできない場合は、ドライブをオフラインにし、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、このメッセージには I と応答してください。

注記:

ボリュームがドライブ上に存在しない場合は、Iと応答してください。HSCはボリュームに対する現在のエラント回復の試みを中止し、エラントのまま残します。この応答は永続的効果を持ちません。ドライブがロードされており、ボリュームがそのドライブ上にあるかぎり、以後にエラント回復を行おうとすると、このメッセージがふたたび出力されます。

SLS0870I

Errant recovery of volser - an audit of the locations associated with the volume may be required

説明: エラントボリューム *volser* を検索中に、エラント位置をスキャンしましたが、ボリュームの位置を特定できませんでした。エラント回復処理で、2つの位置に同じ OCR 可読 *volser* が検出されたか、または、両方の位置に読み取り不能な *volser* が存在していました。

システムアクション: ボリュームのエラント回復は停止します。

ユーザーの対応: そのボリュームに関連するエラント位置の監査を、適切な時点にスケジューリングしてください。位置を確認するには、Display Volume コマンドを発行します。

SLS0871I

Errant recovery of volser - unable to scan (D)

説明: エラントボリューム *volser* を検索中に、エラント回復処理で位置のスキャンを実行できませんでした。

D は理由コードを示します。

- 7 - ドライブが通信していません。LMU はドライブと通信できませんでした。
- 8 - 不正な移動です。LMU は、ある位置に移動しようとしてエラーを受け取りました。

システムアクション: ボリュームのエラント回復は停止します。

ユーザーの対応: Display Volume コマンドは、ボリュームのエラント位置を表示します。StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS0873I

Errant recovery of volser - Volume at {cell AA:LL:PP:RR:CC|DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}

説明: エラント回復処理で、示されている位置でボリュームが検出されました。

システムアクション: ボリュームがそのホーム位置にない場合、エラント回復処理でそのボリュームをホーム位置に移動させようとしています。

ユーザーの対応: なし

SLS0874A

Manually remove cart XXXXXX from ACS AA LSM LL

説明: HSC の起動中に、プレイグラウンド、ロボットハンド、またはパススルーポートにおいて、ACS AA LSM LL でカートリッジ XXXXXX が見つかりました。HSC は回復モードになり、カートリッジの処理を試行しました。ただしこの場合、HSC にはこのカートリッジのボリュームレコードがありません。HSC は、そのカートリッジを検出されたときの状態のままにします。カートリッジは LSM から手動で取り外すことができ、HSC 5.0 またはそれ以降のバージョンでは INTRANS パラメータを指定して Audit ユーティリティを実行できます。これらのカートリッジは、通常はプレイグラウンドにあります。

システムアクション: 処理は通常どおりに続行されます。カートリッジは見つかった場所に放置されます。

ユーザーの対応: LSM を開き、ライブラリからカートリッジを取り外すか、または INTRANS パラメータを指定して Audit ユーティリティを実行します。カートリッジが LSM に残される場合は、HSC の起動時、および HSC サービスレベルが Base から Full に変更されるたびに、このメッセージが出力されます。

SLS0898I

Recovery of volser1 - found volser2 in cell AA:LL:PP:RR:CC; new cell assigned for volser1

説明: 回復処理で、volser2 が volser1 のホームセルで検出されました。

システムアクション: volser1 に新しいホームセルが割り当てられます。

ユーザーの対応: volser2 を見つけて CDS に挿入するために、ホームセルの位置 AA:LL:PP:RR:CC の監査が必要となることがあります。

SLS0899I

Recovery of volser - cell AA:LL:PP:RR:CC requires auditing

説明: 指定されたボリュームの回復試行時にエラーが発生しました。ボリュームの移動先のセルにほかのカートリッジが入っていることが判明しました。

システムアクション: 回復処理で、ほかのセルを選択して移動が再試行されます。

ユーザーの対応: メッセージテキストに示されているセルを監査してください。

SLS0901D

Mount of volser1 on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volser readable (volser2); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: ボリューム *volser1* をマウントしようとしたときに、LMU が、*volser2* という異なる外部ラベルを持つ *volser* を見つけました。最初このボリュームは、外部ラベルを持たないものとして、制御データセットでマークされていました。

システムアクション: マウントは待ち状態になります。

ユーザーの対応:

- マウントを再試行する場合は、R と応答してください。
- ボリュームをラベル処理バイパスとマークしてから、マウントを再試行する場合は、B と応答してください。
- ボリュームを取り出す場合は、E と応答してください。volser *volser1* は、制御データセットから削除されます。また、*volser2* が制御データセットにない場合は、物理的にイジェクトされます。
- マウントを無視する場合は、I と応答してください。

SLS0902D

Dismount of volser1 from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volser readable (volser2); Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: *volser1* をマウント解除しようとしたとき、LMU は *volser2* という異なる外部ラベルを持つ *volser* を見つけました。最初このボリュームは、外部ラベルを持たないものとして、制御データセットでマークされていました。

システムアクション: マウント解除は待ち状態になります。

ユーザーの対応: マウント解除を再試行する場合は、R と応答してください。

- ボリュームをラベル処理バイパスとマークしてから、マウント解除を再試行する場合は、B と応答してください。
- ボリュームを取り出す場合は、E と応答してください。volser *volser1* は、制御データセットから削除されます。また *volser2* は、制御データセットにない場合は物理的に取り出されます。

- マウント解除を無視する場合は、I と応答してください。

SLS0904I

Swap of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Error doing scan

説明: volser のスワップ中にドライブのスキャンを要求されました。しかし LMU が移動エラーの発生を示したか、またはそのドライブと通信できませんでした。

システムアクション: スワップは実行されません。

ユーザーの対応: ドライブ XXXX|driveid AA:LL:PP:NN (「スワップ元」ドライブ) に対して DISMount コマンドを入力して、スワップ処理のマウント解除部分を再試行してください。次に Mount コマンドを入力して、「スワップ先」ドライブにボリューム volser をマウントしてください。

SLS0905D

No cartridges to clean {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} ACS AA; Reply "I", "T,capid,volser", or "R" (Ignore, Temp Enter or Retry)

説明: ACS AA にあるドライブと互換性のあるクリーニングカートリッジがありませんでした。

注記:

トランスポートのタイプごとに、異なるメディアタイプのクリーニングカートリッジが必要になります。たとえば、水平記録方式トランスポート (4480、4490、および 9490) には標準クリーニングカートリッジが必要であり、RedWood トランスポートには DD3D クリーニングカートリッジが必要です。

システムアクション: マウントが応答を待ちます。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- I

マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングはスケジュールされません。

- T,capid,volser

ドライブをクリーニングするため、指定の CAP の指定のクリーニングカートリッジを一時的に挿入します。(注: 一時的に挿入するクリーニングカートリッジの volser は、クリーニング接頭辞から入力する必要はありません。)

• R

クリーナの検索を再試行します (おそらくクリーニングカートリッジを挿入したあとで行います)。

警告:

自動クリーニングを行うには、トランスポートと互換性のある新しいクリーニングカートリッジを挿入する必要があります。

SLS0906E

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Unable to mount

説明: このホストの HSC がボリュームをマウントできませんでした。これ以外にも、問題の原因を示すメッセージが出力されるはずです。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: この ACS に接続されたすべてのシステムのエラーメッセージを調べてください。問題を修正してから、マウント要求を再発行してください。

SLS0907I

Mount of volser1 on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Overriding mount volser2 request

説明: volser1 をマウントしようとしたのですが、ボリューム volser2 に対するマウント要求がキューに入っていました。

システムアクション: volser2 のマウントは実行されません。volser1 のマウントが実行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0908I

Mount of volser1 on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Mount of volser2 active; attempting suppression

説明: volser1 のマウント処理で、volser2 に対するマウント要求がアクティブであることが判明しました。

システムアクション: システムは、スクラッチマウントを抑制しようとします。抑制が成功するかどうかに関係なく、volser1 のマウントは実行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS0909D

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - LSM AA:LL in manual mode; reply Delete or Ignore (D/I)

説明: 手動モード LSM にあるボリュームに対するマウント解除要求が受け取られました。

システムアクション: マウント解除は、ユーザーが D または I と応答するか、LSM をオンラインに変更するか、あるいは「MNTD Dismount Auto」コマンドを発行するまで、待ち状態になります。

ユーザーの対応: ボリュームを手動でマウント解除する場合は D と応答し、それ以外の場合は I と応答してください。

- D の場合、ボリュームは制御データセットから除去されます。ENter が実行可能になるまでの間、ライブラリからそのボリュームを取り外してください。
- I の場合、ボリュームは制御データセットから削除されません。
- LSM がオンラインに変更された場合、マウント解除が続行します。

SLS0910I

{Mount|Dismount} of volser {on|from} driveid AA:LL:PP:NN - Request terminated {|ACS IS SWITCHING}

説明: テープのマウント要求またはマウント解除要求が受け取られました。要求は終了中であり、その他のメッセージは出力されませんでした。ほかの未解決メッセージや、ボリュームをロックしている操作がないかどうかを確認してください。ACS IS SWITCHING が表示されている場合、Display Status コマンドを使用して、ドライブが存在する ACS *acs-id* が切り替え中かどうかを確認します。ACS が切り替え中の場合、切り替えが完了するまで待機してから、別のマウントまたはマウント解除を実行します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0911D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Manual volume at AA:LL:PP:RR:CC; reply Delete or Ignore (D/I)

説明: 手動 LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

システムアクション: マウント処理は、ユーザーが D または I と応答するか、あるいは LSM をオンラインに変更するまで待ち状態になります。

ユーザーの対応: ボリュームを手動でマウントする場合は、位置 AA:LL:PP:RR:CC からボリュームを除去してください。ボリュームが手元にある場合は、D と応答して、それを制御データセットから削除してください。マウント解除した場合、ENter が実行可能となるまでの間、ライブラリからそのボリュームを取り外してください。

- 要求を無視する場合は、I と応答してください。
- LSM がオンラインに変更された場合、マウントが通常どおり続行します。

SLS0912I

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Drive is loaded; mount request is being aborted

説明: マウント処理で、ドライブにボリュームがマウントされていることが検出されたために、マウント解除が呼び出されました。マウント解除処理で、ドライブがロードされており、マウント解除するボリュームとマウントするボリュームが一致することが判明しました。

システムアクション: そのマウント解除リクエストは取り消されます。マウント要求も中止されます。

ユーザーの対応: ボリュームをマウント解除する必要がある、ドライブが使用中でない場合は、ドライブからボリュームをアンロードして、マウントを再発行してください。MVS でドライブをアンロードするには、UNLOAD コマンドを使用してください。VM でドライブをアンロードするには、仮想マシンにドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

SLS0913I

Robotics request active for {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - unable to mount

説明: 上記のドライブに対するロボット要求が、別のシステムによってアクティブになっていました。1つのドライブに対して2つのマウント要求が発行されており、このシステムからのマウント処理で、もう一方のシステムからのマウント要求が最初に処理されていることが判明しました。

システムアクション: このシステムからのマウント要求は取り消されます。

ユーザーの対応: HSC が、同じドライブでほかのシステムによるマウント処理が進行中であることを検出したため、マウントを必要とするジョブを取り消して、再送信する必要があります。このシステムでのマウント要求は、再発行されません。

SLS0923I

{DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} has been cleaned using volser

説明: ドライブのクリーニングが、指定されている *volser* によって自動的に行われました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS0925D

Eject of volser - Volume not in cell AA:LL:PP:RR:CC; Reply (Logically) Delete or Ignore (D,I)

説明: Eject 操作で、制御データセット内のボリューム位置がわかりましたが、その位置は空でした。

システムアクション: ユーザーに対し、制御データセットの項目を削除 (D) するか、要求を無視 (I) するよう求めます。

ユーザーの対応: D と応答すると、制御データセットがクリーンアップされ、ボリュームはライブラリ内にはないものとみなされます。I と応答すると、操作が終了します。

SLS0926I

C invalid reply

説明: オペレータからの応答が、WTOR で提供されるオプションと一致しません。オペレータからの応答 C は無効です。

システムアクション: WTOR が再発行され、オペレータにもう一度応答を求めます。

ユーザーの対応: 有効なオプションで応答してください。

注記:

C は 1 バイトの長さにはできません。

SLS0927A

Wrong cartridge entered; expected volser1 and found volser2

説明: オペレータは、一時的な挿入に対応して、特定の volser (*volser1*) を挿入するよう要求されていました。CAP で誤った Volser (*volser2*) が検出されました。

システムアクション: CAP ドアはロック解除されて、オペレータがアクセスできるようになります。

ユーザーの対応: CAP ドアを開けて、誤ったカートリッジ (*volser2*) を取り外してください。これを正しいカートリッジ (*volser1*) と置き換えてから、CAP ドアを閉めてください。

SLS0928A

ENTER processing interrupted; empty CAPid AA:LL:CC

説明: Enter 処理が中断されました。カートリッジが CAP に残っています。CAPid AA:LL:CC を空にする必要があります。

システムアクション: システムは、オペレータが CAP ドアを開き、CAP が空であることを確認して CAP ドアを閉めるまで、待ち状態になります。CAP 内にカートリッジが残っている場合は、このメッセージが再発行されることがあります。CAP を空にすると、Enter 処理が続行されます。

ユーザーの対応: CAP ドアを開き、カートリッジをすべて取り外してください。

SLS0929I

{Enter|Eject} of volser - CCC...CCC; run a utility audit against cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: ENter 操作で、空であるべきセルが空でなかったことが検出されました。あるいは、EJect 操作が失敗し、CAP コンポーネントがボリュームをエラントステータスに変更できませんでした。volser は、そのボリュームの volser です。CCC...CCC は、そのエラーに関する 32 バイトの説明です。

システムアクション: ENter または EJect 操作は終了します。

ユーザーの対応: 報告されたセル位置に対して監査を実行して、制御データセットを修正してください。

SLS0931I

LSM AA:LL is {NOT READY|OFFLINE PENDING|OFFLINE}

説明: 指定された LSM は、OFFLINE、PENDING OFFLINE、または NOT READY のいずれかです。

システムアクション: 要求により、オンラインにも準備可能にもなっていない LSM が見つかりました。

ユーザーの対応: 指定された LSM を、オンラインかつ準備可能にしてください。

SLS0934D

EJECT of volser, Drive not rewound; reply Dismount, Retry or Ignore (D,R,I)

説明: ドライブからの Eject 操作で、ドライブが巻き戻しもアンロードもされていないことが判明しました。

システムアクション: オペレータが R (再試行)、D (マウント解除)、または I (無視) で応答するまで、システムは待機します。

ユーザーの対応: MVS では、MVS Unload コマンドを使用してボリュームをアンロードしてください。VM では、仮想マシンにドライブを ATTACH してから、それを DETACH してください。

- R と応答すると、巻き戻しオプションなしで取り出しが再試行されます。
- D と応答すると、巻き戻しオプションなしで操作が再試行されます。
- I と応答すると、条件に基づいてボリュームがエラントになり、操作が終了します。

SLS0935D

EJECT of volser - volser not readable; reply Bypass label checking or Ignore (B,I)

説明: ボリュームに対して Eject 操作が要求されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

システムアクション: ユーザーに対し、ラベルチェックをバイパスする (B) か、または要求を無視 (I) するよう求めます。

ユーザーの対応: B と応答すると、ラベルチェックをバイパスして Eject が再試行されます。I と応答すると、条件に基づいてボリュームがエラントになり、操作が終了します。

SLS0936D

EJECT of volser - SOURCE VOLSER DOES NOT MATCH DB; reply Ejector Ignore (E,I)

説明: Eject 操作が行われましたが、制御データセットで指定された位置にある volser が、要求された volser と一致しませんでした。

システムアクション: ユーザーに対し、取り出し (E) を実行するか、または要求を無視 (I) するよう求めます。

ユーザーの対応: E と応答すると、ラベルチェックをバイパスして Eject が再試行されます。I と応答すると、無条件でボリュームがエラントになり、操作が終了します。

SLS0937D

ENTER of volser - Source volser not readable; reply Bypass label checking or Eject (B,E)

説明: ボリュームに対して ENter 操作が要求されましたが、カートリッジラベルが読み取り不能であったために、操作は失敗しました。

システムアクション: ユーザーに対し、要求をバイパス (B) するか、またはボリュームを取り外す (E) よう求めます。

ユーザーの対応: B と応答すると、ラベルチェックをバイパスして ENter が再試行されます。E と応答すると、ラベル処理をバイパスしてボリュームが取り出されます。

SLS1000I

ACS ACS_id status: ACS_status

```
[Waiting Queue elements          Q_count]
[Active Queue elements           Q_count]
[Temporary Outage Queue elements Q_count]
Partition ID=PART_id
Compatibility levels: HSC=HSC_lvl, LMU=LMU_lvl

Redundant Electronics "is"|"not" Configured
-or-
Dual LMU "Is"|"Not" Configured
[Master is "A"|"B"; Standby is SBY_status]
[IP addr DDD.DDD.DD1
-or-
Hostname STN_hostname
-or-
Station STN_devno STN_status]

Scratch Volumes available..... SCR_count
Free Cells available..... FREE_count
[Library Summary:
NETC Lib LC Mode      Status      IP Addr/Host Name
Nid  Lid Cid CNTR_mod CNTR_stat   DDD.DDD.DD2|CNTR_host]

[ACS slots available for COMPLEX      ACS_slots]
```

説明: Display Acis コマンドの応答。

メッセージ変数:

ACS_id (2) "00"-"99"

ACS_status (11) "Connected"/"Disconnect"/"Unallocated"

Q_count (8) Number of queue elements
Queue counts are only displayed if > 0.

PART_id (3) "001"-"999" (Partition ID)
"000" (Not partitioned)

HSC_lvl (2) "10"-"23" (HSC maximum compatibility level)

LMU_lvl (2) "00", "05"-"23" (LMU compatibility level)
"00" (LMU not connected)
NOTE: The functionality available is implied by the lowest level listed (HSC or LMU)

SBY_status (9) "ready"|"not ready" (Standby LMU status)

DDD.DDD.DD1 (9) Station IP address

STN_hostname (8) Station hostname

STN_devno (4) Station Device Number

STN_status (17) Station Status (Dual LMU):

ONLINE	Enabled Path to Master LMU
OFFLINE	Disabled Path to ACS
STANDBY	Enabled Path to Standby LMU
PENDING ONLINE	Path being varied online
PENDING OFFLINE	Path being varied offline
PENDING FORCE	Path being forced offline
NOT READY	Network attached LMU not initialized
NETWORK RECONNECT	Network recovery active
TCP/IP CON ERR	Network recovery failure
UNKNOWN	Status unavailable

SCR_count (8) Number of Scratch Volumes available

FREE_count (8) Number of Free Cells available
NOTE: The following information is

displayed when a specific ACS has been requested this ACS supports Redundant Electronics.

Nid (2) "01"- "40" (Network Connection ID)
 Lid (1) "1"- "9" or "A"- "Z" (Library ID)
 Cid (1) "A" or "B" (Library Controller ID)
 CNTR_mod (7) "active"|"standby"|"switch" (Library Controller Mode)
 CNTR_stat (17) Status values are the same as for STN status.
 DDD.DDD.DD2 (11) Library Controller IP Address
 CNTR_host (8) Library Controller Hostname

NOTE: The following line is displayed when no specific ACS requested by the command.

ACS_slots (4) Number of available ACS slots for COMPLEX

システムアクション: システムの処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1001I

ENTER not scheduled on CAPid AA:LL:CC

説明: SENter コマンドが CAPid AA:LL:CC に対して入力されました。ENter はスケジュールされていませんでした。Eject コマンドは中断されません。「NOT ACCEPTED」の理由としては、次のことが考えられます。

- CAP がこのホストによって割り当てられていない。
- CAP の取り出し中ではない。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1002I

ACS AA: Switch already active

説明: 指定の ACS に対し、SWitch コマンドがすでに入力されています。AA は ACSid です。

システムアクション: この SWitch コマンドは終了しますが、以前の SWitch コマンドの処理は続行されます。

ユーザーの対応: 以前に SWitch コマンドが入力されている場合は処置は不要であり、それ以外の場合は StorageTek ソフトウェアサポートにこの事態を連絡してください。

SLS1003I

Switch failed, {ACSid|LIBid} is required

説明: 構成内に複数の ACS があるため、ACSid を指定する必要があります。または、ACS に複数のライブラリがあるため、LIBid を指定する必要があります。

システムアクション: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応:

- ACSid が必要な場合:

ACS パラメータと ACSid 値を指定した SWitch コマンドを再入力します (例: SW ACS 00)。

- LIBid が必要な場合:

ACS パラメータと ACSid 値、LIB パラメータと LIBid 値を指定した SWitch コマンドを再入力します (例: SW ACS 00 LIB 1)。

SLS1004I

ACS AA cannot switch; CCCCCC1 CCCCCC2 C3

説明:

- LMU 互換性レベル 22 以下の場合:

指定の ACS がデュアル LMU ACS であるのに、現在この ACS のスタンバイ LMU に HSC を接続しているスタンバイステーションがありません。

- 冗長電子デバイス (互換性レベル 23+) の場合:

指定の ACS に冗長電子デバイスがインストールされている場合でも、次の理由によって、切り替えが実行されなかった可能性があります。

1. HSC に接続するスタンバイネットワーク接続がない。
2. 冗長電子デバイスのライセンスがない。
3. スタンバイライブラリコントローラが通信していない。
4. ACS が機能またはユーティリティーの処理でビジー状態になっている。

- AA - ACSid: 「00」 - 「FF」
- CCCCCCCC1 - 理由を表すテキスト:
 - スタンバイ接続がない
 - RE がライセンスされていない
 - スタンバイが通信していない
 - ACS がビジー状態である
- CCCCCCCC2 - 「LIBID」 またはブランク。
- C3 - ライブラリ ID: 「1」 - 「9」、 「A」 - 「Z」、 またはブランク。

システムアクション: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応:

- LMU 互換性レベル 22 以下の場合:

スタンバイ LMU に対してステーションをオンラインに変更してから、SWitch コマンドを再入力してください。
- 冗長電子デバイス (互換性レベル 23+) の場合:

スタンバイ接続の接続、冗長電子デバイスのインストールおよびライセンス入手、またはスタンバイライブラリコントローラの修復を行なってください。
- ACS がビジー状態の場合:

ACS のアクティビティーを停止します。停止後、切り替えと競合するすべての機能やユーティリティーがアクティブになっていないことを、Display Status コマンドを使って確認します。何もアクティブになっていない場合、ACS の SWitch コマンドを再入力します。

SLS1005I

ACS AA cannot switch; ACS disconnected or not Dual LMU

説明: 指定の ACS がデュアル LMU ACS でないか、またはこの ACS へのステーションがすべてオフラインであるために、スタンバイ LMU で使用できるステーションがありません。

システムアクション: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS1007I

ACS AA: Initiating switch via CCCCCC1 C2 CCC3 CCCCC4 C5

説明: SWitch コマンドパラメータの検証が行われ、アクティブなライブラリコントローラに通知を行うスタンバイライブラリコントローラに SWitch コマンドを送信するために、使用可能なスタンバイステーションまたはライブラリ ID が選択されました。

- AA は ACSid であり、その値は「00」 - 「FF」です。
- CCCCCC1 は「Station」または「LIBID」です。
- C2 は LIBid であり、その値は「1」 - 「9」、「A」 - 「Z」、または空白です。
- CCC3 は「for」または空白です。
- CCCCC4 は「LIBID」または空白です。
- C5 は LIBid であり、その値は「1」 - 「9」、「A」 - 「Z」、または空白です。

システムアクション: 選択されたスタンバイステーションドライバまたはライブラリコントローラは、切り替え処理を開始するよう通知を受けました。

ユーザーの対応: なし

SLS1008I

ACS AA: Switch in progress flag and counts are reset successfully

説明: ACS の切り替え進行中が正常にリセットされました。また、切り替えのユーティリティーおよび機能のカウントもゼロにリセットされます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1010I

CCCCCCCC1 value list not allowed with CCCCCC2 value list on CCCCCC3 command

説明: 入力された CCCCCC3 コマンドで、CCCCCCCC1 パラメータと CCCCCC2 パラメータに値リスト (複数の値がコンマまたはダッシュで指定されている) が指定されていることが検出されました。ただし、CCCCCCCC2 パラメータに値リストが指定されている場合、コマンドに指定できる CCCCCC1 値は 1 つのみです。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドのパラメータを修正して、コマンドを再入力してください。

SLS1011I

The range specified on the CCCCCC1 parameter of the CCCCCC2 command is invalid or not allowed

説明: オペレータコマンドで特定範囲のセルが指定されました。指定の範囲に 100 を超えるボリュームが含まれるか、あるいはこのパラメータで範囲を使用できません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 100 以下のボリューム範囲を指定して複数のコマンドを入力するか、該当するバッチ HSC ユーティリティー (セル範囲に制限がない) を実行するか、または無効な範囲を削除してください。

SLS1012I

The value list specified for the CCCCCC1 parameter of the CCCCCC2 command exceeds the maximum number of list items

説明: CCCCCC2 コマンドの CCCCCC1 パラメータに、リスト項目の最大数を超える値リストを指定する、コマンドまたはユーティリティー機能の入力が試行されました。

システムアクション: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 項目の数が示されている最大数以下である値リストを指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

SLS1014I

SCRATCH SUBPOOL SUMMARY:

```
ACS(AA)
LSM(LL)      SUBPOOL(CCCCCCCCCCCC1) SCRATCH
COUNT=DDDDDDDD1
           SUBPOOL(CCCCCCCCCCCC2) SCRATCH
COUNT=DDDDDDDD2
LSM(LL)      SUBPOOL(CCCCCCCCCCCC3) SCRATCH
COUNT=DDDDDDDD3 SUBPOOL(CCCCCCCCCCCC4) SCRATCH
COUNT=DDDDDDDD4
TOTAL SCRATCH=DDDDDDDD
```

説明: Display SCRatch コマンドが正常に終了しました。アクティブサブプールで使用できるスクラッチボリュームの数が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1015I

ACS AA LSM LL:CC...CC1|DD..DD1 invalid for CC...CC2 parameter on CC...CC3 command

説明: 指定のコマンドに入力されたデータが無効です。

- AA は ACSid (10 進数) です。
- LL は LSMid (10 進数) です。
- CC...CC1|DD...DD1 は、コマンドに入力されたエラーデータです。
- CC...CC2 はコマンドに指定されたエラーオプションです。
- CC...CC3 は、構文規則に違反するコマンド名です。

システムアクション: 表示時間が無効な場合、システムでは、デフォルト値を使用してコマンドを続行する以外のアクションは行われません。

ユーザーの対応: 正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1016I

ACS AA LSM LL: CCCCCCCC1 rejected, CCC...CCC2 CCC...CCC3

説明: 示されている状況が原因で、指定のコマンドが拒否されました。

- AA は ACSid (10 進数) です。
- LL は LSMid (10 進数) です。
- CCCCCCCC1 はコマンド名です (VIEw など)。

- CCC...CCC2 は、オブジェクト (ACS、ACSid、ADDRESS、CAP 列、CAP 行、セル列、セル行、COLUMN、接続 LSM、HOST、HSC、LMU、LSM、LSMId、PANEL、PLAYGRND、PTP 列、ROW、XLSM) の名前、または LMU 要求リターンコード (論理エラー条件の場合) です。
- CCC...CCC3 は、オブジェクトの状態 (存在しない、下位レベルのマイクロソフトウェアがある、切断されている、無効である、オフラインである、シャットダウン中である、見つからない、指定されていない、指定パラメータが無効、別のパラメータと同じ) または論理エラーです。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。システムはそれ以上のアクションを実行しません。

ユーザーの対応: 原因となった状況の解消後、ユーザーはコマンドを再実行できません。

SLS1018D

ACSAA LSM LL; holding camera <N> for <time> seconds on <component> <location>

AA	ACSid (hexadecimal 00-FF)
LL	LSMId (hexadecimal 00-FF)
<N>	camera number (decimal 0-1)
<time>	5-120 as entered in the VIEw command or defaulted from the OPTion Viewtime command
<component>	CAPid, CEll, HOSTis & Drive, PPlaygrnd, or PTP as entered on the VIEw command
<location>	address (ROW RR COL CC, PP:RR:CC, XXX, CC, or LL:CC) as specified on the VIEw command

説明: VIEw コマンドが正常に完了しました。カメラは要求された位置に保持されています。

システムアクション: カメラは、要求された時間間隔の間、所定の位置に保持され、その時間間隔の経過後にロボットは解放され、ほかの作業に使用されます。このイベントをログに記録するために、レコードを任意で SMF データセットに書き込むことができます。

ユーザーの対応: ACS、LSM、およびカメラ識別子によって示されたモニターを見て、検査中の要素のステータスを調べてから、未処理の WTOR に (任意で) 応答し、

ほかの作業を行うためにハンドを解放してください。WTOR に応答しない場合、指定またはデフォルトの時間間隔が経過すると、ハンドは自動的に解放されます。

SLS1025I

Volser range (#-#) exceeds 300 volumes

説明: 指定の範囲には 300 を超えるボリュームが含まれています。指定できるボリュームの最大数は 300 です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: この範囲のサイズを減らしてください。

SLS1026I

CCCCCCCC of EXIT successful

説明: CCCCCCCC は機能です。Load 機能の場合、要求された出口が正常にロードされました。出口が使用可能な場合、その出口が呼び出されると新しいモジュールが呼び出されます。Enable 機能の場合、出口の最新モジュールが正常に使用可能にされました。出口が呼び出されると、このモジュールが使用されます。Disable 機能の場合、出口の最新モジュールが正常に使用不可にされました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1027I

CCC...CCC1 of EXIT failed, CCC...CCC2

説明: CCC...CCC1 は要求された機能です。Load 機能の場合、要求された出口をロードできませんでした。Enable 機能の場合、最新の出口を使用可能にできませんでした。Disable 機能の場合、最新の出口を使用不可にできませんでした。CCC...CCC2 は、エラーメッセージの理由です。

理由の説明には次のものがあります。

- all user exits are inactive-- この説明のとおりです。
- user exit number invalid-- UX01 - UX99 形式でなければなりません
- module not found-- ロードモジュールがロードライブラリにありません
- load error occurred-- HSC 内部エラー、再試行してください
- function is invalid-- 「LOAD」、「ENABLE」、「DISABLE」ではありません

- exit status invalid-- 「ACTIVE」または「DISABLE」ではありません
- lock attempt failed--HSC 内部エラー、再試行してください
- program error occurred--HSC 内部エラー、再試行してください
- exit is not dynamic-- 出口を再ロードできません

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: Load 機能の場合は、要求されたモジュールが、HSC 起動プロセスの SLSUEXIT DD 文で記述されたロードモジュールライブラリ内、または STEPLIB データセット連結内にあるかどうかを確認してください。Enable 機能の場合は、モジュールが正常にロードされており、かつ使用不可の状態にあるかどうかを確認してください。Disable 機能の場合は、モジュールが正常にロードされていて使用可能な状態にあるかどうかを確認してください。

SLS1028I

User exit status:

```
User exit status:
EXIT STATUS      LOAD-TIMESTAMP  MODNAME  SEQ #  STATUS-CHANGED
ccc1 cccccc2     cccccccccc3  ccccc4  nnnnn  cccccccccc5
-
-
-
QUERY of EXIT successful
```

説明: UEXIT QUERY コマンドが入力されました。要求されたユーザー出口のステータスが表示されます。次のような形式で、要求された出口ごとに 1 行ずつ情報が表示されます。

- ccc1 はユーザー出口識別子です。
- cccccc2 はユーザー出口のステータスを示します。次のいずれかです。
 - ACTIVE - 出口はロードされており、アクティブです。
 - INACTIVE - 出口はロードされていません。
 - DISABLED - 出口はロードされましたが、使用不可のステータスでロードされたか、または使用不可にされています。
 - ABENDED - 出口はロードされましたが、異常終了のため非アクティブ化されました。
 - PENDING - 出口がロードされ、UEXIT DISABLE コマンドが発行されました。Disable は完了していません。

- `ccccccccccc3` は、ユーザー出口がロードされた日時を表します。値は `yyyy-mm-dd hh:mm:ss`、または出口がロードされなかった場合は `NEVER LOADED` です。
- `ccccccc4` は、この出口用にロードされているモジュールの名前、または出口がロードされていない場合は `N/A` を示します。
- `nnnnn` は、この出口がロードされた回数、または出口がロードされていない場合は `NONE` です。
- `ccccccccccc5` は、ユーザー出口ステータスの最終変更日時を表します。値は `yyyy-mm-dd hh:mm:ss`、または出口がロードされなかった場合は `NEVER CHANGED` です。

システムアクション: ユーザー出口ステータス情報が表示されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1030I

HSC service level {BASE|FULL} active

説明: コマンド `Display SRVlev` は正常に完了しました。HSC は示されたサービスレベルで実行しています。このメッセージは、`BASE` または `FULL` サービスレベルで `Display SRVlev` コマンドが完了すると表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1031I

SUBpool(CCCCCCCCCCCC) not found; operator command ended

説明: オプションパラメータ `SUBpool` を指定したオペレータコマンドの入力を試みましたが、HSC は要求されたサブプールを認識しませんでした。

システムアクション: オペレータコマンドは、要求された機能を実行せずに終了します。

ユーザーの対応: `SUBpool` 名を検証してから、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1032I

No match found for ACSid AA; operator command ended

説明: 特定の `ACSid` に対するオペレータコマンドの入力を試みましたが、その `ACSid` に一致するものが見つかりませんでした。

システムアクション: オペレータコマンドは、要求された機能を実行せずに終了します。

ユーザーの対応: 正しい ACSid を指定したオペレータコマンドを再入力してください。

SLS1033I

No match found for LSMid AA:LL; operator command ended

説明: 特定の LSMid に対するオペレータコマンドの入力を試みましたが、入力された LSMid が見つかりませんでした。

システムアクション: オペレータコマンドは、要求された機能を実行せずに終了します。

ユーザーの対応: LSMid を修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1034I

No subpool data found for SUBpool XXXXXX

説明: ACSid、LSMid、またはSUBpoolなどのオプションパラメータを指定した Display SCRatch コマンドの入力を試みましたが、指定のデータに一致するものが見つかりませんでした。XXXXXX は SUBpool 名です。

システムアクション: 情報は表示されません。

ユーザーの対応: 該当する入力パラメータを修正して、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1035I

CCCCCC of EXIT failed; user exit index is not valid

説明: CCCCCC は、UEXIT コマンドの機能です。機能には、Load、Enable、Disable、または Query があります。UEXIT コマンドで渡された出口番号が、現在の既存の出口番号内にありませんでした。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: 正しいユーザー出口番号を指定してください。

SLS1037I

THRESHOLD VALUE SUMMARY:

```
ACS AA Threshold DDDDDD LSM LL Threshold DDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
.
.
.
Subpool CCC...CCC Threshold DDDDDD
```

説明: Warn コマンドが正常に完了しました。しきい値は、Warn コマンドにより設定される値を表します。

システムアクション: システムはそれ以上の処理は行わず、通常の操作が続行します。

ユーザーの対応: ユーザーアクションは必要ありません。

SLS1038I

Scratch Subpooling not in effect; Operator command terminated

説明: 特にスクラッチサブプールを処理するオペレータコマンドの入力を試みましたが、スクラッチサブプール処理が有効ではありませんでした。

システムアクション: オペレータコマンドは、要求された機能を実行せずに終了します。

ユーザーの対応: スクラッチサブプール処理がアクティブな場合にのみ、コマンドを再入力してください。

SLS1039I

Invalid Subpool name S...S specified in C...C

説明: コマンド C...C が発行されましたが、指定されたサブプール名が無効でした。サブプール名自体が無効であるか、要求ホストではサブプール名が無効であった可能性があります。

システムアクション: コマンドは、要求された機能を実行せずに終了します。

ユーザーの対応: 有効なサブプール名を指定してコマンドを再発行してください。

SLS1040I

CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 confirmed

説明: このメッセージは、CCCCCCCC1 値が CCCCCCCC2 であることを示します。たとえば、HSC の起動時に呼び出される、各種オプションを設定するコマンド

に、HOSTid キーワードが指定されていることがあります。HOSTid がある場合、コマンド実行前にこれが確認されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1041I

A keyword must be provided for the CCCCCCCC command

説明: コマンド CCCCCCCC がキーワードなしで入力されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 適切なキーワードを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS1042I

CCCCCCCC ACS List: ACSID(s): (AA, AA, AA-AA)

説明: このメッセージは、CCCCCCCC キーワード ACS リストの設定を表示し、AA は ACS 識別子を示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1050I

CCCCCCCC information is not available; subsystem is not at the proper service level

説明: サブシステムが正しいサービス (機能) レベルにないため、Display コマンドは、CCCCCCCC の情報を取得できませんでした。このメッセージは、HSC が完全に初期化される前、またはサービスレベルが SRVlev コマンドによって変更されたときに表示されることがあります。Display SRVlev を使用して、現在の HSC のサービスレベルを表示できます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: サブシステムが適切なレベルにあるときに、要求を再入力してください。

SLS1051I

CCCCCCCC1 command not executed; HSC is at service level CCCC2

説明: サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) で示された正しいサービスレベルになかったため、CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

SLS1052I

CCCCCCCC1 command not executed; HSC service level CCCC2 change in progress

説明: サブシステムが CCCC2 (BASE または FULL) に対する変更を現在処理しているため、CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: サブシステムが正しいレベルにあるときに、要求を再入力してください。

SLS1053I

CCCCCCCC1 command not executed; VSM not active

説明: Virtual Storage Manager (VSM) の Virtual Tape Control System (VTCS) サポートがこのシステムで実行中ではないため、サブシステムでは CCCCCCCC1 コマンドが実行されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: VTCS がアクティブであるときに、要求を再入力してください。

SLS1054I

CCCCCCCC1 command not executed; MERGEcds is in progress

説明: MERGEcds ユーティリティーが現在実行中ではないため、サブシステムでは CCCCCCCC1 コマンドは実行されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: MERGEcds ユーティリティーが終了したときに要求を再入力してください。

SLS1071D

RELEASE CAP AA:LL:CC requested; reply N to cancel, or Y to continue

説明: RELease CAP コマンドが入力されました。このメッセージに Y と応答する前に、システムが CAP を使用していないことを確認してください。CAP の解放を取り消す場合は、N と応答してください。

システムアクション: 応答が Yes の場合、CAP 解放処理が続行します。応答が No の場合、CAP は解放されません。

ユーザーの対応: Y または N で応答してください。

SLS1072I

CAP AA:LL:CC released

説明: RELease CAP コマンドが正常に完了しました。CAP AA:LL:CC は解放されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1074I

HSC CCCCCCCCCCCCC1 options:

CCCCCCCC2 - CCCCCCCC3 (for downlevel SMC)

説明: このメッセージは、コンポーネントに関連する設定オプションコマンドの 1 つに対するすべてのキーワードの設定を表示します。個々のキーワードの設定に「(for downlevel SMC)」というテキストが続く場合、そのオプションが有効であるのは、下位レベル SMC クライアントからの要求を処理する場合のみであることを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1075D

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Error on Tape; Ignore or Eject (I/E)

説明: エラー (メッセージ IEC512I など) が原因で、ボリューム volser がマウント解除されました。

システムアクション: ユーザーに対し、テープボリュームのエラーを無視 (I) するか、またはライブラリからテープボリュームを取り出す (E) ように求めます。

ユーザーの対応: 無視と応答すると、ボリュームが通常どおりにマウント解除されます。取り出しと応答すると、ボリュームがマウント解除され、ライブラリから取り出されます。いずれの場合も、ユーザーはシステムログを調べ、ジョブの実行を進める方法を決定するうえで重要である可能性がある、テープエラーを説明するメッセージ (IEC512I、IEC502E など) があるかどうかを確認する必要があります。

SLS1153I

CCCCCCCC1 parameter list not allowed with parameter CCCCCCCC2 value list, on CCCCCCCC3 function

説明: CCCCCCCC3 機能が処理され、CCCCCCCC1 パラメータと CCCCCCCC2 パラメータに値リスト (複数の値がコンマまたはダッシュで指定されている) が指定されていることが検出されました。CCCCCCCC2 パラメータに値リストが指定されている場合、機能に指定できる CCCCCCCC1 値は 1 つのみです。

システムアクション: 示されている機能に対するユーティリティー制御文は拒否されません。

ユーザーの対応: 示されている機能に対するユーティリティー制御文のパラメータを修正して、コマンドを再発行してください。

SLS1155I

Move summary: DDD {volumes|cells} specified; {DDD volumes not found|DDD empty source cells}; DDD volumes moved; DDD move errors

説明: HSC MOVE コマンドが完了しました。MOVE コマンドで Volume パラメータが指定されていた場合、DDD ボリュームがボリューム範囲に指定されていましたが、DDD ボリュームが検出されませんでした。それ以外の場合で、MOVE コマンドに Flsm パラメータが指定されている場合は、移動元 LSM (またはパネル、行、列) に DDD セルが指定されており、DDD の空のソースセルが存在していました。実際に移動されたボリュームの数とエラーの数も報告されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 報告されるエラーの数が 0 よりも大きい場合は、これよりも前のエラーメッセージを調べ、エラーの原因を判別してください。

SLS1158I

SCRATCH misspelled on ENTER utility control statement

説明: SLUADMIN ENTER ユーティリティーの実行が試みられましたが、ENTER 制御文に指定されていた SCRatch オプションのスペルが間違っていました。

システムアクション: 要求されたユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: 制御文に必要な修正を行い、ユーティリティーを再送信してください。

SLS1159I

SUBpool (CCCCCCCCCCCC) is invalid - not known to system

説明: EJECT ユーティリティーが特定のサブプールからスクラッチボリュームを取り出すことを要求しましたが、システムはこのサブプールを認識していません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: スクラッチボリュームを取り出すサブプールとして別のサブプールを選択してください。

SLS1160I

HSC Address Space Communications is not active

説明: SCREdist ユーティリティー (スクラッチ再分配) が ASCOMM タスクを開始できませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1161I

Invalid keyword detected on PARM input

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブが、無効なキーワードを含む PARM= パラメータを指定して送信されました。有効なキーワードとその値は次のとおりです。

*MIXED, NOHDR, LINECNT=nn, DATE={4YR|2YR} XMLCASE={M|U}, および
XMLDATE={YYYYMONDD|YYYY-MON-DD|YYYY-MM-DD}*

ここで、*nn* は、10 - 99 の値です。NOHDR と LINECNT は相互に排他的です。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: JCL PARM フィールドの値を修正して、再送信してください。

SLS1162I

Parm values LINECNT and NOHDR are mutually exclusive

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブが、NOHDR と LINECNT の両方を含む PARM= 値を指定して送信されました。この 2 つのパラメータを同時に指定することはできません。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN ジョブに対し NOHDR または LINECNT のいずれかを選択し、再送信してください。

SLS1163I

Invalid LINECNT on PARM input

説明: SLUADMIN ユーティリティージョブが、LINECNT に無効な値を含む PARM= 値を指定して送信されました。LINECNT の値は、10 から 99 までの数値です。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: JCL PARM の LINECNT の値を修正し、再送信してください。

SLS1177I

The CDS specified on the CDS keyword is inactive

説明: CDS キーワードが、エラーの原因となったデータセットを指定しています。これ以外に表示されるユーティリティーメッセージを参照してください。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: CDS で I/O エラーが発生した場合は、その他の CDS があればそのバックアップを実行してください。できるだけ早い時点で CDS を復元してください。

SLS1180I

The block count between the primary and secondary control data sets do not match

説明: BACKup ユーティリティーのデータセット検証で、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間でのブロック数の不一致が見つかりました。

システムアクション: CDS パラメータがセカンダリを示している場合、ユーティリティーは終了します。それ以外の場合、ユーティリティーはプライマリデータセットを使用して続行します。

ユーザーの対応: 正しいデータセットが使用されていることを確認してください。その場合、このエラーは、2つのデータセットの間で相対位置アドレス指定が矛盾していることを示しています。データセットを解析して、ブロック数が同一であるかどうかを確認してください。この状態を解決するためには、データセットを復元しなければならない場合があります。その場合、セカンダリ CDS をバックアップするために、SLSCNTL にセカンダリ、SLSCNTL2 にプライマリを指定してください。これにより、セカンダリのバックアップ中、プライマリに対して適切な予約が行われます。

SLS1181I

Open failed for SLSCNTL

説明: 指定されたファイルを開こうとしましたが、失敗しました。

システムアクション: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切なアクションを実行します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS1182I

Open failed for SLSLIBGN

説明: 指定されたファイルを開こうとしましたが、失敗しました。

システムアクション: オペレーティングシステムのメッセージとコードを参照して、適切なアクションを実行します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS1183I

Wrong format CDS

説明: LISTCDS により、V1.0.4 より古い CDS が検出されました。

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: エラーメッセージに示されている状況を修正してから、ジョブを再送信してください。

SLS1184I

Read error on CDS

説明: SLSCNTL DD 文によって示されたファイルを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行なってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS1185I

LSM has no drives or passthru ports

説明: SLSCNTL によって示された HSC CDS に、ドライブまたはパススルーポートが示されていません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: SLSCNTL DD カードに正しい CDS が指定されているかどうかを確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1186I

LIBGEN record CCCCCCCCCC

説明: レコード (CCCCCCCCCC) が、LIBGEN デコンパイルユーティリティーから SLSPRINT ファイルに出力されています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1187I

Possible invalid CDS - (CCC...CCC)

where (CCC...CCC) is:

No host count found

No TECHNIQUE specified

Unknown panel type

説明: SLUDBMAP が、SLSCNTL DD 文によって示されている HSC CDS で問題を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: SLSCNTL DD カードに正しい CDS が指定されているかどうかを確認してください。CDS が正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1190E

Maximum CCCCCC discrepancy count reached

説明: BACKUP 解析ルーチンで、CCCCCC の不一致の最大数に達したことが検出されました。CCCCCC は SCRATCH、SELECT、または AUDIT です。各不一致タイプの上限は次のとおりです。

- AUDIT= 96,000
- SELECT=10,000
- SCRATCH=10,000

システムアクション: ユーティリティーは、不一致の保存および不一致タイプの出力を中止します。それ以前のこのタイプの不一致はすべて保存され、RESTORE 処理のために出力されます。

ユーザーの対応:

- 不一致タイプが AUDIT である場合は、RESTORE のあとで完全な AUDIT を実行する必要があります。
- 不一致タイプが SCRATCH である場合は、RESTORE のあとで、SCRATCH ユーティリティーを実行する必要があります。
- 不一致タイプが SELECT である場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1191E

(...ERROR TEXT...)

説明: LISTCDS により問題が検出されました。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

- 予期しないファイルの終了

- DPV レコードが見つかりません
- CDS のレコードが無効です
- CDS で取得に失敗しました
- PARM に VOLSER はありません
- CDS に一致する VOLSER はありません
- カウントが無効です
- SLSCNTL DD がありません
- 計算追跡のエラーです
- パラメータ構文エラーです
- CDS のレコードタイプが多すぎます
- 範囲が許可されていません
- リストが最大値を超えています
- DVAR は最大値の 1000 を超えています

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: エラーメッセージに示されている状況を修正してから、ジョブを再送信してください。「Too many record types in CDS」というメッセージが表示された場合は、内部エラーの可能性がります。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1192I

CCCCCCCC1 parameter CCCCCCCC2 invalid

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、入力パラメータ CCCCCCCC1 に結合された有効なキーワード CCCCCCCC2 を認識しませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 正しい入力キーワードとパラメータを指定して、SLUADMIN ユーティリテীগジョブを送信してください。

SLS1193I

Recovery techniques do not match

説明: DPV 回復手法フラグが、プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間で一致しませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: 提供されたデータセットが正しいものであることを確認してください。そうでない場合は、正しいデータセットを取得して SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。正しいデータセットである場合は、SET ユーティリティーを実行して手法を再設定するか、または RESTORE を実行して DPV フラグを変更する必要があります。

SLS1194I

A CCCC mismatch occurred in block XXXX1 at offset XXXX2

説明: 制御データセットのプライマリコピーとセカンダリコピーの間で不一致が検出されました。このエラーメッセージは、両方のブロックのビットが一致しない場合に出力されます。いずれかのデータセットが不良であることを示すものではなく、ブロックの解析が行われることを示すものです。CCCC はブロック名です。XXXX1 は、エラーが検出されたブロックの番号を示す 16 進数値です。XXXX2 は、1 番目のエラーのブロックのオフセットを示す 16 進数値です。

システムアクション: ブロックが解析されます。

ユーザーの対応: この情報は、示されているブロックでの問題の診断に使用できません。

SLS1195I

Unable to dynamically allocate the CDS, CCC...CCC

説明: CDS へのアクセスを必要とするユーティリティーの実行を試みましたが、CDS DD 文が指定されていませんでした。このユーティリティーから、HSC サブシステムにアクセスしてアクティブな CDS ファイルを判別することができませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: CDS ファイルの動的割り当てを妨げている問題を修正するか、または CDS に対する DD 文を指定してください。

SLS1196E

Number of CDS statements does not match TCHNIQE parameter {NONE|SHADOW|JOURNAL|BOTH}

説明: SET TCHNIQE ユーティリティー機能が実行され、回復手法が示された値に設定されましたが、入力 CDS DD 文の数が新しい値に一致しませんでした。

- 手法が SHADOW および BOTH の場合、SLSCNTL および SLSCNTL2 DD 文を指定する必要があります。
- 手法が STANDBY および ALL の場合、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY DD 文を指定する必要があります。

システムアクション: ユーティリティ機能が RC=8 を返して終了します。

ユーザーの対応: 正しい CDS DD 文を指定し、このユーティリティを再実行してください。

SLS1197I

CCCCCCCC is indicated but the DD statement is not present

説明: これは警告文であり、回復手法がセカンダリデータセットまたはスタンバイデータセットを指示していることを示しています。ただし、必要な DD 文のいずれか 1 つが存在していません。有効なセカンダリ DD 文は、SLSSHDW、SLSCNTL2、および DBASESHD です。有効なスタンバイ DD 文は SLSSTBY です。

システムアクション: ユーティリティは続行します。

ユーザーの対応: 必要に応じて DD 文を指定し、SLUADMIN BACKUP ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS1198I

The CCCCCCCC control data set DD statement is invalid or not present

説明: 制御データセットの DD 文が無効であることが判明しました。有効な DD 文名は、プライマリ制御データセットの場合は SLSCNTL または DBASEPRM、セカンダリ制御データセットの場合は SLSSHDW、SLSCNTL2、または DBASESHD です。

システムアクション: これがプライマリ制御データセットの場合、ユーティリティは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて DD 文を指定し、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS1199I

The Backup being restored is from DDDDDDDD at HH:MM:SS

説明: RESTORE ユーティリティで、復元中のバックアップが、日付 DDDDDDDD、時間 HH:MM:SS に取られたものであることが判明しました。DDDDDDDD の形式は、BACKUP ユーティリティの DATE=4YR|2YR パ

ラメータによって異なります。DATE=4YR (デフォルト) の場合、日付の形式は YYYYMMDD です。DATE=2YR の場合、日付の形式は MM/DD/YY です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: これが必要なバックアップではない場合は、適切なバックアップを取得して、SLUADMIN RESTORE ユーティリティーを再送信してください。

SLS1200I

Invalid eyecatcher EBCDIC(CCCC) HEX(XXXX) found in CCCCCCCC

説明: 無効なブロックの目印が検出されました。このメッセージには、EBCDIC 値 CCCC と EBCDIC 形式 16 進値 XXXX の両方が示されているため、CCCCCCCC DD データセットの実際の 4 バイトフィールドがわかります。

システムアクション: この状況が検出されたデータセットは無効になります。ほかの制御データセットを使用できない場合、ユーティリティーは終了します。これが BACKUP ユーティリティーであり、非アクティブになったデータセットに対して CDS パラメータが指定されている場合、処理は終了します。それ以外の場合、ほかの制御データセットが使用可能であればそのデータセットで処理が続行します。

ユーザーの対応: 正しい制御データセットが指定されていることを確認してください。示されているデータセットを参照し、該当するブロックを見つけてください。このデータセットが正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1201I

SLUDRTL M could not find the VMF control record

説明: SLUDRTL M が TLMS VMF 制御レコードを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

システムアクション: SLUCONDB は、TLMS VMF の処理をそれ以上試みません。

ユーザーの対応: SLUDRTL M のアセンブルに使用した TLMS ソースライブラリのバージョンが、TLMS VMF と同じであることを確認してください。たとえば TLMS 5.4 VMF を使用している場合、アセンブルステップの SYSLIB 連結時に、SLUDRTL M は TLMS 5.4 ソースライブラリを使用してアセンブルする必要があります。

SLS1202I

Utility incomplete, make corrections and rerun

説明: ほかの SLSxxxx メッセージに示されているエラーが原因で、SLUADMIN ユーティリティーが完了しませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 修正を行い、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1203I

Missing or invalid CCCCCCCC DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティーが必要な CCCCCCCC DD 文を検出できなかったか、または指定された情報 (デバイスタイプやデータセットなど) が無効であったか、または VOLRPT を実行して HSC からデータセットを参照していた場合は HSC が非アクティブであったか、HSC が VOLRPT と同じリリースレベルにありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 正しい DD 文を指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1204I

I/O error reading the CCCCCCCC data set

説明: CCCCCCCC DD データセットからの読み取り中に I/O エラーが発生しました。

システムアクション: エラーのデータセットが CDS データセットである場合、そのデータセットは非アクティブにされ、使用可能な制御データセットがほかに存在していなければユーティリティーが終了します。エラーのデータセットが CDS データセットではない場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: 正しい CCCCCCCC データセットを指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1205I

I/O error writing the CCCCCCCC data set

説明: CCCCCCCC DD データセットへの書き込み中に I/O エラーが発生しました。

システムアクション: エラーのデータセットが CDS データセットである場合、そのデータセットは非アクティブにされ、使用可能な制御データセットがほかに存在し

ていなければユーティリティーが終了します。エラーのデータセットが CDS データセットではない場合、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: 正しい CCCCCCCC データセットを指定して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1207I

Not enough space in the CCCCCCC data set

説明: 十分なスペースがなかったために、SLUADMIN ユーティリティーは CCCCCCCC データセットに対する処理を続行できませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 適切な量のスペースを指定してから、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1208I

The CCCCCCCC1 data set was made inactive; processing will continue on the CCCCCCCC2 data set

説明: BACKUP ユーティリティーが、CCCCCCCC DD 制御データセットの 1 つが非アクティブになったことを検出し、もう 1 つのデータセットで BACKUP を続行しました。CCCCCCCC1 データセットのエラー発生以前に検出された不一致データは、すべて保存されます。セル情報を取得し、DSEL (UNSELECT)、DSCR (UNSCRATCH)、DAUD (AUDIT) のブロックを生成するために、CCCCCCCC2 で比較が実行されます。

システムアクション: ユーティリティーの処理は、2 つのデータセットではなく 1 つのデータセットで続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS1209I

All Control data set copies found inactive; CCCCCCCC terminated

説明: SLUADMIN ユーティリティーにより、制御データセットのすべてのコピーが非アクティブになったことが検出されました。I/O エラーまたはブロックエラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エラーの原因を示す別の SLSxxxx メッセージを見つけてください。

SLS1210I

Processing has started for the CCCC block

説明: BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの解析を開始しました。

システムアクション: 詳細なブロック解析が行われます。

ユーザーの対応: なし

SLS1211I

Processing complete for the CCCC block

説明: BACKUP ユーティリティーが、CCCC ブロックの解析を完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SLS1212I

CCCCCCC1 has been verified for the CCCCCC2 utility

説明: SLUADMIN ユーティリティーにより、CCCCCCC2 の情報 CCCCCC1 が検証されました。CCCCCCC1 の例として JCL があります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1213I

Discrepancy blocks have been generated

説明: バックアップ中、少なくとも 1 つの不一致ブロックが生成されました。Volser またはセル位置が無効であることが判明しました。復元時にアクション (AUDIT、UNSELECT、UNSCRATCH) を実行できるように、ブロックは SLSBKUP データセットに配置されます。

システムアクション: 不一致ブロックは、SLSBKUP データセットに出力されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1214I

No discrepancy blocks were generated

説明: バックアップ中に不一致ブロックが生成されませんでした。ユーティリティーは volser またはセルの不一致を検出ませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1215I

CCCCCCCC1 was successfully copied to CCCCCCCC2

説明: CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 で指定されたデータセットに正常にコピーされました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1216I

CCCCCCCC was selected as the control data set to output

説明: CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットが、SLSBKUP データセットへの出力対象として選択されました。これは、最新の内容であるように見えるデータセットに基づいて、BACKUP ユーティリティーのキーワード CDS(Primary|Secondary)、または BACKUP ユーティリティープログラムのいずれかによって行われます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1217I

CCCCCCCC data set was not on DASD

説明: CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットが、DASD ボリューム上で見つかりませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: CCCCCCCC データセットを DASD ボリュームに配置して、ユーティリティーを再起動してください。

SLS1218I

DHBEFLAGS may not have been reset in a CDS

説明: 以前のエラー状態が原因で、DHBE ホストアクティブフラグがリセットされなかった可能性があります。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: レポートで以前のエラーを調べ、そのメッセージに基づいてアクションを行なってください。

SLS1219I

CCCCCCCC1 data set was successfully restored from CCCCCCCC2

説明: CCCCCCCC1 DD 文で指定されたデータセットが、CCCCCCCC2 DD データセットから復元されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1220I

The HSC is not at the proper service level

説明: 指定のユーティリティーを実行しようとしたしましたが、HSC がこのユーティリティーを実行するための正しいレベルではありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: HSC を適切なサービスレベルに設定し、ユーティリティーを再実行してください。

SLS1221I

No scratch volumes available for subpool CCCCCCCCCCCC

説明: EJECT ユーティリティーが特定のサブプールからスクラッチボリュームを取り出そうとしたのですが、このサブプールには使用できるスクラッチボリュームがありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: スクラッチボリュームを取り出す別のサブプールを選択するか、または SCRATCH ユーティリティーを実行してボリュームをスクラッチにしてください。

SLS1222I

```
COMMAND CCCCCC REQUIRES {HSC ACTIVE|HSC LEVEL BASE|HSC LEVEL FULL|
VTCS ACTIVE}
```

説明: コマンドまたはユーティリティーを実行しようとしたが、HSC または VTCS が必要なサービスレベルではありませんでした。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: HSC を適切なサービスレベルに設定するか、VTCS をアクティブにする必要があればアクティブにして、コマンドまたはユーティリティーを再実行してください。

SLS1223I

```
HSCLEVEL set to CCC for Host CCCCCC
```

説明: 指定のホストの CDS ホストアクティブフラグおよび HSC レベルフラグが、ホストが非アクティブであることを示すように設定されました。

システムアクション: 指定のホストが実際にアクティブである場合以外は、何も行われず、アクティブである場合は、実行中のホストにより、「ホストアクティブ」フラグと HSC レベルステータスフラグがふたたびオンにされます。

ユーザーの対応: なし

SLS1224I

```
Cells AA:LL:PP:RR:CC- AA:LL:PP:RR:CC found empty or invalid
```

説明: 該当するセルが空であることが検出されたか、またはボリュームを保持できる有効なセルではない可能性があります。過去の監査と比較して、有効性を確認してください。

システムアクション: そのボリュームはエラントになります。

ユーザーの対応: 必要に応じて示されているセルを監査し、正しいかどうかを確認してください。

SLS1225I

```
Request cancelled or subsystem terminating
```

説明: ユーティリティーコマンドが試行されましたが、UI CANCEL コマンドによって取り消されたか、HSC サブシステムが終了処理中であったために、コマンドが完了しませんでした。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: HSC サブシステムがアクティブであることを確認し、要求を再送信してください。

SLS1227I

RESTORE is required before running SET TCHNIQE

説明: SLUADMIN ユーティリティー (SET TCHNIQE) は、制御データセット回復 TCHNIQE を設定しようとしたのですが、RESTORE が実行されていないことを検出しました。SET TCHNIQE を実行する前に、BACKUP と RESTORE を実行する必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: CDS コピーの RESTORE を実行してから、SLUADMIN ユーティリティー (SET TCHNIQE) ジョブを再送信してください。

SLS1228I

Unable to select HSC subsystem; all HSC subsystems are MULT

説明: SLUADMIN ユーティリティーまたは UII 要求が HSC サブシステムを選択しようとしたのですが、使用可能な HSC サブシステムのすべてが MULT モードで起動されていたため、サブシステムを選択できませんでした。

システムアクション: ユーティリティーが終了するか、または UII コマンドが実行されません。

ユーザーの対応: メッセージが SLUADMIN ユーティリティーからのものである場合は、EXEC 文に SSYS=xxxx パラメータ (xxxx = 目的の HSC サブシステムのサブシステム名) を指定してこのユーティリティーを再送信してください。

メッセージが UII ユーティリティーからのものである場合は、正しいインタフェースパラメータが指定されていないことを示しています。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡して支援を要請してください。

SLS1250D

*ENTER of volume volser encountered missing duplicate volser;
(Logically) Delete, or Ignore (D,I)?*

説明: 挿入操作で、制御データセット内の重複ボリュームが検出されましたが、そのボリュームをライブラリ内で物理的に検出できませんでした。

システムアクション: ユーザーに対し、制御データセットのボリューム挿入を削除 (D) するか、挿入要求を無視 (I) するよう求めます。

ユーザーの対応: 削除 (Delete) と応答すると、制御データセットからボリューム挿入が削除され、カートリッジを挿入できるようになります。無視 (Ignore) と応答すると、新しいボリュームの挿入が終了します。

SLS1251E

CAPid AA:LL:CC (CCCCCCCC1): CCCCCCCC2

説明: 指定の要求元 (CCCCCCCC1) が、CAP を開くかまたはロック解除するときに、文字列 CCCCCCCC2 を表示するよう要求しました。

システムアクション: なし。CAP のドアを閉めると、このメッセージの強調表示が解除されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1252I

EJECT of volser - Volume deleted from the CDS

説明: オペレータが、メッセージ SLS0925D に対して I と応答しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1253I

CCC...CCC rejected - CCC...CCC is CCC...CCC

説明: CAP 操作が失敗しました。次の応答が表示される可能性があります。

- ENTER|EJECT 拒否されました - ACSid AA が無効です
- ENTER|EJECT 拒否されました - ACSid AA is not connected
- ENTER|EJECT 拒否されました - CAP AA:LL:CC がビジー状態です
- ENTER 拒否されました - CAP AA:LL:CC が使用不可です
- ENTER|EJECT 拒否されました - LSMid AA:LL が無効です
- ENTER|EJECT 拒否されました - LSMid AA:LL がオフラインです
- volser の ENTER 拒否されました - LSMid AA:LL がいっぱいです
- volser の ENTER 拒否されました - 操作がオペレータによって中止されます

- *volser* の EJECT 拒否されました - ボリュームがビジー状態です
- volume *volser* の EJECT 拒否されました - CAP AA:LL:CC はボリュームと ACS が異なります

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1254I

{ENTER|EJECT} rejected; non-zero return code XXXXXXXX

説明: CAP 処理から、予期しないリターンコードが返されました。

システムアクション: そのリクエストは拒否されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1255I

Option DUPOFL set to ON, enter of dup volser allowed, scan of dup volser cell returned LMU RC - XXXX

説明: *volser* の挿入時に、制御データセットで *volser* の重複と思われるものがライブラリ内で検出されました。ハードウェアに問題があるために、制御データセットにより *volser* が存在すると想定されているセルの内容の物理的な検証を実行できません。LMU RC に定義されているハードウェアの問題が原因で、*volser* を物理的に検索することができません。

システムアクション: OPTion DUPOFL 設定を ON にすることで、重複 *volser* の処理が可能になりました。重複する *volser* は、制御データセットから論理的に削除されました。ENter 処理中に重複が検出された *volser* は、ライブラリに挿入されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1300D

CAPid AA:LL:CC allocated to AUDIT Utility; KEEP or RELEASE the CAP?(K or R)

説明: SLUADMIN ユーティリティー機能に割り当てられているカートリッジアクセスポート (CAP) を解放し、CAP の使用を必要とする別の機能に再度割り当てることができます。CAP を解放すると、ユーティリティー機能は必要に応じてあとで CAP の再割り当てを試行します。

システムアクション: ユーティリティーは、有効な応答が入力されるか、または最大5分が経過するまで、待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP を解放する必要がある場合は R と応答してください。その後 CAP を空にして、ドアを閉めてください。その後監査が再開されます。

ユーティリティーの実行中に CAP が割り当てられた状態にしておく場合は、K と応答してください。5分以内に応答しないと、デフォルトの応答である K が想定されます。

SLS1301I

Invalid reply C

説明: メッセージに対する応答が無効でした。

システムアクション: 応答を必要としている元のメッセージが再発行されます。

ユーザーの対応: もう一度メッセージが出力されたら、有効な応答を入力してください。

SLS1302I

Unable to allocate CAPid AA:LL:CC, RC=XXXXXXXX

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、ユーティリティー制御文に指定された CAP を割り当てることができませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 示されている CAP エラーリターンコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1303I

Unable to allocate CAP in ACSid AA, RC=XXXXXXXX

説明: カートリッジアクセスポート (CAP) を必要とする SLUADMIN ユーティリティー機能が、指定の ACS 内で CAP を割り当てることができませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 示されている CAP エラーリターンコードの理由を判別して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS1310I

Invalid LIBONLY specified in PARM parameter of JCL

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、呼び出し元の JCL で誤って指定されている LIBONLY 位置引数を検出しました。

システムアクション: パラメータにエラーがあることが示され、ユーティリティーはリターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの対応: パラメータを正しく指定し直してください。

SLS1311I

*Program interface error encountered while processing volume volser;
RC=XXXXXXXX*

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、HSC プログラムインタフェースを介してボリュームのステータスをスクラッチに設定しているときに、エラーが発生しました。

システムアクション: メッセージテキストにボリュームとリターンコードが示され、ユーティリティーはリターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの対応: このメッセージとともに出力されたほかのエラーメッセージを参照してエラーの原因を判別し、エラーを修正してから、ジョブを再送信してください。

SLS1312I

DDDDDDDD volumes successfully scratched

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、指定の数のボリュームのステータスをスクラッチに正しく設定しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1313I

No valid parameters specified for the CCCCCCCC utility

説明: CCCCCCCC に示されているユーティリティーには、少なくとも 1 つの有効なキーワードまたはパラメータが必要です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 適切なキーワードを指定して、ユーティリティーを再送信してください。

SLS1314I

CDS CCCCCCCCCC was not provided in the JCL

説明: CDS でデータセット名 CCCCCCCCCC が見つかりましたが、このデータセット名はユーティリティー JCL に指定されていませんでした。

システムアクション: ユーティリティーは RC=8 を返して終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティー JCL に適切な CDS DD 文を追加してください。

SLS1315I

DDDDDDDD was selected as the CCCCCCCC control data set

Explanation: ユーティリティー機能は、DHB ブロックまたは JCL に基づき、データセット DDDDDDDD が CCCCCCCC CDS であることを検出しました。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS1316I

Standby control data set not used during analysis

説明: ユーティリティー機能により、BACKup OPT(Analyze) の実行中にスタンバイ DD 文が指定されたことが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーはスタンバイデータセットの使用を中止します。

ユーザーの対応: なし

SLS1317I

No DES record found for errant volume volser

説明: AUDIT の実行中、ボリューム volser がエラントであることを示す VAR レコードが検出されました。ただし、このエラントボリュームに対応する DES レコードが、CDS 内で見つかりませんでした。SLUADMIN AUDIt レポートにこのメッセージが示される場合は、メッセージ SLS0180I も示されます。

システムアクション: そのユーティリティーは、リクエストされた機能を完了せずに終了します。

ユーザーの対応: このメッセージは、CDS の重大な論理的問題を示すものであり、データベースが破損したことを示している可能性があります。すべてのコンソールログ (SYSLOG) を保存し、CDS のバックアップコピーを問題のドキュメントとして提供できるように準備してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1318I

Volume volser now has a readable label

説明: AUDIT の実行中に、ボリューム *volser* に読み取り不能外部ラベルが付いていることを示す VAR レコードが検出されました。ただし、そのボリュームの実際のスキャンで、OCR ラベルは読み取り可能であり、VAR 内のボリュームシリアル番号と一致することが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーは、ボリュームに読み取り可能な外部ラベルが付いていることを示すように CDS を更新します。

ユーザーの対応: なし

SLS1321I

Invalid parameter found at end of PARM parameter of JCL

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムが、JCL の呼び出し時に指定された有効なパラメータの後に追加の文字があることを検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: PARM パラメータを正しく指定し直してください。次にユーティリティーを再実行してください。

SLS1401I

User exit 03 overridden by VOLPARM definitions

説明: ユーザー出口 03 定義が SET VOLPARM ユーティリティー定義によってオーバーライドされました。TYPE(SCRATCH) POOLPARM 定義が SET VOLPARM ユーティリティーに含まれていない場合は、SCRATCH POOL は定義されません。

システムアクション: SET VOLPARM ユーティリティー定義がアクティブになります。

ユーザーの対応: なし

SLS1402I

Actual entries=nn or subpools=nn not equal expected

説明: ユーザーの SLSUX03 ユーザー出口からボリュームサブプールが作成されましたが、初期 SLSUX03 ユーザー出口定義に準拠していませんでした。

システムアクション: なし、実際のサブプール数と項目数を使用してサブプールが作成されます。

ユーザーの対応: SLSUX03 ユーザー出口を修正して、サブプールを正しく定義してください。

SLS1403I

Parmlib control statement value CCCCCCCC invalid for SCRPOOL=CCCCCCCC

説明: SCRPOOL 制御文の処理で、指定のエラーが検出されました。「value CCCCCCCC」の「CCCCCCCC」に含まれる可能性のあるテキストは、次のとおりです。

- RANGE は、「RANGE」の使用に問題があることを示します。
- RANGE=(111111-222222) は、「RANGE」のリストに問題があることを示します。
 - 111111 は、指定の SCRPOOL 範囲リストの 1 番目の値です。
 - 222222 は、指定の SCRPOOL 範囲リストの 2 番目の値です。
- NAME は、「NAME」の使用に問題があることを示します。
- LABEL は、「LABEL」の使用に問題があることを示します。
- HOSTID は、「HOSTID」の使用に問題があることを示します。

システムアクション: エラーのある SCRPOOL 制御文は処理されず、そのサブプール定義はシステムに作成されません。

ユーザーの対応: 必要な修正を行なってください。次に、HSC を停止してから起動し、変更を反映してください。

SLS1404I

Duplicate definition(s) for SCRPOOL CCCCCCCCCCCC

説明: HSC が、すでに定義されているサブプール名に対する SCRPOOL 文を検出しました。

システムアクション: HSC は重複する定義を無視します。

ユーザーの対応: HSC 起動パラメータまたは SCRPODEF ファイルから、サブプール CCCCCCCCCCCCCC の重複する定義を削除してください。

SLS1405E

Virtual SCRPOOL CCCCCCCC not found in current definitions

説明: 仮想ボリュームの現行のスクラッチカウントを計算中に、VTCS が HSC の認識できないスクラッチプール名を返しました。

システムアクション: HSC Display SCRatch コマンドは、不明な仮想スクラッチサブプールを名前が付いたサブプールとして報告しませんが、サブプールのスクラッチカウントを仮想スクラッチカウントの合計に追加します。

ユーザーの対応: この状態は発生するはずのないものであり、ソフトウェアエラーの可能性がります。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1406I

Label Type CCC is already assigned to SUBPOOL CCCCCCCCCCCC

説明: HSCの初期化中に、同じサブプールに複数のラベルタイプが割り当てられていることが判明しました。

システムアクション: ユーザーエラーの可能性がります。HSC に対してサブプールを定義するときに、サブプールごとにラベルタイプが1つだけ指定されるようにしてください。

ユーザーの対応: HSC ユーザー出口 03、またはスクラッチサブプールを定義する HSC PARMLIB メンバーのいずれかにあるユーザーエラーを修正してください。

SLS1407I

User SCRATCH subpool definition from CCCCCC initiated

説明: CCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が開始されました。

- CCCCCC ="PARMLIB"- ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、「SLSSYSnn」 DD カードです。
- CCCCCC ="UEXIT03"- ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。

システムアクション: ユーザー SCRATCH サブプールが定義されます。通常はこのメッセージに続いて、メッセージ SLS1969I および SLS1408I が表示されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1408I

User SCRATCH subpool definition from CCCCCC complete

説明: CCCCCC をソースとして使用するユーザー SCRATCH サブプール定義が完了しました。

- CCCCCC ="PARMLIB"、ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、「SLSSYS00」 DD カードです。
- CCCCCC ="UEXIT03"- ユーザー SCRATCH サブプール定義のソースは、ユーザー出口 03 です。

システムアクション: なし。通常はこのメッセージの前に、メッセージ SLS1407I および SLS1969I が表示されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1409I

Subpool CCCCCCCCCCCC has duplicate volser range volser-volser

説明: サブプール CCCCCCCCCCCC の定義で volser の範囲が重複しています。

システムアクション: サブプール定義はロードされません。

ユーザーの対応: サブプール CCCCCCCCCCCC のユーザー出口 03、parmlib SCRPool 定義、または SCRPEDEF スクラッチサブプール定義に、重複する volser 範囲がないことを確認してください。

SLS1410I

VCAM cleaner error detected for LSM AA:LL

説明: LSM AA:LL のクリーナカートリッジを追跡する HSC 制御データセット (CDS) 内のレコードに、エラーがありました。低位カートリッジシリアルが、高位カートリッジシリアルよりも大きくなっています。

システムアクション: HSC は、すべてのクリーナボリュームレコードを読み取り、それらと LSM クリーナデータとの同期を取ります。その後、クリーナ選択処理を再試行します。

ユーザーの対応: なし

SLS1411I

SCRPDEF cmd(s) disabled by PARMLIB SCRPOOL(s) or USER EXIT03

説明:

1. SCRPOOL コマンドまたは USER EXIT03 処理によって、HSC STARTUP の実行中に SCRDEF コマンドが無効になりました。
2. HSC STARTUP 処理時に SLS1411I メッセージが出力され、SCRDEF コマンドが無効になります。
3. このメッセージは、SCRDEF コマンドが無効になったあとに SCRDEF コマンドが要求された場合にも出力されます。

システムアクション: SCRDEF コマンドがバイパスされます。

ユーザーの対応:

- SCRDEF コマンドが必要な場合は、HSC PARMLIB および HSC の起動処理を適切に修正してください。
 - SCRPOOL コマンドを削除します。
 - USER EXIT03 処理を削除します。
- SCRDEF コマンドが不要な場合は、修正アクションを行う必要はありません。

SLS1450I

CAP cannot be released.LSM AA:LL is not available

説明: HSC が LSM AA:LL と通信できなかったため、その LSM 上の CAP の解放要求が処理されませんでした。

システムアクション: CAP は、HSC によって解放されません。

ユーザーの対応: コンソールログで、LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージを調べてください。おそらく、LSM が非アクティブであるか、作動できないステータスになっています。ハードウェアエラーが見つかった場合は修正し、CAP の解放を再試行してください。

SLS1500I

Error copying primary data base to secondary and/or standby data base

説明: セカンダリ制御データセットまたはスタンバイ制御データセットのいずれか、またはこの両方の制御データセットが無効である可能性があります。

システムアクション: 再構成処理は停止します。

ユーザーの対応: 導入システムで、IEBGENER などのユーティリティーを使用して、セカンダリ制御データセットまたはスタンバイ制御データセットのいずれか、またはこの両方の制御データセットにプライマリ制御データセットをコピーできます。

SLS1501I

SYNAD Error Message text

説明: 再構成処理の終了時点で、プライマリ制御データセットをセカンダリ制御データセットまたはスタンバイ制御データセットのいずれか、またはこの両方の制御データセットにコピーしたときに、SYNAD エラールーチンに制御が渡されました。このメッセージテキストは、SYNAD 処理から提供されたテキストです。

システムアクション: 再構成処理は停止します。

ユーザーの対応: エラーの原因を判別したあとで、導入システムで IEBGENER などのユーティリティーを使用して、プライマリ制御データセットを、セカンダリ制御データセットまたはスタンバイ制御データセットのいずれか、またはこの両方の制御データセットにコピーできます。

SLS1502I

SMF subparameter CCCCCCCC; no SMF data will be recorded

説明: このサブシステムの SUBPARM パラメータが指定されていないか、または無効です。

システムアクション: サブシステムのデフォルトは、SMF 記録なしです。

ユーザーの対応: 導入システムで SMF 記録を追加する必要がある場合には、「SUBPARM(ssnx(SUBTYPE(a,b,c...)))」を指定して SET SMF または SETSMF コマンドを入力できます。

SLS1505I

HSC service level {BASE|FULL|JES3} initialization complete

説明: 示されているサービスレベルでの HSC の初期化が完了しました。このメッセージは、BASE または FULL サービスレベル、あるいは JES3 サブシステムの初期化が終了すると表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1506I

HSC service level {BASE|FULL|JES3} termination in progress

説明: HSC は示されているサービスレベルの終了処理を開始しました。このメッセージは、BASE または FULL サービスレベル、あるいは JES3 サブシステムの終了処理が開始すると表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1507I

Command starting at line NN has excessive length

説明: HSC がパラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとしたときに、長すぎるコマンドを検出しました。オペレータコマンドの場合、この制限は 126 です。ほかのコマンドの場合、この制限は 32767 です。

システムアクション: 処理が続行されます。エラーのあるコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

SLS1508I

Unknown command CCCCCCCC at line NN

説明: HSC がパラメータデータセットからコマンドを読み取ろうとしたときに、未定義のコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。エラーのあるコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの構文が正しいことを確認してください。

SLS1509I

I/O error CCCCCCCC

説明: I/O エラーが発生しました。CCCCCCCC は、エラーを説明するメッセージです。MVS の場合、これは SYNADAF メッセージバッファからの情報です。VM の場合、これにはジョブ名、ユニットアドレス、DD 名、DECB ECB の 16 進ダンプ、相対ブロック番号などが含まれます。

システムアクション: パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。可能であれば、システムは初期化を続行します。CDS 文または JOURNAL 文がない場合は、これは不可能です。

ユーザーの対応: パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS 文または JOURNAL 文の場合は、エラーを修正して、HSC を再起動してください。

SLS1510I

Comment not terminated near line NN

説明: パラメータデータセットの処理中に、(/* で始まる) コメントが */ で終わっていませんでした。これは、行 *NN* の付近で発生しました。

システムアクション: コマンドの /* より後の部分は無視されます。エラーのあるコマンドの後続のコマンドは処理されます。ただし、さらにエラーが発生する可能性があります。

ユーザーの対応: コメントの終わりを示すインジケータ (*/) を、パラメータデータセットに追加してください。

SLS1511I

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC

説明: 記録目的で、HSC がパラメータデータセットの情報をハードコピーログに送信しています。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1512I

Error occurred processing CCC...CCC

説明: パラメータデータセット (CCC...CCC) の処理中にエラーが発生しました。

システムアクション: パラメータデータセットの残りは無視されます。エラー発生前に正しく読み取られた文は処理されます。可能であれば、システムは初期化を続行します。CDS 文または JOURNAL 文がない場合は、これは不可能です。

ユーザーの対応: パラメータデータセット内で欠落している文の多くは、オペレータコマンドで対処可能です。CDS 文または JOURNAL 文の場合は、エラーを修正して、HSC を再起動してください。

SLS1513I

HSC service level {BASE|FULL} termination complete

説明: HSC が示されているサービスレベルを終了しました。この終了処理は、オペレータコマンドによって開始された場合は正常です。回復できないソフトウェア障害が原因で HSC そのものによって開始された場合、この終了処理は異常です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1515I

MVS 4.1.0 services are not present

説明: 必要なサービスをサポートしていない (CVTH4410 がオンになっていない) MVS 上で、HSC の MVS 4.1.0 バージョンの初期化が試行されました。

システムアクション: HSC は初期化されません。

ユーザーの対応: 正しいバージョンの HSC を初期化してください。

SLS1516I

HSC Version CCCCCCCC

説明: CCCCCCCC には、初期化中の HSC のバージョンが表示されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1517A

The HSC task name does not match a subsystem name or the SSYS keyword was not provided

説明: 初期化中、サブシステム名は、起動プロシージャー名、または起動プロシージャーの PARM="SSYS(CCCC)" 定義のいずれかと一致しなければなりません。CCCC は 1 から 4 文字のサブシステム名です。

SSYS パラメータが指定されている場合、HSC は SSYS パラメータの値を使用して、この値に一致するサブシステム名を検索します。SSYS パラメータが指定されていない場合、HSC は起動プロシージャーの名前 (開始タスク名) を使用して検索を行います。

MVS では、サブシステム名は IEFSSNxx に定義されています。VM では、起動プロシージャーは HSC 起動 SLKJCL ファイルです。システムプロファイル (SYSPROF)

の LIBSUBSYS パラメータ値が HSC 起動 SLKJCL ファイルのジョブ名と一致するか、または SSYS パラメータ値が LIBSUBSYS パラメータ値と一致しなければなりません。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: 正しいサブシステム名またはジョブ名を指定し、RSC を再起動してください。

SLS1518I

Pre-initialization complete

説明: INIT パラメータを使用して呼び出された HSC 起動プロシージャが完了しました。

システムアクション: INIT パラメータにより、Job Entry Subsystem (JES) サービスを使用するようにサブシステムが設定されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1519I

PARMLIB command CCCCCCCC at line NN is not supported in this environment - ignored

説明: HSC がパラメータデータセットからコマンドを読み取っていたときに、この環境 (MVS または VM) ではサポートされていないコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1520I

PARMLIB command CCCCCCCC at line nn must be run as a utility - IGNORED

説明: HSC PARMLIB のコマンド CCCCCCCC は、ユーティリティーとしてのみ有効です。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: HSC および VTCS コマンドに有効な環境を調べるには、Display CMD CCCCCCCC を使用します。PARMLIB から無効なコマンドを実行するには、SLUADMIN ユーティリティーを実行してください。

SLS1521I

No TAPEPLEX name found in CDS

Explanation: HSC 起動中に、TAPEPLEX 名が設定されていなかったことが判明しました。

システムアクション: なし。SMF レコードには TAPEPLEX 名が含まれず、これは統計レポートに影響する可能性があります。

ユーザーの対応: SET TAPEPLEX ユーティリティ機能を実行し、TAPEPLEX 名を適切な値に設定するか、または SMC を起動し、TAPEPLEX 名を自動的に設定してください。TAPEPLEX 名の設定後、一致しない TAPEPLEX 名から送信される SMC コマンドはすべて拒否されます。

SLS1600I

HOST-to-HOST Summary:

```

HOST-to-HOST Summary:
Hostid   Method   MethLim  VTAMname  LMUpath
[>>] host1   meth1    methlim1  [name1]   [acsid1]
      host2   meth2    methlim2  [name2]   [acsid2]
      .       .         .         .         .
      .       .         .         .         .
      .       .         .         .         .
      hostn  methn    methlimn  [namen]   [acsidn]
    
```

説明: 定義されている HSC HOSTid のリストが、対応する現在の方式および方式の上限とともに表示されます。「>>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。VTAMpath 名が定義されている場合は、この名前が表示されます。現在の方式が LMU である場合は、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1601I

Host-to-Host Detail:

```

[>>]Hostid=hostid1
      Method=meth
      Method limit=methlim
      [VTAMname=name]
      [Active LMU path=acsid]
      [LMU path(s) defined:
        acsid1 acsid2 acsid3 acsid4
        acsid5 acsid6 acsid7 acsid8
      ]
    
```

```

      .      .      .      .
      :      :      :      :
      .      .      .      :
                                acsidn ]

```

説明: 定義されている HSC HOSTid の現在の設定が表示されます。「>>」は、パラメータが実行ホストのものであることを示します。VTAMpath 名が定義されている場合は、この名前が表示されます。LMUpath ACSid が定義されており、現在の方式が LMU である場合、アクティブな LMUpath ACSid が表示されます。LMUpath ACSid が定義されている場合、ACSid を検索できるように ACSid のリストが表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1602I

Method CCCC invalid; no CCCC path defined

説明: 指定の通信方式に対応するパスが定義されていません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 事前にパスが定義されている方式を指定するか、または必要なパスを指定して、コマンドを再実行してください。

SLS1603I

Cannot delete all CCCC path definitions while current method is CCCC

説明: 現在アクティブな通信方式のすべてのパス定義を削除することはできません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 現在の通信方式の非アクティブなパス定義を指定してコマンドを再入力するか、または新しい通信方式を指定するコマンドを最初に入力してください。

SLS1604I

Cannot {delete|modify} active CCCC path definition

説明: 現在アクティブなパス定義を削除または変更することはできません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: パスの非アクティブ化、パスの変更、または通信方式の変更を行なってください。その後、コマンドを再入力します。

SLS1605I

No matching CCCC path definition to delete

説明: DEL パラメータで指定されたパス定義は、現在定義されていません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しいパス定義を指定してコマンドを再入力してください。

SLS1606I

Too many CCCC path definitions specified

説明: パス定義の数が、定義の許容最大数を超過しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 古い定義や不要な定義を削除してから、正しいパス定義を指定して、コマンドを再入力してください。

SLS1607I

MONITOR STATUS: CCCCCCCC1 - CCCCCCCC2

説明: このメッセージは Display MONitor コマンドに対応して出力されます。CCCCCCCC1 はコンソールを定義します。CCCCCCCC2 は、有効なモニタータイプを指定します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1608I

Undefined CCCCCCCC specified: XXXXXXXX

説明: パラメータ値 (CCCCCCCC) が事前に定義されていません。XXXXXXXX は指定された内容を示します。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しいパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1609I

No valid parameters specified for CCCCCCCC command

説明: CCCCCCCC コマンドの入力を試みましたが、有効なパラメータが指定されていませんでした。直前のメッセージに、エラーの説明があります。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 有効なパラメータを指定してコマンドを再入力してください。

SLS1610I**Method CCCC is higher than limit defined for host CCCCCCCC**

説明: 指定の通信方式は、通信方式の階層内において、指定のホストに定義された上限よりも上位にあり、このホストは、コマンドを実行しているホストであるか、またはコマンドによって指定されたホストです。

システムアクション: コマンドは完了しますが、可能な場合、通信方式は指定のホストに設定された方式の上限と同等になります。その結果、実際には通信方式は切り替わりません。

ユーザーの対応: なし。あるいは、指定のホストの通信方式の上限を変更してから、コマンドを再入力してください。

SLS1611I**Invalid RETRY function - CCCCCCCC**

説明: RETry コマンドに指定された機能 (CCCCCCCC) が無効です。

システムアクション: RETry コマンド処理は終了します。

ユーザーの対応: 該当する ELS ガイドを参照するか、または HSC Display CMd RETry コマンドを発行して、現在サポートされている RETry 機能を判別してください。

SLS1613I**Data set CCCCCC1 {ENABLED|DISABLED}**

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CDs Enable コマンドまたは CDs Disable コマンドが発行され、処理が完了しました。

システムアクション: HSC は通常のアクティビティを再開しません。

ユーザーの対応: なし

SLS1614I

Auto Enable {ENABLED|DISABLED}

説明: Auto Enable が発行され、有効または無効になります。

システムアクション: HSC は通常のアクティビティを再開しません。

ユーザーの対応: なし

SLS1615I

Journal {ABEND|Continue} option enabled

説明: Journal FULL=Abend コマンドまたは Continue コマンドが発行され、正常に完了しました。

システムアクション: HSC は通常のアクティビティを再開しません。

ユーザーの対応: なし

SLS1616I

Disable request rejected; last active CDS cannot be disabled

説明: アクティブな最後の CDS に対して無効化要求が出されました。

システムアクション: 要求は失敗します。システムではこのアクションは許可されていません。HSC には、アクティブな CDS のコピーが少なくとも 1 つ必要であり、CDS のコピーがない場合 HSC は停止します。

ユーザーの対応: オペレータコマンド HSC Display CDS を発行して、すべての CDS コピーの状況を確認してください。

SLS1617E

Request failed; data set CCCCCC1 not known to this host

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CDs Disable 要求が出されましたが、入力されたデータセットはシステムで認識されませんでした。

システムアクション: HSC は通常のアクティビティを再開しません。

ユーザーの対応: 現在 HSC が認識しているデータセットのみが無効になる場合があります。Display CDS コマンドを使用して現在の CDS 定義をリスト表示し、CDs Disable コマンドを再発行してください。

SLS1619I

{ENABLE|DISABLE|EXPAND} request failed

説明: CDs Enable、Disable、または EXpand 要求の処理中にエラーが発生しました。

システムアクション: HSC は通常のアクティビティを再開しません。

ユーザーの対応: この要求に関連するその他の HSC エラーメッセージを確認してください。

SLS1620I

Enable request validation for data set CCCCCC1 failed; CCCCCC2

説明: CCCCCC1 はデータセット名です。CCCCCC2 は次のいずれかになります。

- 割り当てに失敗しました
- 割り当て解除に失敗しました
- データセットを割り振る必要があります
- オープンに失敗しました
- クローズに失敗しました
- 読み取りに失敗しました
- 有効な CDS ではありません。
- データセットがエラー状態にあります
- フラグが無効です

Enable CCCCCC1 に対応して、システムは指定されたデータセット名を検証するために、そのデータセットの割り当て、オープン、読み取り、検証を行います。その後、システムはデータセットのクローズと割り当て解除を試行します。これらのテストに成功すると、CDS の有効化と切り替えのいずれかまたは両方が行われます。それ以外の場合は、テストが失敗した内容を示すこのメッセージが出力されます。

システムアクション: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの対応: これまでに出力された MVS コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS エラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1621I

*To enable a new CDS data set, only one CDS copy can be inactive;
currently multiple copies inactive*

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセットをアクティブにしようとしたが、複数の CDS コピーが現在非アクティブであるため、失敗しました。

システムアクション: HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: Display CDS コマンドを使用して、現在の CDS データセット定義を表示してください。CDs Enable コマンドを使用して既知の CDS コピーの 1 つをアクティブにし、次に最初の CDs Enable コマンドを再発行して新しい CDS データセットをアクティブにしてください。

SLS1622I

Down-level host CCC1 found active during attempt to CCCCCCCC2

説明: HSC 5.0 の機能で CDs コマンドの発行を試行しましたが、ホスト CCC1 でダウンレベルの HSC システムがアクティブであることを検出しました。CCCCCCCCC2 は、次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

- 新しい CDS データセットを有効にします
- CDS を拡張します

システムアクション: HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: ホスト CCC1 でダウンレベルの HSC (およびほかのホストのダウンレベルの HSC) を停止し、CDs コマンドを再発行してください。

SLS1623I

CDS CCCC...CCCC inactive; all CDS copies must be enabled to expand CDS

説明: CDs EXpand コマンドを使用して CDS の拡張を試行しましたが、CDS のコピーであるデータセット CCCC...CCCC が非アクティブであることが検出されました。CDS を拡張するには、すべての CDS コピーがアクティブ (有効) である必要があります。

システムアクション: HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: CDs Enable コマンドを使用して CDS CCCC...CCCC をアクティブにしてください。次に CDs EXpand コマンドを再発行してください。

SLS1624I

Attempt to CCCCCCCC failed; could not read DHB

説明: CDS コマンドで HSC 5.0 機能の実行を試行しましたが、アクティブな CDS DHB レコードの読み取り中に失敗しました。CCCCCCCC は、次の HSC 5.0 機能のいずれかです。

- 新しい CDS データセットを有効にします
- CDS を拡張します

システムアクション: HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: これまでに出力された IBM コンソールメッセージまたは HSC コンソールメッセージから CDS 読み取りエラーとその解決方法を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1625I

CCCC..CCC1 obsolete; use CCCC..CCC2

説明: 要求された機能 CCCC..CCC1 は現在サポートされていません。示されている代替 CCCC..CCC2 を使用してください。要求された機能と指定の代替機能のリストを次に示します。

- LOad SLSDDQR - Display CDS
- LOad SLSLDQR - Display Requests
- LOad SLSMDQR - Display DRives
- LOad SLUPCOPY - PITCOPY ユーティリティー

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1626I

CCCCCCCC Parms installed from data set DDDDDDDD

説明: HSC は xxxxDEF コマンドへの応答時に、指定のデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードしました。このメッセージが発行された直後に、パラメータが HSC によって使用されます。

- CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (xxxxDEF)。
- DDDDDDDD はデータセット名です。

システムアクション: HSC および VTCS 機能が、ロードされたパラメータを使用できるようになります。

ユーザーの対応: なし

SLS1627I

CCCCCCCC Parms not installed, Reason code XXXX

説明: HSC は xxxxDEF コマンドへの応答時に、指定のデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードできませんでした。

- CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (xxxxDEF)。
- XXXX は 16 進数値の理由コードです。

パラメータがロードされなかった理由を示す理由コードと定義を次に示します。

- 0008 - 1 つ以上の文で構文エラーが発生しました
- 0009 - 2 つの文の間で矛盾が検出されました
- 000B - 指定された情報が無効でした
- 000C - データセットの読み取りで I/O エラーが発生しました
- 0010 - HSC がデータセットを割り当てることができませんでした
- 0014 - HSC がデータセットをオープンできませんでした
- 0018 - データセットの処理に使用できる十分なメモリーがありませんでした
- 001C - エラーの数が多すぎます

システムアクション: HSC は通常の操作を再開します。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再試行してください。

SLS1628I

CCCCCCCC: Record DDDDDDDD ... EEEE

説明: xxxxDEF コマンドまたは SLSMERGE 制御文の処理時に、HSC でエラーが発生しました。

- CCCCCCCC は、コマンドのタイプ (xxxxDEF) または制御文 (SLSMERGE) です
- DDDDDDDD は、ファイル内のレコードの番号を示す 10 進数値です。
- EEEE は、複数行からなるこのメッセージの次の行を示すシステム生成番号です。

レコード番号は、エラーの文を示します。レコード番号がゼロ (0) の場合、データセットの問題、または2つ以上のレコードが関係するエラーが発生していることを示します。

このメッセージは2行からなるメッセージであり、2行目はエラーの性質を示します。2行目のテキストは次のいずれかになります。

- ACS - 不明な ACSid

ACS キーワードに指定されていた ACSid は、HSC では認識されません。

- ACSlist - ACSids が重複しています

ACSlist キーワードに指定されていた ACSid のリストに、重複する値が含まれています。

- ACSlist - ACSids の最大数が超過しました

ACSlist キーワードに指定されていた ACSid の数が、許容最大数を超過しています。

- ACSlist - 不明な ACSid

ACSlist キーワードに指定されていた ACSid のうち1つ以上が、HSC では認識されません。

- ARCHAge - 1 から 999 日の間にしてください

ARCHAge パラメータ値が制限を超えています。

- ARCHPol - STORCLAS 名の数が最大値を超えています
- ARCHPol - STORclas 名が無効です

VTCS の CDS レベルに基づき、ストレージクラス名の数が2つまたは4つに制限されています。

- 範囲外の CCCCCC の値は *D-DDD* にしてください

MVCPool パラメータに指定されていた値が、許容範囲内にありませんでした。

CCCCCC = MVCFREE、MAXMVC、THRESH、または START パラメータ

D-DDD = パラメータ値の許容範囲

- ファイル終了時にコメントが閉じていません
- 最後の文の終了の前にファイルの終了が見つかりました

- CONSRC - 無効な指定です

ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。

- CONSRC - 1 より大きい STORclas 名は MIGpol に指定されていません

MIGpol パラメータも必須であり、このパラメータには 3 つ以上の一意の名前が含まれている必要があります。

- CONSRC - MIGpol パラメータに STORclas 名の一致がありません

指定されたストレージクラス名は MIGpol パラメータの名前のいずれかと一致している必要があります。

- CONSRC - VSM(ADVMMGMT) 機能がアクティブではありません

- CONTGT - 無効な指定です

ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。

- CONTGT - VSM(ADVMMGMT) 機能がアクティブではありません

- DELSCR - 無効な指定です

DELSRC キーワードに指定されていた値が NO および YES ではありませんでした。

- DUPlex - 無効な指定です

DUPlex キーワードに指定されていた値が NO および YES ではありませんでした。

- データセット割り当てのエラー; コード *XXXX-XXXX*

XXXX-XXXX = DYNALLOC エラーコードおよび理由コード

- データセットを開くエラー; 完了コード *XXX-XX*

XXX-XX = OPEN 完了コードおよび理由コード

- 列付近のエラー *NNN:TTTTTTTT*

NNN = エラーが検出された列番号

TTTTTTTT = エラーテキスト

- *CCCCCCCC {parameter|list|range}* のエラー: *TTTTTTTT*

CCCCCCCC = エラーのパラメータ、リスト、または範囲

TTTTTTTT= エラーテキスト (下記参照)

前述の 2 つの 2 行目のメッセージのエラーテキスト (*TTTTTTTT*) には、次のものが含まれます。

- クリーニングメディアがメディア値として無効です
- 相互に必要なパラメータがありません
- 無効な値の長さです
- 無効な値です
- 必須パラメータがありません
- 相互に排他的なパラメータが見つかりました
- 位置指定のエラーです
- 必要な値が見つかりません
- 構文エラーです
- キーワードが不明です
- 何も許可されていないときに値が指定されています
- 過剰な数のエラーのためファイルの処理を終了します
- FUNCTION - 認識されていない値です
- データセット読み取りの I/O エラー:*CCCCCCCC*

CCCCCCCC = SYNADAF により生成されたエラーメッセージ

- IMMEDmig - 無効な指定です

IMMEDmig キーワードに指定されていた値が NO、KEEP、DELETE のいずれでもありませんでした。

- メモリーが不足しています
- LMUADDR IP アドレスが無効です; *CCCCCCCC*

LMUADDR パラメータは IP アドレスのようですが、IPv4 と IPv6 のいずれのアドレス形式にも準拠していません。

- LMUADDR 不明なホスト名です; *CCCCCCCC*

LMUADDR パラメータは有効な IP アドレスではないため、有効なホスト名として解決できませんでした。

- LMUADDR IPv6 のサポートがありません; *CCCCCCCC*

LMUADDR パラメータに IPv6 アドレスが指定されていますが、ホストが IPv6 プロトコルをサポートしていません。

- LMUADDR リストに重複するエントリが含まれています

LMUADDR 文に重複する項目が含まれています。LMUADDR 文の各項目は一意でなければなりません。

- LMUADDR リストに許可された最大数を越えた項目が含まれています

1 つの LMUADDR キーワードには、最大 4 つのホスト名または IP アドレスを指定できます。

- LMUADDR は EZASMI API の初期化を実行できません

TCP/IP サポートモジュールが使用できないため、ソケット通信インタフェースは初期化を実行できません。

- LMUPATH の重複する ACS ID が見つかりました

以前の LMUPATH 文に指定されていた ACS ID が検出されました。

- LMUPATH の無効な ACS ID が見つかりました

指定された ACS ID は HSC に対して定義されていません。

- LMUPDEF: LMUPATH 文が含まれていません

このテキストは、LMUPDEF ファイルの読み取り中に LMUPATH 文がどの行でも見つからない場合に出力されます。LMUPATH 文がファイルに含まれている場合は、それより前のコメント文を調べてください。コメントは、スラッシュとアスタリスクで始まり、アスタリスクとスラッシュで終わるコメントブロック内に記述されている必要があり、カラム 73 から 80 までは無視されます。

- MAXCLEAN は暗黙指定、またはデフォルトメディアと互換性がありません

MEDIA キーワードが指定されておらず、暗黙指定のメディアタイプまたはデフォルトのメディアタイプが STD、DD3D、STK1U、STK2W (MAXclean と互換性のある唯一のメディアタイプ) のいずれでもありません。MAXclean キーワードを削除するか、または互換性のあるメディア値を MEDIA キーワードに指定してください。

- MAXCLEAN は MEDIA(XXXXXXXX) と互換性がありません

XXXXXXXX は、MEDIA キーワードに指定されている値です。

- MAXCLEAN はクリーニングカートリッジボリュームシリアル番号にのみ有効です (XXXXXX)

XXXXXX は、HSC クリーナ接尾辞とその後続く xxx からなるクリーニングカートリッジ Volser の形式を示します。

- MAXCLEAN の値が許容範囲内にありません

MAXclean キーワードが指定されていましたが、その値が許容範囲 1-32767 内にありません。

- MAXVtvsz が CDS でサポートされている値を超えます - DEFAULTED

MAXVtvsz パラメータに指定されている値が、CDS のレベルでサポートされている値を超えています。パラメータはデフォルトで CDS レベルによりサポートされる最高値に設定されます。

- MAXVtvsz - 無効な指定です

MAXVtvsz キーワードに指定されていた値が 400、800、2000、4000 のいずれでもありませんでした。

- MEDIA - クリーナカートリッジのメディアは無効です

STORclas 文のクリーナカートリッジのメディアタイプが無効です。

- MEDIA - リストに重複するタイプがあります

STORclas 文で重複するメディアタイプが検出されました。

- MEDIA - リスト内のタイプが多すぎます

STORclas 文には、20 を超える数のメディアタイプを指定できません。

- MGMTCLAS はこの FUNCTION に有効ではありません
- MIGpol - STORclas 名の数を超えます

VTCS の CDS レベルに基づき、ストレージクラス名の数に 2 つまたは 4 つに制限されています。

- MIGpol - STORclas 名は無効です

ストレージクラス名の最初の文字が英字ではありません。

- MIGpol - VSM(ADV MGMT) 機能はアクティブではありません
- MVCPOOL 名 ALL および DEFAULTPOOL は許可されていません

- MVCPOOL の値はレコード DDDDDDDD でそれらと競合します

MVCPOOL 文に、同名の以前の MVCPOOL 文とは異なる MVCFREE、MAXMVC、THRESH、または START 値が指定されています。

DDDDDDDD = 以前の MVCPOOL 文のレコード番号

- MVCPOOL/STORCLAS は FUNCTION(SPECIFIC) に有効ではありません
- MVCPOOL/STORCLAS/PREVVTTSS は FUNCTION(SCRATCH) に有効ではありません
- NAME - 無効な指定です

NAME キーワードに指定されていた値が、8 文字を超えているか、または無効な文字を含んでいます。NAME には、A から Z の文字で始まり、A から Z、0 から 9、\$、#、@ だけを使用した値を指定できます。

- REPlicat - 無効な指定です

REPlicat キーワードに指定されていた値が NO および YES ではありませんでした。

- REPlicat(YES) - VSM(ADVMMGMT) 機能はアクティブではありません
- RESTIME - 無効な指定です

RESTIME には 1 から 9999 までの値を指定する必要があります。

- RESTIME - IMMEDMIG(DELETE) と相互に排他的です

VTV を VTSS 内に常駐させ、かつ移行して即時に削除することは指定できません。

- RESTIME - VSM(ADVMMGMT) 機能はアクティブではありません
- 文が長すぎます
- STORclas - 移行オプションが無効な指定です

MIGRATE パラメータに指定されていた値が無効です。

- STORclas - VSM(ADVMMGMT) 機能がアクティブではありません
- ユニット、モデル、メディアタイプおよび記録技法が無効または互換性がないことを示すテキスト
- 認識されていない文
- Volser の指定が Record DDDDDDDD で競合します

MVCPOOL 文に指定されている Volser は、異なる名前の以前の MVCPOOL 文で定義された Volser と重複しています。

DDDDDDDD = 以前の MVCPOOL 文のレコード番号

- VTSSSEL - VSM(ADVMTGMT) 機能がアクティブではありません
- VTVPAGE - 無効な指定です

VTVPage キーワードに指定された値が、STANDARD と LARGE のいずれでもありませんでした。

- VTVPAGE の値が CDS にサポートされていません - 無視

パラメータ値 LARGE は、CDS のレベルでサポートされていません。要求は無視され、値 STANDARD が想定されます。

- MAXVtvsz が 800 より大きいと VTVPAGE(STANDARD) は無効です - デフォルトは LARGE

MAXVtvsz が 800 よりも大きい場合、パラメータ値 STANDARD は無効です。要求は無視され、値 LARGE が使用されます。

- MVCPOOL でワイルドカードが許可されていません

MVCPOOL 文では、Volser 指定にワイルドカードを使用することはできません。

ここに記載されていないテキストについては、メッセージ SLS1973I を参照してください。

システムアクション: 表示されたレコード番号がゼロである場合、またはファイルで 50 個のエラーが検出される場合を除き、HSC はデータセットの処理を続けます。この 2 つの状況に該当する場合は、データセットの処理が終了します。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再発行してください。

SLS1629I

CCCCCCCC: DDDDDDDD does not contain any stmts to process

説明: HSC は xxxxDEF コマンドへの応答時に、指定のデータセットで該当するタイプの文を検出ませんでした。

- CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (xxxxDEF)。

- *DDDDDDDD* はデータセット名です。

システムアクション: HSC の処理は続行します。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再発行してください。

SLS1630I

CCCCCCCC parameters are not loaded

説明: HSC は *Display xxxxDEF* コマンドへの応答時に、該当するタイプのパラメータがロードされていないことを検出しました。*CCCCCCCC* は、インストールされるパラメータのタイプです (*xxxxDEF*)。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1631I

CCCCCCCC parameter status:

説明: *CCCCCCCC* = 表示されるパラメータのタイプ (*xxxxDEF*)。HSC は *Display xxxxDEF* コマンドへの応答時に、要求されたパラメータの情報を表示します。

このメッセージは 3 行表示または 4 行表示の 1 番目の行です。表示されるその他の行は次のとおりです。

- *LOADED FROM DDDDDDDD*

パラメータのロード元データセット (および該当する場合はメンバー名も) を表示します。

- *TITLE: CCCCCCCC*

パラメータのロード元データセット内の (*OPTIONS* 文の) タイトルを表示します。パラメータに *TITLE* が含まれていない場合、この表示行は省略されます。

- *LOADED ON YYYY-MM-DD AT HH:MM:SS*

パラメータが HSC によってロードされた日時を表示します。

- *No SCRATCH POOL(s) defined for this HSC*

この HSC に適用された *POOLPARM* 文が見つからないときに *Display SCRPFDEF* が要求された場合、日付と時間のメッセージ行の代わりにこの行が表示されます。

システムアクション: HSC の処理は続行します。

ユーザーの対応: HSC にスクラッチプールが定義されていない場合は、SET VOLPARM ユーティリティーの POOLPARM 文を確認して、どの更新が必要かを判断します。その後、SET VOLPARM ユーティリティーを再送信してください。

SLS1632I

MODIFY command cancelled - a non-610 HOST active

説明: MODIFY CONFIG が入力されましたが、1 つ以上のホストが HSC610 より下位のレベルにあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 610 HOST 以外のホストを停止してから、MODIFY CONFIG コマンドを再入力してください。

SLS1633I

SCRPEDEF parameters not installed from DDDDDDDD

説明: HSC は、SCRPEDEF コマンドへの応答時に、SCRPOOL 文を検出できなかったか、または DDDDDDDD という名前のデータセットで 1 つ以上の無効な SCRPOOL 文を検出しました。

システムアクション: HSC は以前の HSC スクラッチサブプール設定を置換しません。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再試行してください。

SLS1634I

MODIFY command is cancelled - VTCS DR Test is active.

説明: VTCS DR Test がアクティブな状態で MODIFY CONFIG コマンドが入力されました。このコマンドは実行されません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: VTCS DR Test が終了するまで待ってから、コマンドを再入力してください。

SLS1635D

To allow RESET to proceed; Reply Y to continue or N to cancel.

説明: CONFIG RESET または SWITCH RESET の続行を許可する前に、オペレータに対し、コマンドが誤って入力されたものではないことを確認するメッセージに応答することが求められます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: RESET を続行するには Y と応答し、RESET オプションを取り消すには N と応答してください。

SLS1636D

To allow DELETE ACS to proceed; Reply Y to continue or N to cancel

説明: ACS の削除を可能にする前に、オペレータに対し、コマンドが誤って入力されたものではないことを確認するメッセージに応答することが求められます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: DELETE ACS を許可するには Y と応答し、取り消すには N と応答してください。

SLS1637I

Verify the ACS is CCCCCCCC for the CCCCCCCC ACS command

説明: UPDATE コマンドの場合は ACS がアクティブである (接続している) ことを確認し、DELETE コマンドの場合は ACS がオフラインである (接続していない) ことを確認します。

システムアクション: F CONFIG UPDATE/DELETE ACSid コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: ACS が正しい状態になったあとで、コマンドを再入力してください。

SLS1638I

MODIFY command cancelled; Switch in progress for ACS AA

説明: ACS AA に対して進行中の切り替えが原因で、MODIFY CONFIG 機能を続行できません。

システムアクション: MODIFY CONFIG コマンドは取り消されます。

ユーザーの対応: 切り替え完了後にコマンドを再入力してください。

SLS1639I

Parameter P P P P P P P P is obsolete

説明: 示されているパラメータは現在サポートされていません。

システムアクション: パラメータは無視されます。

ユーザーの対応: このコマンドが HSC 起動パラメータの一部である場合は、削除してください。

SLS1640I

{Command|Parameter|Utility} C C C C C C C C is not valid in a tapeless configuration

説明: コマンドの発行、ユーティリティの呼び出し、またはライブラリハードウェアを必要とするパラメータの指定を試みましたが、システムはテープレスとして定義されています。

システムアクション: コマンドまたはユーティリティ要求は拒否されます。

ユーザーの対応: このコマンドまたはパラメータが HSC 起動パラメータの一部である場合は、削除してください。

SLS1650E

ACSAA: Dual LMU {is|is not} configured; Master Is y, Standby is not ready

説明: スタンバイ LMU が準備可能ではありません。これは、オペレータによる切り替えアクションに伴う一時的な状況である可能性があります。y は、マスター LMU ID である「A」または「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システムアクション: マスター LMU を使用して処理が続行されます。

ユーザーの対応: オペレータによる切り替えアクションが原因でスタンバイ LMU が作動不能である場合は、応答は不要です。

スタンバイ LMU が作動不能である原因が、明らかに障害によるものである場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1651I

ACSAA: Dual LMU is configured; Master is y, Standby is ready

説明: このメッセージは、どの LMU がマスター LMU であるかと、スタンバイ LMU のステータスを示します。スタンバイ LMU が準備可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行するには、少なくとも 1 つのステーションのステータスが STANDBY でなければなりません。

- AA は ACSid 番号です。
- y は、マスター LMU ID である「A」または「B」になりますが、LMU エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システムアクション: マスター LMU の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1652I

ACS AA: Switch aborted, C...C not standby station

説明: ステーション C...C は、SWitch コマンドが発行された時点ではスタンバイステーションでしたが、現在はスタンバイステーションではありません。自動切り替えが発生したものと考えられます。

システムアクション: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLS1650E または SLS1651I が出力された場合は、応答は不要です。ハードウェアエラーの可能性がある場合は、このインシデントを StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1653D

ACS AA: NN {CAP|CAPs} active; confirm switch to standby LMU (Y/N)

説明: このメッセージは、ACS でアクティブな CAP の数を示し、オペレータが切り替え処理を終了できるようにします。NN は、ACS 内でアクティブな CAP の数です。

システムアクション: HSC は、切り替えを続行するか (Y)、または SWitch コマンド処理を終了させるか (N) の応答を待ちます。

ユーザーの対応: すべての CAP ドアが確実に閉まっていることを確認してから、このメッセージに対して Y と応答するか、または切り替えを中止する場合は N と応答します。

SLS1654I

ACS AA: Switch terminated due to operator response

説明: このメッセージは、オペレータの応答によって切り替え処理が取り消されたことを確認するものです。

システムアクション: SWitch コマンド処理は終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS1655I

ACSA A, Station C...C: Switch uncertain, standby LMU CCCCCC error

説明: HSC が、スタンバイ LMUに SWitch コマンドを送信しましたが、エラーが発生したために有効な応答を得ることができませんでした。

CCCCCC は次のいずれかのエラーです。

- TIMEOUT
- ACK-1
- ACK-2
- RESPONSE
- READ-1
- READ-2
- NOISE
- EDIT-1

システムアクション: 切り替えが実行される場合と実行されない場合があります。

ユーザーの対応: 1 分間待ってください。メッセージ SLS1650E または SLS1651I が出力されない場合は、SWitch コマンドを再入力してください。このエラーを StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1656E

ACSA A: Switch initiated

説明: SWitch コマンドがアクティブなライブラリコントローラによって受け入れられました。

システムアクション: アクティブなライブラリコントローラ (LC) が再 IPL し、スタンバイ LC はアクティブな LC として引き継ぐ必要があります。

ユーザーの対応: このメッセージがリフレッシュホストから出される場合、開始されたホストを参照して次の関連するメッセージがないか調べてください。

- SLS1650E、SLS1651I、または SLS1667I が出力される場合、応答は不要です。
- SLS1650E、SLS1651I、SLS1667I が出力されない場合は、問題が発生しています。SWitch コマンドを再試行してください。コマンドが失敗する場合は、アクティブ LC の再 IPL を手動で実行することで、切り替えを実行できます。障害を StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1657I

ACS AA: Switch rejected, CCC...CCC

説明: スタンバイ LMU が、マスター LMU に対して再 IPL の指示を試行しましたが、エラーが原因で通信が失敗しました。CCC...CCC は次のいずれかの理由です。

- 「デュアル LMU」ではありません
- スタンバイステーションではありません
- LAN リンクが停止しています
- マスター LMU からの NAK です
- すでにアクティブに切り替わっています
- マスターは応答しませんでした
- アクティブとスタンバイ接続の両方が必要です
- 不明なエラーです

システムアクション: SWitch コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: SLS1650E、SLS1651I、SLS1666E、または SLS1667I が出力された場合は、応答は不要です。それ以外の場合は、SWitch コマンドを再試行して、障害を StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。切り替えを行うには、RE ライブラリの SL コンソールを使用して、マスター LMU またはスイッチの再 IPL を手動で実行します。

SLS1658E

ACS AA: CCCCCC station C...C connected to LMU y as ZZZZZZ

説明: 論理的な矛盾が検出されました。

- CCCCCC は、接続 LMU のステータスに基づいてオンラインまたはスタンバイであるステーションです。
- C...C はステーションのアドレスです。
- y は LMU ID である「A」または「B」です。

- ZZZZZZ は LMU のステータスであるマスターまたはスタンバイです。

システムアクション: HSC は続行しようとしています。

ユーザーの対応: ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更したあと、オンラインに戻してください。問題が解決しない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1659E

ACS AA: *CCCCCC station C...C MMM...MMM*

説明: 論理的な矛盾が検出されました。

CCCCCC ステーションは、接続 LMU のステータスに基づいてオンラインまたはスタンバイです。C...C はステーションのアドレスです。MMM...MMM は次のいずれかになります。

- デュアル LMU ステーションではありません
- 無効なデュアル LMU ID です

システムアクション: HSC は続行しようとしています。

ユーザーの対応: ステーションが正しい ACS に接続していることを確認してから、ACS をオフラインに変更したあと、オンラインに戻してください。問題が解決しない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1660E

ACS AA: *Master LMU W level XX, Standby LMU Y level ZZ*

説明: LMU マイクロコードの矛盾が検出されました。マスター LMU とスタンバイ LMU のマイクロコードが異なります。

システムアクション: HSC は続行します。

ユーザーの対応: StorageTek ハードウェアサポートにこれを報告してください。デュアル LMU 構成の両方の LMU に、同じレベルの LMU マイクロコードをインストールしてください。2つの LMU で HSC を異なる互換性レベルで実行できますが、これは推奨される手順ではないため、修正してください。すべてのスタンバイ LMU ステーションをオフラインに変更することで、このメッセージが報告される可能性を回避できますが、自動切り替えが妨げられます。

SLS1661I

ACS AA, Station XXXX: LMU driver has been restarted

説明: ACS AA およびステーション XXXX の LMU ドライバが、前回の異常終了後に再起動されました。直前のメッセージ SLS0680I にこの異常終了が記述されています。

システムアクション: ステーションドライバは LMU に要求を送信し、LMU から応答を受け取ります。

ユーザーの対応: ただちにアクションを行う必要はありませんが、前回の LMU ドライバの異常終了を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1662I

LMU driver monitor task has been restarted

説明: 前回の異常終了後に、LMU ドライバモニタータスクを再起動しています。直前のメッセージ SLS0680I にこの異常終了が記述されています。

システムアクション: ステーションドライバモニタータスクは、LMU ドライバタスクの開始、モニター、再起動を実行します。

ユーザーの対応: ただちにアクションを行う必要はありませんが、前回の LMU ドライバモニタータスクの異常終了を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1663I

ACS AA, Station C...C: Driver has abended

説明: 指定の ACS とステーションの LMU ドライバが異常終了しましたが、再起動されていません。SLS0680I にこの異常終了が記述されています。

システムアクション: モニタータスクが異常終了したが、オペレーティングシステムによりモニタータスクの再起動が禁止されている場合を除いて、モニタータスクは LMU ドライバを再起動します。

ユーザーの対応: ただちにアクションを行う必要はありませんが、前回の LMU ドライバの異常終了を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS1664A

ACS AA is disconnected

説明:HSC は、指定の ACS で現在動作している LMU ドライバがないと判別しました。現在の構成では、HSC はカートリッジ移動要求を自動化できません。

システムアクション: HSCは約 5 分ごとにこのメッセージを出力し、状況が解決されない場合でも約 30 秒後にこのメッセージの DOM が実行されます。これは、ACS が接続していないことを通知する定期的なメッセージです。

ユーザーの対応: HSC が該当する ACS へのマウントとマウント解除を HSC で自動化する必要がある場合、オペレータは (1) 特定のステーションをオンラインに変更する、(2) デュアル LMU の切り替えを強制的に実行してスタンバイステーションをアクティブにする、または (3) HSC を再起動する、のいずれかを行う必要があります。

SLS1665E

ACS AA, Station XXXX: Driver CCC...CCC

説明: ACS AA、ステーション XXXX で、次の状態 (CCC...CCC) のいずれかが発生しました。

- attach failed

3 回連続で失敗したため、ドライバタスクを確立したことを示します。

- inoperable, maximum attach attempts failed

このドライバの接続が合計 33 回試行されましたが、すべて失敗したことを示します。

システムアクション:

- attach failed

特定のステーションについてこのメッセージがはじめて出力される場合、SLSLDMON が異常終了し、ダンプが取られます。その後、グローバル接続の制限回数に達するまで、ドライバの接続が繰り返し試行されます。1 つのステーションについてこのメッセージが 2 回目以降に出力される場合、ダンプは取られません。

- inoperable, maximum attach attempts failed

SLSLDMON はこのドライブの接続を試行しません。このステーションを再度使用可能にするため、HSC を再起動する必要があります。

ユーザーの対応:

- attach failed

ただちにアクションを行う必要はありませんが、前回の LMU ドライバの異常終了、およびその後発生した SLSLDMON 異常終了について、StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

- inoperable, maximum attach attempts failed

StorageTek ソフトウェアサポートに報告し、適切な時点で HSC の再起動をスケジュールリングしてください。

SLS1666E

ACS AA: RE LIBID C1 {is/is not} configured; Active y {is|not} ready, Standby not ready

説明: スタンバイライブラリコントローラが作動不能です。これは、オペレータによる切り替えアクションに伴う一時的な状況であるか、または LMUPDEF 設定の問題の可能性がります。

- AA は ACSid であり、その値は「00」 - 「FF」です。
- C1 はライブラリ ID 「1」 - 「9」、「A」 - 「Z」、またはブランクです。
- y は、アクティブ LC ID である「A」または「B」になりますが、LC エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システムアクション: アクティブ LC を使用して処理が続行されます。

ユーザーの対応: オペレータによる切り替えアクションが原因でスタンバイ LC が作動不能になった場合は、応答は不要です。

スタンバイ LC が作動不能である原因が、明らかに障害によるものである場合は、このインシデントを StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。

SLS1667I

ACS AA: RE LIBID C1 is configured; Active y {is|not} ready, Standby {is|not} ready

説明: このメッセージは、どのライブラリコントローラ (LC) がアクティブ LC であるかと、ライブラリ ID のスタンバイ LC のステータスを示します。スタンバイが準備可能な場合でも、完全な自動切り替えを実行するには、少なくとも 1 つのポート (2A または 2B) のステータスが STANDBY でなければなりません。

- AA は ACSid であり、その値は「00」 - 「FF」です。
- C1 はライブラリ ID 「1」 - 「9」、「A」 - 「Z」、または空白です。
- y は、アクティブ LC ID である「A」または「B」になりますが、LC エラーが原因で「0」になる可能性もあります。

システムアクション: アクティブ LC を使用して処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1668E

CCCCCCC parms not installed, reason code XXXX

説明: HSC は xxxxDEF コマンドへの応答時に、指定のデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードできませんでした。

- CCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (xxxxDEF)
- XXXX は 16 進数値の理由コードです

パラメータがロードされなかった理由を示す理由コードと定義を次に示します。

- 0008 - 1 つ以上の文で構文エラーが発生しました
- 0009 - 2 つの文の間で矛盾が検出されました
- 000B - 指定された情報が無効でした
- 000C - データセットの読み取りで I/O エラーが発生しました
- 0010 - HSC がデータセットを割り当てることができませんでした
- 0014 - HSC がデータセットをオープンできませんでした
- 0018 - データセットの処理に使用できる十分なメモリーがありませんでした
- 001C - エラーの数が多すぎます

いずれの場合でも、発生したエラーの詳細を示すメッセージ SLS1628I または SLS0002I がこのメッセージの前に表示されます。

システムアクション: 文はロードされません。以前の定義 (存在する場合) が引き続きアクティブになります。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再発行してください。

SLS1670I

ACSAA: Switch aborted

説明: 開始されたホスト上での ACS AA の切り替えが中止されました。

システムアクション: コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: 開始されたホストを確認して関連するメッセージがないか調べ、ユーザーの対応を判別します。

SLS1700I

DHB eyecatcher bad in CCC...CCC

説明: DHB レコード (CDSのブロック 0) が検証のために渡されましたが、プログラムが、目印である DHB を見つけられませんでした。

システムアクション: CDS のこのコピーは使用不可になります。これが最後の CDS コピーである場合、HSC は処理を終了します。

ユーザーの対応: 入力された CDS を調べ、正しい CDS を使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。また、それらが破損していないこと、および上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、破損していない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1702I

Self correcting out-of-sync CDS block blk-id

説明: プライマリ CDS コピーとセカンダリ CDS コピーとの比較で、破損した CDS ブロック (*blk-id*) が検出されました。

システムアクション: 不良コピーが正しいコピーに置き換えられます。

ユーザーの対応: なし

SLS1703I

CCC...CCC is being copied to CCC...CCC

説明: 既存の CDS からレコードをコピーすることで、CDS データセットを使用可能にします。これは、このホストで CDS Enable コマンドが発行されたか、または別のホストによって使用可能にされた新しい CDS をこのホストが認識したことによるものです。コピー処理が終了すると、このメッセージに続いて SLS1704I が出力されます。マルチホスト環境のすべてのアクティブホストが同期を完了すると、続いて SLS0715I が出力されます。

システムアクション: この時点で CDS の予約が保持され、コピーが完了すると解放されます。HSC アクティビティは、すべてのホストと新しい CDS 構成との同期がとれるまで、待ち状態になります。

注記:

約 20 秒経過後にすべてのホストが応じなかった場合、構成はコピー前の状態に戻ります。つまり、使用可能にされた CDS が使用不可になり、使用不可にされた CDS がふたたび使用可能になります。

ユーザーの対応: なし

SLS1704I

CDS copy complete for CCC...CCC

説明: SLS1704I の前にメッセージ SLS1703I が出力されます。指定の CDS に対して CDS 同期化が実行され、完了しました。新たに使用可能になった CDS データセットのデータは、アクティブ CDS からリフレッシュされています。

システムアクション: HSC は新しい CDS 割り当てを使用して、通常のアクティビティを再開します。

ユーザーの対応: なし

SLS1705E

All Control Data Set allocations failed, HSC cannot initialize

説明: PARMLIB CDSDEF (Reconfig の場合は RECDEF) 項目に指定されたすべてのデータセットの動的割り当てが失敗しました。

システムアクション: HSC は、少なくとも 1 つの CDS コピーがないと、初期化を実行できません。

ユーザーの対応: このエラーは、PARMLIB 項目が欠落しているかまたは無効なことが原因で発生した可能性があります。MVS SYSLOG/SCP CONSLOG を調べ、さらにメッセージ SLS1706E が出力されている場合はこのメッセージから動的割り当てエラーの原因を判別してください。問題を修正してから、HSC を再起動してください。

SLS1706E

Allocation failed for CCC...CCC on volume volser, reason code XXXX, information code XXXX

説明: 指定のボリューム上の指定のデータセットに対する動的割り当てが失敗しました。ボリュームが指定されなかった場合は、空白またはアスタリスクになります。

システムアクション: これが起動中である場合、HSC の初期化が継続されますが、データセットの割り当ては行われません。これが CDs Enable コマンドからである場合、HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

SVC99 (動的割り当て) から理由コードと情報コードが戻されます。もっとも一般的な理由コードの 1 つは 17xx であり、指定の CDS が見つからなかったことを示します。詳細と、理由コードの定義については、IBM SVC99 動的割り当てに関するドキュメントを参照してください。

理由コードが 17xx 以外の場合、エラーの原因に関するより具体的な情報を示す手がかりが情報コードに含まれていることがあります。次のキーを使用して、エラーのあるパラメータを判別してください。

- 01 - フィールド: DDname
- 02 - フィールド: Dsn
- 04 - フィールド: Status
- 07 - フィールド: Unconditional Unallocation
- 10 - フィールド: Volser
- 15 - フィールド: Unit
- 55 - フィールド: Return DDname

ユーザーの対応: 表示されるエラーメッセージから、動的割り当てエラーの原因を判別してください。起動中である場合、PARMLIB または JCL の問題を解決してから、HSC を再起動してください。これが CDs Enable コマンドからである場合、DSn パラメータの指定を修正するか、カタログ解除されたデータセットの NEWVol パラメータと、場合によっては NEWUnit パラメータも指定してください。

SLS1708I

CCCCCCCC failed - RC=XXXXXXXX

説明: CDS のコピーを使用可能または使用不可にするコマンドが失敗したか、または失敗したプログラムのモジュール名とリターンコードが表示されます。したがって CCCCCC は Enable、Disable、モジュール名のいずれかです。

システムアクション: Enable/Disable コマンドの場合、処置は実行されません。モジュール名が表示される場合、HSC で障害が発生しています。

ユーザーの対応: リターンコードから、問題の原因を判別してください。問題を修正してから、再実行してください。

SLS1709I

Attach failed for CCCCCCCC, RC=XX

説明: データベースサーバタスクを接続しようとしたのですが、失敗しました。XX は、『MVS SPL: System Macros』に記載されている ATTACH マクロからのリターンコードを示します。

システムアクション: CDS の I/O ルーチンが使用できないため、HSC は初期化を実行できません。

ユーザーの対応: 接続に失敗した理由を判別して、問題を解決してください。HSC を再起動する必要があります。問題を解決できない場合は、すべての情報を保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1710E

Database switch failed

説明: CDS 回復中、代替コピーを使用可能にできませんでした。これは、動的割り当て、オープン、またはコピーのエラーによる可能性があります。

システムアクション: 使用可能なプライマリコピーがある場合は、処理が続行します。

ユーザーの対応: 代替 CDS コピーが使用可能であるかどうか、あるいはオープンの失敗またはコピーでの I/O エラーの理由を判断してください。修正可能であれば、CDS Enable コマンドを発行し、代替をふたたびオンラインにしてください。

SLS1711I

Database services unavailable

説明: 重大な内部エラーが発生したため、HSC CDS のサービスを続行できません。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートまたはハードウェアサポートあるいはこの両方に連絡してください。問題診断のために、このダンプを保存しておいてください。

SLS1712I

Hostid CCCCCCCC not found in CCC...CCC

説明: 指定のホスト識別子が、スキャン中の制御データセットのコピーで検出されたどのホスト識別子とも一致しません。ユーザーが CDS の誤ったコピーを使用して実行しようとしたか、あるいは CDS が破損または破壊されています。

システムアクション: これが最後の CDS コピーである場合、HSC は処理を終了します。

ユーザーの対応: 入力された CDS を調べ、正しい CDS を使用して実行していることを確認してください。HSC を実行しようとしているホストで、LIBGEN が実行されていないことを確認してください。また、それらが破損していないこと、および上書きされていないことを確認してください。使用している CDS コピーが正しく、破損していない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1713I

CDS CCC...CCC disabled

説明: CDS CCC...CCC が使用不可になりました。

システムアクション: CDS は HSC から割り当て解除されました。

ユーザーの対応: システムログを調べて、CDS が使用不可になった理由を示すほかのメッセージを確認してください。

SLS1715I

CCCCCCCC initializing on: CCC...CCC1 CCC...CCC2 CCC...CCC3

説明: このホストは、示されている CDS のコピーで初期化されました。CCCCCCCC は HOSTid です。CCC...CCC1, CCC...CCC2 と CCC...CCC3 は、CDS データセット名を示します。過去の HSC セッションのエラーまたはほかのホストのエラーが、起動時にこのホストがどのコピーを初期化するかに影響することがあります。HSC が、PARMLIB に指定されたデータセットの一部だけを使用することや、それらの順序が同じでないことがあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1717I

Standby CDS CCC...CCC disabled due to "DISABLE" parameter in the CDSDEF PARMLIB command

説明: ユーザーが、システムにスタンバイ CDS (DSN3) を定義するときに、CDSDEF 文に DISABLE を指定しました。

システムアクション: その CDS コピーが有効な CDS であることを確認するために、読み取りが試行され、その後非アクティブ化され、割り当て解除されます。

ユーザーの対応: この CDS が必要な場合、CDS の切り替え、あるいはプライマリまたはセカンダリ CDS の使用不可化に備えて、HSC はこの CDS を自動的に使用することはありません。したがって、オペレータコマンド `CDs Enable` を使用して手動で使用可能にする必要があります。

SLS1718I

CDS CCC...CCC disabled, not in use by other hosts

説明: 指定の CDS コピーがほかのアクティブホストで使用されていなかったため、CDS の破損と不一致を防ぐ目的で、この CDS コピーが使用不可にされました。

システムアクション: CDS は使用不可にされ、この HSC から割り当て解除されました。

ユーザーの対応: この CDS コピーを使用する場合は、オペレータコマンド `CDs Enable` を使用してそのコピーをオンラインにしてください。

SLS1719I

CDS CCC...CCC disabling due to operator command

説明: オペレータコマンド `CDs Disable` が原因で、CDS `CCC...CCC` は割り当て解除されます。

システムアクション: CDS は使用不可にされ、この HSC から割り当て解除されました。

ユーザーの対応: この CDS コピーを使用する場合は、オペレータコマンド `CDs Enable` を使用してそのコピーをオンラインにしてください。

SLS1720E

Database {switch|expand} not adopted by active host CCCCCCCC

説明: CDS 切り替えまたは拡張が正常に行われたあとで、一定の時間が経過しても、ほかのアクティブホストがこの CDS を認識できませんでした。

システムアクション: 出力元ホストは操作を続行します。このホストは、さらに制約された CDS 構成に戻る場合があります。

ユーザーの対応: 別のホストで HSC が突然終了した場合、ほかのホストに対してはそれがアクティブであるように見えることがあります。ほかのホストが終了して

いるかどうかを確認してください。該当する場合は、リサイクルするか、または SLUADMIN (SET HSCLEVEL) を実行してリセットしてください。複数のホストで CDs Enable、Disable、または EXpand コマンドが同時に入力された場合、このメッセージが、表示されるはずのない 1 つ以上のホストに表示されることがあります。これが発生した場合は、Display CDS コマンドを使用して CDS 構成を確認してください。正しい場合は、それ以上のアクションは必要ありません。複数のホストからコマンドが入力された時点で、すべてのホストがアクティブであるか、または CDS 構成が正しくない場合、内部の問題が発生しています。MVS の場合は、オペレータコマンド MVS DUMP をそのホストに対して発行し、そのホストをリサイクルしてください。VM の場合は、そのホストの仮想マシンでオペレータコマンド CP VMDUMP を発行し、そのホストをリサイクルしてください。問題判別のためにダンプ、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG、および LOGREC/EREP データを収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1721I

CDS CCC...CCC disabled, not in use at prior HSC termination

説明: CDS CCC...CCC は、HSC が最後に終了したときに使用されていなかったため、初期化時に使用不可になりました。

システムアクション: CDS は使用不可にされ、この HSC から割り当て解除されました。

ユーザーの対応: この CDS コピーを使用するには、オペレータコマンド CDs Enable を使用して CDS をオンラインにしてください。

SLS1722I

CDS CCC...CCC enabled, in use by other hosts

説明: CDS CCC...CCC がこのホストに対して使用不可であり、ほかのホストに対してアクティブになっていることがわかりました。これは、ほかのホストでオペレータコマンド CDs Enable が発行されたために発生しました。CDS データセットはすでに、このホストから使用できるようになっています。

システムアクション: このホストでは CDS が自動的に使用可能になります。

ユーザーの対応: なし

SLS1723I

SVARSRV service detects invalid VALUEL XXXX

説明: PARMLIB 項目の解析中に、内部ルーチンに無効な長さが渡されました。

システムアクション: HSC の初期化が失敗します。

ユーザーの対応: MVS SYSLOG/SCP CONSLOG のコピーと、HSC PARMLIB 項目のコピーを保存してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1724I

CCCCCCCC1 is invalid on the CCCCCCCC2 statement

説明: PARMLIB 項目の解析中に、指定の PARMLIB 文 (CCCCCCCC2) で無効なコマンド (CCCCCCCC1) が見つかりました。

システムアクション: HSC の初期化が失敗します。

ユーザーの対応: 指定の文で問題のあった項目を修正して、HSC を再起動してください。

SLS1725I

Command parsed with no keywords

説明: PARMLIB 項目の解析中に、キーワードが指定されていないコマンドが見つかりました。

システムアクション: HSC の初期化が失敗します。

ユーザーの対応: PARMLIB コマンド項目を修正して、HSC を再起動してください。

SLS1727I

Invalid data set type (X) for dynamic allocation

説明: PARMLIB 項目の解析中に、キーワードが指定されていないコマンドが見つかりました。

システムアクション: HSC の初期化が失敗します。

ユーザーの対応: PARMLIB コマンド項目を修正して、HSC を再起動してください。

SLS1729E

The last copy of the CDS is in error; the HSC cannot continue

説明: エラーが原因で、最後に残った CDS のコピーが失われました。

システムアクション: HSC は実行を続行しません。

ユーザーの対応: CDS が失われた理由を説明している直前のメッセージを参照してください。これらの問題を修正してから、HSC を再起動してください。問題を修正できない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG の現行コピーと HSC ジョブログのいずれかまたはこの両方を入手してください。また、再起動を試行する前に、そのジョブが使用した各 CDS のコピーを IEBGENER によりダンプして、現在の状態を確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1730I

Invalid return code from SLSDCOPY

説明: 内部エラーです。スタンバイ CDS への切り替え中に、SLSDCOPY が不明なりターンコードを返しました。

システムアクション: コピー操作は終了します。少なくとも 1 つの適切な CDS コピーがある場合、HSC は処理を続行します。それ以外の場合、HSC は終了します。

ユーザーの対応: HSC サブシステムを再起動してみてください。HSC がまだほかのホストで実行されていれば、再起動できるはずです。再起動できない場合、CDS のすべてのコピーが無効であると判断された可能性があります。MVS SYSLOG/SCP CONSLOG の現行コピーと HSC ジョブログのいずれかまたは両方、すべての CDS のコピー、およびこれまでに取られたすべてのシステムダンプを取得してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1731I

Host-to-Host Communications registration failed, RC=XXXX

説明: ホスト間通信の登録に失敗しました。リターンコードは通信コンポーネントから渡されました。

システムアクション: マルチホスト環境における、このホストとほかのアクティブホストとの間の通信はすべて、CDS を介して行われます。

ユーザーの対応: リターンコードを調べ、指示に従ってください。問題を解決できない場合は、MVS SYSLOG/SCP CONSLOG の現行コピーと HSC ジョブログのいずれかまたはこの両方、およびこれまでに取られたすべてのシステムダンプを取得してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1733E

Hostid required for JRNDEF PARMLIB entry

説明: PARMLIB で見つかった JRNDEF 文に、HOSTID パラメータがありませんでした。

システムアクション: システムはジャーナルファイルを所有するホストを認識しておらず、ジャーナル処理が要求されたため、システムは起動しません。

ユーザーの対応: 適切なホストに対する JRNDEF 文に HOSTID パラメータを追加してください。

SLS1734E

Duplicate CDS names specified on CDSDEF command

説明: CDSDEF コマンドの DSN_x パラメータの少なくとも 2 つに、同じデータセット名が指定されました。

システムアクション: HSC の初期化が停止します。

ユーザーの対応: CDSDEF の DSN_x パラメータを修正してください。

SLS1735I

No journal files available

説明: HSC が、このホストで有効な最後のジャーナルファイルを失いました。

システムアクション: JRNDEF 文の FULL パラメータに Abend (デフォルト値) が設定されている場合、ジャーナルタスクと HSC は異常終了します。JRNDEF の FULL パラメータに Continue が設定されている場合、ジャーナルタスクは停止しますが、HSC はジャーナルなしで続行します。

ユーザーの対応: この時点で有効なジャーナルファイルはどのホストにもありません。また、オフロードされたジャーナルファイルもすべて無効です。HSC システムのバックアップを即時に取る必要があります。「使用可能なファイルがない」理由を調査する必要があります。ファイルがいっぱいになったためにこのメッセージが出力された場合は、バックアップによりこれらのファイルがリセットされ、ジャーナル処理は自動的に続行されます。ファイルでの I/O エラーが原因でこのメッセージが出力された場合は、そのファイルを割り当てし直し、HSC をリサイクルしてください。HSC が使用可能になったらただちにバックアップを取ってください。発生原因を判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1737E

*None of the Control Data Set copies is a valid primary CDS;
processing terminated*

説明: HSC の初期化時に、サブシステムが CDSDEF パラメータで指定されたすべての CDS データセットを開いて読み取ろうとしました。ユーティリティーの初期化時に、ユーティリティーが JCL で指定されたすべての CDS データセットを開いて読み取ろうとしました。前回使用されてから復元されておらず、このため有効なプライマリ CDS ではない場合は、最良の CDS コピーはプライマリまたはセカンダリ CDS ではありません。

システムアクション:

- HSC サブシステムからこのメッセージが出力された場合、サブシステムは終了します。
- ユーティリティーからこのメッセージが出力された場合、ユーティリティーはリターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの対応: CDSDEF PARMLIB 制御文またはユーティリティー JCL を調べ、不正なデータセット名が指定されているかどうかを確認してください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティーを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップし、その後 HSC RESTORE を使用してすべての CDS コピーを同期してください。BACKUP と RESTORE の実行後に HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータでの CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

BACKUP と RESTORE の実行後に HSC ユーティリティーを実行するときは、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY データセット名が正しい順序で指定されていることを確認してください。

SLS1738E

*The CDS copies appear to belong to separate library environments;
processing terminated*

説明: DHB の CDS データセット情報に基づいて、CDSDEF パラメータまたはユーティリティー JCL で指定されたデータセットが、単一のライブラリ環境に属していないように見えます。この理由としては次のものがあります。

- CDS コピーが別々のライブラリ環境に属しているように見えるか、またはリモートリンクが失われてから別々のホストで複数の HSC を実行した結果としてそうになりました。リンクの回復後に、別々の制御データセットをマージする手順が実行されていません。

- シャドウシーケンス番号がもっとも大きい CDS コピーが、有効なプライマリ CDS コピーではありません。これは、再構成後に作成された、以前のスタンバイ CDS コピーである可能性があります。

システムアクション:

- HSC サブシステムからこのメッセージが出力された場合、初期化は終了します。
- ユーティリティーからこのメッセージが出力された場合、ユーティリティーはリターンコード 8 を返して終了します。

ユーザーの対応: CDSDEF PARMLIB 制御文またはユーティリティー JCL を調べ、不正なデータセット名が指定されているかどうかを確認してください。

正しいデータセットが指定されている場合は、HSC BACKUP ユーティリティーを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップし、その後 HSC RESTORE を使用してすべての CDS コピーを同期してください。BACKUP と RESTORE の実行後に HSC を起動するときは、CDSDEF パラメータでの CDS コピーの順序が正しいことを確認してください。

BACKUP と RESTORE の実行後に HSC ユーティリティーを実行するときは、SLSCNTL、SLSCNTL2、および SLSSTBY データセット名が正しい順序で指定されていることを確認してください。

SLS1739E

The number of CDS copies specified does not match the recovery technique of {NONE|SHADOW|STANDBY}

説明: CDS または HSC サブシステムを更新しようとしたユーティリティーが、HSC サブシステムから正常に初期化されていない CDS で実行されています。プライマリとして指定した CDS の回復手法で、指定とは異なる数の CDS コピーが指定されています。

たとえば、回復手法に STANDBY が指定されているが、指定されている CDS データセットが 3 つ未満であるか、または回復手法に NONE が指定されているが複数の CDS コピーが指定されているなどです。報告される回復手法にジャーナル処理が含まれないように指定されている場合は、含まれません。

システムアクション:

- HSC サブシステムからこのメッセージが出力された場合、サブシステムは終了します。

- ユーティリティーからこのメッセージが出力された場合、ユーティリティーは RC=8 を返して終了します。

ユーザーの対応: メッセージに示されている回復手法を調べ、目的の手法であるかどうかを判別してください。回復手法を変更するには、HSC SET TECHNIQUE ユーティリティーコマンドを実行し、SET で指定されたものではなく、元の手法と同じ数の CDS DD 文を指定してください。

このユーティリティーを実行するには、どのホストの HSC もアクティブであってはいけません。ユーティリティーの実行後に CDS コピーの数を増やす場合は、任意のオペレーティングシステムユーティリティーを使用して、プライマリ CDS の追加コピーを作成できます。

メッセージに示されている回復手法が目的の方法であった場合は、サブシステムを初期化するための CDSDEF コマンド、またはユーティリティーを実行するためのユーティリティー JCL に正しい CDS コピー数を指定してください。

SLS1780A

Log data sets are full - run OFFLOAD LOGFILE

説明: ログファイルに空きデータブロックがないため、ロギングシステムがログレコードを書き込めません。

システムアクション: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行するまで、メッセージを出力したホストでのロギングは停止されます。

注記:

データブロックがロギングサービスから割り当てられる方法によっては、ほかのホストがレコードの書き込みを続行できることがあります。ほかのホストが続行できる期間は、ロギングアクティビティーの速度と、書き込まれるロギングレコードのサイズによって異なります。

ユーザーの対応: 可能なかぎり早い時点で OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行してください。

SLS1781E

Log file utilization exceeds nn percent

説明: ログファイルでの割り当てブロックの数が、報告されたパーセンテージを超えました。使用率の警告は 70% から始まり、事前に設定したパーセンテージの間隔に達すると再度警告されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: ログファイルがいっぱいになることを防ぐため、可能なかぎり早い時点で OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行してください。

SLS1782I

Logging {initialized|terminated} on data set CCCCCC1

説明: ログデータセット (CCCCC1) が初期化された (割り当てられ開かれた) か、または終了しました (閉じられて割り当て解除されました)。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1783W

Log data set CCCCCC1 DISABLED; CCCCCC2

説明: ログデータセット (CCCCC1) が、CCCCC2 に示されている理由のために使用不可になりました。使用不可になったログファイルは閉じられ、割り当て解除されます。

理由別の追加情報:

- ALLOCATION FAILURE: LOG FILE MIGRATED

割り当て処理中、データセットが移行されていることが判明しました。

- ALLOCATION FAILURE

移行以外の理由でデータセットの割り当てが失敗しました。

- COULD NOT OPEN DATA SET

データセットに対する OPEN が失敗しました。ファイルが FMTLOG でフォーマットされていない、DSORG が正しくない、またはブロックサイズに不整合が生じているなどの理由が考えられます。

- DATA SET NOT IN INITIALIZED STATE

初期化されていないログファイルを、ロギングが現在アクティブではない構成に組み込もうとしたか、または既存の構成に追加しようとした。新しいログデータセットを追加するには、FMTLOG ユーティリティーを使用してフォーマットする必要があります。

- PERMANENT I/O ERROR

永続的な I/O エラーが発生しました。データセットは使用できないため、FMTLOG ユーティリティーを使用して再割り当ておよび再フォーマットする必要があります。

- DATA SET BLOCK INFO CONFLICTS WITH CDS

ログファイルの初期化中に、示されているログファイルが初期化状態になく、そのブロック情報が CDS のブロック情報と一致しませんでした。

- SIZE CONFLICT WITH OTHER LOG DATA SET

1 つ以上の初期化済みログファイルを構成に追加しようとしたのですが、2 つのログファイルのサイズが一致しません。両方のログファイルが初期化状態の場合は、両方が使用不可になります。1 つのファイルがアクティブであり、もう 1 つのファイルを追加する場合は、新しいファイルだけが使用不能になります。

- ABEND IN THE LOG FILE I/O ROUTINE

ログファイル I/O ルーチンで異常終了が発生しました。異常終了の原因を判別するため、Oracle ソフトウェアサポートに連絡してください。

システムアクション: データセットへの記録は中止されます。1 つのログファイルだけが定義されている場合、または両方のログファイルが使用不可になっている場合、ロギングは機能しなくなります。

ユーザーの対応:

- アクティブなログファイルが 2 つあり、そのうちの 1 つが使用不可である場合は、次の手順で使用不能なファイルを再度使用可能にできます。
 1. ブロックの数がアクティブなファイルと一致するように、ファイルを削除して割り当て直します。
 2. FMTLOG ユーティリティーを実行して新しいファイルをフォーマットします。
 3. SET LOGFILE ユーティリティーを実行して、新しいファイルを再度使用可能にステージングします。
 4. OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行して、既存の現行ログファイルをオフロードし、新しいファイルを再度使用可能にします。
- 現在アクティブなログファイルがない場合は、次の手順でロギングを再度使用可能にできます。

1. ロギング機能は現在非アクティブであるため、可能なかぎり早い時点で CDS のバックアップを取っておくことをお勧めします。
2. ログファイルを削除し、割り当て直します。
3. FMTLOG ユーティリティーを実行して新しいファイルをフォーマットします。
4. SET LOGFILE ユーティリティーを実行して、新しいファイルをただちに使用可能にします。

SLS1784E

Log monitor task has terminated abnormally; logging now inactive

説明: ログモニタータスクで異常終了が発生しました。ロギングを実行できません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 異常終了の原因を判別するため、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。ロギングを再度使用可能にするため、HSC サブシステムを停止してから再起動してください。

SLS1785E

LOG DATA SET CCCCCCCC IS DISABLED

説明: データセット (CCCCCCCC) が CDS で定義されていますが、使用不可な状態です。

システムアクション: このログデータセットは使用されません。1つのログファイルだけが定義されている場合、または両方のログファイルが使用不可になっている場合、ロギングは機能しなくなります。

ユーザーの対応: メッセージ SLS1783E の「ユーザーの対応」を参照してください。

SLS1790I

Log data set DDDDDDDD selected by the OFFLOAD LOGFILE utility

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーがデータセット DDDDDDDD を入力ファイルとして選択しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1791I

OFFLOAD LOGFILE utility successfully offloaded NNNN records

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーが正常に完了しました。オフロードされたレコード数は NNNN です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1792I

TTTTTTTT log file DSN has been set to DDDDDDDD

説明: PRIMARY または SECONDARY (TTTTTTTT) ログファイルのデータセット名が DDDDDDDD に設定されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1793W

No data available for OFFLOAD LOGFILE utility - RRRRRRRR

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーは、オフロードできるデータがないことを確認しました。RRRRRRRR は理由を示しています。

システムアクション: SLUADMIN リターンコードは 4 です。

ユーザーの対応: なし

SLS1794E

Error during OFFLOAD LOGFILE utility - RRRRRRRR

説明: OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーは、オフロードするようにスケジュールされたすべてのデータをオフロードせずに終了しました。RRRRRRRR は具体的なエラーを示しています。

システムアクション: SLUADMIN リターンコードは 8 です。

ユーザーの対応: ログファイル内のデータはオフロード可能なままになります。可能な場合は問題を修正して、ユーティリティーを再実行してください。

問題を修正できない場合は、SET LOGFILE ユーティリティーを実行し、続けて (このエラーを無視して) 別の OFFLOAD LOGFILE ユーティリティーを実行して、その

後に CDS の即時バックアップを行うことで、新しいログファイルをアクティブにしてください。

SLS1795E

Previous OFFLOAD LOGFILE has not completed

説明: SLUADMIN は、別の OFFLOAD LOGFILE がまだ進行中であるか、正常に完了しなかったことを検出しました。CDS に対して任意の特定の時点で実行が許可されるのは 1 つの OFFLOAD LOGFILE だけです。

システムアクション: ユーティリティーのリターンコードは 8 です。

ユーザーの対応: 前のオフロードが異常終了した場合は、OFFLOAD LOGFILE ユーティリティー制御ステートメントで RESTART キーワードを使用してそのオフロードを再起動します。それ以外の場合は、アクティブなオフロードが完了するまで待機します。

SLS1796E

Improper use of the RESTART keyword

説明: RESTART キーワードが OFFLOAD LOGFILE ユーティリティー制御ステートメントで指定されましたが、オフロードが失敗したことは CDS で示されません。

システムアクション: ユーティリティーはリターンコード 4 で完了します。

ユーザーの対応: ユーティリティー制御ステートメントから RESTART キーワードを削除して、ジョブを再送信してください。

SLS1797I

No qualifying MVCs found for ACTMVCN utility

説明: ACTMVCN ユーティリティーがアクティブな MVC が見つからなかったことを検出しました。

システムアクション: SLUADMIN からのリターンコードは 4 です。

ユーザーの対応: なし

SLS1825I

Volume volser is not in the library

説明: ボリュームがライブラリ内にありませんでした。

システムアクション: 関数はボリュームを処理しません。

ユーザーの対応: なし

SLS1900I

Invalid reply: CCCCCCCC

説明: WTOR への応答が無効でした。

システムアクション: HSC は WTOR を再発行します。

ユーザーの対応: 有効な応答で対応します。

SLS1901I

A communications path switched from CCCC to CCCC; {initiated by|with} CCCCCCCC

説明: このホスト上の HSC は、通信方式の切り替えを実行しました。示されている場合、切り替えはホスト CCCCCCCC によって開始され、このホストは切り替えを実行することによって応答しました。それ以外の場合、このホストで障害が発生し、切り替えを実行するようにその他のホストに通知されます。前の方式と現在の方式が表示されます。

システムアクション: このホスト上でのエラーが原因の場合、使用可能な次の下位レベルの方式を見つけるために検索が実行されます。別のホストによって開始された場合、そのホストによって指定された新しい方式が使用されます。

ユーザーの対応: このホスト上 (または場合によっては開始側のホスト上) でのエラーが原因の場合、切り替えを引き起こした問題を見つけて修正してください。その後、必要に応じて、COMMPATH コマンドを使用して前の通信方式に戻します。

SLS1902D

Specified communications method is VTAM and VTAM is not active; reply RETRY or NOVTAM

説明: 通信方式として VTAM が指定されていますが、HSC が VTAM ACB を開こうとしたときに VTAM はアクティブではありませんでした。

システムアクション: VTAM がアクティブになるまで、次に使用可能な下位の方式が使用されます。

ユーザーの対応: RETRY と応答して、HSC に VTAM ACB のオープンを再試行させます。VTAM がアクティブな場合、VTAM 方式への切り替えが行われます。NOVTAM と応答して、VTAM がアクティブになるまで HSC が待機しないようにして、すでに選択されている方式を引き続き使用してください。

SLS1903I

Communications method switch not initiated; host CCCCCCCC specified unacceptable parm: CCCC

説明: ホスト CCCCCCCC 上の HSC が通信方式の切り替えを要求しましたが、パラメータ CCCC はこのホストで受け入れられません。

システムアクション: 要求は無視されます。

ユーザーの対応: 方式の切り替えが要求されたため、要求側ホストでエラーメッセージを確認して、それに応じて応答する必要がある場合があります。望ましい結果である場合、COMMPATH コマンドを使用してこのホストと要求側ホストの定義を変更します。

SLS1904E

Communications error: function XXXXXXXX1 XXXXXXXX2 [XXXXXXXXX3]

説明: HSC のホスト間通信コンポーネントで、指定された関数の処理エラーが検出されました。XXXXXXXXX1 および XXXXXXXX2 は、それぞれプライマリエラーコードとセカンダリエラーコードです。XXXXXXXXX3 は、存在する場合、エラーの詳細情報です。指定できる関数値とエラーコードは次のとおりです。

表2.2 関数値とエラーコード

指定できる関数値	プライマリ エラーコード (XXXXXXXXX1)	セカンダリ エラーコード (XXXXXXXXX2)	追加情報 (XXXXXXXXX3)
VTAM ALLOC	1 または 2	3	5
VTAM CLOSE	1	4	N/A
VTAM CNOS	1	3	5
VTAM DEALLOC	1 または 2	3	5
VTAM OPEN	1	4	N/A
VTAM OPRCNT	2	3	5
VTAM PREPRCV	2	3	5
VTAM RCVFMH5	1 または 2	3	5
VTAM RECEIVE	2	3	5
Issue VTAM RECEIVE	1	3	5
VTAM RECEIVE complete	1	3	5

指定できる関数値	プライマリ エラーコード (XXXXXXXXX1)	セカンダリ エラーコード (XXXXXXXXX2)	追加情報 (XXXXXXXXX3)
VTAM RECEIVE WHATRCV	1	3	6
VTAM REJECT	1 または 2	3	5
VTAM RESETRCV	2	3	5
VTAM SEND	2	3	5
VTAM SEND FLUSH	1	3	5
VTAM SETLOGON	1	3	N/A

プライマリエラーコードとセカンダリエラーコードの値の定義およびエラーの追加情報は次のとおりです。

プライマリエラーコード (XXXXXXXXX1) の値の定義:

- 1 - R15 からのプライマリリターンコード (VTAM 要求の場合)
- 2 - R0 からの回復アクションのリターンコード (VTAM SYNAD 出口と LERAD 出口の場合)

セカンダリエラーコード (XXXXXXXXX2) の値の定義:

- 3 - RPLRTNCD フィールドからの値が含まれる 2 バイトと、RPL 内の RPLFDB2 フィールドからの値が含まれる 2 バイト
- 4 - ACB 内の ACBERFLG フィールドからの値

追加情報 (XXXXXXXXX3) の値の定義:

- 5 - RPL6RCPR フィールドからの値が含まれる 2 バイトと、RPL 拡張内の RPL6RCSC フィールドからの値が含まれる 2 バイト
- 6 - RPL 拡張内の RPL6WHAT フィールドからの WHATRCV マスクの値

プライマリ (XXXXXXXXX1) およびセカンダリ (XXXXXXXXX2) エラーコードと、適用可能な場合は追加情報 (XXXXXXXXX3) が表示されます。コードは 4 バイトで構成され、8 文字で表示されます。次に例を示します。

SLS1904E Communications error: VTAM ALLOC 00000000 0000000B 00040000

VTAM コード定義は該当する VTAM のマニュアルに記載されています。

システムアクション: 処理が引き続き試行されます。エラーの重大度に応じて、あとで実行に影響することがあります。

ユーザーの対応: 問題を判別して修正してください。エラーが原因で通信方式の切り替えが行われた場合、上位の COMM レベルに戻す (COMMPATH コマンドを使用) かどうかを決定します。

SLS1905I

Unexpected RC XXXXXXXX from CCCCCCCC

説明: コンポーネントから予期しないリターンコードが返されました。

システムアクション: システムは動作を続行し、要求されたコンポーネント機能をバイパスします。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1906I

Invalid message data:

```
CCCCCCCCCC  
ZZZZZZZZZZ  
NNNNNNNNNN
```

説明: 別のホストに送信される通信メッセージに無効な文字が検出されました。CCCCCCCCCC は、メッセージデータの EBCDIC 表現です。ZZZZZZZZZZ および NNNNNNNNNN は、メッセージデータのゾーンと数値です。

システムアクション: システムは動作を続行し、通信メッセージは無視されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1907I

CDS output message queue count for host HHHH is CCCCCC

説明: ホスト HHHH の CDS 出力メッセージキューに CCCCCC 個のメッセージがあります。

システムアクション: ホスト HHHH 上の HSC がアクティブな場合、最終的にメッセージは処理されます。ホスト HHHH 上の HSC が非アクティブな場合、メッセージは処理されず、累積され続けます。

ユーザーの対応: ホスト HHHH 上の HSC がアクティブで VTCS がインストールされている場合、Oracle では、HSC COMMPATH METHod パラメータを LMU または

VTAM のいずれかに設定することをお勧めします。ホスト *HHHH* がアクティブではない場合、RECOVER コマンドを使用して、キューに入れられたメッセージを削除できます。注意: このコマンドを使用する前に、RECOVER コマンドを参照してください。

SLS1950I

Volume volser moved from location AA:LL:PP:RR:CC to location AA:LL:PP:RR:CC

説明: ボリューム *volser* は、場所 *AA:LL:PP:RR:CC* に移動されました。

システムアクション: ボリュームは要求どおり移動されました。

ユーザーの対応: なし

SLS1951I

Volume volser not in ACS AA

説明: コマンドまたはユーティリティーで要求されたボリューム *volser* は、*AA* がブランクである場合は CDS 内で見つからなかったか、*AA* が表示される場合はターゲット ACS 内で見つかりませんでした。

システムアクション: コマンドまたはユーティリティー関数はボリュームに対して実行されません。

ユーザーの対応: Flsm および TLsm が MOVE ステートメントで指定されている場合、これらが同じ ACS 構成内に含まれるようにしてください。それ以外の場合、存在しているかどうかやその場所を判別するために Display Volume を使用できます。

SLS1952I

{MOVE} Rejected; Conflicting audit in progress on {ACS|LSM} {ACSid|LSMid}

説明: コマンドまたはユーティリティー関数が、SLUADMIN AUDIt ユーティリティーによって監査されていたライブラリボリュームに対して試行されました。

システムアクション: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: AUDIt ユーティリティージョブが終了するまで待機して、この要求を再入力してください。

SLS1953I

I/O error processing control database

説明: コマンドまたはユーティリティ関数の処理中に、制御データセットで I/O エラーが発生しました。

システムアクション: 要求された関数を完了する前に、コマンドまたはユーティリティが終了します。

ユーザーの対応: I/O エラーの原因を調べます。制御データセットの問題の修正後に要求を再入力してください。

SLS1954I

{MOVE} rejected; {ACS|LSM} {ACSid|LSMid} is {OFFLINE|INVALID|NOT CONNECTED}

説明: コマンドを完了するために必要なシステムの指定されたコンポーネントが使用不可であったため、コマンドが拒否されました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: ACS が接続されていること、メッセージで示されているように LSM がオンライン (使用可能) であることを確認して、コマンドを再入力してください。ACSid または LSMid が無効な場合は、正しい ACSid または LSMid を指定してコマンドを再入力してください。問題が解決しない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1955I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is not a valid CELLid

説明: コマンドまたはユーティリティで要求されたセル (AA:LL:PP:RR:CC) が、ストレージセルには無効な場所であることが検出されました。

システムアクション: コマンドまたはユーティリティ関数はセルに対して実行されません。

ユーザーの対応: 正しい場所を判別して、関数を繰り返してください。

SLS1956I

Unable to select volume during CCCCCC of volume volser

説明: CCCCCC コマンドの処理中に、ボリューム *volser* はすでに使用中であり、操作を完了するために選択できませんでした。

システムアクション: CCCCCC コマンドは、要求されたコマンドの範囲内の次のボリュームで続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームが使用中ではないときに、ボリュームに対して別の CCCCCC コマンドを入力してください。

SLS1957I

MOVE rejected; no target LSMs are connected, online, or valid

説明: 指定された LSM にボリュームを移動しようとしたのですが、拒否されました。コマンドが実行されたホストに対して、いずれの LSM も有効ではなかったか、接続されていなかったか、オンラインではありませんでした。

システムアクション: オペレータコマンドを終了します。

ユーザーの対応: 1 つ以上の LSM をこのホストに接続して (Vary コマンドと MODify コマンドを参照)、オペレータコマンドを再入力してください。

SLS1958I

No free cells found in specified PANEL or LSM(s) to continue the MOVE function

説明: MOVE コマンドが発行されましたが、指定されたパネルまたは LSM に空きのセルが見つかりませんでした。

システムアクション: 空きのセルがないため、MOVE 関数を終了します。

ユーザーの対応: LSM からボリュームを取り出してボリュームを移動する LSM でセルを解放するか、LSM 内の別のパネルまたは別の LSM を指定して MOVE コマンドを再実行してください。

SLS1959I

Volume in cell location AA:LL:PP:RR:CC does not physically match specified Volser volser

説明: ボリュームおよびその場所の検証プロセス中に、ボリュームが、制御データセットによって示された場所にありませんでした。

システムアクション: ボリュームはこの操作中に移動されず、エラー状態にされます。

ユーザーの対応: 問題のあるボリュームの特定を試みるようにしてください。必要に応じて、そのボリュームの置かれていたパネルの監査を行います。

SLS1960I

External label on volume volser is unreadable

説明: コマンドの実行中に、ボリューム *volser* のラベルは読み取りできなくなりました。

システムアクション: この操作中にボリュームは移動されませんでした。制御データセットは、この状態を反映するためにマークされます。

ユーザーの対応: ラベルが読み取りできない理由を判別するために調べるライブラリとその外部ラベルから、指定されたボリュームを取り出してください。この状態が複数のボリュームで存在する場合は、この状態を StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS1961I

Cell AA:LL:PP:RR:CC is empty - found during CCCCCC

説明: CCCCCC コマンドの実行中に、問題のセルが空であることが検出されました。

システムアクション: そのボリュームはエラントになります。

ユーザーの対応: 次のいずれかのアクションを実行します。

- 参照されるセル (AA:LL:PP:RR:CC) を監査します。
- ボリュームをマウントするか取り出して、論理取り出しを行うことができるように、エラント回復を起動します。

SLS1962I

CCCCCC of volser at AA:LL:PP:RR:CC failed; LMU/LSM error (XXXX)

説明: ボリューム *volser* またはセル AA:LL:PP:RR:CC のコマンド CCCCCC が失敗しました。XXXX は LMU/LSM エラーです。考えられる LMU/LSM エラーは次のとおりです。

- 6510 - 転送用のパススルーポートがありません
- 6511 - LMU がオフラインになっています
- 6512 - LMU との通信が失われました
- 6514 - LSM のハードウェアエラーです
- 6515 - LMU のハードウェアエラーです
- 6528 - LMU サーバーが停止しています
- 6592 - LSM がオフラインになっています

- 65FF - リクエストがパージされました

システムアクション: 進行中のアクションは完了しません。障害の発生した時点によっては、そのカートリッジがエラントになる場合があります。

ユーザーの対応: Display Volume コマンドを使用して、ボリュームのステータスと場所を判別してください。ボリュームがエラント状態になる場合は、次のいずれかのアクションを実行してください。

- 参照されるセル (AA:LL:PP:RR:CC) を監査します。
- ボリュームをマウントするか取り出して、論理取り出しを行うことができるように、エラント回復を起動します。

SLS1963I

Unexpected RC received in module CCCCCCCC1 while processing CCCCCCCC2 (XXXXXXXXXX)

説明: CCCCCCCC2 関数の実行の試行中に、モジュール CCCCCCCC1 が予期しないリターンコード (XXXXXXXXXX) を返しました。関数が成功したか失敗したかは不明です。

システムアクション: 進行中のアクションの状態は不明で、SNAP ダンプが取られました。

ユーザーの対応: SNAP ダンプを保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS1964I

TPANEL specified for MOVE of volser conflicts with source location panel

説明: ソースボリュームがある場所と同じパネルを指定して MOVE コマンドまたはユーティリティー関数が試行されました。同じパネルへの移動は許可されません。

システムアクション: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は実行されません。

ユーザーの対応: ソースの場所のパネルではない TPanel を指定してコマンドまたはユーティリティーを再入力してください。

SLS1965I

AT HH:MM:SS CCCCCCCC REQUESTED DDDDDDDD volser EEEEEEEE

説明: MONITOR コマンドへの応答で、このメッセージは、指定されたジョブ CCCCCCCC が、プログラムインタフェースまたは VM TMI 呼び出しを発行して、指定された volser (volser) に対する指定の動作を要求したことを示しています。

- HH:MM:SS は、要求が発行された時間を示します。単一の要求で複数のボリューム (たとえば、EJect) を指定した場合、その要求のそれぞれのメッセージで同じ時間が表示されます。
- DDDDDDDD は動作のタイプを示します。有効な値は、Mount、DISMount、MOVE、または EJect です。
- EEEEEEEE は関係する場所を示します。これは、CAPid (EJect)、LSMid (MOVE ターゲット)、またはドライブデバイス番号 (Mount、DISMount) のいずれかです。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS1966I

CCCCCCCC task failed, attempting to restart

説明: タスク (CCCCCCCC) は初期化に失敗したか、不正な順序でその処理を正常完了または異常終了しました。タスクを再開するために、タスクを切り離して再接続するための試行が行われます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1967I

CCCCCCCC task restarted successfully

説明: 以前に失敗したタスクが切り離されて再接続され、現在は正常に初期化されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS1968E

CCCCCCCC task could not be restarted

説明: タスクの切り離しと再接続の試行が正常に行われませんでした。このタスクの再接続の最大試行回数が行われましたが、タスクを再開できませんでした。このタスクの機能を再確立するために、HSC をすぐにはリサイクルしてください。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 再確立不可能なタスクの機能を回復するには、HSC をリサイクルしてください。

SLS1969I

User Exit CC module CCCCCCC RRRRRRRR

説明: HSC ユーザー出口サービスが、次のいずれかの状態で応答しました。

- *RRRRRRRR* = ABENDED および DISABLED の場合、ユーザー出口 CC ではモジュール *CCCCCCCC* のエラーが発生しました。
- *RRRRRRRR* = INACTIVE の場合、ユーザー出口 CC は、モジュール *CCCCCCCC* で非アクティブを返しました。
- *RRRRRRRR* = NOT DISABLED の場合、異常終了の発生時にユーザー出口 CC が処理されていました。

システムアクション:

- 表示されるステータスが INACTIVE の場合、これが要求されたアクションであるため、システムはユーザー出口モジュールを実行しなくなります。
- ステータスが ABENDED および DISABLED の場合、ユーザー出口では処理エラーが発生し、実行されなくなります。
- ステータスが NOT DISABLED の場合は、これは、このユーザー出口の処理中に異常終了が発生したことを示しますが、これはユーザー出口自体の境界外で発生しました。この場合、この出口は無効になりません。それでも異常終了を調査してください。

ユーザーの対応: 表示されるステータスが INACTIVE の場合、これが要求されたアクションであるため、これ以上のアクションは不要です。

- 表示されるステータスが INACTIVE の場合、これが要求されたアクションであるため、これ以上のアクションは不要です。
- 表示されるステータスが ABENDED および DISABLED または NOT DISABLED の場合、この状態をシステムプログラマにすぐに通知してください。

SLS1970I

OPEN Error on User Exit Module Library: CCCCCCC

説明: システムが、CCCCCCCC DD JCL カードによって指定されたユーザー出口モジュールライブラリを開こうとしたとき、初期化時にエラーが発生しました。

システムアクション: システムは、指定されたユーザー出口モジュールライブラリではなく JOBLIB/STEPLIB からデフォルトのユーザー出口モジュールをロードしようとします。オープンエラーが原因で、ユーザー出口の動的なロードや再ロードを行うことができません。

ユーザーの対応: この状態をシステムプログラマにすぐに通知してください。ユーザー出口モジュールライブラリ名のスペルを修正するか、オープンエラーの理由を解決してください。

SLS1971I

HSC User Exit Service Error: User Exit CC Now INACTIVE

説明: 内部保守またはチェックプログラムが、ユーザー出口テーブルの重大なデータ構造エラー状態を検出しました。

システムアクション: システムは、問題のユーザー出口のステータスを「INACTIVE」に変更して、ユーザー出口 CC の次の動的ロードを使用してデータ構造エラーを修正するための手順を行います。

ユーザーの対応: UEXIT オペレータコマンドを使用してユーザー出口 CC の動的リロードを行なってください。この問題が再発した場合、システムプログラマにすぐに通知してください。

注記:

ユーザー出口モジュールの動的なロードやリロードは、「SLSUEXIT」DD プロシージャーステートメントが HSC JCL に含まれていた場合にのみ可能です。

SLS1972D

ATTACH/Initialization of CCCCCCCC is OVERDUE; Retry or Cancel (R,C)

説明: HSC は、必要なモジュール CCCCCCCC の接続と初期化を試行していますが、予期したよりも長時間かかっています。接続プロセスや初期化プロセスは数分間続行されますが、最終的に HSC 起動プロセスが異常終了することがあります。

システムアクション: 処理は続行され、応答は必須ではありません。次で説明されているように、顧客がさまざまなユーザー応答オプションを入力する機会を得られるようにメッセージが発行されます。

ユーザーの対応: 可能なユーザーの対応は次のとおりです。

- R - 再試行によって、接続タイマーと初期化タイマーが再起動されます。
- C - キャンセルによって HSC が強制的に異常終了し、システムダンプが取られて、HSC の起動プロセスがキャンセルされます。
- アクションなし - HSC は、CCCCCCCC が接続および初期化されるまで数分間待機します。成功した場合、HSC は処理を続行します。失敗した場合、HSC の起動プロセスによって異常終了が発行されたあと、シャットダウンロジックが開始されます。

SLS1973I

(...error text...)

説明: 指定された値が無効か、要求でのモデル、ユニット、メディア、記録技法情報の間に互換性がありません。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

- RECTECH is incompatible with UNIT

RECtech パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- MODEL is incompatible with UNIT

MODEl パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with UNIT

MEDIA パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH

unit に指定されたドライブには、MEDIA 値または RECtech 値との互換性がありません。

- UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL

unit に指定されたドライブには、MEDIA 値または MODEl 値との互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with RECTECH

MEDia パラメータに指定された値には、RECtech パラメータに指定された値との互換性はありません。

- MEDIA is incompatible with MODEL

MEDia パラメータに指定された値には、MODEl パラメータに指定された値との互換性はありません。

- RECTECH is incompatible with both UNIT and MEDIA

RECtech パラメータに指定された値には、drive および MEDia パラメータとの互換性はありません。

- MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA

MODEl パラメータに指定された値には、drive および MEDia パラメータとの互換性はありません。

- MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH

MEDia パラメータに指定された値には、drive および RECtech パラメータとの互換性はありません。

- MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL

MEDia パラメータに指定された値には、drive および MODEl パラメータとの互換性はありません。

- MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible

MEDia、RECtech、および drive パラメータに指定された値には、相互に互換性はありません。

- MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible

MEDia、MODEl、および drive パラメータに指定された値には、相互に互換性はありません。

- MEDIA is invalid

MEDia パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- RECTECH is invalid

RECtech パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MODEL is invalid

MODEl パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MEDIA and RECTECH are invalid

MEDia および RECtech パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MEDIA and MODEL are invalid

MEDia および MODEl パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed

MVS UCB は、LMU デバイスタイプとの互換性がないデバイスタイプを示していました。HSC では、この操作で UCB デバイスタイプが想定されます。3480 は 18TRACK であると想定され、3490/3490E は 36ATRACK であると想定され、3590 は STK1R であると想定されます。

- UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed

デバイスの UNITATTR が、UCB または LMU が示すものと一致しません。HSC では、UCB/LMU が示すデバイスのタイプが使用されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: エラーメッセージで説明されている状態を修正して、ジョブを再送信してください。

SLS2008I

CAP Status:

CAP ID	Size	Partid	Hostid	Priority	Mode	Status
CCCC1	CCCC2	PPP	CCCC3	DD	CCCC4	CCCC5 CCCC5

説明: Display Cap コマンドへの応答で、1つ以上の CAP のステータスが表示されます。CAP ごとに1つのステータス行が表示されます。ホストに CAP が接続されていない場合、CAP ステータスメッセージの代わりにメッセージ「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPs available」が表示されます。

- CCCC1 は CAPid (AA:LL:CC) です。
- CCCC2 は、次のいずれかである CAP サイズです。
 - 21-CELL: 標準の 4410 CAP
 - 20-CELL: WolfCreek CAP

- 30-CELL: WolfCreek のオプション CAP
- 40-CELL: 拡張 CAP
- PCAP: 優先 CAP (拡張/Wolfcreek)
- 14-CELL: 9740 14 セル CAP
- 10-CELL: 10 個のセルマガジン付き 9740 CAP
- 9740-TYPE: HSC がセルの数を認識していない場合は 9740 CAP
- 26-CELL: 2 個の 13 セルマガジン付き SL3000 CAP
- 36-CELL: 3 個の 12 セルマガジン付き一括 8500 CAP
- 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP
- PPP は、アクティブなときに CAP を所有するパーティションの PARTid です。CAP がアクティブでない場合、NONE が表示されます。
- CCCC3 は、CAP を所有するホストの HOSTid です。これは、CAP がアクティブな場合にのみ表示されます。
- DD は CAP の優先順位です。
- CCCC4 は、次のいずれかである CAP モードです。
 - Entering: CAP はテープの挿入に使用されています。
 - Ejecting: CAP はテープの取り出しに使用されています。
 - Draining: CAP は排出中です。
 - Cleaning: CAP はクリーニングが必要です
 - Idle: CAP はアイドル状態です。
 - Reserved: CAP は別のパーティションによって予約されています。
 - Unknown: エラーが発生しました。不明な CAP タイプです。
- CCCC5 は、次の 1 つ以上である CAP ステータスです。
 - Manual: CAP は手動モードになっています。
 - Online: CAP はオンラインです。
 - Offline: CAP はオフラインです。
 - Active: CAP はタスクを実行しています。
 - Recovery: エラーが発生しました。回復が必要です。
 - Automatic: CAP は自動モードになっています。
 - Unknown: エラーが発生しました。不明な CAP ステータスです。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2009I

EJECT|ENTER|VIEW rejected; unexpected RC XXXX from FIGMNGR|SLSCGREC

説明: 構成管理 (FIGMNGR) からの予期しないリターンコードが検出されたか、CAP サービスが CAP レコード (SLSCGREC) を特定しようとしてエラーを検出したため、EJect|ENter|VIew コマンドは拒否されました。

- XXXX は、呼び出し側サービスのリターンコードです。
- FIGMNGR|SLSCGREC は、リターンコードを表示した呼び出し側サービスです。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2011I

The VIEW command is not supported for this library type

説明: SL8500 ライブラリ内のセルに対して VIEW を試行しましたが、このライブラリに照明またはカメラがないため失敗しました。

システムアクション: VIEW コマンドは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS2012I

DRAIN command rejected; CAP AA:LL:CC is OFFLINE

説明: 指定された CAP はオンラインではないため、排出できません。これはオンラインではないため、挿入または取り出しを行うことができず、その結果排出する必要はありません。AA:LL:CC は CAPid です。

システムアクション: DRAin 要求は拒否されます。

ユーザーの対応: 正しい CAPid を指定してコマンドを再発行してください。

SLS2013I

EJECT rejected; No SCRATCH volumes in ACSid AA or parser error, invalid CAPid length detected|CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype |internal error

説明: EJect コマンドが、指定された ACSid AA 内でスクラッチボリュームを見つけることができなかったか、指定された CAPid が、AA:LL 形式または AA:LL:CC 形

式ではありませんでした。「EJECT rejected」、「CAPid AA:LL:CC is of an unknown CAPtype」、および「internal error」は HSC エラーのため、StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

- AA は、Eject コマンドの AA:LL:CC の AA 部分で指定された ACSid です。
- AA:LL:CC は、Eject コマンドで指定された CAPid です。

システムアクション: Eject コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2014I

LSM AA:LL Status:

LSM Type : DDDD1

```
{Pending           |}- {Not Ready |} - {Automatic|}
Maint Mode        | Ready Manual
Offline           |
Online
CAP ID Size  Hostid  Priority  Mode  Status
-----
CCCC1 CCCC2 CCCC3  DD2   CCCC4 CCCC5
                    CCCC5
```

```
[AUDIT in progress.]
Scratch volumes available...DDDD
Free cells available.....DDDD
Panel PP frozen - DDD1 total cells, DDD2 free cells
```

説明: Display Lsm コマンドへの応答で、1つ以上の LSM のステータスが表示されます。Lsm が lsm-list なしで指定されている場合、ライブラリ内の LSM ごとに 1 行のステータスサマリーが表示されます。

表示される LSM ステータス情報は次のとおりです。

- Online/Offline/Pending Offline/Maintenance Mode Status
- Ready/Not Ready status
- Automatic/Manual Mode status
- Not configured status
- FREEZE status

表示される LSM タイプは次のとおりです。

- 4410 標準 LSM
- 3000 StorageTek Library 3000

- 8500 Oracle StorageTek Library 8500
- 9310 PowderHorn
- 9360 WolfCreek
- 9740 TimberWolf

Display コマンドの形式に応じて、次の情報も含まれていることがあります。

- CAP のステータス。これには、CAPid、サイズ、HOSTid、優先順位、モード、およびステータスが含まれます。Display Cap コマンドへの応答で、1つ以上の CAP のステータスが表示されます。CAP ごとに1つのステータス行が表示されます。ホストに CAP が接続されていない場合、CAP ステータスメッセージの代わりにメッセージ「LSM AA:LL|AA:LL:CC has no CAPS available」が表示されます。
 - *DDDD1* は、次のいずれかである LSM タイプです。
 - › 4410 標準 LSM
 - › 3000 Oracle StorageTek Library 3000
 - › 8500 Oracle StorageTek Library 8500
 - › 9310 PowderHorn
 - › 9360 WolfCreek
 - › 9740 TimberWolf
 - *CCCC1* は CAPid (AA:LL:CC) です。
 - *CCCC2* は、次のいずれかである CAP サイズです。
 - › 21-CELL: 標準 CAP
 - › 20-CELL: WolfCreek CAP
 - › 30-CELL: WolfCreek のオプション CAP
 - › 40-CELL: 拡張 CAP
 - › PCAP: 優先 CAP (拡張/WolfCreek)
 - › 10-CELL: 10 個のセルマガジン付き 9740 CAP
 - › 14-CELL: 9740 14 セル CAP
 - › 26-CELL: 2 個の 13 セルマガジン付き SL3000
 - › 36-CELL: 3 個の 12 セルマガジン付き一括 8500 CAP
 - › 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP
 - › 9740-TYPE: HSC がセルの数を認識していない場合は 9740 CAP
 - › 39-CELL: 3 個の 13 セルマガジン付き SL8500 CAP

- PPP は、アクティブなときに CAP を所有するパーティションの PARTid です。CAP がアクティブでない場合、NONE が表示されます。
- CCCC3 は、CAP を所有するホストの HOSTid です。これは、CAP がアクティブな場合にのみ表示されます。
- DD2 は CAP の優先順位です。
- CCCC4 は、次のいずれかである CAP モードです。
 - › Entering: CAP はテープの挿入に使用されています。
 - › Ejecting: CAP はテープの取り出しに使用されています。
 - › Draining: CAP は排出中です。
 - › Cleaning: CAP はクリーニングが必要です。
 - › Idle: CAP はアイドル状態です。
 - › Unknown: エラーが発生しました。不明な CAP タイプです。
- CCCC5 は、次の 1 つ以上である CAP ステータスです。
 - › Manual: CAP は手動モードになっています。
 - › Online: CAP はオンラインです。
 - › Offline: CAP はオフラインです。
 - › Active: CAP はタスクを実行しています。
 - › Recovery: エラーが発生しました。回復が必要です。
 - › Automatic: CAP は自動モードになっています。
 - › Unknown: エラーが発生しました。不明な CAP ステータスです。
- 監査が進行中の場合は、その監査。
- 各 LSM で使用可能なスクラッチボリュームと空きストレージセルの数
- パネルでのセルの合計数 (DDD1) と空きセルの数 (DDD2) を示す、それぞれの凍結パネルを表示します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2033I

{ENTER|EJECT} command rejected; LSMid AA:LL does not control a CAP

説明: ENter または Eject コマンドで、CAP を制御しない LSMid が指定されました。

システムアクション: Eject または ENter コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 適格な CAP のステータスを表示するには、Display Cap コマンドを発行してください。適格な CAP を制御する LSMid を指定してコマンドを再発行してください。

SLS2034I

MODIFY LSMid AA:LL offline command rejected; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCC

説明: 少なくとも 1 つの CAP がまだアクティブだったときに、CAP を制御できる最後の SL8500 LSM をオフラインに変更しようとしてしました。

システムアクション: MODify lsm OFFline コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: LSM のすべての CAP が非アクティブであることを確認してください。または、アクティブな CAP を制御できる別の LSM をオンに変更してください。ハードウェアエラーが原因でこれ以上の CAP の処理を行うことができない場合、FORCE キーワードを指定して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

SLS2038I

DRAin command rejected; ENter|EJect command not active on CAPid AA:LL:CC

説明: 指定された CAP が、現在挿入または取り出し処理を実行していないか、ENter または EJect コマンドは、DRAin コマンドが入力された同一ホストから進行中ではありません。AA:LL:CC は CAPid です。

システムアクション: DRAin 要求は拒否されます。

ユーザーの対応: ENter|EJect がアクティブなホストでコマンドを再発行してください。

SLS2039I

{ENTER|EJECT} command rejected; no CAPs on {ACS AA|LSMid AA:LL} are eligible for selection

説明: ENter または EJect コマンドに特定の CAPid が含まれていなかったか、CAP が選択に適していません。

選択可能であるためには、CAP は 0 以外の CAP 設定値を割り当てられており、オンラインかつアイドル状態である必要があり、さらに RECOVERY モードになるこ

とはできません。また ENter コマンドでは、CAP が AUTO モードになることはできません。

システムアクション: Eject または ENter コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: CAP のステータスを表示するには、Display Cap コマンドを発行してください。

- CAP 設定値を 0 以外に設定する必要がある場合、これは CAPPref コマンドを使用して行います。
- CAP をオンラインにする必要がある場合、これは MODify コマンドを使用して行います。
- CAP モードを AUTO から MANual に変更する必要がある場合、これは CAPPref コマンドを使用して行います。
- CAP が RECOVERY モードになっている場合、回復プロセスが完了するまで待機します。

CAP を選択できるようになったら、コマンドを再発行してください。または、選択プロセスが不要になるように、特定の CAPid を指定してコマンドを発行できます。

SLS2043I

Scratch warning thresholds have been set to DDDD for ACS acsid|LSM lsmid {SUBPOOL subpool} {MEDIA media RECTECH rectech}

説明: このメッセージは、スクラッチ警告しきい値が Warn コマンドによって調整されたことを示しています。DDDD はしきい値で、*acsid* または *lsmid* は、しきい値が設定されている ACS または LSM です。*subpool* は、しきい値が適用されるサブプールです。*media* は、しきい値が適用されるメディアタイプです。*rectech* は、しきい値が適用される記録技法です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS2050I

CCCCCCC command RRRRRRRR; reconfiguration is active

説明: コマンド CCCCCC の処理中に、動的再構成が検出されました。フィールド RRRRRRRR に「not executed」または「terminated」が含まれている場合、再構成がアクティブな間はコマンドを実行できませんでした。RRRRRRRR に「delayed」が含まれている場合、このコマンドは動的再構成が完了するまで遅延します。

システムアクション: メッセージ内のテキストに応じて、コマンドは拒否されるか、終了するか、遅延します。コマンドは、遅延する場合、動的再構成が完了したら実行されます。

ユーザーの対応: コマンドが拒否されるか終了する場合、再構成が完了したらコマンドを再入力してください。

SLS2075I

*Manually mounted volume volser from cell location AA:LL:PP:RR:CC
deleted from the CDS*

説明: オンラインの LSM で手動でマウントされたボリューム *volser* は、手動でマウント解除されました。ボリュームはライブラリで制御されなくなり、制御データセット (CDS) から削除されました。

システムアクション: ボリュームは CDS から削除され、処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2080I

Unable to mark volume volser errant - volume is not selected

説明: マウント解除中に、指定されたボリュームにエラントとマークしようとした。これは選択されたステータスになっていないため、実行できませんでした。

システムアクション: ボリュームはマウント解除されず、エラントとマークされません。

ユーザーの対応: ボリュームが選択されていない理由を調査して、適切なアクションを行なってください。

SLS2081I

Unable to mark volume volser errant - VAT not owned by caller

説明: マウント解除中に、指定されたボリュームにエラントとマークしようとした。これは VAT が呼び出し元によって所有されていないため、実行できませんでした。

システムアクション: ボリュームはマウント解除されず、エラントとマークされません。

ユーザーの対応: カートリッジをマウントした同一システムから DISMOUNT 要求を発行してください。

SLS2082I

Unable to mark volume volser errant - VAR not owned by caller

説明: マウント解除中に、指定されたボリュームにエラントとマークしようとしてしました。これは VAR が呼び出し元によって所有されていないため、実行できませんでした。

システムアクション: ボリュームはマウント解除されず、エラントとマークされません。

ユーザーの対応: カートリッジをマウントした同一システムから DISMOUNT 要求を発行してください。

SLS2102D

Dismount of volser from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume not in CDS; reply I, A, R or E to Ignore, Add, Retry or Eject

説明: ボリューム *volser* をトランスポート {XXXX|AA:LL:PP:NN} からマウント解除しようとしてしましたが、指定されたボリュームが制御データセット内にありませんでした。

システムアクション: I、A、R、または E と応答するまで、マウント解除は待ち状態になります。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- マウント解除を無視する場合は、Ignore (I)。
- ボリュームを CDS に追加して、カートリッジを新しいホームセルにマウント解除する場合は、Add (A)。
- 制御データセットの検索を再試行する場合は、Retry (R)。
- カートリッジを取り出す場合は、Eject (E)。

SLS2108D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - External media type unreadable; reply Retry/Bypass/Eject/Ignore (R,B,E,I)

説明: トランスポート XXXX|AA:LL:PP:NN にボリューム *volser* をマウントしようとしてしましたが、外部メディアタイプが読み取り不能でした。

システムアクション: Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかで応答するまで、マウントは待ち状態になります。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- R. マウントを再試行する場合。
- マウントを再試行して、メディアタイプの検証をバイパスする場合は、B。
- E. ボリュームをイジェクトする場合。ボリューム *volser* は、制御データセットから削除されます。
- I. マウントを無視する場合。

SLS2114D

Enter of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volser cannot be used; reply E,volser to enter cartridge or I to Ignore

説明: ドライブ *XXXX* または *driveid AA:LL:PP:NN* にマウントするボリューム *volser* の挿入を試行しましたが、ボリュームはトランスポートとの互換性がないか、メディアが読み取り不能であるか、別のプロセスに選択されています。

システムアクション: マウントは、ユーザーが「E,volser」または「I」と応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- 別の *volser* を入力するか、エラー状態を修正したあとで同じボリュームを挿入する場合、E,volser。
- I. マウントを無視する場合。

SLS2119I

Allocation record mismatch

説明: プライマリ制御データセットとセカンダリ制御データセットの間で DALM ブロックの不一致が検出されました。これは、1つまたはその他の制御データセットに正しいレコード割り当てが含まれていないことを示す警告メッセージです。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 制御データセットがバックアップ対象の正しいデータセットであることを確認してください。そうではない場合、正しいセットを取得して、BACKupユーティリティを再送信してください。

SLS2124I

Manual Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Complete

説明: 手動によるマウント要求 SLS2911D への応答で、または MVS においてトランスポート上でマウントされたボリュームが検出されたため、ボリューム *volser* はトランスポート *XXXX|AA:LL:PP:NN* 上のオペレータによってマウントされていると推定されました。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。ボリュームは CDS 内に保持されま

ユーザーの対応: なし

SLS2126D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume not in library[; reply "I", "R", "T", "P", "T,capid" or "P,capid"]

説明: 指定されたトランスポート {*XXXX|AA:LL:PP:NN*} (*XXXX* = ドライブ、*AA:LL:PP:NN* = DRIVEid) にボリューム *volser* をマウントしようとしたが、ボリューム *volser* はライブラリ内にありませんでした。

システムアクション: コマンドが HSC コンソールから発行された場合、応答するかボリュームが挿入されるまでマウントは待機状態になります。

ユーザーの対応: HSC コンソールコマンドの場合、次のいずれかで応答してください。

- I. マウントを無視する場合。
- R. マウントを再試行する場合。
- 必要なボリュームを一時的に挿入する場合は、T。HSC は、ドライブがある ACS で 0 以外の CAPpref を使用して CAP を割り当てようとしています。HSC は PCAP を選択しません。
- 必要なボリュームを永続的に挿入する場合は、P。HSC は、ドライブがある ACS で 0 以外の CAPpref を使用して CAP を割り当てようとしています。HSC は PCAP を選択しません。
- 必要なボリュームを一時的に挿入する場合は、T,capid。HSC は、指定された CAPid を使用しようとしています。
- 必要なボリュームを永続的に挿入する場合は、P,capid。HSC は、指定された CAPid を使用しようとしています。

次の点に注意してください。

- CAPid なしで「T」または「P」を入力すると、HSC は PCAP を選択しません。PCAP を使用してカートリッジを挿入して MOUNT を実行するには、「T,capid」または「P,capid」と入力する必要があります。
- サイトにテープ管理システムがない場合、忘れずにこのメッセージに応答してください (I、R、T、P、T,capid、または P,capid のいずれか)。それ以外の場合、ボリュームの挿入後にジョブでスクラッチを要求すると、カートリッジが選択されて上書きされることがあります。
- UUI 要求によってこのコマンドを入力すると、マウントは無視されます。

SLS2149I

XXXX of YYYYYYYY volumes in this report meet or exceed 100% of their warranty life, total volumes: ZZZZZZZZ

説明: メディア保証期限 (MWL) の割合は、LMU 互換性レベル 21 以上のテープライブラリについてボリュームのマウント解除時に取得されます。このレポートで要求されたボリュームのうち、XXXX 個のボリュームがこの保証期限の 100% 以上になっています。YYYYYYYY は、MWL 値が認識されている、このレポートでのボリュームの数です。ZZZZZZZZ は、このレポートで表示されるボリュームの合計数です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS2150I

Volume(s) volser<-volser> not in library

説明: SLUADMIN ユーティリティー関数で要求された 1 つ以上のボリュームがライブラリで定義されていませんでした。ユーティリティーコマンドでボリュームの範囲が指定されていて、その範囲内の後続の一連のボリュームが見つからなかった場合、この一連のボリュームについて単一のメッセージが表示されます。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2151I

"SUMMARY(SUBPOOL)" specified and scratch subpool definitions not available

説明: VOLRpt ユーティリテーステートメントで「SUMMary(SUBpool)」キーワードが指定されましたが、SLSSCRPL DD ステートメント、アクセス可能な SLSUX03

モジュール、または SET VOLPARM 定義のいずれでもスクラッチサブプール定義を使用できませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。スクラッチサブプールの合計は生成されません。

ユーザーの対応: なし

SLS2152I

CCCCCCC1 keyword for CCCCCC2 not supported in the CCCCCC3 environment

説明: CCCCCC2 ユーティリティー制御ステートメントで見つかった CCCCCC1 キーワードは、特定の CCCCCC3 環境ではサポートされません。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 制御ステートメントからキーワードを削除して、CCCCCCC3 環境でユーティリティーを再実行するか、互換性のある環境でユーティリティーを実行してください。

SLS2153I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC has MEDIA-Type mismatch with database

説明: SLUADMIN AUDIt ユーティリティー関数が、指定された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) で、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを検出しましたが、制御データセット内のメディアタイプの指定が LMU ビジョンシステムの結果と一致しません。

制御ステートメントで APPLY(YES) が指定されているかデフォルト設定された状態で AUDIt がアクティブになっている場合、ボリュームのメディアタイプの指定は、LMU の結果と一致するように変更されます。制御ステートメントで APPLY(NO) が指定された状態で AUDIt がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを発行し、制御データセットは更新されません。

システムアクション: APPLY パラメータの指定によっては、ボリュームのメディアタイプの指定が制御データセットで変更されることがあります。

ユーザーの対応: なし

SLS2154I

"SUMMARY" must specify either "TOTal", "SUBpool", or both

説明: VOLRpt ユーティリティーに対して「SUMMary」キーワードが指定されましたが、値が指定されていなかったか、無効な値が指定されました。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: VOLRpt ユーティリティーで「TOTal」、「SUBpool」、または「TOTal,SUBpool」のいずれかを指定して、ジョブを再送信してください。

SLS2155I

CCCCCCCC1 parameter CCCCCC2 already specified

説明: CCCCCC2 キーワードの CCCCCC1 パラメータは以前に指定されました。

システムアクション: リターンコード 4 が設定され、ユーティリティーは続行されません。

ユーザーの対応: 何も必要ありません。このメッセージは単なる警告です。

SLS2156I

No more SCRTCH volumes in ACS AA

説明: EJECT ユーティリティーが、取り出すスクラッチテープの数を指定して実行されました。HSC は、ACS (AA) 内の使用可能なスクラッチテープをすべて取り出しましたが、要求を完全に実行するために十分なテープがありませんでした。

システムアクション: EJECT ユーティリティーは、リターンコード 4 で終了します。

ユーザーの対応: 異なる ACS に対して別の SCRTCH 取り出しを実行してください。

SLS2157I

Unable to obtain storage for volume table

説明: 要求されたボリューム情報を格納するためのテーブルを取得するのに十分なストレージがありません。これは、VM 環境にのみ適用されます。

システムアクション: VOLRpt ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: より大きいサイズの仮想マシン (少なくとも 4M バイトを推奨) を定義するか、要求されるデータの量を減らしてください。

SLS2158I

SLSVA DD missing, data reported may be incorrect

説明: 報告される volser がメディアタイプと記録技法の混合である場合、SLSVA DD が必要です。すべての volser のメディアと記録技法が同じ場合、このメッセージは無視できます。混合のメディアタイプが関係する場合、VOLATTR ステートメントが含まれているファイルに対して SLSVA DD を指定してください。SYSVA データセットを HSC から判別できた場合、HSC が非アクティブであったか、VOLRPT を実行している SLUADMIN プログラムと同じリリースレベルではありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。報告されたデータは誤っていることがあります。

ユーザーの対応: VOLATTR ステートメントに SLSVA DD を指定するか、SET VOLPARM ユーティリティーを使用してボリューム属性を設定してください。

SLS2159I**CCCCCCC of volume volser - Access denied**

説明: ボリュームにアクセスしようとしたますが、ユーザー出口 14 によって拒否されました。

システムアクション: ユーティリティーは、ボリュームを処理せずに続行されます。リターンコード 4 が CCCCCC ユーティリティーによって設定されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2160I**volser not ejected, MEDIA MISCOMPARE**

説明: 取り出し処理中に、取り出すボリュームで、CDS 内のメディア情報と LMU によって返されるメディア情報の間に不一致があることが検出されました。コンソールで HSC によってメッセージ SLS0698I、SLS0699I も発行されることがあります。

システムアクション: Eject は、カートリッジをイジェクトしないまま続行されます。条件コード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: メディアの不一致を修正するために、AUDIt ユーティリティーを実行してください。

SLS2169I**CCCCCCCC1 (CCCCCCCC2) must have CCCCCCCC3**

説明: DD ステートメント CCCCCCCC1 によって定義されたデータセット CCCCCCCC2 に必要な DCB 属性 CCCCCCCC3 がないことが検出されました。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: DD/FILEDEF ステートメントで正しい DCB 属性が指定されていることを確認して、ユーティリティーを再実行してください。

SLS2182I

Input CDS from CCCCCCCC CDS level RRRRRRRR is inconsistent with utility maintenance level

説明: リリースレベル RRRRRRRR である入力 CDS は、ユーティリティー保守レベルでは使用できません。CCCCCCCC はデータセット名です。

システムアクション: プログラムは終了します。

ユーザーの対応: 現在の CDS との互換性がある HSC リリースレベルに対してロードライブラリを使用して、ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2184I

DATABASE ERROR: CCCCCCCCCC1 ON CCCCCCCC2 CDS, RECORD DDDDDDD1 OF BLOCK DDDDDDD2 IN SUBFILE SSSS

説明: CCCCCCCC2 制御データセットでデータベースエラーが発生しました。エラー情報は CCCCCCCCCC1 に含まれています。DDDDDDD2 は、エラーが発生した相対ブロック番号を示し、DDDDDDD1 は、そのブロック内のレコード番号を示します。(DDDDDDD1 には、CDS レコードタイプによっては、ブロック内の実際のレコード数より大きい値が示されることがあります)。SSSS は、エラーがあるブロックとレコードが含まれているサブファイルを示します。

エラーが 70787078 (長さの不一致) の場合、エラーの原因には次が考えられます。1) 可変長 CDS レコードのレコード長が正しくなく、許可される最小長より小さい。2) 可変長 CDS レコードのレコード長が正しくなく、(CDS レコードのディレクトリエントリで定義された) 許可される最大長より大きい。3) ディレクトリエントリの長さが正しくなく、CDS レコードの長さより小さい。

エラーが 70847084 (サブファイルが見つからない) の場合、ユーティリティー制御ステートメント内のパラメータの 1 つが範囲外になっている可能性があります。このエラーの原因となる範囲外の状態の例には、LSM が 1 つしかないライブラリに LSM(00:06) を指定した場合があります。その他の状態の場合、CCCCCCCC2 制御データセットで CDS 整合性エラーが発生している可能性があります。

システムアクション: ユーティリティーは、リターンコード 8 で正常終了します。

ユーザーの対応: 問題が無効なパラメータの場合、そのパラメータを修正して必要なユーティリティーを再実行してください。問題が長さの不一致で、ディレクトリエントリの長さが正しくない場合、Directory Rebuild ユーティリティーを実行して長さを修正してから、必要なユーティリティーを再実行してください。その他のエラーの理由の場合、現在の CDS のコピーを診断用に作成してから、それぞれの CDS を復元して、必要なユーティリティーを再実行してください。このエラーが解決しない場合は、適切な情報を用意してカスタマサポートに連絡してください。

SLS2189I

WARNING: CAP CCCCCC1 unexpectedly released during CCCCCC2 CCCCCC3 processing

説明: CAP CCCCCC1 は、CCCCC2 ユーティリティーの CCCCCC3 プロセスによって割り当てられることが予期されたときに解放されました。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティーは、プロセス CCCCCC3 に応じて続行されるか終了します。

ユーザーの対応: 可能な場合、ユーザーは、割り当てられる CAP が途中で解放されないようにしてユーティリティーを再実行してください。

SLS2195I

XXXXXXXX command rejected; CAPid AA:LL:CC is in AUTOMATIC mode

説明: ユーティリティーは特定の CAPid で実行されました。その CAP は AUTOMATIC モードになっているため、現在使用できません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 別の CAP を指定してユーティリティーを再実行するか、CAP を AUTOMATIC モードではなくなるようにしてください。

SLS2197I

CAPid AA:LL:CC is offline

説明: SLUADMIN ユーティリティー関数では特定の CAPid (AA:LL:CC) への関数パスが必要でしたが、ユーティリティーが実行されたホストに対して CAP がオフラインであることが検出されました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: CAP をこのホストに対してオンラインにして (MODify コマンドを参照)、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2198I

HSC Subsystem maintenance level is not correct for this utility

説明: HSC サブシステム保守レベルがこのユーティリティーでは正しくありません。SLUADMIN ユーティリティー関数では、HSC サブシステムとユーティリティーモジュールが特定のリリースまたは PUT レベルである必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: HSC およびユーティリティーロードライブラリが同じライブラリ連結であることを確認してください。ユーザーは、現在実行中の HSC に関連付けられたライブラリを選択してください。ロードライブラリを修正したら、ジョブを再送信してください。

SLS2200I

Warning: Volume volser Media-type compare failed between VOLATTR and cartridge label

説明: SLUADMIN ユーティリティー関数は、指定されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを検出しました。ロボットは、ボリュームラベルが、VOLATTR 制御ステートメントのメディアタイプの指定と一致しないメディアタイプであることを検出しました。

システムアクション: なし。これは、単なる警告/情報メッセージです。

ユーザーの対応: VOLATTR のメディアタイプの指定またはボリュームのメディアタイプラベルが正しいことを確認してください。

SLS2201I

(...error text...)

説明: 指定された値が無効か、要求でのモデル、ユニット、メディア、記録技法情報の間に互換性がありません。有効なエラーテキストメッセージには次のものがあります。

- RECTECH is incompatible with UNIT

RECtech パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- MODEL is incompatible with UNIT

MODEL パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with UNIT

MEDIA パラメータに指定された値には、unit に指定されたドライブとの互換性がありません。

- UNIT is incompatible with both MEDIA and RECTECH

unit に指定されたドライブには、MEDIA 値または RECTECH 値との互換性がありません。

- UNIT is incompatible with both MEDIA and MODEL

unit に指定されたドライブには、MEDIA 値または MODEL 値との互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with RECTECH

MEDIA パラメータに指定された値には、RECTECH パラメータに指定された値との互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with MODEL

MEDIA パラメータに指定された値には、MODEL パラメータに指定された値との互換性がありません。

- RECTECH is incompatible with both UNIT and MEDIA

RECTECH パラメータに指定された値には、drive および MEDIA パラメータとの互換性がありません。

- MODEL is incompatible with both UNIT and MEDIA

MODEL パラメータに指定された値には、drive および MEDIA パラメータとの互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with both UNIT and RECTECH

MEDIA パラメータに指定された値には、drive および RECTECH パラメータとの互換性がありません。

- MEDIA is incompatible with both UNIT and MODEL

MEDia パラメータに指定された値には、drive および MODel パラメータとの互換性がありません。

- MEDIA, RECTECH and UNIT are all incompatible

MEDia、RECtech、および drive パラメータに指定された値には、相互に互換性がありません。

- MEDIA, MODEL and UNIT are all incompatible

MEDia、MODel、および drive パラメータに指定された値には、相互に互換性がありません。

- MEDIA is invalid

MEDia パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- RECTECH is invalid

RECtech パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MODEL is invalid

MODel パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MEDIA and RECTECH are invalid

MEDia および RECtech パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- MEDIA and MODEL are invalid

MEDia および MODel パラメータに指定された値は不明か、正しくありません。

- UCB/LMU Drive type mismatch; UCB device type assumed

MVS UCB は、LMU デバイスタイプとの互換性がないデバイスタイプを示していました。HSC は、この操作のための UCB デバイスタイプを想定します。

- UCB/LMU UNITATTR Drive type mismatch; UCB/LMU type assumed

デバイスの UNITATTR が、UCB または LMU が示すものと一致しません。HSC では、UCB/LMU が示すデバイスのタイプが使用されます。

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: エラーメッセージで説明されている状態を修正して、ジョブを再送信してください。

SLS2202I

No scratch volumes (MEDIA/RECTECH); Scratch Redistribution will not run

説明: SLUADMIN ユーティリティーは、示された MEDIA や RECTECH の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS 内がないことを確認しました。

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: SCRATCH ユーティリティーを使用して ACS 内のスクラッチボリュームを定義して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2203I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC has unreadable MEDIA label

説明: SLUADMIN AUDIt ユーティリティー関数が、示された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) で、示されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを検出しましたが、これには到達不可能な外部 MEDIA ラベルが付いています。

制御ステートメントで APPLY(YES) が指定されているかデフォルト設定された状態で監査がアクティブになっている場合、制御データセット内のボリュームエントリはこの点を反映するために更新されます。制御ステートメントで APPLY(NO) が指定された状態で監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを発行し、制御データセットは更新されません。

システムアクション: APPLY パラメータの指定に応じて、制御データセット内のボリュームエントリが更新されます。

ユーザーの対応: MEDIA ラベルが到達不能である理由を判別してください。

SLS2204I

Volume volser in cell AA:LL:PP:RR:CC is not in control database

説明: SLUADMIN AUDIt ユーティリティー関数が、示された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) で、示されたボリュームシリアル番号 (volser) を持つライブラリカートリッジを検出しましたが、これは制御データセット内にありません。ただし、カートリッジの外部 MEDIA ラベルは到達不能です。

制御ステートメントで APPLy(YES) が指定された状態で監査がアクティブになっている場合、カートリッジが取り出されます。制御ステートメントで APPLy(NO) が指定された状態で監査がアクティブになっている場合、HSC は警告メッセージを発行します。

システムアクション: APPLy パラメータの指定によっては、ボリュームがライブラリから取り出されることがあります。

ユーザーの対応: カートリッジを調べて、到達不能な外部 MEDia ラベルの理由を判別してください。

SLS2205I

No more SCRTCH volumes (MEDIA/RECTECH) in ACS AA

説明: SLUADMIN ユーティリティーは、示された MEDia や RECtech の基準に一致する使用可能なスクラッチボリュームが ACS AA 内にないことを確認しました。

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: このユーティリティーを続行する場合は、SCRAtch ユーティリティーを使用して正しい MEDia および RECtech の基準を使用してスクラッチボリュームを ACS 内で定義して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2206I

*Error ejecting Volume volser with unreadable MEDIA in cell
AA:LL:PP:RR:CC*

説明: SLUADMIN AUDIt ユーティリティーは、制御データセット内になく、到達不能な MEDia 外部ラベルを持つボリューム (volser) をセル AA:LL:PP:RR:CC で取り出すことができませんでした。カートリッジを取り出そうとしましたが、AUDIt は LMU エラーを検出し、カートリッジを取り出すことができませんでした。

システムアクション: この状態は条件コード 4 のエラーとして処理されます。、AUDIt ジョブは続行されます。

ユーザーの対応: エラーが解決しない場合は、地域の StorageTek ソフトウェア CSE に連絡してください。EJect コマンドでテープを削除する必要がある場合があります。

SLS2207I

BALTOL parameter value invalid

説明: BALtol パラメータが指定された値のタイプまたは範囲内にありません。

システムアクション: ユーティリティーはそれ以上のアクションを実行せずに終了します。

ユーザーの対応: BALtol パラメータに許可される値は 1 - 999 までです。BALtol パラメータの値を修正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS2208E**VERIFY parameter invalid**

説明: VERIFY パラメータが無効なプログラムで指定されました。

システムアクション: JOB はリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: VERIFY パラメータを削除するか、CA1 テープの初期化のためにプログラム名を TMSTPNIT に変更してください。

SLS2250I**Attempting cleanup of CAP AA:LL:CC**

説明: CAPid AA:LL:CC のクリーンアップが試行されています。

システムアクション: CAP がスキャンされます。

ユーザーの対応: なし

SLS2251A**CAP ejecting; please empty cartridges out of CAP AA:LL:CC**

説明: 処理のために CAP を取得しようとしているときに、選択した CAP でボリュームが見つかりました。処理を続行する前に、ボリュームを削除する必要があります。

システムアクション: CAP の処理は待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP ドアを開いてカートリッジを取り外して、CAP ドアを閉めてください。

SLS2252A

*CAP processing terminating; please empty cartridges out of CAP
AA:LL:CC*

説明: ライブラリサブシステムはシャットダウンを試行していますが、CAP は使用中でした。

システムアクション: 終了処理は待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP ドアを開いてカートリッジを取り外して、ドアを閉めてください。

SLS2253I

LMU error XXXXXXXX ACS AA

説明: HSC が ACS AA へ要求を発行するときに、エラー XXXXXXXX が発生しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2254A

Empty CAP AA:LL:CC and close door

説明: CAP の処理の開始時または終了時に、CAP にカートリッジが含まれていることが検出され、これらのカートリッジは取り外す必要があります。

システムアクション: 処理は待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP ドアを開いてカートリッジを取り外して、CAP ドアを閉める必要があります。

SLS2255I

Module CCCCCC ABEND XXXXX, RC=XXXXXXXX; ZZ dump taken

説明: HSC ソフトウェアの障害が発生しました。CCCCCCC は異常終了したモジュール、XXXXX はシステムまたはユーザーの異常終了コード、XXXXXXXX は理由コード、および ZZ はダンプが取られなかった場合は「NO」で、ダンプが取られた場合は空白です。

システムアクション: アプリケーションエラー処理ルーチンは問題を解決しようとしません。

ユーザーの対応: 取ったダンプをすべて保存してください。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2256I

Automatic CAP Service {Available|Unavailable}

説明: 自動 CAP サービスをサポートする CAP コンポーネント機能を実行しようとして、自動 CAP サービスは、ACS が接続されていない場合でも使用可能なことがあります。応答「Unavailable」は、このサービスが機能していないことを示します。そのため、「automatic」状態の CAP は自動挿入を処理しません。

システムアクション: HSC は、自動 CAP サービスなしで機能し続けます。

ユーザーの対応: 自動 CAP サービスが「Available」の場合、応答は不要です。

自動 CAP サービスが「Unavailable」の場合、CAP を手動モードに設定して続行できます。問題の原因を判別して、可能な場合は修正してください。ダンプが伴う場合、ダンプを保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

自動 CAP サービスをふたたびアクティブにするには、HSC を停止して再起動してください。

SLS2257I

*Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; unable to make CAP AA:LL:CC
CCCCCC3*

説明: 操作 CCCCCC2 が CAP AA:LL:CC で失敗し、CAP を CCCCCC3 (MANual または AUTO) 状態にできませんでした。CCCCCC1 は、操作 CCCCCC2 からのリターンコードです。

システムアクション: 示された CAP は CCCCCC3 状態にされず、実行は続行されます。

ユーザーの対応: リターンコードの理由を判別して、可能な場合は修正してコマンドを再試行してください。

SLS2259A

*CAP AA:LL:CC unlocked; Magazine(s) installed improperly or CAP not
closed completely*

説明: CAP AA:LL:CC 内にマガジンがないか、マガジンが誤って取り付けられているか、CAP が完全に閉じられていません。CAP には少なくとも 1 つのマガジンが含ま

れている必要があります、CAP は SL8500 CAP である場合を除き、CAP 内のいちばん下の位置にある必要があります

システムアクション: システムは、オペレータが CAP ドアを開いて閉じるまで待機します。その後、マガジンが正しく取り付けられていることを確認するために、CAP が再度スキャンされます。問題が修正されていない場合、このメッセージが再発行されます。

ユーザーの対応: CAP にマガジンが含まれていない場合、少なくとも 1 つ挿入してください。SL8500 CAP の場合、マガジンはいちばん上、中央、またはいちばん下の位置に配置できます。その他すべての CAP では、CAP のいちばん下からマガジンを挿入してください。マガジンの下に空のマガジンスロットがある場合、そのマガジンを下に移動して、隙間を埋めてください。その後、CAP ドアを完全に閉めます。

注記:

右上隅に「N」シンボルがないマガジンは、WolfCreek LSM によって認識されません。これらのマガジンのうちの 1 つが WolfCreek CAP 内のいちばん下の位置に取り付けられている場合、このメッセージが発行されます。これらのマガジンのうちの 1 つが WolfCreek CAP に取り付けられていても、いちばん下の位置ではない場合、このメッセージは発行されませんが、そのマガジンの下にあるマガジンのみが使用されます。

SLS2260I

Auto CAP Enter of volser failed; {LSM PATH OFFLINE|ACS OFFLINE|CARTRIDGE MADE ERRANT|CAP OFFLINE|CAP ID INVALID}

説明: ボリューム *volser* は、次の理由で挿入されませんでした。

- LSM パス、ACS、LSM、または CAP がオフラインではなかったか
- CAPid が無効であったか、カートリッジによってエラーにされた。

システムアクション: システムの操作が続行されます。ボリューム *volser* は CAP 内に残ります。

ユーザーの対応: LSM パス、ACS、LSM、および CAP がオンラインであることを確認してから、操作を再試行してください。

SLS2261I

Auto CAP Enter - unexpected Return Code XXXXXXXXX

説明: 自動 CAP の挿入の予期しないリターンコード XXXXXXXXX を受け取りました。

システムアクション: 自動 CAP の挿入操作は完了しません。ただし、システムの操作は続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2262I

Return code CCCCCC1 from CCCCCC2; CAP AA:LL:CC is unlocked

説明: 示された操作 (CCCCCC2) が、CAP AA:LL:CC をロックしようとして失敗しました。リターンコード CCCCCC1 が発行されました。

システムアクション: 示された CAP はこのホストからロックされませんが、CDS で手動モードに設定されたままです。実行は続行されます。

ユーザーの対応: 示された CAP ドアを開けて閉める必要がある可能性があります。

SLS2263I

CAP AA:LL:CC in {AUTO|MANUAL} mode

説明: CAP AA:LL:CC は現在、示されたモード (AUTO または MANUAL) になっています。示されたモードが AUTO の場合、CAP はロックされておらず、カートリッジの挿入に使用できます。示されたモードが MANual の場合、カートリッジを挿入するために、ENter コマンドを発行して CAP をロック解除する必要があります。

システムアクション: CAP は、モードが MANual の場合はロックされ、モードが AUTO の場合はロック解除されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2264E

Auto CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

説明: HSC レベル 2 の終了中に、自動 CAP AA:LL:CC はまだアクティブステータスでした。

システムアクション: 自動 CAP AA:LL:CC がアクティブではなくなるまで、HSC レベル 2 の終了は待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合、カートリッジを CAP から取り外すことを要求する前のメッセージすべてに応答してください。

SLS2266E

Cartridge volser in CAP cell AA:LL:CC:RR:CC has an invalid media label and cannot be entered

説明: カートリッジ (volser) が、読み取り不可能な光メディアラベルが付いた CAP セル AA:LL:CC:RR:CC で見つかり、挿入できません。

システムアクション: カートリッジの挿入は、カートリッジの見つかった CAP セル内にそれを残したまま、その CAP 内の次のカートリッジに処理を進めます。

ユーザーの対応: カートリッジを CAP から取り出します。カートリッジを挿入する必要がある場合、メディアラベルを修正してください。

SLS2267I

Eject of volser into PCAP - media type changed from MM1 to MM2

説明: はじめてボリューム volser を PCAP に取り出そうとしましたが、メディアの不一致で失敗しました。

検証する HSC 指定のメディアタイプ (MM1) が、ビジョンシステムによって読み取られるメディアタイプ (MM2) と一致しない場合に、メディアの不一致エラーが発生します。LMU は、HSC との不一致をメディアの不一致エラーとして報告します。メディアの不一致エラーは、HSC がメディアの検証を実行するよう LMU に要求する場合にのみ発生します。

システムアクション: 制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、ビジョンシステムによって読み取られるメディアタイプに変更されます。取り出しは自動的に再試行されます。

このメッセージは、メディアの検証が有効な場合にのみ発行され、メディアの検証は、取り出しが自動的に再試行される場合に行われます。再度不一致が発生する場合、取り出しは失敗し、PCAP は解放されます。

ユーザーの対応: MM1 および MM2 が同じ場合は、LMU またはビジョンシステムのハードウェアの問題が存在する可能性があります。自動的に再試行された取り出しが失敗する場合、PCAP 以外へのボリュームの取り出しを試行してください。再試行された取り出しが正常に行われた場合、応答は不要です。

SLS2268I

CAP reserved to another host group; unable to make CAP AA:LL:CC AUTO

説明: ACSLS などの別のホストグループが CAP AA:LL:CC を予約しており、CAP を AUTO 状態にできませんでした。

システムアクション: 指定された CAP は AUTO 状態にされません。実行は続行されます。

ユーザーの対応: ほかのホストグループが CAP を解放するまで待機するか、ほかのホストグループソフトウェアまたはハードウェアメカニズムを使用して CAP を解放してください。

SLS2269I

CAP AA:LL:CC still active; CAP component termination pending

説明: HSC レベル 2 の終了中に、CAP AA:LL:CC はまだアクティブステータスでした。

システムアクション: CAP AA:LL:CC がアクティブではなくなるまで、HSC レベル 2 の終了は待ち状態になります。

ユーザーの対応: CAP ドアが閉じていることを確認してください。CAP が回復中の場合、カートリッジを CAP から取り外すことを要求する前のメッセージすべてに応答してください。

SLS2275I

CAP AA:LL:CC: unavailable for CCCCCC1 CCCCCC2

説明: CAP AA:LL:CC: は、CCCCC1 の前のプロセス中に予期せず解放されたため、CCCCC2 プロセスには使用できません。このメッセージは、メッセージ SLS2189I と一緒に出されることがあります。

システムアクション: ユーティリティの示されたフェーズはバイパスされます。

ユーザーの対応: 可能な場合、ユーザーは、割り当てられる CAP が途中で解放されないようにしてユーティリティを再実行してください。

SLS2276I

Drive XXXX is incompatible with media for volume volser

説明: CARTINIT ユーティリティが、示されたトランスポート XXXX でボリューム volser をマウントしようとしたますが、テープメディアとトランスポートに互換性がありません。

システムアクション: システムはカートリッジを取り出し、次のカートリッジに進みます。

ユーザーの対応: SLSTAPE DD ステートメントで、初期化するメディアと一致するトランスポートを指定してください。

SLS2277I

RECONFIG volume copy started using DDDDDDDD

説明: DDDDDDDD の方法が RECONFIGuration ボリュームコピーに使用されています。DDDDDDDD は CDS I/O またはデータ領域の可能性があります。データ領域の方法ではパフォーマンスが向上します。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS2278D

Creation of the RECONFIG utility Data Space failed - MMMMMMM - CC - RRRRRRRR; reply CDS or Terminate (C/T)

説明: MMMMMMM は、再構成ユーティリティーのデータ領域の作成に失敗した IBM マクロ呼び出しです。CC は、失敗を説明するリターンコードです。RRRRRRRR は、失敗を説明する理由コードです。リターンコードや理由コードの説明については、該当する IBM のドキュメントを参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV で、リターンコードが 08 で理由コードが xx0005xx の場合、データ領域のサイズがインストール条件 (IEFUSI 出口) に違反しています。これは、HSC が保護キー 1-7 で実行されていないことを示しています。HSC の保護キーの正しい指定については、SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバー内で MVS プログラムプロパティの表を確認してください。

システムアクション: CDS (C) または Terminate (T) のいずれかで応答するまで RECONFIGuration ユーティリティーは待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- RECONFIGuration ユーティリティーがボリュームコピーステップに CDS I/O の方法を使用して続行する場合は、C。これによって、ユーティリティーの実行時間が長くなります。
- RECONFIGuration ユーティリティーを終了する場合は、T。

SLS2279E

RECDEF data set is not a newly recreated CDS

説明: 再構成ユーティリティーが、RECDEF CDS でボリュームレコードを検出しました。RECDEF CDS は新たに作成された CDS である必要があります。

システムアクション: 再構成ユーティリティーは、リターンコード 08 で終了します。

ユーザーの対応: 新しい CDS を作成するには、SLICREAT ユーティリティーを実行します。

SLS2280I

Volume VVVVVV selected after SCRATCH command USETOKN

説明: VVVVVV ボリュームが SCRATCH コマンドで指定されました。ただし、物理ボリュームの選択した日付と時間、または VTV の最後に使用された日付と時間が、SCRATCH コマンドで指定されたトークンよりあとになっています。

システムアクション: ボリュームはスクラッチされません。ボリュームがテープ管理システムでスクラッチステータスのままになる場合、後続のスクラッチ同期の実行によってボリュームがスクラッチされます。

ユーザーの対応: なし

SLS2281I

Volume VVVVVV not scratched - rejected by UX14

説明: VVVVVV ボリュームが SCRATCH コマンドで指定されました。ただし、ボリュームアクセスのユーザー出口 (UX14) はボリュームのスクラッチを拒否しました。

システムアクション: ボリュームはスクラッチされません。

ユーザーの対応: なし。

SLS2314I

CAP AA:LL:CC released or drained

説明: EJECT ユーティリティーは、割り当てられた CAP AA:LL:CC が解放されたか排出されたことを検出しました。

システムアクション: ほかの CAP がアクティブな場合、ユーティリティーは続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2316I

Volume volser not ejected; CAP(s) released in ACSidAA

説明: EJECT ユーティリティーは、ACSid AA 内の割り当てられた CAP がすべて解放されたか排出されたことを検出しました。

システムアクション: ほかの ACS 内の CAP がアクティブな場合、ユーティリティーは続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2317I

Unexpected EOF reading journal specified by SLSJRNdD DD statement

説明: RESTore ユーティリティーは、ジャーナルファイル *SLSJRNdD* を読み取ろうとしているときに、ファイルの終わり条件を検出しました。(dd=01 - 99。)

システムアクション: ユーティリティーは、異常終了 U1096 - 0202 で終了します。

ユーザーの対応: 示されたジャーナルファイルが正しくフォーマットされていたことを確認してください。そうではなかった場合、SLICREAT を使用してジャーナルファイルをフォーマットしてください。

示されたジャーナルファイルが正しくフォーマットされている場合、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2318I

Volume VVVVVV is a VSM MVC cartridge; Cannot be entered into scratch list

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティーが、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVVV) をライブラリスクラッチプールに追加しようとしたますが、volser は VSM MVC カートリッジとして適格であり、スクラッチボリュームとして扱うことはできません。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRAtch Update ユーティリティーはキャンセルされませんが、示されたボリュームシリアル番号を調べて修正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2319I

Volume VVVVVV already defined in VSM as scratch

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティが、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を VSM スクラッチプールに追加しようとしたのですが、volser はすでにスクラッチとして定義されていました。

システムアクション: そのユーティリティの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRAtch Update ユーティリティはキャンセルされませんが、示されたボリュームシリアル番号を調べて修正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2320I**Volume VVVVVV not defined in VSM as scratch**

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティが、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を VSM スクラッチプールから削除しようとしたのですが、ボリュームはスクラッチボリュームとして定義されていませんでした。

システムアクション: そのユーティリティは機能し続けます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRAtch Update ユーティリティはキャンセルされませんが、示されたボリュームシリアル番号を調べて、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2321I**Volume VVVVVV successfully added to VSM as scratch**

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティは、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を VSM スクラッチプールに追加しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2322I**Volume VVVVVV successfully added from VSM scratch pool**

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティは、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVVV) を VSM スクラッチプールから削除しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2323I

Volume volser is not eligible to be scratched: reason

説明: SLUADMIN SCRATch Update ユーティリティーが、示されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をライブラリスクラッチプールに追加しようとしたますが、*volser* はスクラッチ対象として不適格と設定されていました。

要求は、次のいずれかの理由で拒否されました。

- *volser* は、以前に MVC として定義されていたため、「DO NOT SCRATCH」状態に設定されていました。
- *volser* は、POOLPARM ステートメントによって外部プール内にあるとして定義されており、OWNRPLEX 値が発行側の *tapeplex* と一致しませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRATch Update ユーティリティーはキャンセルされませんが、示されたボリュームシリアル番号 (VVVVV) を調べて修正し、SLUADMIN スクラッチ更新ジョブを再送信することもできます。

SLS2324I

Volume volser not scratched, DFSMSRMM API Error, FFFFFFFF, RC=xx, RS=yy

説明: SLUADMIN SCRATch Update ユーティリティーが、示されたボリュームシリアル番号 (*volser*) をスクラッチしようとしたますが、DFSMSrmm が 0 以外のリターンコードを返したためスクラッチできませんでした。FFFFFFFF は、失敗した RMM 関数です。この関数は LISTVOLUME または CHANGEVOLUME のいずれかです。リターンコード *xx* および理由コード *yy* の意味を確認するには、DFSMSRMM のドキュメントを参照してください。

システムアクション: そのユーティリティーは機能し続けます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRATch Update ユーティリティーはキャンセルされません。問題を修正して、この *volser* に対して SCRATch Update ユーティリティーを再実行してください。

SLS2325I

Volume volser not scratched because it is not a scratch in the DFSMSrmm database

説明: SLUADMIN SCRAtch Update ユーティリティが示されたボリュームシリアル番号 (volser) をスクラッチしようとしたが、ボリュームが DFSMSrmm 制御データセット内でスクラッチステータスではなかったため、スクラッチできませんでした。

システムアクション: そのユーティリティは機能し続けます。

ユーザーの対応: このエラーによって SCRAtch Update ユーティリティはキャンセルされません。ボリュームが DFSMSrmm 制御データセット内でスクラッチステータスになったら、この volser に対して SCRAtch Update ユーティリティを再実行してください。

SLS2326I

VTV VVVVVV not scratched because of status change

説明: VTV VVVVVV をスクラッチしようとしたときに、コマンドが最初に発行されてから VTV のステータスが変更されたことを VTCS が検出しました。

システムアクション: VTV はスクラッチされませんでした。

ユーザーの対応: なし。これは単なる警告です。要求が検証されてから、スクラッチコマンドが試行されるまでの間にかかなりの遅延が発生する可能性があるため、別の要求によって VTV レコードが更新されて、スクラッチ要求が無効になる可能性が高くなります。

次のことが検証の実行後およびスクラッチ要求の試行前に発生した場合、VTV ステータスが変更されることがあります。

- VTV がマウントされるが、マウント解除されない。
- VTV がアプリケーションプログラムによって読み取り/書き込みされる (そのため、マウントされてマウント解除される)。

SLS2327I

VOLSAFE VTV VVVVVV not scratched; {userid UUUUUUUU not authorized | no userid for scratch request}

説明: VTV VVVVVV をスクラッチしようとしたときに、VTV が VOLSAFE 保護されていることを VTCS が検出しました。ユーザー ID UUUUUUUU が VOLSAFE 保護さ

れた VTV メディアをスクラッチすることを承認されていないか、スクラッチ要求にユーザー ID が関連付けられていませんでした。

システムアクション: VTV はスクラッチされません。

ユーザーの対応: ユーザー ID がスクラッチ試行に関連付けられていること、および VOLSAFE 保護された VTV をスクラッチするために必要なレベルの承認を持っていることを確認してください。

VOLSAFE 保護された VTV をスクラッチするには、CLASS が TAPEVOL の RACF ALTER 権限と同等の権限が必要です。

次の RACF コマンドを使用して RACF 権限を設定できます。

```
RDEFINE TAPEVOL volser UACC(NONE)
```

```
PERMIT volser CLASS(TAPEVOL) ID(userid) ACCESS(ALTER)
```

SLS2401I

User SCRATCH subpool definition unsuccessful - CCCCCCCCCCCCCCCCCC2

説明: ユーザー SCRATCH のサブプール定義に失敗しました。理由は CCCCCCCCCCCCCCCCCC2 で示されており、次のいずれかになります。

- Bad number of subpools: *n*

ユーザーは、最大である 255 個より多くのサブプールまたは 0 個のサブプールを定義しようとしてしました。*n* は、指定したサブプールの数です。

- Subpool defined out of order: *n*

ユーザーは、正しくない順序でサブプールを定義しようとしてしました。HSC に表示されるサブプール番号は、1 で始まり順次である必要があります。*n* は、正しくない順序で定義された最初のサブプールの番号です。

- Bad number of subpool entries: 0

ユーザーは、0 のサブプール範囲を定義しようとしてしました。

- Bad volser range: vvvvv1-vvvvv2

ユーザーは、VOLSER の範囲が無効なサブプールを定義しようとしてしました。無効な範囲の先頭 volser および終了 volser は vvvvv1 および vvvvv2 で示されます。

- Bad label type: X"xx"

ユーザーは、ラベルタイプが無効なサブプールを定義しようとした。無効なラベルタイプは 16 進数で xx と示されます。

- Subpools already defined

ユーザーは、サブプールを 2 回定義しようとした。HSC では、1 回の実行中にサブプールを一度のみ定義できます。

- Expected entry number exceeded

ユーザーは、新しいスクラッチサブプールの volser の範囲を定義しようとしたが、指定された volser の範囲の数を超えました。

- Expected subpool number exceeded

ユーザーは、新しいスクラッチサブプールを定義しようとしたが、指定されたサブプールの数を超えました。

- Invalid host list definition: n

ユーザーは、VER1 SLSUX03P パラメータリストを使用してホストリストを定義しようとしたが、ホストリストの指定が正しくありませんでした。n は、正しくないホストリスト定義を使用して定義されたサブプールの番号です。

システムアクション: サブプールは定義されません。

ユーザーの対応: 無効なサブプール定義を修正して、HSC に定義を再送信してください。定義が VM テープ管理インターフェースを使用して送信されている場合を除き、これには HSC を停止して起動する必要があります。

SLS2402E

Scratch Pool Depletion Warning for ACS AA|LSM AA:LL {Subpool CCCCCC1} {Media CCCCCC2}, DDDDDDDDD Scratch Volumes remaining

説明: メディアタイプ CCCCCC2 のスクラッチ警告のしきい値または間隔に達しました。示された ACS (AA) または LSM (AA:LL) には、(DDDDDDDDDD) スクラッチボリュームが残っています。サブプールのしきい値が指定されていた場合、サブプールは CCCCCC1 でも示されます。

このメッセージは、スクラッチプールが初期のスクラッチ警告レベルに達したときにはじめて発行されます。このメッセージは、スクラッチプールが空になるたびにスクラッチ間隔ごとに繰り返されます。(スクラッチしきい値と警告の間隔の詳細は、Warn コマンドおよび OPTion Warnmsg コマンドを参照してください。)

システムアクション: ACS または LSM は、Warn コマンドを使用してユーザーによって指定されたとおりにスクラッチボリュームを実行していますが、そのスクラッチボリュームは不足しています。すべてのスクラッチボリュームが使用されると、HSC は、スクラッチマウント要求をライブラリ以外のトランスポートに割り当てようとしています。

ユーザーの対応: (SCRATCH Update ユーティリティ関数を実行することで) 正しいメディアタイプのスクラッチカートリッジをより多く ACS または LSM スクラッチプールに追加するか、スクラッチ警告のしきい値を低くしてください。

SLS2405E

Configuration manager (FIGMGR) Error: Program - CCCCCCCC1, Function - CCCCCC2, Level - CCC3, Type - CCCCC4, RC - XXXX

説明: HSC 構成マネージャーが、予期しないエラー状態を報告しました。

システムアクション: タスクは異常終了し、ダンプが生成されます。

ユーザーの対応: ダンプを保存します。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2412I

Previously unselected volume VVVVVV incurred an error while the record was being CCCCCCCCCCCCCCCCCC

説明: ボリューム VVVVVV に対して、CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC アクションの前のある時点で UNSELECT ユーティリティが実行されました。

ユーティリティがボリュームを選択解除したときに、エラーを検出したプロセスではボリュームが選択されていました。

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCC アクションは次のように定義されます。

- 選択解除されました
- エラードになりました
- アップデートされました
- スクラッチとして挿入されました
- 削除されました

システムアクション: アクションは完了しません。リターンコード 4004 「volume not selected」の U1096 異常終了もこのあとに続く場合があります。

ユーザーの対応: U1096 異常終了のリターンコード 4004 は、ユーザーアクションの影響であり、現在のボリュームの状況には当てはまりません。カートリッジの状況を判別する必要があり、修正アクションが必要になる可能性があります。システムログをスキャンして、このメッセージの前にボリュームに対して行われた最後のシステムアクションを判別してください。ボリュームを表示して、HSC で想定しているカートリッジの位置を判別します。この情報とともに **VlEW** コマンドを使用して、考えられるそれぞれのカートリッジの位置を確認してください。これがホームセル内がないことが **VlEW** で示され、ホームセル内にあるが選択解除されていることが **Display Volume** で示される場合は、主に 2 つの解決方法が存在します。

1 つ目は、システムログのメッセージまたは行われたアクションに基づいて、ライブラリ内のボリュームの物理的な場所が **VlEW** によって判明した場合です。ボリュームが **MVS** 内のトランスポート上にある場合、そのトランスポートに対して **Unload** コマンドを発行する必要があります。ボリュームがオンラインの場合、**Unload** コマンドは、デバイスが割り当てられなくなるまでそのデバイスのアンロードを遅延します。どのシステムに対してもオンラインではない場合、**volser** を指定せずに **HSC DISMount** コマンドを発行してください。VM では、デバイスがテープ管理仮想マシン (**VMTAPE** など) に接続されている場合、**volser** を指定せずに **HSC DISMount** を発行してください。デバイスがどの仮想マシンにも接続 (**ATTACH**) されていない場合は、デバイスをいずれかの仮想マシンに接続 (**ATTACH**) してから切断 (**DETACH**) することにより、テープをアンロードするようにしてください。トランスポートが別のシステムに割り当てられている場合、**ATTACH** は失敗します。ボリュームが **CAP** 内にある場合、**HSC ENter** コマンドを入力して **CAP** を割り当ててから、カートリッジを取り外してください。制御データセットからボリューム参照を論理的に削除するには、次の手順に従ってください。ハードウェア障害 (**PTP**、トランスポート、**CAP**、**LSM**) が原因でボリュームがアクセス不能な場所にある場合、**StorageTek** ハードウェアサポートに連絡してください。

2 つ目は、ボリュームが **CAP** の処理中または手動モード中に **LSM** から取り出され、ライブラリに対して外部にある場合です。これは通常、セルに対して **AUDIt** を実行することで修正できます。別の方法は、ボリュームに対して **HSC Eject** コマンドまたは **Mount** コマンドを実行して、「論理」ボリューム参照を制御データセットから取り出すか削除するように後続のメッセージに応答することです。

SLS2413I

```
SET VOLPARM utility execution completed; *DEF commands {ENABLED|  
DISABLED}
```

説明: SET VOLPARM ユーティリティーが正常に実行されました。このメッセージは SET VOLPARM ユーティリティーの実行時に発行されます。ユーティリティーの実行時にサブシステムが停止していた場合は、HSC の初期化時に表示されます。

システムアクション: メッセージに「DISABLED」と表示される場合は、次の VOLUME/POOL 定義が更新されます。

- VOLATTR
- MVC POOL
- SCRATCH POOL

*DEF コマンドは許可されていません。

メッセージに「ENABLED」と表示される場合は、*DEF コマンドが許可されていません。

ユーザーの対応: なし

SLS2414E

Error reading VOLPARM data

説明: VOLUME/POOL 定義のデータの読み取り中にエラーが発生しました。エラーのタイプについては、前のメッセージを参照してください。

システムアクション: エラー (古いスタイルの VOLDEF、MVCDEF、および SCRPFDEF、または前の VOLPARM ロード) の時点でボリューム定義が有効になっていた場合、これらの定義は有効なままになります。それ以外の場合、エラーが修正されるまで、HSC プロセスと VTCS プロセスに対して有効なボリューム定義は存在しません。

ユーザーの対応: I/O エラーの原因を調査して、修正してください。

SLS2415E

Error parsing VOLPARM data

説明: VOLUME/POOL 定義のデータの構文解析中にエラーが発生しました。構文解析エラーのタイプについては、前のメッセージを参照してください。

システムアクション: エラー (古いスタイルの VOLDEF、MVCDEF、および SCRPFDEF、または前の VOLPARM ロード) の時点でボリューム定義が有効になっていた場合、これらの定義は有効なままになります。それ以外の場合、エラーが修正

されるまで、HSC プロセスと VTCS プロセスに対して有効なボリューム定義は存在しません。

ユーザーの対応: 構文解析エラーの原因を調査して、SET VOLPARM ユーティリティ関数を再実行して修正してください。SET VOLPARM ユーティリティ関数の更新については、最新の保守を確認してください。

SLS2416I

VOLPARM VOLUME/POOL definitions are not active

説明: VOLPARM VOLUME/POOL 定義はアクティブではありません。次にに関する CDSDATA 情報は使用できません。

- CDSDATA TYPE=VOLPOOL
- CDSDATA TYPE=MVCPOOL
- CDSDATA TYPE=SCRPOOL

システムアクション: なし

ユーザーの対応: SET VOLPARM ユーティリティ関数を実行して、VOLUME/POOL 定義をアクティブにしてください。

SLS2450E

Error reading control database - RC = XXXX

説明: 構成制御機能がデータベースサーバーからエラーのリターンコードを受け取り、続行できませんでした。

システムアクション: 構成制御機能は中止されます。これが原因で、ほかの上位レベルの機能も異常終了する可能性があります。

ユーザーの対応: 制御データセットが格納されているデバイスを確認してください。デバイスが動作可能である場合、制御データセットの最新のバックアップを取得して、SLUADMIN RESTore ユーティリティ関数を実行してください。

SLS2459I

Panel Mismatch - LSM AA:LL

```

                                1111111111
Panel Number 01234567890123456789
LMU Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
CDS Status  CCCCCCCCCCCCCCCCCC
            XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

```

説明: 構成制御の検証機能が、LMU 内のパネルタイプ定義と、LSM AA:LL の制御データセットで見つかったパネルタイプ定義の間の不一致を検出しました。それぞれのステータス領域には、最初の行はパネルタイプの上位を表し、2 行目は下位を表す、2 行の文字が含まれています。それぞれの上位の「C」と下位の「X」は次の文字で置き換えられます。

- ブランク - パネルなし
- 空 - 大容量 LSM (4410、9310)
- 00 - PowderHorn ウィンドウパネル
- 01 - セルパネル
- 02 - ドアに隣接するセル (パネル 10)
- 03 - ドアパネル
- 04 - パススルー右パネル (WolfCreek のパネル 2 に接続されている場合を除き、マスター PTP パネル)
- 05 - パススルースレーブパネル
- 06 - 通常のドライブパネル
- 07 - ドアに隣接するドライブ (パネル 10)
- 08 - LCU パネル (パネル 0)
- 09 - クリップドアパネル (パネル 11)
- 10 - 内部セル (パネル 13 - 18)
- 11 - 内部セル (パネル 19)
- 12 - 内部ドア (パネル 12)
- 13 - ワイドドライブパネル (20 台のドライブ用の構成)
- 14 - ドア (パネル 10) に隣接するワイドドライブパネル (20 台のドライブ用の構成)
- 20 - パネル 0
- 21 - スレーブパススルー付きのパネル 2
- 22 - マスターパススルー付きのパネル 0
- 23 - ドライブなしのパネル 1
- 24 - ドライブ付きのパネル 1
- 25 - パネル 2
- 26 - マスターパススルー付きのパネル 2
- 27 - パネル 3
- 28 - ドライブ付きのパネル 3

- 29 - 1 台の CAP 付きのパネル 4
- 30 - 2 台の CAP 付きのパネル 4
- 31 - セルなしのパネル 3
- 32 - ドライブ付き、セルなしのパネル 3
- 33 - 表示ウィンドウ付きのパネル 3
- 34 - ドライブホール付き、ドライブなしのパネル 3
- 35 - 1 台の CAP、セルなしのパネル 4
- 36 - 2 台の CAP、セルなしのパネル 4
- 37 - CAP 付き、オプションのセルなしのパネル 4
- 40 - セルなしの 9740 パネル (ウィンドウ付きのドア)
- 41 - 4 列のセル付き、パススルーポートなしの 9740 パネル (パネル 0 またはセル付きのドア)
- 45 - 9740 CAP パネル
- 46 - 9740 ドライブパネル
- 47 - スレーブパススルーポート付きの 9740 パネル (パネル 0)
- 48 - マスターパススルーポート付きの 9740 パネル (パネル 2)
- 99 - LMU の不明なパネルタイプ

システムアクション: 構成制御検証機能は、すべての不一致を報告するために処理を続けます。HSC はアップ状態のままですが、ステーション (LMU) はオフラインのままです。

ユーザーの対応: 2 つのステータス領域の比較は、LSM パネル構成のどこに相違があるかを示しています。実際の物理構成に基づいて、(1) LMU 構成に対応するように LIBGEN パラメータを変更して、別の LIBGEN を使用して制御データセットを再生成するか、(2) StorageTek ソフトウェア CSE に、LIBGEN パラメータと一致するように LMU 構成を変更してもらうか、(3) Set SLIDRIVS ユーティリティを使用してドライブパネルタイプを変更してください。

SLS2460I

Select override occurred for a CCCC record at address HHHHHHHH

説明: 構成マネージャーが、CCCC レコードのためにロックを解放する待機中にタイムアウトになりました。更新は発生しなかったため、新しい要求がアドレス HHHHHHHH にあるレコードにアクセスできました。

システムアクション: 処理は続行され、何らかのオペレータ介入が必要になる可能性があります。

ユーザーの対応: HSC アドレス空間のダンプを取って、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2463I

Drive record for drive AA:LL:PP:NN not written; key CDS fields have changed

説明: HSC は、ドライブレコードを再書き込みしようとしたが、driveID、ユニットアドレス、または削除されたステータスのいずれかが Set SLIDRIVS コマンドによって変更されました。

システムアクション: ドライブレコードの再書き込みはバイパスされます。

ユーザーの対応: ホストをリサイクルして、HSC ドライブレコードをリフレッシュしてください。

SLS2501I

CCCCCCCC1 task was found to be active during HSC termination; waiting for completion

説明: HSC は、CCCCCCCC1 タスクがコンポーネントの終了中にアクティブになっており、終了を続行するにはその前に完了する必要があることを検出しました。次に、CCCCCCCC1 タスクのリストを示します。

- Attach Service
- CAP Auto Service
- Configuration Receiver
- Cross Memory Driver
- Data Base Manager
- Host to Host Service
- LMU Listener
- Performance Monitor
- Recovery Driver
- Station Monitor
- User Exit 6 Server
- VTCS Monitor

システムアクション: アクションが完了するかキャンセルされるまで、終了は待ち状態になります。

ユーザーの対応: Display Status コマンドを発行して、現在のアクティビティのリストを取得してください。未処理の HSC WTOR メッセージに応答します。現在のアクティビティを完了します。たとえば、挿入操作が待機中であれば、DRain コマンドを発行します。ユーティリティーがアクティブになっている場合は、ジョブの取り消しが必要になることもあります。

SLS2502I

HSC Initializing with a cold start because the release levels of the previous and current HSCs are different

説明: HSC の初期化で、以前にアクティブだった HSC サブシステムが現在の HSC とは別のリリースレベルだったことが検出されました。すべてのメモリー内データ構造などが、この HSC リリースとの互換性を持つように、内部コールドスタートが呼び出されます。

システムアクション: HSC の初期化が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2526I

Reconfiguration function did not run successfully -- Component=MMMMMMMM, RC=XXXXXXXX

説明: 再構成機能を実行しようとしたしましたが、エラーが発生し、再構成機能を正常に実行できませんでした。Component は、失敗した HSC コンポーネントの名前です。RC は、その操作からのリターンコードです。

システムアクション: 再構成機能は処理を終了します。

ユーザーの対応: 示されたコンポーネントに関連付けられたリターンコードを確認してください。正しい修正措置が不確かな場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2528I

Reconfiguration function has skipped the copy to the new secondary CDS.

説明: セカンダリ CDS が未定義だったため、新しいプライマリの新しいセカンダリへのコピーはスキップされました。

システムアクション: 再構成機能は処理を続行し、条件コード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: シャドウコピーを使用する場合、インストールでは IEBGENER などのユーティリティーを使用して、プライマリ制御データセットをセカンダリ制御データセットやスタンバイ制御データセットにコピーすることがあります。

SLS2550I

LLLLLLLL keyword value must be enclosed in double parentheses

説明: LLLLLLLL キーワードに指定する値は、必要に応じて二重括弧のセットで囲む必要があります。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは、条件コード 12 で終了します。

ユーザーの対応: 括弧を正しく組み合わせて必要な場所に挿入して、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS2557I

Door type of DDDD not valid on this LSM type

説明: SLILSM マクロで無効なドアが指定されました。SLILSM マクロによって定義された LSM タイプは DDDD ドアをサポートしていません。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを訂正して、LIBGEN アセンブリを再送信します。

SLS2559I

PASSTHRU parameter N of WolfCreek LSM LLLLLLLL1 must be "MASTER" for connection to adjacent MMMM LSM LLLLLLLL2

説明: ラベル LLLLLLLL1 にある WolfCreek LSM に指定された N 番目のパススルーパラメータが「スレーブ」として定義されており、隣接する LSM は、ラベル LLLLLLLL2 にある標準 (4410) LSM または Powderhorn (9310) LSM です。WolfCreek LSM は、PTP を介して標準 LSM または Powderhorn LSM に接続する場合は常に「マスター」である必要があります。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは、条件コード 12 で終了します。

ユーザーの対応: WolfCreek と標準/Powderhorn LSM との間のパススルー関係を再定義して、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS2580E

Insufficient space was allocated for the control data set; the number of blocks required is DDDDD

説明: データベースの作成中に、CDS データセットに割り当てられた領域が、使用される LIBGEN 定義に対して不十分であったことを SLICDATA が検出しました。

システムアクション: SLICREAT は終了します。

ユーザーの対応: 適切な容量の領域をデータセットに再割り当てしてください。

SLS2581A

No scratch volumes exist for device address DDDD recording technique RRRRRRRR; enter a scratch volser or I to Ignore

説明: SLIEXERS ユーティリティーの実行中に、示されたデバイス (DDDD) の記録技法 (RRRRRRRR) と一致するスクラッチテープが存在しないことを検出しました。

システムアクション: SLIEXERS はオペレータの応答を待機します。

ユーザーの対応: スクラッチテープとして使用できる 6 桁の volser で応答するか、I で応答して稼働中のデバイス DDDD を無視してください。

SLS2582I

The HSC is not at FULL service level

説明: 示されたユーティリティーを実行しようとしたましたが、HSC が正しいレベルではありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: HSC を FULL サービスレベルにして、ユーティリティーを再実行してください。

SLS2583I

Device address DDDD was Ignored|Verified|Not Available

説明: ユニット DDDD は、スクラッチテープが使用できなかったために無視されたか、SLIEXERS ユーティリティーによって検証されたか、SLIEXERS ユーティリティーで使用できませんでした。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS2584I

Error locating or attempting to use volser vvvvvv; Please enter another volser

説明: SLIEXERS ユーティリティーが、示された volser (vvvvv) を ACS で見つけられなかったか、ボリュームのメディアタイプがテープドライブに対して有効ではありませんでした。

システムアクション: メッセージ SLS2581A が表示されます。

ユーザーの対応: メッセージ SLS2581A で示されているとおりに応答してください。

SLS2585E

Module is not APF authorized

説明: SLIEXERS ユーティリティーは、APF 許可されたライブラリから実行する必要があります。

システムアクション: ユーティリティーは処理を停止します。

ユーザーの対応: APF 許可されたライブラリから SLIEXERS ユーティリティーを実行してください。

SLS2586E

HOSTid CCCCCCCC; Device number XXXX is a duplicate

説明: HOSTid (CCCCCCCC) に関連付けられたすべてのトランスポートの間で比較が行われました。デバイス番号 XXXX が、このホストで重複していることが検出されました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: LIBGEN で正しい XXXX デバイスを確認して、次のいずれかのアクションを実行してください。

- LIBGEN および SLICREAT を使用します。
 - 正しくない SLIDRIVS マクロの ADDRESS パラメータに関連付けられた重複するデバイス XXXX を LIBGEN で変更するか削除します。
 - 新しい LIBGEN をアSEMBルして、SLICREAT ユーティリティーを実行してデータベースを再作成します。

- Set SLIDRIVS ユーティリティを使用して、重複するデバイス XXXX を現在のデータベース内で変更するか削除します。

SLS2587E

Invalid mix of LSM types found in an ACS

説明: PTP を介して接続できない LSM が同じ ACS 内で見つかりました。

システムアクション: 処理は RC=58305830 で続行されます。

ユーザーの対応: LIBGEN を再処理して、無効な LMS タイプを別の ACS に分離してください。無効な LSM の混在の例は次のとおりです。

- SL3000 ライブラリは、1 つの ACS につき 1 つの LSM である必要があります。
- SL8500 は、ほかの SL8500 とともに、ACS 内でのみ存在できます。

SLS2610I

CCCCCCC command rejected; unable to activate CAPid AA:LL:CC; CAP {recovery|reserve} unsuccessful

説明: 特定の CAP に対して ENter コマンドまたは Eject コマンドを実行しようとしたが、CAP を要求された状態にできませんでした。

システムアクション: ENter または Eject コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを再入力してください。問題が続き、ソフトウェアが疑わしい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2615I

EJECT subtask failure XXXX; EJECT attempting to continue

説明: リターンコード XXXX で示された異常な状態が原因で、Eject コマンドに対する CAP タスクの 1 つが終了しました。

システムアクション: この EJECT に対してほかの CAP がまだアクティブな場合は、コマンドの処理が続行されます。このコマンドを続行できない場合、取り出されなかったカートリッジを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2616D

REPATH requested by EJECT for CAPid AA:LL:CC; Reply C to (C)ancel or R to (R)EPATH

説明: AA:LL:CC の CAP タスクが EJECT コマンド中に終了し、OPTion Repath が Reply に設定されました。

システムアクション: この EJECT に対してほかの CAP がまだアクティブな場合は、コマンドの処理が続行されます。このコマンドを続行できない場合、取り出されなかったカートリッジを示すメッセージが発行されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- Repath をキャンセルする場合は、C。取り出されないカートリッジに関するメッセージが発行されます。
- Repath を行う場合は、R。これによって、別の CAP が使用可能な場合、この CAP のカートリッジはその別の CAP に転送されます。ほかの CAP が使用可能ではない場合、取り出されないカートリッジに関するメッセージが発行されます。

SLS2617I

CAPid AA:LL:CC not REPATHed

説明: EJECT コマンド中に CAP タスクが終了し、Repath は行われませんでした。Repath が No に設定されたか、Repath に CAP を使用できなかったか、Repath オプションの応答メッセージに対してキャンセル (C) の応答が行われました。

システムアクション: 取り出されなかったカートリッジを示すメッセージが発行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS2618I

{ENTER|EJECT} cannot select CAPid AA:LL:CC; CCCCCCCCCC

説明: ENter コマンドまたは EJECT コマンドのいずれかで使用する CAP を選択できませんでした。CCCCCCCCCCCC は、CAP の状態、または CAPid がバイパスされたことを示す説明のいずれかです。

システムアクション: この EJECT に対してほかの CAP がまだアクティブな場合は、コマンドの処理が続行されます。それ以外の場合、コマンドは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS2619I

ENTER failed; no free cells in LSM LSMID

説明: ENTER コマンドが、空のセルを含まない LSM を要求しました。

システムアクション: ENTER コマンドは終了します。

ユーザーの対応: ボリュームを挿入する LSM でセルを解放して ENTER コマンドを再入力するか、空のセルがある別の LSM を選択してください。

SLS2620I

Unexpected return code XXXXXXXX processing {Volume|CAP} list; EJECT attempting to continue

説明: Eject コマンドの処理中に、ボリュームまたは CAP リストのいずれかを処理しているときに予期しないリターンコード XXXXXXXX が検出されました。

システムアクション: これ以上の CAP が存在しない場合を除き、Eject コマンドは続行しようとしています。

ユーザーの対応: なし

SLS2621I

EJECT rejected; Number of volumes specified (NNNN), exceeds EJLimit

説明: 指定されたカートリッジの数が OPTion EJLimit を超えています。

システムアクション: Eject コマンドは終了します。

ユーザーの対応: 指定したカートリッジの数を減らすか、OPTion EJLimit を大きくしてください。

SLS2622I

{CAPREF} error; {ACS IN PATH OFFLINE|LSM IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH OFFLINE|CAP IN PATH INVALID|CARTRIDGE MADE ERRANT|AEM PREF VALUE MUST BE 0 or 1}

説明: 次のいずれかの状態が原因で、CAPPref コマンドの実行中にエラーが発生しました。

- ACS IN PATH OFFLINE
- LSM IN PATH OFFLINE
- CAP IN PATH OFFLINE
- CAP IN PATH INVALID
- AEM PREF VALUE MUST BE 0 or 1

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: エラーの原因を修正して、CAPPref コマンドを再発行してください。

SLS2623I

{CAPPREF} rejected; AUTO CAP services are not available

説明: AUTO CAP 機能は、多くの場合以前の異常終了が原因で機能していません。CAP を AUTO モードにできません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: HSC は、AUTO CAP 機能なしで実行を続行できます。

AUTO CAP 機能を再起動するには、HSC を停止して再起動する必要があります。AUTO CAP 異常終了からのダンプがある場合、保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2624I

CAPPREF rejected; preference value not allowed for CAP AA:LL:CC

説明: コマンドは、設定に不適格な CAP (AA:LL:CC) (PCAP など) に CAP 設定値を指定しようとしてしました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 示された CAP が PCAP ではないことを確認して CAPPref コマンドを再発行してください。または、PCAP に対して CAPPref コマンドを発行して AUTO または MANual モードに変更する場合は、設定値に 0 が指定されていることを確認してください。

SLS2625I

CCCCCCC1 volser CCCCCC2 CCCCCC3

説明:

- *CCCCCCC1* は、「カートリッジ」または「サブプール」のいずれかを示します。
- *volser* はカートリッジの *volser*、用語「SCRTCH」、またはサブプール名です。
- *CCCCCCC2* は、*volser* が存在する場合は「not EJECTed」で、「SCRTCH」が存在する場合は「count depleted」です。

- CCCCCC3 は、MEDia キーワードが指定され、スクラッチが存在しない場合にのみ表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: JOBLOG または SYSLOG を使用して次に取り出すカートリッジを再取得できるように、このメッセージは監査証跡を提供します。

SLS2627I

{ENTER|DRAIN} command rejected; CAP AA:LL:CC is in AUTO mode

説明: AUTO モードになっている CAP に対して ENter コマンドは発行できません。AUTO CAP が取り出し中の場合を除き、DRAin コマンドも許可されません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: AUTO モードになっている CAP に対して ENter コマンドは発行できません。AUTO CAP が取り出し中の場合を除き、DRAin コマンドも許可されません。

AUTO CAP は、カートリッジを取り出しているときにのみ排出できます。取り出し中の CAP を排出するには、CAPid のあとに Eject キーワードを指定する必要があります。CAPPref コマンドを使用して、CAP モードを AUTO から MANual に変更してください。

SLS2628E

CAP AA:LL:CC task found active for the CCCCCC command; awaiting completion of the task

説明: CCCCCC コマンドの CAP AA:LL:CC タスクが、コマンドの終了中にアクティブであることが検出されました。

システムアクション: タスクが終了するまでコマンドは完了しません。タスクが終了するまで、このメッセージは3分ごとに再表示されます。このメッセージのあとには、タスクを排出するか、タスクが完了するまで待機するかを尋ねるメッセージ SLS0031D が続くことがあります。DRAIN と応答すると、HSC は、進行中のタスクを通知する追加の SLS2628E メッセージを3分ごとに発行します。

ユーザーの対応: 進行中のコマンドが完了できるようにするために必要なすべてのアクションを行なってください。これには、示された CAP を開く、空にする、閉じる作業が含まれることがあります。

SLS2629I

CAPid AA:LL:CC REPATHed

説明: Eject コマンドのいずれかの CAP タスクが終了し、Repath が ON または Reply に設定され、ユーザーが Repath に対して R と応答しました。

システムアクション: この CAP に関連付けられたすべてのボリュームが別の CAP または CAP に割り当てられています。処理は続行されますが、この期間中に通常より多くのパススルーが発生する可能性があります。

ユーザーの対応: なし

SLS2630I

CAPPREF command rejected; CAPid AA:LL:CC is already in {AUTO|MANUAL} mode

説明: CAP がすでに要求されたモードになっていたときに、これを AUTO または MANual モードに変更しようとしてしました。

システムアクション: CAPPref コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2631I

{CAPPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} rejected; XXX is not a unique CAPid

説明: コマンドには一意の CAPid が必要であり、XXX は CAP を一意に示していません。LSM アクセスドアに拡張 CAP 機能が含まれているか、LSM が WolfCreek の場合、CAPid を AA:LL:CC として指定する必要があります。LSM アクセスドアに CAP が 1 つのみ含まれている場合、AA:LL:CC または単に AA:LL と指定できます。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 上述されているとおりに CAPid を指定して、コマンドを再発行してください。

SLS2632I

CAPPREF for AA:LL:CC rejected; cannot specify AUTO/MANUAL when CAP is busy

説明: CAPPref コマンドで AUTO または MANual を指定するには、その前にすべてのシステムで CAP を排出する必要があります。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: CAP がすべてのシステムで排出されるまで待機してから、コマンドを再発行してください。AUTO または MANual を指定する必要がない場合、CAP の排出前にコマンドを再発行できます。

CAP がアクティブではなく、CAP はアイドルでも回復のためにスケジュールされていることが Display Cap コマンドで示される場合、CAPPref コマンドを再発行する前に、その CAP に対して RELease CAP コマンドを発行してください。

SLS2633E

*UENT Control Block has no paired SRIB Control Block
(uuuuuuuu;tttttttt;rrrrrrrr)*

説明: ペアになった SRIB 制御ブロックを持たない UENT (ユーティリティー入力) 制御ブロックが見つかりました。SRIB は、実行されたユーティリティーの詳細 (ジョブ名など) を保持します。

- *uuuuuuuu* は、UENT 制御ブロックのアドレスです。
- *tttttttt* は、ペアになった SRIB 制御ブロックを見つけるために使用される UENT トークンです。
- *rrrrrrrr* は、SRIB 検索ルーチンからのリターンコードです。

システムアクション: 「Display Status」 コマンドは終了します。

ユーザーの対応: 都合のよい時点で、HSC を停止して再起動してください。あとで診断するために、最初にアドレス空間のダンプを取ると役に立つことがあります。

SLS2634I

(...error text...)

説明: 通常、指定された値が無効か、要求でのボリューム、ユニット、メディア、記録技法情報の間に互換性がありません。有効なエラーテキストメッセージには、SLS1973I に表示されているメッセージの説明と次の説明が含まれています。

- Scratch mount invalid for cleaning cart

クリーニングカートリッジはスクラッチボリュームとしてマウントできません。

- VOLATTR is incompatible with UNIT and/or MEDIA

要求での VOLATTR、ユニット、メディア情報の間に互換性がありません。

- VAR is incompatible with UNIT and/or MEDIA

要求での VAR、ユニット、メディア情報の間に互換性がありません。

- MEDIA is invalid.

無効なメディアタイプが検出されました。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: パラメータ値を修正して、再試行してください。

SLS2635I

CCCCCCCC command rejected for DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

説明: ユーザー出口 15 は、コマンド CCCCCCCC について拒否された承認を返しました。DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD は、この要求がコンソール、ユーザー ID、オペレータのいずれに対するものだったかを示しているか、ユーザー出口がサイト固有の情報を示していることがあります。

システムアクション: コマンドの実行は終了します。

ユーザーの対応: 正しい出口をロードしたことを確認した場合、セキュリティー管理者か、HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラミングスタッフに連絡して支援を求めてください。サイトの手順でサイト固有の情報を詳細に記述してください。セキュリティー対策の修正後に、要求を再発行してください。

SLS2636A

*Please enter the CCCCCCCC command password for
DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD*

説明: ユーザー出口 15 が、コマンド CCCCCCCC のパスワードチェックを要求しました。DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD は、この要求がコンソール、ユーザー ID、オペレータのいずれに対するものだったかを示しているか、ユーザー出口がサイト固有の情報を示していることがあります。

システムアクション: システムは応答を待機します。正しくないパスワードを入力した場合、コマンドは拒否されます。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: 正しいパスワードを使用して応答してください。パスワードが不明な場合、セキュリティー管理者か、HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラ

ミングスタッフに連絡してください。セキュリティー対策の修正後に、要求を再発行してください。

SLS2637I

User Exit SLSUX15 is inoperative; RC=XX

説明: ユーザー出口 15 は、無効なりターンコード XX を返したため動作していません。

システムアクション: ユーザー出口が動作していない間は、オペレータコマンドは処理のためにユーザー出口に送信されません。

ユーザーの対応: HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラミングスタッフに連絡して、有効なりターンコードを返すようにユーザー出口 15 を変更してもらってください。

SLS2638I

Scratch Summary

```
ACS/LSM SUBPOOL NAME LABEL MEDIA RECTECH COUNT  
AA:LL SSSSS XXX MMMM RRRRR DDDDD
```

説明: これは、Display SCRatch コマンドからの出力です。生成される出力は、指定したパラメータによって異なります。サマリー情報には次が含まれていることがあります。

- AA:LL は ACSid:LSMid です。
- SSSSS はサブプール名です。
- XXX はラベルタイプです。
- MMMMM はメディアタイプです。
- RRRRR はメディアの記録技法です。
- DDDDD はスクラッチテープの数です。

さらに、ACS、LSM、およびサブプールレベルでの合計行、およびテキスト「Nothing to Display」が表示されることがあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS2639I

{Display THReshld|Display SCRatch|Warn} command failed; Media type CCCCC is used for cleaning cartridges

説明: クリーナカートリッジにのみ使用できるメディアタイプ CCCCC を使用して、スクラッチボリュームに対してコマンドを発行しようとした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 別のメディアタイプを使用してコマンドを再入力してください。

SLS2640I

Display Status command

```

REQUESTOR      ACTION      ELEMENT      VOLSER      ASSOCIATED-ELEMENT
CCCCCCC1      CCCCCC2    XXXXXXX1    volser      XXXXXXX2

CAP           QUEUE IS CCCCCC3
LMU           QUEUE IS CCCCCC3
UTILITY      QUEUE IS CCCCCC3
MOUNT        QUEUE IS CCCCCC3

TOTAL PENDING MOUNTS:          DDD1
TOTAL PENDING DISMOUNTS:      DDD1
TOTAL PENDING LMU REQUESTS:    DDD1
TOTAL ACTIVE NON_UUI UTILITIES: DDD1
TOTAL ACTIVE UUI REQUESTS:    DDD1
TOTAL ACTIVE CAPS:            DDD1
NCO CONFLICT COUNT = DDD2
CCCCCCC4 NCO CONFLICT COUNT = DDD3
Switch in progress for ACS AA

END OF STATUS DISPLAY

```

説明: このメッセージでは、HSC での保留中の要求のステータスが表示されます。

- CCCCCC1 は要求者です。これは内部のソースまたは外部ソースの場合があります。内部の場合、*Operator* はオペレータコマンドで、*Clean* はマウントプロセスやマウント解除プロセスによるアクションを示しています。外部の場合、ユーティリティと通常のマウントやマウント解除にはシステムジョブ名が使用され、別の HSC ホストからのブロードキャストによって開始されたプロセスには *External* が使用されます。外部のプログラムインタフェース要求には *PGMI* が使用されます。*UIREQ* は UUI 要求に使用されます。
- CCCCCC2 は、実行されているアクションです。アクションには、Dismount、Enter、Eject、Modify、Mount、Move、Vary、および View が含まれます。
- XXXXXXX1 は物理要素 (CAPid、LSMid、ACSid、Station、DRIVEid、または Library) です。

- *volser* はボリュームシリアル番号です。
- *XXXXXXXX2* は、物理要素 *XXXXXXXX1* またはアクション *CCCCCCC2* に関連付けられた識別済みの ACS オブジェクトまたは外部ホストです。
- *CCCCCCC3* は、プロセスのステータス (READY|NOT READY|PURGING|RECOVERING) です
- *DDD1* は、保留中の要求の合計です。保留中の要求またはアクティブな要求が見つからない場合、このセクションは表示されません。
- *DDD2* は、コンプレックスで実行されている HSC 機能やユーティリティーの数です。この行は、*DDD2* が 0 より大きい場合にのみ表示されます。
- *DDD3* は、ホスト *CCCCCCC4* に対して実行されている HSC 機能やユーティリティーの数です。この行は、*DDD2* が 0 より大きい場合にのみ表示されます。
- *CCCCCCC4* はホスト名です。
- *AA* は、切り替えが進行中の ACS の *acs-id* です。
- *CCCCCCC5* は、切り替えコマンドを開始したホスト ID です。LIBRARY のホスト ID は、バックエンド切り替え (SLC またはライブラリコントローラによって起動された切り替え) を意味します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: コンプレックス内でどの HSC 関数やユーティリティーもアクティブではないときに「NCO conflict count = *DDD2*」メッセージ行が表示される場合、SLS4424E ユーザー応答セクションでカウンタのリセット手順を参照してください。切り替えが完了し、進行中であることが示される場合、SWitch ACS *acs-id* RESET コマンドを発行してください。

SLS2641I

{ENTER|EJECT} ended; No CAPs were selected

説明: ENter コマンドまたは EJect コマンドでは、少なくとも 1 つの CAP を処理に使用できる必要があります。

システムアクション: ENter または EJect コマンドの処理は終了します。

ユーザーの対応: 少なくとも 1 つの CAPid を指定できるようにして、コマンドを再発行してください。

SLS2642I

MODIFY command pending; CAPid AA:LL:CC reserved to CCCCCCCC

説明: LSM で CAP がまだアクティブだったときに、LSM をオフラインに変更しようとした。

システムアクション: すべての CAP が非アクティブにされるまで、MODify lsm OFFline コマンドは保留されます。

ユーザーの対応: LSM のすべての CAP が非アクティブであることを確認してください。ハードウェアエラーが原因でこれ以上の CAP の処理を行うことができない場合、FORCE キーワードを指定して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

SLS2643I

MODIFY OFFLINE FORCE for LSM AA:LL rejected; MODIFY OFFLINE must be tried first

説明: FORCE オプションを使用して LSM をオフラインに変更しようとした。ただし、最初には FORCE オプションを指定せずに LSM をオフラインに変更しようとした。

システムアクション: MODify lsm OFFline FORCE コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: まず LSM に対して MODify OFFline コマンドを発行してください。次のいずれかのメッセージが表示されるまで、FORCE オプションを使用して MODify lsm OFFline コマンドを試行しないでください。- 1) SLS2644I。HSC が LMU と通信できないことを示しています。または、2) SLS0017I。LSM ロックを使用できないことを示しています。LSM がすでにオフラインの場合、MODify lsm OFFline FORCE コマンドは拒否されません。

SLS2644I

MODIFY command for LSM AA:LL failed; cannot communicate with LMU

説明: LSM をオフラインに変更しようとしたが、HSC は LMU と通信できません。

システムアクション: MODify lsm OFFline コマンドは失敗し、LSM の状態は変更されません。

ユーザーの対応: LSM を手動モードにする必要がある場合、FORCE オプションを使用して MODify lsm OFFline コマンドを発行してください。

SLS2645I

Unable to {DRAIN} {CAP} {AA:LL:CC}; {CAP} is in RECOVER processing

説明: 現在回復処理中の CAP を排出しようとした。回復処理が完了するまで、CAP を排出できません。

システムアクション: DRAin は拒否されます。

ユーザーの対応: 回復処理 (CAP を開く、空にする、閉じる) を完了してから、DRAin コマンドを再発行してください。

SLS2646I

Communications lost with LMU station XXXX

説明: Vary station コマンドからの LMU リターンコードは、LMU ステーションとの通信が失われることを示しています。

システムアクション: Vary station コマンドは失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、ハードウェアエラーです。StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。FORCE オプションを使用して LMU ステーションがオフラインに変更された場合、このメッセージは正常な可能性があります。

SLS2647I

{ENTER|EJECT|CAPREF|RELEASE|MODIFY|DRAIN} command failed; LSM AA:LL is not available

説明: CAP 関連コマンドを LSM AA:LL に対して実行していますが、これはオンラインではありませんでした。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: コンソールログで、LMU エラーまたはハードウェアエラーを示すほかの HSC メッセージを調べてください。おそらく、LSM が非アクティブであるか、作動できないステータスになっています。コマンドの再発行を試行する前に、見つかったハードウェアエラーをすべて修正してください。

SLS2649I

Threshold Value Summary:

ACS/LSM	SUBPOOL	NAME	LABEL	MEDIA	RECTECH	COUNT	THRESH
AA:LL	SSSSS		XXX	MMMM	RRRRR	DDDD1	DDDD2

説明: これは、Display THReshold コマンドからの出力です。生成される出力は、指定したパラメータによって異なります。サマリー情報には次が含まれていることがあります。

- AA:LL は ACSid/LSMid です。
- SSSSS はサブプール名です。
- XXX はラベルタイプです。
- MMMMM はメディアタイプです。
- RRRRR はメディアの記録技法です。
- DDDD1 はスクラッチテープの数です。
- DDDD2 はスクラッチテープのしきい値数です。

さらに、ACS、LSM、およびサブプールレベルでの合計行、およびテキスト「Nothing to Display」が表示されることがあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS2651I

ACS AA: Switch aborted, CCC query error for ID III, return code XXXX

説明: ID III の ACS または LSM (CCC) レコードの照会で、0 以外の構成リターンコード XXXX が返されました。次に、考えられる構成リターンコードのリストを示します。

- 4502 - 無効な Plist
- 4504 - データベースの読み取り/書き込みエラー
- 4512 - サブシステムが非アクティブです
- 4522 - ACS 識別子が無効です
- 4524 - LSM 識別子が無効です
- 453C - データが無効でした
- 453E - データ型が見つかりません
- 4556 - 要求された FIGMGR 移動ではありません
- 4568 - データベースの解放に失敗しました
- 456B - CDS で予約されていません
- 456C - レコードが見つかりません
- 456D - レコードはすでに選択されています
- 456E - 出力の領域が不十分です
- 構成マネージャーのエラー

システムアクション: SWitch 関数は異常終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2654I

ACS AA has no requests queued

説明: Display Requests コマンドを使用して ACS のキューに入れられた要求の表示要求が行われました。ACS AA のキューに入れられたものはありませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2656I

ACS AA: CCCCCCCC1 CCC CCCCCCCC2 XX1 XX2 XX3

説明: Display Requests コマンドを使用して ACS のキューに入れられた要求の表示要求が行われました。このメッセージは、単一の要求を説明しています。

- AA は ACSid です。
- CCCCCCCC1 は要求タイプです。要求は、ステータスの変更、ステータスの照会、およびある場所から別の場所への移動によって異なります。グローバルに認識する必要があるメッセージでは、ホスト間の通信に LMU も使用されます。要求タイプには次のものがあります。
 - LSM の変更 - マウント
 - マウント解除 - 表示
 - スワップ - 移動
 - CAP の予約 - CAP の解放
 - 挿入 - 取り出し
 - カタログ - 構成の読み取り
 - Volser ステータスの読み取り - LMU ステータスの読み取り
 - 対象のメッセージルート - ホスト間ブロードキャスト
 - ホストの休止 - 遷移の読み取りカート
 - LSM ステータスの読み取り - LMU ステータスの読み取り
 - 要求ステータスの照会 - 取り消し
 - カタログ - CAP ロック解除

- CAP ステータス
- CCC は要求のシーケンス番号です。
- CCCCCCCC2 は、要求のステータスを説明します。ACTIVE (LMU に送信済み)、WAITING (LMU に送信するために待機中)、または TEMP OUT (準備ができていない LSM に対する要求) です。
- XX1 はソース LSM です。
- XX2 は宛先 LSM です。これは、一部の要求では存在しないことがあります。
- XX3 は、要求が待ち状態になっている、準備ができていない LSM です。これが 10 の場合、フィールドに意味はありません。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS2701E

Invalid journal format

説明: ユーザーエラー。HSC 2.0.0 では、HSC 2.0.0 以降のバージョンの SLICREAT によってフォーマットされたジャーナルが必要です。HSC のこの呼び出しで指定されたジャーナルは、以前のバージョンでフォーマットされました。

システムアクション: HSC の初期化は終了します。

ユーザーの対応: HSC 2.0.0 ジャーナルデータセットを使用するように起動 JCL を変更するか、SLICREAT ユーティリティを使用してジャーナルデータセットを再フォーマットしてください。

SLS2702E

Unable to obtain CDS block; no FREE space remaining

説明: ユーザーエラー。HSC データベースサービスが、CDS から空きブロックを取得しようとしていました。使用可能な空きブロックはありません。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: SLICREAT ユーティリティを使用してより大きい CDS を作成してください。

SLS2703E

Journal corruption detected; journaling terminated

説明: HSC は、現在のジャーナルに更新を書き込もうとしたときに、無効なジャーナルブロックを検出しました。ジャーナルは無効ではなくなりました。

システムアクション: HSC はジャーナリングを終了します。「FULL=Abend」が有効な場合、HSC は終了します。

ユーザーの対応: CDS をバックアップしてジャーナルをリセットして、ジャーナリングを再度有効にしてください。関連するダンプを分析のために StorageTek ソフトウェアサポートに送信してください。

SLS2716I

Database Information

説明: このメッセージは、特定のデータベース情報を示す複数行の WTO を発行します。次にメッセージの例を示します。

```
-SLS2716I Database Information
PRIMARY   = dsname
VOLSER    = volser CDS_status
[ SECONDARY = dsname
VOLSER    = volser CDS_status
STANDBY   = dsname
VOLSER    = volser CDS_status ]
CDS LEVEL = 0n0n0n          VER = version
[ VSM LEVEL = level ]
CDS CREATE      = create_d create_t
LAST CDS BACKUP = backup_d backup_t
LAST CDS RESTORE = restore_d restore_t
CDS BLOCK COUNT = blk_count
CDS FREE BLOCKS = blk_count
[ TAPEPLEX NAME = tplx_name ]
ENQNAME        = qname SMFTYPE = DDD
CLEAN PREFIX   = cIn LABTYPE = (XX) label
[ JOURNAL1     = dsname
VOLSER        = volser - jrn1_stat NNN% FULL
JOURNAL2      = dsname
VOLSER        = volser
JOURNAL RECOVERY = jrn1_rcvy ]
{ LOGFILE1 = dsname
log__stat     log_util
LOGFILE2 = dsname
log__stat     log_util
[ NEW LOG DSN(S) QUEUED ]
[ LOG DSN(S) QUEUED FOR RE-ENABLE ]
-or-
NO LOG FILE DSN(S) DEFINED }
{ VAULT VOLUMES: DEFINED = vlt_count
ALLOCATED = vlt_count
-or-
VAULT RECORDS NOT FOUND IN THIS CDS }
{ CDKLOCK cdk_stat TOTBLKS = cdk_count INUSE = cdk_count
{ LOCK EXPIRATION IS exp_hours HOURS
-or-
LOCK EXPIRATION IS DISABLED }
-or-
```

```

CDKLOCK RECORDS NOT FOUND IN THIS CDS }
[ RECONFIGURATION IN PROCESS FOR HOST(S)
hostid1 ... hostidn      ]
LAST NCO ON hostidx
START = nco_strt_d nco_strt_t
END = nco_end_d nco_end_t
[ A DISASTER/RECOVERY TEST IS ACTIVE ]
[ THIS IS A DISASTER/RECOVERY CDS ]
[ LAST VOLPARM APPLY = volp_app_d volp_app_t [volp_status]
BY volp_app_user(volp_app_host)]
HOSTID---LEVEL---DESCRIPTION
hostid1 n.n.n      host_stat [ CDSactive ]
[ ***** WARNING ***** HOST IS PRIMED FOR RECOVERY ]
[ ***** WARNING ***** HOST HAS BEEN RECOVERED ]
[ ***** WARNING ***** HOST IS ASSUMED DEAD ]
[ ***** WARNING ***** SET HSCLEVEL ON ACTIVE HOST ]
. . .
hostidn n.n.n host_stat [ CDSactive ]
Database Information End

```

ここでは:

- dsname (44) - データセット名 volser (6) - ボリュームシリアル番号
- CDS_status (25) - {ACTIVE|INACTIVE|RESERVED|**ERROR**}
- 0n0n0n (6) - CDS での HSC レベル (たとえば、060100)
- version (8) - CDS の作成時の SLICREAT バージョン
- level (1) - VSM CDS レベル (A、B、C、D、E、または F)
- create_d (8) - CDS が作成された日付 (yyyymmdd)
- create_t (8) - CDS が作成された時間 (hh:mm:ss)
- backup_d (8) - CDS の復元時に使用されたバックアップの作成日 (yyyymmdd)
- backup_t (8) - CDS の復元時に使用されたバックアップの作成時間 (hh:mm:ss)
- restore_d (8) - CDS が復元された日付 (yyyymmdd)
- restore_t (8) - CDS が復元された時間 (hh:mm:ss)
- blk_count (8) - ブロックの数 (10 進数)
- tplx_name (8) - TAPEPLEX に割り当てられた名前
- qname (8) - このデータベースの予約時に使用された ENQ 名
- DDD (3) - SMFTYPE
- cln (3) - カートリッジをクリーニングするための Volser の接頭辞
- XX (2) ラベルタイプ (16 進数)
- label (3) - ラベルタイプ {SL|AL|NL|NSL}
- jrn1_stat (8) - ジャーナルのステータス [CURRENT|SWITCHED]

- jml_rcvy (8) - {ABEND|CONTINUE|DISABLED}
- NNN (3) - ジャーナルデータセットの使用率
- log_stat (13) - {ACTIVE|DISABLED|NOT ALLOCATED}
- log_util (3) - ログデータセットの使用率
- vlt_count (8) - ボールトボリュームの数
- cdk_stat (8) - {ACTIVE|INACTIVE}
- cdk_count (3) - CDKLOCK ブロックの数
- exp_hours (2) - CDKLOCK の有効期間 (時間単位)
- hostid (8) - ホスト名
- nco_strt_d (8) - 最後の構成変更が開始された日付 (yyyymmdd)
- nco_strt_t (8) - 最後の構成変更が開始された時間 (hh:mm:ss)
- nco_end_d (8) - 最後の構成変更が終了した日付 (yyyymmdd)
- nco_end_t (8) - 最後の構成変更が終了した時間 (hh:mm:ss)
- volp_app_d (8) - 最後の VOLPARM APPLY の日付 (mm/dd/yy)
- volp_app_t (8) - 最後の VOLPARM APPLY の時間 (hh:mm:ss)
- volp_status (8) - ****INACTIVE**** VOLPARM が無効の場合
- volp_app_user (8) - VOLPARM APPLY ジョブのユーザー ID
- volp_app_host (8) - VOLPARM APPLY ジョブが実行されたホストの名前
- volp_st (8) - ****INACTIVE**** VOLPARM が無効な場合
- n.n.n (5) - HSC レベル (たとえば、6.1.0)
- host_stat (10) - {ACTIVE|INACTIVE-}
- CDSactive (25) - [PRIMARY [SECONDARY] [STANDBY]]

システムアクション: なし。これは単なる情報メッセージです。

ユーザーの対応: なし

SLS2717E

CDS level V1.R1.M1 bb not supported by this HSC maintenance level

説明: このレベルの制御データセットは、この保守またはリリースレベルの HSC ではサポートされません。

V1.R1.M1 bb = 制御データセットで検出されたバージョン、リリース、および変更レベル

システムアクション: サブシステムは、リターンコード 7004 で終了します。

ユーザーの対応: HSC は、CDS レベルと互換性のある保守レベルでロードライブラリから起動する必要があります。必要に応じて、HSC ユーティリティーは CDS をあとの CDS レベルに変換できます。

SLS2740I

CDS Directory recovery operation successful

説明: データベースディレクトリは正常に再構築されました。

システムアクション: なし。これは単なる情報メッセージです。

ユーザーの対応: なし。これは単なる情報メッセージです。

SLS2741E

Journals specified but not allocated; RC=XXXXXXXX

説明: このメッセージは通常、ジャーナリングが LIBGEN で指定されていても、JRNDEF ステートメントが起動 PARMLIB で指定されていない場合に表示されます。

これは、割り当てエラーのために発生する可能性もあり、この場合は前のコンソールメッセージでエラーが説明されています。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: JRNDEF が欠落しているためにエラーが発生した場合、必要なステートメントを PARMLIB に追加してください。これが割り当て失敗の結果発生した場合、割り当ての失敗の原因となった問題を修正してください。

SLS2742E

Unexpected return code NNNN on DB access request in module; resulting action

説明: 示されているモジュールで指定されたデータベースアクセス要求から予期しないリターンコードを受け取りました。データベースアクセス要求には次のものが含まれています。

- DBOPEN

データベーススレッドを開きます。

- DBCLOSE

データベーススレッドを閉じます。

- DBREAD for subfile *subfile-id*

指定されたサブファイル内のデータベースレコードを読み取ります。

- DBWRITE for subfile *subfile-id*

指定されたサブファイル内にデータベースレコードを書き込みます。

- DBQSF for subfile *subfile-id*

指定されたサブファイルの属性を照会します。

結果として発生するアクションが、処理の続行方法を示しています。

システムアクション: HSC の処理は、結果として発生するアクションで説明されているとおりに続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS2850I

Errant recovery of volser - Volume may be within LSM AA:LL

説明: エラント回復でエラントボリュームを見つけることができませんでした。このボリュームは、自動化された操作を実行していない LSM 内に存在する可能性があることを示しています。

システムアクション: エラント回復処理が続行されます。

ユーザーの対応: LSM がすぐに自動化された状態に戻る場合、ユーザーは、このボリュームに関するエラント回復の後続のユーザープロンプトに対して「Ignore」と応答することもできます。自動操作が復元されて、この LSM のエラント回復が起動されたら、ボリュームを回復してください。そうしないと、このボリュームに関する別のプロンプトが表示されます。LSM を長期間無効にする場合、ユーザーは、ボリュームを制御データセットから論理的に取り出す前にボリュームの位置を特定するために、該当の LSM 内のプレイグラウンド、パススルーポート、およびハンドを調べることもできます。

SLS2901D

Mount of volser1 on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volser different (volser2); reply Retry, Bypass, Eject, or Ignore (R,B,E,I)

説明: トランスポート `XXXX|AA:LL:PP:NN` でボリューム `volser1` をマウントしようとしたが、LMU は、別の外部ラベル `volser2` が付いたボリュームを検出しました。

システムアクション: Retry、Bypass、Eject、または Ignore のいずれかで応答するまで、マウントは待ち状態になります。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- R。マウントを再試行する場合は、R と応答してください。
- B。マウントを再試行して、ボリュームを読み取り不能の外部ラベルが付いているとしてマークする場合は、B と応答してください。
- E。ボリュームを取り出す場合は、E と応答してください。ボリューム `volser` は、制御データセットから削除されます。
- I。マウントを無視する場合は、I と応答してください。

SLS2905D

```
All cleaners {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} ACS AA over-use; reply
"I"gnore, "T,cap,volser"=Temp enter, "R"etry, "U"se over-limit
```

説明: ACS AA 内のドライブとの互換性のあるすべてのクリーニングカートリッジが使用超過です (制限超過または制限超過で使用済み)。

制限超過のクリーニングカートリッジの選択回数が MAXclean を超えています。使用済みのクリーニングカートリッジではクリーニング材料が使い果たされました。

注記:

トランスポートのタイプごとに、異なるメディアタイプのクリーニングカートリッジが必要になります。

システムアクション: マウントが応答を待ちます。5分以内に応答を受信しない場合、デフォルトのアクションである「制限超過のクリーニングカートリッジを使用します」が選択されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- I- マウント要求を無視します。このトランスポートに対してはクリーニングはスケジュールされません。
- T,capid,volser - ドライブをクリーニングするために、指定されたクリーニングカートリッジを指定された CAP から一時的に挿入します。(注: 一時的に挿入するク

リーニングカートリッジの volser は、クリーニング接頭辞から入力する必要はありません。)

- R - クリーナの検索を再試行します (多くの場合、いくつかのクリーニングカートリッジの挿入後)。
- U - 制限超過のクリーニングカートリッジを使用します。

警告:

制限超過のクリーニングカートリッジは、ACS から取り出して、トランスポートとの互換性がある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2911D

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - manual volume at AA:LL:PP:RR:CC; reply Mount or Ignore (M/I)

説明: 手動 LSM からのボリュームのマウントが要求されました。

システムアクション: M または I と応答するか、LSM をオンラインに変更するまで、マウント処理は待ち状態になります。

ユーザーの対応: 何も応答せずに LSM をオンラインに変更すると、マウントは正常に続行されます。

- ボリュームを手動でマウントする場合、M と応答すると、メッセージの DOM が行われます。トランスポートで表示されているように場所 AA:LL:PP:RR:CC からカートリッジを取り出して、マウントしてください。
- 要求を無視する場合は、I と応答してください。

SLS2912I

Dismount of fixed volume volser; volume displaced from manual LSM cell AA:LL:PP:RR:CC to cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: MNTD Float がオフに設定されたため、ボリューム volser は固定されたセル内にありました。マウントされてからその後にマウント解除されるまでの間に、ボリュームの割り当て先の LSM はオフラインになりました。

システムアクション: ボリューム volser は、オンラインの自動 LSM 内に保持されま

ユーザーの対応: なし

SLS2914I

Display of drives complete

説明: Display DRives コマンドによって要求された、HSC で制御されるドライブの表示が終了しました。

システムアクション: Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS2915I

Nothing to display

説明: Display DRives コマンドによって要求された、HSC で制御されるドライブの表示が終了しました。この関数ではドライブのアクティビティは見つかりませんでした。

システムアクション: Display DRives コマンドは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS2916I

{DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} < volser CCCCCCCC >

または:

{DRIVE XXXX|DRIVEID w/Slot AA:LL:PP/SS} < volser CCCCCCCC >

説明: Display DRives コマンドへの応答で、ドライブのステータスが表示されます。いずれかのステータス値 (Dismount、Mounting、On drive、UNKNOWN) に当てはまる場合に、ボリューム *volser* およびステータス (CCCCCCCC) が表示されます。

MEDIA または RECtech パラメータを指定した場合、表示されるのは、この指定を満たしたドライブだけです。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS2918I

*Found DDD1 {over-use|over-limit|spent} cleaning cartridges in ACS
AA; searched DD2 LSMs for cleaner compatible with {DRIVE XXXX|DRIVEID
AA:LL:PP:NN}*

説明: HSC が、ドライブとの互換性があるクリーニングカートリッジを DD2 個の LSM で検索中に、DDD1 個の使用超過のクリーニングカートリッジを ACS AA で検出しました。(制限超過のクリーニングカートリッジの選択回数が、適用可能な MAXclean 値を超えています。使用済みのクリーニングカートリッジではクリーニング材料が使い果たされました。使用超過のクリーニングカートリッジは制限を超過しているか使用済みです。)

注記:

検索された DD2 個の LSM 内のドライブと互換性のある使用超過、制限超過、または使用済みのクリーニングカートリッジが少なくとも DDD1 個あります。ただし、トランスポートをクリーニングするために、互換性のあるクリーニングカートリッジが選択されている場合、ACS には使用超過のクリーニングカートリッジがより多く存在する可能性があります。

システムアクション: ドライブのクリーニングプロセスが続行されます。

ユーザーの対応: 今すぐ必要なアクションはありません。

警告:

使用超過のクリーニングカートリッジは、ACS から取り出して、トランスポートとの互換性がある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2919D

*Cleaning cartridge volser select count DDD is greater than MAXclean;
reply "E" to Eject or "K" to Keep cleaner*

説明: クリーニングカートリッジ volser の選択回数は DDD です。クリーニングカートリッジは、制限超過 (使用回数が適用される MAXclean 値を超えていることが検出された) であるか、使用済み (クリーニング材料が使い果たされた) です。このメッセージは、クリーニングカートリッジがマウントされたあとで、クリーニングカートリッジがマウント解除される前に発行されます。

システムアクション: クリーニングカートリッジ volser のマウント解除では応答を待機します。5 分以内に応答を受信しない場合、デフォルトのアクションである「使用制限超過のクリーニングカートリッジを保持します」が選択されます。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- カートリッジのマウント解除時にクリーニングカートリッジを ACS から取り出す場合は、I。
- クリーニングカートリッジをマウント解除時に ACS に保持する場合は、K。

警告:

制限を超過した使用済みのクリーニングカートリッジは、ACS から取り出して、トランスポートとの互換性がある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2920I

Cleaning cartridge volser with select count DDD is {OVER-LIMIT|SPENT}; cartridge kept in ACS AA

説明: 示されたクリーニングカートリッジの選択回数は *DDD* です。クリーニングカートリッジの選択回数は *DDD* です。クリーニングカートリッジは、制限超過 (使用回数が適用される MAXclean 値を超えていることが検出された) であるか、使用済み (クリーニング材料が使い果たされた) です。このメッセージは、制限超過または使用済みのクリーニングカートリッジを ACS に保持するように HSC が指示されたときに発行されます。メッセージは、カートリッジのマウント解除前に発行されます。

システムアクション: HSC は、このカートリッジのマウント解除を続行します。

ユーザーの対応: 今すぐ必要なアクションはありません。

警告:

制限を超過した使用済みのクリーニングカートリッジは、ACS から取り出して、トランスポートとの互換性がある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS2934

(...message text...)

説明: 通常、指定された値が無効か、要求でのボリューム、ユニット、メディア、記録技法情報の間に互換性がありません。メッセージテキストは次のいずれかになります。

- Mount rejected - cleaning cartridge is not a scratch volume

クリーニングカートリッジは、スクラッチマウント要求を満たすためには使用できません。

- Mount rejected - VOLATTR media type for specified volume is incompatible with unit

VOLATTR ステートメントによって定義された指定のボリュームのメディアタイプには、ユニットのメディア機能との互換性がありません。

- Mount rejected - VAR media type for specified volume is incompatible with unit

CDS 内のボリューム属性レコードによって定義された指定のボリュームのメディアタイプには、ユニットのメディア機能との互換性がありません。

システムアクション: 指定したボリュームのマウントは拒否され、新しいボリュームを要求するために元のアクションメッセージが再発行されます。

ユーザーの対応: アクションメッセージに応答して、ユニットのメディア機能との互換性があるボリュームを指定してください。

SLS2962I

Mount of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - media type changed from MM1 to MM2

説明: トランSPORT XXXX|AA:LL:PP:NN にボリューム volser をはじめてマウントしようとしたが、メディアの不一致エラーで失敗しました。

検証する HSC 指定のメディアタイプ (MM1) が、ビジョンシステムによって読み取られるメディアタイプ (MM2) と一致しなかった場合に、メディアの不一致エラーが発生します。LMU は、HSC との不一致をメディアの不一致エラーとして報告します。メディアの不一致エラーは、HSC がメディアの検証を実行するよう LMU に要求する場合にのみ発生します。

システムアクション: 制御データセット (CDS) 内のボリュームのメディアタイプは、ビジョンシステムによって読み取られるメディアタイプに変更されます。マウントが再試行されますが、メディアの検証はバイパスされます。

このメッセージは、メディアの検証が有効な場合に発行されるため、このマウント要求では再発行されません。後続のその他のメッセージは、マウントが正常に完了したか、追加の問題が検出されたかを示します。

ユーザーの対応: MM1 と MM2 が同じ場合は、LMU またはビジョンシステムのハードウェアの問題が存在する可能性があります。それ以外の場合、応答は不要です。

SLS2964E

{DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} and volume volser are incompatible - request rejected {before|after} the mount was attempted

説明: マウントの試行前または試行後に、トランSPORT {XXXX|AA:LL:PP:NN} およびボリューム volser のメディアと記録技法機能の間に互換性がないことが検出されました。

システムアクション: マウントは拒否されます。ジョブは、ボリュームがマウントされるのを待機しますが、割り当てられたデバイスにカートリッジを物理的にマウントできないため、これは不可能です。

ユーザーの対応: ジョブをキャンセルして、JCL、定義ステートメント (VOLATTR、UNITATTR、TAPEREQ)、SMS ルーチンを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS2972I

Volume volser not CCCCCCCC; No {CAPs|LSMs} were available in ACS AA

説明: すべての CAP または LSM が ACS AA で使用不可だったため、ボリューム volser は、パスが設定されなかったか拒否されませんでした。

システムアクション: ほかのボリュームの処理が続行されます。

ユーザーの対応: 要求を満たす ACS 内のオンラインの LSM または CAP を指定してください。

SLS2973I

Volume volser not CCCCCCCC; Volume not in the library

説明: ボリューム volser はどの LSM 内にもありません。

システムアクション: そのボリュームはイジェクトされません。

ユーザーの対応: 対応はありません。

SLS2974I

Audit of LSM AA:LL is recommended

説明: MOVE コマンドまたはユーティリティーが、ソースまたはターゲットのいずれかの場所でエラーを検出しました。エラーの正確な性質を示す追加のメッセージがこのメッセージのあとに表示されます。

システムアクション: そのカートリッジの MOVE は失敗します。

ユーザーの対応: エラーの結果、示された LSM の監査が推奨されます。LSM の完全な監査ではない場合、少なくともエラーがある場所の監査が推奨されます。

SLS2976I

MOVE incomplete; Volume volser stuck in LSM AA:LL {HAND N|PANEL NN DRIVE NN|PTP PANEL NN}

説明: LSM のハードウェアの中断が原因で、ボリュームの MOVE は完了しませんでした。ボリュームの場所が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: このボリュームに関する前の SLS0854D メッセージに対して Delete と応答しなかった場合、Eject コマンドを使用して削除できます。SLS0854D が表示されたら、Delete と応答してください。これによって、ボリュームが CDS から削除されます。その後、示された場所からボリュームを手動で削除して、ENter コマンドを使用して LSM に挿入してください。

SLS2977I

Panel index DD is invalid

説明: MOVE 要求のターゲットパネル DD が、LSM で使用できるパネルの数より大きくなっています。

システムアクション: MOVE 関数は処理を終了します。

ユーザーの対応: LSM の範囲内にあるパネル索引を指定してください。

SLS2978A

*Please enter the password for CCCCCCCC processing of volume volser for
DD*

説明: ユーザー出口 14 が、CCCCCCCC 中にボリューム volser にアクセスするためのパスワードチェックを要求しました。DD は、この要求がジョブ、ユーザー、オペレータのいずれに対するものだったかを示しているか、ユーザー出口がサイト固有の情報を示していることがあります。

システムアクション: システムは応答を待機します。正しくないパスワードを入力した場合、要求は拒否されます。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: 正しいパスワードを使用して応答してください。パスワードが不明な場合、セキュリティ管理者か、HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラミングスタッフに連絡してください。セキュリティ対策を修正したら、要求を再発行してください。

SLS2979I

User Exit SLSUX14 is inoperative; RC = XX

説明: 無効なりターンコードが返されたため、ボリュームアクセスユーザー出口 SLSUX14 は動作していません。

システムアクション: ユーザー出口 14 は無効にされます。

ユーザーの対応: ユーザー出口が有効なりターンコードを返すように修正してください。

SLS2980I

*Access to volume volser denied for CCCCCCCC processing for
DD*

説明: ユーザー出口 14 が、CCCCCCCC プロセス中にボリューム *volser* に対して拒否されたアクセスを返しました。このプロセスは Mount または Eject の場合があります。DD は、この要求がジョブ名、ユーザー ID、オペレータのいずれに対するものだったかを示しているか、ユーザー出口がサイト固有の情報を示していることがあります。

システムアクション: Mount または Eject 要求は終了し、関数は続行できません。

ユーザーの対応: 正しいユーザー出口がロードされていることを確認し、ロードされている場合は、セキュリティーの管理者か、HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラミングスタッフに連絡して支援を求めてください。サイトの手順でサイト固有の情報を詳細に記述してください。セキュリティー対策の修正後に、要求を再発行してください。

SLS2984D

*volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; shortage AA; MMMMMMMM;
RRRRRRRR; SSSSSSSS; reply I / T,capid,vol / R / M,vol*

説明: 要求されたメディア、記録技法、サブプールに対するスクラッチマウントを実行するボリュームが ACS AA に見つかりませんでした。

- AA は ACS 番号です。
- MMMMMMMM はメディアタイプです。
- RRRRRRRR は記録技法です。
- SSSSSSSS はサブプール名です。サブプール名が「SUBPOOL 0」の場合、スクラッチサブプール処理が有効ではないか、スクラッチサブプール処理は有効でもサブプールが要求に対して指定されていませんでした。

システムアクション: Mount は、ユーザーが *I, T, capid, vol*、*R*、または *M, vol* と応答するのを待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- Mount 要求を無視する場合は、(無視)。HSC はマウントを保留のままにしておきます。
- マウントを実行するために、指定した CAP およびサブプールから (指定したボリュームを) 一時的に挿入する場合は、*T, capid, vol* (一時的に挿入)。
- (サブプールスクラッチリストの補充後に) スクラッチの検索を再試行する場合は、*R* (再試行)。
- 要求を満たすために指定したボリュームをマウントする場合は、*M, vol* (マウント)。

SLS2985I

Mount of volume volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - volume changed to write-disabled for DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

説明: ドライブでボリューム *volser* に対するボリュームマウントを試行しました。ユーザー出口 14 は、ボリュームを保護するために仮想サムホイールを書き込み無効に設定するよう要求しました。DD は、この要求がジョブ名、ユーザー ID、オペレータのいずれに対するものだったかを示しているか、ユーザーは出口を使用してサイト固有の情報を指定することがあります。

システムアクション: Mount 要求は続行されますが、ユーザーが書き込み特権を要求した場合、MVS または VM システムは、書き込みが有効なボリュームをマウントすることを示すメッセージを発行します。

ユーザーの対応: このボリュームに対するジョブが読み取り専用モードで続行される場合、ありません。それ以外の場合、別のボリュームが要求されることがあるか、正しい出口がシフトにロードされるようにする必要があります。正しい出口がロードされている場合、セキュリティーの管理者か、HSC ユーザー出口を担当するシステムプログラミングスタッフに連絡してください。手順でサイト固有の情報を詳細に記述してください。セキュリティー対策を修正または調整したら、ジョブを再送信してください。

SLS2986I

Invalid password for DDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDDD

説明: 無効なパスワードが入力されたため、ボリュームへのアクセス要求が拒否されました。

システムアクション: そのリクエストは拒否されます。

ユーザーの対応: 要求を再入力して、正しいパスワードを指定してください。

SLS3625I

Library client facility ended with RC = {0|4|7|8}

説明: 診断テストプログラムが終了しました。診断テストプログラムの実行中に発生した最大のリターンコードがメッセージテキストに示されます。

システムアクション: この時点で診断テストプログラムのすべての処理が終了します。

ユーザーの対応: リターンコードを確認してください。リターンコードの重大度および性質は次のとおりです。

- 0 - すべての診断テストが正常に完了しました。
- 4 - Query、Mount、または Dismount 診断要求が失敗しました。
- 7 - LibraryStation または MVS/HSC のソフトウェアエラー (ABEND または STATUS_PROCESS_FAILURE)。
- 8 - ネットワーク通信が失敗したか、MVS/HSC の LibraryStation が非アクティブまたは未インストールです。

リターンコードが 0 でない場合は、SYSPRINT データセットのメッセージを調べて、エラー状態の性質と程度を確認してください。問題を修正してから、リターンコード 0 が返されるまで診断テストプログラムを再実行してください。

SLS4000I

Release AA:LL:CC rejected; CAP is active on partition PPP

説明: CAP AA:LL:CC に対して RELease コマンドが発行されましたが、CAP は別のパーティションでアクティブです。

システムアクション: CAP は解放されません。

ユーザーの対応: 現在 CAP を使用しているホストで CAP を解放してください。

SLS4001I

CCCCCCC CAPid AA:LL:CC failed.CAP not operational

説明: CCCCCCCC は、動作していない CAP を要求しました。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: CAP が動作していない理由を判別してください。問題を修正したら、CAP をオンラインに変更して、失敗した CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

SL8500 Bulk CAP の場合、CAP に割り当てたロボットが動作していないことがあります。この場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS4002I

CCCCCCCC CAP AA:LL:CC failed. CAP is unallocated

説明: CCCCCCCC コマンドが、割り当てられていない CAP を要求しました。

システムアクション: コマンドは終了します。

ユーザーの対応: CAP が割り当てられていない理由を判別してください。問題を修正したら、CAP をオンラインに変更して、失敗した CCCCCCCC コマンドを再入力してください。

SLS4068I

Current TRACELKP Status:

TAPEREQ	{Traced NOT Traced}
UNITATTR	{Traced NOT Traced}
VOLATTR	{Traced NOT Traced}
LMUPATH	{Traced NOT Traced}
MVCPPOOL	{Traced NOT Traced}
MGMTCLAS	{Traced NOT Traced}
STORCLAS	{Traced NOT Traced}
LKEYINFO	{Traced NOT Traced}
LOOKFAIL	{Traced NOT Traced}

説明: TRACELKP コマンドは正常に完了しました。ルックアップテーブルとそのトレースステータスのリストが表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4075I

Spent cleaning cartridge volser did not clean {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; cartridge {returned to home cell|left mounted|errant}

説明: クリーニングカートリッジ *volser* のクリーニング材料が使い果たされた (使用済み) ため、ドライブがクリーニングされませんでした。

システムアクション: LMU は、使用済みのクリーニングカートリッジをそのソースに戻します。これを行うことができない場合、ボリュームはエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり、HSC はこれを取り出そうとします。

ユーザーの対応: 使用済みのクリーニングカートリッジは、ACS から取り出して、トランスポートとの互換性がある新しいクリーニングカートリッジと交換してください。

SLS4076I

Special use action by cartridge volser failed on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; cartridge {returned to home cell|left mounted|errant}

説明: 示されたドライブに特殊用途のカートリッジがマウントされましたが、要求されたアクションは失敗しました。特殊用途のカートリッジには、9840 マイクロコード更新カートリッジと 9840 ダンプ収集カートリッジが含まれます。

システムアクション: LMU は特殊用途のカートリッジをそのホームセルに戻します。これを行うことができない場合、ボリュームはエラントになります。マウントが失敗した場合、カートリッジはマウントされたままになり、HSC はこれを取り出そうとします。

ユーザーの対応: カートリッジがマウントされたままの場合は、マウント解除してください。特殊用途のカートリッジを取り出してください。これが 9840 ダンプ収集カートリッジの場合、収集するダンプは存在しない可能性があります。これが 9840 マイクロコード更新カートリッジの場合、必要なアクションを判別するために StorageTek ソフトウェア CSE に連絡してください。

SLS4077I

Cleaning cartridge volser with select count DDD is {over-limit|spent}; cartridge ejected from ACS AA

説明: 示されたクリーニングカートリッジの選択回数は *DDD* です。クリーニングカートリッジは、制限超過 (使用回数が適用される *MAXclean* 値を超えていることが検出された) であるか、使用済み (クリーニング材料が使い果たされた) です。このメッセージは、ACS 内の制限超過または使用済みのクリーニングカートリッジを取り出すように HSC が指示されたときに発行されます。メッセージは、カートリッジをマウント解除して取り出す前に発行されます。

システムアクション: HSC は、カートリッジのマウント解除と取り出しを続行します。

ユーザーの対応: CAP を空にするメッセージが表示されたら、カートリッジを削除してください。

SLS4078I

Unable to dismount volume volser to home cell AA:LL:PP:RR:CC; ejecting volume on drive

説明: ボリューム *volser* のマウント解除によって、ホームセル *AA:LL:PP:RR:CC* で別のボリュームが検出されました。このメッセージの前に、ホームセル内で見つかったボリュームを示す SLS4081E メッセージが表示されることがあります。SLS4081E メッセージが表示されない場合、LSM にハードウェアの問題がある可能性があります。

システムアクション: ボリューム *volser* はライブラリから取り出されます。

ユーザーの対応: このメッセージの前に SLS4081E メッセージが表示された場合、ホームセル内でのボリュームの位置を特定して、そのボリュームを CDS に挿入するために、ホームセルの場所 *AA:LL:PP:R:CC* の監査が必要なことがあります。

- SLS4081E メッセージが表示されなかった場合、ホームセルの場所を監査して、ボリュームがセル内にあるかどうかを判別してください。
- ボリュームが見つからない場合、必要なアクションを判別するために Oracle CSE に連絡してください。

SLS4080D

*Requested {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} reserved by host CCCCCCCC;
reply Ignore or Retry (I,R)*

説明: HSC が、ドライブのマウントまたはマウント解除を予約しようとしてしました。別のホストがドライブを予約しています。

システムアクション: HSC は、ホストがドライブを解放するかユーザーがこのメッセージに応答するまで待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- マウント要求またはマウント解除要求をキャンセルする場合は、I (無視)
- ドライブの予約を試行する場合は、R (再試行)。

SLS4081E

*Dismount of cartridge volser1 from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN};
found volser2 in home cell AA:LL:PP:RR:CC*

説明: *volser1* および *volser2* に同じボリュームシリアルが付いている場合、重複したボリュームがライブラリ内に存在するか、2つの同時マウント解除要求がLMUによって処理された可能性があります。*volser1* および *volser2* に異なるボリュームシリアルが付いている場合、別のボリュームが *volser1* のホームセル内にあります。

システムアクション: *volser1* および *volser2* に同じボリュームシリアルが付いている場合、重複したボリュームがACS内にあるかどうかを判別するために、ドライブのセルスキャンが実行されます。*volser1* が *volser2* と等しくない場合、*volser1* の新しいホームセルが取得されます。

ユーザーの対応: *volser2* を見つけてCDSに挿入するために、ホームセルの位置AA:LL:PP:RR:CCの監査が必要となることがあります。

SLS4082I

*Dismount of cartridge volser1 from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN};
expected volser2; drive found loaded*

説明: HSCがボリューム *volser1* をドライブからマウント解除しようとしたのですが、ドライブはロードされています。ドライブのステータス情報は、*volser2* がドライブにマウントされていることを示しています。別の物理ボリューム *volser1* がドライブ上にあるか、内部ボリュームシリアル *volser1* が外部ボリュームシリアル *volser2* と一致しません。

システムアクション: HSCは処理を続行します。

ユーザーの対応: ドライブ上のボリュームをマウント解除するべきである場合は、MVS UNLOAD コマンドを発行してから、HSC DISMount コマンドを発行してください。

SLS4083I

*Dismount of cartridge volser1 from {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN};
volume location information is incorrect; volume deleted from
database*

説明: HSCがボリューム *volser1* をマウント解除しようとした。ボリュームのステータス情報はボリュームがエラントであることを示していますが、HSCはボリュームの位置を特定できませんでした。

システムアクション: HSC はボリュームをデータベースから削除します。

ユーザーの対応: ボリュームがドライブ上に見つからず、ライブラリ内にあると考えられる場合は、AUDIT ユーティリティを実行してください。

SLS4084D

Swap of volume to same {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; reply "S", "C", or "I" to Swap, Clean, or Ignore

説明: スワップ操作で、ボリュームがマウントされている同一ドライブが指定されました。

システムアクション: HSC はこのメッセージに対する応答を待機します。

ユーザーの対応: 次のいずれかで応答します。

- ボリュームをマウント解除して、同じドライブに再マウントする場合は、S (スワップ)。
- ボリュームをマウント解除して、クリーナカートリッジをマウントして、クリーニングが完了したらボリュームを再マウントする場合は、C (クリーニング)。
- マウント要求またはマウント解除要求をキャンセルする場合は、I (無視)。

SLS4085I

Swap of volser on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - Volume not on drive

説明: HSC は、ボリューム *volser* をドライブからマウント解除しようとしたが、ドライブが空であるか、別のカートリッジがマウントされています。

システムアクション: スワップ操作は失敗します。

ユーザーの対応: スワップ操作が必要な場合、HSC コマンドを使用してスワップ操作を実行してください。最初に、HSC DISMount コマンドを発行して、現在のボリュームをドライブから削除してください。次に、HSC Mount コマンドを発行して、ボリュームを新しいドライブにマウントします。

SLS4086I

{Mount|Dismount} of volser {on|from} {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} sent to HSC

説明: マウント解除または MVS 以外のマウントが HSC によって処理のためにキューに入れられると、このメッセージが SMC に返されます。

システムアクション: なし。要求されたマウント解除またはマウントは HSC によって処理されます。操作からのエラーメッセージは SMC に返されません。

ユーザーの対応: なし

SLS4087I

Dismount request for {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN} - found {drive reserved|drive loaded on scan|drive loaded on dismount}; request terminated

説明: メッセージに示されている状態が原因で、HSC は SMC から要求されたマウント解除操作を完了できませんでした。

システムアクション: マウント解除要求は終了します。ドライブの次のマウントが、SMC によって要求された MVS マウントである場合、ドライブがアンロードされるか、ドライブが予約されなくなるまでシステムは待機します。ドライブの次のマウントが MVS 以外のマウント (たとえば、RTD マウント) の場合、ドライブのアンロードを待機または強制するために WTOR メッセージが発行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4088I

Duplicate volser volser in cell AA:LL:PP:RR:CC and on {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}; ejecting volume on drive

説明: マウント解除中にボリュームのホームセル内とドライブ上の両方に同じボリュームシリアルが見つかった場合に、このメッセージが表示されます。

システムアクション: ドライブ上のボリュームは ACS から取り出され、ボリュームシリアルが CDS から削除されます。

ユーザーの対応: メッセージに示されているセルを監査して、ボリュームを CDS に再度追加してください。

SLS4089E

Mount/Dismount from SMC 6.0 is not supported.

説明: マウント要求またはマウント解除要求が SMC 6.0 から HSC 7.0 以降に対して行われました。HSC 7.0 以降では、SMC 6.0 からの要求はサポートされていません。

システムアクション: マウント要求またはマウント解除要求は失敗します。

ユーザーの対応: SMC クライアントを SMC 7.0 以降にアップグレードしてください。

SLS4150I

Number of drives per panel cannot be changed with FORHOST

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティー制御ステートメントで指定されたドライブ数が、パネルに対して定義された現在のドライブ数と一致しません。この SET SLIDRIVS ステートメントには FORHOST パラメータが含まれていました。唯一のホストに対するドライブ数をパネルで変更することはサポートされていません。

システムアクション: その制御文は無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: 既存の値と一致するように SET SLIDRIVS ステートメントでドライブ数を修正するか、ステートメントから FORHOST パラメータを削除してすべてのホストに対するドライブ数を変更して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS4151I

HSC Parmlib not accessible, data reported may be incorrect

説明: HSC Parmlib はアクセス可能ではなく、報告されたデータは不完全であるか正しくない可能性があります。Parmlib は SLSSCRPL DD ステートメントによって識別されるか、このホスト上のアクティブな HSC によってアクセスされることがあります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。スクラッチサブプールの合計は生成されず、ボリュームのスクラッチサブプール ID は報告されません。クリーニングのグローバルな最大制限を判別できないため、最大使用制限を超えたクリーニングカートリッジは報告されません。

ユーザーの対応: SLSSCRPL DD ステートメントを使用するか、正しい Parmlib にアクセスするアクティブな HSC があるホスト上でユーティリティーを実行することによって、HSC Parmlib を識別してください。

SLS4152I

Panel must be empty to use SET SLIDRIVS to change cell geometry

説明: 2つのパネルのセルジオメトリが同じであるか、変更するパネルが空である場合を除き、SET SLIDRIVS ユーティリティー制御ステートメントを使用して、あるタイプのドライブパネルを別のタイプのドライブパネルには変更できません。

システムアクション: ユーティリティー制御ステートメントは無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: (1) パネルに対して定義されたドライブ数を変更してジョブを再送信するか、(2) MNTD Float(OFF) を設定して、ボリュームを LSM に挿入せずに、MOVE または Eject コマンドまたはユーティリティーを使用してすべてのボリュームをパネルから削除してから、ジョブを再送信してください。

SLS4153I

CDS C...C DDNAME DDDDDDD is inconsistent with the active set; ignored

説明: ユーティリティーへの CDS 入力が、選択したプライマリ CDS に基づくアクティブなセットの一部ではありません。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。指定された CDS データセットは更新されません。

ユーザーの対応: ユーティリティーのために提供された JCL および HSC サブシステムを調べて、正しい CDS 名を判別してください。CDS ENABLE コマンドを HSC サブシステムに対して発行して、以前に無効にした CDS コピーを再度有効することもできます。

SLS4154I

SET CDSLVL REGRESS is not allowed; host CCCCCC marked as active

説明: HSC がいずれかのホストでアクティブとマークされているときは、SET CDSLVL REGRESS ユーティリティーを実行できません。

システムアクション: ユーティリティー制御ステートメントは無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: すべてのホストで HSC を停止するか回復して、ジョブを再送信してください。

SLS4155I

SET CDSLVL CONVERT requires all active hosts to have coexistence PTFs applied

説明: SET CDSLVL CONVERT ユーティリティーでは、アクティブなすべてのホストが、HSC 2.1 を共存させるための PTF が適用された HSC 2.0.1 を実行している必要があります。

システムアクション: ユーティリティー制御ステートメントは無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: すべてのホストを必要な HSC 保守レベルにして、ジョブを再送信してください。

SLS4156I

SET CDSLVL REGRESS failed; invalid LSM or panel type found in CDS

説明: SET CDSLVL REGRESS ユーティリティーが、CDS を前の CDS レベルに回帰しようとした。ただし、前の CDS レベルではサポートされない LSM またはパネルタイプが CDS で定義されていました。

たとえば、20 台のドライブ用に構成された 9740 LSM およびドライブパネルは、CDS レベル 2.0.0 ではサポートされません。そのため、9740 LSM または 20 台のドライブパネルが含まれている 2.1.0 レベル CDS は、CDS レベル 2.0.0 に回帰できません。

システムアクション: ユーティリティー制御ステートメントは無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: CDS を前の CDS レベルに回帰する前に、前の CDS レベルでサポートされないすべての LSM をライブラリ構成から削除する必要があります。LIBGEN、SLICREAT、および RECONFIG プロセスを使用して、LSM をライブラリ構成から削除できます。その後、CDS を前の CDS レベルに回帰できます。

SLS4157I

SET SLIDRIVS requires host CCCCCCCC down or LSM AA:LL offline

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティーでは、既存のドライブまたはパネルタイプを変更するには、影響を受けるすべてのホストが停止しているか、LSM がオフラインである必要があります。

システムアクション: ユーティリティー制御ステートメントは無視されます。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: 影響を受けるすべてのホストを停止するか、LSM をオフラインに変更して、SET SLIDRIVS ユーティリティーを再送信してください。

SLS4158I

HOST CCCCCCCC LSM(AA:LL) PANEL(PP) drive unit addresses changed:

From: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...
XXXX
To: XXXX, XXXX, XXXX, XXXX ...
XXXX

Model: *NNNN*

説明: SET SLIDRIVS コマンドは、ホストのユニットアドレスを変更しました。MODEL が SET SLIDRVIS 制御ステートメントで指定されている場合にのみ、MODEL が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4159I

WARNING: REGRESS with HSC 2.1 created CDS

説明: HSC 2.1 SLICREAT を使用して CDS が作成されました。

システムアクション: CDS の回帰が続行されますが、CDS には一部のユーティリティとの互換性がない場合があります、これが原因で予期できない結果になる可能性があります。

ユーザーの対応: 回帰済みの CDS は RECONFIG を使用して実行してください。新しい HSC 2.0 CDS を作成して、RECONFIG RECDEF PARMLIB 文で指定してください。回帰済みの CDS を CDSDEF PARMLIB 文で指定してください。

SLS4161I

Number of drives is invalid

説明: パネルで定義されたドライブの数が許容値ではないか、LSM タイプで許可される最大を超えています。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティ関数は終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、ジョブを再送信してください。

SLS4162I

Panel map not found for panel PP in LSM AA:LL panel type TT

説明: 示されたパネルタイプのパネルセルマップが、パネルマップテーブル内に見つかりませんでした。

システムアクション: リターンコード 8 が設定され、ユーティリティー関数は終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティーが正しいバージョンの HSC ソフトウェアで実行していることを確認してください。エラーが解決しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4163I

Insufficient space for CCCCCCCC data set; number of blocks required is DDDDD

説明: 十分な領域が割り当てられていなかったため、CCCCCCCC データセットに対して処理を続行できませんでした。

システムアクション: プログラムは終了します。

ユーザーの対応: 正しい容量の領域を指定して、ジョブを再送信してください。

SLS4164E

CDS error - missing {ACS|LSM} for {LSM AA:LL|DRIVEID AA:LL:PP:NN|CAP ID AA:LL:CC}

説明: 既存の ACS/LSM と一致しない鍵を持つレコードが見つかりました。

システムアクション: ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。エラーが SLUDBMAP (LIBGEN) で検出された場合、エラーがないライブラリの部分についての文が生成されます。

ユーザーの対応: この状態を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。MERGE または RECONFIGURE ユーティリティーを使用して CDS を再作成する必要がある場合があります。

SLS4165I

Output of CDS convert may be invalid

説明: 有効な数のドライブスロットがないドライブパネルを持つ LSM レコードが見つかりました。

システムアクション: ユーティリティーは完了し、リターンコード 4 を発行します。

ユーザーの対応: この状態を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。MERGE または RECONFIGURE ユーティリティーを使用して CDS を再作成する必要がある場合があります。

SLS4166E

Number of ACSs is greater than 100

説明: LIBGEN ユーティリティーの実行中に、ACS の合計数が 100 を超えることが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーは完了し、リターンコード 4 を発行します。99 (16 進数の 63) を超える ACS ID の出力は生成されません。

ユーザーの対応: この数が新しい最大である 100 より大きくなる原因である「プレースホルダー」ACS が CDS で定義されている場合、最大以下の ACS 数で新しい CDS を作成して、CDS MERGE ユーティリティーを実行してデータを既存の CDS から新しい CDS に転送する必要があります。

SLS4167E

ACS AA contains more than 100 LSMs

説明: LIBGEN ユーティリティーの実行中に、ACS AA に 100 を超える LSM があることが検出されました。ACS FUTRACS が表示される場合、FUTRACS パラメータの LSM 部分が大きすぎることを示しています。

システムアクション: ユーティリティーは完了し、ACS が実際の ACS の場合はリターンコード 8 を発行し、ACS が FUTRACS の場合はリターンコード 4 を発行します。

生成される SLIACS マクロには、16 進数の 63 を超える ID を持つ LSM は含まれていませんが、それらの SLILSM レコードが生成されます。

ユーザーの対応: 実際の ACS についてこのメッセージが表示される場合、LIBGEN ユーティリティーの出力は LIBGEN アセンブリプロセスへの入力として使用できません。

構成を調べて、未使用の LSM を削除する方法を判別して、修正した構成で新しい CDS を作成してください。その後、CDS MERGE ユーティリティーを実行して、データを既存の CDS から新しい CDS に転送してください。

SLS4168I

FUTRACS would create more than 100 ACSs, resetting to NN

説明: LIBGEN ユーティリティーの実行中に、既存の ACS の数と将来の ACS の数の合計がシステムの最大である 100 を超えることが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーは、100 と現在の ACS 数の差に FUTRACS パラメータを設定して、処理を続行します。ほかのエラーが検出されない場合、ユーティリティーはリターンコード 4 で終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4169I

FUTRLSM would create more than 100 LSMs, resetting to NN

説明: LIBGEN ユーティリティーの実行中に、ACS 内の既存の LSM の数と将来の LSM の数の合計がシステムの最大である 100 を超えることが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーは、100 と ACS 内の現在の LSM 数の差に FUTRLSM パラメータを設定して、処理を続行します。ほかのエラーが検出されない場合、ユーティリティーはリターンコード 4 で終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4170D

FUTRLSM would create more than 100 LSMs, resetting to NN

説明: ボリューム *volser* をそのホームセルにマウント解除しようとしたが、ホームセルは別のボリュームによって占有されており、FLOAT OFF は使用中でした。

システムアクション: A または E と応答するまで、マウント解除は待ち状態になります。

ユーザーの対応: A と応答すると、HSC は、ボリューム *volser* の別のホームセルを割り当てることができます。E と応答すると、ボリューム *volser* が取り出されます。

SLS4196I

FUTRLSM would create more than 100 LSMs, resetting to NN

説明: 指定された DDNAME は、有効な CDS 形式ではないデータセットを参照しています。CCC...CCCC はエラーを示します。

システムアクション: ユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティー JCL を修正して、ジョブを再送信してください。

SLS4200I

Duplicate vaulted volume VVVVVV found in "FROM" and "TO" CDS

説明: マージプロセス中に、示されたボルトボリューム VVVVVV が「FROM」 CDS および「TO」 CDS 内で重複していることが検出されました。

システムアクション: ユーティリティは続行します。マージプロセスでは、ボルトボリューム情報は「FROM」 CDS から「TO」 CDS にコピーされません。「TO」 CDS 内の既存のボルトボリュームは影響を受けません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: 重複したボルトボリュームが意図したとおりに処理されていることを確認してください。

SLS4201I

Merge command with REALONLY|VIRTONLY parameter will be replaced by SLSMERGE parameter ALLREAL|ALLVIRT in a future release

説明: MERGE コマンドの REALonly|VIRTonly パラメータは、将来のリリースでは ALLREAL|ALLVIRT パラメータに置き換えられます。

システムアクション: ユーティリティは続行します。

ユーザーの対応: 将来は、MERGE REALonly パラメータの代わりに SLSMERGE ALLREAL パラメータ、MERGE VIRTonly パラメータの代わりに SLSMERGE ALLVIRT パラメータを使用してください。特定のデータ型がマージされないようにするには、NOREAL、NOVIRT、および NOVALT の各パラメータを使用してください。

SLS4202I

Merge command parameter REALONLY|VIRTONLY has been detected; SLSMERGE NOVIRT/NOREAL and NOVALT parameters have been automatically set

説明: MERGE REALonly|VIRTonly パラメータは、将来のリリースでは SLSMERGE ALLREAL|ALLVIRT パラメータに置き換えられます。MERGE REALonly|VIRTonly パラメータをサポートするために、REALonly|VIRTonly パラメータが検出されると、SLSMERGE NOREAL|NOVIRT および NOVALT パラメータが設定されます。

システムアクション: ユーティリティは続行します。

ユーザーの対応: 将来は、REALonly|VIRTonly パラメータの代わりに SLSMERGE ALLREAL|ALLVIRT|NOREAL|NOVIRT|NOVALT パラメータを使用してください。

SLS4203I

SLSMERGE parameters:

- NOREAL and NOVIRT
or
- NOREAL, NOVIRT, and NOVALT
have been requested which indicates to merge nothing

説明: 要求側の SLSMERGE パラメータ:

- CDS 内にポールト情報がない NOREAL および NOVIRT
- NOREAL、NOVIRT、および NOVALT

同じマージジョブで、マージ対象が何もないことを示しています。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4204E

{ACS AA|LSMAA:LL} on MERGE control statement not found in {FROM|TO} CDS

説明: MERGE 制御文に、示された CDS に存在しない ACS または LSM が含まれています。

システムアクション: ユーティリティーは、検証プロセスを続行します。マージは行われません。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: 情報を修正して、ユーティリティージョブを再送信してください。SLICREAT ユーティリティーで TO CDS を作成したばかりの場合、正しい ACS および LSM の情報が含まれていることを確認してください。

SLS4205E

LSMAA:LL in MERGE TO CDS is not empty

説明: マージ先 LSM として示された LSM が TO CDS 内のボリュームを 1 つ以上含んでいることを MERGE ユーティリティーが検出しました。

システムアクション: ユーティリティーは、検証プロセスを続行します。マージは行われません。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: LSM が意図したマージ先であることを確認してください。そうである場合、マージを続行する前に、すべてのボリュームの EJECT または MOVE を行なってください。

SLS4206I

LSMAA:LL in FROM CDS is not same type as LSMAA:LL in TO CDS

説明: CDS マージのソースおよび宛先 LSM が同じ LSM タイプではありません。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。この LSM のマージは実行されません。

- 特定の FLSM/TLSM パラメータ文を使用して LSM が要求された場合、マージは行われず、リターンコード 8 が設定されます。
- 一致しない LSM が ALL または FACS/TACS パラメータ文内にあり、VALIDate オプションが指定されていなかった場合、ほかの LSM のマージは行われ、リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: FLSM/TLSM パラメータが LSM に対して指定されていた場合、文を修正して、ユーティリティーを再送信してください。LSM が示された ACS 内にあるか、ALL グループの一部である場合、LSM をマージプロセスでバイパスすることを確認してください。

SLS4207I

Panel PP LSMAA:LL in FROM CDS is not same type as LSMAA:LL in TO CDS

説明: パネル PP のパネルタイプが、マージの FROM CDS および TO CDS で同じではありません。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。一致しないパネルのボリュームはマージされません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: TO CDS でパネルが正しく指定されていることを確認してください。

SLS4208I

LSMAA:LL does not exist in TO CDS

説明: MERGE TO CDS 内に LSMAA:LL がありません。マージは、ALL オプションまたは FACS/TACS 制御文のいずれかを使用して指定されました。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。示された LSM からのボリュームはマージされません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: マージプロセスで LSM をバイパスすることを確認してください。

SLS4209I

Duplicate volume volser found in FROM CDS; target location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージプロセス中に、FROM CDS のマージ対象 LSM のボリューム (volser) が TO CDS にすでに存在します。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。マージプロセスでは、ボリューム情報は TO CDS の宛先 LSM にコピーされません。TO CDS の既存のボリュームは影響を受けません。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: 重複するボリュームが意図したとおりに処理されることを確認してください。マージ後に、重複するボリュームが含まれていたすべてのターゲットの場所で AUDIT ユーティリティー関数を実行して、重複を LSM から取り出してください。

SLS4210I

Volume volser found errant during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージ関数が、TO CDS のホームの場所が AA:LL:PP:RR:CC になるエラントボリューム (volser) を FROM CDS で検出しました。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。VALIDate オプションが指定されていなかった場合、エラントボリュームは TO CDS にコピーされ、エラントとマークされました。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: マージ後に TO CDS で示されたセルの監査を実行して、エラントステータスをクリアしてください。

SLS4211I

Volume volser found selected during Merge; target home location is ACS(AA) LSM(LL) PANEL(PP) ROW(RR) COLUMN(CC)

説明: マージ関数が、TO CDS のホームの場所が AA:LL:PP:RR:CC になる選択済みボリューム (volser) を FROM CDS で検出しました。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。VALIDate オプションが指定されていなかった場合、選択したボリュームは TO CDS にコピーされ、未選択とマークされました。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: マージ後に TO CDS で示されたセルの監査を実行して、ボリュームの場所を確認してください。

SLS4212E

FROM CDS name is the same as TO CDS name

説明: FROM CDS に、プライマリ、シャドウ、またはスタンバイバージョンの TO CDS と同じデータセット名があります。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN ジョブステップで FROM CDS と指定されたファイルの名前を修正してください。

SLS4213I

CDS Merge Phase N (CCCCCCCC) completed

説明: これは、N、関数 CCCCCCCC が完了したことを示す SLUADMIN MERGEcds ユーティリティチェックポイントメッセージです。フェーズは次のとおりです。

- フェーズ 1- 初期化

マージプロセスは、正常に TO CDS を予約して、FROM CDS を割り当てて初期化して予約しました。

- フェーズ 2- パラメータの検証

マージプロセスは、マージされるすべての LSM を検証しました。

- フェーズ 3- データ領域の構築

マージプロセスは、正常にデータ領域を割り当てて、マージ対象 CDS 情報を取り込みました。

- フェーズ 4- データ領域の書き込み

マージプロセスは、正常にマージ対象データをプライマリ CDS コピーに書き込みました。VALIDate オプションが指定されている場合、フェーズ 4 はバイパスされます。

- フェーズ 5- クリーンアップ

マージプロセスは、正常にプライマリ CDS をセカンダリバージョン (存在する場合) にコピーして、終了プロセスを完了しました。

システムアクション: フェーズ 1-4 の完了後に、マージプロセスは続行されます。フェーズ 5 の完了後に、マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4214E

Creation of a utility data space failed - MMMMMMMM-CC-RRRRRRRR

説明: MMMMMMMM は、CDS MERGE ユーティリティーのデータ領域の作成中に失敗した IBM マクロ呼び出しです。CC は、失敗を説明するリターンコードです。RRRRRRRR は、失敗を説明する理由コードです。リターンコードや理由コードの説明については、該当する IBM のドキュメントを参照してください。

失敗したマクロが DSPSERV で、リターンコードが「08」で理由コードが「xx0005xx」の場合、データ領域のサイズがインストール条件 (IEFUSI 出口) に違反しています。

これは、HSC が保護キー 1-7 で実行されていないことを示しています。HSC の保護キーの正しい指定については、SYS1.PARMLIB の SCHEDxx メンバー内で MVS プログラムプロパティの表を確認してください。

システムアクション: ユーティリティープロセスは終了します。

ユーザーの対応: 失敗の原因を判別して、ユーティリティー要求を再送信してください。

SLS4215E

No DD statement(s) found for FROM CDS

説明: MERGEcds コマンドに FROM CDS の DD 文が含まれていませんでした。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: FROM CDS を指定して SLSFCNTL の DD 文を指定してください。シャドウコピーやスタンバイコピーが使用可能な場合、これらのファイルの DD 文 (SLSFCTL2/SLSFSTBY) も指定してください。CDS MERGE ユーティリティーは現在のプライマリ CDS を判別して、これをマージの FROM CDS として使用します。

SLS4216E

Missing or invalid SLSMERGE data set found for MERGEcds

説明: SLSMERGE DD 文がなかったか、データセットを開くことができなかったか、パラメータが見つからずキーワード「ALL」が MERGEcds 文で指定されていませんでした。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: MERGEcds 文で「ALL」を指定するか、SLUADMIN ジョブに SLSMERGE DD 文を 1 つ以上のパラメータとともに含めてください。

SLS4217E

MERGEcds ALL was specified with a SLSMERGE DD statement

説明: MERGEcds 文で ALL が指定されましたが、SLSMERGE DD 文が SLUADMIN ジョブに見つかりました。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: MERGEcds 文から ALL キーワードを削除するか、SLUADMIN ジョブから MERGEDEF DD 文を削除してください。

SLS4218I

CDS Merge complete on CCCC...CCCC

説明: CDS マージがデータセット名 CCCC...CCCC の CDS を正常に更新しました。

システムアクション: CDS マージプロセスが続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4219E

Unable to select a primary CDS for MERGEcds

説明: SLUADMIN への入力として指定されたすべての FROM CDS コピーで、DHB の情報が調べられました。プライマリまたはセカンダリ CDS は、最後に使用されてからそれ以降復元されていない場合、最良の CDS コピーではありませんでした。そのため、有効なプライマリ CDS ではありません。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN ジョブに対して指定された SLSFCNTL、SLSFCTL2、および SLSFSTBY データセットを確認してください。正しいデータセットが指定されていた場合、HSC BACKUP ユーティリティを使用して、最新の CDS コピーを選択してバックアップしたあとで、HSC RESTORE を使用してすべての CDS コピーを同期してください。その後、SLUADMIN ジョブを再開してください。

SLS4220I

Cleaner prefix XXX on FROM CDS does not match XXX on TO CDS

説明: マージされる 2 つの CDS のクリーナ接頭辞が一致しません。

システムアクション: CDS マージプロセスが継続されます。FROM CDS でクリーニングカートリッジが見つかった場合、メッセージ SLS4221E に示されます。

ユーザーの対応: CDS マージが VALIDate オプションを指定して実行された場合、すべてのクリーニングカートリッジを FROM LSM から取り出してください。

CDS マージが VALIDate オプションなしで実行された場合、マージの完了後にすべてのクリーニングカートリッジを TO LSM から取り出してください。

SLS4221E

Volume VVVVVV in LSM AA:LL merged as non-cleaner

説明: ボリューム VVVVVV の接頭辞は、FROM CDS のクリーナ接頭辞と一致しますが、TO CDS のクリーナ接頭辞とは一致しません。

システムアクション: CDS マージプロセスが継続されます。ボリュームは TO CDS に追加されますが、クリーニングカートリッジとしては使用されません。

ユーザーの対応: CDS マージが VALIDate オプションを指定して実行された場合、ボリュームを FROM LSM から取り出してください。

CDS マージが VALIDate オプションなしで実行された場合、マージの完了後にボリュームを TO LSM から取り出してください。

SLS4222E

Duplicate {FROM|TO} {ACS AA|LSM AA:LL} found on MERGE control statement

説明: 重複する ACSid または LSMid が MERGE 制御文で FROM または TO ACS/LSM として指定されたか、FROM/TO マージパラメータの ACSid が別の FROM/TO LSMid と重複しています。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4223E

Audit in progress on TO LSM AA:LL

説明: CDS マージのターゲットである LSM AA:LL で監査が進行中です。

システムアクション: VALIDate オプションが指定されていた場合、リターンコード「4」が設定され、検証プロセスが続行されます。それ以外の場合、CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: 監査の完了後に CDS マージを再送信してください。LSM にボリュームが含まれている場合、マージのターゲットにはできません。

SLS4225E

Unexpected CDS Merge error - Component=MMMMMMMM, RC=XXXXXXXX

説明: CDS マージの処理中に、予期しないエラーが発生しました。MMMMMMMM は、失敗した HSC コンポーネントの名前です。XXXXXXXX は、操作からのリターンコードです。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: 示されたコンポーネントに関連付けられたリターンコードを確認してください。問題を解決できない場合、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4226I

SLSMERGE input parameter:XXXX...XXXX

説明: 示されたパラメータ文が SLSMERGE データセットから読み取られました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4227E

VAR|VVOL area overflow during CDS merge

説明: VAR 領域または VVOL 領域のいずれかにボリュームを追加するための空き領域が TO CDS にありません。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応:

- オーバーフローの原因が VAR 領域に空き領域がないためである場合、LIBGEN プロセスで TO CDS のサイズを増やしてください。

- オーバーフローの原因が VVOL 領域に空き領域がないためである場合、LIBGEN プロセスと SET VAULTVOL ユーティリティーで TO CDS のサイズを増やしてください。

SLS4228E

MERGECDs requires HSC at base level; MERGECDs terminated

説明: MERGEcds では HSC は基本サービスレベルである必要があります。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: SRVlev コマンドを使用して、サービスレベルを BASE に変更するか、HSC を停止して、BASE パラメータを使用して再起動してください。

SLS4230I

CCCCCCCC1 CCCCCCCC2 parameter not valid

説明: コマンドまたは制御文 CCCCCCCC1 のパラメータ CCCCCCCC2 が無効です。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。生成されるレポートは誤っていることがあります。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの対応: エラーがあるコマンドまたは制御文を修正して、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4231I

Panel PP on LSM AA:LL CCCCCCCC

説明: LSM AA:LL パネル PP が凍結されているか凍結解除されているかの確認。

システムアクション: SET 関数は完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4232I

Entire LSM AA:LL CCCCCCCC

説明: LSM AA:LL 全体が凍結されているか凍結解除されているかの確認。すでに要求された状態になっている場合、すでに凍結されているか凍結解除されているかがメッセージで示されます。

システムアクション: SET 関数は完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4233I

Unable to Freeze/Unfreeze an unallocated or non-existent LSM or panel

説明: 割り当てられていない LSM、または LSM で割り当てられていないパネルを凍結または凍結解除しようとしてしました。

また、存在しない LSM またはパネルを凍結または凍結解除しようとする、このエラーが表示されることがあります。割り当てられていないパネルはバイパスされ、凍結または凍結解除できません。

システムアクション: SET 関数は RC=8 で完了します

ユーザーの対応: なし

SLS4235E

Duplicate (MVC|VTV) volume (VVVVV) found in FROM CDS

説明: マージプロセス中に、ボリューム (VVVVV) は TO CDS にすでに存在します。

システムアクション: ユーティリティは続行します。マージプロセスでは、どの MVC および VTV ボリュームも TO CDS にコピーされません。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: MVC/VTV の競合を修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4236E

VTV/MVC conflicts detected; Virtual volumes not merged

説明: マージプロセス中に、「FROM」CDS の仮想ボリューム (VTV または MVC) が、「TO」CDS で VTV、MVC、または実際のボリュームとして存在します。仮想 (VTV/MVC) ボリューム情報のマージは実行されません。

システムアクション: ユーティリティは続行します。マージプロセスでは、どの MVC および VTV ボリュームも「TO」CDS にはコピーされませんが、実際のボリュームのマージが行われます (要求された場合)。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: VTV/MVC の競合を修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4237E

Duplicate {FROM|TO} VTSS NAME (XXXXXXXX) found on MERGE control statement

説明: 重複する VTSS 名 (XXXXXXXX) が MERGE 制御文で FROM または TO VTSS 名として指定されました。マージは、FVTSS/TVTSS 制御文を使用して指定されました。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4238E

VTSS NAME (XXXXXXXX) on MERGE control statement not found in the {FROM|TO} CDS

説明: MERGE FROM または TO CDS に VTSS 名 (XXXXXXXX) がありません。マージは、FVTSS/TVTSS 制御文を使用して指定されました。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4239E

{MVC|VTV} volume VVVVVV not configured in 'TO' CDS

説明: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

- DELVirt パラメータが指定されています。
- 「FROM」CDS は、空になるか初期化されないボリューム VVVVVV を示しています。

VTV は、常駐ではなく最新の MVC コピーを持たない場合、空であるとみなされます。MVC は、最新の VTV を含んでおらず、以前に使用されたことがあり排出された場合は空であるとみなされます。

システムアクション: ユーティリティは続行します。マージプロセスでは、どの MVC または VTV ボリュームも「TO」CDS にコピーされません。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: マージ処理でボリューム VVVVVV を「TO」CDS にコピーする場合は、ボリューム VVVVVV を (必要に応じて) MVC または VTV の範囲に含めるように「TO」CDS の構成を修正して、マージを再実行してください。

マージ処理で、ボリューム VVVVVV を「TO」CDS にコピーするのではなく削除する場合:

- DELVirt パラメータが指定されていることを確認します。
- ボリューム VVVVVV が VTV の場合、「FROM」CDS が、VTV VVVVVV を、常駐ではなく最新の MVC コピーを持っていないと示すようにしてください。VTV VVVVVV がスクラッチの場合、DELETSCR ユーティリティーを使用して、VTV の常駐および MVC コピーを削除できます。
- ボリューム VVVVVV が MVC の場合、「FROM」CDS で、MVC VVVVVV が空である (つまり、含まれている VTV が 0) と示していることを確認してください。MVC VVVVVV に以前に VTV が含まれていた場合、MVCRPT を実行してください。値が「Owner/Comment/Consolidate Time」列に表示される場合、MVC VVVVVV を排出する必要があります。排出後、その列に値は表示されません。
- ボリューム VVVVVV を削除するための条件を満たしたら、マージを再実行してください。

SLS4240E

MVC volume VVVVVV is a duplicate of a real volume

説明: マージプロセス中に、VTV ボリューム VVVVVV が実際のボリュームの複製であることが検出されました。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。マージプロセスでは、どの MVC および VTV ボリュームも「TO」CDS にコピーされません。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: VTV/実際のボリュームの競合を修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4241E

Parameter {ALL|ALLREAL|FACS} specified, but the {TO|FROM} CDS is a tapeless configuration

説明: マージプロセスは、実際のボリュームデータをマージするべきであることを示しているパラメータを検出しましたが、「TO」または「FROM」のいずれかの CDS がテープレス構成として定義されています。

システムアクション: ユーティリティーは、フェーズ 2 のあとで終了します。データはマージされませんでした。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: パラメータを修正するか、LIBGEN/SLICREAT プロセスを使用して「TO」CDS の CDS 定義を変更して、CDS マージを再送信してください。

SLS4243E

PARAMETER ALLVIRT specified, but no virtual data defined in "TO"|"FROM" CDS.

説明: ALLVIRT が指定されましたが、仮想構成データが「TO」または「FROM」CDS に見つかりませんでした。

システムアクション: ユーティリティーは、フェーズ 2 のあとで終了します。データはマージされませんでした。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: パラメータを修正して、CDS マージを再送信してください。SWSADMIN CONFIG 関数が「TO」CDS に対して実行されたことを確認してください。

SLS4244W

PARAMETER "ALL" specified, but no virtual data was defined in the "TO" CDS.No virtual data copied.

説明: 「ALL」が指定されましたが、仮想構成データが「TO」CDS に見つかりませんでした。仮想レコードはコピーされませんでした。

システムアクション: ユーティリティーは、「実際の」CDS データのみをコピーしました。リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: SWSADMIN CONFIG 関数を実行して仮想情報を定義して、CDS マージを再送信して、必要に応じて仮想情報をコピーしてください。

SLS4245I

MVC/VTV volume VVVVV deleted from "TO" CDS during MERGE

説明: ソース CDS 内で初期化されていないか空であり、ターゲット CDS で定義されていない VTV または MVC が、MERGECDS 操作中にターゲット CDS にコピーされない場合は常に、このメッセージが発行されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4246E

Migrated VTV VVVVV found in source CDS but corresponding MVC VVVVV not defined in target CDS

説明: 移行済みの VTV がソース CDS で見つかったも、移行先の MVC がターゲット CDS で定義されていない場合は、MERGECDS 操作中にこのメッセージが発行されます。

システムアクション: CDS マージプロセスの実際の部分は完了しますが、仮想レコードはターゲット CDS にコピーされません。操作はリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: ターゲット CDS で MVC を定義するか、VTV を VTCS から削除してください。

SLS4247I

CCCCCCC parameter value invalid; must be 'YES' or 'NO'

説明: SLUADMIN ユーティリティー関数で、YES または NO 以外の値とともにパラメータが指定されました。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティー制御文でパラメータを修正して、SLUADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS4248I

Volume VVVVV location AA:LL:RR:CC; ACS|LSM not found in CDS

説明: VOLRPT サマリー合計を計算しようとしたときに、ボリュームの場所の ACS または LSM が、CDS から作成された ACS または LSM テーブルと一致しませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。生成されるレポートは誤っていることがあります。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの対応: ボリュームの場所が誤っているかどうか、または CDS の ACS/LSM レコードが誤っているかどうかを調査してください。

SLS4249E

Parameter "ALL" specified, but the "TO" CDS does not contain any VTV volumes

説明: 「ALL」が指定されましたが、仮想ボリュームが「TO」CDS で定義されていません。

システムアクション: ユーティリティーは、フェーズ 2 のあとで終了します。データはマージされませんでした。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: SWSADMIN CONFIG 関数を実行して仮想情報を定義して、CDS マージを再送信して、必要に応じて仮想情報をコピーしてください。

SLS4251D

Prior RElease AA:LL:CC executing; reply Cancel current command or Force release (C,F)

説明: 前の RElease コマンドが発行されているか、CAP の解放要求が別のホストまたはユーティリティー ESTAE に対して実行されています。

システムアクション:

コマンドは、ユーザーが「C」または「F」と応答するまで待機します。

- 「C」と応答すると、RElease コマンドはキャンセルされ、前の解放プロセスが引き続き実行されます。
- 「F」と応答すると、現在の解放プロセスはキャンセルされ、省略された CAP 解放が実行されます。

ユーザーの対応: 前の CAP タスクが完了しなかった理由を判別してください。考えられる理由には、未処理の CAP 操作または WTOR があります。その場合、要求された CAP 操作の実行を試行してください。たとえば、CAP からボリュームを空にして CAP ドアを閉めるか、未処理のメッセージに応答してください。

未処理のアクションメッセージまたは WTOR が存在しない場合は、解放コマンドが CAP のカタログを実行している可能性があります。特に LMU が複数の要求をアクティブに処理している場合、CAP のカタログには数分かかることがあります。これに当てはまる場合は、「C」と応答して、前の解放プロセスが完了するまで待機してください。

未処理のアクションメッセージまたは WTOR が存在しない場合は、解放コマンドが CAP のカタログを実行している可能性があります。特に LMU が複数の要求をアクティブに処理している場合、CAP のカタログには数分かかることがあります。これに当てはまる場合は、「C」と応答して、前の解放プロセスが完了するまで待機してください。

SLS4252I

RELease AA:LL:CC command is waiting for {the CAP lock|LMU response}

説明: RELease コマンドが発行され、アクティブな CAP タスクの終了を送信しましたが、タスクはまだ終了していません。

システムアクション: コマンドは待ち状態になります。

ユーザーの対応: 前の CAP タスクが完了しなかった理由を判別してください。考えられる理由には、未処理の CAP 操作または WTOR があります。その場合、要求された CAP 操作の実行を試行してください。たとえば、CAP からボリュームを空にして CAP ドアを閉めるか、未処理のメッセージに応答してください。

未処理のアクションメッセージまたは WTOR が存在しない場合は、アクティブな CAP プロセスが LMU からの応答を待機している可能性があります。LMU が複数の要求をアクティブに処理している場合、応答には数分かかることがあります。

SLS4266A

Cartridge volser in CAP AA:LL:CC has an invalid media label and cannot be entered

説明: カートリッジ (volser) が、読み取り不可能なメディアラベルが付いた CAP AA:LL:CC で見付き、挿入できません。

システムアクション: カートリッジの挿入では、CAP セル内で見つかったカートリッジは残され、カートリッジを取り外すことができるように CAP がロック解除されません。

ユーザーの対応: カートリッジを CAP から取り出します。カートリッジを挿入する必要がある場合、メディアラベルを修正してください。

SLS4270E

Duplicate {FROM|TO} VAULT name CCCCCCCC found on MERGE control statement

説明: 重複する FROM|TO ボールト名 CCCCCCCC が SLSMERGE FVAULT/TVAULT パラメータカードで指定されました。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4271E

VAULT name CCCCCCCC on SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} parameter NOT found in the {FROM|TO} CDS

説明: SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} パラメータで指定されたボールド名 CCCCCCCC が、{FROM|TO} CDS で見つかりませんでした。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: SLSMERGE {FVAULT|TVAULT} パラメータで無効なボールド名を修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4272E

An invalid combination of {ALLREAL AND REAL|ALLVIRT AND VIRTUAL|ALLVALT AND VAULT|ALLREAL AND NOREAL|ALLVIRT AND NOVIRT|ALLVALT AND NOVALT} SLSMERGE cards coded

説明: SLSMERGE MERGE ALLxxxx パラメータは、SLSMERGE Fxxxx|Txxxx パラメータと同時に使用できません。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4273E

ALLVALT|FVAULT parm specified but no vaults were defined in "FROM" CDS

説明: SLSMERGE ALLVALT|FVAULT パラメータが指定されましたが、「FROM」にボールドがありませんでした。

システムアクション: ユーティリティは、フェーズ 2 のあとで終了します。データはマージされませんでした。リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4274E

Cannot merge into "TO" VAULT CCCCCCCC because it is not empty

説明: 「TO」ボールド CCCCCCCC にはすでにボリュームが格納されています。「TO」ボールドがボリュームをマージするには、空である必要があります。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4275E

Cannot merge into "TO" VAULT CCCCCCCC because it is set up for fewer slots than "FROM" VAULT CCCCCCCC

説明: 「TO」ボールド CCCCCCCC は、「FROM」ボールド CCCCCCCC より少ないスロットで設定されました。「FROM」ボールド内のすべてのボリュームを「TO」ボールドに移行可能にするには、「TO」ボールドを、「FROM」ボールドと同数かそれより多い数のスロットで作成する必要があります。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、CDS マージを再送信してください。

SLS4276E

There is {REAL|VIRTUAL|VAULT} data in "FROM" CDS but merge options selected will not merge this data into "TO" CDS

説明: 選択されたマージオプションでは、「FROM」CDS で見つかった {REAL|VIRTUAL|VAULT} はマージされません。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: {NOREAL|NOVIRT|NOVALT} SLSMERGE パラメータを使用して特定のデータをマージしないようにして、CDS マージを再送信してください。

SLS4277I

LSMAA:LL in the FROM CDS and LSMAA:LL in the TO CDS are not in the same partition

説明: ソースおよび宛先 LSM が異なるパーティションに属しています。TO CDS の LSM が現在のパーティションに割り当てられていない場合、DISPLAY LSM には UNALLOCATED が示されます。

システムアクション: ユーティリティは続行します。この LSM のマージは実行されません。

- 特定の FLSM/TLISM パラメータ文を使用して LSM が要求された場合、マージは行われず、リターンコード 8 が設定されます。
- LSM が ALL または FACS/TACS パラメータ文にあり、VALIDate オプションが指定されていなかった場合、ほかの LSM のマージは行われ、リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: FLSM/TLISM パラメータが LSM に対して指定されていた場合、文を修正して、ユーティリティを再送信してください。LSM が示された ACS 内にあるか、ALL グループの一部である場合、LSM をマージプロセスでバイパスすることを確認してください。

SLS4350I

CDS Merge terminated prematurely; merge complete on {NO CDS copies|PRIMARY CDS copy|ALL CDS copies}

説明: HSC サブシステムのマージプロセスでは、MERGE ユーティリティの異常終了が通知されました。マージでは、示された CDS コピーがすでに更新されています。

システムアクション: CDS マージプロセスは終了します。

ユーザーの対応: メッセージを確認してマージのステータスを判別してから、次のように続行してください。

- CDS コピーが更新されなかった場合は、最初にマージを再開できます。
- プライマリ CDS コピーのみが更新された場合、セカンダリコピーは自動的に無効にされます。プライマリとの同期を強制的に行うには、CDS を有効にできます。
- すべての CDS コピーが更新された場合は、マージは完了しており、アクションは不要です。

SLS4351I

Inconsistent copy flag found on DDDDDDDD

説明: ユーティリティ関数は、DDNAME DDDDDDDD の CDS コピーで矛盾したコピーフラグがオンになっていることを検出しました。

システムアクション: 有効な CDS コピーが存在する場合、ユーティリティは続行されます。データセット DDDDDDDD は処理されません。

ユーザーの対応: 次のいずれかを行なって、矛盾したコピーを同期してください。

- すべての CDS コピーをバックアップから復元します。
- HSC への矛盾したコピーを有効にします。これによって、矛盾したコピーの同期が強制的に行われます。

SLS4352I

'DIAGSCAN' parameter value invalid; must be 'ONLY' or 'ALSO'

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティで、ONLY または ALSO 以外の値で DIAGScan パラメータが指定されました。

システムアクション: AUDIT ユーティリティは終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティ制御文で DIAGScan パラメータを修正して、SLUADMIN ユーティリティジョブを再送信してください。

SLS4353I

No diagnostic cells for LSMid AA:LL, panel DD

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、DIAGScan パラメータを含めることで診断セルをスキャンするよう要求されました。ただし、指定された LSMid (AA:LL) およびパネル (DD) に診断セルはありませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4354I

Diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC is empty

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、DIAGScan パラメータを含めることで診断セルをスキャンするよう要求されました。示された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) にある診断セルは空であることが検出されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4355I

Cartridge in diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC has an unreadable external label

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、DIAGScan パラメータを含めることで診断セルをスキャンするよう要求されました。示された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) にある診断セルには、読み取り不可能な外部 Volser ラベルが付いたカートリッジが含まれていることが検出されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: LSM が手動モードになっていたときに、カートリッジが誤って診断セル内に配置された可能性があります。ユーザーは、LSM を手動モードに戻して、LSM を挿入して、カートリッジを取り出すこともできます。これがデータカートリッジの場合は、その Volser を判別し、カートリッジにラベルを付けて、LSM が再度オンラインになったら CAP を使用してカートリッジを再挿入してください。

SLS4356I

Volume volser is in diagnostic cell AA:LL:PP:RR:CC

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、DIAGScan パラメータを含めることで診断セルをスキャンするよう要求されました。示された場所 (AA:LL:PP:RR:CC) にある診断セルには、外部 Volser ラベル *volser* が付いたカートリッジが含まれていることが検出されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: カートリッジが診断カートリッジ (通常、「DG nnn」形式の外部ラベルが付いていて、nnn は 10 進数です) ではない場合、LSM が手動モードになっていたときに、カートリッジが誤って診断セル内に配置された可能性があります。ユーザーは、LSM を手動モードに戻して、LSM を挿入してカートリッジを取り出して、LSM が再度オンラインになったら CAP を使用してカートリッジを再挿入することもできます。

SLS4357I

Unable to scan diagnostic cells in LSMid AA:LL (9740)

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、DIAGScan パラメータを含めることで診断セルをスキャンするよう要求されました。示された LSM (AA:LL) は、現在診断セルのスキャンをサポートしていない 9740 タイプ LSM です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4358I

No in-transit cartridges in LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されましたが、示された LSM (AA:LL) には移動中のカートリッジがありませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4359I

Unable to select in-transit volume volser in LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されましたが、示された LSM (AA:LL) で示されたライブラリボリューム (volser) を選択できませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームが選択されているかどうかを調査して、選択されている場合は、SLUADMIN UNSELECT ユーティリティを実行してボリュームを解放することを検討してから、INTRANS パラメータを指定して SLUADMIN AUDIT ユーティリティを再実行してください。

SLS4360I

DDname CCCCCCCC allocated to data set name DDD...DD

説明: ユーティリティは、CCCCCCCC で示された DD 名を、データセット名 DDD...DD (データセットが PDS メンバーである場合はメンバー名を含む、最大 54 文字の文字列) に割り当てました。DD 名 CCCCCCCC は、SLSCNTL、SLSSCRPL、または SLSVA のいずれかです。ユーティリティジョブに指定された JCL が原因で割り当てが行われたか、このホストシステムでアクティブな HSC によって使用されているデータセットに基づいて動的に割り当てが行われた可能性があります。

システムアクション: ユーティリティは続行します。

ユーザーの対応: このメッセージは情報のみです。ユーティリティが予期した結果を生成できない場合、一連の SLS4203I メッセージを調べて、意図したデータセットが実際にジョブに割り当てられていたことを確認してください。

SLS4361I

Ejected in-transit volume volser from LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されました。ライブラリボリューム (volser) は、示された LSM (AA:LL) で移動中であることが検出され、取り出されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームをライブラリに再度挿入すべきかどうかを検討してください。(注: オペレータは、カートリッジの取り出しを通知され、CAP がいっぱいになったときか SLUADMIN AUDIT ユーティリティが完了したときのいずれかに CAP を空にするよう要求されます。)

SLS4362I

Error ejecting in-transit volume volser from LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されました。ライブラリボリューム (volser) が、示された LSM (AA:LL) で移動中であることが検出され、取り出そうとしましたが、取り出しは失敗しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 取り出しの失敗に関連するほかの HSC メッセージを調べてください。INTRANS パラメータを指定して SLUADMIN AUDIT ユーティリティを再実行することを検討してください。

SLS4363I

Ejected an in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されました。読み取り不可能な外部ラベルが付いたカートリッジが、示された LSM (AA:LL) で移動中であることが検出され、取り出されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: ボリュームにラベルを付けてライブラリに再度挿入すべきかどうかを検討してください。(注: オペレータは、カートリッジの取り出しを通知され、CAP がいっぱいになったときか SLUADMIN AUDIT ユーティリティが完了したときのいずれかに CAP を空にするよう要求されます。)

SLS4364I

Error ejecting in-transit cartridge with an unreadable external label from LSMid AA:LL

説明: SLUADMIN AUDIT ユーティリティ関数は、INTRANS パラメータを含めることで移動中のカートリッジを処理するよう要求されました。読み取り不可能な外部

ラベルが付いたカートリッジが、示された LSM (AA:LL) で移動中であることが検出され、取り出そうとしましたが、取り出しは失敗しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 取り出しの失敗に関連するほかの HSC メッセージを調べてください。INTRANs パラメータを指定して SLUADMIN AUDIT ユーティリティを再実行することを検討してください。

SLS4365I

Virtual Volume merge bypassed, VTCS has not been activated.

説明: VTV および MVC のエントリを含む「from」CDS を指定したマージ操作が要求されました。VTCS はこのシステムでアクティブになっていないため、これらの VTV および MVC のエントリは「to」CDS にマージされません。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4366E

(...error text...)

説明: POOLPARM/VOLPARM 制御文の処理中に、エラーが検出されました。エラーは次のいずれかです。

- SCRATCH プール名 DEFAULTPOOL は許可されません
- MVCPOOL 名 ALL および DEFAULTPOOL は許可されません
- EXTERNAL プール名 DEFAULTPOOL は許可されません
- 範囲外の MVCFREE 値は 0-255 にしてください
- INITMVC は Yes または No ではありません
- 範囲外の MAXMVC 値は 1-98 にしてください
- 範囲外の THRESH 値は 4-98 にしてください
- 範囲外の START 値は 1-98 にしてください
- POOLPARM の無効なタイプは SRATCH、MVCPOOL、CLEAN または EXTERNAL にしてください
- Clean volser の接尾辞は数字にしてください
- POOLPARM または VOLPARM にしてください

- SCRATCH プール名の重複は許可されません
- MVCPOOL プール名の重複は許可されません
- EXTERNAL プール名の重複は許可されません
- INITSCR は MEDIA(VIRTUAL) でのみ有効です
- クリーニングカートリッジはクリーニング接頭辞と一致させてください
- 範囲に対して無効な値です; 低ボリュームシリアルは高ボリュームシリアルよりも低くし、6 桁の仮想ボリューム、または MVC の範囲は同じ桁数から始め、文字の仮想ボリューム、または MVC の範囲は 26**4 未満にし、2 つの指定された範囲が共通のボリュームを含まないようにしなければなりません。
- SPVOL エラー
- MAXCLEAN の値が無効です; 0-32767 にしてください
- TYPE(CLEAN) プールには MAXCLEAN が必要です
- MVCPOOL 値はレコード上の値と競合します
- Volser の指定はレコード上の指定と競合します
- RECLaim 値は AUTo、DEMAND、REPORTonly または NONE にしてください
- MVCFREE は RECLaim(DEMAND/NONE) とは指定できません
- MAXMVC は RECLaim(REPORTonly/NONE) とは指定できません
- START は RECLaim(DEMAND/REPORTonly/NONE) とは指定できません
- THRESH は RECLaim(REPORTonly/NONE) とは指定できません
- ADD、UPDATE または DELETE が必要です
- ADD または DELETE が必要です
- ADD、DELETE または UPDATE の指定が無効です

システムアクション: ユーティリティーは、POOLPARAM/VOLPARAM 文の処理を続行します。

ユーザーの対応: POOLPARAM/VOLPARAM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARAM ユーティリティーを再実行してください。

SLS4367E

NNNNNNNN Keyword Invalid with POOLTYPE PPPPPPPP

説明: POOLPARAM/VOLPARAM 制御文の処理中に、PPPPPPPP POOLTYPE を処理しているときに無効なキーワード (NNNNNNNN) が検出されました。示されたキーワードは、このプールタイプでは無効です。

システムアクション: ユーティリティは、POOLPARAM/VOLPARAM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: POOLPARAM/VOLPARAM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARAM ユーティリティを再実行してください。

SLS4368I

CDS not updated due to (ERRORS | APPLY(NO) | DR TEST STATUS)

説明: SET VOLPARAM ユーティリティの処理中に、次のいずれかが原因で CDS が更新されませんでした。

- ERRORS - POOLPARAM/VOLPARAM 制御文の処理中にエラーが検出されました。
- APPLY(NO) - APPLY(NO) が指定されているか、デフォルトとして取得されていません。
- DR TEST STATUS - ユーティリティは、DR テストホストから POOLPARAM/VOLPARAM 文を適用できません。

システムアクション: CDS は更新されません。POOLPARAM/VOLPARAM 定義は動作中の HSC システムで有効にされません。

ユーザーの対応: エラーを修正するか、APPLY(YES) を指定して VOLPARAM 定義を CDS に書き込んでください。DR テスト CDS を更新するには、本番 CDS で VOLPARAM ユーティリティを実行して、DRTEST CREATE を再実行してください。

SLS4369I

The CDS has been updated

説明: CDS に対して POOLPARAM および VOLPARAM の追加または削除が実行されました。

システムアクション: アクティブな HSC サブシステムには POOLPARAM/VOLPARAM の変更が通知されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4370I

SLUINCT processing on XXXX {STARTED|ENDED}

説明: SLUINCT 操作が要求され、ドライブ XXXX が要求されました。

システムアクション: ユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4371I

SLSPARM statement - NNNNN - CCCCCCCC

説明: 文 (CCCCCCCC) は、VOLPCONV ユーティリティーから SPSRINT ファイルにエコー出力されます。SLS4366E が発行される場合、メッセージ内のレコード番号は、文の番号 (NNNNN) に関連されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4372I

VIRTUAL VVVVVV-VVVVVV removed from SCRPOOL/VOLATTR - volume not in VTWVOL configuration

説明: MEDIA/RECTECH(VIRTUAL) 付きのボリュームが、VOLPARM CONVERSION ユーティリティーによって SCRPOOL 定義と VOLATTR 定義またはそのいずれかの定義から削除されました。これらのボリュームは VTCS VTWVOL 構成内にありません。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの対応: VOLPARM CONVERSION ユーティリティーの出力を確認してください。

SLS4373I

VVVVVV-VVVVVV removed from MVCPPOOL - volume not in MVCVOL configuration

説明: ボリュームが、VOLPARM CONVERSION ユーティリティーによって MVCPPOOL 定義から削除されました。これらのボリュームは VTCS MVCVOL 構成内にありません。

システムアクション: ユーティリティーは続行します。

ユーザーの対応: VOLPARM CONVERSION ユーティリティーの出力を確認してください。

SLS4374E

DRTEST not valid on VOLPARM in POOLs

説明: DRTEST パラメータは、POOLPARM 文を使用して定義されたプール内の VOLPARM 文で使用する場合は無効です。VOLPARM DRTEST パラメータは、プール以外のセクションでのみ有効です。

システムアクション: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: VOLPARM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4375E

MEDIA incompatible with TYPE(CLEAN)

説明: POOLPARM TYPE(CLEAN) を使用した VOLPARM 文で指定された MEDIA は、有効なクリーニングメディアタイプではありません。

システムアクション: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: VOLPARM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください。

SLS4376E

Volumes with the Cleaning Prefix only valid with TYPE(CLEAN)

説明: クリーニング接頭辞が付いたボリュームは、POOLPARM TYPE(CLEAN) 文のあとの VOLPARM 文でのみ有効です。

システムアクション: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: VOLPARM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARM ユーティリティを再実行してください

SLS4377I

Missing optional CCCCCC DD statement

説明: SLUADMIN ユーティリティはオプションの DD 文を見つけることができませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの対応: ユーティリティーの正常な操作に DD 文が必要な場合は、これを指定してください。または、CCCCCCCC DD DUMMY を指定して、リターンコード 0 を取得してください。

SLS4378E

Invalid value for MODEL

説明: MODEL パラメータに、テープドライブモデルに無効な値が含まれています。

システムアクション: SET SLIDRVIS ユーティリティーは RC(8) で終了します。

ユーザーの対応: MODEL パラメータを修正してください。

SLS4380I

MEDIA and RECTECH missing on input VOLATTR

説明: VOLPCONV ユーティリティーが、MEDIA および RECTECH が指定されていない入力 VOLATTR を検出しました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。リターンコード X'04' が設定されます。

ユーザーの対応: MEDIA/RECTECH の指定が正しいことを確認してください。

SLS4381I

SET VOLPARM JOIN completed; records in COUNT1, records out COUNT2

説明: SET VOLPARM JOIN ユーティリティー関数は完了しました。SLSPARM データセットから入力されたレコードの数は COUNT1 で、SLSPARM2 データセットに出力されたレコードの数は COUNT2 です。

システムアクション: SET VOLPARM ユーティリティーの新しい入力データセットが作成されました。

ユーザーの対応: SLSPARM2 DD 文によって定義された新しいデータセットは、ボリューム情報を CDS に対して定義するために SET VOLPARM ユーティリティーへの入力として使用できます。

SLS4382I

(...error text...)

説明: SET VOLPARM UPDATE ユーティリティに対する POOLPARM/VOLPARM 制御文の処理中に、エラーが検出されました。エラーは次のいずれかです。

- POOLPARM ADD が失敗しました; POOLPARM が CDS 内に見つかりました
- POOLPARM DELETE が失敗しました; POOLPARM は一意ではありません
- POOLPARM DELETE が失敗しました; POOLPARM が見つかりません
- POOLPARM UPDATE が失敗しました; POOLPARM は一意ではありません
- POOLPARM UPDATE が失敗しました; POOLPARM が見つかりません
- VOLPARM ADD が失敗しました; 直前の POOLPARM コマンドが失敗しました
- VOLPARM ADD が失敗しました; 直前の POOLPARM が削除されました
- VOLPARM ADD が失敗しました; ボリューム範囲はすでに存在しています
- VOLPARM ADD が失敗しました; 範囲が重複したボリュームを共有しています:
volser
- VOLPARM DELETE が失敗しました; 直前の POOLPARM コマンドが失敗しました
- VOLPARM DELETE が失敗しました; VOLPARM が見つかりません
- SET VOLPARM UPDATE が実行されませんでした; POOLPARM または
VOLPARM の情報が CDS 内に見つかりません

システムアクション: ユーティリティは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: POOLPARM/VOLPARM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARM UPDATE ユーティリティを再実行してください。

SLS4383I

SET VOLPARM UPDATE Completed; COUNT1 records updated, COUNT2 records added, COUNT3 records deleted

説明: SET VOLPARM UPDATE ユーティリティ関数は完了しました。更新された POOLPARM レコードの数は *COUNT1* で、追加された VOLPARM レコードや POOLPARM レコードの数は *COUNT2* で、削除された VOLPARM レコードや POOLPARM レコードの数は *COUNT3* です。

システムアクション: APPLY(YES) を指定した場合、VOLPARM レコードと POOLPARM レコードが CDS で更新されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4400I*HSC dynamic reconfiguration initiated*

説明: HSC の動的再構成の処理が開始されました。

システムアクション: 動的再構成の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4401I*{Transport|Drive record|LSM/rail} {AA:LL:PP:NN|AA:LL} successfully
{added to|removed from} current HSC configuration*

説明: 動的再構成で、トランスポート、ドライブレコード、または LSM が追加されたか削除されました。Transport は、HSC 構成ドライブレコードとライブラリ内のトランスポートの両方が処理されたことを示しています。Drive record は、HSC 構成のみが変更されたことを示しています (たとえば、構成ドライブレコードを追加するために SLUADMIN が実行されたが、トランスポートはまだ接続されていない場合)。LSM/rail は、検出された SL8500 構成に基づいて LSM が処理されたことを示しています。

システムアクション: HSC は、構成の変更の処理を完了するまで続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS4402I*CDS {drive|LSM} record {not found|previously removed} for existing
{transport|LSM/rail; id={AA:LL:PP:NN|AA:LL}}*

説明: 動的再構成は、CDS に対応する構成レコードのない、接続されたテープトランスポートまたは LSM を SL8500 ライブラリ内で検出しました。ドライブレコードは SLUADMIN により削除されたか、CDS に存在していませんでした。LSM の場合は、対応するレコードが LIBGEN 内で FUTRLSM パラメータを使用して確立されませんでした。

システムアクション: HSC は、CDS に対応するドライブレコードがない場合、現在の構成にトランスポートを追加できません。LSM にも同じルールが適用されます。顧客に続行するか中止するかを尋ねるために WTOR SLS4405D が発行されます。

ユーザーの対応: SLS4405D メッセージに「N」と応答し、対象のレコードを CDS に追加して動的再構成を再起動してください。「Y」と応答すると再構成が続行されますが、この場合、対象のドライブまたは LSM は現在の構成に追加されません。

SLS4403I

*CDS {drive|LSM} record found with no matching {transport|LSM/rail};
library location = {AA:LL:PP:NN|AA:LL}*

説明: 動的再構成は、対応するトランスポートまたは LSM が指定された場所がない構成レコードを CDS 内で検出しました。1) CDS からドライブレコードを削除することなくトランスポートがライブラリから削除されたか、2) ドライブレコードが CDS に追加されてトランスポートがライブラリに追加されていないか、3) LSM またはレールが HSC から取り外されています。

システムアクション: この場合、HSC は顧客に続行するか中止するかを尋ねる WTOR SLS4405D を発行します。

ユーザーの対応: この不整合が予測されていない場合は、SLS4405D メッセージに「N」と応答し、トランスポートをライブラリに接続して、動的再構成を再起動してください。LSM の場合、CDS の動的な更新は行われなため、この不整合は予測されます。「Y」と応答すると、1) ドライブレコードの追加とトランスポートの削除のどちらに起因するかにかかわらず、ドライブレコードを「未構成」としてマークするか、2) HSC 構成から LSM を削除します。

SLS4404I

*{Drive {type|unit address|host definition|type and unit address}|
{LSM {panel configuration|passthru configuration|panel and passthru
configuration} successfully modified for {transport|LSM/rail}
{AA:LL:PP:NN|AA:LL} during dynamic reconfig*

説明: 動的再構成は、1) 指定されたドライブのタイプ、ユニットアドレス、またはホスト定義、あるいは 2) 指定された LSM のパネルまたはパススルー構成、あるいはその両方を正常に変更しました。

システムアクション: HSC は現在の構成を適切に更新しました。

ユーザーの対応: なし

SLS4405D

*CDS / LMU conflicts exist; allow dynamic reconfig to proceed; Reply
'Y'or 'N'*

説明: 動的再構成は、1) 対応するドライブレコードのない接続されたトランスポートを検出するか、2) ライブラリに対応するトランスポートのない CDS 上のドライブレコードを検出するか、3) 対応する SL8500 LSM のない CDS 上の LSM を検出するか、あるいは 4) CDS 上に対応する LSM レコードのない SL8500 LSM またはレール

を検出しました。メッセージ SLS4402I および SLS4403I の先頭には、特定の SL8500 の要素と位置が示されます。

システムアクション: 動的再構成は、このメッセージへの応答を受け取るまで待機します。応答を受信する前に 60 秒が経過すると、動的再構成が中止されてメッセージ SLS4405D がコンソールから削除されます。

ユーザーの対応: 「Y」と応答すると、動的再構成はすべての適格な変更を処理します。その他の応答では、理由 = オペレータの要求により、動的再構成が中止されます。

SLS4406I

Dynamic reconfiguration processing did not occur, no changes found or unable to process

説明: 動的再構成処理は、SL8500 ライブラリまたは HSC で行われた構成変更はない、あるいは変更を処理できなかったと判断しました。可能性としては、1) 対応するドライブレコードのない新しいトランスポートが検出され、SLS4405D WTOR に「Y」と応答した、2) 対応する LSM レコードのない新しい LSM が検出され、SLS4405D WTOR に「Y」と応答した、3) 処理対象となる SL8500 ベースの要素が検出されなかった、という状況が考えられます。

システムアクション: 動的再構成処理が終了します。

ユーザーの対応: 構成変更が予測された場合は、CDS とライブラリの両方ですべての変更が行われていることを確認してください。

SLS4407I

HSC dynamic reconfiguration processing has ended. See prior messages for reconfiguration detail

説明: HSC の動的再構成処理が終了しました。場合によっては、ハードウェア再構成が実行されなかった可能性があります。メッセージ SLS4505D が応答「N」を受け取りました。再構成の詳細については、前のメッセージを参照してください。

システムアクション: 動的再構成処理が終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4408I

{LMU|Database|Configuration} request error during dynamic reconfiguration; rc = nnnn

説明: 動的再構成の処理中に、LMU、データベース、または構成の要求がエラー条件を返しました。問題のあるコンポーネントのリターンコード *nnnn* がメッセージに含まれます。

システムアクション: 動的再構成処理が終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4409I

HSC dynamic reconfiguration has aborted; reason = RRRR

説明: 動的再構成は、次のいずれかの理由により中止されました。

- オペレータ要求: メッセージ SLS4405D に N と応答して動的再構成が中止されました。
- タイムアウト: 許可された 60 秒以内に、メッセージ SLS4405D への応答がありませんでした。
- ACS を削除できない: 指定された ACS は削除に不適合です。
- ACS を追加できない: 割り当てられていない ACS または今後の ACS を使用できませんでした。
- LMU、データベース、または構成の要求エラー: エラーにより、動的再構成を続行できません。
- 構成検証の要求エラー: エラーにより、動的再構成を続行できません。この理由のあとにはリターンコードが続きます。
- SCR UPDATE、AUDIT、SCR REDIS、MOVE、その他のユーティリティーが現在実行されているため、動的再構成を続行できません。
- ユーティリティーまたは機能がアクティブ: SLS4424E メッセージに示されているとおり、ホスト上で適格な SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC 機能がアクティブになっています。
- ライブラリの切り替えが進行中: 現在、再構成を実行中の 1 つまたは複数の ACS の切り替えが行われています。
- 不明: 異常終了などの、予期しないエラーが検出されました。この理由のあとにはリターンコードが続きます。
- *hhhh* で CONFIG RESET により中止: ホスト *hhhh* で MODIFY CONFIG RESET コマンドが発行され、動的再構成が中止されました。

システムアクション: 動的再構成処理が終了します。

ユーザーの対応: 次を除くすべてのエラーについては、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

- オペレータ要求またはタイムアウト: 応答する必要はありません。
- ACS を削除または追加できない: 考えられる原因と対処法については、メッセージ SLS4423E を確認してください。
- ユーティリティーまたは機能がアクティブ: 考えられる原因と対処法については、メッセージ SLS4424E を確認してください。
- hhhh で CONFIG RESET により中止: 応答する必要はありません。
- ライブラリの切り替えが進行中: 切り替え処理が完了するまで待機してください。ACS が切り替え中かどうかを確認するには、Display Status コマンドを使用します。ACS が切り替え中ではない場合は、F CONFIG コマンドを発行して ACS を再構成します。

SLS4410I

CDS drive record for library location AA:LL:PP:NN marked as unconfigured

説明: 2つのうちどちらかの理由により、動的再構成はドライブレコードを未構成としてマークしました。1) トランスポートは削除されたが、ドライブレコードを CDS から削除するための SLUADMIN が実行されていない、2) SLUADMIN を使用してドライブレコードが CDS に追加されたが、対応するトランスポートがライブラリに接続されていない。

システムアクション: ドライブレコードは HSC の構成に残りますが、未構成としてマークされ、有効なタイプまたは記録技法は反映されません。これらは、「unconfg」(未構成)というステータスとともに表示されます。

ユーザーの対応: トランスポートが対応するライブラリ位置 ID に接続されるか、SLUADMIN により削除される (不要の場合) まで、ドライブは未構成状態のままとなります。

SLS4411I

Drive record AA:LL:PP:NN remains unconfigured, no changes made

説明: 動的再構成は、前回の再構成または初期設定以降、ドライブが未構成のままであると判断しました。

システムアクション: ドライブレコードは処理されません。

ユーザーの対応: なし

SLS4412I

HSC deleted volume VVVVVV from CDS for UNALLOCATED {LSMID AA:LL | CELL AA:LL:PP:RR:CC}

説明: パーティション処理によって割り当て解除された LSM に残っている CDS、または要求プロセスの容量によって割り当てられていないセル内にボリュームが検出されました。

システムアクション: ボリュームは CDS から削除されます。

ユーザーの対応: ボリュームは、割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられている新しいホスト (またはホストグループ) によって「所有」されます。新しいホストは、HSC の監査を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

SLS4413I

HSC failed to delete volume VVVVVV from CDS for UNALLOCATED {LSMID AA:LL | CELL AA:LL:PP:RR:CC} RC=RRCRCRC

説明: HSC は CDS からボリュームを削除しようとしたのですが、できませんでした。リターンコードが失敗の理由を識別しますが、もっとも可能性のある理由は、ボリュームを削除しようとしたときに別の処理がそのボリュームを使用していた場合です。

システムアクション: ボリュームは CDS に残り、「アクセス不能」になります。

ユーザーの対応: パーティション分割処理または要求処理の容量が完了したら、ボリュームは割り当て解除された LSM またはセルが割り当てられているホストによって「所有」されます。このホストは、HSC の監査機能を実行してボリュームを回復する必要があります。ボリュームがドライブにマウントされている場合、新しいホストは HSC DISMOUNT コマンドを発行してボリュームを回復する必要があります。

SLS4414I

Initial configuration for LSM AA:LL, total cells NNNNN, free cells NNNNN

説明: LSM AA:LL に、はじめて Config 検証が実行されました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、初期値が表示されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4415I

Configuration change for LSM AA:LL, total cells {UNCHANGED | INCREASED | DECREASED} by NNNNN, free cells {UNCHANGED | INCREASED | DECREASED} by NNNNN

説明: Config 検証により、LSM AA:LL の構成が変更されていることがわかりました。LSM 内のセル総数、および LSM 内の空きセル数には、セルカウントの差異が表示されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4416I

Config verification for LSM AA:LL found something unexpected {for the following panel(s): P1{,P2, ... } }

説明: 指定された位置 (AA:LL、p1、p2 など) の構成検証中、カートリッジが予期しない場所にあったり、カートリッジがセル内にあるがデータベースの volser と一致しないなど、予期しないことが検出されました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: まず、検出された問題を突き止めるために、表示されているパネル位置について、AUDIT ユーティリティに APPLY(NO) を指定して実行してください。ボリュームの特定の情報を調べるには、VOLRPT ユーティリティを実行する必要がある場合もあります。問題解決の一環として、AUDIT ユーティリティに APPLY(YES) を指定して実行してもかまいません。問題が解決したら、FREEZE OFF を指定して SET ユーティリティを実行する必要がある場合もあります。

- 問題を突き止めて解決するには、APPLY(YES) で CDS に何らかの変更を行う前に、まず AUDIT に APPLY(NO) を指定して実行することをお勧めします。
- 構成変更中、パネルは最初「凍結」ステータスに設定されています。構成変更が完了したときに予期しないことが検出された場合、パネルは「凍結」ステータスのままになります。

SLS4417E

Database I/O error (RC=XXXXXXXX) occurred with RECTYPE records during config verification

説明:

- VAR レコード: ポリウムとセル位置のステータスを確認するためにポリウム情報を収集しているときに、制御データセットエラーが発生しました。ポリウム情報がないと、構成検証中にポリウム位置を確認できません。
- DCX レコード: 位置インデックスのレコードを更新中に、制御データセットエラーが発生しました。プロセスは完了しませんでした。

システムアクション:

- VAR レコード: 処理が続行されます。
- DCX レコード: 構成検証が終了します。

ユーザーの対応:

- VAR レコード: 制御データセットのエラーの原因を特定して解決します。
- DCX レコード: 制御データセットのエラーの原因を特定して解決します。その後、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成を更新します。

SLS4418E

LMURQST error (RC=XXXXXXXX) occurred during config verification; verification cannot continue

説明: 構成検証中に、エラーコード XXXXXXXX で LMU への要求が失敗しました。

システムアクション: 構成検証が終了します。

ユーザーの対応: LMURQST エラーの原因を特定して解決してください。その後、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成を更新します。

SLS4419I

CAPid AA:LL:CC status changed from (UNALLOCATED|ONLINE|OFFLINE|SL8500 STD|SL8500 BULK) to (UNALLOCATED|ONLINE|OFFLINE|SL8500 STD|SL8500 BULK)

説明: 再構成中、SL8500 または SL3000 ライブラリから、SLC コンソールの CAP 状態が変更されました。また、CAP タイプが SL8500 ライブラリ内で標準ローテーションから一括 CAP に、あるいはその逆に変更されました。

システムアクション: HSC 構成が、ライブラリからの CAP 変更を受け入れ、このメッセージに反映されました。

ユーザーの対応: なし

SLS4420E

Invalid cell status N for cell location AA:LL:PP:RR:CC

説明: 構成検証の処理中、指定した位置に LMU が未知または無効なセル位置のステータスを返しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 無効なセル位置のステータスコードの原因を特定してください。

SLS4421E

No more invalid cell status messages will be displayed

説明: 無効なセルのステータスメッセージが複数表示されています。ハードウェアまたはソフトウェア、あるいはその両方の問題を示している可能性があります。コンソールにメッセージが氾濫しないように、これ以上の無効なセルのステータスメッセージは制限されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 無効なセル位置のステータスコードの原因を特定してください。

SLS4422E

An abend occurred during config verification while CCC...CCC

説明: 構成検証が異常終了により終了しました。CCC...CCC は、異常終了時点にアクティブステージにあった処理を表しています。

- 構成レコードの処理中: 事前に定義された構成を確認するために、構成レコードを照会中でした。
- ボリュームレコードの処理中: ライブラリ内のボリューム位置を確認するために、ボリュームレコードが処理中でした。
- ライブラリ構成の取得中: ライブラリ内の各パネルの現在のハードウェア構成を、ライブラリハードウェアから取得中でした。
- ライブラリ構成の検証中: 事前に定義された構成を、ライブラリの現在のハードウェア構成と比較中でした。
- 検証の最終処理中: 構成検証は最終段階にあり、取得したストレージ領域などのクリーンアップを試行していました。

システムアクション: 構成検証が終了します。

ユーザーの対応: 実行するアクションは、異常終了時にアクティブステージにあった処理によって異なります。まず、異常終了の原因を特定して解決してください。その後、次に示す特定の処理ステージ用のアクションを実行してください。

- 構成レコードの処理中: 構成は更新されていません。異常終了の原因を特定して解決したあと、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成を検証または更新してください。
- ボリュームレコードの処理中: 構成は更新されていません。異常終了の原因を特定して解決したあと、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成を検証または更新してください。
- ライブラリ構成の取得中: 構成は更新されていません。異常終了の原因を特定して解決したあと、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成を検証または更新してください。
- ライブラリ構成の検証中: 差異が見つかった場合は、構成レコードが更新されている可能性があります。異常終了の原因を特定して解決したあと、MODIFY CONFIG コマンドを使用して構成の検証または更新を完了してください。
- 検証の最終処理中: 構成検証が構成の更新を完了しました。追加のアクションは必要ありません。

SLS4423E

`{ACS|ACSTYPE} {AA|SL8500|SL3000} cannot be {DELETED|ADDED}`

説明: DELETE ACS の場合、次のいずれかの理由で ACS を削除できません。

- ACS に、SL8500 または SL3000 以外の LSM が含まれています。
- ACS が割り当てられておらず、上位の ACS 識別子を持つ割り当て済みの ACS が存在します。
- その ACS は、その構成内に唯一割り当てられた ACS です。

ADD ACSTYPE の場合、次のいずれかの理由で ACS を追加できません。

- 新しい ACS も未割り当ての ACS もありませんでした。
- 新しい ACS もなく、未割り当ての ACS も新しい ACS から作成されませんでした。

システムアクション: なし、ACS ADD も DELETE も行なわれません。

ユーザーの対応: FUTRACS が SLILIBRY マクロに指定されたことを確認するために、CDS 構成マクロを見直してください。現在の ACS 構成を確認するために、Display ACS コマンドを発行してください。コマンドが失敗する理由を確認するために、表示と LIBGEN SLIACS の記述を見直してください。

SLS4424E

Reconfiguration (reason) cannot proceed, utilities or functions are active on host (host name)

説明: ホスト (*host name*) で適格な SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC 機能がアクティブになっています。HSC コンプレックス内のホストで実行中のこれらのユーティリティーまたは機能とともに、NCO を実行することはできません。適格なユーティリティーと機能のリストには、次のものが含まれます。

- AUDIT
- CAPPREF
- CLEAN
- DISMOUNT
- DISPLAY
- DRTEST
- EJECT
- ENTER
- LMUPDEF
- MODIFY/F
- MOUNT
- MOVE
- SCRATCH
- SCREDIST
- SCRPFDEF
- SCRPOOL
- SENTER
- SET
- SWITCH
- UNSCRATCH

- UNSELECT
- VIEW
- VOLDEF
- WARN

システムアクション:

- HOST が NCO のリフレッシュを試行中で、SET ユーティリティーが実行中の場合、ユーティリティーが完了するまでこのメッセージが5秒おきに繰り返され、続いて NCO REFRESH の処理が続行されます。
- NCO 更新を開始しているホストが、ユーティリティーまたは機能がアクティブであることを検出し、その理由が遅延である場合、NCO は現在のアクティビティが終了するまで待機します。動的再構成が終了するまで、新しいアクティビティの開始は許可されません。
- NCO 更新を開始しているホストが、ユーティリティーがアクティブであることを検出し、その理由が続行不可能である場合、NCO は失敗して更新は実行されません。

ユーザーの対応: このユーティリティーまたは機能をキャンセルするか、それが完了するのを待ってから、必要に応じて `Modify Config` または `Modify Config Update` コマンドを再発行してください。このメッセージが発行されたときに、ユーティリティーまたは機能が実行されていない場合は、次の手順に従ってください。

- コンプレックスで HSC 機能またはユーティリティーが実行されていないことを確認します。
- `Display Status` コマンドを発行して、ユーティリティーまたは機能のカウンタが0より大きいかを確認します。
- カウンタが0より大きい場合は、`F CONFIG RESET` コマンドを発行します。
- `CONFIG RESET` 機能が完了したら、操作を再開します。

SLS4425E

LMU panel count for LSM AA:LL exceeds maximum panel count allowed in CDS.Reconfiguration cannot proceed

説明: SL8500 の動的再構成中に、指定した LSM のパネルカウントを付けて LMU が応答しましたが、指定した CDS LSM レコードの最大パネルカウントを超えています。DISPLAY CDS 内の CREATE フィールドが I825061 と等しい場合、SL8500 の現在の CDS 内の最大パネル数は LSM あたり 44 パネルです。

システムアクション: NCO 更新は実行されません。

ユーザーの対応: I813156 の最小レベルで、新しい CDS を作成する必要があります。新しい CDS を作成したら、I825061 CDS から I813156 CDS までの MERGECDS を実行する必要があります。

MERGECDS が完了したら、MODIFY CONFIG コマンドがハードウェアの動的再構成を開始します。

SLS4430I

Reconfiguration delayed due to switch in progress

説明: ACS の切り替えが進行しているために、再構成が遅延しています。この遅延により、再構成が完了するのに 10 分以上かかる場合があります。

システムアクション: 切り替えが完了すると、再構成が続行されます。遅延が 10 分を超えると、再構成が中止されて SLS4409I メッセージが表示されます。

ユーザーの対応: 再構成が遅延している間、切り替え中の ACS を Display Status コマンドを使用して確認できます。

SLS4451I

Drive records are inconsistent with the CDS for LSMAA:LL; ACS disconnected

説明: おそらく SET SLIDRIVS ユーティリティーに起因して、CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードの間で不整合が検出されました。

システムアクション: 影響のある ACS は切断されます。

ユーザーの対応: ホストがリサイクルされるまで、ACS を切断したままにしてください。

SLS4453I

Logically deleted record found on CDS for DRIVEID AA:LL:PP:NN

説明: SET SLIDRIVS コマンドによって CDS 内のドライブレコードが削除されました。

システムアクション: LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。どちらのアクションが行なわれるかは、次のメッセージが示します。

ユーザーの対応: ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードをリフレッシュしてください。

SLS4454I

{Unit address|DRIVEID} does not match CDS for HSC {DRIVE XXXX|DRIVEID AA:LL:PP:NN}

説明: SET SLIDRIVS ユーティリティーによって CDS ドライブレコードが変更され、HSC メモリー内のコピーと矛盾した状態になりました。

システムアクション: LSM がオフラインのままになるか、ACS が切断されます。どちらのアクションが行なわれるかは、次のメッセージが示します。

ユーザーの対応: ホストをリサイクルして、HSC メモリー内のドライブレコードのコピーをリフレッシュしてください。

SLS4455E

Unexpected FIGMGR return code NMMN during Configuration processing

説明: 構成処理中に、FIGMGR サービスから予期しないリターンコードを受け取りました。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4456I

Library configuration changes pending on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

システムアクション: 構成変更は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4457E

Down level host found active when attempting to change library configuration

説明: ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できません。

システムアクション: 構成変更は実行されません。

ユーザーの対応: すべてのダウンレベルのホストがアクティブでないことを確認してから、NCO の構成を再開してください。

SLS4458E

Library configuration changes in progress on HHHHHHHH

説明: ホスト HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中です。

システムアクション: 構成変更は実行されません (すでに実行中です)。また、NCO が進行しているため、一部のユーティリティーも実行されません。

ユーザーの対応: NCO の構成が完了するのを待ってから、必要に応じて再開してください。場合によっては、NCO は要求をキューに入れ、NCO が完了するとキューを処理します。ただし、SL3000 ACS のさまざまなオンライン時間で、NCO の更新が開始されない可能性があります。SL3000 で開始された NCO の表示内容は、その ACS の cap ステータスになるはずですが、特定の SL3000 ACS の HSC ログに、オンラインで変化した cap ステータスがない場合は、次のオペレータコマンドを発行して ACS を更新する必要があります。

MODIFY CONFIG UPDATE ACS(NN)

これは、NCO REFRESH の間にオンラインで変化した、新規に追加された SL8500 にも適用される場合があります。場合によっては、REFRESH 側ホストが失敗したり、オペレータから CANCEL される場合もあります。

ホスト (HHHHHHHH) が応答していない場合、RECOVER HOST コマンド (FORCE オプションを指定) が必要になることがあります。RECOVER HOST コマンドが必要であれば、MODIFY CONFIG RESET コマンドも必要な場合があります。DISPLAY CDS コマンドが、NCO REFRESH をまだ完了していない HOST の REFRESH ビットマップを表示します。

SLS4459I

Library configuration changes started

説明: このホストによって、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が開始されました。

システムアクション: 構成変更は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4460I

Library configuration changes complete on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が完了しました。

システムアクション: 構成変更が完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4461I

Library configuration changes in progress when HSC went down

説明: HSC が停止したとき、このホストで Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が進行中でした。

システムアクション: 前の構成変更は中止されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4462I

Library configuration refresh started

説明: ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が、このホストで同期化中です。

システムアクション: 構成変更のリフレッシュが開始されました。

ユーザーの対応: なし

SLS4463I

Library configuration refresh complete

説明: ほかのホストが完了した Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更が、このホストで同期されています。

システムアクション: 構成変更のリフレッシュが完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4464E

Library configuration XXXXXXXX aborted on HHHHHHHH

説明: ホスト ID HHHHHHHH で、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成 (UPDATE または REFRESH) が失敗しました。

システムアクション: 構成変更は、正常に完了できませんでした。

ユーザーの対応: 失敗の原因については、前のメッセージを参照してください。不一致を修正して、NCO の構成を再実行してください。

SLS4465I

Library configuration flags Reset complete

説明: Modify Config Reset コマンドにより要求されたため、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成の CDS フラグがリセットされました。

システムアクション: 構成変更のフラグは CDS でリセットされます。

ユーザーの対応: なし

SLS4466I

Library configuration flags not set, Reset not required

説明: Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成の CDS フラグが設定されておらず、Modify Config Reset コマンドにより要求されたりリセットは不要でした。Modify Config Reset コマンドは、再構成を実行しようとしません。再構成を実行するには、Modify Config コマンドを発行してください。

システムアクション: Modify Config Reset コマンドが完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4467E

Down level CDS active, library configuration canceled

説明: ダウンレベルのホストがアクティブである場合、Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成変更は実行できず、6.1.0 CDS が必要です。

システムアクション: 構成変更は実行されません。

ユーザーの対応: 6.1.0 CDS でライブラリ生成処理を行ない、MERGECDS ユーティリティを実行して NCO を有効にします。

SLS4468I

Library configuration util/func counters reset

説明: Near Continuous Operation (NCO) のライブラリ構成ユーティリティおよび機能カウンタがリセットされました。

システムアクション: Modify Config Reset 機能は完了するまで続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4469I

Library configuration initialization complete

説明: すべての ACS に対してライブラリ構成の HSC 初期化処理が完了しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4470D

Dynamic reconfiguration delayed.Reply C to terminate.

説明: ほかのホストのアクティビティーのために動的再構成が遅延しています。ユーティリティーまたは機能が現在アクティブになっている各ホストに対して、メッセージ SLS4424E がこのメッセージに先行します。動的再構成は現在のアクティビティーが終了するのを待ちます。TAPEPLEX 内のすべてのホストの新しいアクティビティーは、動的再構成が終了するまで遅延します。

システムアクション: 動的再構成は次を待機します。

- 各ホストの現在のアクティビティーの終了
- このメッセージへの応答の受信
- HSC の終了

ユーザーの対応: 動的再構成が終了するのを待つか、C を返して動的再構成を終了させてください。

SLS4471I

AA:LL:PP:NN has new drive with serial number NNNNNNNNNNNN

説明: シリアル番号 NNNNNNNNNNNN を持つ新しいドライブが、場所 AA:LL:PP:NN で見つかりました。

システムアクション: HSC は現在の構成を適切に更新しました。

ユーザーの対応: なし

SLS4500I

YYYY-MM-DD, HH:MM:SS HSC subsystem SSSS active on hostid HHHH

説明: HSC が Base サービスレベルに初期化されたあと、さらに新しい日付が午前 0 時に始まる際にメッセージが発行されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4550E

Number of drive addresses is not consistent with previous SLIDRIVS for this panel

説明: SLIDRIVS マクロのドライブアドレスの数が、同じパネルの前の SLIDRIVS マクロのアドレスの数と一致しません。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの対応: 不正な SLIDRIVS マクロのアドレスの数を修正して、LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS4551I

The LIBSIZE parameter has been discontinued and is ignored; it should be removed

説明: LIBSIZE パラメータはすでに使用されていません。

システムアクション: LIBGEN アセンブリは正常に続行され、結果となる LIBGEN モジュールは影響を受けません。

ユーザーの対応: 都合のよいときに LIBSIZE パラメータを SLILIBRY マクロから削除してください。LIBGEN アセンブリを再実行する必要はありません。

SLS4552I

The minimum number of 4K blocks required for the CDS is DDDDD

説明: 計算された CDS ブロックの最小数が報告されます。LIBGEN 構成のための CDS の最小サイズを報告させるだけの場合は、CDS DD ステートメントを指定せずに SLICREAT を実行できます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: SLICREAT で初期化する前に、計算された値を使用して CDS のコピーを割り当ててください。

SLS4553E

Number of drives on panel PPPPPPPP in LSM LLLLLLLL is invalid; it should be 4, 8, 10, 12, 16, 20, 24, OR 32

説明: 示されたパネルで定義されたドライブの数が、そのパネルタイプで許容される数と一致しません。

各 LSM で許容される (パネルタイプに応じた) ドライブの数:

- 4310 - 4、10、または 20
- 9310 - 4、10、または 20
- 9360 - 4
- 9740 - 4 または 10
- 8500 - 4、8、12、または 16
- 3000 - 4、8、12、16、24、または 32

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: エラーを修正して LIBGEN アセンブリを再送信してください。

SLS4554E

The LIBGEN load module release level is inconsistent with the SLICREAT release level

説明: 互換性のない HSC リリースの LIBGEN マクロを使用して作成された SLICREAT が、LIBGEN ロードモジュールで実行されました。

システムアクション: SLICREAT 処理は終了します。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: SLICREAT ソフトウェアと同じ HSC リリースの MACLIB を使用して、LIBGEN ロードモジュールを再作成してください。

SLS4555E

Missing DD or invalid file allocation for DDname CCCCCCCC

説明: SLICREAT は、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを検出できなかったか、割り当てることができませんでした。

システムアクション: DD が SLSCNTL であるか、または PARM='STBYONLY' を指定した場合、リターンコード 12 が設定されて SLICREAT 処理が終了します。そのほかの場合はリターンコード 4 が設定され、処理が続行されます。

ユーザーの対応: DD 名が制御データセット (SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY) の場合は、ファイルの割り当てをチェックして、データセットが複数のエクステントを持たないこと、ブロックサイズが指定されていないか 4096 のブロックサイズが指定されていること、およびデータ編成が DA か PS であることを確認してください。ファイル割り当てを修正して、すべての予期される DD 文とともに SLICREAT プログラムを戻します。

SLS4556E

Unable to create data set for DDname CCCCCCCC

説明: SLICREAT または CDSCREAT ユーティリティは、CCCCCCCC DD 文で指定されたデータセットを作成できませんでした。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: ジョブからのほかのメッセージがないかを確認して、特定された問題を修正し、ユーティリティを再実行してください。

SLS4557I

SLSCNTL DD not found, control data set(s) not formatted

説明: SLICREAT は SLSCNTL DD 文を見つけられませんでした。

システムアクション: SLICREAT は制御データセットをフォーマットしません。必要な CDS サイズが計算されて報告されます。ジャーナルデータセットがフォーマットされ、処理が続行されます。

STBYONLY 処理の場合、SLICREAT はリターンコード 12 で終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4558E

CDS size could not be calculated

説明: SLICREAT は要求された CDS のサイズを計算できませんでした。

システムアクション: SLICREAT 処理はリターンコード 12 で終了します。

ユーザーの対応: SLICREAT によって生成されたエラーメッセージをすべてチェックし、示された問題を修正してください。

SLS4559I

Additional control data set successfully created

説明: SLICREAT は STBYONLY 要求を正常に満たし、追加の CDS を作成しました。

システムアクション: SLICREAT 処理はリターンコード 0 で終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS4560E

A CCCC LSM may not be connected to a CCCC LSM

説明: LIBGEN が、接続された異なる 2 種類の LSM を検出しました。9740 LSM は 9740 LSM にのみ接続できます。8500 LSM は 8500 LSM にのみ接続できます。

システムアクション: 処理が継続されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: エラーが発生している SLILSM マクロを修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4561E

Data set specified by CCCCCC1 is an existing or CDS data set; CCCCCC2 data set not formatted

説明: SLICREAT は CCCCCC1 DD 文で指定された既存のデータセットを識別しました。CCCCC2 は、処理されるデータセットのタイプ (制御またはジャーナル) を示します。制御データセットの場合、SLICREAT は既存のデータセットをフォーマットしません。ジャーナルデータセットの場合、SLICREAT は既存の CDS データセットをフォーマットしません。フォーマットされる前に、その出力ファイルのいずれかにレコードが含まれていると SLICREAT が判別した場合、このメッセージが発行されます。SLSJRNnn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

システムアクション: DD 文が制御データセットの場合、データセットはフォーマットされず、SLICREAT 処理が終了します。DD 文がジャーナルデータセットの場合、制御データセット (指定されている場合) と有効なジャーナルファイルがフォーマットされます。どのような場合でも、リターンコード 12 が設定されます。

ユーザーの対応: 別のデータセットを割り当てるか、指定されたデータセットを削除して再定義してください。

SLS4562D

DDDDDDDD NNNNNNNN is an existing CDS; reply "YES" if the CDS can be overwritten

説明: SLICREAT は、DDDDDDDD DD 文で指定された既存の CDS データセット NNNNNNNN を識別しました。

フォーマットされる前に、その出力ファイルのいずれかにレコードが含まれていると SLICREAT が判別した場合、このメッセージが発行されます。SLSJRNnn の場合は、出力ファイルが既存の CDS データセットとして識別されました。

このメッセージは VM/HSC のみで発行されます。

システムアクション: SLICREAT はオペレータの応答を待ちます。

ユーザーの対応: データセットを上書きしてよい場合は「YES」と応答します。それ以外の応答は、SLICREAT 処理を終了します。SLS4561E が SLICREAT SYSPRINT 出力メッセージに発行されます。

SLS4563E

The SMC is required for JES3; Start the SMC and resubmit the utility

説明: SLIVERFY が正しい JES3 マクロオフセットを見つけて HSC ライブラリのデバイスアドレスを実際のシステムデバイスと比較するためには、SMC が必要です。

システムアクション: SLIVERFY 処理は終了します。リターンコード 08 が設定されます。

ユーザーの対応: SMC を開始して、SLIVERFY ユーティリティーを再実行してください。

SLS4564E

Invalid ACS found; Number of SL8500 LSMs must be divisible by four.

説明: SL8500 LSM を含む ACS が見つかりました。この ACS に定義されている LSM 数は 4 で割り切れませんでした。

システムアクション: SLICREAT 処理は終了します。

ユーザーの対応: 構成ファイルを修正してください。LIBGEN および SLICREAT ユーティリティーを再実行してください。

SLS4600E

A non-SL8500 LSM conflicts with SLIACS specification of FUTRLSM

説明: LIBGEN が、SL8500 LSM 以外を含み、SLIACS マクロに FUTRLSM パラメータも指定した ACS を検出しました。FUTRLSM は SL8500 ACS にしか指定できません。

システムアクション: 処理が継続されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: FUTRLSM パラメータを削除してエラーが発生している SLIACS マクロを修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4601E

FUTRLSM count + SLILSM definitions must be a multiple of 4

説明: LIBGEN は SL8500 ACS について、ACS の FUTRLSM パラメータで指定された値が 4 の倍数でないことを検出しました。StorageTek は、FUTRLSM パラメータを指定するときには、新しい LSM の数を、その ACS のために計画された LSM の数と同じにすることをお勧めします。

システムアクション: 処理が継続されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: エラーが発生している FUTRLSM の数の指定を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4602I

Drive records are inconsistent with the CDS for LSM AA:LL; LSM will remain offline

説明: LSM をオンラインに変更しようとしたときに、おそらく SET SLIDRIVS ユーティリティーに起因して、CDS のドライブレコードと HSC メモリー内バージョンのドライブレコードの間で不整合が検出されました。

システムアクション: LSM はオフライン状態のままです。

ユーザーの対応: ホストがリサイクルされるまで、LSM をオフラインのままにしてください。

SLS4603E

Number of SL8500 LSMS in an ACS must be a multiple of 4

説明: LIBGEN は SL8500 ACS について、指定された LSM の数が 4 の倍数でないことを検出しました。

システムアクション: 処理が継続されます。リターンコード 0C が設定されます。

ユーザーの対応: エラーが発生している LSM の数の指定を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4610I*Hardware Exception Status:*

説明: このコマンドにより、LMU と、LSM、CAP、ロボットハンド、パススルーポート、およびステーションのそれぞれについてハードウェアのステータスを LMU に照会します。エラーは次の形式で報告されます。

LSM AA:LL error message

または

AA:LL:CC error message

ここで、AA は ACS、LL は LSM、そして CC は CAP 識別子です。次のエラーメッセージがあります。

- CAP が動作していません
- CAP ドアが開いています
- CAP ドアのロックが解除されています
- CAP is Reserved by Host nn: Display CDS コマンドを使用してホストを表示してください。
- パススルーポートが動作不能です
- ロボットハンドが動作不能です
- ロボットハンドは保守が必要です
- LSM は準備ができていません
- LSM がオフラインです
- LSM がオフライン保留中です
- LSM が保守モードです
- LSM ドアが開いています
- この LSM では CAP ステータスを使用できません
- LMU Compat 10 or less; not all functions supported: LMU は、マイクロコードが更新されないかぎり、ステータスの照会の一部に正しく応答できません。この状態により、SLS4610I の直前に SLS0662I LMU レスポンスエラーも発行されます。

- **Station *nn* has Inactive Connection:** LMU へのハードウェア接続を利用できません。接続が一度も行われておらず、必要ない場合、これは正常な構成である可能性があります。ステーション番号は 16 進数のため、Station 0A は 10 番目のステーションであり、Station 10 は実際には 16 番目になります。
- **Station *nn* Inoperative; Host not responding:** ステーション番号は 16 進数のため、Station 0A は 10 番目のステーションであり、Station 10 は実際には 16 番目になります。

次のメッセージはサマリーです。

- CAP の問題は何も検出されませんでした
- パススルーポートの問題は何も検出されませんでした
- ロボットハンドの問題は何も検出されませんでした
- LSM の問題は何も検出されませんでした
- ステーションの問題は何も検出されませんでした

これらの結果は、単に LMU がハードウェアエラーを検出しなかったにすぎないことに注意してください。ソフトウェア構成で何かが間違っているか、LMU が検出できなかった可能性があります。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4611E

VAULT name invalid CCCCCC1 on CCCCCC2 command

説明: VAULT 名 (CCCCCC1) に入力されたデータは、CCCCCC2 コマンドでは無効です。

システムアクション: そのコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 有効な VAULT 名を指定してコマンドを再入力してください。

SLS4612E

SLOT NNNNNN for VAULT VVVVVVVV is allocated

説明: VAULT VVVVVVVV 内の SLOT NNNNNN を解放しようとしたのですが、スロットが割り当てられていないため失敗しました。

システムアクション: そのコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 有効なデータでコマンドを再入力します。

SLS4613E

SLOT NNNNNN is out of range for VAULT VVVVVVVV

説明: スロット番号 NNNNNN がゼロ以外の場合は、VAULT VVVVVVVV 内でスロットを割り当てようとしたのですが、SLOT が VAULT に構成されているスロット数を上回るため失敗しました。NNNNNN がゼロの場合は、VAULT VVVVVVVV 内で次のスロットを割り当てようすると VAULT で構成されたスロット数を超えました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: スロット番号がゼロ以外の場合は、有効なデータを指定してコマンドを再入力してください。スロット番号がゼロの場合は、SET VAULT ユーティリティを使用して、そのボールドに構成されたスロット数を変更してください。

SLS4614E

Volume VVVVVV not found for VVOL CCCCCCCC

説明: VVOL CCCCCCCC コマンドの実行時に、ボリューム VVVVVV が見つかりませんでした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 有効な VOLSER を指定してコマンドを再入力してください。

SLS4615E

Volume VVVVVV duplicate for VVOL ADD

説明: VVOL ADD コマンドの実行時に、ボリューム VVVVVV に重複が見つかりました。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 有効な VOLSER を指定してコマンドを再入力してください。

SLS4616E

VSM records found - must have VIRTUAL|MVC volumes defined

説明: CDS に VSM レコードが存在します。MEDIA(VIRTUAL) および MVC POOL の定義が、SET VOLPARM 定義内にある必要があります。

システムアクション: ユーティリティーは、POOLPARM/VOLPARM 文の処理を続行します。リターンコード X'08' が設定されます。

ユーザーの対応: POOLPARM/VOLPARM 制御文の問題を修正して、SET VOLPARM ユーティリティーを再実行してください。

SLS4617E

The CDS has N free blocks, the SET VOLPARM needs N blocks

説明: CDS 内の使用可能な空き領域よりも多くを必要とする VOLPARM および POOLPARM 文を追加しようとしてしました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS4618E

CCCCCCC1 subfile not found in CDS

説明: Vault Volume または Vault レコードの照会で、CDS にサブファイルが見つかりませんでした。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 見つからなかったサブファイルに応じて、SET VAULTVOL ユーティリティーを実行して Vault Volume CDS サブファイルを作成するか、SET VAULT ユーティリティーを実行して Vault CDS サブファイルを作成してください。

SLS4619I

SLOT NNNNNN for VAULT VVVVVVVV was allocated but not used

説明: Vault 監査で、VAULT VVVVVVVV の SLOT NNNNNN が割り当てられているが使用されていないことがわかりました。SLOT NNNNNN が解放されました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4620D

Drive DDDD rectech RRRRRRRR - volume volser rectech RRRRRRRR; reply M to mount or E to end mount

説明: オペレータが Drive DDDD の Volume volser に MOUNT コマンドを入力しましたが、そのドライブの Rectech (RRRRRRRR) がそのボリュームに指定された Rectech

と同じではありません。そのボリュームのメディアタイプはそのドライブに使用できるため、オペレータは MOUNT コマンドを確定するかどうかを尋ねられます。

「M」と応答すると Mount が続行され、「E」と応答するとボリュームをマウントせずに Mount コマンドが終了します。高密度を読み取れないドライブに、高密度で書き込まれているボリュームをマウントできるので、注意が必要です。

システムアクション: MOUNT コマンドはオペレータの応答を待ちます。

ユーザーの対応: 応答「M」または「E」を入力してください。

SLS4633I

Display Drives Command

DRIVE	LOCATION	VOLSER	STATUS	MODEL	MEDIA or
DRIVE	LOC/SLOT	VOLSER	STATUS	MODEL	MEDIA
UUUU	LLLLLLLLLLL	volser	SSSSSSSS	0000	MM...MM
or					
DRIVE	LOCATION	MODEL	WORLD WIDE NAME	SERIAL NUMBER or	
DRIVE	LOC/SLOT	MODEL	WORLD WIDE NAME	SERIAL NUMBER	
UUUU	LLLLLLLLLLL	0000	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	NN...NN	

説明: このメッセージは、Display DRives コマンドの DETail または IDENTITY オプションへの応答として受信するものです。DETail には、LIBGEN エソテリックによって定義されたドライブのステータスおよび関連情報が表示されます。IDENTITY には、トランスポートの識別に関連する LMU 情報が表示されます。

表示される情報には次のものが含まれます。

- UUUU はドライブ ID です。4 文字のドライブ ID (ユニットアドレス)。
- LLLLLLLLLLLL は、ドライブ位置 AA:LL:PP:NN、またはスロット付きのドライブ位置 AA;LL;PP/SS、または NONLIB (非ライブラリ) です。
- volser は、ボリュームシリアル番号か、HSC が volser を判別できない場合は「?」です。
- SSSSSSSS はドライブステータスです。ドライブステータスには次のものがあります。
 - On drive
 - Dismount
 - Mounting
 - Not rdy
 - Offline

- *Online*
- (ブランク)
- OOOO はドライブのモデルです。
- MMMMMMMMMMMMMMMMMM は、UNITATTR 文で指定されるかデフォルトに設定された、このドライブでサポートされるメディアタイプです。UNITATTR がない場合、サポートされるメディアは、LMU または UCB のデバイスタイプ、あるいはその両方によって判別されます。ドライブにマウントされているカートリッジのメディアタイプは反映されません。

注記:

ドライブのメディアタイプを判別できない場合、メディアタイプはブランクで表示されます。

-
- XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX は、このトランスポートに割り当てられているワールドワイド名です。
 - NNNNNNNNNNNNNNNNNNNNNN はトランスポートシリアル番号です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4634I

Journal command is invalid when Journaling Technique is not enabled

説明: Journal コマンドが入力されましたが、CDS ジャーナリング技法は有効ではありません。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: なし

SLS4639I

CCCCCCCC command is no longer supported

説明: CCCCCCCC コマンドは、HSC でサポートされなくなりました。この機能は HSC 製品から削除されました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし。メッセージが HSC PARMLIB 処理の一部として生成された場合は、HSC PARMLIB から問題のコマンドを削除してください。

SLS4640I

ALLOC P P P P P P P P is no longer supported. Use SMC commands

Explanation: ALLOC パラメータ *P P P P P P P P* は HSC でサポートされなくなりました。この機能は SMC 製品に移行されています。この機能の制御には SMC コマンドを使用します。

システムアクション: コマンドはパラメータの処理を続行します。サポートされていない ALLOC パラメータは無視されます。

ユーザーの対応: SMC コマンドを使用して処理を制御してください。

SLS4641I

{ALLOC|MNTD} P P P P P P P P is supported only for downlevel SMC compatibility

説明: 指定された ALLOC または MNTD のパラメータ *P P P P P P P P* は、ダウンレベルの SMC クライアントをサポートする場合にのみ HSC で有効です。

現在のレベルの SMC システムがこの HSC とのインタフェースを実行している場合、このオプションを制御するには、SMC の、対応する ALLOCDEF または MOUNTDEF コマンドを使用します。

システムアクション: コマンドはパラメータの処理を続行します。指定された ALLOC または MNTD のパラメータは、ダウンレベルの SMC システムの場合は更新されますが、現在のレベルの SMC システムの場合は処理に反映されません。

ユーザーの対応: 現在の SMC システムでオプションを指定して処理を制御するには、SMC の、対応する ALLOCDEF および MOUNTDEF コマンドを使用してください。

SLS4642I

{TREQDEF|UNITDEF} is supported only for downlevel SMC compatibility

説明: TREQDEF および UNITDEF コマンドは、ダウンレベルの SMC クライアントをサポートする場合にのみ HSC で有効です。現在のレベルの SMC システムがこの HSC とのインタフェースを実行している場合は、SMC の、対応する TREQDEF および UNITATTR コマンドを使用します。

システムアクション: コマンドは処理を続行します。TAPEREQ または UNITDEF 定義は HSC にロードされますが、ダウンレベルの SMC システムが要求する場合にのみ使用されます。

ユーザーの対応: SMC システムに定義をロードするには、SMC の、対応する TREQDEF または UNITATTR コマンドを使用してください。

SLS4643I

{CAPPREF} rejected; AUTO CAP services are not supported on a partitioned ACS

説明: AUTO CAP 機能は、パーティション化された ACS ではサポートされません。この ACS では、CAP を AUTO モードにすることはできません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: この ACS では、AUTO CAP 機能を使用しなければ、HSC は処理を継続できます。この ACS で AUTO CAP 機能を使用するには、ACS をパーティション化してはいけません。

SLS4644E

Dismount of VVVVVV from drive XXXX - drive is loaded; issue dismount with FORCE parm

説明: ボリュームをマウント解除するリクエストが出されました。しかし、ボリュームの巻き戻しおよびアンロードが完了していません。

システムアクション: マウント解除はキャンセルされます。

ユーザーの対応: FORCE パラメータを指定してマウント解除コマンドを再発行してください。

SLS4645E

MOUNT of VVVVVV from drive XXXX - drive is loaded; issue DISMOUNT with FORCE parm

説明: ボリュームをマウントする要求が行われました。しかし、巻き戻しおよびアンロードされていない別のボリュームがドライブで見つかりました。

システムアクション: マウントはキャンセルされます。

ユーザーの対応: FORCE パラメータを指定してマウント解除コマンドを発行し、マウント解除コマンドが完了したらマウントコマンドを再発行してください。

SLS4646I

CCCCCCC command disabled by SET VOLPARM utility

説明: SET VOLPARM ユーティリティーが実行されました。*DEF コマンドが無効になっています。CCCCCCCC は次のいずれかになります。

- VOLDEF
- SCRPDEF
- MVCDEF

システムアクション: SET VOLPARM ユーティリティーにより、VOLUME/POOL 定義が設定されます。*DEF コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4647E

FORCE parameter invalid for virtual drive XXXX

説明: FORCE パラメータは仮想デバイスではサポートされていません。

システムアクション: マウント解除は処理されません。

ユーザーの対応: FORCE パラメータを指定せずにマウント解除コマンドを再発行してください。必要に応じて、MVS UNLOAD コマンドを発行してドライブをアンロードしてください。

SLS4648I

VTCS is not initialized or not configured

説明: VTCS は初期化されていないか、構成されていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: VTCS が構成されていて HSC が初期化中の場合は、初期化が完了してからコマンドを再発行してください。

SLS4650E

This HSC release does not support Host/LMU Interface compatibility level NN at LMU station XXXX

説明: この HSC リリースは、LMU ステーション XXXX から返された Host/LMU インタフェース互換性レベル NN をサポートしていません。

システムアクション: LMU はオンラインに変更されません。

ユーザーの対応: Host/LMU 互換性レベルが 13 以上の場合、LMU は StreamLine シリーズのライブラリをサポートします。ACS を正常にオンラインに変更できるようにするには、StreamLine シリーズのライブラリをサポートするレベルまで、HSC をアップグレードしておく必要があります。それ以外の場合は、StorageTek ハードウェアサポートに報告してください。この HSC リリースと互換性がある LMU に LMU マイクロコードレベルをインストールしてください。

SLS4682D

ORH: EXTEND or ABORT?ACS AA, SEQNO BBCCC, CCC1, CCC2, volser

説明: HSC が、応答待機時間間隔を過ぎた要求をどのように処理すべきかをシステムオペレータに尋ねています。この要求に対して、事前にメッセージ SLS0681I が発行されています。

- AA は ACSid です。
- BB は HOSTid です。
- CCC リクエストのシーケンス番号です (アクティブなリクエストキューにない場合はなし)
- CCC1 は、要求が待機しているキューです。
 - ACT はアクティブなリクエストキューを表します
 - WTG は待機リクエストキューを表します
 - TMP は一時停止キューを表します
- CCC2 は要求の種類です。
 - DMT - マウント解除
 - MNT - マウント
 - MOV - 移動
 - SWP - スワップ
- volser は、カートリッジのボリュームシリアル番号です。

システムアクション: タスクは、オペレータが応答を入力するのを待ちます。

ユーザーの対応: 次の単語の 1 つまたは複数の文字で応答できます。

- EXTEND

HSCは、LMUがこの要求の処理を完了できるように、ふたたび同じ応答待機時間間隔だけ待機します。与えられた LMU 要求に対してはじめて SLS4682D が発行

される場合は、EXTEND で応答することを推奨します。(各 LMU 要求は、一意の SEQNO によって識別されます。)デュアル LMU の切り替えが生じたばかりの場合は EXTEND で応答することを推奨します。

- ABORT

HSC は、オペレータが手動のオーバーライドコマンドを入力してカートリッジを移動できるように、選択されたボリュームを解放します。ABORT は、HSC 内部のキューから要求をパージします。ABORT を返す場合は、おそらく手動による操作が必要になります。ABORT を返すと、SVCDUMP も生成されます。LMU が再初期化された場合、または以前に要求が延長されている場合は、ABORT で応答することを推奨します。

SLS4700E

Command string SSS...SSS not supported for {UII|METADATA}

説明: METADATA コマンドの一部として文字列 SSS...SSS が入力されましたが、コマンド動詞またはパラメータが UII または METADATA インタフェースに有効なものではありません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 有効な UII または METADATA 要求を再入力してください。

SLS4701I

Command CCCCCCCC not allowed from {CONSOLE|UTILITY|PARMLIB|UII}

説明: 要求が無効な起点から見つかりました。たとえば、ユーティリティーの要求がコンソールコマンドとして発行された場合や、PARMLIB からのみ許可されるコマンドがユーティリティーから入力された場合などです。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 求められるソースから要求を再入力してください。

SLS4702E

Command not valid for {HSC|VTCS} source

説明: VTCS 機能用の UII 要求が SLUADMIN ユーティリティーまたは HSC コマンドを介して送信されたか、HSC 機能用の UII 要求が SWSADMIN ユーティリティーまたは VT コマンドを介して送信されました。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: 正しいソースから要求を再送信してください。

SLS4703E

XML response format error

説明: XML 出力を指定した UUI 要求が入力されました。要求によって生成された XML 出力に異常がありました。

システムアクション: 処理は続行されますが、出力 XML にはエラーがあります。

ユーザーの対応: すべての情報を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4704E

UUI callback exit not specified

説明: 有効なコールバック出口の種類 (テキスト、XML、または CSV) を指定していない UUI 要求が送信されました。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: 有効なコールバック出口を指定している UUI 要求を再送信してください。

SLS4705I

Completion code XXXX reason code XXXXXXXX loading module CCCCCCCC

説明: モジュール CCCCCCCC が必要なユーティリティー要求が入力されましたが、そのモジュールをロードできませんでした。LOAD エラーからリターンコードと理由コードがリストされます。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: エラーの原因を見直して修正し、要求を再送信してください。

SLS4706E

VSM not active or VTCS load library missing

説明: VTCS 機能用に UUI 要求が送信されましたが、VTCS がアクティブではないか、VTCS 機能のロードモジュールをロードできませんでした。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: メッセージが SMC Route コマンドに対する応答として表示される場合、要求された「宛先」 LIBRARY がローカルかリモートかを確認してください。LIBRARY がローカルの場合は、VTCS リンクライブラリを SMC サブシステムの STEPLIB 連結に追加してください。LIBRARY がリモートの場合は、HSC を実行しているホストにある HTTP サーバーの STEPLIB 連結に VTCS リンクライブラリを追加してください。要求が VTCS サブシステムサービスを必要とする場合は、VTCS がアクティブであることを確認して要求を再送信してください。要求が報告機能用である場合は、VTCS ロードモジュールがアクセス可能なロードライブラリで利用できることを確認してください。

SLS4707E*Inconsistent CSV parameters*

説明: CSV コールバック出口を指定した UUI 要求が入力されましたが、CSV テンプレートデータはありませんでした。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: UUI 要求を修正して再送信してください。

SLS4708E*CSV tag name format error*

説明: 関連する CSV 入力テンプレートを持つ UUI 要求が送信されました。次のエラーの 1 つが、CSV 入力テンプレートで検出されました。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: UUI CSV 入力テンプレートの形式を修正して、要求を再送信してください。

SLS4709E*Error processing CCCCCCCC DD; {I/O error|statement exceeds maximum length|statement format error*

説明: SLUADMIN ユーティリティーまたは SWSADMIN ユーティリティーを介して UUI 要求が入力され、CCCCCCCC DD 制御文の処理でエラーが検出されました。

システムアクション: CCCCCCCC DD からの入力文は処理されません。

ユーザーの対応: 示された DD の入力文を修正して、ジョブを再送信してください。

SLS4710E

Data set specified by CCCCCC1; CCCCCC2; Data set not formatted

説明: CCCCCC1 を開こうとしましたが、失敗しました。CCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZE は 4096 である必要があります)
- Cannot format a file that has already been formatted

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティーを再度実行します。

SLS4711E

Volume vault CCCCCC1 already exists

説明: ボリュームボルトを定義しようとしたのですが、すでに存在しています。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4712E

VAULT CCCCCC1 not found

説明: ボルトを削除または変更しようとしたのですが、存在していません。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4713E

Requested vault slots NNNNNNNN1 is less than current NNNNNNNN2 slots defined

説明: ボルトに定義されている現在のスロット数未満の値に、ボルトのスロット数を変更しようとした。ボルトのスロット数は、増やすことのみ可能です。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4714E

Requested vault slots requires NNNN1 blocks in CDS, which is greater than the NNNN2 free blocks available in the CDS

説明: ボールトのサイズを追加したり増やしたりしようとする、CDS で使用できる以上の空き容量が必要になります。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4715I

ADD|MODIFY|DELETE of vault VVVVVVVV successful

説明: VVVVVVVV の追加、変更、または削除に成功しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4716E

Vaulted volumes already exist

説明: ボールトボリュームのレコードはすでに定義されており、定義し直すことができません。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: LIBGEN、SET VAULTVOL、および MERGECDS を実行して、ボールトボリュームのレコード数を変更してください。

SLS4717E

Requested vaulted volumes requires NNNNN1 blocks in CDS, which is greater than the NNNNN2 free blocks available in the CDS

説明: ボールトの試行には、CDS で使用できる以上の空き容量が必要になります。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 必要に応じて訂正を行い、ユーティリティーを再実行してください。

SLS4718I

Vaulted volumes successfully created

説明: ボールトボリュームの作成に成功しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4719E

Vaulted volumes must be defined before defining a volume vault

説明: ボールトボリュームのレコードは、ボリュームボールトを定義する前に、CDSに存在している必要があります。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティは終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN SET VAULTVOL ユーティリティを実行してボールトボリュームのレコードを作成し、SLUADMIN SET VAULT ユーティリティを再実行してください。

SLS4720E

Vaulted volser VVVV1 not found

説明: VOLSER (VVVV1) が、ボールトボリュームのグループ内に見つかりませんでした。

システムアクション: UUI コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 有効なボールト済み VOLSER を指定して UUI コマンドを再入力してください。

SLS4721E

Cannot modify|delete vault VVVVVVV because it is already deleted

説明: ボールト VVVVVVV のステータスが削除済みのため、変更または削除できません。

システムアクション: UUI コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 変更または削除するには、有効なボールトを指定して UUI コマンドを再入力してください。

SLS4722E

Available Vault volume records NNNNNNNN will not satisfy VAULT SLOT request

説明: Vault Slot の要求が、使用可能な Vault Volume レコード数を超えます。

システムアクション: UUI コマンドは実行されません。

ユーザーの対応: LIBGEN、SET VAULTVOL、および MERGECDS 処理を指定して、要求している Vault Slot 数を減らすか、CDS の Vault Volume レコード数を増やしてください。

SLS4723I

Volume VVVVVV used after SLUCONDB TTTTTT time

説明: VVVVVV 物理または仮想ボリュームはスクラッチ選択の候補でした。物理ボリュームの選択日時または VTV の最終使用日時が、SLUCONDB 実行の開始日時または SMC または DFSMSrmm からのスクラッチ抽出時間よりもあとになっています。TTTTTT は開始時間か抽出時間のどちらかになります。

システムアクション: ボリュームはスクラッチ対象として選択されません。テープ管理システムでボリュームがスクラッチステータスになっている場合は、後続のスクラッチ同期実行によってボリュームがスクラッチされます。

ユーザーの対応: なし

SLS4724I

No local SMC TAPEPLEX and no SLSCNTL DD specified

説明: SLUCONDB ユーティリティーが起動されましたが、その出力を受け取れる対象がありません。出力を受け取るには、ローカル HSC、SMC TAPEPLEX、または SLSCNTL DD 文のいずれかが存在する必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: JCL に SLSCNTL DD 文を追加するか、SMC TAPEPLEX を有効にしてから、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4725I

No local SMC TAPEPLEX for LIBONLY

説明: ボリュームをローカルにスクラッチするために、UUI インタフェースで LIBONLY 実行パラメータを指定して SLUCONDB ユーティリティーが起動されました。しかし、同じホストに実行中のローカル HSC が存在しません。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: アクティブな HSC があるホストでスクラッチ同期ユーティリティーを再送信するか、TAPEPLEX= パラメータを使用してください。

SLS4726I

SLSCNTL DD statement not allowed with LIBONLY or TAPEPLEX

説明: LIBONLY または TAPEPLEX= 実行パラメータを指定して、SLUCONDB ユーティリティーが起動されました。しかし、JCL にも SLSCNTL DD 文が含まれていました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: JCL から SLSCNTL DD 文を削除して、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4727I

ZARA subsystem name invalid

説明: ZARA サブシステム名を指定した ZARA 実行パラメータを付けて、SLUCONDB ユーティリティーが起動されました。しかし、指定されたサブシステム名は無効です。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: ZARA サブシステム名を修正して、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4728I

Could not load ZARA API module

説明: ZARA オプションを付けて SLUCONDB ユーティリティーが起動されましたが、スクラッチ同期 ZARA インタフェースモジュールをロードできませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: エラーの原因を調べて、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4729I

Unexpected return code from ZARA

説明: スクラッチ同期のために ZARA にアクセスしたところ、SLUCONDB に予期せぬリターンコードが見つかりました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: エラーの原因を調べて、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。

SLS4730I

Error initializing UUI

説明: SLUCONDB の実行中、HSC CDS へのアクセスに UUI 機能が使用されましたが、UUI インタフェースを初期設定しようとしてエラーが発生しました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: SLUCONDB ユーティリティーの joblib/steplib 連結が正しいことを確認してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4731I

SMC not active

説明: SLUCONDB の実行中、HSC CDS へのアクセスに UUI 機能が使用されましたが、その宿主にはアクティブな SMC サブシステムがありませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: そのホストで SMC サブシステムを起動して、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4732I

TAPEPLEX name not recognized by SMC

説明: SLUCONDB の実行中、リモート HSC システムへの直接スクラッチ要求に UUI 機能が使用されましたが、SLUCONDB パラメータに指定された TapePlex 名が SMC に認識されていません。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: SLUCONDB JCL PARM の TapePlex 名を修正して、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4733W

UUI failure: Request=RRRRRR, RC=XXXX, reason code=XXXX

説明: SLUCONDB の実行中、UUI 機能が使用され、示されているエラーが発生しました。RC と理由コードは 10 進値です。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: ELS プログラミングリファレンスや配布された NCSCOMM マクロで、UUI エラーと理由コードの一覧を確認してください。可能であればエラーを修正し、スクラッチ同期ユーティリティーを再送信してください。エラーの理由が判別できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4734I

ZARA subsystem is down

説明: SLUCONDB の実行中、ZARA サブシステムが非アクティブであることがわかりました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: ZARA サブシステムがアクティブであることを確認して、スクラッチ同期ジョブを再送信してください。

SLS4735I

SAF access denied to ZARA API request

説明: SLUCONDB の実行中、ZARA インタフェースモジュールが、ZARA へのアクセス権がないというエラーを受け取りました。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: SAF ポリシーを変更し、SLUCONDB ジョブが ZARA API にアクセスできるようにしてください。

SLS4736E

Incompatible HSC found active on HOST HHHHHHHH

説明: 初期化中に、互換性のない HSC レベルが示されたホストで実行されていることを HSC が検出しました。もっとも可能性の高い原因は、共存 PTF を適用せずに前のリリースを実行していることです。

システムアクション: HSC は終了します。

ユーザーの対応: 示されたホストの HSC を終了して、互換性のあるレベルの HSC で再初期化してください。

SLS4737E

CDS directory recovery operation failed

説明: データベースディレクトリを再作成しようとしたのですが、エラーが発生して続行できなくなりました。

システムアクション: SVC ダンプの取得後に、HSC またはユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: バックアップから CDS を復元してください。ダンプを保存して、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4738I

CDS CCCC...CCCC disabled; inconsistent copy flag found on

説明: 初期化中、またはデータベースの予約中に、部分的に完了した CDS マージ、コピー、またはそのほかの処理の結果と矛盾する CDS のコピーが見つかりました。

システムアクション: 矛盾するコピーは無効になります。

ユーザーの対応: この CDS を強制的に有効なコピーと同期できるようにしてください。

SLS4739E

Cannot enable new CDS CCCC...CCCC1; CCCCCCCC2

説明: CDs Enable コマンドで新しい CDS データセット CCCC...CCCC1 をアクティブにしようとしたのですが、データセットが不明であるか、CDS コピーとしての使用に適合しないため失敗しました。CCCCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZE は 4096 である必要があります)
- Invalid DSORG (DSORG は PS である必要があります)
- More than one extent
- Invalid UCB type (データセットは DASD にある必要があります)
- Could not obtain VTOC info

システムアクション: HSC は現在の CDS 定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: 名前を変えた既存の CDS コピーをアクティブ化する場合は、データセット名の変更が適切であること、および DS_n パラメータが CDs Enable コマンドで正しく指定されていることを確認してください。新しい CDS コピーを再配置して、

理由が「Could not obtain VTOC info」である場合は、DSn、NEWLoc、NEWVol、および/またはNEWUnitパラメータが喪失しているか、正しく指定されていない可能性があります。そのほかの理由についてはすべて、DSnパラメータがデータセットを正しく指定している場合は、そのデータセットはCDSとして使用するには不適切であるため、適切な属性を持つ新しいCDSデータセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

SLS4740E

New CDS CCCC...CCCC is of insufficient size; capacity is DDD1 blocks, required capacity is DDD2 blocks

説明: CDs Enable コマンドで新しいCDSデータセット CCCC...CCCC をアクティブにしようとしたますが、データセットが十分な大きさでないため失敗しました。DDD1の4096バイトのブロックのみを持つことができますが、現在のCDSには少なくともDDD2ブロックが必要です。

システムアクション: HSCは現在のCDS定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: より大きな新しいCDSデータセットを再配置して、CDs Enable コマンドを再発行してください。

SLS4741E

BSAM Open failed for new CDS CCCC...CCCC

説明: CDs Enable コマンドで新しいCDSデータセット CCCC...CCCC をアクティブにしようとしたますが、初期化処理中に失敗しました。BSAM Open 操作は失敗しました。

システムアクション: HSCは現在のCDS定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: エラーの特定に役立つ可能性がある、BSAMからのほかのエラーメッセージを探してください。エラーを解決できない場合は、StorageTekソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4742E

BSAM Write failed for new CDS CCCC...CCCC, block DDDD

説明: CDs Enable コマンドで新しいCDSデータセット CCCC...CCCC をアクティブにしようとしたますが、初期化処理中に失敗しました。BSAMの書き込み作業は、ブロック番号 DDDD の書き込みに失敗しました。

システムアクション: HSCは現在のCDS定義で操作を続行します。

ユーザーの対応: エラーの特定に役立つ可能性がある、BSAM からのほかのエラーメッセージを探してください。永続的な入出力エラーである場合は、新しい CDS データセットを削除して再配置し、CDs Enable コマンドを再発行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4743I

CDS Expand failed, block count not greater than current size

説明: アクティブな CDS の拡張が試行されましたが、HSC は CDS の現在のサイズに変更はないと判断しました。

システムアクション: CDS EXpand は失敗します。

ユーザーの対応: より大きいブロックサイズの新しい CDS を割り当ててください。新しくサイズ変更した CDS に CDS Enable を発行してから、CDS EXpand コマンドを発行してください。

SLS4744E

Expand of the Secondary CDS has failed

説明: CDS EXpand でプライマリ CDS の読み取りおよびセカンダリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

システムアクション: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの対応: データベース入出力エラーについての HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを調査してください。示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4745E

Expand of Primary CDS has failed

説明: CDS EXpand でプライマリ CDS の拡張中にエラーが検出されました。

システムアクション: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの対応: データベース入出力エラーについての HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを調査してください。示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4746E

Copies to Primary/Standby CDS have failed

説明: プライマリまたはスタンバイのいずれかの CDS へのセカンダリ CDS のコピーでエラーが発生しました。プライマリまたはスタンバイ CDS のステータスを予測できません。

システムアクション: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの対応: データベース入出力エラーについての HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを調査してください。示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4747E

CDS DALM updates encountered an error

説明: プライマリまたはセカンダリのいずれかの CDS への DALM レコードの更新でエラーが発生しました。DALM レコードのステータスを予測できません。

システムアクション: CDS Expand コマンドが終了します。

ユーザーの対応: データベース入出力エラーについての HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを調査してください。示されたエラーを修正してください。すべての CDS ファイルをバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4748I

CDS EXpand has completed successfully

説明: すべての CDS に、新しいデータベースのサイズが反映されました。

システムアクション: HSC CDS は通常の作業に戻ります。

ユーザーの対応: 適切であれば、新しい CDS の名前で HSC の起動パラメータを更新してください。

SLS4749I

CDS EXpand has completed unsuccessfully

説明: CDS EXpand の処理中にエラーが発生しました。

システムアクション: HSC はこのメッセージの前に、EXpand 関連のメッセージを発行しました。

ユーザーの対応: 入出力エラーについての HSC のジョブログとシステムログ、およびすべての関連する HSC メッセージを調査してください。示されたエラーを修正してください。すべての CDS をバックアップコピーから復元して、CDS EXpand コマンドを再入力してください。

SLS4750I

Expanded CDS recognized and adopted

説明: CDS の拡張が確認されました。これは、ほかのホストでオペレータコマンド CDs EXpand が発行された結果です。サイズが拡張された CDS はこのホストで承認されました。

システムアクション: HSC は処理を続行します。

ユーザーの対応: なし

SLS4752I

Date conversion error on TMS extract file

説明: テープ管理インタフェースモジュールのリターンコードが、その入力テープ管理システムのデータが無効であるか、予期される形式ではないことを示しました。

システムアクション: スクラッチ同期実行は終了します。

ユーザーの対応: テープ管理抽出ファイルが正しく指定されていることを確認してください。入力ファイルが正しい場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4753I

CDKLOCK subfile AAAAAA with active=SSS

説明: CDKLOCK サブファイルが作成されたか更新されました。active の値 SSS は、サブファイルのステータスを示します (YES = アクティブ、NO = 非アクティブ)。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4754E

CDKLOCK subfile is already defined

説明: CDKLOCK はすでに存在しているため、再度定義することはできません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4755E

Blocks requested (XX) exceeds the FREE blocks (YY) available in the CDS

説明: 指定された CDKLOCK ブロック XX は、CDS 内の空きブロック YY より大きい
です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 必要な訂正を行ってから、ユーティリティを再度実行します。

SLS4756I

Unrecognized parameter keyword KKKKKKKK

説明: JCL パラメータに、認識できないキーワード KKKKKKKK が含まれていま
した。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL パラメータの入力を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4757I

Duplicate parameter keyword KKKKKKKK

説明: JCL パラメータのキーワード KKKKKKKK が複数回指定されました。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL パラメータの入力を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4758

Invalid JCL parameter format

説明: JCL パラメータに、連続する 2 つのコンマなどの無効な形式が含まれていま
した。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL パラメータの入力を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4759*Invalid grace period*

説明: 猶予期間パラメータに無効な値が含まれています。有効な値は 000 - 999 です。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL パラメータの入力を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4760I*The SMC parameter is mutually exclusive with CCCCCCCC*

説明: CCCCCCCC パラメータと SMC パラメータは一緒に使用できません。

システムアクション: 処理は終了します。

ユーザーの対応: JCL パラメータの入力を修正し、ジョブを再送信してください。

SLS4761I*Point-in-time copy initiated*

説明: ポイントインタイム機能が起動されました。

システムアクション: このメッセージは、CDS 内の最終バックアップ日付が更新されたことと、ポイントインタイムコピー機能が呼び出されることを示しています。

ユーザーの対応: 要求の出力を見直して、バックアップが成功した (メッセージ SLS4762I) か失敗した (SLS4763I) か確認してください。バックアップ成功のメッセージが受信されない場合は、CDS 内の最終バックアップ日付が正常に復元されたことを示す SLS4764I メッセージがあるかどうかを確認してください。

SLS4762I*Point-in-time copy successful*

説明: コピー処理プログラムからのポイントインタイムコピーのリターンコードに、コピーが成功したことが示されています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4763I*Point-in-time copy failed; backup copy data set invalid*

説明: ポイントインタイム機能モジュールからのリターンコードに、コピーが失敗したことが示されていました。バックアップデータセットが作成されていた場合、それは無効になります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 最終バックアップ日付の復元に成功したことを示すメッセージ SLS4764I がユーティリティーの出力に含まれているか確認してください。このメッセージが表示されない場合、それは、CDS 内の最終バックアップ日付が正しくないことを示している可能性があります。ユーティリティーの出力を確認し、無効なバックアップコピーが作成されていて削除すべきかどうかを判断してください。

SLS4764I

Point-in-time last backup date successfully restored

説明: CDS 内の最終バックアップ日付の更新後にポイントインタイムバックアップ機能が失敗しました。このメッセージは、以前の最終バックアップ日付が正常に復元されたことを示しています。

システムアクション: バックアップが失敗したのにこのメッセージが発行されなかった場合、CDS 内の最終バックアップ日付が正しくない可能性があります。

ユーザーの対応: 出力を確認してバックアップが失敗する原因となったエラーを突きとめ、要求を再送信してください。

SLS4765E

Vault VVVVVVV cannot be deleted because it is not empty

説明: ボールト VVVVVVV 内にボリュームがあるため削除できません。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: ボールト VVVVVVV を空にしてください。ボールトが空になると、そのボールトを削除できます。

SLS4766E

ASCOMM failure for utility, RC=XXXXXXXX

説明: Address Space Communications Service (ASCOMM) を介して要求が HSC に送信されましたが、リターンコード XXXXXXXX でコンポーネントが失敗しました。

システムアクション: ユーティリティーの要求は失敗します。

User Response: HSC のメッセージとコードに関するマニュアルで ASCOMM のリターンコードを確認し、失敗の原因を特定してください。エラーを修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4770E

UII output file record truncation occurred

説明: ファイル出力を指定した UII 要求が入力されましたが、指定された 1 つまたは複数の UII ファイルレコードが、指定された UII ファイルの論理レコード長に対して長すぎました。その結果、この要求によって生成された UII ファイル出力の 1 つまたは複数のレコードが切り捨てられました。このエラーは、出力ファイルを生成しているプログラム内のエラーを示しています。

システムアクション: 処理は続行されますが、出力ファイルには不完全なレコードが含まれます。

ユーザーの対応: StorageTek テクニカル・サポートに連絡してください。

SLS4771E

UII output file fixed record padding occurred

説明: ファイル出力を指定した UII 要求が入力されましたが、指定された 1 つまたは複数の UII ファイルレコードが、指定された UII ファイルの固定論理レコード長に対して短すぎました。その結果、この要求によって生成された UII ファイル出力の 1 つまたは複数のレコードがパディングされました。このエラーは、出力ファイルを生成しているプログラム内のエラーを示しています。

システムアクション: 処理は続行されますが、出力ファイルにはパディングされたレコードが含まれます。

ユーザーの対応: StorageTek テクニカル・サポートに連絡してください。

SLS4772E

UII output file hex data conversion error occurred

説明: バイナリタイプのファイル出力を指定する UII 要求が入力されましたが、指定された 1 つまたは複数の UII ファイルレコードに、16 進数以外のコンテンツを含むデータがありました。その結果、この要求によって生成された UII ファイル出力の 1 つまたは複数のレコードが 16 進数からバイナリに正しく変換されませんでしたし

た。このエラーは、出力ファイルを生成しているプログラム内のエラーを示しています。

システムアクション: 処理は続行されますが、出力ファイルには誤ったデータレコードが含まれます。

ユーザーの対応: StorageTek テクニカル・サポートに連絡してください。

SLS4773E

No UUI response type specified

説明: 有効な応答タイプ (テキスト、XML、または CSV) を要求していない UUI コマンドが見つかりました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: UUI コマンドを再送信して有効な応答タイプを要求してください。

SLS4774I

CDS CREATE successful; total blocks=NNNNN, number of copies={1|2|3}

説明: 示されているブロック数とコピー数で、CDS CREATE 機能が正常に実行されました。

システムアクション: CDS は使用可能です。

ユーザーの対応: なし

SLS4775I

Dynamic allocation for DD SYSOUT failed RC CCCCCCCC RS SSSSSSSS

説明: DD SYSOUT の割り当ての試みが失敗しました。CCCCCCCC が MVS DYNALLOC サービスからのリターンコード、SSSSSSSS が理由コードになります。

システムアクション: 要求が終了されます。

ユーザーの対応: 動的割り当ての失敗の原因を突きとめ、要求を再実行します。

SLS4780E

SDD error: reason

説明: 関連する SDD 入力コマンドを持つ UUI 要求が送信されました。次のエラーの 1 つが、SDD 入力テンプレートで検出されました。

- SDD コマンドの構文解析エラーが発生しました。

- 指定された SDD DD 名が JCL 内に存在しませんでした。
- 指定された SDD DD の読み取り中に入出力エラーが発生しました。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: UUI SDD コマンドまたはファイルを修正して、要求を再送信してください。

SLS4781E

NSDREQ error: reason

説明: NSDREQ サービスを使用している論理作業ファイルの入出力を要求する UUI 要求が送信されました。次のエラーの 1 つが、関連する要求内で検出されました。

- 論理ファイル DD を作成できませんでした。
- 指定された DD へのアクセス中に入出力エラーが発生しました。
- DD の物理的な書き込み中にエラーが発生しました。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: StorageTek テクニカル・サポートに連絡してください。

SLS4782I

Local DD name DDDDDDDD used for CCCCCCCC command; SDD output file definition ignored

説明: 関連する SDD 出力ファイルコマンドが指定された UUI コマンド CCCCCCCC が送信されました。しかし、コマンドはローカルで処理され、SDD 出力ファイルの定義は必要ありませんでした。代わりに、DD 名 DDDDDDDD が直接書き込まれています。

システムアクション: コマンドの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4783I

No SDD output file specified for remote CCCCCCCC command; using DD name DDDDDDDD

説明: リモート実行用に UUI コマンド CCCCCCCC が送信されましたが、関連する SDD 出力ファイルが指定されていませんでした。リモートファイル出力には、代わりに DD 名 DDDDDDDD が使用されます。

システムアクション: コマンドの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし。コマンドが処理され出力が書き込まれる前に DD 名を検証できるように、出力ファイルを生成するリモート処理コマンドに SDD コマンドを指定することをお勧めします。

SLS4784E

No SDD input file specified for DD name DDDDDDDD for remote CCCCCCCC command; cannot continue

説明: リモート実行用に UUI コマンド CCCCCCCC が送信されましたが、DD 名 DDDDDDDD に関連する SDD 入力ファイルが指定されませんでした。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: DD 名 DDDDDDDD の SDD 入力ファイルコマンドを CCCCCCCC コマンドの直前に追加して、ジョブを再送信してください。

SLS4785I

SDD input file specification for DD name DDDDDDDD unnecessary for local CCCCCCCC command

説明: 関連する SDD 入力ファイルコマンドが指定された UUI コマンド CCCCCCCC が送信されました。しかし、コマンドはローカルで処理され、SDD 入力ファイルの処理は必要ありません。しかし、DD 名 DDDDDDDD は、直接読み取られる代わりに SDD サービスを使用して処理されます。

システムアクション: コマンドの処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS4786E

SDD DD name DDDDDDDD for CCCCCCCC command conflicts with PPPPPPPP parameter DD name VVVVVVVV

説明: SDD DD 名 DDDDDDDD を指定した UUI コマンド CCCCCCCC が送信されました。しかし、コマンドパラメータ PPPPPPPP は、別の DD 名 VVVVVVVV を指定していました。

システムアクション: UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: SDD コマンドと JCL、または指定したコマンドのいずれかを修正して、SDD DD 名をパラメータの DD 名と一致させてください。

SLS4806I

XAPI CCC...CCC:

説明: XAPI コマンドが、要求されたテキスト出力とともに入力されました。このメッセージは、コマンド出力に先行します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4807I

VTCS not active; VTV status information not available

説明: 仮想ドライブステータスの要求を含む QUERY DRIVE_INFO コマンドが処理されました。しかし、VTCS はアクティブでなかったため、マウントされた VTV 情報は使用できませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4808I

Volume list for group|drive information contains both real and virtual volumes

説明: QUERY VOLUME_INFO コマンドは、GROUP または DRIVE マウント形式要求とともに処理されました。入力リストは、実ボリュームと仮想ボリュームの組み合わせを含んでいたため、互換性のあるグループまたはドライブのリストを生成できませんでした。

システムアクション: GROUP または DRIVE のデータが生成されません。

ユーザーの対応: 入力ボリュームのリストに実ボリュームのみまたは仮想ボリュームのみ含まれるように修正して、要求を再送信してください。

SLS4809I

Requested drive count exceeded; drive list truncated

説明: QUERY VOLUME_INFO コマンドは、要求されたドライブの最大数とともに処理されました。選択可能なドライブのリストは戻ってきましたが、要求された最大数を超過したため、一部削除され短くなりました。

システムアクション: 返されたドライブの数は要求された最大数と同じです。

ユーザーの対応: なし

SLS4810I

Number of requested volumes exceeds maximum of NNN from console for CCC...CCC command

説明: コマンド CCC...CCC をコンソールから受け取りました。要求内のボリューム数が、コンソールから認められた最大数 NNN を超過しました。

システムアクション: ボリュームの最大数が表示されます。

ユーザーの対応: 超過したボリュームに対して新しい要求を送信するか、ユーティリティーから要求を送信してください。

SLS4811I

Command CCC...CC1 parameter CCCCCC2 not allowed from console

説明: コマンド CCC...CC1 を、コンソールからの要求ではサポートされないパラメータ CCCCCC2 とともにコンソールから受け取りました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: パラメータなしでコマンドを送信するか、ユーティリティーから要求を送信してください。

SLS4812I

Subpool S...S label type LLL does not match request

説明: QUERY SCR_MNT_INFO 要求上で、要求されたラベルタイプ (指定した場合) が、要求されたサブプール S...S に関連付けられたラベルタイプ LLL と一致しませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。要求されたラベルタイプは無視されます。

ユーザーの対応: 可能であれば、不一致を解消してコマンドを再送信してください。同じラベルとスクラッチサブプールパラメータを使用してマウントしようとする、拒否されるか (VOLPARM が有効な場合)、またはスクラッチボリュームが正しくないサブプールから選択される可能性もあります。

SLS4813I

Unrecognized value CCCCCCC for media|rectech parameter; value ignored

説明: QUERY SCR_MNT_INFO 要求で、MEDIA または RECTECH パラメータの値が、HSC に定義された値のいずれにも一致しませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。要求された MEDIA または RECTECH は無視されます。入力値がリストの場合、リスト内の有効な値が要求処理に使用されます。それ以外の場合、要求はパラメータが指定されなかったときのように処理されます。

ユーザーの対応: 問題の原因が、サーバーでサポートされるメディアや記録技法と互換性がないことである場合、可能ならばクライアントとサーバーの両方が同じデバイスをサポートするか確認してください。それ以外の場合は、無効な値を修正してコマンドを再送信してください。

SLS4814I

No compatible values found between MEDIA and [rectech|model]

説明: MEDIA と RECTECH、または MEDIA と MODEL のいずれかが要求に指定されましたが、指定された値には互換性のないタイプが含まれていました。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: MEDIA、RECTECH、MODEL の 1 つだけを指定して要求を再送信するか、2 つのパラメータの値に互換性があることを確認してください。

SLS4960I

Move "To" panel is frozen

説明: 凍結されたパネルへの移動を指定した MOVE コマンドまたはユーティリティー機能が試行されました。

システムアクション: 要求されたコマンドまたはユーティリティーは終了します。移動は実行されません。

ユーザーの対応: 凍結されていない TPanel を指定して、コマンドまたはユーティリティーを再入力してください。そのパネルが凍結されているべきではない場合は、SET FREEZE(OFF) ユーティリティーを使用して凍結を解除してください。

SLS4970I

SEN QUEUE DISPLAY STATUS

CURRENT REQUESTORS 99999999
REQNAME RRRRRRRR LNRNAME LLLLLLLL TOKEN TTTTTTTT

FLAGS FFFFFFFF
EVENT EEEEEEEE

説明: これは Display SEN Queue コマンドからの出力です。生成される出力は、指定したパラメータによって異なります。パラメータが指定されていない場合は、SEN QUEUE 内のすべてのエントリが表示されます。REQname が指定された場合、REQname に一致する要求元だけが表示されます。LNRname が指定された場合、REQname を指定する必要があります。LNRname が指定された場合、REQname および LNRname に一致する要求元およびリスナーだけが表示されます。

- 99999999 は、SEN QUEUE にある要求元の数です。
- RRRRRRRR は要求元の名前です。
- LLLLLLLL はリスナーの名前です。
- TTTTTTTT は、要求元トークンの 16 進数表示です。
- FFFFFFFF は、SEN QUEUE ENTRY の処理フラグの記述です。
- EEEEEEEE は待機されるイベントの記述です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS4971I

Significant Event Notification facility not active

説明: SEN Queue エントリの表示が試行されました。しかし、重要イベント通知機能がアクティブではありません。

システムアクション: DISPLAY SEN コマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しいバージョンの HSC を実行していることを確認します。正しいバージョンを確実に実行している場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4972I

SEN QUEUE is empty

説明: SEN Queue エントリの表示が試行されました。しかし、SEN QUEUE はエントリを含んでいませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: SEN QUEUE にエントリを追加するためのタスクが確実に実行されているかどうかを確認します。タスクが正しく実行されている場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS4973I

REQNAME NNNNNNNN not found

Explanation: SEN QUEUE にある特定の要求元の表示が試行されました。しかし、指定された要求元は見つかりませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 要求元の名前を正しく入力していることを確認してください。

SLS4974I

LNRNAME NNNNNNNN not found

Explanation: SEN QUEUE にある特定のリスナーの表示が試行されました。しかし、指定されたリスナーは見つかりませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: リスナーの名前を正しく入力していることを確認してください。

SLS5010I

CCCCCCCC submitted to VSM system

説明: CCCCCCCC コマンドが処理のために VSM システムに送信されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5011I

TTTTTTTT-TTTTTTTT

説明: TTTTTTTTT は、入力コマンドに対して VTCS によって戻される応答テキストです。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5012I

CCCCCCCC failed - VSM not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、CCCCCCCC コマンドが失敗しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: VSM システムがアクティブでない原因を特定してください。

SLS5013I

CCCCCCCC completed (RRRRRRRR)

説明: CCCCCCCC が最終結果コード RRRRRRRR で完了しました。RRRRRRRR の値がゼロ (0) でない場合は、失敗の理由を示す 2 行目が表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5014I

CCCCCCCC requests - MIGRATES=N RECALLS=N RECLAIMS=N

説明: Display 要求への応答として、VSM は N 個の処理を報告します。CCCCCCCC は処理のタイプ (Active または Queue) です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5015I

Display RTD

説明: VT DISPLAY RTD 要求への応答として、VSM は RTD のステータスを報告します。返される情報には、ステータス (ONLINE/OFFLINE/MAINTENANCE)、アクティビティ (マウント済み、リコール中、移行中、マウント中) および MVC ボリューム ID が含まれます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5016I

Display active/queued detail

説明: VT Display DETail 要求への応答として、VSM は各 VSM アクティビティのステータスを報告します。ステータスには、機能、プロセス ID、VTV ID、MVC ID、RTD および関連する VTSS が含まれます。機能には次のものがあります。

- VTV_upd

VTV ステータスおよび CDS の再同期。

- MVC_upd

MVC ステータスのリセット。

- マウント解除

VTV のマウント解除。

- Sel_scr

PGMI スクラッチ選択。

- Recall

MVC からの VTV のリコール。

- MVC_inv

MVC の監査。

- VTSS_inv

VTSS の監査。

- マウント

VTV のマウント。

- Migrate

MVC への VTV の移行。

- MVC_chek

MVC の照会。

- Drain

MVC からの VTV の排出。

- Scratch

VTV のスクラッチ。

- Transfer

VTSS 間の VTV の転送。

- Unscratch

VTV のアンスクラッチ。

- Vary@

RTD の変更。

- VTV_chek

VTV の照会。

- Unload

RTD からの MVC のアンロード。

- Audit#

Audit ユーティリティーの要求。

- Migrate@

移行コマンドまたはユーティリティー

- Recall@

リコールコマンドまたはユーティリティー

- Reclaim@

リクレイムコマンドまたは自動リクレイム要求。

- Drain@

排出コマンド

- Mig_set@

移行しきい値設定コマンド

- Mig_thr@

しきい値までの移行コマンド

- Cancel@

取り消しコマンド

- Display@

表示コマンド

- QRY/SET@

照会または設定コマンド

QUEUED 活動については、待機の理由が次のように報告されます。

- TSK

ほかのホスト上でのロック処理待ち

- VTD

CPU 待ち

- MVC

MVC ロック待ち

- VTV

VTV ロック待ち

- INV

使用可能な監査 (インベントリ) タスク待ち

- CMD

コマンドプロセッサタスク待ち

- DSP

メインディスパッチャータスク待ち

- SS

使用可能な VTSS タスク待ち

- RTD

使用可能な RTD タスク待ち

- DRV

空き RTD 待ち

- SCR

スクラッチテープ待ち

- RCM

スペースリクレイムマネージャータスク待ち

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5017I

CCCCCCC Nothing to display

説明: CCCCCCC コマンドが完了しましたが、表示するものはありません。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5018I

Range/List item greater than maximum - First 64 processed

説明: VT Display/VT Vary RTD コマンドの RTD リストの範囲/リストに、最大許容数 64 を超える数が含まれています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 範囲/リストの RTD を 64 よりも少なくしてコマンドを再送信してください。

SLS5019I

VT CCCCCCC command not processed - RRRRRRRR

説明: VT コマンド CCCCCCC が、次の理由 (RRRRRRRR) により処理されませんでした。

- VCI not initialized - VSM システムの通信コンポーネントが初期化されていません。

- Processor not loaded - コマンドプロセッサがロードされていません。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の理由を特定して修正してください。

SLS5020I

CCCCCCCC Nothing to display

説明: VT コマンド CCCCCCCC が完了しましたが、表示するものはありません。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5021I

MVC volume VVVVVVVV set to NONSCRATCH

説明: VSM MVC ボリューム VVVVVVVV のステータスがスクラッチから非スクラッチに変更されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5022E

*VT CCCCCCCC command cannot be processed - VTCS has not initialized
.Reply if command is to be cancelled*

説明: VTCS が初期化されていないため、VTCS コマンド CCCCCCCC は現時点では処理できません。

システムアクション: システムは、VTCS が初期化されるまで待機します。それが発生すると、コマンドが処理されます。コマンドが処理される前に HSC/VTCS の終了が要求された場合、コマンドはキャンセルされます。

ユーザーの対応: VTCS が初期化されていなかった原因を調査します。コマンドをキャンセルする場合にのみ、このメッセージに対して任意の 1 文字を応答してください。コマンドがキャンセルされたことを確認するためにメッセージ SLS5023I が出力されます。VTCS の初期化後にコマンドをシステムに処理させる場合は、応答を未決のまま残しておいてください。

SLS5023I

VT CCCCCCCC command cancelled due to RRR

説明: VTCS コマンド CCCCCCCC に対し、VTCS が初期化されていなかったためにコマンドを処理できなかったことを示すメッセージ SLS5022E が事前に出力されていました。そのあと、次に示す理由によって、コマンドは処理されることなくキャンセルされました。

- RRR が「operator request」である場合、VTCS コマンド CCCCCCCC は、メッセージ SLS5022E に応答があったためキャンセルされました。
- RRR が「HSC/VTCS termination」である場合、HSC または VTCS、あるいはその両方の終了が検出されたため、VTCS コマンド CCCCCCCC はキャンセルされました。コマンドは処理されずにキャンセルされました。

システムアクション: コマンドは処理されずにキャンセルされました。

ユーザーの対応: 必要に応じて、VTCS の初期化後にコマンドを再発行してください。

SLS5024I

Timeout on ECAM I/O to device NNNN

説明: VTCS は、デバイス NNNN に対して、ECAM 入出力の完了を待っています。このメッセージは、VTCS タイマーが期限切れになったものの、入出力が完了していないことを示します。

システムアクション: VTCS は引き続き入出力の完了を待ちます。

ユーザーの対応: HSC のログおよび SYSLOG で、メッセージ内で特定されたアドレスにエラーが存在しないかどうかを確認してください。問題の VTD アドレスに IOSnnnn メッセージが存在する場合は、エラーが単一のパスに限られているかどうかを判断します。その場合は、影響を受けるパスをオフラインにしてください。エラーがすべてのパスに影響すると思われる場合は、*Vary nnnn, OFFLINE, FORCE* コマンドを発行してデバイスのバイパスを試行できます。問題が修正されたら、デバイスをオンラインに戻すことができます。エラーが修正され、VTD アドレスが適切にオンラインになった場合、HSC/VTCS を再起動する必要はありません。VTSS がオフラインになった場合、*VT Vary VTSS(nnnnnnnn) ONline* を発行して VTSS をオンラインにできます。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS5075I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDDDD - Complete

説明: マウント要求への応答として、指定された VIRTUAL トランスポート DDDDDD 上にボリューム VVVVVV がマウントされました。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5076I

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD - Complete

説明: 指定された VIRTUAL トランスポート DDDDDD からの VVVVVV のマウント解除が完了しました。このメッセージを受け取っても、必ずしもマウント解除が成功したとは限りません。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5077E

MOUNT of VVVVVV on drive DDD - Failed (RC) - VSM is not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、VIRTUAL ドライブ DDD へのボリューム VVVVVV のマウントが失敗しました。RC は HSC/VTCS からのリターンコードです。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: 問題を修正してから、マウント要求を再発行してみてください。

SLS5078E

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDD - Failed (RC) - VSM is not active

説明: VSM システムがアクティブでないため、VIRTUAL ドライブ DDDDDD からのボリューム VVVVVV のマウント解除が失敗しました。RC は、HSC/VTCS サポートシステムからのリターンコードです。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: 問題を修正してから、マウント解除要求を再発行してみてください。

SLS5079E

MOUNT of VVVVVV on DDDD - Failed (RC) - ERRTEXT

説明: VIRTUAL ドライブ DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが失敗しました。失敗の理由はメッセージの *ERRTEXT* 部分に定義されています。RC は HSC/VTCS からのリターンコードです。

さまざまな理由テキストの説明、システムアクション、およびユーザーの対応について、次に詳しく説明します。理由テキストにはもっとも可能性の高い例が示されるため、メッセージが発行されたコンテキストは常に特定されるはずですが、出力された状況によっては一致しない場合があります。

DRIVE ALREADY HAS A VTV MOUNTED

説明: デバイス DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが要求されました。VTCS は、デバイスに VTV がすでにマウントされていると判断しました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: デバイスにマウントされている VTV を特定してください。マウントされているべきではない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

INTERNAL ERROR OCCURRED RC=RRRRRRRR

説明: デバイス DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが要求されました。マウント処理中に、VTCS に内部エラー (リターンコード *X'RRRRRRRR'*) が発生しました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

INVALID VIRTUAL SUBPOOL PPPPPPPP

説明: デバイス *DDDD* へのスクラッチボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。スクラッチボリュームは、(TAPEREQ 文などにより) サブプール *PPPPPPPP* に関連付けられていますが、このサブプールは無効であることがわかりました。有効にするには、サブプールが存在し、スクラッチボリュームを含んでいる必要があります。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: サブプールの選択方法 (TAPEREQ 文など) を確認してください。PPPPPPPP がサブプールの名前で、スクラッチボリュームを含んでいるかどうかを確認してください。必要な修正を行なってください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

INVALID VTD ADDRESS SSSSSSSS FOR VTV

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。VTCS は、VTSS *SSSSSSSS* にあるデバイス (VTD) *DDDD* の内部制御ブロックを見つけることができませんでした。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

MVC: MMMMM CANCELLED BY OPERATOR

説明: デバイス *DDDD* への、移行済みボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。リコールとマウントが完了する前に、オペレータによって、リコールを取り消す VT CANCEL コマンドなどを使用して要求が取り消されました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応:

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

MVC: M M M M M MVC COULD NOT BE MOUNTED

説明: デバイス *DDDD* への、移行済みボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。VTCS は MVC *MMMMMM* から VTV のリコールを開始しましたが、MVC をマウントできませんでした。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: より詳細エラーメッセージなどから、MVC のマウントに失敗した理由を確認してください。見つかった問題を修正してください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

MVC: M M M M M NO ACCESS TO VTSS S S S S S S S S TO VERIFY VTV LOCATION

説明: デバイス *DDDD* への、移行済みボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。VTV は以前、VTSS *SSSSSSSS* に常駐していました。このホストは VTSS にアクセスできないため、VTV のコピーが存在するかどうか確認できません

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: VTSS *SSSSSS* がこのホストからアクセス可能であり、このホストとオンラインで接続されていることを確認してください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

MVC: M M M M M No RTDs for requested media and ACS

説明: デバイス *DDDD* への、移行済みボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。リコール処理中に、要求されたメディアタイプをマウントできる RTD が ACS 内に存在しないと判断されました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、構成の変更が原因です。MVC メディアタイプとボリュームの ACS の場所、または VTV にアクセスできるほかの MVC がないかどうかを確認します。

- マウントがまだ必要な場合は、MVC を適切なタイプの RTD を持つ ACS に移動してマウントを再試行するか、そのほかの MVC コピーを VTV のリコールに使用できるようにします。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

(MVC:MMMMMM) VTD status changed during Recall/Mount

説明: デバイス DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが要求されました。

移行済み VTV の場合、メッセージには VTV を含む MVC を表す

「MVC:MMMMMM」が含まれ、リコール中に VTD ステータスが変更されたことを示します。MVC MMMMMM からのリコールが完了したときに、VTCS はデバイスが別の VTCS 要求に関連付けられていることを検出しました。このメッセージが表示される一般的なシナリオは次のとおりです。

- バッチジョブがデバイス DDDD への VTV VVVVVV のマウントを要求します。
- VTV が移行され、VTCS がリコールを開始します。
- バッチジョブは取り消されます。
- 2 番目のジョブがデバイス DDDD への別の VTV のマウントを要求します。
- VTV VVVVVV のリコールは完了します。
- VTCS は元のマウントを実行しようとしませんが、デバイスがもはやボリューム VVVVVV を処理していないことを検出します。

VTV が常駐していた場合、メッセージには「MVC:MMMMMM」が含まれず、マウント中に VTD ステータスが変更されたことを示します。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応:

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

NO MVCS AVAILABLE

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。VTV がデバイス *DDDD* を含む VTSS とは異なる VTSS に常駐しているため、VTV の転送が開始されました。この転送は、別の VTSS から VTV を移行し、デバイス *DDDD* を含む VTSS にリコールすることにより実行されます。

使用できる MVC がないため、ほかの VTSS から VTV を移行できませんでした。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: VTV *VVVVVV* が常駐している場所を確認してください。次に、次のいずれかを実行してください。

- その VTSS 内のデバイスを選択するように JCL を変更する。
- 移行で MVC を選択できなかった理由を調査する。見つかった問題を修正してください。

マウントがまだ必要であれば、再試行してください。失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

PROBLEM DECODING VCI REQUEST

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。マウント処理中に VTCS で内部エラーが発生しました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SUBSYSTEM TERMINATING

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。デバイス *DDDD* を含む VTSS のタスクが、VT VARY VTSS(SSSSSSSS) OFFLINE コマンドなどの結果として終了しようとしていたか、または終了していたため、VTCS はマウントを処理できませんでした。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: デバイス *DDDD* を含む *VTSS* のステータスを確認してください。オンラインであるはずがそうになっていない場合は、*VT VARY VTSS(SSSSSSSS)* *ONLINE* を発行してください。VTSS がオンラインになると、VTCS がマウントを処理します。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV CONTENTS SUSPECT

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。VTV が「隔離」されていることが検出されました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: メッセージ *SLS6657E* については、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV: VVVVVV INACCESSIBLE/BAD VTSS SSSSSSSS REFERENCED

説明: *VTSS SSSSSSSS* で、デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。次のいずれかが原因で、VTV *VVVVVV* をマウントできませんでした。

- *VTSS* の状態。VTSS がこのホストからアクセスできないか、オンラインではありませんでした。
- スクラッチマウントの場合に、マウントを何度も試行したが失敗した。これは、別の製品が、スクラッチステータスでないために VTV を繰り返し拒否した場合に発生することがあります。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: 特定 (スクラッチ以外) のマウントの場合、*VTSS SSSSSSSS* がこのホストからアクセス可能で、このホストとオンラインで接続されていることを確認してください。見つかった問題を修正してください。

スクラッチマウントの場合、スクラッチの定義が VTCS の定義と同期されていないなどの理由で、別の製品がマウントを拒否していないか確認してください。

必要な変更を行なってください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV: VVVVVV ATTEMPTS TO SELECT A SCRATCH VTV HAVE BEEN EXHAUSTED

説明: VTSS SSSSSSSS のデバイス DDDD で、スクラッチマウントが要求されました。内部で指定された VTV 数がスクラッチとして選択されたあと、適格でないスクラッチであることが判明したため、マウント要求が失敗しました。

メッセージ内に記載されたボリューム VVVVVV が、この状態で最後に検出された VTV です。このエラーは、スクラッチステータスではないとして別の製品が各 VTV を繰り返し拒否した場合、または CDS 内の VTV スクラッチステータスが VTCS 内部のスクラッチカウントと同期されていない場合に発生することがあります。

システムアクション: VTV スクラッチマウント要求はあとで再試行されます。

ユーザーの対応: スクラッチの定義が VTCS の定義と同期されていないなどの理由で、別の製品がマウントを拒否していないか確認してください。

必要な変更を行なってください。失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV VVVVVV IS STILL MOUNTED

説明: デバイス DDDD へのボリューム VVVVVV のマウントが要求されました。VTCS は、前のマウントで VTV がまだマウントされていることを識別しました。

システムアクション: マウントは失敗しますが、VTCS はマウントを再試行します。

ユーザーの対応: VTV VVVVVV の前のマウントが、現在のマウントと異なるホストで実行されたかどうかを確認してください。その場合は、ホスト間で SYSZVOLS ENQueues が正常に伝達されているかどうかを確認してください。

- 前のマウントが同じホストで行なわれていた場合は、マウント解除が失敗した理由がほかにないか確認してみてください。見つかった問題を修正してください。

- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VVVVVV IS NOT A VALID VTV

説明: デバイス *DDDD* へのボリューム *VVVVVV* のマウントが要求されました。

VTCS は、*VVVVVV* が VTCS 構成の中で *VTVVOL* 文を介して、Virtual として定義されていないと判断しました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: 仮想以外の割り当てが仮想デバイス (VTD) *DDDD* に実行された原因を確認してください。割り当てに影響するエソテリック、JCL、TAPEREQ 文、ACS ルーチン、およびユーザー出口を確認することをお勧めします。

必要な修正を行なってください。

- マウントがまだ必要であれば、再試行してください。
- 失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV: VVVVVV ECAM ERROR CC=CCC RC=RRR

説明: ECAM エラーのため、*VTV VVVVVV* がマウントに失敗しました。ECAM 完了コードは *CCC*、リターンコードは *RRR* です。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: 適切な ELS ガイドを参照してください。失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV: VVVVVV VOLUME ACCESS CONTROL GAVE RC=RRRRRRRR

説明: スクラッチマウントを実行するために *VTV VVVVVV* が選択されましたが、マウントが拒否されました。その理由は、ユーザー出口 14 に関して次のとおりです。

- リターンコード *UX14RJCT* (拒否) を設定しました。

- リターンコード UX14PWRD (パスワードチェック) を設定し、HSC によるパスワードチェックが失敗しました。
- リターンコード UX14RACF/UX14RACL (RACROUTE チェック) を設定し、HSC によって実行された RACROUTE チェックで、要求元が VTV VVVVVV にアクセスできないと判明しました。
- リターンコード UX14RACF/UX14RACL (RACROUTE チェック) を設定し、HSC によって実行された RACROUTE チェックで、要求元が VTV VVVVVV を読み取ることはできるが更新はできないことが判明しました。そのため、HSC は VTV VVVVVV を書き込み禁止としてマウントすることを要求しました。
- リターンコード UX14NWRT (書き込み禁止) を設定しました。

SLS2978A、SLS2979I、SLS2980I、SLS2985I、または SLS2986I のうち、1 つ以上のメッセージがこのメッセージに先行する場合があります。

X'RRRRRRRR' は、ユーザー出口 14 を呼び出し、ユーザー出口 14 によって要求される処理を実行したあとに、HSC によって VTCS に渡されるリターンコードです。

- X'91309130' は、パスワードまたは RACROUTE チェックが失敗したために、VTV VVVVVV のマウント要求がユーザー出口 14 または HSC によって拒否されたことを示します。
- X'91319131' は、VTCS が VTV VVVVVV を書き込み禁止としてマウントするように要求されたことを示します。スクラッチマウントを実行するために選択された VTV は書き込み可能としてマウントされる必要があるため、これは VTCS によって拒否されました。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: 先行するメッセージ、SLS2978A、SLS2979I、SLS2980I、SLS2985I、または SLS2986I を探してください。VTCS がリターンコード X'RRRRRRRR' を受け取った理由と、マウントを要求しているアドレス空間の詳細 (ジョブ名など) が記載された VTV vvvvvv にとって、これが正しい応答だったかどうかを確認してください。

マウントがまだ必要な場合は、ふたたびマウントが失敗しないように必要な変更を行ってから、マウントを再試行してください。

VTV IS IMPORT BLOCKED

説明: VTV VVVVVV は、IMPORT 要求の完了をまだ保留しているため、アクセスできません。

システムアクション: マウントは失敗します。

ユーザーの対応: IMPORT 処理中に、エラー状態があったかどうかを確認してください。この原因として考えられるのは、LOGPOL=REQUIRED が指定されているが、IMPORT 時点でロギングがアクティブではなかった場合などです。この状態は、失敗の原因となった問題をまず修正してから次の手順に従うことでクリアできます。

1. 「Display VTV VVVVVV」を発行し、次の行を記述します。

Importing: NNNN (VTD address)

2. 「Dismount VVVVVV NNNN」を発行します。

VTV のマウントを再試行します。失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

MVC:MMMMMM MMMMMM Partition map not found

説明: VTV VVVVVV は、MVC MMMMMMM 上に、パーティションモードで書き込まれた移行済みのコピーを持っています。パーティションモードの各 MVC について、パーティションの使用法を記述したレコードが CDS 内にあるはずですが、このレコードは、パーティション (割り当て) マップと呼ばれます。VTCS は、MVC MMMMMMM のパーティションマップを読み取ることができませんでした。

システムアクション: マウントは失敗します。

User Response: Drain or audit MVC MMMMMMM, then attempt the mount again.

SLS5080E

DISMOUNT of VVVVVV from DDDDDD - Failed (RC) - ERREXT

説明: VIRTUAL ドライブ DDDDDD からのボリューム VVVVVV のマウント解除に失敗しました。失敗の理由はメッセージの ERREXT 部分に定義されています。RC は HSC/VTCS からのリターンコードです。

さまざまな理由テキストの説明、システムアクション、およびユーザーの対応について、次に詳しく説明します。理由テキストにはもっとも可能性の高い例が示され

るため、メッセージが発行されたコンテキストは常に特定されるはずですが、出力された状況によっては一致しない場合があります。

VTV VVV222 IS STILL MOUNTED

説明: ボリューム VVVVVV はデバイス DDDDDDD からマウント解除中でした。VTCS は、VTV VVV222 がまだデバイスにマウントされていると判断しました。

リターンコードは次のとおりです。

- VVVVVV と VVV222 が異なる場合は 4。通常、これはマウント要求 VVV222 とマウント解除要求 VVVVVV が正しくない順序で VTCS に出されたことを示します。
- VVVVVV と VVV222 が同一の場合は 12。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: リターンコードが 4 で、VTV VVVVVV がマウントされていない場合、エラーはありません。

それ以外の場合は、VTV VVVVVV と VVV222 のステータスを確認してください (異なる場合)。各 VTV について、VTV がマウントされているが、マウントされているべきではない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

INTERNAL ERROR OCCURRED RC=RRRRRRRR

説明: ボリューム VVVVVV はデバイス DDDDDDD からマウント解除中でした。マウント解除の処理中に、VTCS に内部エラー (リターンコード X'RRRRRRRR') が発生しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: VTV のステータスを確認してください。マウントされているが、マウントされているべきではない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

INACCESSIBLE/BAD VTSS SSSSSSSS REFERENCED

説明: ボリューム VVVVVV はデバイス DDDDDD からマウント解除中でした。VTSS SSSSSSSS が、このホストからアクセスできないか、このホストとオンラインで接続されていないという状態のため、VTCS はマウント解除を処理できませんでした。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: VTSS SSSSSSSS がこのホストからアクセス可能であり、このホストとオンラインで接続されていることを確認してください。VTV のステータスを確認してください。マウントされているが、マウントされているべきではない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

NO ACCESS TO VTSS SSSSSSSS TO VERIFY VTV LOCATION

説明: ボリューム VVVVVV はデバイス DDDDDD からマウント解除中でした。VTSS SSSSSSSS が、このホストからアクセスできないか、このホストとオンラインで接続されていないという状態のため、VTCS はマウント解除を処理できませんでした。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: VTSS SSSSSSSS がこのホストからアクセス可能であり、このホストとオンラインで接続されていることを確認してください。

VTSS SSSSSSSS がオンラインになったら、VTV のステータスを確認してください。マウントされているが、マウントされているべきではない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTSS SSSSSSSS IS CURRENTLY OFFLINE

説明: ボリューム VVVVVV は、VTSS SSSSSSSS のデバイス DDDDDD からマウント解除中でした。VTSS SSSSSSSS がオフラインのため、VTCS はマウント解除を処理できませんでした。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: VTSS SSSSSSSS のステータスを確認してください。オンラインであるはずがそうになっていない場合は、VT VARY VTSS(SSSSSSSS) ONLINE を発行してください。

VTSS SSSSSSSS がオンラインになったら、VTV のステータスを確認してください。マウントされているが、マウントされていない場合は、MVS Unload コマンドおよび HSC Dismount コマンドを使用して、アンロードまたはマウント解除を試行してください。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

PROBLEM DECODING VCI REQUEST

説明: ボリューム VVVVVV はデバイス DDDD からマウント解除中でした。マウント解除の処理中に VTCS で内部エラーが発生しました。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

VTV IS IMPORT BLOCKED

説明: VTV VVVVVV は、IMPORT 要求の完了をまだ保留しているため、アクセスできません。

システムアクション: マウント解除は失敗します。

ユーザーの対応: IMPORT 処理中に、エラー状態があったかどうかを確認してください。この原因として考えられるのは、LOGPOL=REQUIRED が指定されている

が、IMPORT 時点でロギングがアクティブではなかった場合などです。この状態は、失敗の原因となった問題をまず修正してから次の手順に従うことでクリアできます。

1. 「Display VTV vvvvvv」を発行し、次の行を記述します。

Importing: nnnn (VTD address)

2. 「Dismount vvvvvv nnnn」を発行します。

失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

CDS LOGGING FAILURE - HSC RC=RRRR

説明: VTCS 構成が LOGPOL=REQUIRED を指定していますが、これは特定の更新を CDS に適用する前に記録する必要があることを示しています。

ボリューム VVVVVV は VTD DDDD から正常にマウント解除されました。VTCS は VTV VVVVVV のステータス変更を記録しようとしたましたが、これは RC=RRRR で失敗しました。このメッセージの前に出力される SLS6904E に、RC=RRRR の意味を説明するテキストが含まれています。

システムアクション: 更新の記録に失敗したため、VTCS は CDS を更新できません。CDS はまだ VTD DDDD にマウントされているため、VTV VVVVVV を正しく表示しません。

ユーザーの対応: VTV VVVVVV について表示された誤ったマウントステータスは、VTV が次にマウントされてマウント解除されると自動的にクリアされます。

VTV がマウントされていると表示されている間は、移行、複製、電子エクスポートはできません。

誤ったマウントステータスを手動でクリアするには:

1. コマンド「Display VTV(vvvvvv)」を発行し、次の行を記述します。

"Mounted: dddd" (VTD address).

2. コマンド「DISMount vvvvvv,dddd」を発行します。

SLS5081I

DISMOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD sent to VSM

説明: マウント解除の処理要求が VSM システムに送信されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5082I

MOUNT of VVVVVV from drive DDDDDD sent to VSM

説明: マウントの処理要求が VSM システムに送信されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5083I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDD already in progress

説明: マウントの処理要求が VSM システムに送信されました。しかし、重複する要求が、現在 VSM によって処理されています。重複する要求とは、同一の仮想デバイス、ボリュームシリアル番号、サブプール、およびマネージメントクラスが指定された要求です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 元の要求が完了するまで待機してください。

SLS5084I

MOUNT of VVVVVV on drive DDDD already redriven

説明: マウントの処理要求が VSM システムに送信されました。しかし、重複する再試行要求が、VSM からの最終応答まですでに待ち状態になっています。重複する再試行要求とは、同一の仮想デバイス、ボリュームシリアル番号、サブプール、およびマネージメントクラスが指定された要求です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 元の要求が完了するまで待機してください。

SLS5626I

CCCCCCCC parms installed from data set DDDDDD

説明: CCCCCCCC = インストールされるパラメータ (VT MVCDef)。VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC は示されたデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードしました。このメッセージが発行された時点では、これらのパラメータは HSC によって使用されています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5627I

CCCCCCCC parms not installed, reason code XXXX

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC は示されたデータセットに含まれているパラメータ文を正常にロードできませんでした。

- CCCCCCCC = インストールされるパラメータのタイプ (VT MVCDef)
- XXXX = 16 進数の理由コード:

パラメータがロードされなかった理由を示す理由コードと定義を次に示します。

- 0008 - 1 つ以上の文で構文エラーが発生しました
- 0009 - 2 つの文の間で矛盾が検出されました
- 000C - データセットの読み取りで I/O エラーが発生しました
- 0010 - HSC がデータセットを割り当てることができませんでした
- 0014 - HSC がデータセットをオープンできませんでした
- 0018 - データセットの処理に使用できる十分なメモリーがありませんでした
- 001C - 過剰な数のエラー (50)

いずれの場合も、発生したエラーの詳細を示すメッセージ SLS5628I または SLS0002I がこのメッセージに先行します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再試行してください。

SLS5628I

CCCCCCCC: record DDDDDDDD ... EEEE

説明: VT MVCDEF コマンドまたは制御文の処理時に、HSC でエラーが発生しました。

- *CCCCCCCC* は、コマンドまたは制御文のタイプです (VT MVCDEF)
- *DDDDDDDD* は、ファイル内のレコードの番号を示す 10 進数値です
- *EEEE* は、複数行からなるこのメッセージの次の行を示すシステム生成番号です。レコード番号は、エラーの文を示します。レコード番号がゼロ (0) の場合、データセットの問題、または 2 つ以上のレコードが関係するエラーが発生していることを示します。

このメッセージは 2 行からなるメッセージであり、2 行目はエラーのタイプを示します。2 行目のテキストは次のいずれかです。

- データセット割り当てのエラー; コード *XXXX-XXXX*

XXXX-XXXX = DYNALLOC エラーコードおよび理由コード

- データセットを開くエラー; 完了コード *XXX-XX*

XXX-XX = OPEN 完了コードおよび理由コード

- 文が長すぎます
- ファイル終了時にコメントが閉じていません
- データセット読み取りの I/O エラー: *CCCCCCCC*

CCCCCCCC = SYNADAF により生成されたエラーメッセージ

- 認識されていない文
- JES3 でサポートされていないパラメータです
- メモリーが不足しています
- 過剰な数のエラーのためファイルの処理を終了します
- *CCCCCCCC {parameter|list|range}* のエラー: *TTTTTTTT*

CCCCCCCC = エラーのパラメータ、リスト、または範囲

TTTTTTTT = エラーテキスト (下記参照)

- 列付近のエラー NNN: *TTTTTTTT*

NNN = エラーが検出された列番号

TTTTTTTT = エラーテキスト (下記参照)

最後の2つの2行目メッセージには、次のエラーテキストが含まれる可能性があります。

- キーワードが不明です
- 必要な値が見つかりません
- 何も許可されていないときに値が指定されています
- 相互に排他的なパラメータが見つかりました
- 位置指定のエラーです
- 構文エラーです
- 無効な値です
- 必須パラメータがありません
- 相互に必要なパラメータがありません
- 無効な値の長さです
- DD3D は MEDIA 値として無効です

ここに記載されていないテキストについては、メッセージ SLS1973I を参照してください。

システムアクション: 表示されたレコード番号がゼロである場合、またはファイルで 50 個のエラーが検出される場合を除き、HSC はデータセットの処理を続けます。この2つの状況に該当する場合は、データセットの処理が終了します。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再発行してください。

SLS5629I

CCCCCCCC:DDDDDD does not contain any STMTS to process

説明: VT MVCDef への応答として、HSC は示されたデータセット内に適切なタイプの文を検出しませんでした。コマンドによる適切な文は MVCPool です。

- CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (VT MVCDef)。
- DDDDDD はデータセット名です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: パラメータデータセットの問題を修正して、コマンドを再試行してください。

SLS5630I

CCCCCCCC parameters are not loaded

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC はそのタイプのパラメータがロードされていないことを検出しました。CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (VT MVCDef)。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 前のメッセージを確認して、パラメータのロードを妨げているエラーを特定してください。

SLS5631I

CCCCCCCC parameter status:

説明: VT MVCDef コマンドへの応答として、HSC は要求されたパラメータについての情報を表示します。CCCCCCCC は、インストールされるパラメータのタイプです (VT MVCDef)。このメッセージは 3 行表示または 4 行表示の 1 番目の行です。表示されるその他の行は次のとおりです。

- LOADED FROM DDDDDD パラメータのロード元となったデータセット (該当する場合はメンバー名を含む) が表示されます。
- TITLE : CCCCCCCC パラメータのロード元となったデータセット内にあったタイトル (OPTIONS 文から) が表示されます。パラメータに TITLE が含まれていない場合、この表示行は省略されます。
- LOADED ON YYYY-MM-DD AT HH:MM:SS HSC によってパラメータがロードされた日時が表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5632I

VTCS {SMF|LOGREC} write failed - RC = RRRR

説明: VTCS システムの SMF または LOGREC の書き込みが、RRRR リターンコードで失敗しました。SMF の場合、これは SMFEWTM マクロからのリターンコードです。LOGREC の場合、これは SVC 76 からのリターンコードです。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: IBM のドキュメントを参照して、失敗の原因を特定してください。

SLS5633I

VTCS CCCCCCCC failed - RRRRRRRR

説明: VSM からの機能 CCCCCCCC (FileGet/FileSet) の実行要求が失敗しました。RRRRRRRR は失敗の理由を記述します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の理由を修正してください。

SLS5634I

VTCS CCCCCCCC failed - LRECL greater than 80/84

説明: VSM からの機能 CCCCCCCC (FileGet/FileSet) の実行要求が失敗しました。読み取りまたは書き込みの対象のデータセットに、このタイプのファイルで許可されているより多くの LRECL があります。最大許容値は、固定長ファイルの場合は 80、可変長ファイルの場合は 84 です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の理由を修正してください。最大許容値は、固定長ファイルの場合は 80、可変長ファイルの場合は 84 です。

SLS5650I

VTCS communications interface initialization started

説明: VTCS への通信インタフェースが開始しています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5651I

VTCS communications interface initialization failed

説明: VTCS への通信インタフェースを開始できませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の原因を特定してください。以前のメッセージに、VTCS 通信インタフェース初期化失敗の理由が含まれています。

SLS5660I

VCI server controller attach error

説明: 接続エラーのため、VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラを開始できませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の原因を特定してください。以前のメッセージに、VCI サーバーコントローラ接続エラーの理由が含まれています。

SLS5661I

VCI client controller attach error

説明: 接続エラーのため、VTCS 通信インタフェースのクライアントコントローラを開始できませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 失敗の原因を特定してください。以前のメッセージに、VCI クライアントコントローラ接続エラーの理由が含まれています。

SLS5662I

VCI monitor restarted

説明: VTCS 通信インタフェースのモニタータスクが再起動されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5663I

Shutdown HSC VCI client

説明: HSC のシャットダウンに対応して、HSC VTCS 通信インタフェースのクライアントタスクがシャットダウンされています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5664I*Shutdown HSC VCI server and connected clients*

説明: HSC のシャットダウンに対応して、HSC VTCS 通信インタフェースのサーバータスクがシャットダウンされています。接続されているすべてのクライアントにシャットダウンが通知されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5665I*VCI shutdown complete*

説明: VTCS 通信インタフェースが終了しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5670I*HSC VCI server controller started*

説明: VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラが開始されました。VCI サーバーコントローラは、クライアントからの要求に対応できる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5671I*HSC VCI server controller restarted*

説明: VTCS 通信インタフェースのサーバーコントローラが再起動されました。VCI サーバーコントローラは、クライアントからの要求に対応できる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5672I

Client socket - NNNNNNNN connected

説明: VSM クライアントが HSC VCI サーバーに接続しました。このクライアントには、ソケット番号 *NNNNNNNN* が割り当てられています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5673I

HSC VCI client controller started

説明: HSC VTCS 通信インタフェースのクライアントコントローラが開始されました。HSC は、VSM システムに要求を発行できる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5674I

HSC client socket - NNNNNNNN connected

説明: HSC クライアントが VSM サーバーに接続しました。この HSC クライアントには、ソケット番号 *NNNNNNNN* が割り当てられています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5675I

Client socket - NNNNNNNN I/O task restarted

説明: クライアントのソケット *NNNNNNNN* の入出力タスクが再起動されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5676I

Client socket - NNNNNNNN receive task restarted

説明: クライアントのソケット *NNNNNNNN* の受信タスクが再起動されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5677I

Invalid packet received for socket - NNNNNNNN

説明: 無効なパケットを、クライアントのソケット NNNNNNNN で受信しました。ソケットはシャットダウンされます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5678I

Cannot QUIM server request handler, error - CCCCCCCC

説明: VCI サーバー要求ハンドラを開始できませんでした。QUIM 機能からリターンコード CCCCCCCC を受信しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5679I

HSC server socket is active

説明: HSC サーバーのソケットがアクティブです。HSC サーバーは、VSM クライアントから VCI 要求を受け入れられる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5680I

SSSS error - VVVVVVVV CCCCCCCC EEEEEEEE on socket - NNNNNNNN

説明: ソケット機能 SSSS にエラーが発生しました。エラーについては、表示されている VVVVVVVV CCCCCCCC EEEEEEEE 値に説明されています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5681I

HSC client request driver restarted

説明: HSC クライアントの要求ドライバが再起動されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5682I

Client user request block not found for SEQNO NNNNNNNN

説明: シーケンス番号 NNNNNNNN の応答を処理するためのクライアントユーザー要求ブロックが見つかりませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5683I

Client receive task attach failed

説明: クライアント受信タスクが接続に失敗しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5684I

Socket - NNNNNNNN is disconnected

説明: ソケット NNNNNNNN が切断されました。このソケットのすべてのアクティビティが終了します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5685I

Server socket is disconnected

説明: HSC VCI サーバーのソケットが切断されています。このソケットのすべてのアクティビティが終了します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5689I

Invalid hostname specified for HHHH

説明: HSC システムが VSM リリース 1 システムとの接続を試みているが、VSMHNAME パラメータがないか、ホスト名 *HHHH* が無効です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS5690I

HSC/VTCS connect complete - Ready to process requests

説明: HSC/VTCS 接続が完了しました。HSC/VTCS システムは、要求を処理できる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6001I

Vary online request cancelled by subsequent vary offline for ACS AA

説明: ステーションまたは ACS をオンラインに変更する要求の実行中に、ACS がほかの要求によってオフラインに変更されました。

システムアクション: オンラインへの変更要求は実行されません。

ユーザーの対応: ACS またはステーションをオンラインに変更する場合は、要求を再発行してください。

SLS6002I

No stations defined for ACS AA

説明: ACS AA に対してオンラインへの変更要求が発行されましたが、この ACS のステーションが見つかりませんでした。

システムアクション: なし。ACS は切断されたままになります。

ユーザーの対応: SET SLISTATN を実行して ACS のステーションを定義してください。その後、Vary ACS コマンドを再発行してください。

SLS6003I

Vary station not allowed for network attached ACS AA

説明: ネットワーク接続が LMUPATH パラメータを介して ACS AA に定義されたため、ステーション変更コマンドは適用されません。

システムアクション: コマンドは処理されます。

ユーザーの対応: HSC は、LMU へのネットワーク TCP/IP ソケット通信を自動的に 30 分間再試行します。TCP/IP および LMU が機能していることを確認してください。

SLS6004I

ACS AA forced offline due to configuration mismatch for station C...C

説明: ステーション C...C を介して LMU 接続を確立しようとしたが、CDS と LMU 構成の定義の間に不一致が検出されました。前に発行されたメッセージに、不一致が発生した場所が説明されています。

システムアクション: この ACS のすべてのステーションが強制的にオフラインになります。

ユーザーの対応: 前のメッセージを確認して、構成が一致しない理由を特定してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6005I

Network attach function CCCCCCCC failed for station C...C with errno NNNN

説明: ネットワーク接続機能 CCCCCCCC が失敗しました。

システムアクション: HSC は、このステーションのネットワークの回復を開始します。

ユーザーの対応: IBM TCP/IP for MVS アプリケーションプログラミングインタフェースガイドを参照して、失敗の原因を特定し、適切なアクションを実行してエラーを修正してください。修正すると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6006I

Network attachment failed for station C...C because function CCCCCCCC could not be loaded

説明: TCP/IP API ロードモジュールをロードできません。

システムアクション: ステーションがオフラインに変更されます。

ユーザーの対応: このホストで、TCP/IP が適切にインストール、構成、および実行されていることを確認してください。問題が修正されたら、HSC のスターテッドタスクをリサイクルしてください。

SLS6007I

TCP/IP failure for station C...C detected

説明: 非同期選択機能の失敗。

システムアクション: HSC は、このステーションのネットワークの回復を開始します。

ユーザーの対応: このホストについて、TCP/IP が適切にインストール、構成、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6008I

Network attach function CCCCCCCC failed because station C...C is no longer connected

説明: LMU へのソケット接続が失われました。

システムアクション: HSC は、このステーションのネットワークの回復を開始します。

ユーザーの対応: このホストで、TCP/IP が適切にインストール、構成、および実行されていることを確認してください。LMU が機能していることを確認してください。ネットワークの問題が解決されると、次回のこのステーションへのネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6009I

No stations were found offline for ACS AA

説明: ACS AA に対して Vary ACS ONline が発行されましたが、オフラインとしてマークされたステーションはありませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6010I

ACS, STation, or station addresses required for Vary command

説明: Vary 要求を入力しようとしたのですが、ACS、STation キーワード、デバイス番号リストのいずれも指定されていませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: ACS、STation、またはデバイス番号リストのいずれかを指定して、コマンドを再入力してください。

SLS6011I

VARY {ACS AA|STation C...C} OFFline not allowed; CAP is reserved to this host

説明: ACSid または最後の STation のデバイスアドレスのいずれかを指定して、ACS を OFFline に変更しようとした。システムは、ACS 内の CAP がこのホストに予約されていることを検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンド Display CAP AA を発行して、ACS 内のすべての CAP のステータスを表示してください。アクティブな CAP の CAP アクティビティを終了して、コマンドを再発行してください。

SLS6012E

ACS nn: Recovery of network connection to station C...C is now active

説明: HSC TCP/IP インタフェースが、ステーション C...C でエラーまたはタイムアウト状態を検出しました。ネットワークの回復が開始されます。

システムアクション: HSC は、自身のソケットとリモートステーションのソケットの間で接続を再度確立しようと 10 秒ごとに 30 分間、試行を継続します。

ユーザーの対応: デュアル LMU 環境では、処理中のほかのホストが大きな影響を受けてない場合は、スタンバイのステーションに切り替えることができます。それ以外の場合は、LMU またはホストでネットワークの問題を診断して修正してください。修正すると、次のネットワーク接続で、LMU への通信が再度確立されます。

SLS6013I

ACS nn: Recovery of network connection to station C...C successful

説明: HSC はステーション C...C へのネットワーク接続を正常に回復しました。

システムアクション: HSC は、回復中に蓄積された LMU 要求を再度実行します。

ユーザーの対応: なし

SLS6014E

ACS nn: Unable to reestablish network connection to station C...C

説明: ステーション C...C へのネットワーク接続を再確立する回復プロセスがタイムアウトになりました。

システムアクション: HSC は、それ以上のステーションへの接続の試行を中断しました。ステーションはエラー状態にあると思われます。単一 LMU 環境では、ACS がオフラインとしてマークされます。デュアル LMU 環境では、ネットワークの回復が両方のステーションでタイムアウトになった場合に、ACS がオフラインとしてマークされます。

ユーザーの対応: 単一 LMU 環境では、ネットワークの問題が修正されると ACS をオンラインに変更できるようになります。デュアル LMU 環境では、両方のステーションで回復の試行がタイムアウトになると、ACS をオンラインに変更できるようになります。どちらの場合も、保留になっている LMU 要求はすべてパーズされません。

SLS6015I

VARY ACS AA ONLINE/OFFLINE failed because the ACS is unallocated

説明: HSC は、この ACS が未割り当てであると判断しました。

システムアクション: ACS はオフラインステータスのままです。

ユーザーの対応: ACS 識別子が誤って入力されていた場合は、正しい ACS 識別子を指定してコマンドを再発行してください。

SLS6016D

*TCP/IP is not available.LMUPATH HOST NAME CCCCCCCC is unresolvable
.Reply I to IGNORE*

説明: HSC は、LMUPATH 文で指定されたホスト名 CCCCCCCC を解決しようとして失敗しました。TCP/IP を使用できず、CCCCCCCC を解決できません。

システムアクション: HSC は、成功するか SLS6016D に I が応答されるまで、10 秒ごとにホスト名 CCCCCCCC の解決を試行します。

ユーザーの対応: TCP/IP を初期化するか、メッセージ SLS6016D に I を応答してください。I を応答すると、HSC が初期化を続行します。TCP/IP が利用可能になったら、LMUPDEF コマンドを再発行し、その後 ACS をオンラインに変更する必要があります。

SLS6019E

HSC version incompatible with DR test

説明: バージョンまたはリリースレベルが DR テスト環境と競合するため、HSC を起動しようとしたましたが失敗しました。CDS は、アクティブな DR テストがあるか、CDS が DR テストの CDS であることを示しています。

システムアクション: HSC の初期化は終了します。

ユーザーの対応: DR テストに参加できるのは、HSC 5.0 以上のシステムだけです。DR テストを終了するか、このホストで 5.0 以上の HSC/HSC を起動してください。

SLS6020I

ASCOMM failure for DRTEST {START|STOP}, RC=XXXXXXXX

説明: Address Space Communications Service (ASCOMM) を介して DRTEST 要求が HSC に送信されましたが、リターンコード XXXXXXXX でコンポーネントが失敗しました。

システムアクション: DRTEST 要求は失敗します。

ユーザーの対応: ASCOMM リターンコードを適切な ELS ガイドで調べて、失敗の原因を特定してみてください。エラーを修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6021I

DRTEST {START|STOP} error: CCCC...CCCC

説明: DRTEST 要求が HSC に送信されましたが、要求の実行を妨げているエラー状態が検出されました。CCCC..CCCC にはエラーの理由が説明されており、それは次のいずれかです。

- 認識されていない DR テスト要求
- DR テスト環境が確立されていません (DRTEST CREATE を実行してください)
- DR テスト要求が DR テストサイトから許可されていません

- DR テストがすでにアクティブです
- DR テストがアクティブではありません
- DR テスト要求が、VTCS をアクティブにするよう要求しています
- 予備または共有以外の DR テスト VTSS がオフラインではありません
- DR テスト ACS の CAP がアクティブであることがわかりました
- DR テスト ACS の CAP が自動モードです
- DR テスト状態に適合しないホストがありました

システムアクション: DRTEST 要求は失敗します。

ユーザーの対応: 上記の説明は、ほとんど書かれているとおりです。DR テストの START 要求を発行できるようにするには、DRTEST CREATE ユーティリティー機能を実行して DRTEST CDS を作成する必要があります。DR テスト中は、DR テスト ACS のすべての CAP がアイドル状態で、マニュアルモードになっている必要があります。VTCS を起動し、非共有の DR テスト VTSS を本番サイトに対してオフラインにしておいてください。

SLS6022I

DRTEST {PRIMEPRD|CREATE|RESET|START|STOP} successful

説明: DRTEST 要求が正常に終了しました

システムアクション: HSC は処理を続行します。DR テストが開始されていた場合、CAP は手動モードのままにしておかなければならない、動的再構成は許可されない、AUDIT および MOVE ユーティリティーは許可されない、DR テストシステムと共有されていない DR テスト VTSS はオンラインにできない、など、操作上のいくつかの制約が適用されています。

アクティブな DR テストの最中に MNTD コマンドを FLOAT(ON) または EJCTAUTO(ON) に設定することは可能ですが、これらのオプションは DR テストが停止するまで適用されません。DR テストが停止した場合は、上記の操作上の制約なしで通常の本番運用が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6023I

Parameter {FLOAT(ON)|EJCTAUTO(ON)} for acs XX [not allowed for DRTEST system] |[set but not honored during active DRTEST]

説明: MNTD コマンドが FLOAT(ON) または EJCTAUTO(ON) を指定しました。これが DR テストシステムの場合、パラメータは許可されません。これがアクティブな DR テストがある本番システムの場合、パラメータは許可されますが、DR テストがアクティブな間は適用されません。

システムアクション: HSC は処理を続行します。これが DR テストシステムの場合、コマンドは拒否されます。これがアクティブな DR テストがある本番システムの場合、コマンドは受け入れられますが、DR テストが終了するまでパラメータは適用されません。

ユーザーの対応: これが DR テストシステムの場合、指定されたパラメータでこのコマンドを発行することはできません。これがアクティブな DR テストがある本番システムの場合、アクションは必要ありません。DR テストが停止するとパラメータが適用されます。

SLS6024I

{CAPPREF AUTO|ENTER|EJECT|MOVE|SCREDIST|VARY ONLINE} rejected for {CAP XX:XX:XX|ACS XX|STATION XXXX}, DR test active

説明: CAPPREF、ENTER、EJECT、MOVE、VARY の各コマンド、または EJECT、MOVE、SCREDIST の各ユーティリティー機能が要求されましたが、アクティブな DR テストと競合するため実行できませんでした。機能が許可されなかった CAP、ACS、または STATION は識別されます。

システムアクション: HSC は処理を続行します。要求された機能は DR テストが終了するまで実行できません。

ユーザーの対応: DR テストが終了するまで待機してから、本番サイトの HSC で要求された機能を実行してみてください。要求された機能は、DR テストサイトの HSC からは実行できません。

SLS6025I

{AUDIT|EJECT|MOVE|SCRATCH UPDATE|SCRATCH REDISTRIBUTION} Utility not permitted, DR test active

説明: HSC SLUADMIN の AUDIT、EJECT、MOVE、SCRATCH UPDATE、または SCRATCH REDISTRIBUTION ユーティリティー機能が要求されましたが、アクティブな DR テストと競合するため実行できませんでした。

システムアクション: そのユーティリティー機能は終了します。

ユーザーの対応: DR テストが終了するまで待機してから、本番サイトの HSC で SLUADMIN ユーティリティー機能を実行してみてください。ユーティリティー機能は、DR テストサイトの HSC からは実行できません。

SLS6026I

DR test {started|not started|stopped|not stopped} {successfully|unsuccessfully} on {host CCCCCCCC|all hosts}

説明: DRTEST 要求が、アクティブな HSC システムに送信されました。このメッセージには、特定のホスト (CCCCCCCC) またはすべてのホスト (制御側 HSC) に DR テスト状態を設定できたか、できなかったかが表示されます。

システムアクション: HSC は処理を続行します。

ユーザーの対応: DR テストがすべてのホストで正常に開始または停止したことがこのメッセージに示されている場合は、DR テストを希望どおりに続行してください。DR テスト状態が特定のホストで正常に開始または停止されなかった場合は、そのホストで原因を調べ、場合によってはそこで HSC をリサイクルしてください。問題を修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6027I

ENTER rejected; TLSM ACS XX does not equal CAP ACS YY

説明: ENter コマンドを処理しようとしたますが、TLSM パラメータで指定された LSMid が CAP とは別の ACS に存在するため、拒否されました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 同じ ACS 内にある CAPid および TLSM LSMid を指定するコマンドを再入力してください。

SLS6028I

No scratch volumes meet eject criteria in ACS AA

説明: SCRtch パラメータを指定して EJect コマンドが発行されました。ACS AA から CAP が要求されたか、CAP 識別子が指定されず、コマンドがデフォルトの ACS 00 になりました。ACS AA には、EJect コマンドのパラメータで要求されたスクラッチボリュームが含まれていませんでした。

システムアクション: EJect コマンドは継続されます。

ユーザーの対応: ACS AA に含まれるスクラッチボリュームのスクラッチボリューム基準を指定して、EJect コマンドを再入力してください。

SLS6029I

RELEASE AA:LL:CC rejected; host CCCCCC is active

説明: 指定されたホスト用に RELease コマンドが発行されましたが、そのホストはアクティブであると識別されました。

システムアクション: CAP は解放されません。

ユーザーの対応: 該当するホストが非アクティブであることを、物理的に確認してください。

- そのホストがアクティブな場合は、指定されたホストで RELease コマンドを発行してください。
- ホストが非アクティブな場合にかぎり、FORCE オプションを指定して RECover ホストコマンドを発行してください。その後、ホストオペランドを指定して RELease コマンドを再発行してください。

注意:

FORCE オペランドを使用するときは十分に注意してください。このオペランドを指定して RECover コマンドを発行する際は、指定のホストが非アクティブであることを確認してください。アクティブホストを強制回復する場合、そのホスト上の HSC をリサイクルする必要があります。RECover ホストコマンドの実行時にホストがアクティブだった場合は、テープのアクティビティ中またはホストの HSC をリサイクルするときに予期しない異常終了が発生する可能性があります。

SLS6030E

Cannot create new {CDS|JOURNAL} DDNAME CCCC...CCCC1; CCCCCCCC2

説明: DR テストのデータセット CCCC...CCCC1 を SLUADMIN ユーティリティで作成しようとしたのですが、データセットが不明であるか、CDS コピーまたはジャーナルのデータセットとしての利用に適していないため、失敗しました。CCCCCCC2 は、次の理由のいずれかになります。

- Invalid BLKSIZE (BLKSIZE は 4096 である必要があります)
- Invalid DSORG (DSORG は PS である必要があります)
- More than one extent
- Invalid UCB type (データセットは DASD にある必要があります)

- Could not obtain VTOC info

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: DR テストのデータセットを作成しようとする場合は、SWUNEWx または SLSJRNXX DD 文にそのデータセットが正しく指定されていたことを確認してください。理由が「Could not obtain VTOC info」の場合は、DSN= パラメータ (またはカタログ化されていないデータセットの VOL=SER= パラメータ) が喪失していたか、正しく指定されていなかった可能性があります。そのほかの理由についてはすべて、DSN= パラメータがデータセットを正しく指定している場合は、そのデータセットは CDS コピーまたはジャーナルのデータセットとして使用するには不適切であるため、適切な属性を持つ新しいデータセットを再配置して、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6031E

New CDS CCCC...CCCC is of insufficient size; capacity is DDD1 blocks, required capacity is DDD2 blocks

説明: DR テストの CDS データセット CCCC...CCCC を SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたましたが、データセットのサイズが足りないため失敗しました。これには DDD1 の 4096 バイトのブロックしか含めることができませんが、DR テストの CDS には少なくとも DDD2 ブロックが必要です。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: より大きな新しい CDS データセットを再配置して、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6032E

BSAM OPEN failed for new CDS CCCC...CCCC

説明: DR テストの CDS データセット CCCC...CCCC を SWUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたましたが、初期化処理中に失敗しました。BSAM Open 操作は失敗しました。

システムアクション: SWUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エラーの特定に役立つ可能性がある、BSAM からのほかのエラーメッセージを探してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6033E

BSAM WRITE failed for new CDS CCCC...CCCC, block DDDD

説明: DR テストの CDS データセット CCCC...CCCC を SWUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたが、初期化処理中に失敗しました。BSAM の書き込み作業は、ブロック番号 DDDD の書き込みに失敗しました。

システムアクション: SWUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エラーの特定に役立つ可能性がある、BSAM からのほかのエラーメッセージを探してください。永続的な入出力エラーである場合は、新しい CDS データセットを削除して再配置し、SWUADMIN ユーティリティーを再実行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6034E

Copy of CDS CCCC...CCC1 to CDS CCCC...CCC2 failed UBSMIO RC=XXXX

説明: DR テストの CDS データセット CCCC...CCC1 を SLUADMIN ユーティリティーで CDS コピー CCCC...CCC2 にコピーしようとしたが、UBSMIO サブルーチン内で、リターンコード XXXX で失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エラーの特定に役立つ可能性がある、BSAM からのほかのエラーメッセージを探してください。永続的な入出力エラーである場合は、新しい CDS コピーを削除して再配置し、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6035E

Nonzero return code from UDB macro; function is CCCCCCCC, RC=XXXX

説明: UDB マクロが、CDS に対する CCCCCCCC 機能に発行され、ゼロ以外のリターンコード XXXX を受け取りました。

システムアクション: DRTEST 機能は RC=8 で終了します。

ユーザーの対応: メッセージ SLS6035E には、エラー状態の詳細を説明したもう 1 つのメッセージが先行します。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6036E*RESET not allowed: CCCC...CCCC*

説明: SLUADMIN ユーティリティーで CDS の CDRT フラグをリセットしようとしたが、拒否されました。CCCC...CCCC にはエラーの理由が説明されており、それは次のいずれかです。

- DR テストの CDS がリセットできない
- DR テストがアクティブである

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: RESET は、SLUADMIN ユーティリティーを先に実行しておいて、本番 CDS ですべての CDRT フラグを削除するのに使用されます。DR テストの CDS には使用されません。DR テストがアクティブな場合、RESET は実行できません。DR テストが終了するまで待ってから、本番 CDS をリセットしてみてください。

SLS6037I*Journal CCCC...CCCC1 formatted*

説明: SLUADMIN ユーティリティーが、DR テストのジャーナルデータセット CCCC...CCCC1 をフォーマットしました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6038E*Insufficient number of SLSJRNxx DD statements for number of DR Host IDs*

説明: 必要な DR テストのジャーナルデータセットを SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたが、SLUADMIN ユーティリティーのジョブの SLSJRNxx DD 文の数が足りなかったため、失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: SLUADMIN のジョブステップに定義されている DR ホスト 1 つにつき、2 つのジャーナルデータセットが必要です。最初のホスト ID には SWUJRN00 と SWUJRN01 が、2 番目のホスト ID には SWUJRN02 と SWUJRN03 が必要で

す。適切な数のジャーナルデータセットを割り当て、正しい SWUJRNxx DD 文を指定し、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6039E

CAP AA:LL:CC not in MANUAL mode or not IDLE

説明: SLUADMIN ユーティリティーで DR テスト環境を作成しようとしたが、本番 HSC 環境内の CAP ステータスのために失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: DR テスト ACS のすべての CAP は、手動モードかつアイドル状態である必要があります。アクティブな HSC システムから DISPLAY CAP コマンドを発行してください。DR テスト ACS の CAP がアクティブな場合は、制御側の HSC から Enter または Eject の操作を停止してください。DR テスト ACS の CAP が自動モードの場合は、CAPPREF コマンドを使用して CAP を手動モードに設定してください。その後、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6040I

RELEASE AA:LL:CC rejected; CAP is active on host CCCCCCCC

説明: RELease コマンドが CAP AA:LL:CC に発行されましたが、CAP はホスト CCCCCCCC でアクティブになっています。

システムアクション: CAP は解放されません。

ユーザーの対応: 問題のホストがアクティブであることを、物理的に確認してください。

- そのホストがアクティブな場合は、指定されたホストで RELease コマンドを発行してください。
- ホストが非アクティブな場合は、ホスト演算対象を指定して RELease コマンドを発行してください。

SLS6041E

Addition of HOSTID will exceed HSC maximum of 16

説明: DR テスト環境を作成しようとしたが、DRTEST 制御文の HOSTID パラメータで指定されているホスト ID 数と、CDS にすでに定義されているホスト数の合計が最大の 16 を超えるため失敗しました。

システムアクション: DRTEST 機能はリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: 可能な場合は、DR テスト環境に指定した HOSTID の数を減らしてください。本番 HSC 環境のホスト数がすでに最大の 16 の場合は、ELS クライアント/サーバー機能を使用して必要な HSC ホスト数を減らすことを検討してから、より少ないホスト ID で CDS を再生成し、DRTEST 機能を再実行してください。

SLS6042E

{HOSTID CCCCCCCC|DRACS AA|DRVTSS CCCCCCCC|STORMNGR CCCCCCCC}not found in Data Base

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたのですが、DRTEST 制御文に指定された次のいずれかが現在の CDS に存在しなかったため失敗しました。

- HOSTID パラメータに指定されているホスト ID、CCCCCCCC
- DRACS パラメータに指定されている ACS ID、AA
- DRVTSS パラメータに指定されている VTSS 名、CCCCCCCC
- STORMNGR パラメータに指定されているストレージマネージャー名、CCCCCCCC

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: すべての HOSTID ホスト ID は、現在の本番 HSC/VTCS CDS に存在している必要があります。HOSTID ホスト ID が間違っていて指定されていた場合は、その指定を修正してから SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。HOSTID ホスト ID が本番 CDS 内に存在していない場合は、HSC SLUADMIN SLUSET ユーティリティー機能でそれを追加してください。同様に、ACS ID、VTSS 名およびストレージマネージャー ID は本番 HSC CDS 内に存在する必要があります。これらのいずれかが間違っていて指定されていた場合は、エラーを修正してください。その後、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6043I

Cannot create DRTEST CDS; DR test is active

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたのですが、アクティブな DR テストをそのユーティリティーが検出したため、失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 現在の DR テストを停止し、DRTEST STOP コマンドを発行してから SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6044I

DRTEST START/STOP parameter requires HSC to be active on this system

説明: DR テストを SLUADMIN ユーティリティーで開始または停止しようとしたが、HSC が現在このシステムでアクティブでないため、失敗しました。

システムアクション: DR テストを開始または停止せずに、SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: HSC (および VTCS) は、DRTEST START または STOP が発行されるシステム上でアクティブである必要があります。HSC がアクティブな場合は、DR テストの開始または停止に HSC DRTEST コマンドを使用することを検討してください。DR テスト環境を作成し、SLUADMIN ユーティリティーから操作一つで DR テストを開始したい場合、HSC と VTCS の両方がシステム上で初期化されているのを確認して SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6045I

RELEASE AA:LL:CC cancelled

説明: DRAIN コマンドまたは 2 つ目の RELEase コマンドが同じ CAP に CAP 回復を開始したときに、RELEase コマンドが実行されていました。

システムアクション: RELEase コマンドは取り消されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6046E

{ACS AA|VTSS CCCCCC|STORMNGR CCCCCC} status {ON|OFF|SPARE|NOT SPARE} does not match DRTEST CREATE input

説明: DRTEST PRIMEPRD または DRTEST CREATE 機能が事前に実行されており、現在の DRTEST CREATE 構成が本番 CDS と一致しないため、DR テスト環境を作成しようとしたが失敗しました。次のいずれかです。

- 本番 CDS の ACS ID が DRTEST ON に設定されているが、ACS ID が現在の DRTEST CREATE 内にはない。
- 本番 CDS の ACS ID が DRTEST OFF に設定されているが、ACS ID が現在の DRTEST CREATE 内にある。
- 本番 CDS の VTSS ID が DRTEST ON に設定されているが、VTSS ID が現在の DRTEST CREATE 内にはない。

- 本番 CDS の VTSS ID が DRTEST OFF に設定されているが、VTSS ID が現在の DRTEST CREATE 内にある。
- 本番 CDS の VTSS ID が DRTEST ON および SPARE に設定されているが、DRTEST CREATE が SPARE を指定していない。
- 本番 CDS の VTSS ID が DRTEST ON および NOT SPARE に設定されているが、DRTEST CREATE が SPARE を指定した。
- 本番 CDS の STORMNGR ID が DRTEST ON に設定されているが、STORMNGR ID が現在の DRTEST CREATE 内にない。
- 本番 CDS の STORMNGR ID が DRTEST OFF に設定されているが、STORMNGR ID が現在の DRTEST CREATE 内にある。

システムアクション: DRTEST CREATE はリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: DRTEST RESET または DRTEST PRIMEPRD 機能のいずれかを実行して、目的の DRTEST 構成と一致するように、本番 CDS DRTEST ステータスをリセットしてください。その後、DRTEST CREATE 機能を再実行してください。

SLS6047E

NOUPDPRD not allowed; PRIMEPRD function was not executed

説明: DR テスト環境を作成しようとしたが、DRTEST CREATE オプションの NOUPDPRD が指定されても、PRIMEPRD 機能が事前に実行されていなかったため、失敗しました。

システムアクション: DRTEST CREATE は RC=8 で終了します。

ユーザーの対応: PRIMEPRD 機能を実行するか、NOUPDPRD パラメータを削除してください。

SLS6049I

SLSCNTLx specifications do not match SLSNEWx specifications

説明: DR テスト環境を SLUADMIN ユーティリティーで作成しようとしたが、現在の HSC CDS 構成が、指定された SLSNEWx DD 文のものと一致しないため失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: DR テスト CDS の CDS コピー数は、現在の HSC CDS のコピー数と同じである必要があります。現在の HSC CDS にシャドウおよびスタンバイコ

ピーがある場合は、SLSNEW1、SLSNEW2、および SLSNEW3 DD 文を SLUADMIN JCL に指定する必要があります。現在の CDS コピー数を判断して、適切な数の SLSNEWx DD 文を指定し、SLUADMIN ユーティリティーを再実行してください。

SLS6050I

MMMMMMMM macro failure RC=XXXX, reason code=XXXXXXXX

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムは、システムマクロ (MMMMMMMM) を呼び出すエラーを受信しました。リターンコード (XXXX) は R15 の内容です。理由コード (XXXXXXXX) は R0 の内容です。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: 問題を判別して修正してください。(指定されたマクロについては、適切なマニュアルを参照してください。)次にユーティリティーを再実行してください。

SLS6051I

Insufficient work area length for CCC entries; increase value in program for max entries

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムによって作成されたデータスペースの作業領域の大きさは、抽出された CDS または TMC (CCC) のレコード数を収容するのに十分ではありません。データスペースのサイズをフィールド DATSPASZ の値に増やす必要があります。

システムアクション: そのユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: フィールド DATSPASZ でデータスペースサイズの値を増やし、SLUCONDB プログラムの組み立てとリンクを行い、ユーティリティーを再度実行してください。

SLS6052I

No CCC records found to extract

説明: SLUCONDB ユーティリティープログラムは、CDS または TMC (CCC) レコードを抽出しようとしたが、レコードは抽出されませんでした。

システムアクション: ユーティリティーはリターンコード 4 で終了します。

ユーザーの対応: 結果が正しいかどうかを判断し、そうでなければ問題を特定してユーティリティーを再度実行してください。

SLS6054E

VTCS CCCCC CDS level is incompatible with utility maintenance level

説明: CCCCC CDS は、現在の MERGE ユーティリティーではサポートされていないタイプであることがわかりました。VTCS 関連のマージは、「マージ先」および「マージ元」の CDS の拡張モードフォーマットをサポートします。

システムアクション: マージは、VTCS 関連のリソースを「マージ先」CDS に組み込みません。

ユーザーの対応: なし

SLS6055I

Merge unlinking VTV VVVVVV from MVC MMMMMM Maximum supported copies reached

説明: マージ処理は、「マージ先」および「マージ元」の CDS のマージ処理の間、MVC MMMMMM からの VTV VVVVVV コピーのリンクを切断しています。

「マージ先」の CDS が、VTV の移行済みコピーを「マージ元」の CDS と同じ数だけサポートしていないことを、マージが検出しました。余分なコピーは、各 MVC からリンク解除されます。

システムアクション: 「マージ先」CDS への書き込み処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6056I

{SCRATCH UPDATE} not allowed, volume invalid/not defined in DRTEST subpool

説明: DR テスト環境に Scratch コマンド機能が必要でしたが、そのボリュームが DRTEST サブプール内に見つかりませんでした。スクラッチ機能は実行されませんでした。このメッセージは、ボリュームシリアル番号 (VOLSER) がライブラリに定義されていない場合にも表示されます。

システムアクション: ボリュームはスクラッチされません。

ユーザーの対応: DR テスト環境でボリュームスクラッチをマークするには、そのボリュームを POOLPARM ユーティリティーの文で DRTEST パラメータを使用してサブプールに定義しておく必要があります。

SLS6070E

CCCCCCCCCC

説明: CDS Record Analyzer ユーティリティーに、エラー状態が発生しました。CCCCCCCCCC は次のいずれかになります。

- データベースの初期設定に失敗しました
- SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY の BSAM のオープンに失敗しました
- SLSCNTL、SLSCNTL2、または SLSSTBY の BSAM の読み取りに失敗しました
- サブファイル ssss の CDS サブファイルの読み取りに失敗しました
- サブファイル ssss の CDS サブファイルのアクセスに失敗しました
- ssss の CDS オプションのサブファイルのアクセスに失敗しました
- 基本解析: エラーが検出されました
- 詳細解析: エラーが検出されました
- VSM 解析: エラーが検出されました

システムアクション: ユーティリティーは、発生した状況によって、完了するまで実行されるか、条件コード 4、8、または 12 で早期終了する場合があります。

ユーザーの対応: その他のメッセージについては、失敗の詳細を説明するユーティリティーの出力を参照してください。必要に応じて、この状態を修正するための変更を行い、ユーティリティーを再度実行してください。

SLS6086I

Hostid CCCCCC already defined in the CDS

説明: 新しいホストのホスト ID CCCCCC が、データベースの既存のホスト ID と重複しています。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は終了します。

ユーザーの対応: 新しいホスト ID を選択して、ユーティリティーを再送信してください。

SLS6088I

Cartridge volser entered into LSMID acsid:lsmid on DRTEST host, audit ACS or eject cartridge after DRTEST

説明: カートリッジは、Disaster Recovery (DR) ACS に挿入され、そのボリュームシリアル番号が光学的に確認されてから、新しい位置に移動されます。Disaster Recovery

テストの完了後、DR ACS を監査するか、DRTEST が終わった時点でカートリッジを取り出してください。

システムアクション: ボリュームシリアル番号 volser がライブラリに入力されました。その位置は、指定された ACS および LSM 内です。

ユーザーの対応: カートリッジを取り出すか、または DRTEST が完了したあとに ACS を監査してください。

SLS6089E

STORMNGR CCCCCCC not connected to any VTSS in the DRVTSS parameter

説明: SLUADMIN ユーティリティーで DR テスト環境を作成しようとしたが、STORMNGR パラメータ内で指定されたストレージマネージャー ID CCCCCCCC が DRTEST 制御文の DRVTSS パラメータ内で指定された VTSS のいずれにも接続されていないため、失敗しました。

システムアクション: SLUADMIN ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: STORMNGR パラメータで指定されたストレージマネージャー ID を修正して、SLUADMIN ユーティリティーを再度実行してください。

SLS6090I

DRTEST parameter SHARE requires VOLPARM

説明: DRTEST CREATE または PRIMEPRD 要求が SHARE パラメータで指定されました。しかし、本番 CDS には VOLPARM 定義が含まれていませんでした。

システムアクション: DRTEST ユーティリティーの要求は失敗します。

ユーザーの対応: SET VOLPARM ユーティリティーを実行して本番 CDS に VOLPARM 定義を作成したあと、DRTEST ユーティリティーを再実行してください。

SLS6600E

Communications to TTTTTTTT is down and affecting DDDDDDDD

説明: TapePlex TTTTTTTT との通信時に失敗が検出されました。このため、パスまたはデバイス DDDDDDDD は機能できません。

システムアクション: TapePlex への通信がオンラインに戻ったときに検出できるように、通常の再試行が実行されます。その時点まで、このパスまたはデバイスは使用されません。

ユーザーの対応: 指定された TapePlex までの SMC 経由の通信に問題がある理由を突きとめ、それを修正してください。

SLS6601I

RTD path P P P P P P P P from S S S S S S S S to D D D D D D D D available for use

説明: S S S S S S S S を D D D D D D D D に接続する P P P P P P P P という名前のパスが、要求を処理できるようになりました。このメッセージは、HSC 起動時、パスのオンライン切り替え後、またはエラー条件によるパスのリセット後に発行されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6602I

NNNN DATASET(S) FOUND MATCHING pattern

説明: MVS カタログ検索で、指定されたパターン *pattern* に一致する NNNN データセット名を検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: データセット名が正しくない場合は、入力してユーティリティーを再実行してください。

SLS6603I

ttt VVVVVV information:

説明: 次のコマンドの結果を表示します。

- Query CLINK
- Query CLUSTER
- Query CONFIG
- Query LOCKs
- Query MIGrate
- Query MVC
- Query MVCPool
- Query PATH
- Query REPLicat

- Query STORMNgr
- Query VSCRatch
- Query TASKs
- Query VTD
- Query VTSS
- Query VTV
- SET MIGOPT

メッセージ SLS6603I には、SET MIGOPT コマンドが処理されたあと、各種 VTSS の属性が表示されます。次に、出力の例を示します。

```
VTSS HBVTSS16: HAMT = 65 LAMT = 55 MAXMIG = 5 MINMIG = 2
```

```
VTSS HBVTSS17: HAMT = 70 LAMT = 60 MAXMIG = 3 MINMIG = 1
```

VTSS は VTSS の名前です。次の値は、この VTSS のものです。

- HAMT - 自動移行の高しきい値
- LAMT - 自動移行の低しきい値
- MAXMIG - 最大移行タスク数
- MINMIG - 最小移行タスク数

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6604E

CDS format is not compatible with VTCS V5.0/V5.1

説明: フォーマットが不明またはサポートされていないため、VTCS V5.0/V5.1 で CDS を処理できません。

システムアクション: VTCS の処理は終了します。

ユーザーの対応: CDS のフォーマットが次のいずれかであることを確認してください。

- 標準フォーマット (V4/V5.0.V5.1)
- 拡張フォーマット (V5.0.V5.1)

CDS が正しく構成されている場合は、この問題について StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6605I

Initiating swap of MVC VVVVVV from RTD DDDDDD

説明: RTD DDDDDD 上の MVC VVVVVV への書き込み時または読み取り時に、データチェックが検出されました。

システムアクション: 現在のアクションは、別の RTD 上で再試行されます。別のドライブでの再試行も失敗すると、MVC はエラーとしてマークされ、代替 MVC の使用が試行されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

- MVC が破損しているか疑わしい場合には、VT MVC DRAIN コマンドを使用して、MVC から VTV を削除してください。
- 同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6606I

CDS is not configured for VTCS

説明: VTCS コンポーネントがインストールされていて有効になっていますが、CDS で構成情報が見つかりませんでした。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6607I

RC XXXX from SORT - MVC detail report not generated

説明: MVC 詳細レポート中にソートを試行したところ、ソートユーティリティーからリターンコード XXXX が戻されました。

システムアクション: レポートの詳細部は作成されません。

ユーザーの対応: JOBLOG で、問題の性質に関する詳細を示す可能性のあるメッセージがないか確認してください。ソートの実行に必要な DD 文がすべて存在することを確認してください。

SLS6608E

No virtual devices defined for VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX との通信のために定義されている有効な仮想デバイスがありません。これは、ハードウェアエラーが原因で発生したか、または構成内のデバイスが、正しい VTSS 上の仮想デバイスでないことが原因で発生した可能性があります。

システムアクション: 処理は継続されますが、VTSS はオフラインモードであるとみなされます。VTSS XXXXXXXX 中の VTV は、アクセス可能な MVC に VTV のコピーがあるかぎり、ほかの VTSS を通じてアクセスできます。オフラインモードで VTSS の稼働を続けると、オフライン VTSS 内に VTV の古いコピーまたは重複したコピーが残ることになります。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、仮想デバイスが検出されない理由があるかどうかを確認してください。

VTCS の構成を調べて確認してください。MVS およびプロセッサの構成を調べて確認してください。このメッセージは通常は SLS6675E メッセージによって処理されます。

VTCS の構成を調べて確認してください。MVS およびプロセッサの構成を調べて確認してください。このメッセージは通常は SLS6675E メッセージによって処理されます。

SLS6609I

Configuring VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX のサーバタスクによって、VTSS 名が設定されていないことが検出されました。

システムアクション: VTSS は、CDS に格納されている名前を使用して構成されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6610E

Unable to open DCB for DDDDDD DD

説明: ユーティリティーの実行中、DD DDDDDD に関連付けられているデータセットを開こうとしたときに失敗しました。

システムアクション: ユーティリティー機能は失敗します。

ユーザーの対応: JOBLIST で、問題の性質に関する詳細を示す可能性のあるメッセージがないか確認してください。要求されているユーティリティー機能を実行するために必要な DD 文がすべて存在していることを確認してください。

SLS6611I

NNNNNNNN MVCS contain free space in ACS|MVCPool AA|PPPPPPPP

説明: ACS AA または指定された MVCPool PPPPPPPP の中に、NNNNNNNN の空の MVC があります。これらは、移行済み VTV をその ACS または指定された MVCPool 内で受け取るために使用できます。この数には、VTV が格納されている MVCS は含まれていません

システムアクション: 空き MVC の数が少なくなりすぎると、自動スペースリクレームが開始されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6613E

NNNNNNNN requests are stalled awaiting offline RTDs

説明: 使用できる RTD がすべてオフライン、または保守状態にあるために、示されている要求数がシステム内で保留されています。

システムアクション: HSC の処理は続行されます

ユーザーの対応: VT DISPLAY QUEUE DETAIL コマンドを使用して、保留されている要求を確認してください。VT VARY コマンドを使用して、いくつかの適切な RTD をオンラインにしてください。

SLS6614I

Scratch subpool PPPPPPPP contains NNNNNNNN VTVs

説明: スクラッチサブプール PPPPPPPP には、示された数のスクラッチ VTV が含まれています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6615I

*NNNNNNNN MVCs are candidates for space reclaim in ACS|MVCPOOL
AA|PPPPPPPP*

説明: ACS AA または指定された MVCPOOL PPPPPPPP 内の示された数の MVC が、スペースリクレイム処理を実行するために十分な削除済みスペースを持っています。

システムアクション: この数値が再利用開始のしきい値を超えると、自動スペースリクレイムが開始されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6616I

Automatic space reclaim scheduled for ACS|MCPOOL AA|PPPPPPPP

説明: ACS AA または指定された MVCPOOL PPPPPPPP 内のスペースリクレイムに適格な MVC の数が開始しきい値を超え、スペースリクレイム要求が送信されました。

リクレイムが ACS にスケジュールされている場合は、ACS AA 内の適格な MVC からリクレイム側スペースにプリファレンスが与えられます。

リクレイムできる最大 MVC 数に満たない場合は、ほかの ACS の適格な MVC もリクレイムされることがあります。

リクレイムが MVCPool にスケジュールされている場合は、その MVCPool からの MVC のみリクレイムできます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6617E

VTSS XXXXXXXX has no compatible devices for accessing MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX からボリューム VVVVVV にアクセスする必要がある要求があります。このボリュームへのアクセスをサポートするための、互換性のある RTD が VTSS に接続されていません。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: MVC の VOLATTR 定義を確認してください。マルチ VTSS 環境で、VTSS 間に互換性のない RTD デバイスが存在している場合にこの状態が発生す

ることがよくあります。適切な RTD を備えた VTSS を使用するために、JCL を変更しなければならないことがあります。

SLS6618E

VTSS XXXXXXXX has no devices in ACS AA for accessing MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX からボリューム VVVVVV にアクセスする必要のある要求があります。VTSS の ACS AA に、このボリュームをサポートする適切な RTD がありません。

システムアクション: 別の ACS の RTD が選択されます。

ユーザーの対応: 現在の ACS からボリュームを取り出し、最終的に選択される ACS にそれを配置するには、オペレータによるアクションが必要になります。

マルチ VTSS 環境で、VTSS と複数の ACS 間でのアクセスが制限されている場合に、この状態が発生することがよくあります。手動での介入を防ぐには、JCL を変更して適切な RTD を備えた VTSS を使用する必要があることがあります。

SLS6619E

RTD CCCCCCCC has an unrecognized device type of XXXXXXXX

説明: RTD CCCCCCCC の初期化中に、これが XXXXXXXX タイプのデバイスであることが HSC によって示されました。これは RTD に適したデバイスタイプではありません。

システムアクション: RTD は故障しているとみなされ、使用できません。

ユーザーの対応: 構成を確認してから HSC を再起動してください。

SLS6621E

XXXXXXXX server task termination detected

説明: XXXXXXXX サーバーが何らかの理由により異常終了しました。

システムアクション: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6623I

VCI response=#

説明: 表示されている VCI 要求への示されている応答 (#) が VTCS に指定されました。VCI とは、VTCS 内部で使用されているプロトコルです。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: VCI 要求/応答をお客様に非表示にする必要がある場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6624I

Invalid command string length for XXXXXXXX utility

説明: XXXXXXXX ユーティリティのパラメータが欠落しているか、または内部バッファのサイズを超えています。

システムアクション: ユーティリティ要求は無視されます。

ユーザーの対応: ユーティリティ要求のパラメータを確認してください。

SLS6625E

RTD DDDDDD reported RRRRRRRR: XXXXXXXX

説明: RTD DDDDDD でエラーが報告されました。エラーの理由が RRRRRRRR で示されます。XXXXXXX には、RTD から VTSS へ報告されたセンスバイトが示されません。

システムアクション: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

特定の MVC で問題が発生する場合には、メディアが何らかの損傷を受けていると考えられます。VT MVC DRAIN EJECT コマンドを使用して、MVC からのデータの回復を試行してください。

SLS6626E

Failed to VARY OFFLINE RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX の共有 RTD DDDDDD をオフラインに切り替える ECAM 要求が失敗しました。別の VTSS へのデバイスの切り替えは完了できませんでした。

システムアクション: エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6627E

Failed to VARY ONLINE RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX の RTD DDDDDD をオンラインに切り替える ECAM 要求が失敗しました。別のサブシステムからのデバイスの切り替えを完了できなかったか、デバイスをはじめてオンラインにすることができませんでした。

システムアクション: エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

RTD がほかのシステムに対してオンラインになっていないことを確認してください。同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6628E

RTD DDDDDD on VTSS XXXXXXXX failed to mount MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX に接続している RTD DDDDDD に MVC VVVVVV をマウントする ECAM 要求が失敗しました。

システムアクション: エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

- 同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。
- 同じ MVC 上で問題が再発する場合は、メディアに物理的な損傷がないか確認してください。

SLS6629E

RTD DDDDDDDD on VTSS XXXXXXXX failed to dismount MVC VVVVVV

説明: VTSS XXXXXXXX に接続している RTD DDDDDDDD から MVC VVVVVV をマウント解除する ECAM 要求が失敗しました。

システムアクション: エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

- 同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、Sun StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。
- 同じ MVC 上で問題が再発する場合は、メディアに物理的な損傷がないか確認してください。

SLS6630I

Orphan copy of VTV VVVVVV in offline VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS がオフラインモードで実行されていたため、VTSS XXXXXXXX 内に、VTV VVVVVV の古いコピーまたは重複したコピーが作成されました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: VTSS がオンラインモードに戻ると、古いまたは重複した VTV コピーを削除するために、VTSS 監査をスケジュールする必要があります。

SLS6631I

VTSS: XXXXXXXX1 VTV: VVVVVV duplicate deleted from XXXXXXXX2

説明: VTSS XXXXXXXX1 上の VTV VVVVVV のステータスを確認しているときに、重複した、または古いバージョンの VTV が VTSS XXXXXXXX2 上で検出されました。

システムアクション: VTSS XXXXXXXX2 上の VTV のコピーが削除されます。

ユーザーの対応: このメッセージは通常運用時に発生する可能性があります。それは、VTSS XXXXXXXX2 がオフラインになり、VTSS XXXXXXXX2 がオフラインになっている間に別の VTSS で VTV VVVVVV の余分なコピーが作成された場合です。

たとえば、次のイベントシーケンスでメッセージ SLS6631I が生成されます。

- VTSS XXXXXXXX2 で VTV VVVVVV が作成されます。
- VTV VVVVVV が移行されますが、VTSS XXXXXXXX2 内に残されます。
- VTSS XXXXXXXX2 がオフラインに変更されます。
- VTV VVVVVV が VTSS XXXXXXXX1 内にリコールされます。VTCS は、オフラインになっている VTSS XXXXXXXX2 内の VTV VVVVVV のコピーを削除できません。
- VTSS XXXXXXXX2 がオンラインに変更されます。

それ以外の場合は、この問題を調査するようにしてください。このメッセージは、VTCS が VTSS の内容と同期を取れていないことを示す可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。

VTSS の内容と CDS を一致させるために、AUDIT VTSS ユーティリティーを実行することを検討してください。

問題が再発する場合、または問題が孤立したインシデントではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6632I

VTSS XXXXXXXX server ready; state is SSS

説明: VTSS XXXXXXXX のメインサーバーサブタスクが開始され、稼働可能な状態になっています。状態は次のいずれかになります。

- OFFLINE - オフライン状態
- ONLINE - オンライン状態
- QUIESCED - 静止状態

- RECONFIGURED - VTCS は、VTCS 構成が変更されたことを検出し、内部サブタスクに適切な変更を行いました。
- STARTED - VTSS は初期化され、要求された状態 (オンライン、オフライン、または静止) に変更する処理が行なわれています。
- INCONSISTENT - VTSS は初期化されていますが、その状態はオンライン、オフライン、開始、または静止ではありません。

システムアクション: HSC/VTCS の処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6633I

VTSS XXXXXXXX server task termination detected:

説明: VTSS XXXXXXXX のサーバタスクが何らかの理由で異常終了しました。

システムアクション: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6634I

RTD DDDDDD available for use

説明: RTD DDDDDD は現在要求を処理できる状態にあります。このメッセージは、HSC 起動時、RTD のオンライン切り替え後、またはエラー条件による RTD のリセット後に発行されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6635I

Auto migration TTTTTTTT

説明:

- TTTTTTTT が「to MVC VVVVVV completed」: 自動移行が、MVC VVVVVV への VTV の移行を終了しました。
- TTTTTTTT が「rescheduled because of MVC change」: 選択された MVC が、ストレージクラスが正しくない、空き容量がない、読み取り専用、排出中のいずれ

かの状態にあるために適切な候補ではないことが判明したため、自動移行のスケジュールが変更されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6636I

Demand migration to MVC VVVVVV terminated

説明: VTV 移行の明示的な要求が完了し、MVC VVVVVV の使用が終了しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6637I

Recall from MVC VVVVVV completed

説明: VTV リコールの明示的な要求が完了し、MVC VVVVVV の使用が終了しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6638I

MVC VVVVVV selected for FFFFFFFF VTSS:XXXXXXXX STORCL:CLASS

説明: 機能 FFFFFFFF に対する新しいボリュームとして、移行が VTSS XXXXXXXX から VVVVVV を選択しました。この機能は移行、リクレイム出力または統合のいずれかになります。MVC は、ストレージクラス SSSSSSSS の基準で、また選択的に ACS AA から選択されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6639I

Waiting for host HHHH To complete CONFIG RESET for VTSS XXXXXXXX

説明: CONFIG ユーティリティーが最後に実行されたときに、RESET パラメータが指定されました。その結果、ホスト HHHH は、VTSS XXXXXXXX の内部構成を現在クリアしてリセットしています。

システムアクション: VTSS サーバーのスタートアップは、指定されたホストが処理を完了するまで延期されます。

ユーザーの対応: ホスト *HHHH* がアクティブでない、または何らかの障害が発生している場合は、ほかのホストで問題を修正し、HSC を再起動する必要があることもあります。これにより処理が再起動されます。

SLS6640I

VTV VVVVVV not migrated from VTSS XXXXXXXXX because of status change

説明: VTV VVVVVV を VTSS XXXXXXXXX から MVC に移行しようとしたが、コマンドが最初に発行されたあとに VTV のステータスが変化したことが検出されました。

システムアクション: VTV の移行はスキップされます。

ユーザーの対応: これは単なる警告です。コマンド発行時に検証が実行されてから、移行が試行された時点までにかかなりの遅れがあることから、別の要求が VTV レコードを更新し、それによって移行の元の理由が無効になった可能性が十分にありません。

検証実行後、移行の試行前に次のことが実行された場合、VTV ステータスが変更されることがあります。

- VTV がスクラッチされる。
- VTV がマウントされるが、マウント解除されない。
- VTV が移行され、別の VTCS タスクによって VTSS から削除される。
- VTV がアプリケーションプログラムによって読み取り/書き込みされる (そのため、マウントされてマウント解除される)。

SLS6641I

VTV VVVVVV failed migration from VTSS XXXXXXXXX because of a busy condition

説明: VTSS XXXXXXXXX から MVC に VTV VVVVVV を移行しようとしたときに、VTSS によって VTV のビジー状態が戻されました。

システムアクション: VTV の移行はスキップされます。

ユーザーの対応: この問題を調査することをお勧めします。このメッセージは、VTSS が VTV に対して別の何らかの処理をすでに実行していることを意味します。VTCS

が VTSS の内容との同期を取れなかったか、ハードウェアエラー状態が存在している可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。問題が再発する場合、または問題が孤立したインシデントではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6642I

MVC VVVVVV incorrectly mounted on drive DDDDDD

説明: MVC VVVVVV が RTD DDDDDD にマウントされていることが検出されましたが、これは予期されていた MVC ではありませんでした。

システムアクション: RTD がアンロードされ、本来要求された MVC のために待機が継続されます。

15 分間経過してもマウント要求が満たされない場合は、マウントが時間切れとなり、MVC は LOST としてマークされます。

ユーザーの対応: これは、ドライブに残っているボリュームが原因となっている可能性があります。この場合、アンロードすることで元のマウントが成功します。

本来のマウント要求への応答として正しい MVC がロードされたのにこのメッセージが表示される場合には、MVC のラベルが誤っていることを示します。この場合、MVC を初期化し直す必要があります。

SLS6643I

MVC VVVVVV mounted on drive DDDDDD

説明: MVC VVVVVV が RTD DDDDDD に正常にマウントされ、使用できる状態になっています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6644I

VTV VVVVVV recalled from MVC:MMMMMM location:PPPP/BBBBBBBB

説明: VTV VVVVVV が MVC MMMMMM から正常にリコールされました。VTV は、パーティション PPPP と MVC 上のブロック BBBBBBBB で構成される物質的な場所からリコールされました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6645I

VTSS XXXXXXXX is number1% full of number2 VTVS

説明: VTV のデータは、VTSS XXXXXXXX の *number1%* に達しています。VTSS には現在、*number2* 個の VTV が格納されています。

システムアクション: このパーセンテージが VTSS の現在の高しきい値を超えると、自動移行が開始されます。自動移行は、このパーセンテージが 97% 以上になった場合にも開始されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6646E

VTSS VVVVVVVV has requests stalled awaiting CLINKs to XXXXXXXX

説明: VTSS VVVVVVVV に、クラスタ XXXXXXXX 内のレプリケート、または TapePlex XXXXXXXX への電子エクスポートに対する要求があります。CLINK がオフライン状態にあるため、これらの要求の中には停止するものもあります。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: VT DISPLAY REPLICAT コマンドを使用して、保留されている要求を確認してください。VT VARY コマンドを使用して、いくつかの適切な CLINK をオンラインにしてください。

SLS6647I

Stopping auto migration on VTSS XXXXXXXX

説明: 自動移行の実行中に、VTSS XXXXXXXX が低しきい値に達しました。

システムアクション: 適切な値に達した時点で、この VTSS に対して実行されている自動移行要求は終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS6648I

VTV VVVVVV failed recall to VTSS XXXXXXXX

説明: VTSS XXXXXXXX への VTV VVVVVV のリコールで発生したエラーから回復しようとしたが、回復に失敗しました。

システムアクション: この VTV はスキップされます。これにより、最終的に開始要求が失敗することがあります。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6649I

VTV VVVVVV had data errors on recall

説明: VTV VVVVVV のリコール中に、データチェックが発生しました。リコールは完了しましたが、VTV にはデータが欠落した領域を示す仮想データチェックが含まれています。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

メディアが何らかの損傷を受けていると考えられます。VT MVC DRAIN EJECT コマンドを使用して、MVC からのデータの回復を試行してください。

SLS6650I

VTCS communications interface initialization started

説明: HSC と VTCS との間の通信インタフェースが開始されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6651E

VTCS communications interface initialization failed

説明: HSC と VTCS との間の通信インタフェースが何らかの理由で失敗しました。

システムアクション: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6652E

Copy of VTV VVVVVV missing from MVC MMMMMM

説明: 仮想ライブラリ内で MVC MMMMMM の内容を再統合中に、VVVVV の VTV コピーが喪失していることがわかりました。

システムアクション: MVC への処理は中止されます。

ユーザーの対応: CDS と仮想ライブラリの同期が外れた理由を調査してください。必要に応じて、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CDS の内容を仮想ライブラリの内容に戻すには、MVC の MVC AUDIT を実行してください。

SLS6653I

VTCS main task starting

説明: VTCS での要求を処理するメインタスクが開始しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6654I

VTCS main task waiting for work

説明: VTCS メインタスクは、HSC からの要求を処理できる状態にあります。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6655I

VTCS main task terminating

説明: VTCS メインタスクは、HSC からシャットダウン要求を受信しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6656E

CONFIG error: XXXXXXXX

説明: 構成ユーティリティーの実行中に、構成パラメータのこれまでの文のいずれかでエラーが検出されました。メッセージ XXXXXXXX は、エラーの理由を示します。

システムアクション: 残りの構成文は処理されますが、新しい詳細で CDS が更新されることはありません。

ユーザーの対応: 構成ユーティリティーを再実行する前に、構成を確認して文を変更してください。

SLS6657E

Attempt to mount fenced VTV VVVVVV

説明: VTV VVVVVV のマウント要求が受信されましたが、それは分離された状態にあります。VTV の内容は予測できない状態にあるため、マウントを実行することは危険です。

VTV がスクラッチされており、この VTV を使用してスクラッチマウントが正常に実行できた場合には、この VTV を再利用できます。

システムアクション: マウント要求は失敗します。

ユーザーの対応: 可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。

VTV のデータを再作成する必要があります。問題が再発する場合、または問題が孤立したインシデントではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6658E

VTV VVVVVV is being recovered on VTSS XXXXXXXX

説明: VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTSS XXXXXXXX が VTV に対して回復アクションを実行していることが検出されました。

システムアクション: VTV に対するアクションは後日再試行されます。VTV の内容に信頼性がないことが検出された場合、その時点で VTV が分離されている可能性があります。問題を検出した要求は失敗します。

ユーザーの対応: この問題は、VTSS のこれまでのハードウェアエラーに起因しています。StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、元の問題が記録されているかどうか、または報告されているかどうかを確認してください。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。

回復アクションが完了していることが検出されたら、データの整合性を確認するために VTV の内容を確認してください。

SLS6659I

VTSS XXXXXXXX SIM: MMMM

説明: VTSS XXXXXXXX への ECAM 実行中に、SIM メッセージが保留されているという通知が戻されました。この SIM メッセージのセンス情報は MMMM です。

システムアクション: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: この情報を StorageTek ハードウェアサポートへ報告することをお勧めします。

SLS6660E

Termination of TTTTT task for device XXXXXXXX

説明: サーバータスク TTTTT が異常終了しました。

- TTTTT が RTD の場合は、XXXXXXX にデバイス ID が表示されます。
- TTTTT が CLINK の場合は、XXXXXXX に VTSS 名とデバイス ID が表示されます。

システムアクション: 影響を受ける CLINK または RTD は使用できなくなります。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6661E

All RTD servers terminated - VTCS terminating

説明: VTSS に関する RTD サーバータスクがすべて、何らかの理由で異常終了しました。

システムアクション: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6662E

RTD DDDDDD put in maintenance mode because of error

説明: RTD DDDDDD で一般的な障害が発生しました。デバイスは、操作不能、構成されていない、アクセス不能、または不良であると報告され、使用できなくなりました。

システムアクション: RTD 上で現在処理されている要求は、別の RTD 上で再試行されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG にエラーの性質に関するほかの通知がないかどうかを確認し、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6663I

TTTTT task AAAA for device (DDDD|VVVVVVV CC)

説明: 指定されたデバイスにサービスを提供する VTCS タスクが起動中か、または終了しています。TTTTT はデバイスのタイプで、「RTD」または「CLINK」です。

- デバイスが RTD の場合、DDDD はデバイス番号を示します。
- デバイスが CLINK の場合:
 - CC は CLINK の番号を示します。
 - VVVVVVVV は、CLINK が接続されているプライマリ VTSS (つまり、この CLINK を使用してデータをレプリケートできる VTSS) を示します。
- AAAAA はタスクのアクティビティを示し、「starting」または「terminated」です。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6664I

CDS is not compatible with VTCS

説明: このレベルの VTCS では、CDS のフォーマットが認識されないか、プログラミングサポートがないオプション機能がアクティブになっているため、このレベルの VTCS では CDS を処理できません。

システムアクション: VTCS の処理は終了します。VTCS が HSC/VTCS サブシステムの中で起動している場合は、クローズされます。

ユーザーの対応: CDS が最新バージョンの VTCS ライブラリまたは互換性のある CDS を生成する VTCS ライブラリのバージョンを使用して構成されていることを確認してください。

さらに、これらのライブラリに正しい保守が行われているかどうか、および HSC/VTCS が正しいバージョンのコードを使用して起動されているかを確認してください。

最後に、別のレベルの VTCS を実行しながら、適切なドキュメントを参照して、省略されていたり間違っていた手順がないかを確認してください。

CDS が正しく構成されている場合は、この問題について StorageTek ソフトウェアサポートに問い合わせてください。

SLS6665I

VTCS main task normal termination complete

説明: VTCS のメインタスクの終了処理が完了しました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6666E

VTCS main task abnormal termination detected

説明: VTCS のメインタスクが何らかの理由で異常終了しました。

システムアクション: VTCS サブシステムのその他の部分はクローズされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を参照して、終了の理由があるかどうかを確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6667I

*Request purged:XXXXXXXX {on VTD:DDDDDD} {MVC:MMMMMM} {VTV:VVVVVV}
RRRRRRRR*

説明: タイプ XXXXXXXX の要求が失敗しました。この要求は任意指定によって VTD DDDDDD へ送られました。現在処理されている MVC は MMMMMM で、現在の

VTV は VVVVVV でした。RRRRRRR は、要求が失敗した主な理由を示します。これは、テキストによる説明の場合と、問題の原因となった内部 HSC リターンコードの通知場合があります。

これは、要求の異常終了の一般的な通知です。原因としては、ハードウェアエラー、ソフトウェアエラー、オペレータによる介入、またはその他の解決不可能なエラー状態が考えられます。

システムアクション: 示されている要求は終了します。

ユーザーの対応: このメッセージは通常、ほかの何らかの障害状態に起因します。SYSLOG を参照して、エラーの性質に関する詳細を示すほかのメッセージがないかを確認してください。エラーの性質によっては、元のコマンドやユーティリティーを、同じまたは異なるパラメータで再試行する必要があることもあります。このエラーがソフトウェアエラーに起因する場合、この問題について StorageTek ソフトウェアサポートにお問い合わせください。

SLS6668I

Configuring RTD DDDDDD

説明: RTD DDDDDD のサーバータスクが、RTD が未構成であることを検出しました。

システムアクション: RTD は、CDS に保存されている詳細データに従って構成されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6669I

RTD configuration mismatch DDDDDD1:DDDDDD2 CCC1:CCC2

説明: RTD DDDDDD1 のサーバータスクが、CDS の構成の詳細と VTSS の詳細の間に不一致を検出しました。

DDDDDD2 と呼ばれる RTD には、CCC1 ではなく CCC2 のチャンネルインタフェースの詳細があります。

システムアクション: VTSS に保存されている構成で処理が続行されます。

ユーザーの対応: CDS の構成が誤っている場合は、RTD の詳細をリセットするために構成ユーティリティーを再実行してください。

VTSS の構成が誤っている場合は、VTSS オペレータパネルを使用して RTD を未構成の状態にリセットし、VT VARY コマンドを使用して RTD をオンラインに切り替えてください。

SLS6670E

RTD DDDDDDDD failed XXXXXX configuration with CC=CCC RC=RRR

説明: RTD DDDDDDDD が未構成であることが検出されたため、CDS の詳細に従ってこのデバイスの構成が試行されました。要求が完了コード X'CCC'、理由コード X'RRR' で失敗しました。XXXXXX は、エラーを報告したのが VTSS なのか (実際の) ライブラリなのかを示します。

システムアクション: RTD は損傷状態のままになります。

ユーザーの対応: RTD の構成が正しいことを確認してください。

RTD がほかのシステムに対してオンラインになっていないことを確認してください。問題を解決できない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6671E

XXXXXXXXX scratch pool empty (0F nnnGB... VTVS), reply R to retry

説明:

- メッセージが「XXXXXXXXX Scratch pool empty, Reply R to retry」の場合、サブプール XXXXXXXXX にはスクラッチ VTV が含まれていません。
- メッセージが「XXXXXXXXX Scratch pool empty of nnnGB VTVs, Reply R to retry」の場合、サブプール XXXXXXXXX には、nnnG バイトスクラッチ VTV の要求を満たすスクラッチ VTV が含まれていません (「nnnGB...」には、0.4G バイト、0.8G バイト、2.0G バイト、4.0G バイト、または 32.0G バイトのうち 1 つまたは複数が入ります)。

システムアクション:

スクラッチレベルが 15 分ごとに再確認されます。

- メッセージが「XXXXXXXXX Scratch pool empty, Reply R to retry」の場合、示されているサブプールのスクラッチマウントは、スクラッチボリュームが使用可能になるまで保留されます。

- メッセージが「XXXXXXXX Scratch pool empty of nnnGB VTVs, Reply R to retry」の場合、示されたサブプールの nnnG バイト VTV のスクラッチマウントは、適切なスクラッチボリュームが使用可能になるまで保留されます。

ユーザーの対応: HSC のスクラッチ同期ユーティリティーを実行して、TMC の最新のスクラッチボリュームの詳細が CDS に格納されるようにします。

保留されているスクラッチマウント要求を再試行するため、このプロンプトに「R」と応答します。

HSC の SCRPOOL 定義を調べて、正しい仮想ボリューム範囲が含まれていることを確認してください。CDS に VTV ボリュームの範囲を追加することを検討してください。

1つのコピーだけが常駐するスクラッチは、再利用の機能が制限されることに注意してください。ここで、nnnG バイトサイズの制限が生じます。

SLS6672E

Invalid utility control statement

説明: SWSADMIN ユーティリティーが継続またはほかの一般構文エラー (括弧の不一致など) をユーティリティー制御文上で検出したか、連結制御文 (SWSADMIN オーバーヘッドの 9 バイトを含む) が最大長の 32000 文字を超えています。

システムアクション: 制御文は無視され、リターンコード 8 が設定されます。

ユーザーの応答: エラーを訂正して、SWSADMIN ユーティリティージョブを再送信してください。

SLS6673I

Configured virtual drive DDDDDD marked nonexistent

説明: VTD DDDDDD が VTCS 構成内に定義されていますが、VTSS 内に存在しません。これは、VTSS モデルがサポートしているよりも多くのデバイスを構成が定義している場合によく発生します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: VTCS 構成を確認してください。

SLS6674I

Invalid range WWWW1 - WWWW2 specified

説明: ユーティリティーまたはコマンドに指定された VVVVV1-VVVVV2 というボリューム範囲は、有効なボリューム範囲ではありません。

システムアクション: コマンドまたはユーティリティーは失敗します。

ユーザーの対応: 誤ったボリューム範囲を修正してから、コマンドまたはユーティリティーを再送信してください。

SLS6675E

*VTSS:XXXXXXXX VTD:DDDDDD configuration error RC=RRRRRRRR subsystem
info:ZZZZZ1/ZZZZZ2/ZZZZZ3*

説明: VTSS XXXXXXXX に接続されている仮想ドライブ DDDDDD の構成の検証中に、エラー RRRRRRRR が ECAM 要求に返されたか、または構成の不一致が検出されました。

デバイスに接続されている VTSS によって、サブシステム名 ZZZZZ1、デバイス ID ZZZZZ2、およびフレームシリアル番号 ZZZZZ3 が返されました。

ECAM エラーが発生した場合は、MVS 内の何かまたはハードウェアにより、VTD との通信が妨害されているか、または VTD 以外のデバイスが指定されています。

RRRRRRRR リターンコードは次のとおりです。

- 00000004 - VTSS XXXXXXXX の VTD の構成を検証している VTCS への応答として、ECAM が 99999999 以外のサブシステム名 (ZZZZZ1)、ブランク、または XXXXXXXX を返しました。
- 00000008 - VTSS XXXXXXXX 内の最初以外の VTD の構成を検証している VTCS への応答として、ECAM が ZZZZZ1 の別のサブシステム名を返しました。このような名前の不一致は、最初の VTD だけで発生するようにしてください。
- 0000000C - VTSS XXXXXXXX 内の最初以外の VTD の構成を検証している VTCS への応答として、ECAM がフレームのシリアル番号 ZZZZZ3 を返しましたが、最初の VTD のチェックから返されたフレームのシリアル番号と異なります。
- 6A40FF0C - EXCP エラー、不明な理由
- 6A40FF10 - EXCP エラー、インタフェース制御チェック
- 6A40FF14 - EXCP エラー、VTD への共通パスがない
- 6A40FF18 - UCBLOOK エラー
- 6A40FF1C - UCB キャプチャーエラー

- 6A40FE00 - ECAM 要求の形式が不適切 (VTCS コードエラー)

システムアクション: VTD は損傷しているとしてマークされ、使用されません。

ユーザーの対応: VTCS の構成を調べて確認してください。

構成内の VTD の数と順序が VTSS の VTD の数と順序に一致していることを確認してください。

MVS システムのハードウェア構成を調べて確認してください。VTD アドレスが正しい VTSS を指し示しており、問題のデバイスの CHPID とパスがすべてオンラインになっていて動作していることを確認してください。

MVS ゲストの下で動作している場合は、VM 構成が正しいことを確認してください。また、VTD が「NOASSIGN」オプション付きの MVS ゲストに接続されており、実デバイスと仮想デバイスのマッピングが正しいことを確認してください。

すべての VTD に対して、このメッセージ (RC=6A40FF0C 付き) とメッセージ SLS6608E が続いて発生し、上記に示されているどの応答も問題を解決しない場合、これは VTSS ハードウェアまたはマイクロコード、あるいはその両方の問題になります。担当の Oracle お客様エンジニアに VTSS 操作パネルとエラー状態に関するログを確認させてください。DAC 状態 (データ保証チェック) がこのエラーの原因として知られています。DAC が発生したら、お客様エンジニアによる DAC 状態のリセットのあとで、VTSS の AUDIT を実行する必要があります。

SLS6677E

HSC/VTCS subsystem maintenance level is not correct

説明: SWSADMIN 機能または VTCS プログラムインタフェース (PGMI) 要求では、HSC/VTCS サブシステムおよび SWSADMIN 機能または VTCS PGMI 要求によって使用されるロードライブラリが一定のリリースまたは PUT レベルである必要があります。

システムアクション: 機能または要求は終了します。

ユーザーの対応: SWSADMIN 機能または VTCS PGMI 要求によって使用されるロードライブラリが、アクティブな HSC/VTCS サブシステムによって使用されるロードライブラリと同じであることを確認します。修正後、機能または要求を再実行します。

SLS6678E

Copy of VTV VVVVVV on VTSS XXXXXXXX has become inaccessible

説明: VTSS XXXXXXXX 上の VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTV の内容全体が何らかの理由で読み取り不可能になったことを VTSS が示しました。

システムアクション: VTV のほかのコピーを使用して回復が試行されます。VTV の内容の妥当性が疑わしい場合は、VTV が分離されます。

ユーザーの対応: この問題は、VTSS のこれまでのハードウェアエラーに起因していません。StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、元の問題が記録されているかどうか、または報告されているかどうかを確認してください。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。

VTV の有効なコピーが MVC に存在している場合は、引き続き VTV のデータにアクセスできます。それ以外の場合は、VTV の内容が失われているため、ほかの方法でデータを再作成する必要があります。

SLS6679E*Unexpected copy of VTV VVVVVV found on VTSS XXXXXXXX*

説明: VTV は存在しないはずであると CDS が示していますが、VTSS XXXXXXXX で VTV VVVVVV のコピーが検出されました。

システムアクション: VTSS で検出されたコピーを使用して回復が試行されます。

ユーザーの対応: このメッセージは通常運用時に発生する可能性があります(そしてそれはエラーを示すわけではない)、それは、VTSS XXXXXXXX がオフラインになり、VTSS XXXXXXXX がオンラインになっている間に別の VTSS で VTV VVVVVV の余分なコピーが作成された場合です。

たとえば、次のイベントシーケンスでメッセージ SLS6679E が生成されます。

- VTSS XXXXXXXX で VTV VVVVVV が作成されます
- VTV VVVVVV が移行されますが、VTSS XXXXXXXX 内に残されます。
- VTSS XXXXXXXX がオフラインに変更されます。
- VTV VVVVVV が別の VTSS 内にリコールされます。VTCS は、オフラインになっている VTSS XXXXXXXX 内の VTV VVVVVV のコピーを削除できません。
- VTSS XXXXXXXX がオンラインに変更されます。

それ以外の場合は、この問題を調査するようにしてください。このメッセージは、VTCS が VTSS の内容と同期を取れていないことを示す可能性があります。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください。

VTSS の内容と CDS を一致させるために、AUDIT VTSS ユーティリティーを実行することを検討してください。

問題が再発する場合、または問題が孤立したインシデントではない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6680E

Copy of VTV VVVVVV missing from VTSS XXXXXXXX

説明: VTV VVVVVV のチェック実行中に、VTSS XXXXXXXX 上に存在しているはずのコピーが欠落していることが検出されました。

システムアクション: VTV のほかのコピーを使用して回復が試行されます。VTV の内容の妥当性が疑わしい場合は、VTV が分離されます。

ユーザーの対応: この問題を調査することをお勧めします。このメッセージは、VTCS が VTSS の内容と同期を取れていないことを意味します。

可能であれば、VTV の履歴を追跡して、この問題の原因となった可能性のあるほかのイベントがあるかどうかを調べてみてください

VTSS の内容と CDS を一致させるために、VTSS AUDIT ユーティリティーを実行することを検討してください。

ほかの MVC に VTV のコピーがすでに 1 つ以上存在している場合は、引き続き VTV のデータにアクセスできます。それ以外の場合は、VTV の内容が失われているため、ほかの方法でデータを再作成する必要があります。

SLS6681I

*VTV VVVVVV migrated to MVC:MMMMMM location:PPPP/BBBBBBBB
{STORCL:XXXXXXXX MCMTCL:XXXXXXXX | for Consolidation}*

説明: VTV VVVVVV のコピーが MVC MMMMMM に正常に書き込まれました。VTV のコピーは MVC 上の物理的な位置 PPPP または BBBBBBBB に移行されました。PPP はパーティション番号、BBBBBBBB はブロックを示します。

統合のための移行の場合は、「for consolidation」という文字がそのまま表示されます。それ以外の場合は、MVCに関連付けられたストレージクラスとVTVに関連付けられたマネージメントクラスが表示されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6682I

Space reclaim aborted for MVC: VVVVVV elapsed time of NNN minutes exceeded

説明: NNN 分のタイムアウト時間を指定して、スペースの強制リクレーム要求が入力されました。この時間が経過しました。MVC VVVVVV は、スペースのリクレームにスケジュールされません。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6683I

Bulk recall of number VTVS issued to MVC VVVVVV

説明: 排出またはスペースリクレーム処理で、示されている数のVTVをMVC VVVVVV から削除する要求が生成されました。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6684I

RTD DDDDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED TTTTTT ERROR CC=CCC RC=RRR

説明: 完了コード CCC、およびリターンコード RRR で、RTD DDDDDDDD と VTSS XXXXXXXX 間の操作で要求が失敗しました。TTTTTT は、失敗した要求のタイプです。仮想ライブラリへの操作の UIREQ、またはテープデバイスへの操作の ECAM のいずれかです。原因としては、ハードウェアエラー、ソフトウェアエラー、オペレータによる介入、または解決不可能なエラー状態が考えられます。

システムアクション: エラーの性質とそのときの処理によっては、RTD を一時的に使用できなくなり、要求が別の RTD で再試行されることがあります。可能であれば、代替 MVC が使用されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6685I

RTD DDDDDD mount of VVVVVV timed out

説明: HSC に対し、MVC VVVVVV を RTD DDDDDD にマウントする要求が出されましたが、この RTD が 15 分以内に使用可能になりませんでした。

システムアクション: 代替 MVC を使用できる場合は、代替 MVC を使用して要求が再試行されます。ボリュームが移行に使用される場合は、新たに選択されたボリュームを使用して要求が再試行されます。

要求を再試行できない場合、この要求は取り消されます。

この影響を受ける MVC は LOST としてマークされます。これ以降に MVC のマウントに成功した場合、このステータスはクリアされます。

ユーザーの対応: SYSLOG を調べて、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されたかどうかを確認してください。

すべての MVC がライブラリに格納されていることを確認してください。ライブラリ内の特定のドライブを使用したマウントが正常に行われない場合は、RTD をオフラインにして実行してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6686I

RTD DDDDDDDD volume mounted not an MVC

説明: RTD DDDDDDDD にマウントされたボリュームが有効な MVC ではありません。

システムアクション: 移行要求の結果としてマウントが実行された場合は、新しいボリュームが選択され、要求が再試行されます。

この MVC が以前に使用され、有効であると認識されている場合は、誤ったボリュームがドライブにマウントされているとみなされます。この要求は再試行されず。

ユーザーの対応: SYSLOG を調べて、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されたかどうかを確認してください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されていることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6687I

RTD DDDDDD new volume VVVVVV is not an MVC

説明: MVC VVVVVV は、移行要求への応答として RTD DDDDDD にマウントされましたが、有効な MVC でないことがわかりました。

システムアクション: 新しいボリュームが選択され、移行要求が再試行されます。

ユーザーの対応: SYSLOG を調べて、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されたかどうかを確認してください。

MVC が適切に初期化されているかどうかを調べてください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されていることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6688E

RTD DDDDDD MVC VVVVVV mounted READONLY

説明: MVC VVVVVV が読み取り専用状態の RTD DDDDDD にマウントされ、移行要求によってこの MVC に複数の VTV の書き込みが試行されました。

システムアクション: 新しいボリュームが選択され、移行要求が再試行されます。

ユーザーの対応: SYSLOG を調べて、HSC がマウントを試行したときに何らかの問題が検出されたかどうかを確認してください。物理メディアが読み取り保護になっていないことを確認してください。同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY

コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6689E

FFFFFF found invalid version of VTV VVVVVV on VTSS SSSSSSSS

説明: 機能 *FFFFFF* の実行中に VTSS SSSSSSSS と CDS の照合が失敗しました。

CDS とハードウェアに含まれている VTV のバージョンが異なります。これは、誤った CDS で実行していること、または VTCS 内のソフトウェアの問題が原因である可能性があります。

システムアクション: 問題の発生した機能は中止されます。これにより、VTSS に VTV の孤立したコピーが残る場合があります。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

この問題について調査してください。このメッセージは、VTCS がハードウェアの内容との同期を取れなかったことを示します。

指定された VTSS と影響を受けている VTV が含まれる MVC を監査してください。これらのアクションを行わないと、VTV の内容にアクセスできなくなる可能性があります。

また、すべてのシステムの HSC JOBLOG を調べて、関連するエラーや同時期に発生したエラーがほかにはないかどうかを確認してください。

SLS6690E

RTD DDDDDD position error on VTV VVVVVV MVC MMMMM

説明: RTD DDDDDD で、MVC MMMMM で VTV VVVVVV の処理が試行されました。リコールの場合、CDS 内に示された位置にこの VTV が見つかりませんでした。動的リクレイム MVC への移行の場合、次に利用可能なパーティションが書き込み可能になっていません。

システムアクション: 代替 MVC を使用できる場合は、代替 MVC を使用して要求が再試行されます。そうでない場合、この要求は取り消されます。CDS 内の MVC のステータスが監査に変更されます。

ユーザーの対応: この問題を調査することをお勧めします。このメッセージは、VTCS が MVC の内容との同期を取れなかったことを示します。

可能であれば、MVC の履歴を追跡して、この問題の原因となったイベントがほかにはないかどうかを確認してください。

VTSS の内容を CDS に合わせて再統合するために、MVC AUDIT ユーティリティーを実行することを検討してください。

MVC の整合性を調べてください。以前に発生したイベントによって MVC が破損している可能性があります。MVC の上書きを防止するために十分な規則とプロセスが外部ジョブによって設定されていることを確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6691I

RTD DDDDDD request cancelled

説明: RTD DDDDDD に対して現在実行されている処理時間の長い ECAM 要求が取り消されました。

システムアクション: RTD 上で現在処理されている要求は取り消されます。

ユーザーの対応: この問題を調査することをお勧めします。このメッセージは、VTSS でハードウェアエラーが発生したか、またはほかのいずれかのホストでこの RTD に対して何らかの回復アクションが実行されていることを示します。

各ホストの SYSLOG を調べて、問題発生時の状況を確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6692E

RTD DDDDDD I/O error on MVC MMMMMM labels for VTV VVVVVV

説明: RTD DDDDDD に対して MVC MMMMMM の VTV VVVVVV の読み取りが試行されました。テープラベルの読み取り時にデータチェックが発生しました。この VTV のコピーにはアクセスできません。

システムアクション: 代替 MVC を使用できる場合は、代替 MVC を使用して要求が再試行されます。そうでない場合、この要求は取り消されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

- MVC が破損しているか、または MVC が問題の原因である可能性がある場合には、VT MVC DRAIN EJECT コマンドを使用して MVC から VTV を削除してください。
- 同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6693I

RTD DDDDDD failed, drive will be retried later

説明: RTD DDDDDD で一般障害が発生しました。このドライブはしばらくの間使用できない状態になり、その後リセットされます。

システムアクション: この RTD 上で現在処理されている要求は、別の RTD 上で再試行されます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。

同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VT VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートまで連絡してください。

SLS6694E

VTSS XXXXXXXX has too many VTVs

説明: VTSS XXXXXXXX に 100,000 個を超える VTV を格納しようとしてしました。

システムアクション: 制限値を超える要求は取り消されます。

ユーザーの対応: SYSLOG で、このエラーの性質を示す記録がほかにはないかどうか調べてください。このような状況が発生する前に、自動移行を開始するようにしてください。

VT MIGRATE コマンドを使用して、この影響を受ける VTSS 内に使用可能なスペースを確保してください。

SLS6695E

VTSS XXXXXXXX is full

説明: VTSS XXXXXXXX に VTV をリコールしようとしてしましたが、VTSS 内のスペースが不足しています。

システムアクション: 制限値を超える要求は取り消されます。

ユーザーの対応: SYSLOG で、このエラーの性質を示す記録がほかにはないかどうか調べてください。このような状況が発生する前に、自動移行を開始するようにしてください。

VT MIGRATE コマンドを使用して、この影響を受ける VTSS 内に使用可能なスペースを確保してください。

SLS6696I

Transfer VTV VVVVVV from VTSS XXXXXXXX1 to XXXXXXXX2 via ACS AA

説明: VTV VVVVVV をマウントするマウント要求が VTSS XXXXXXXX2 に送られました。このボリュームほどの MVC にも格納されていません。VTV は VTSS XXXXXXXX1 から ACS AA の共通 RTD を介して転送されます。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは実行コストの大きいアクションなので、できるかぎり実行されないようにしてください。

ジョブの JCL、TAPEREQ 定義、およびユーザー出口の応答を調べて、仮想マウントが誤った VTSS に送られた原因を確認してください。

SLS6697I

No compatible drives for transfer of VTV VVVVVV from VTSS XXXXXXXX1 to XXXXXXXX2

説明: VTSS XXXXXXXX2 の VTD に VTV VVVVVV をマウントする要求を、VTCS が受け取りました。VTV は現在、VTSS XXXXXXXX1 に常駐しており、移行済みのコピーは持っていません。

VTCS は、その VTV を転送するため、それを VTSS XXXXXXXX1 から移行したあと、VTSS XXXXXXXX2 にリコールしてマウントしようとしていました。

両方の VTSS からアクセス可能であり、かつ移行に使用可能な MVC と互換性のある (同じ場所タイプとデバイスタイプを備えた) RTD を、VTCS が見つけられなかったため、転送が失敗しました。

システムアクション: マウント要求は失敗します。

ユーザーの対応: ジョブの JCL、TAPEREQ 定義、およびユーザー出口の応答を調べて、仮想マウントが誤った VTSS に送られた原因を確認してください。

SLS6698I

ECAM I/O error on VTD DDDD

説明: VTD アドレスに対して ECAM-T が発行されたときに I/O エラーが発生しました。

システムアクション: 可能な場合、VTCS は失敗した要求を別の VTD アドレスに対して 1 回だけ再試行します。再試行も失敗した場合、呼び出し元の機能は失敗します。

ユーザーの対応: このアドレスに対して入出力が行えない原因を調査してください。

SLS6699E

MVS space critical - Please add more MVCS to ACSxx|MVCPPOOL (poolname) and reply R to retry

説明: 限界 MVC スペースが ACSxx またはメッセージに示された MVCPPOOL (PPPPPPPP) に対して構成された限界値を下回っています。空き MVC の数の詳細は、最後の SLS6611I メッセージを参照してください。

システムアクション: 自動スペースリクレームが開始されます。スペースの不足が解消されると、このメッセージは削除されます。

ユーザーの対応: VT RECLAIM コマンドを使用すると、一部の MVC が解放される場合があります。QUERY MVCPPOOL コマンドまたは MVCPLRPT ユーティリティを使用して、ほかの ACS や指定された MVCPPOOL で空き MVC が不足していないかどうかを確認してください。MVCPPOOL 定義を参照するか、CDS に MVC の新しい範囲を定義する必要があります。MVC を追加したあと、このプロンプトに対して R と応答し、移行要求を再試行してください。

SLS6701I

Auto migration for VTSS XXXXXXXX to target NN% is now active on host HHHH

説明: VTSS XXXXXXXX の DBU が上限値を超えているか、上限値に達するまで移行するオペレータコマンドが発行されたため、自動移行がホスト HHHH 上で現在アクティブです。このホストは、DBU が目標の NN% に低下するまで VTV の移行と VTSS からの削除を行うことにより、自動移行を管理します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6702E

No volumes available for auto migration selection on VTSS XXXXXXXX

説明: 自動移行プロセスで移行可能な VTV が見つかりませんでした。移行目標に達していません。VTV は、次のいずれかの状態の場合、移行に不適格です。

- マウントされている
- すでに別の移行リストに含まれている (たとえば、即時移行)

システムアクション: DBU が自動移行上限値 (HAMT) より低い場合、VTCS は自動移行を終了します。それ以外の場合、VTCS は自動移行を一時停止し、何分か待ってから、どの VTV が自動移行を必要とするかを再評価します。

ユーザーの対応: 不適格な VTV が見つかった場合は、不適格になる原因を解決してください。自動移行を進めるのにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6703I

Host HHHH is performing auto migration to target NN% on VTSS XXXXXXXX

説明: このメッセージは、別のホスト上でアクティブな自動移行を示すために定期的に発行されます。通常、およそ 60 分間隔でメッセージが生成されます。ただし、チェックを実行するポイントによっては、メッセージの生成される間隔が異なる場合があります。

システムアクション: 指定されたホスト上で自動移行が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6704E

Auto migration for VTSS XXXXXXXX stalled because all storage classes are in error

説明: 自動移行を行う VTV を選択しようとしたときに、MVC または RTD の問題が原因でエラー状態のフラグが立っているストレージクラスにすべての移行可能ボリュームを移行する必要が生じています。

システムアクション: 自動移行は、しばらく待ってから VTV リストの再選択を試行します。

ユーザーの対応: 以前に発行された SLS6700E メッセージを確認してください。これらのメッセージには、エラー状態になっているストレージクラスと、それに対応す

る理由コードが示されています。指定された問題を修正し、必要な場合はストレージクラス定義を再ロードしてください。

SLS6705E

Unconfigure failed with CC=CCC RC=RRR for RTD DDDDDD attached to VTSS XXXXXXXX

説明: CONFIG RESET が実行されてから、CDS の内容に従って RTD が構成される前に、VTCS が各 RTD に対して ECAM Unconfigure を発行しました。

VTSS XXXXXXXX に接続された RTD DDDDDD の構成解除が失敗し、完了コード X'CCC'、理由コード X'RRR' が返されました。VTCS CONFIG が構成解除に使用されていないため、この段階では RTD 名は使用できず、その相対番号 D (0-7) しか使用できません。

システムアクション: VTCS の再構成処理は続行されますが、この RTD をあとで構成するときにエラーが発生する可能性があります。その場合、この RTD は保守モードになります。

ユーザーの対応: RTD の構成が正しいことを確認してください。問題を解決できない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6706E

Unconfigure failed with CC=CCC RC=RRRRRR for CLINK D attached to VTSS XXXXXXXX

説明: CONFIG RESET が実行されてから、CDS の内容に従って Clink が構成される前に、VTCS が各 Clink に対して ECAM Unconfigure を発行しました。

VTSS XXXXXXXX に接続された Clink D の構成解除が失敗し、完了コード X'CCC'、理由コード X'RRRRRR' が返されました。VTCS CONFIG が構成解除に使用されていないため、この段階では Clink 名は使用できず、その相対番号 D (0-7) しか使用できません。

システムアクション: VTCS の再構成処理は続行されますが、この Clink をあとで構成するときにエラーが発生する可能性があります。その場合、この Clink は保守モードになります。

ユーザーの対応: Clink の情報が正しいことを確認してください。問題を解決できない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6707E

XXXXXXXX can only be executed as a TTTTTT

説明: コマンド/ユーティリティー *XXXXXXXX* を誤った環境で実行しようとした。TTTTTT は正しい環境 (コマンド/ユーティリティー) を示しています。

- エラーメッセージが「XXXXXXXX CAN ONLY BE EXECUTED AS A UTILITY」の場合、ユーティリティー *xxxxxxx* を HSC/VTCS オペレータコマンドとして実行しようとしたか、またはコマンド専用の環境で VTCS プログラムインタフェース (PGMI) を呼び出して実行しようとした。ユーティリティー *XXXXXXXX* は、SWSADMIN を使用して、またはユーティリティーを使用できる VTCS PGMI 環境でのみ実行できます。
- エラーメッセージが「XXXXXXXX CAN ONLY BE EXECUTED AS A COMMAND」の場合、コマンド *XXXXXXXX* を SWSADMIN を使用して実行しようとしたか、またはユーティリティー専用の環境で VTCS プログラムインタフェース (PGMI) を呼び出して実行しようとした。コマンド *XXXXXXXX* は、HSC/VTCS オペレータコマンドとして、またはコマンドを使用できる VTCS PGMI 環境でのみ実行できます。

システムアクション: このコマンドまたはユーティリティーは拒否されます。

ユーザーの対応: 正しい環境でコマンドまたはユーティリティーを実行してください。

SLS6708E

Data space creation failed.DSPSERV CREATE gave RC=X'CC' RSN=X'RR'

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとした。

ユーティリティーは、CDS のコピー先となるデータスペースを作成しようとしたが、失敗しました。具体的には、DSPSERV CREATE マクロがリターンコード X'cc' と理由コード X'rr' を返しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 関連する IBM ドキュメントを調べて、失敗の原因を特定します。可能な場合は、この問題を修正してユーティリティーを再実行してください。そうでない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6709E

Failed to obtain accessibility to the data space.ALESERV ADD gave RC=X'CC'

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとして失敗しました。

ユーティリティーは、CDS をコピーできるデータスペースを正常に作成しましたが、データスペースにアクセスするための ALET の取得に失敗しました。具体的には、ALESERV ADD マクロがリターンコード X'cc' を返しました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 関連する IBM ドキュメントを調べて、失敗の原因を特定します。可能な場合は、この問題を修正してユーティリティーを再実行してください。そうでない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6710E

No selection criteria specified for EXPORT

説明: EXPORT ユーティリティーが開始されましたが、エクスポートする VTV または MVC が選択されていません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エクスポート制御カードを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6711E

Failed to open DDNAME 'ddname' for manifest

説明: ユーティリティーは、マニフェストファイルの DD 名 *dd-name* を開こうとしましたが、この操作は失敗しました。

システムアクション: エクスポートまたはインポートユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 上記の原因としてもっとも可能性が高いのは、*dd-name* の欠落です。ユーティリティージョブの JCL を修正して、正しい *dd-name* を入力してください。

SLS6712I

DDNAME 'ddname' will be used for the manifest

説明: DD 名 *ddname* を使用してマニフェストファイルの読み取りまたは書き込みを行います。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6713E

Invalid value VALUE specified for option KEYWORD

説明: キーワード KEYWORD に対して、無効または許容不可能な値 VALUE が指定されました。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 制御カードを適切に修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6715E

'volser1-volser2' does not represent a valid volser-range

説明: 指定された volser 範囲 volser1-volser2 は有効な範囲ではありません。volser1 と volser2 は次の条件を満たす必要があります。

- volser1 と volser2 は、それぞれ有効な volser である必要があります。
- volser1 と volser2 は、同じ文字数で構成されている必要があります。
- volser2 > volser1 である必要があります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: volser 範囲を修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6716E

Unable to update the CDS. Following hosts are active: H1 (, H2, ..., H16)

説明: CDS への更新アクセスを必要としていたユーティリティーが、次の理由により、非アクティブな CDS にアクセスしていたことがわかりました。

- このユーティリティーコマンドに、非アクティブな CDS を使用することが明示的に記述されていました。
- このシステムの HSC/VTCS がアクティブではありませんでした (また、このユーティリティーコマンドには非アクティブな CDS を使用することが明示的に記述されていませんでした)。

非アクティブな CDS を処理するには、その CDS がどのホストからも使用されていないことが必要です。しかし、この CDS は指定されたホスト (*H1*,..., *H16*) がアクティブであり、この CDS を使用していることを示しています。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 指定されたすべてのホストの HSC をシャットダウンしてから、このユーティリティーを再実行してください。ホストが指定されていても、そのホストの HSC がアクティブでない場合、HSC は完全に終了していません。この場合、そのホストの HSC を起動してから完全にシャットダウンするか、(ホストをシャットダウンする前に) 別のアクティブなホストからホストを回復します。または、このユーティリティーが指定されたホストと同じ CDS を使用している場合は、このシステムの HSC/VTCS がアクティブであることを確認してから、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6717I

MVC VVVVVV is in use; EXPORT prohibited

説明: MVC VVVVVV のエクスポートが試行されましたが、この MVC はエクスポート時に使用中でした。

システムアクション: この MVC を無視して処理が続行されます。

ユーザーの対応: この MVC が使用されなくなってから、エクスポートジョブを再実行してください。

SLS6718I

MVC VVVVVV was selected for EXPORT, but was not found

説明: MVC VVVVVV がエクスポートの対象として選択されましたが、関連するレコードを CDS から読み取れませんでした。

システムアクション: この volser は無視されます。

ユーザーの対応: エクスポート制御カードを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6719I

All EXPORT data for MVC VVVVVV successfully written to manifest

説明: MVC VVVVVV のすべての VTV および MVC データがマニフェストファイルに書き込まれました。この MVC に対する下位操作は完了しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6720E

The manifest CHECKSUM is invalid; IMPORT aborted

説明: マニフェストに書き込まれている 32 ビットの CRC (巡回冗長検査) チェックサムが、インポートユーティリティーによって計算されたチェックサムと一致しません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6721I

NNNN {VTV(S) | MVC(S)} selected for IMPORT:

説明: NNNN 個の VTV または MVC がインポートの対象として選択されました。影響を受ける volser のリストについては、後続の SLS6727I メッセージを参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6722I

Incomplete block encountered in MANIFEST-FILE, FIELD NO.NN

説明: マニフェストファイルの読み取り中、フィールド番号 NN を読み取ったときに不完全なブロックが発見されました。直前のブロックが不完全なブロックです。

システムアクション: 直前のブロックを無視してマニフェストファイルの読み取りが続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6723E

No input source specified; MVCMAINT aborted

説明: 保守の対象となる MVC が指定されていません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: MVC() または MANIFEST() を使って制御カードを修正してから、ジョブを再実行してください。

SLS6724E

VTV VVVVVV cannot be imported; An associated MVC was not imported

説明: VTV のコピーを含む MVC がインポートされていないため、VTV VVVVVV をインポートできません。

システムアクション: VTV VVVVVV を無視して処理が続行されます。

ユーザーの対応: 該当する MVC がインポートされない原因を特定して、MVC のインポートを妨げている問題を修正してください。その後、ジョブを再実行してください。

SLS6725I

IMMDRAIN(YES) was specified, but ignored; UPDATE=NO

説明: IMMDRAIN(YES) が NOUPDATE とともに指定されました。NOUPDATE のため、IMMDRAIN(YES) は無視され、MVC は排出されません。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6726I

The manifest contains no applicable data; processing aborted

説明: マニフェストファイルが空です。VTV および MVC を 1 つも含んでいません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS6727I

VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVVVVVVVV VVVVV
VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV VVVVV

説明: volser のリストです。説明については、これ以前のメッセージを参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6728I

NNNN {VTV(s)|MVC(s)} were {NOT|SUCCESSFULLY} imported

説明: NNNN 個の VTV または MVC のインポートが成功または失敗しました。影響を受ける volser のリストについては、後続の SLS6727I メッセージを参照してください。

システムアクション: 該当する VTV または MVC を無視して処理が続行されます。

ユーザーの対応: VTV または MVC のインポートが失敗する原因となった問題を修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6730I

NNNN item(s) selected for processing

説明: ユーティリティーによる処理の対象として NNNN 個の項目が選択されました。影響を受ける volser のリストについては、後続の SLS6727I メッセージを参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6731I

NNNN { VTV(S) | MVC(S) } WERE { NOT | SUCCESSFULLY } exported

説明: NNNN 個の VTV または MVC のインポートが成功または失敗しました。影響を受ける volser のリストについては、後続の SLS6727I メッセージを参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6732E

Item VVVVVV not imported; not found in manifest

説明: 指定された VVVVVV タイプの項目がインポートの対象として選択されましたが、マニフェスト内にありませんでした。

システムアクション: 指定されたボリュームを無視して処理が続行されます。

ユーザーの対応: 制御カードを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6733E

Length (LENGTH) of metadata supplied for TYPE item is incorrect

説明: 指定された項目 (VTV または MVC) に与えられたメタデータの長さが正しくありません。

システムアクション: この項目を無視して処理が終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6734E

Unable to retrieve record for item VVVVVV

説明: item に指定された VTV または MVC のレコードを CDS から読み取れませんでした。

システムアクション: この項目を無視して処理が終了します。

ユーザーの対応: インポートを完了するには、CDS を再構成して、インポートする VTV または MVC の適切な定義を入力します。その後、ジョブを再実行してください。

SLS6735E

Item VVVVVV was not imported; REASON

説明: 指定された項目 (VTV または MVC) をインポートできませんでした。REASON にその理由が記述されます。

システムアクション: この項目を無視して処理が終了します。

ユーザーの対応: REASON が「volume is mounted」である場合、インポート対象の VTV はマウントされていたためにインポートできませんでした。インポートを完了するには、ボリュームをマウント解除してからジョブを再実行してください。

- REASON が「update=no」である場合、インポートは NOUPDATE で実行されていて、試行されたすべての更新がこの方法で報告されています。
- REASON が「duplicate exists」であり、item が VTV である場合、その VTV はデータを含んでいて、ほかと重複しているとみなされます。重複している VTV を強制的に更新するには、REPLACE(ALL) を指定します。
- REASON が「duplicate exists」であり、item が MVC である場合、その MVC はいくつかの VTV コピーを含んでいて、ほかと重複しているとみなされます。MVC

をインポートするには、インポート先の CDS 内でその MVC が空であるか、または初期化されていないとみなされる必要があります。

SLS6736I

Item VVVVVV was successfully imported

説明: VVVVVV タイプの項目が正常にインポートされました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6737I

MVC VVVVVV already has READONLY/LOST(ON | OFF); request ignored

説明: MVCMAINT を使用して MVC を読み取り専用ステータスに変更するように要求されましたが、選択された MVC はすでに目的の状態になっています。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6738E

{STORAGE/MANAGEMENT} class CLASS was either empty or undefined

説明: 指定されたストレージクラスまたは管理クラス CLASS では、どの MVC または VTV も選択されませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 必要に応じてクラス名を修正してください。

SLS6739I

Duplicate {STORAGE/MANAGEMENT} class CLASS ignored

説明: ストレージクラスまたは管理クラス CLASS が複数回指定されました。

システムアクション: 重複したクラスを無視して処理が続行されます。

ユーザーの対応: 必要に応じて制御文を修正してください。

SLS6740I

Syntax error (ignored) on the legacy FEATures VSM statement

説明: 現在は、VSM 拡張管理機能がデフォルトになっています。この機能は、FEATures VSM(ADVMMGMT) 文が正確に指定されているかどうか、またはこの文があるかどうかに関係なく有効です。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 使用されなくなったパラメータを削除し、古い構文を修正してください。

SLS6741I

Operation of VTSS XXXXXXXX initiated from host HHHH

説明: ホスト *HHHH* が指定された VTSS の変更操作を開始しました。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6742I

Operation (scope) of VTSS XXXXXXXX complete

説明: 指定された VTSS の変更操作が完了しました。scope は、この操作がローカルホストに対してのみ完了したのか (local)、または HSC に定義されているすべてのホストに対して完了したのか (global) を示します。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6744I

Quiescing VTSS XXXXXXXX - NNN VTDs still allocated

説明: VTSS の休止処理中に、VTCS はすべての VTD が未割り当てになるまで待機します。その時点まで、割り当てられた VTD の数が、その数が変わるたびに、または少なくとも 30 秒ごとに報告されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6745I

VTSS XXXXXXXX now SSSSSSSS on host HHHH

説明: ホスト *HHHH* 上で指定された VTSS の状態が変更されました。

- STATE
- ONLINE
- QUIESCED
- OFFLINE
- STARTED

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6746E

VTSS XXXXXXXX has been offline; A VTSS AUDIT is recommended

説明: 指定された VTSS は以前にオフラインになったため、実際の VTSS の内容が変更されたのに、CDS が適切に更新されていない可能性があります。現在の VTSS の内容を CDS に反映するため、VTSS を監査することをお勧めします。VTSS の監査が完了するまでは、HSC を起動するたびにこのメッセージが発行され続けます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6748E

Failed to VARY CLINK-ID clinkid online to VTSS vtssname

説明: クラスタ VTSS リンク *clinkid* の初期化で VTSS *vtssname* をオンラインに変更できませんでした。この障害の原因となった ECAM エラーの詳細は、最後の SLS6751I メッセージを参照してください。

システムアクション: このクラスタ VTSS リンクはオフラインに設定され、レプリケーション処理で使用できなくなります。VTCS は VARY online を定期的に発行することでリンクを回復しようとしています。

同期リモートリンクが失敗した場合は、CLINK の非同期への変更がただちに試行されます。この試行が成功した場合、VTCS はエクスポート CLINK が非同期モードでオンラインであることを示すメッセージ SLS6759I を発行し、その後は変更を試行せずにこの状態を維持します。この試行が失敗した場合は、リモートリンクがオフラインに設定されます。

ユーザーの対応: ECAM のステータスが構成エラーを示している場合は、エラーを修正して VTCS を回復してください。

SLS6749I

CLINK SSSSSSSS/CC Async Replicated VTV VVVVVV to VTSS RRRRRRRR Mgmt
Cl:MMMMMMMM

説明: VTCS は、CLINK デバイス番号 CC を使用して VTV VVVVVV を送信側 VTSS SSSSSSSS から受信側 VTSS RRRRRRRR に正常にレプリケートしました。レプリケーションを開始した管理クラスは MMMMMMMM です。

システムアクション: なし。情報提供のみです。

ユーザーの対応: なし

SLS6750E

VTSS VVVVVVVV configuration invalid: RRRRRRRR

説明: VTSS VVVVVVVV の初期化中に、CLINK 接続が検証中でした。問題 RRRRRRRR が見付き、VTSS の状態またはタイプ、および構成から取得した要件が示されま

す。一般に、要求された機能が VTSS のマイクロコードのレベルで完全にサポートされていないことが、この原因として考えられます。

理由テキストが「RTD/remote CLINK Configuration different」の場合は、そのクラスタの VTSS に同一の RTD 構成がないか、または同じ TapePlex へのリモート CLINK がないため、CLINK の終端で受信側 VTSS にレプリケートする機能が無効になります。RTD 定義については、クラスタ内の VTSS から同じ ACS 内の同じドライブタイプに接続する必要があります。リモート CLINK 定義については、クラスタ内の 1 つの VTSS に TapePlex へのリモートリンクがある場合、そのクラスタ内のすべての VTSS に同じ TapePlex へのリモートリンクが存在する必要があります。

理由テキストが「No access to VTDs 0-15」の場合は、同期レプリケーションまたはエクスポートを実行する機能が無効になります。

システムアクション: VTSS はオンラインのままですが、CLINK が完全には機能しません。このため、レプリケーションや電子エクスポートを実行できない場合があります。

ユーザーの対応: 構成エラーを修正してください。RESET オプションを指定せずに CONFIG ユーティリティーを再実行することで、VTSS をリセットして再試行できます。

SLS6751I

CLINK vtssname/clinkid iftype ifaddr RETURNED ECAM ERROR CC=ccc RC=rrr

説明: VTSS vtssname 上の iftype および ifaddr を使用するクラスタ VTSS リンク clinkid で ECAM エラーが発生しました。コマンドが終了し、完了コード ccc および理由コード rrr が返されました。この原因として、ハードウェアエラー、ソフトウェアエラー、またはほかの何らかの解決不可能な状況が考えられます。

システムアクション: エラーの性質によっては、失敗した要求を別の Clink で再試行できる場合があります。

ユーザーの対応: SYSLOG で、このエラーの性質を示すメッセージがほかにはないかどうか調べてください。

SLS6753I

CLINK CLINKID on VTSS XXXXXXXX reported RRRRRRRR: DDDDDD

説明: VTSS XXXXXXXX 上のクラスタ VTSS リンク CLINKID で ECAM エラーが発生しました。エラーの理由が RRRRRRRR で示されます。DDDDDD は、VTSS から返されたセンスデータです。

システムアクション: 必要に応じて、SYS1.LOGREC へエラーレコードが書き込まれます。エラーの性質によっては、失敗した要求を別のクラスタ VTS リンクで再試行できる場合があります。

ユーザーの対応: SYSLOG で、このエラーの性質を示すメッセージがほかにはないかどうか調べてください。このエラーが解決できない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6754I

CLINK ssssssss/cc iftype ii failed to dismount VTV vvvvvv

説明: VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 cc の初期化中、VTV vvvvvv がまだマウントされており、マウント解除されようとしていたことがわかりました。マウント解除処理でエラーが発生しました。デバイスの接続先インタフェースは iftype ii です。このメッセージの前に ECAM エラーコードを示すメッセージ SLS6751I が発行されます。

システムアクション: このリンクは VTV のレプリケーションに使用できません。

ユーザーの対応: なし

SLS6755I

Configuring CLINK ssssssss/cc iftype ii

説明: VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 cc に構成が必要なことがわかりました。受信側 VTSS への接続はインタフェース iftype ii によって行われます。

システムアクション: VTCS はリンクを構成するために必要な ECAM コマンドを発行します。

ユーザーの対応: なし

SLS6756I

CLINK ssssssss/cc iftype ii configuration mismatch nnnnnnn1-nnnnnnn2 ii1-ii2

説明: VTSS ssssssss に接続され、インタフェース ifaddr ii 用に構成された CLINK デバイス番号 cc に構成の不一致があります。VTCS の CDS 構成には Clink 名 nnnnnnn1 とインタフェース ii1 が含まれていますが、VTSS は値 nnnnnnn2 と ii2 を返しました。

このメッセージは、通常、VTSS からのバックエンド接続を追加または変更するために CONFIG ユーティリティーを実行すると生成されます。

システムアクション: VTCS は VTSS 内に保存されている構成を修正します。

ユーザーの対応: チェックを行い、アクティブになっていた構成情報が正しいことを確認してください。

SLS6757E

CLINK ssssssss/cc iftype ii failed initial configuration with CC=ccc RC=rrr

説明: VTCS の初期化中、VTSS ssssssss に接続され、インタフェース iftype ii を使用する CLINK デバイス番号 cc の構成が失敗し、完了コード X'ccc' および理由コード X'rrr' が返されました。

システムアクション: このリンクは VTV のレプリケーションに使用できません。

ユーザーの対応: なし

SLS6758I

CLINK ssssssss/cc iftype ii failed to replicate/export VTV vvvvvv

説明: VTSS ssssssss の CLINK デバイス番号 cc 経由で VTV vvvvvv のレプリケーションまたはエクスポートを実行中にエラーが発生しました。

このメッセージのあとに ECAM エラーコードを示すメッセージ SLS6751I が発行されます。

システムアクション: VTV はレプリケーションまたはエクスポートの待ち行列に入れられたままとなり、リンクには回復が必要であることを示すフラグが付けられます。

ユーザーの対応: なし

SLS6759I

CLINK ssssssss/cc iftype ii now online to VTSS rrrrrrrr

説明: VTCS が正常に初期化され、VTSS ssssssss に接続された CLINK デバイス番号 cc がオンラインになりました。

この接続は iftype ii 経由で受信側 VTSS rrrrrrrr に対して行われます。メッセージには、この CLINK でサポートされるレプリケーション機能 (非同期または同期) が示されます。

システムアクション: このリンクは、非同期または同期の VTV レプリケーションに使用できるようになります。

ユーザーの対応: なし

SLS6760I

RTD DDDDDD reported RRRRRRRR using MVC VVVVVV

説明: 実テープデバイス DDDDDD が MVC VVVVVV 使用時のエラーを報告しました。このエラーは理由テキスト RRRRRRRR によって示されます。このエラーは、デバイスの故障、メディアエラー、または例外状態によって発生します。

システムアクション: このメッセージのあとに、追加のエラーや回復アクションを示すほかのメッセージが 1 つ以上発行される場合があります。正確な回復は最初のエラーによって異なり、代替デバイスへの交換、代替 MVC の選択、要求の再試行や消去などが含まれます。

ユーザーの対応: MVS SYSLOG で、障害のあるデバイスを修復したり、障害のあるメディアを交換したりするのに必要なアクションを検索してください。

SLS6761I

MVC VVVVVV contains an invalid MIR - processing may be delayed

説明: MVC VVVVVV で無効なメディア情報領域が報告されましたが、利用可能な代替の MVC がありません。MIR が無効な状態では、検索操作の速度が低下し、その結果、移行やリコールの時間が長くなる可能性があります。

システムアクション: 操作は続行されますが、通常より実行速度が遅くなる可能性があります。

ユーザーの対応: 最適なパフォーマンスを確保するため、メディアの無効な MIR の状態を修復するのに必要なアクションを実行してください。

SLS6762I

MVC MMMMMM media type does not support MIR. Request ignored

説明: MVCMAINT は、MVC MMMMMM の MIR ステータス変更の試行を検出しました。この MVC のメディアタイプでは、MIR はサポートされません。

システムアクション: MVCMAINT は、この MVC に対する MIR 更新の試行を無視します。

ユーザーの対応: MVCMAINT の制御文を再コーディングして、ジョブを再実行してください。

SLS6763E

Inconsistent status for MVC VVVVVV detected on DRAIN/RECLAIM VTVCT ACT_VTV_CNTRS:EXP_VTV_CNTRS UPDSQ ACT_MVC_UPD_SEQ_NUM:EXP_MVC_UPD_SEQ_NUM

説明: MVC VVVVVV は、MVCDRAIN または RECLAIM の終了時に予期しないステータスになりました。実際の VTV カウント ACT_VTV_CNTRS と、予期された VTV カウント EXP_VTV_CNTRS が示され、さらに実際の MVC 更新シーケンス番号 ACT_MVC_UPD_SEQ_NUM と予期された MVC 更新シーケンス番号 EXP_MVC_UPD_SEQ_NUM も示されます。

システムアクション: MVC の MVCDRAIN または RECLAIM は終了します。CDS 内の MVC レコードは更新されず、MVC は DRAIN ステータスのままになります。

ユーザーの対応: この問題は、同じ MVC に対する MVCDRAIN および RECLAIM が 2 つのホストで同時に実行されることによって発生した可能性があります。MVC の排出を試行してください。これが失敗した場合は、MVC を監査してください。

SLS6764E

*Inconsistent counts for MVC MMMMMM detected on DRAIN/RECLAIM VTVPR A
CNT B DEL C XXXX*

説明: MVC MMMMMM は、MVCDRAIN または RECLAIM の終了時に予期しない VTV カウントになりました。処理対象の VTV のカウントは A です。MVC に移行された VTV のカウントは B です。削除された VTV のカウントは C です。XXXX には、問題が検出されたときの MVC の状態に関する追加情報が含まれています。

システムアクション: MVC の MVCDRAIN または RECLAIM は終了します。CDS 内の MVC レコードは更新されず、MVC は DRAIN ステータスのままになります。

ユーザーの対応: この問題は、同じ MVC に対する MVCDRAIN および RECLAIM が 2 つのホストで同時に実行されることによって発生した可能性があります。MVC の排出を試行してください。これが失敗した場合は、MVC を監査してください。

SLS6765I

*DRAIN/RECLAIM for MVC MMMMMM completed logical EOT PPP/BBBBBB VTV count
Vdeleted VTV count D*

説明: MVC MMMMMM の DRAIN または RECLAIM プロセスが正常に完了しました。新しい論理的なテープの終わり PPP/BBBBBB が示されます。PPP はパーティション番号、BBBBBB はブロック ID です。パーティション分割されていないテープでは、PPP は 0 (ゼロ) になります。

MVC の新しい VTV カウント V が示されます。MVC の新しい削除済み VTV カウント D が示されます。

システムアクション: MVCDRAIN が DRAIN ステータスから削除され、VSM の処理に使用できるようになります。

ユーザーの対応: なし

SLS6766E

The XML responses contain an error

説明: SWSADMIN ステップに DDname //SLSXML が含まれているため、VTCS はこのファイルに XML データを書き込みます。VTCS は、データ項目用に生成された XML が正しい形式 (<tag>値</tag>) でなかったことを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: SWSADMIN ステップが取り消されたか異常終了した場合は、XML データの生成が完了する前に VTCS の処理が強制終了されたため、それがこのメッセージの原因だと考えられます。SWSADMIN ステップが取り消されず、異常終了もしなかった場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6767I

TTTTTTTT have been refreshed

説明:

- *TTTTTTTT* は「仮想スクラッチサブプール」です。スクラッチサブプールが *SCRPDF* コマンドで再ロードされたため、VTCS はそのスクラッチサブプールの定義とその内部のスクラッチ *VTV* カウントをリフレッシュしました。
- *TTTTTTTT* は「MVC プール」です。MVCDEF コマンドを発行した結果、VTCS はその MVC プールキャッシュの定義とプール内部の MVC のステータスをリフレッシュしました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6768I

DFSMSRMM API error, VTV VVVVVV, FFFFFFFF, RC=RRRRRRRR, RS=XXXX

説明: VTCS が *volser VVVVVV* に対して *DFSMSRMM* 機能 *FFFFFFF* を試行しましたが、リターンコード *RRRRRRRR* と理由コード *XXXX* で失敗しました。

システムアクション: この *VTV* はマウントされたままになります。

ユーザーの対応: 失敗のリターンコードと理由コードについては、*DFSMSRMM* のマニュアルを参照してください。

SLS6769I

DFSMSRMM API error, VTV VVVVVV non scratch in DFSMSRMM

説明: VTCS は、スクラッチとしてマウントする前に *VTV VVVVVV* 用の *DFSMSRMM* でボリュームステータスを確認し、このボリュームが *DFSMSRMM* データベースでスクラッチステータスになっていないことを検出しました。

システムアクション: マウントが続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6770E

Unable to determine DSNames for the CDS

説明: HSC および VTCS ユーティリティーは、ユーティリティー JCL に指定された CDS の詳細と HSC が使用する CDS の詳細を確立するため、オペレーティングサービス READJFCB および LOCATE を統合ユーザーインタフェースとともに使用しました。これらの呼び出しのいずれかが正常に終了しませんでした。

システムアクション: この操作は失敗し、RC=8 が返されます。

ユーザーの対応: SLUADMIN ジョブに指定されたユーティリティー JCL を調べて、エラーがあれば修正してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6771E

Unable to allocate the Control Data Set

説明: HSC または VTCS ユーティリティーが実行されていますが、現在アクティブな CDS の詳細を確立するための HSC アドレス空間との通信と CDS の動的割り当ての試行に失敗しました。このメッセージが発行される理由として、次のようなものがあります。

- HSC がこの要求に応答しませんでした。
- CDS の動的割り当てが失敗しました。
- HSC がどの CDS もアクティブでないことを報告しました。
- JCL に指定された CDS と HSC に対して現在アクティブな CDS との間に不一致があります。

システムアクション: この操作は失敗し、RC=8 が返されます。

ユーザーの対応:

- HSC がアクティブでなく、JCL に DD 文が含まれていない場合は、JCL に CDS 用の DD 文を指定するか、HSC をアクティブにします。
- CDS への更新アクセスを必要とするユーティリティー (EXPORT など) が実行されていて、HSC がアクティブであり、JCL に CDS が指定されている場合、それらの CDS は HSC サブシステム内で現在アクティブな CDS と一致しません。JCL の DD

文を HSC サブシステムと一致するように修正するか、削除してください。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6772E

Path P P P P P P P P to device D D D D is not supported by the VLE L L L L L L L L

説明: VTCS 構成で定義された P P P P P P P P という名前の D D D D デバイスへのパスは、VLE L L L L L L L L のコードレベルではサポートされません。

システムアクション: このデバイスへのパスはオフライン/保守状態に設定されます。これがこのデバイスへの唯一のパスである場合は、デバイスもこの状態に変更されます。

ユーザーの対応: VTCS 構成からこのデバイスを削除するか、VLE のコードレベルをアップグレードしてください。

SLS6773I

DFSMSRMM inventory management in progress

説明: DFSMSRmm CHANGEVOL コマンドで DFSMSRmm が管理する仮想テープボリュームのステータスを変更しようとしたが、リターンコード 12、理由コード 24 を受け取りました。これは、DFSMSRmm BACKUP(AMS) が実行中であり、DFSMSRmm CDS への更新が許可されないことを示します。

システムアクション: 仮想マウント処理では、DFSMSRmm BACKUP(AMS) の実行中に 5 分おきにマウントが再実行されます。スクラッチ処理では、HSC の CDS でボリュームが SCRATCH としてマークされ、次回マウント時に DFSMSRmm INITIALIZED としてマークされます。

ユーザーの対応: ユーザーの対応は必要ありません。このメッセージは、次に DFSMSRmm CHANGEVOL コマンドが正常に実行されたときに削除されます。

必要に応じて、DFSMSRmm の BACKUP(DSS) コマンドに CONCURRENT オプションを指定し、バックアップの実行中に更新を実行できるようにすることで、このメッセージを回避できます。

SLS6774E

MVC V V V V V V; No access to VTSS N N N N N N N N, unable to rename

説明: MVC V V V V V V 用に最後にマウントされた VTSS の名前を変更しようとしたが、VTSS N N N N N N N N が MVCMAINT ユーティリティーを実行しているホストからアクセスできないことがわかりました。

システムアクション: ユーティリティーは失敗し、この MVC に対してリターンコード 8 が設定されます。制御文にほかの MVC が指定されていた場合、それらは処理されません。

ユーザーの対応: VTSS NNNNNNNN にアクセスできるホスト上でユーティリティーを再実行してください。

SLS6775E

MVC VVVVVV; VTSS name NNNNNNNN does not exist, unable to rename

説明: MVC VVVVVV 用に最後にマウントされた VTSS の名前を変更しようとしたが、MVCMAINT ユーティリティーを実行しているシステムに VTSS 名 NNNNNNNN が存在しないことがわかりました。

システムアクション: ユーティリティーは失敗し、この MVC に対してリターンコード 8 が設定されます。制御文にほかの MVC が指定されていた場合、それらは処理されません。

ユーザーの対応: 有効な VTSS 名を指定してユーティリティーを再実行してください。

SLS6776I

DDname dd_name will be used for the manifest merge input file

説明: DD 名 *dd_name* がマニフェストマージユーティリティーへの入力として MERGEIN パラメータに指定されました。これは、マニフェストマージ入力ファイルに割り当てられた DD 名です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6777I

DDname dd_name will be used for the manifest merge output file

説明: DD 名 *dd_name* がマニフェストマージユーティリティーへの入力として MERGEOUT パラメータに指定されました。これは、累積マニフェスト出力ファイルに割り当てられた DD 名です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6778E

The manifest input file contained no data, processing aborted

説明: マージユーティリティーで、MERGMFST コマンド文に指定された入力 DD 名に関連付けられた VTV または MVC データが見つかりませんでした。

システムアクション: マニフェストマージユーティリティーが条件コード 8 で終了します。

ユーザーの対応: マニフェスト入力ファイルとして正しいファイルが指定されたことを確認してください。ファイル名を修正して、マージユーティリティーを再発行してください。

SLS6779E

Failed to open DDname dd_name for manifest merge output file

説明: マニフェストマージユーティリティーは、マニフェストマージ出力ファイルに指定された DD 名 *dd_name* を開くことができませんでした。

システムアクション: マニフェストマージユーティリティーは条件コード 12 で終了し、処理が中止されます。

ユーザーの対応: マニフェストマージ出力ファイルに使用されている DD 名とファイル名の両方の妥当性を確認して、マージプロセスを再発行してください。

SLS6780E

VTSS CONFIG error of NNNNNNNN AS VSMN : RRR

説明: VTCS は、メッセージに示されたように VTSS NNNNNNNN が VSM2 または VSM3 であることを検出しました。この構成は、次のいずれかの理由 RRR のため無効です。

- 「Over 8 RTD/CLINKs」 - 8 個を超える RTD/Clink が定義されています。
- 「Over 64 VTDs」 - 64 個を超える VTD が定義されています。
- 「RTD odd interface DDDDDDDDD」 - RTD DDDDDDDDD が奇数インタフェースに定義されています。
- 「CLINK odd interface TTTTTTTT」 - VTSS NNNNNNNN を VTSS TTTTTTTT に接続している Clink が奇数インタフェースに定義されています。

システムアクション: VTSS の初期化が強制終了され、VTSS が「アクセス不能」に設定された状態で HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 構成パラメータを修正してから、VTCS CONFIG ユーティリティーを実行して VTCS 構成を再定義してください。

SLS6781

NNNN VOLSER_TYPE MVCVTV(S) are a result from manifest merge processing

説明: マージ処理で発生した volser タイプ (VTV または MVC) の数です。影響を受ける volser のリストについては、後続の SLS6727I メッセージを参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6782I

Duplicate manifest file (DD_NAME + NNNN) encountered while processing concatenated input; file skipped

説明: マニフェスト入力処理で、連結リスト内に重複するファイルが検出されました。同一のタイムスタンプを持つマニフェストファイルが以前に処理されました。DD_NAME + NNNN は、DD 名の連結内での重複ファイルの相対的なファイル位置です。

システムアクション: 重複したファイルをスキップして処理が続行されます。

ユーザーの対応: マニフェスト入力ファイルの妥当性を確認してください。

SLS6783I

MVC NNNN VTV count is zero; considered drained

説明: 入力ファイルの連結リストの処理中に、マニフェスト入力処理で VTV カウントが 0 になった MVC の累積イメージが生成されました。この状況は、MVC が論理的に排出されたことを表しています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6784I

The warranty on MVC MMMMMM has expired

説明: MVC MMMMMM の保証が、所定のマウント回数を超えたために期限切れとなりました。

システムアクション: MVC ステータスが保証期限切れを示すように変更されます。この MVC は、寿命に達してステータスが **Retired** に変更されるまで、引き続き出力 MVC として選択できます。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありませんが、今後寿命に達する MVC を交換するための計画を立てることをお勧めします。

SLS6785I

MVC MMMMMM has reached end-of-life.Status changed to RETIRED

説明: MVC MMMMMM は、所定のマウント回数を超えたために寿命が尽きました。

システムアクション: MVC ステータスが **Retired** に変更されます。この MVC からデータを読み取ることはできますが、この MVC を出力 MVC として選択することはできません。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありませんが、今後空になった MVC を交換するための計画を立てることをお勧めします。

SLS6786E

MVC MMMMMM is retired.Warranty status cannot be changed

説明: MVCMAINT MVC(MMMMMM) WARRANTY(ON|OFF) を使用して MVC MMMMMM の保証期限切れステータスの変更が試行されました。期限切れの MVC は、必然的に保証期限が切れています。したがって、保証期限切れステータスへの変更は適用できません。

システムアクション: この操作は失敗し、RC=8 が返されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6787E

VTV VVVVVV is SIZE1 and resident in VTSS SSSSSSSS.However, the CDS records it as being SIZE2

説明: VTCS は、VTV VVVVVV の処理中にこの VTV がサイズ **SIZE1** で VTSS SSSSSSSS に格納されていることを確認しました。しかし、これは CDS に記録されている情報と矛盾しています。CDS では、この VTV のサイズは **SIZE2** になっています。**SIZE1** と **SIZE2** はそれぞれ 800M バイトまたは 400M バイトになります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6788I

Invalid MIR reported for MVC MMMMMM on RTD RRRRRRRR

説明: RTD RRRRRRRR の RBL (Read Buffered Log) データは、MVC MMMMMM に無効な MIR (メディア情報領域) があることを示しています。

システムアクション: CDS の MVC レコードが更新され、MIR が無効であることを示しています (INVLDMIR フラグがオンになっています)。この MVC は移行用に選択されたままですが、使用を回避されます。リコールの場合、VTCS は代替 MVC が使用可能であればそれを選択します。

ユーザーの対応: トランSPORTの操作パネルで利用できるユーティリティーと MPST で利用できるユーティリティーのいずれかを使用するか、MVC を監査して、MIR を回復してください。MIR が再作成されたら、MVCMAINT MVC(MMMMMM) INVLDMIR(OFF) を実行して、無効な MIR フラグをオフにしてください。

SLS6789I

VTCS main task terminating due to internal shutdown request

説明: エラーが発生して VTCS 処理が続行不能になったため、VTCS タスクによって VTCS のシャットダウンが開始されました。エラーはこれ以前のメッセージで報告されています。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: これ以前のメッセージから、VTCS のシャットダウンの原因となったエラーを特定してください。メッセージに示された修正アクションを実行してから、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6790I

VTV VVVVVV found mounted during processing

説明: ユーティリティー操作の実行中に、指定された VTV VVVVVV がマウント状態であることがわかりました。

システムアクション: リターンコード 4 が設定されます。要求されている機能に基づいて、ほかの操作が試行される可能性があります。

DRAIN および RECLAIM 操作の場合は、必要に応じてほかの MVC が処理されます。

ユーザーの対応: VTV がマウント状態でなくなったときに、この機能を再実行してください。

SLS6791I

VTV VVVVVV associated with MVC VVVVVV exceeds two copies for export

説明: MVC VVVVVV に関連付けられた VTV VVVVVV が 4 個の移行コピーをサポートしない VTCS システムにエクスポートできる VTV コピーの最大数を超過していることがわかりました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6792I

Recall of VTV VVVVVV aborted - Attribute AAAAAAAAA not supported by VTSS NNNNNNNN

説明: VTSS NNNNNNNN 内のマイクロコード (または VTSS のモデル) では、属性 AAAAAAAAA を持つ VTV がサポートされていないため、VVVVV のリコールの試行が中止されました。この VTV は、必要なマイクロコードレベルがインストールされている VTSS 上で作成されました。

属性 AAAAAAAAA は、MAXVTVSZ (VTV の最大サイズ) または VTVPAGE (VTV の格納に使用されるページサイズ) のどちらかです。

システムアクション: このリコール要求は失敗しました。

ユーザーの対応: 要求された属性をサポートしている VTSS にリコールを送信してください。

これがどのように発生したかを調査する必要があります。1 つのインストール内では、VTCS がこの状況の発生を防ぎます。もっとも可能性の高い原因は、別のインストールから VTV をインポートしたことです。

SLS6793I

The CDS supports AAAAAAAAA VTVs but NNNNNNNN does not

説明: CDS は、AAAAAAAA 属性を持つ VTV をサポートするように構成されています。しかし、VTCS は、VTSS NNNNNNNN のマイクロコードレベルがこの属性の VTV をサポートしていないことを検出しました。

システムアクション: 処理は続行されますが、AAAAAAAAA 属性を持つ新しい VTV の作成は、このメッセージが発行された VTSS だけでなくすべての VTSS にわたって抑制されます。属性 AAAAAAAAA は VTPAGE(LARGE) または MAXVTVSZ です。MAXVTVSZ の値は、800、2000/4000、または 32000 になります。

ユーザーの対応: 指定された属性で VTV を作成する必要がある場合:

- SLS6793I が出力された各 VTSS について、VTSS をオフラインにし、サポートするマイクロコードレベルをインストールしてから、VTSS をオンラインに戻します。すべての VTSS が修正されると、この属性が使用可能になります。
- SLS6793I が出力された VTSS 以外が実行可能な場合は、その VTSS をオフラインにし、HSC をリサイクルします。

SLS6794I

CDS type is not recognized

説明: VTCS は、デコンパイル操作に関連付けられた CDS が VTCS でサポートされる操作でないことを検出しました。有効なタイプは、基本、拡張、拡張 (VTCS V6 拡張付き) です。

システムアクション: デコンパイルプロセスは終了します。

ユーザーの対応: ターゲットの CDS が VTCS 構成プロセスを使用して正しく構成されていることを確認してください。CDS が正しく構成されている場合は、StorageTek ソフトウェアサポートにこの問題を照会してください。

SLS6795W

Unable to delete VTV VVVVVV from VTSS SSSSSSSS

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとしていました。インポート中の VTV VVVVVV は、すでに CDS に存在しており、VTSS SSSSSSSS に格納されていました。このモードのインポートでは VTSS にアクセスできないため、インポート時に VTSS から VTV の「古い」コピーを削除できませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。この VTV に対して RC=4 が設定されます。

ユーザーの対応: HSC/VTCS が CDS に対して次にアクティブになるときに、VTSS を監査して CDS と VTSS 間の同期を再確立してください。

SLS6796E

Data space action of item VVVVV failed: RRR

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとしてしました。

指定された理由 (RRR) により、インポート時に CDS のコピー先のデータスペースに含まれる指定された項目 (MVC または VTV、volser VVVVV) に対して指定されたアクション (読み取りまたは更新) を実行できませんでした。これは、内部処理エラーが発生したことを示します。

理由は次のいずれかです。

- 「format conversion failed with RC=X'cc'」 - 内部形式の変換が失敗し、リターンコード X'cc' が返されました。
- 「format conversion returned volser C'cccc'/'X'xxxxxxxxxxx'」 - 内部形式の変換のリターンコードは RC=0 ですが、誤ったボリュームが返されました。C'cccc'/'X'xxxxxxxxxxx' は、返された volser を文字形式と 16 進形式で示しています。
- 「invalid location (X'pos1',X'pos2',X'pos3',X'pos4')」 - データスペース内のアクセス位置は、このタイプのレコード (MVC/VTV) を含む領域の外部であるため、無効です。X'pos1' から X'pos4' までは Oracle の内部で使用されます。
- 「volser check failed - C'cccc'/'X'xxxxxxxxxxx'」 - データスペース内のボリュームが処理中のボリュームと一致しませんでした。C'cccc'/'X'xxxxxxxxxxx' は、データスペース内の volser を文字形式と 16 進形式で示しています。
- 「record not found」 - ボリュームがデータスペース内にありませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。この項目に対して RC=8 が設定されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6797W

Audit required flag has been set for VTSS SSSSSSS

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとしてしました。インポート中の 1 つ以上の VTV がすでに CDS に存在しており、VTSS SSSSSSS に格納されていました。このモードのインポートでは VTSS にアクセスできないため、インポート時に VTSS からこれらの VTV の「古い」コピーを削除できませんでした。このような VTV のそれぞれに対してメッセージ SLS6795W が出力されました。CDS と VTSS 間の同期が失われています。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: HSC/VTCS が CDS に対して次にアクティブになるときに、VTSS を監査して CDS と VTSS 間の同期を再確立してください。

SLS6798E

INACTCDS requires the CDS to be specified in JCL and to be different from the CDS used by HSC

説明: Batch ユーティリティーが INACTCDS を制御文に指定しましたが、これはアクティブでない CDS が使用されていたことを示しています。

INACTCDS には次の両方が必要です。

- ユーティリティーによって使用される CDS が JCL (SLSCNTL DD 文、および必要に応じて SLSCNTL2/SLSSTBY DD 文) に指定されていること。
- この CDS を使用しているホストが存在しないこと。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: ユーティリティーによって使用される CDS が JCL に定義されており、指定された CDS がホスト上の HSC によって使用されていないことを確認してください。

SLS6799E

IMMDRAIN(YES) is not supported with IMPORT to an inactive CDS

説明: インポートで、非アクティブな CDS (どのホストでも使用されていない CDS) にアクセスしようとした。IMPORT 文に IMMDRAIN(YES) が指定されましたが、排出を実行するための HSC/VTCS システムがないため、このモードではサポートされません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: インポートされた MVC を排出する必要がある場合は、この CDS を使用して HSC/VTCS がこのシステムで実行されていることを確認してから、ユーティリティーを再実行してください。インポートされた MVC を排出する必要がある場合は、IMMDRAIN(YES) を削除してから、ユーティリティーを再実行してください。

SLS6800E

*Connection to CF STRUCTURE SSS failed.IXLCONN gave RC=X'CCCCCC'
RSN=X'SSSSSSS'*

説明: VTCS は結合機構構造 SSS への接続を試行しましたが、IXLCONN マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCC'/X'SSSSSSS') を受け取りました。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: 関連する IBM マニュアルで IXLCONN のリターンコード X'CCCCCC' および理由コード X'SSSSSSS' を調べて、接続が失敗した原因を特定してください。可能な場合は、エラーを修正してから HSC/VTCS をリサイクルします。そうでない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6801E

*AAAAAA failed against CF structure SSS.IXLLIST gave RC=X'CCCCCC'
RSN=X'SSSSSSS'*

説明: VTCS は結合機構構造 SSS に対してアクション AAAAAA を発行しましたが、IXLLIST マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCC'/X'SSSSSSS') を受け取りました。

各アクションに対して発行される IXLLIST マクロの形式は次のとおりです。

```
Delete : IXLLIST REQUEST=DELETE,xx
Lock obtain : IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=SET,xx
Lock release : IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=RESET,xx
Read : IXLLIST REQUEST=READ,xx
Read Next Lock: IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=READNEXT,xx
Start Monitor : IXLLIST REQUEST=MONITOR_LIST, ACTION=START,xx
Stop Monitor : IXLLIST REQUEST=MONITOR_LIST, ACTION=STOP,xx
Write : IXLLIST REQUEST=WRITE,xx
```

システムアクション: VTCS は ABEND を発行して続行します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6802E

CF structure SSS is full after formatting MM out of NN entries

説明: VTCS は結合機構構造 SSS に正常に接続し、すべてのデータエントリのフォーマットを試行しましたが、NN 個のデータエントリのうち mm 個を構造に書き込んだあとで構造がいっぱいになりました。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: mm と NN を使用して、現在の構造のサイズを増やすための係数を計算します。増やしたサイズで構造を再定義したあと、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6803E

CF structure SSS shows host HHHH as inactive, but the CDS shows it as active

説明: 結合機構構造 SSS に正常に接続したあと、VTCS は CDS でアクティブであると示された各ホストのステータスが構造内で更新されたことを確認します。ホスト HHHH は、CDS でアクティブであると示されていますが、構造をアクティブに使用していません。

システムアクション: VTCS は起動を遅延しますが、すべてのホストのステータスを確認し続けます。CDS と構造でホスト HHHH のステータスが同じになったときに、VTCS はこのメッセージを削除します。

ユーザーの対応:

- ホスト HHHH が起動処理中の場合は、必要ありません。構造内でホストのステータスが更新されると、VTCS はこのメッセージを削除します。
- 「D CDS」コマンドの出力にはホスト HHHH がアクティブであると示されているのに、そのホスト上で HSC が間違いなく実行されていない場合は、アクティブなシステムからホスト HHHH を回復します。ホスト HHHH の回復が完了したら、「D CDS」を再発行してホスト HHHH が「assumed dead」としてマークされていることを確認します。VTCS は、次回 CDS でホスト HHHH のステータスを確認するときにこのメッセージを削除します。
- ホスト HHHH が完全にアクティブであるか、ホスト HHHH が回復されているのに、このメッセージが未処理のままである場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6804E

Correct the reported discrepancies, or reply T to terminate VTCS on host HHHH

説明: (メッセージ SLS6803E に示された) 結合機構構造 SSS に正常に接続したあと、VTCS は CDS でアクティブであると示された各ホストのステータスが構造内で更新されたことを確認します。

1つ以上のホストが CDS でアクティブであると示されていますが、これらは構造をアクティブに使用していません。そのようなホストはそれぞれメッセージ SLS6803E で報告され、このメッセージの前に出力されます。

システムアクション: VTCS は起動を遅延しますが、すべてのホストのステータスを確認し続けます。

CDS と結合機構構造ですべてのホストのステータスが同じになると、VTCS はこのメッセージを削除し、起動が続行されます。

このメッセージに「T」で応答すると、VTCS はこのホスト (HHHH) で終了します。

ユーザーの対応: SLS6803E メッセージに一覧表示された各ホストに対して、SLS6803E メッセージのヘルプテキストに示されたアクションを実行してください。

CDS と結合機構構造のホストステータスの不一致を修正できない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。このメッセージに T で応答すると、CDS と結合機構構造のホストステータスに関係なく、VTCS はこのホスト (HHHH) で終了します。

SLS6805E

NNN host to host messages queued for host HHHH, as the CF structure SSS list is full

説明: ホスト HHHH のメッセージを保持する構造リストがいっぱいであるため、このホストは結合機構構造 SSS を介してホスト HHHH にホスト間メッセージを送信できません。現在、ホスト HHHH に対するこのようなメッセージがこのホストのストレージのキューに NNN 個入っています。

システムアクション: VTCS は結合機構構造リストを確認し続けます。リストがいっぱいでなくなると、VTCS はキューに入っているメッセージをリストに書き込み、このメッセージを削除します。

ユーザーの対応:

- 「D CDS」コマンドの出力にはホスト HHHH がアクティブであると示されているのに、そのホスト上で HSC が間違いなく実行されていない場合は、アクティブなシステムからホスト HHHH を回復します。ホスト HHHH の回復が完了したら、「D CDS」を再発行してホスト HHHH が「assumed dead」としてマークされてい

ることを確認します。VTCS は、次回 CDS でホスト *HHHH* のステータスを確認するときにこのメッセージを削除します。

- ホスト *HHHH* が完全にアクティブであるか、ホスト *HHHH* が回復されたのに、このメッセージが未処理のままである場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6806E

Disconnect from CF structure SSS failed.IXLDISC gave RC=X'CCCCCC'
RSN=X'SSSSSSS'

説明: VTCS は結合機構構造 SSS からの切断を試行しましたが、IXLDISC マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCC'/X'SSSSSSS') を受け取りました。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6807I

A rebuild of CF structure SSS has been initiated

説明: VTCS は、現在の結合機構へのアクセス時にエラーを検出したあと、代替の結合機構で結合機構構造 SSS の再構築を開始しました。このエラーについては、これ以前の SLS6801E メッセージで説明されています。

システムアクション: VTCS は、すべてのホストが代替の結合機構で構造を再構築している間、現在の結合機構構造へのアクセスを中断します。すべてのホストで再構築が完了すると、代替の結合機構を使用して VTCS の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6808E

Unable to initiate a rebuild of CF structure SSS. There is no alternate CF available

説明: VTCS は、現在の結合機構へのアクセス時にエラーを検出したあと、代替の結合機構で結合機構構造 SSS の再構築を開始しようとした。このエラーについては、これ以前の SLS6801E メッセージで説明されています。再構築の要求 (マクロ IXLREBLD) に対して、使用可能な代替の結合機構が存在しないという応答が返されました。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: 結合機構の問題を修正して HSC/VTCS をリサイクルしてください。CFRM ポリシーに、代替の結合機構を使用可能にする必要があることが示されている場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6809E

Unable to initiate a rebuild of CF structure SSS.IXLREBLD gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は、現在の結合機構へのアクセス時にエラーを検出したあと、代替の結合機構で結合機構構造 SSS の再構築を開始しようとした。このエラーについては、これ以前の SLS6801E メッセージで説明されています。

VTCS は IXLREBLD マクロから許容不可能なりターンコード/理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

再構築が (オペレータコマンドによってではなく) 結合機構のエラーのために MVS または VTCS によって開始された場合は、エラーを修正して HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6810I

Rebuild of CF structure SSS has started

説明: オペレータコマンドあるいは MVS または VTCS で検出されたエラーへの応答として、結合機構構造 SSS の再構築が開始されました。

システムアクション: VTCS は元の構造へのアクセスを中断し、新しい構造でデータの再構築を開始します。

ユーザーの対応: なし

SLS6811E

Unable to participate in the rebuild of CF structure SSS.IXLEERSP gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDQUIESCE) マクロから許容不可能なりターンコード/理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取ったため、結合機構構造 SSS の再構築に参加できません。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告して、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6812E

Unable to complete the rebuild of CF structure SSS.IXLREBLD gave RC=X'CCCCCC' RSN=X'SSSSSSS'

説明: VTCS は IXLREBLD (REQUEST=COMPLETE) マクロから許容不可能なりターンコード/理由コード (X'CCCCCC'/X'SSSSSSS') を受け取ったため、結合機構構造 SSS の再構築が完了したことを MVS に通知できませんでした。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告して、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6813E

Rebuild cleanup failed for CF structure SSS.IXLEERSP gave RC=X'CCCCCC' RSN=X'SSSSSSS'

説明: VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDCLEANUP) マクロから許容不可能なりターンコード/理由コード (X'CCCCCC'/X'SSSSSSS') を受け取ったため、結合機構構造 SSS の再構築後にクリーンアップを実行したことを MVS に通知できませんでした。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告して、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6814E

The rebuild of CF structure SSS failed

説明: VTCS は、結合機構構造の再構築中に、構造 SSS でこのホストのストレージに保持されているデータを再構築できませんでした。

システムアクション: VTCS は ABEND を発行して終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告して、HSC/VTCS をリサイクルしてください。

SLS6815E

The rebuild of CF structure SSS is complete

説明: 結合機構構造 SSS の再構築が正常に完了しました。

システムアクション: 再構築された構造に対して、VTCS の結合機構処理が続行されま
す。

ユーザーの対応: なし

SLS6816E

*Unable to stop the rebuild of CF structure SSS.IXLEERSP gave
RC=X'CCCCCCC' RSN=X'SSSSSSS'*

説明: MVS は、結合機構構造 SSS の再構築を停止するように VTCS に通知しまし
た。VTCS は IXLEERSP (EVENT=REBLDSTOP) マクロから許容不可能なリターン
コード/理由コード (X'CCCCCCC/X'SSSSSSS') を受け取ったため、再構築を停止す
るという応答を MVS に返せませんでした。

システムアクション: VTCS は再構築を続行します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6817I

The rebuild of CF structure SSS has been stopped

説明: MVS は、結合機構構造 SSS の再構築を停止するように VTCS に通知しまし
た。VTCS は正常に再構築を停止しました。

システムアクション: 元の構造に対して、VTCS の結合機構処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6818E

The CDS contains an unrecognized feature string (X'HH')

説明: CDS で、この HSC/VTCS システムにインストールされていない PTF によって
有効化された機能が使用されています。X'HH' はサポートされていない機能を示し
ています。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6819I

Disconnecting from CF structure SSS because a rebuild is in progress

説明: VTCS は結合機構構造 SSS に正常に接続しましたが、この構造は再構築中です。このホストが構造に接続する前に再構築が開始されたため、このホストは再構築に参加できません。

システムアクション: VTCS は結合機構から切断し、あとで接続を再試行します。

ユーザーの対応: 再構築の完了後も VTCS がこの構造に接続され続ける場合は、必要ありません。そうでない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6820E

Wrong length message (LLL/'MMM') received from host HHHH via CF structure SSS

説明: VTCS は結合機構構造 SSS を介してホスト HHHH からホスト間メッセージを受け取りましたが、メッセージが予期された長さではありませんでした。LLL と MMM は長さとメッセージの内容を示しています。

システムアクション: VTCS はこのホスト間メッセージを無視します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

特殊な状況:

- VTCS のロックデータが結合機構構造に保持されている (VTCS 構成で、GLOBAL 文に LOCKSTR=structure-name が指定されている) 場合:
 - 結合機構のアクセスを有効にする PTF をすべてのホストに適用する必要があります。
 - PTF が適用されていないホストは CDS を処理できません。
- HSC/VTCS のアドレス空間で VTCS を起動すると、U1096/X'6A24' で異常終了するか、メッセージ SLS6818E を出力して終了します。
- VTCS ユーティリティーは、RC=12 およびメッセージ「SLS6606I CDS IS NOT CONFIGURED FOR VTCS」またはメッセージ SLS6818E とともに終了します。
- VTCS のロックデータが CDS に保持されている (VTCS 構成で、GLOBAL 文に LOCKSTR=structure-name が指定されていない) 場合は、結合機構のアクセスを有効にする PTF をホストに適用しなくても、一部またはすべてのホストに適用してもかまいません。

SLS6821I

MGMTclas/STORCLAS CCCCCCCC is not defined

説明: 管理またはストレージクラスフィルタ CCCCCCCC がユーティリティーコマンド文に対して指定されましたが、このクラスは必要とされる POLICYDD ファイルで、またはアクティブな VTCS システムに対して定義されていません。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: フィルタクラスの指定を修正するか、VTCS に対して、または必要とされる POLICYDD ファイルでクラスを定義してください。

SLS6822I

MGMTclas CCCCCCCC does not specify any archive policies

説明: 管理クラスフィルタ CCCCCCCC が ARCHIVE ユーティリティーに対して指定されましたが、このクラスにはアーカイブポリシー (ARCHAge および ARCHPol の指定) が含まれていません。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: フィルタクラスの指定を修正するか、クラスにアーカイブポリシーが指定されていることを確認してください。

SLS6823E

Unable to access MVC for recall of VTV VVVVVV

説明: VTCS は、VTV VVVVVV をリコールしてマウント要求を満たそうとしましたが、正常にリコールを実行して MVC をマウントできませんでした。プライマリ MVC でマウントが失敗したか、VTCS が MVC の読み取りに失敗した可能性があります。リコールの試行時に MVC コピーへの RTD アクセスが存在しなかったため、ほかの MVC コピーを使用できませんでした。

システムアクション: リコール/マウントは終了します。

ユーザーの対応: HSC のログを調べて、MVC のマウントまたは読み取りの失敗の原因となったエラーを特定します。VTCS が VTV のリコール要求を満たすためにほかの MVC コピーにアクセスできなかった原因を特定します。MVC へのアクセスの問題を修正したら、手動で HSC MOUNT コマンドを発行して要求を再実行します。失敗の理由が不明な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6824I

Parse error in Management Policy file POLICYdd CCCCCCCC

説明: 管理ポリシーファイルの解析中にエラーが検出されました。このメッセージのあとに正確なエラーの詳細を示すメッセージ SLS6603I が発行されます。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: 管理ポリシーファイルの定義を修正して、ユーティリティー要求を再実行してください。

SLS6825E**CDS conversion incomplete.Rerun CONFIG**

説明: VTCS は、CDS の変換を必要とする CONFIG が CDS で開始されたと判断しました。この CONFIG は完了しませんでした。

システムアクション: VTCS は終了します。

ユーザーの対応: ほかの HSC 機能を実行するには、この CONFIG を再実行して CDS の変換を完了する必要があります。

SLS6826I**CDS conversion incomplete.CONFIG will complete CDS conversion**

説明: VTCS CONFIG は、CDS の変換を必要とする CONFIG が CDS で以前に開始されたと判断しました。この CONFIG は正常に完了しませんでした。

システムアクション: CONFIG は CDS の変換を完了します。

ユーザーの対応: なし

SLS6827I**Invalid Archive/Reconcil parameter P P P P P P P P value C C C C C C C C**

説明: Archive/Reconcil ユーティリティー文の解析中にエラーが検出されました。パラメータ P P P P P P P P に無効な値 C C C C C C C C が含まれています。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: パラメータ値を修正して、ユーティリティー要求を再実行してください。

SLS6829I**AAAAAAA in management classes not supported by RRRRRR**

説明: 1 つ以上の管理クラスの定義で属性 AAAAAAA が指定されました。この属性は CDS レベルでサポートされていますが、ハードウェアまたは構成エラーが発生したため実装できません。

システムアクション: これらの管理クラスを使って作成されたすべての VTV にデフォルトが適用されます。

ユーザーの対応:

失敗の理由が「hardware」の場合:

- 一部の機能については、サポートを利用可能にするために VTSS のマイクロコードに更新する必要があります。その他の機能は、VTSS のモデルタイプによって制限される場合があります。
- 「QUERY CONFIG」コマンドの出力に、必要な機能をサポートする VTSS のモデルと VTSS の機能が示されます。

失敗の理由が「configuration」の場合:

- VTCS 構成のエラーにより、クラスタ内の VTSS 間で RTD デバイスタイプの不一致があります。追加情報を提供するほかのエラーメッセージが表示されている可能性があります。
- VTCS 構成に含まれる VTSS と CLUSTER の定義を調べて、問題の原因を特定してください。
- 「QUERY CONFIG」コマンドの出力に、必要な機能をサポートする VTSS のモデルと VTSS の機能が示されます。

SLS6830E

Configuration query of LSM AA:LL (containing RTD DDDD) failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: VTCS は、LSM AA:LL (RTD DDDD を含む) に関する詳細を取得するために HSC 構成照会サービスを呼び出しました。この照会はリターンコード X'RRRRRRRR' で失敗しました。この情報は RTD 割り当てルーチンで使用されるはずでしたが、VTCS はこの情報がなくても RTD を割り当てることができます。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6831I

Waiting for VTSS NNNNNNNN to complete initialization

説明: VTCS は、HSC/VTCS 起動時の VTSS NNNNNNNN の初期化が完了するまで待機しています。VTSS の初期化は、仮想処理の開始前に完了する必要があります。

システムアクション: VTCS は引き続き初期化が完了するまで待機します。

ユーザーの対応: HSC のログおよび SYSLOG を調べて、この VTSS に関連付けられた VTD アドレスにエラーが存在しないかどうかを確認します。問題の VTD アドレスに IOSnnnn メッセージが存在する場合は、エラーが単一のパスに限られているかどうかを判断します。その場合は、影響を受けるパスをオフラインにしてください。エラーがすべてのパスに影響していると考えられる場合は、Vary nnnn,OFFLINE,FORCE コマンドを発行してこのデバイスのバイパスを試行します。問題が修正されたら、デバイスをオンラインに戻すことができます。エラーが修正され、VTD アドレスが適切にオンラインになった場合、HSC/VTCS を再起動する必要はありません。VTSS がオフラインになった場合は、VT Vary VTSS(nnnnnnnn) ONline を発行して VTSS をオンラインにすることができます。エラーを解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6832I

Additional copies of VTV VVVVVV retained because of status change

説明: VTV VVVVVV のリコールを実行するときに、ほかの MVC から VTV のコピーを削除するように追加要求がありました。最初のコマンドが発行されたあとで VTV のステータスが変ったため、このポイントでチェックが失敗します。

システムアクション: VTV のコピーが削除されないまま処理が続行されます。このため、あとでエラーが発生したり再試行が必要になったりする可能性があります。

ユーザーの対応: これは単なる警告です。コマンドの発行時に検証が実行されてから削除が試行されるまでかなりの遅延があるため、別の要求によって VTV レコードが更新され、元の削除の理由が無効になっている可能性があります。

SLS6833I

VTV VVVVVV deleted from MVC mvclist

説明: VTV VVVVVV は VTSS から削除され、mvclist で指定された MVC から論理的に削除されました。

システムアクション: VTCS は次の VTV の処理を続行します。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありません。

SLS6834I

VTV VVVVVV deleted

説明: VTV VVVVVV は VTSS から削除されました。

システムアクション: VTCS は次の VTV の処理を続行します。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありません。

SLS6835I

VTV VVVVVV excluded - referenced within NNN days

説明: VTV VVVVVV は NNN 日以内に参照されているため、削除対象として選択されませんでした。NNN は、NOTREF パラメータで設定された猶予期間を表し、この期間内に参照された VTV を削除対象とみなさないことを示します。

システムアクション: VTCS は次の VTV の処理を続行します。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありません。

SLS6836I

Duplicate PPPPPPPP VVVVVVVV ignored

説明: パラメータ PPPPPPPP の値 VVVVVVVV が DELETSCR コマンドに複数個指定されています。

これは複数個検出されましたが、1 回しか処理されません。PPPPPPPP はスクラッチプールまたは VTSS のいずれかです。

システムアクション: VTCS は、指定された各値の処理を 1 回だけ続行します。

ユーザーの対応: 必要なアクションはありません。

SLS6837E

Error updating VTV VVVVVV

説明: VTV レコードをデータベースに書き込もうとしたときに、予期しない応答を受信しました。

システムアクション: VTCS は要求を終了し、リターンコード 12 を返します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6838E

Unable to retrieve record for VTV VVVVV

説明: データベースから VTV レコードを読み取ろうとしたときに、予期しない応答を受信しました。

システムアクション: VTCS は要求を終了し、リターンコード 12 を返します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6839E

Error logically deleting VTV VVVVV from MVC(s)

説明: VTV VVVVV が移行された MVC からその VTV を論理的に削除しようとしたときに、予期しない応答を受信しました。

システムアクション: VTCS は要求を終了し、リターンコード 12 を返します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6840I

Scratch pool definitions changed during program execution - could not locate Scratch pool PPPP

説明: VTCS は、リソース (VTV または MVC のいずれか) が同じまたは異なるホストで使用されているときにそれを検出し、そのリソースが使用可能になるまで待機してから、要求を再実行します。この待機時間の中に SCRDEF コマンドでスクラッチプールの定義が再ロードされたため、タスクの中断時に処理されていた VTV が新しい定義に含まれていません。このため、VTCS は処理を続行するポイントを再設定できません。関連する VTV の詳細は、SLS6841E メッセージを参照してください。

システムアクション: VTCS は指定された次のスクラッチプールから要求の処理を続行し、終了時にリターンコード 4 を返します。

ユーザーの対応: 元のスクラッチプールの定義を再ロードするか、SCRPOOL パラメータを既存のスクラッチプールが含まれるように修正して、DELETSCR ユーティリティを再実行してください。

SLS6841I

Scratch pool for VTV VVVVV not found

説明: このメッセージは、メッセージ SLS6840I と組み合わせて発行される場合があります。プログラムの実行時に VTCS から削除されたスクラッチプールに含まれていた VTV を指定します。メッセージ SLS6840I と組み合わせて発行された場合、スクラッチプールは削除されています。メッセージ SLS6840I が発行されなかった場合、スクラッチプールは見つかりましたが、この VTV を除外するように再定義されています。

システムアクション: VTCS は指定された次のスクラッチプールから要求の処理を続行し、終了時にリターンコード 4 を返します。

ユーザーの対応: メッセージ SLS6840I のメッセージヘルプを参照してください。

SLS6842E

Unable to delete VTV VVVVV from VTSS SSSS

説明: VTSS から VTV を削除しようとしたときに、予期しない応答を受信しました。

システムアクション: VTCS は要求を終了し、リターンコード 12 を返します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6843I

Unable to locate any VTVs in scratch pool PPPP

説明: 指定されたスクラッチプールが HSC に対して定義されていないか、またはこのスクラッチプールに VTV が含まれていません。

システムアクション: VTCS は識別できないスクラッチプールを無視して、ユーティリティーに指定された残りのスクラッチプールの処理を続行し、リターンコード 4 を返します。

ユーザーの対応: 識別できないスクラッチプールを削除または修正し、必要に応じてユーティリティーを再発行してください。

SLS6844E

Invalid range VVVV1 - VVVV2 specified

説明: ユーティリティーに指定されたボリューム範囲 VVVV1-VVVV2 が有効なボリューム範囲ではありません。

システムアクション: ユーティリティーは失敗し、リターンコード 12 が返されます。

ユーザーの対応: 誤ったボリューム範囲を修正して、ユーティリティーを再発行してください。

SLS6845E

No valid MVCPOLS have been defined

説明: VT MVCDEF コマンドで有効な MVC プールが定義されていません。これは次のいずれかの理由で発生します。

- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されておらず、オペレータコマンドとしても入力されていません。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されたか、オペレータコマンドとして入力されましたが、MVC プールがインストールされませんでした (これ以前にも有効な MVC プールはインストールされていません)。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されたか、オペレータコマンドとして入力されました。MVC プールがインストールされていますが、MVC プールに指定されたボリュームが (MVCVOL 文で) VTCS 構成内の MVC として定義されていません。

システムアクション: VTCS の処理は続行されますが、VTV を移行できないため、処理に重大な影響が発生します。

ユーザーの対応:

- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されておらず、オペレータコマンドとしても入力されていない場合は、1 つ以上の有効な MVC プールを定義してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義をロードします。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されたか、オペレータコマンドとして入力されたが、MVC プールがインストールされていない場合は、MVC プールがインストールされていない理由 (例: MVC プールのコマンドまたは定義内の構文エラー) を特定して解決します。
- 次に、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。
- VT MVCDEF が SLSSYSxx に指定されたか、オペレータコマンドとして入力され、MVC プールがインストールされたが MVC が指定されていない場合は、MVC プールに指定されたボリュームが (MVCVOL 文で) VTCS 構成内の MVC として定義されていることを確認します。次に、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。

SLS6846W

No default MVCPool (DEFAULTPOOL) has been defined

説明: VT MVCDEF コマンドで定義されたすべての MVC プールが名前付きの MVC プールです (形式は MVCPool Volser(VVVVVV) NAME(PPP) ...)。NAME(PPP) パラメータのない MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式で定義された名前のない MVC プールが存在しません。VTCS は、名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

このプールは次の移行で使用されます。

- 管理クラスが割り当てられていない VTV の移行 (この場合、ストレージクラス名は VTV の移行元の VTSS 名になる)、または
- MVC プールが指定されていないストレージクラスへの移行、または
- ストレージクラス !ERROR への移行 (VTV に未定義の管理クラスがある場合に発生します)。

DEFAULTPOOL が定義されていない場合、このような移行はすべて失敗します。

特に必要ない場合でも、エラーの状況を考慮して DEFAULTPOOL を定義しておく便利です。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラスの定義を確認します。

- すべてのストレージクラスに MVC プールが指定されている場合、DEFAULTPOOL は必要ありませんが、エラーの状況を考慮して定義することもできます。
- MVC プールが指定されていないストレージクラスがある場合は、DEFAULTPOOL が必要です。

DEFAULTPOOL が必要な場合 (またはエラーの状況を考慮する場合) は、名前のない MVC プールを (NAME(PPP) パラメータのない MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式で) 1 つ以上定義してください。

次に、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。

SLS6847W

MVCPool PPP contains no volumes that are defined as MVCS

説明: MVC プール *PPP* に指定されたボリュームがいずれも (MVCVOL 文で) VTCS 構成内の MVC として定義されていません。この MVC プールから MVC を要求するすべての移行が失敗します。

システムアクション: VTCS の処理は続行されますが、MVC プール *PPP* の定義は無視されます。

ユーザーの対応: MVC プール *PPP* の定義を修正または削除してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

これが DEFAULTPOOL でなく、どのストレージクラスにもこの MVC プールが指定されていない場合にのみ、この定義を削除してください。

SLS6848W

STORCLAS SSS indicates MVCs are to be selected from undefined MVCPool PPP

説明: ストレージクラス *SSS* で MVC プール *PPP* から MVC を選択するように指定または暗示されていますが、その MVC プールが定義されていません。

ストレージクラスの定義に *MVCPool(PPP)* パラメータが存在するかどうかによって、そのストレージクラスへの移行時に選択される MVC を含む MVC プールが示されます。

- ストレージクラス *SSS* の定義が *STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ...* という形式の場合は、MVC プール *PPP* から MVC が選択されます。
- ストレージクラス *SSS* の定義が *STORclas NAME(SSS)...* という (*MVCPool(PPP)* パラメータのない) 形式の場合は、MVC プール DEFAULTPOOL から MVC が選択されます。

VTCS は、(*NAME(PPP)* パラメータのない *MVCPool Volser(VVVVVV) ...* の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

ストレージクラス *SSS* への移行 (またはこの MVC プールから MVC を要求する移行) はすべて失敗します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されている MVC プールが正しい場合は、MVC プール PPP の定義を MVC プールに追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されている MVC プールが正しくない場合は、ストレージクラス SSS の定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6849W

There are no MVCs in MVCPOOL PPP with the MEDIA specified on STORCLAS SSS

説明: ストレージクラス SSS の定義は、そのストレージクラスへの移行用に選択された MVC が特定のメディアを持ち、MVC プール PPP 内に存在する必要があることを示しています。

MVC プール PPP が定義されていますが、MVC プール PPP 内のどの MVC も指定されたメディアを持っていません。

ストレージクラス SSS への移行はすべて失敗します。このメディアは、ストレージクラスの定義の MEDIA(media-value(s)) パラメータで指定されています。

ストレージクラスの定義に MVCPool(PPP) パラメータが存在するかどうかによって、使用される MVC プールが示されます。

- ストレージクラス SSS の定義が STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ... という形式の場合は、MVC プール PPP から MVC が選択されます。
- ストレージクラス SSS の定義が STORclas NAME(SSS)... という (MVCPool(PPP) パラメータのない) 形式の場合は、MVC プール DEFAULTPOOL から MVC が選択されます。

VTCS は、(「NAME(PPP)」パラメータのない MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラス SSS に正しいメディアが指定され、正しい MVC プールが指定または暗示されている場合は、要求されたメディアの MVC を含むように MVC プール PPP の定義を修正してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

ストレージクラス SSS で不正なメディアが指定されてるか、不正な MVC プールが指定または暗示されているか、あるいはその両方である場合は、ストレージクラス SSS の定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6850E

STORCLAS SSS specifies unknown MEDIA X'NN'

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS で指定されたメディアを特定できませんでした。X'NN' は、このメディアタイプを記述するために VTCS 内で使用されているコードを示しています。

システムアクション: VTCS の処理は続行されますが、不明なメディアは無視されません。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6851W

There are no RTDs in XXX capable of writing the MEDIA specified on STORCLAS SSS

説明: メッセージ内の XXX が「ACS aa」の場合は、ストレージクラス SSS の定義で ACS、STORMNGR、またはその両方のパラメータが使用されていますが、指定されたメディアを書き込むことができる RTD が指定された ACS 内に存在しません。

メッセージ内の XXX が「the configuration」の場合は、ストレージクラス SSS の定義で MEDIA パラメータが使用され、ACS または STORMNGR パラメータが使用されていませんが、指定されたメディアを書き込むことができる RTD が構成内に存在しません。

ストレージクラス SSS への移行はすべて失敗します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラス SSS の定義で指定された MEDIA、ACS、または STORMNGR パラメータを、使用可能な RTD でサポートされるメディアおよび ACS に合わせて修正または削除してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6852I

STORCLAS information:

説明: VT D STORCLas(SSS) コマンドに対する応答が表示されます。次が出力に表示されます。

- INPLACE YES/NO の指定または RECLAIM CONFIG 文から継承された指定。この情報を表示するには、CDS がレベル H である必要があります。
- ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されているメディア、ACS、MVC プール、およびデバイスタイプ。
- このストレージクラスへの移行時に必要なメディアまたはデバイスタイプと使用可能なメディアまたはデバイスタイプ間の非互換性。
- VTSS からこのストレージクラスへの自動または即時移行を待機している VTV。

次が (場合に応じて) 表示されます。

- 表示されているストレージクラス (SSS) を示すため、「Summary of storage class SSS:」が出力されます。
- STORclas 文に INPLACE(YES) が指定されているときは、「INPLACE(YES) set for storage class」が出力されます。
- STORclas 文に INPLACE(NO) が指定されているときは、「INPLACE(NO) set for storage class」が出力されます。
- STORclas 文に INPLACE が指定されず、ストレージクラスに ALP メディア (T10KB または T10KC の非サポートメディア) が含まれる可能性があるときは、「INPLACE not set for storage class, inherits RECLAIM value of YES/NO」が出力されます。
- STORclas 文に INPLACE が指定されず、ストレージクラスに ALP メディアが含まれていないときは、「INPLACE not set for storage class」が出力されます。
- このストレージクラスへの移行時に使用される MVC が満たす必要がある条件を示すため、「MVCs must be in ACS *NN* and MVCPOOL *PPP* and be media type *MMM*」、「MVCs must be in MVCPOOL *PPP* and be media type *MMM*」、または「MVCs must be in MVCPOOL *PPP*」が出力されます。この条件は、ストレージクラス SSS の定義から取得または導出されます。
- ストレージクラス SSS で指定または暗示されている MVC プール (*PPP*) が定義されていない場合にのみ、「MVCPool *PPP* is not defined」が出力されます。
- 次の場合にのみ、「The MVCs in MVCPool *PPP* are only of media type *MMM*」が出力されます。
 - ストレージクラス SSS にメディアが指定されていない、または

- MVC プール *PPP* 内の MVC のメディア (*MMM*) とこのストレージクラスへの移行時に必要なメディアの間に重複がない、または
- MVC プール *PPP* に含まれるメディア (*MMM*) を書き込むことができるデバイスタイプを持つ利用可能な RTD が構成または ACS *AA* 内に存在しない。
- MVC プール *PPP* にこのストレージクラスへの移行時に必要なメディアを持つ MVC が含まれているが、そのいずれも空き (空の) MVC でない場合にのみ、「MVCPool *PPP* contains no free MVCs (in any ACS/in ACS *NN*) (with the specified media)」が出力されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義で ACS が指定されなかった場合は、「in any ACS」が出力されます。空き MVC の検索は、ACS 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義で ACS(*NN*) が指定された場合は、「in ACS *NN*」が出力されます。空き MVC の検索は、ACS *NN* 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義でメディアが指定された場合は、「(with the specified media)」が出力されます。

このメッセージが出力された場合でも、ストレージクラス *SSS* の部分的にいっぱいになった (使用済みの) MVC を使用できるため、このストレージクラスへの移行が成功することがあります (指定されたメディア、ACS、またはその両方を持つ MVC がある場合)。

MVC プール *PPP* 内に指定されたメディアを持つライブラリ外の MVC があれば、それを使用することもできます。

- このストレージクラスへの移行時に使用される RTD が持つ必要があるデバイスタイプを示すため、「RTDs can be any device type」または「RTDs must be device type *DDD*」が出力されます。

デバイスタイプは、ストレージクラス *SSS* で指定または暗示されたメディアから導出されます。

- (ACS *AA* 内の) VTSS に接続されている RTD がない場合にのみ、「There are no RTDs defined in the configuration/ACS *AA*」が出力されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(*AA*)」が指定されている場合は、ACS *AA* でのみ VTSS に接続されている RTD が確認されます。

ストレージクラス SSS で ACS が指定されていない場合は、すべての ACS で VTSS に接続されている RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS に接続されている RTD のデバイスタイプ (*DDD*) と次の間に重複がない場合にのみ、「The RTDs defined in the configuration/ACS AA are only of device type *DDD*」が出力されます。
 - このストレージクラスへの移行時に必要なデバイスタイプ、または
 - MVC プール *PPP* に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合は、VTSS に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス SSS で ACS が指定されていない場合は、VTSS に接続されているすべての RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS *TTT* に接続されている RTD がない場合にのみ、「VTSS *TTT* has no RTDs defined (in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合は、ACS AA でのみ VTSS *TTT* に接続されている RTD が確認されます。

ストレージクラス SSS で ACS が指定されていない場合は、すべての ACS で VTSS *TTT* に接続されている RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS *TTT* に接続されている RTD のデバイスタイプ (*DDD*) とこのストレージクラスの移行時に必要なデバイスタイプの間重複がない場合にのみ、「The RTDs connected to VTSS *TTT* (in ACS AA) are only of device type *DDD*」が出力されます。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合は、VTSS *TTT* に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス *SSS* で ACS が指定されていない場合は、VTSS *TTT* に接続されているすべての RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS *TTT* に接続され、このストレージクラスへの移行時に必要なデバイスタイプを持つ RTD が存在するが、どの RTD もオンラインでない場合にのみ、「VTSS *TTT* has no suitable RTD online (in ACS AA)」が出力されます。

これらの RTD は次から導出されます。

- このストレージクラスへの移行時に必要なデバイスタイプ、および/または
- MVC プール *PPP* に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合は、VTSS *TTT* に接続されている ACS aa 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス *SSS* で ACS が指定されていない場合は、VTSS *TTT* に接続されているすべての RTD が確認されます。

- VTSS からこのストレージクラスへの自動または即時移行のキューに入っている VTV がない場合にのみ、「There are no VTVs queued for auto/immediate migration」が出力されます。
- VTSS *TTT* からこのストレージクラスへの自動移行を待機している VTV がある場合にのみ、「There are *NN* VTVs awaiting auto-migration from VTSS *TTT*」が出力されます。

DETail、MAXvtv、またはその両方のパラメータが指定された場合は、VTV の volser が一覧表示されます。

- VTSS *TTT* からこのストレージクラスへの即時移行を待機している VTV がある場合にのみ、「There are *NN* VTVs awaiting immediate migration from VTSS *TTT*」が出力されます。

DETail、MAXvtv、またはその両方のパラメータが指定された場合は、VTV の volser が一覧表示されます。

- 現在 VTSS *TTT* からこのストレージクラスへの自動移行を待機している VTV はないが、以前に VTSS *TTT* からこのストレージクラスへの自動移行に失敗した VTV

があった場合にのみ、「There are NN VTVs that failed auto-migration from VTSS TTT」が出力されます。

DETail、MAXvttv、またはその両方のパラメータが指定された場合は、以前に失敗した日時と VTV の volser が一覧表示されます。

- 以前に自動移行に失敗した日時 (*dtm*) を示すために DETail、MAXvttv、またはその両方のパラメータが指定された場合は、「There are NN VTVs that failed auto-migration from VTSS TTT」のあとに「(This list was in use when migration failed at *dtm*)」が出力されます。
- DETail、MAXvttv、またはその両方のパラメータが指定され、VTSS TTT からの自動または即時移行を待機している (または自動移行に以前失敗した) VTV がある場合にのみ、「*volser1, volser2, volser3, ... , volser8*」または「*volser1 with MGMTCLAS mgmt1, volser2 with MGMTCLAS mgmt2*」が出力されます。

各 VTV の volser (および (あれば) 管理クラス) が、(MAXvttv(NNNN) またはデフォルトの制限値で設定された) 表示数の上限まで一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6853E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - MVCPOOL PPP is not defined

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、ストレージクラスで指定または暗示されている MVC プール (PPP) が定義されていないため、MVC を選択できませんでした。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義 (指定または暗示される MVC プールを含む) が示されます。

ストレージクラスの定義に MVCPool(PPP) パラメータが存在するかどうかによって、使用される MVC プールが示されます。

- ストレージクラス SSS の定義が STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ... という形式の場合は、MVC プール PPP から MVC が選択されます。
- ストレージクラス SSS の定義が STORclas NAME(SSS)... という (MVCPool(PPP) パラメータのない) 形式の場合は、MVC プール DEFAULTPOOL から MVC が選択されます。

- VTCS は、(NAME(PPP) パラメータのない MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。
- VTSS TTT から ACS AA (ACS FF は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

VTCS は、(「NAME(PPP)」パラメータのない MVCPool Volser(VVVVVV) ... の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されている MVC プールが正しい場合は、MVC プール PPP の定義を MVC プールに追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されている MVC プールが正しくない場合は、定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6854E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No MVCs found for specified MEDIA

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、ストレージクラスで指定または暗示されている MVC プール (PPP) に、ストレージクラスで指定されているメディアを持つ ACS AA 内の MVC が含まれていないため、MVC を選択できませんでした。

ストレージクラスの定義で MVC プールが指定されていない場合は、DEFAULTPOOL が暗示されます。VTCS は、名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義が示されます。

VTSS TTT から ACS AA (ACS FF は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応:

- MVC プール *PPP* 内の MVC の数またはメディアを確認します。
- VT QU MVCP NAME(*PPP*) コマンドを入力すると、MVC プール *PPP* 内に存在する各メディアの数とタイプが ACS ごとに表示されます。
- MVC プール *PPP* で定義されているすべての MVC が構成でも (MVCVOL 文で) 定義されていることを確認します。MVC は、MVC プールと構成の両方で定義されている場合にのみ使用されます。必要な場合は、(MVCVOL 文で) 構成を変更します。
- MVC プール *PPP* 内の MVC のステータスを確認します。要求されたメディアであり、ACS AA 内にあり、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC が MVC プール *PPP* 内にあるかどうかを確認します。

MVC キャッシュ (VTCS が移行用の MVC を選択するときには MVC の属性を高速検索するために管理するストレージ領域) には、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC は記録されません。

必要な場合は、読み取り専用または取り出し済みの MVC のステータスを変更します。

- MVC プール *PPP* に最近 MVC が追加された場合は、システムセキュリティー製品を確認します。

要求されたメディアであり ACS aa 内にある MVC が最近 MVC プール *PPP* に追加された場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合) は、システムセキュリティー製品がこれらの MVC に対して書き込みアクセスを許可していることを確認します。

(前述の) MVC キャッシュには、システムセキュリティー製品が書き込みアクセスを拒否する MVC のメディアは記録されません。

必要な場合は、システムセキュリティー製品の定義を変更します。

- ストレージクラス *SSS* の定義を確認します。

- 特に、指定された MEDIA(MMM) と、MVCPool(PPP) パラメータの有無を確認します (MVCPool(PPP) が指定されていない場合は、MVC プール DEFAULTPOOL が使用されます)。
- VT Display STORCL(SSS) コマンドを入力すると、ストレージクラスの定義と MVC プール PPP 内に存在する各メディアタイプが表示されます。
- ストレージクラス SSS の定義が正しくない場合は、定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードします。
- ストレージクラス SSS の定義が正しい場合は、指定された ACS 内の要求されたメディアを持つ MVC を MVC プール PPP に追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。

SLS6855E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No MVCs found for specified MEDIA/SC/ACS

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、ストレージクラスで指定または暗示されている MVC プール (PPP) にストレージクラスで指定されているメディアを持つ MVC が含まれているにもかかわらず、それらが次の状態であるため、MVC を選択できませんでした。

- ACS AA 内にない、および/または
- ACS AA 内にあるが、指定されたメディアを書き込むことができる VTSS TTT に接続されているオンラインの RTD が ACS AA 内に存在しない、および/または
- ストレージクラス SSS への移行用に選択できなかった。

MVC をストレージクラス SSS への移行用に選択できるのは、それが空の (空き) MVC であるか、またはストレージクラス SSS に移行された VTV で部分的にいっぱいになっている (使用済みの) 場合のみです。

MVC が別のストレージクラスに移行された VTV で部分的にいっぱいになっている場合、その MVC はストレージクラス SSS への移行用に選択できません。

ストレージクラスの定義で MVC プールが指定されていない場合は、DEFAULTPOOL が暗示されます。VTCS は、名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義が示されます。

VTSS *TTT* から ACS *AA* (ACS *FF* は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応:

- ACS *AA* 内の RTD を確認します。

指定されたメディアを書き込むことができるオンラインの RTD が ACS *AA* 内にあることを確認します。必要な場合は、適切な RTD をオンラインにします。

- MVC プール *PPP* 内の MVC の数またはメディアを確認します。

VT QU MVCP NAME(*PPP*) コマンドを入力すると、MVC プール *PPP* 内に存在する各メディアの数とタイプが ACS ごとに表示されます。

- MVC プール *PPP* 内の MVC のステータスを確認します。

要求されたメディアであり、ACS *AA* 内にあり、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC が MVC プール *PPP* 内にあるかどうかを確認します。

MVC キャッシュ (VTCS が移行用の MVC を選択するときには MVC の属性を高速検索するために管理するストレージ領域) には、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC は記録されません。

必要な場合は、読み取り専用または取り出し済みの MVC のステータスを変更します。

- MVC プール *PPP* に最近 MVC が追加された場合は、システムセキュリティー製品を確認します。

要求されたメディアであり ACS *aa* 内にある MVC が最近 MVC プール *PPP* に追加された場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合) は、システムセキュリティー製品がこれらの MVC に対して書き込みアクセスを許可していることを確認します。

(前述の) MVC キャッシュには、システムセキュリティー製品が書き込みアクセスを拒否する MVC のメディアは記録されません。

必要な場合は、システムセキュリティー製品の定義を変更します。

- ストレージクラス SSS の定義を確認します。

指定された MEDIA(MMM) と ACS(AA)、および MVCPool(PPP) パラメータの有無を確認します (MVCPool(PPP) が指定されていない場合は、MVC プール DEFAULTPOOL が使用されます)。

VT Display STORCL(SSS) コマンドを入力すると、ストレージクラスの定義と MVC プール PPP 内に存在する各メディアタイプが表示されます。

ストレージクラス SSS の定義が正しくない場合は、定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードします。

ストレージクラス SSS の定義が正しい場合:

- 指定されたメディアであり ACS AA 内にある MVC を MVC プール PPP に追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。および/または
- 可能な場合は、RECLaim を使用して、指定されたメディアであり ACS AA 内にある MVC のいくつかを解放します。

SLS6856E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No usable MVCs found for specified MEDIA/SC/ACS

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、ストレージクラスで指定または暗示されている MVC プール (PPP) にストレージクラス SSS への移行に使用できる ACS aa 内の指定されたメディアの MVC が含まれているにもかかわらず、それらの MVC が使用不可能だったため、MVC を選択できませんでした。MVC が使用不可能だった理由には、次が含まれます。

- MVC がいっぱいです。
- 移行する VTV を格納するための十分な空き領域がありません。

ストレージクラスの定義で MVC プールが指定されていない場合は、DEFAULTPOOL が暗示されます。VTCS は、名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して DEFAULTPOOL という名前を付けます。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義が示されます。

VTSS *TTT* から ACS *AA* (ACS *FF* は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応:

- ACS *AA* 内の RTD を確認します。

指定されたメディアを書き込むことができるオンラインの RTD が ACS *AA* 内にあることを確認します。必要な場合は、適切な RTD をオンラインにします。

- MVC プール *PPP* 内の MVC の数またはメディアを確認します。

VT QU MVCP NAME(*PPP*) コマンドを入力すると、MVC プール *PPP* 内に存在する各メディアの数とタイプが ACS ごとに表示されます。

- MVC プール *PPP* 内の MVC のステータスを確認します。

要求されたメディアであり、ACS *AA* 内にあり、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC が MVC プール *PPP* 内にあるかどうかを確認します。

MVC キャッシュ (VTCS が移行用の MVC を選択するときには MVC の属性を高速検索するために管理するストレージ領域) には、読み取り専用、取り出し済み、またはデータチェックのステータスを持つ MVC は記録されません。

必要な場合は、読み取り専用または取り出し済みの MVC のステータスを変更します。

- MVC プール *PPP* に最近 MVC が追加された場合は、システムセキュリティー製品を確認します。

要求されたメディアであり ACS aa 内にある MVC が最近 MVC プール PPP に追加された場合 (特に、これまで書き込まれたことがない場合) は、システムセキュリティ製品がこれらの MVC に対して書き込みアクセスを許可していることを確認します。

(前述の) MVC キャッシュには、システムセキュリティ製品が書き込みアクセスを拒否する MVC のメディアは記録されません。

必要な場合は、システムセキュリティ製品の定義を変更します。

- ストレージクラス SSS の定義を確認します。

指定された MEDIA(MMM) と ACS(AA)、および MVCPool(PPP) パラメータの有無を確認します (MVCPool(PPP) が指定されていない場合は、MVC プール DEFAULTPOOL が使用されます)。

VT Display STORCL(SSS) コマンドを入力すると、ストレージクラスの定義と MVC プール PPP 内に存在する各メディアタイプが表示されます。

ストレージクラス SSS の定義が正しくない場合は、定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードします。

ストレージクラス SSS の定義が正しい場合:

- 指定されたメディアであり ACS AA 内にある MVC を MVC プール PPP に追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードします。および/または
- 可能な場合は、RECLaim を使用して、指定されたメディアであり ACS AA 内にある MVC のいくつかを解放します。

SLS6857E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - No RTDs for requested MEDIA and ACS

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、次を満たす RTD を検出できませんでした。

- 指定された ACS 内にある、および
- VTSS TTT に接続されている、および
- ストレージクラスによって要求されたメディアを書き込むことができる。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義が示されます。

VTSS *TTT* から ACS *AA* (ACS *FF* は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応: ストレージクラス SSS の定義で指定されたメディア、ACS、またはその両方を VTSS *TTT* に接続している RTD に合わせて変更してから、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6858E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - All RTDs for requested MEDIA and ACS are offline

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、次を満たすオンラインの RTD を検出できませんでした。

- 指定された ACS 内にある、および
- VTSS *TTT* に接続されている、および
- ストレージクラスによって要求されたメディアを書き込むことができる。

このメッセージのあとに出力されるメッセージ SLS6860I で、ストレージクラス SSS の定義が示されます。

VTSS *TTT* から ACS *AA* (ACS *FF* は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応: VT VARY RTD(*RRRR*) ONLINE コマンドを発行して、次を満たす RTD をオンラインにします。

- ストレージクラスの定義で指定された ACS 内にある (該当する場合)、および
- VTSS *TTT* に接続されている、および
- ストレージクラスによって要求されたメディアを書き込むことができる。

SLS6859E

Migration failed storage class: SSS ACS: AA VTSS: TTT - Unknown reason (X'NN')

説明: VTCS は、ストレージクラス SSS への移行を試行していましたが、内部エラーの理由 (X'NN') のため MVC を選択できませんでした。

VTSS *TTT* から ACS *AA* (ACS *FF* は任意の ACS を示す) 内の MVC に VTV を移行しようとしています。

システムアクション: 要求移行の場合は、移行が強制終了されます。即時または自動移行の場合は、移行が再試行されます。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6860I

Additional information:

説明: 移行用の MVC の選択に失敗したことを示すメッセージ (SLS6853E-SLS6859E) のあとに出力され、失敗が発生した理由を特定するために使用できる追加情報を示します。

次が出力に表示されます。

- ストレージクラス SSS の定義で指定または暗示されているメディア、ACS、MVC プール、およびデバイスタイプ。
- このストレージクラスへの移行時に必要なメディアまたはデバイスタイプと使用可能なメディアまたはデバイスタイプ間の非互換性。
- VTSS *TTT* からこのストレージクラスへの自動、即時、または要求移行がスケジュールされた次の VTV。

次が (場合に応じて) 表示されます。

- 「Storage Class: SSS ACS: AA VTSS: *TTT*」が出力されます。このメッセージは、以前に発行された、同じ情報を出力する SLS6853E-SLS6859E メッセージに関連している場合があります。
- VTSS *TTT* からの自動移行がスケジュールされた次の VTV の volser (VVVVVV) と MGMTCLAS (CCCCCCCC、VTV に含まれる場合) を示すため、「Next auto-migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力されます (該当する場合)。

- VTSS TTT からの即時移行がスケジュールされた次の VTV の volser (VVVVVV) と MGMTCLAS (CCCCCCCC、VTV に含まれる場合) を示すため、「Next immediate migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力されます (該当する場合)。
- VTSS TTT からの要求移行がスケジュールされた次の VTV の volser (VVVVVV) と MGMTCLAS (CCCCCCCC、VTV に含まれる場合) を示すため、「Next migration VTV: VVVVVV (with MGMTCLAS CCCCCCCC)」が出力されます (該当する場合)。

注記:

VTCS は、VTSS TTT からストレージクラス SSS への移行が次に成功するまでに、「Next (auto/immediate) migration VTV:」に一覧表示されたもの以外の VTV を次の移行対象として選択する場合があります。

- このストレージクラスへの移行時に使用される MVC が満たす必要がある条件を示すため、「MVC must be in ACS AA and MVCPOOL PPP and be media type MMM」、「MVC must be in MVCPOOL PPP and be media type MMM」、または「MVC must be in MVCPOOL PPP」が出力されます。この条件は、ストレージクラス SSS の定義から取得または導出されます。

ストレージクラス SSS で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「ACS AA」が出力されます。

ストレージクラス SSS で「MEDIA(MMM)」が指定されている場合にのみ、「media type MMM」が出力されます。

「MVCPOOL PPP」が常に出力されます。ストレージクラス SSS で MVC プールが指定されていない場合は、DEFAULTPOOL が暗示されます。

- ストレージクラス SSS で指定または暗示されている MVC プール (PPP) が定義されていない場合にのみ、「MVCPool PPP is not defined」が出力されます。
- このストレージクラスへの移行時に使用される RTD が持つ必要があるデバイスタイプを示すため、「RTD can be any device type」または「RTD must be device type DDD」が出力されます。

デバイスタイプは、ストレージクラス SSS で指定または暗示されたメディアから導出されます。

- 次の場合に、「The MVCs in MVCPool PPP are only of media type MMM」が出力されます。
 - ストレージクラス SSS にメディアが指定されていない、または

- MVC プール *PPP* 内の MVC のメディア (*MMM*) とこのストレージクラスへの移行時に必要なメディアの間に重複がない、または
- MVC プール *PPP* に含まれるメディア (*MMM*) を書き込むことができるデバイスタイプを持つ利用可能な RTD が構成または ACS *AA* 内に存在しない。
- MVC プール *PPP* にこのストレージクラスへの移行時に必要なメディアを持つ MVC が含まれているが、そのいずれも空き (空の) MVC でない場合にのみ、
「MVCPool *PPP* contains no free MVCs (in any ACS/in ACS *NN*) (with the specified media)」が出力されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義で ACS が指定されなかった場合は、「in any ACS」が出力されます。空き MVC の検索は、ACS 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義で ACS(*NN*) が指定された場合は、「in ACS *NN*」が出力されます。空き MVC の検索は、ACS *NN* 内の MVC に限定されます。
 - ストレージクラス *SSS* の定義でメディアが指定された場合は、「(with the specified media)」が出力されます。

このメッセージが出力された場合でも、ストレージクラス *SSS* の部分的にいっぱいになった (使用済みの) MVC を使用できるため、このストレージクラスへの移行が成功することがあります (指定されたメディア、ACS、またはその両方を持つ MVC がある場合)。

MVC プール *PPP* 内に指定されたメディアを持つライブラリ外の MVC があれば、それを使用することもできます。

- (ACS *AA* 内の) VTSS *TTT* に接続されている RTD がない場合にのみ、「VTSS *TTT* has no RTDs defined (in ACS *AA*)」が出力されます。ストレージクラス *SSS* で「ACS(*AA*)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS *AA*)」が出力されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(*AA*)」が指定されている場合は、ACS *AA* でのみ VTSS *TTT* に接続されている RTD が確認されます。

ストレージクラス *SSS* で ACS が指定されていない場合は、すべての ACS で VTSS *TTT* に接続されている RTD が確認されます。

- (ACS *AA* 内の) VTSS に接続されている RTD のデバイスタイプ (*DDD*) と次の間に重複がない場合に、「The RTDs defined in the configuration/ACS *AA* are only of device type *DDD*」が出力されます。
 - このストレージクラスへの移行時に必要なデバイスタイプ、または

- MVC プール *PPP* に含まれるメディアを書き込むために必要なデバイスタイプ。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合は、VTSS *TTT* に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス *SSS* で ACS が指定されていない場合は、VTSS *TTT* に接続されているすべての RTD が確認されます。

- (ACS AA 内の) VTSS *TTT* に接続され、必要なデバイスタイプを持つ RTD が存在するが、どの RTD もオンラインでない場合にのみ、「VTSS *TTT* has no suitable RTD online (in ACS AA)」が出力されます。

RTD のデバイスタイプは、次のために必要なデバイスタイプです。

- このストレージクラスへの移行、
- MVC プール *PPP* に含まれ、ストレージクラスのメディア指定と一致するメディアに限定されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合にのみ、「(in ACS AA)」が出力されます。

ストレージクラス *SSS* で「ACS(AA)」が指定されている場合は、VTSS *TTT* に接続されている ACS AA 内の RTD のみが確認されます。

ストレージクラス *SSS* で ACS が指定されていない場合は、VTSS *TTT* に接続されているすべての RTD が確認されます。

システムアクション: なし

User Response: Use the original error message (SLS6853E-SLS6859E) and its help text and the information output by this message to diagnose why an MVC could not be selected for migration.

SLS6861E

VTV VVVVVV has VTVPAGE(SIZE1) and resident in VTSS SSSSSSSS, the CDS indicates VTVPAGE(SIZE2)

説明: VTV VVVVVV の処理中に、VTCS はこの VTV が VTSS SSSSSSSS に常駐し、ページサイズ *SIZE1* で格納されていることを確認しました。しかし、これは CDS に記録されている、VTV がページサイズ *SIZE2* で格納されることを示す情報と矛盾しています。*SIZE1* と *SIZE2* は、それぞれ LARGE または STANDARD になります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6862E

RRR VVVVVV attribute AAAAAA not supported by output CDS

説明: ボリューム VVVVVV の VTV/MVC レコードに、CDS レベルまたは書き込み先の CDS 構成でサポートされない属性があります。出力 CDS への書き込みを許可すると、VTCS の下位リリースとの間で互換性の問題が発生する可能性があります。属性 AAAAAA は、「>32000 VTVs」、「VTVPAGE=LARGE」、「MAXVTVSZ=2000/4000」、「MAXVTVSZ=32000」、または「INPLACE」のいずれかです。

システムアクション: すべての VTV と MVC がチェックされたあとで、処理が異常終了します。

ユーザーの対応: VTCS CONFIG ユーティリティーを使用して CDS レベルをアップグレードしてください。インポートの場合は、パラメータを使用して、報告された VTV と MVC を除外する方法もあります。

SLS6863W

VTSSSEL function FFF (RECORD RRR) specifies undefined MVCPOOL PPP

説明: 機能 *FFF* に対する VTSSSEL ルールで MVC プール *PPP* が指定されていますが、この MVC プールは定義されていません。このルールの指定は、MGMTDEF データセット内のレコード *RRR* で終了します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: VTSSSEL ルールで指定されている MVC プールが正しい場合は、MVC プール *PPP* の定義を MVC プールに追加してから、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

VTSSSEL ルールで指定されている MVC プールが正しくない場合は、VTSSSEL ルールの定義を修正してから、MGMTDEF コマンドを発行して VTSSSEL ルールを再ロードしてください。

SLS6864E

Setting the VTCS status to SSSSSSSS failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: CDS 内の VTCS のステータスを SSSSSSSS (初期化時は ACTIVE、終了時は INACTIVE) に設定しようとしたのですが、この要求は失敗し、リターンコード X'RRRRRRRR' が返されました。

システムアクション: VTCS は終了します

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6865E

The CDS has been updated with feature(s) (X'HH') that are not supported by this version of CONFIG/DECOM

説明: 上位レベルのシステムで CDS が更新され、このバージョンの CONFIG/DECOM でサポートされない機能 (X'HH') が追加されました。このバージョンの HSC/VTCS をこの CDS に対して実行することは可能です。

システムアクション: ユーティリティは終了し、CONFIG に対してはリターンコード 12、DECOM に対してはリターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: 最新バージョンの CONFIG/DECOM を使用して CDS を処理してください。

SLS6867I

RTDs are now available that are capable of writing the MEDIA specified on all storage classes

説明: 1 つ以上のストレージクラスに対してメッセージ「SLS6851W There are no RTDs in the configuration/ACS AA capable of writing the media specified on STORCLAS SSS」がすでに出力されています。構成または ACS AA で使用可能なデバイスタイプが変更されたため、このエラーはすでに存在しません。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6868I

CLINK XXXXXXXX/NN exported VTV VVVVVV to remote VTSS RRRRRRRR

説明: このメッセージは、VTSS XXXXXXXX 内の NN として構成された CLINK を介して、VTV VVVVVV がリモート VTSS RRRRRRRR に電子エクスポートされたことを確認します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6869I

Importing VTV VVVVVV from HHHHHHHH MGMTCL : MMMMMMMM

説明: このメッセージは、ホスト *HHHHHHHH* の *MGMTCLAS: MMMMMMMM* から *VTV VVVVVV* をインポートしていることを確認します

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6870I

{Volume Level} Sync export {SUCCESSFUL|FAILED|DROPPED} for VTV VVVVVV from VTSS FFFFFFFF to tapeplex PPPPPPP/TTTTTTTT

説明: VTCS は、TapePlex *PPPPPPP* 内の *VTSS FFFFFFFF* から *VTSS TTTTTTT* への *VTV VVVVVV* の同期エクスポートの試行が成功または失敗したこと、あるいは破棄されたことを検出しました。破棄された条件は、同期エクスポートの開始時に存在しましたが、タイムアウトしたか、または失敗として報告されませんでした。

システムアクション: *VTV* の同期エクスポートが成功した場合、これ以上のアクションは実行されません。非拡張エクスポートの試行が失敗したか破棄された場合、VTCS は関連する *CLINK* と任意のセカンダリ *VTD* を回復し、失敗した *VTV* に対して非同期処理を 1 回試みます。拡張エクスポートの試行が失敗した場合、現時点ではリソースの回復は一切試みられません。ただし、VTCS は、失敗した *VTV* に対して非同期要求を 1 回試みます。

ユーザーの対応: 同期エクスポートが成功した場合、ユーザーの対応は不要です。拡張エクスポートの試みが失敗した場合、手動で状態を変更しなければならない可能性があります。Display *LINKSto* コマンドを発行し、すべてのリンクの現在の状態を表示します。必要であれば、リンクの状態を変更して必要な状態に戻します。

SLS6871I

MGMTclas MMMMMMM, parameter XXXX incorrectly refers to SSSSSSS

説明: 管理クラス *MMMMMMM* の定義に、*SSSSSSS* を不正に参照する *XXXX* というパラメータが含まれています。通常、*SSSSSSS* はストレージクラス定義の名前で

す。このストレージクラス定義が存在していないか、パラメータ *XXXX* のコンテキストではこの定義が無効である可能性があります。

システムアクション: ユーティリティーは失敗します。

ユーザーの対応: 管理およびストレージクラスの定義を確認し、修正してください。

SLS6874I

TTT

説明: 管理ポリシーファイルの定義で見つかったエラー (*TTT*) の詳細を示すため、メッセージ SLS6824I のあとで出力されます。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: 管理ポリシーファイルの定義を修正して、ユーティリティー要求を再実行してください。

SLS6875E

LISTDEL R is not valid with this CDS (level 1)

説明: DECOM LISTDEL R キーワードが指定されました。LISTDEL R は、CDS のレベルが G 以上の場合にのみ有効ですが、この CDS はレベル 1 です。

システムアクション: DECOM は終了し、0 以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: LISTDEL R キーワードを削除して DECOM を再実行してください。

SLS6876E

AAA of CDS records for range RRR failed with return code X'CCCCCCCC'

説明: VTCS が範囲 *RRR* の CDS レコードを初期化または更新していたときに、内部サービスルーチンが失敗し、リターンコード X'CCCCCCCC' が返されました。

- AAA が Initialization の場合、範囲 *RRR* は CDS に正常に追加されません。
- AAA が Updating の場合は、範囲 *RRR* 内の 1 つ以上のレコードが、CONFIG の入力で指定された (または指定されなかった) 範囲に合わせて CDS に追加 (または CDS から削除) されません。

システムアクション: CONFIG は終了し、0 以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: このエラーを説明する可能性のあるほかのエラーメッセージ (CDS がいっぱいなど) がないか、出力を確認してください。関連する修正アクションがあれば

ば、実行します。エラーを修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください

SLS6877E

AAAAA of CDS record NNN DDD subfile SSS failed with Return Code X'CCCCCCCC'

説明: (DDD) サブファイル SSS 間の CDS レコード NNN の読み取りまたは書き込み (AAAAA) が失敗し、リターンコード X'CCCCCCCC' が返されました。

システムアクション: CONFIG は終了し、0 以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: このエラーを説明する可能性のあるほかのエラーメッセージ (CDS がいっぱいなど) がないか、出力を確認してください。関連する修正アクションがあれば、実行します。エラーを修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6878E

TTT VVVVVV (in range RRR) can not be deleted because BBB

説明: CONFIG は、示された理由 (BBB) により、範囲 RRR 内にある TTT (MVC または VTV) タイプのボリューム VVVVVV を CDS から削除できませんでした。

前回の CONFIG 実行時に CDS に範囲が定義されていましたが、今回の CONFIG 実行時には定義されていなかったため、CONFIG はその範囲内の各ボリュームを削除しようとしていました。

理由は次のいずれかです。

- マウントされている -
- 空でない -
- VTSS に常駐している -
- VTV の移行コピーがある -
- ボリュームが使用中である -

システムアクション: CONFIG は終了し、0 以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: CONFIG の入力正しいことを確認します (これによって削除される範囲が決まるため)。

削除対象となるすべての MVC が使用中でなく、空であることを確認します。

このメッセージに MVC が空でないことが示された場合は、MVC をドレインします。

削除対象となるすべての VTV が使用中でなく、どの VTSS にも常駐しておらず、移行コピーを持たないことを確認します。

削除対象となるすべての MVC および VTV が正しい状態であれば、CONFIG を再実行してください。

SLS6879E

Connection to CF Structure SSS failed. IXLCONN gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS ユーティリティーは、結合機構構造 SSS への接続を試行しましたが、IXLCONN マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCCCC'/X'SSSSSSSS') を受け取りました。

システムアクション: そのユーティリティーはゼロ以外のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: 関連する IBM マニュアルで IXLCONN のリターンコード X'CCCCCCCC' および理由コード X'SSSSSSSS' を調べて、接続が失敗した原因を特定してください。可能な場合は、エラーを修正してからユーティリティーを再実行してください。そうでない場合は、この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6880E

Disconnecting from CF Structure SSS because a rebuild is in progress

説明: VTCS ユーティリティーは、結合機構構造 SSS への接続中、またはこの構造内のデータへのアクセス中に、この構造が再構築処理中であることを確認しました。

システムアクション: ユーティリティーはその処理を完了せずに結合機構から切断して終了し、0 以外のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: 再構築が完了したら、ユーティリティーを再実行してください。

SLS6881E

AAAAAA failed against CF Structure SSS. IXLLIST gave RC=X'CCCCCCCC' RSN=X'SSSSSSSS'

説明: VTCS ユーティリティーは、結合機構構造 SSS に対してアクション AAAAAA を発行しましたが、IXLLIST マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCCCC/X'SSSSSSS') を受け取りました。

各アクションに対して発行される IXLLIST マクロの形式は次のとおりです。

```
Lock obtain: IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=SET, xx
Lock release: IXLLIST REQUEST=LOCK, LOCKOPER=RESET, xx
Read: IXLLIST REQUEST=READ, xx
```

システムアクション: そのユーティリティーはゼロ以外のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6882I

```
Disconnect from CF Structure SSS failed. IXLDISC gave RC=CCCCCCCC'
RSN=X'SSSSSSS'
```

説明: VTCS ユーティリティーは、結合機構構造 SSS からの切断を試行しましたが、IXLDISC マクロから許容不可能なリターンコード/理由コード (X'CCCCCCCC/X'SSSSSSS') を受け取りました。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6883E

```
Coupling Facility Structure SSS can not be accessed from system TTT
```

説明: システム TTT 上で実行されている VTCS ユーティリティーは、TTT が CDS でホストとして定義されていないため、結合機構構造 SSS にアクセスできませんでした。

システムアクション: そのユーティリティーはゼロ以外のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: CDS でホストとして定義されているシステム上でこのユーティリティーを実行してください。

SLS6884E

```
TAPEPLEX:TTTTTTTT SMC comms error:RRRRRRR
```

説明: TapePlex *TTTTTTTT* に対するコマンドの実行中に問題が発生しました。*RRRRRRR* は問題の性質を示しています。オプションで、このエラーが特定の CLINK に関連している場合は、VTSS 名と CLINK ID がメッセージに追加されます。

これが通信エラーの結果である場合は、UUI のリターンコードと理由コードが報告されます。

すべてのコマンドで応答が生成されるはずですが、何も受け取らなかった場合は、リターンコードに関係なく、報告されるエラーが「No response from remote system」になります。

システムアクション: 問題が特定の CLINK と一致する場合は、その CLINK がエラー状態になり、通信リンクのリセットが試行されます。状況に応じて、この障害のきっかけとなったアクションが再試行または中止される場合があります。

ユーザーの対応: エラーの原因を調べ、修正してください。

SLS6885I

CLINK VVVVVVVV/CC Establishing comms to TAPEPLEX:TTTTTTTT VTSS:RRRRRRRR

説明: VTSS *VVVVVVVV* の CLINK *CC* が、TapePlex *TTTTTTTT* 内のリモート VTSS *RRRRRRRR* で SMC を使用して通信の確立と検証を試行しています。問題が発生した場合は、このあとのメッセージで問題が報告されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6886E

TAPEPLEX:TTTTTTTT VTSS:VVVVVVV returned:EEEEEEEE

説明: TapePlex *TTTTTTTT* 内の VTSS *VVVVVVVV* に対して発行されたコマンドへの応答として、この TapePlex からエラーメッセージ *EEEEEEEE* が返されました。このコマンドはあるレベルで実行されましたが、エラーが発生しました。

システムアクション: 問題が特定の CLINK と一致する場合は、その CLINK がエラー状態になり、通信リンクのリセットが試行されます。

状況に応じて、この障害のきっかけとなったアクションが再試行または中止される場合があります。

ユーザーの対応: エラーの原因を調べ、修正してください。

SLS6887E

Export of VTV VVVVVV to TAPEPLEX TTTTTTTT rejected: EEEEEEEE

説明: VTCS は、TapePlex *TTTTTTTT* への VTV *VVVVVV* の電子エクスポート中にエラーを検出すると、このメッセージを発行します。エラーメッセージ *EEEEEEEE* に、エラーの正確な性質が示されます。

- 「Access denied by POOLPARM」:

TapePlex *TTTTTTTT* で有効になっている POOLPARM の定義によって、VTV *VVVVVV* の電子エクスポートが拒否されました。

- 「Attempt to import older version of the VTV」:

TapePlex *TTTTTTTT* に、このシステムが電子エクスポートを試行したバージョンより新しいバージョンの VTV *VVVVVV* が含まれています。

- 「Does not support large page size VTVs」:

TapePlex *TTTTTTTT* でサポートされない大きいページサイズで VTV *VVVVVV* が作成されました。

- 「Does not support this size VTV」:

VTV *VVVVVV* の最大 VTV サイズ *MMMM* が TapePlex *TTTTTTTT* でサポートされません。

- 「Not allowed to import from this TapePlex」:

TapePlex *TTTTTTTT* では、この TapePlex からのインポートは許可されません。

- 「Sent to the wrong TapePlex (WWWWWWW)」:

電子エクスポート要求が TapePlex *TTTTTTTT* ではなく TapePlex *WWWWWWW* に出され、構成エラーを示しています。

- 「Unsupported VTV attributes」:

VTV *VVVVVV* に、TapePlex *TTTTTTTT* でサポートされない属性があります。

- 「VTV copy cannot be overwritten」:

VTV *VVVVVV* は、TapePlex *TTTTTTTT* 内で上書きできない状態 (マウント済みなど) になっています。

- 「VTV is import blocked」 :

VTV VVVVVV の以前のインポート処理が TapePlex TTTTTTTT 内で完了しなかったため、この VTV を再度インポートできない状態になっています。

- 「VTV is not defined in the CDS」 :

TapePlex TTTTTTTT が使用する CDS に VTV VVVVVV が定義されていません。

システムアクション: この電子エクスポートは失敗します。エラーによっては、VTCS が電子エクスポートの再実行を試行する場合があります。

ユーザーの対応: エラーメッセージに基づいて、適切なアクションを実行してください。

- 「Access denied by POOLPARM」 :

TapePlex TTTTTTTT で有効になっている POOLPARM の定義が正しいことを確認します。TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートされたすべての VTV を TapePlex TTTTTTTT にインポートできることを確認します。

- 「Attempt to import older version of the VTV」 :

必要なアクションはありません。

- 「Does not support large page size VTVs」 :

TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートされたすべての VTV に TapePlex TTTTTTTT でサポートされる属性があることを確認します。

- 「Does not support this size VTV」 :

TapePlex TTTTTTTT に電子エクスポートされたすべての VTV に TapePlex TTTTTTTT でサポートされる属性があることを確認します。

- 「Not allowed to import from this TapePlex」 :

TapePlex TTTTTTTT への電子エクスポートを試行しないようにこのシステムを変更するか、このシステムからのインポートを受け入れるように TapePlex TTTTTTTT を変更します。

- 「Sent to the wrong TapePlex (WWWWWWW)」 :

TapePlex TTTTTTTT への電子エクスポートが正しい TapePlex に対して実行されるようにシステム構成を修正します。

- 「Unsupported VTV attributes」:

TapePlex *TTTTTTTT* に電子エクスポートされたすべての VTV に TapePlex *TTTTTTTT* でサポートされる属性があることを確認します。

- 「VTV copy cannot be overwritten」:

必要なアクションはありません。

- 「VTV is import blocked」:

TapePlex *TTTTTTTT* でコマンド「Query VTV(*VVVVVV*)」を発行して、以前のインポートで使用されたデバイス (*DDDD*) を特定します。これは、「Importing: *DDDD*」の行に示されます。この照会の出力には、「Electronic Imported: *PPPPPPPP*」(*PPPPPPPP* はこの TapePlex の名前) も示されるはずですが、TapePlex *TTTTTTTT* でコマンド「DISM *VVVVVV,DDDD*」を発行して VTV をマウント解除し、今後のインポートを可能にします。

- 「VTV is not defined in the CDS」:

TapePlex *TTTTTTTT* で使用される CDS に VTV *VVVVVV* を定義すべきかどうかを確認します。TapePlex *TTTTTTTT* に電子エクスポートされたすべての VTV が TapePlex *TTTTTTTT* で使用される CDS に定義されていることを確認します。

SLS6888E

CCCCCCC OF MVC MMMMMM FAILED. NN VTV(S) NOT PROCESSED.

説明: コマンド *CCCCCCC* (Drain または Reclaim) が MVC *MMMMMM* の処理を開始しましたが、*NN* 個の VTV の処理に失敗しました。

システムアクション: ドレインまたはリクレイムは終了し、条件コード 8 が返されます。

ユーザーの対応: この障害の原因については、これ以前のメッセージ (SLS6640I や SLS6790I など) を参照してください。エラーを修正して、ジョブを再実行してください。

SLS6889I

Demand FFFFFFFF to VTSS VVVVVVVV completed error-message

説明: このメッセージは、VTSS *VVVVVVVV* への要求レプリケーションまたはエクスポートが正常に完了したことを確認します

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6890I

VTV VVVVVV failed to FFFFFFFF from VTSS VVVVVV because of status change

説明: このメッセージは、VTSS SSSSSSSS の VTV VVVVVV に対して必要とされるアクション FFFFFFFF が、最初に要求されたあとで VTV のステータスが変更されたため、完了できなかったことを確認します。

システムアクション: この VTV はレプリケートまたはエクスポートされません。

ユーザーの対応: なし

SLS6891I

STORclas SSSSSSSS, parameter XXXX incorrectly refers to PPPPPPPP

説明: ストレージクラス SSSSSSSS の定義に、PPPPPPPP を不正に参照する XXXX というパラメータが含まれています。通常、PPPPPPPP は別の TapePlex の名前です。

システムアクション: ユーティリティは失敗します。

ユーザーの対応: 管理およびストレージクラスの定義を確認し、修正してください。

SLS6892W

There are no RTDs in XXX capable of writing the media contained in MVCPool PPP (SC SSS)

説明: ストレージクラス SSS で、MVC が MVC プール PPP から選択されるように指定または暗示されています。

メッセージ内の XXX が「ACS AA」の場合:

- ストレージクラス SSS の定義は、STORclas NAME(SSS) ACS(AA) という形式になっています
- MVC プール PPP は定義されていますが、MVC プール PPP 内のどの MVC にも、ACS AA 内の RTD によって書き込むことができるメディアがありません。

メッセージ内の XXX が「the configuration」の場合:

- ストレージクラス SSS の定義は、STORclas NAME(SSS) ... (ACS(AA) パラメータはなし) という形式になっています。

- MVC プール *PPP* は定義されていますが、MVC プール *PPP* 内のどの MVC にも、構成内の RTD によって書き込むことができるメディアがありません。

STORCLAS の定義に *MVCPool(PPP)* パラメータが存在するかどうかによって、そのストレージクラスへの移行時に選択される MVC を含む MVC プールが示されます。

ストレージクラス *SSS* の定義が *STORclas NAME(SSS) MVCPool(PPP) ...* という形式の場合は、MVC プール *PPP* から MVC が選択されます。

ストレージクラス *SSS* の定義が *STORclas NAME(SSS) ... (MVCPool(PPP) パラメータはなし)* の形式の場合は、MVC プール *DEFAULTPOOL* から MVC が選択されます。

VTCS は、(*NAME(PPP)* パラメータのない *MVCPool Volser(VVVVVV) ...* の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して *DEFAULTPOOL* という名前を付けます。

ストレージクラス *SSS* への移行 (またはこの MVC プールから MVC を要求する移行) はすべて失敗します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: STORCLAS の定義で正しい MVC プールが指定または暗示されている場合は、構成または ACS AA (必要に応じて) で使用可能な RTD によって書き込むことができるメディアの MVC を含むように MVC プール *PPP* の定義を修正します。その後、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

STORCLAS の定義で不正な MVC プールが指定または暗示されている場合は、ストレージクラスの定義を修正したあと、MGMTDEF コマンドを発行してストレージクラスの定義を再ロードしてください。

SLS6893I

There are no RTDs in the configuration capable of writing the media contained in the DEFAULTPOOL

説明: VTCS は、(「*NAME(PPP)*」パラメータのない *MVCPool Volser(VVVVVV) ...* の形式で定義された) 名前のない MVC プールに指定されている MVC のプールに対して *DEFAULTPOOL* という名前を付けます。

DEFAULTPOOL は定義されていますが、*DEFAULTPOOL* 内のどの MVC にも、構成内の RTD によって書き込むことができるメディアがありません。

すべての STORCLAS の定義が STORclas NAME(SSS) MVCPOOL(PPP) ... の形式になっているため、DEFAULTPOOL の使用を暗示する STORCLAS の定義がありません。

MGMTCLAS を持たない VTV や未定義の MGMTCLAS を持つ VTV を移行するときは DEFAULTPOOL が使用されるため、VTCS は DEFAULTPOOL 内の MVC を確認しました。

この MVC プールへの移行はすべて失敗します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: VT QU MVCP NAME(ALL) を発行して、MVC プール DEFAULTPOOL 内のメディアタイプを表示できます。

VT QU CONFIG を発行して、RTD のデバイスタイプを表示できます。

MGMTCLAS なしで、またはこのホストで定義されていない MGMTCLAS を使って (たとえば、別の MGMTDEF 定義を使用する別のホストで) VTV が作成される (された) 可能性がある場合は、構成内で使用可能な RTD によって書き込むことができるメディアの MVC を含むように DEFAULTPOOL の定義を修正します。その後、VT MVCDEF コマンドを発行して MVC プールの定義を再ロードしてください。

SLS6894I

M rtd-adr,mvcid,SL,, vtssname,calling-module,storclas

説明: このメッセージは、MVC マウント要求の詳細を示しています。

- *rtd-adr* は、マウントされる RTD アドレスです。
- *MVCid* は、使用される VOLSER です。
- *vtss-name* は、この要求の VTSS の名前です。
- *calling-module* は、マウントを要求している VTCS モジュールです。
- *storclas* は、この要求の STORCLAS です。

システムアクション: HSC は、指定された MVC を RTD にマウントするように指示されました。

ユーザーの対応: なし。これは情報メッセージです。

SLS6895I

K rtdaddr,mvcid,volser,PVT,vtssname,calling-module

説明: このメッセージは、MVC マウント解除要求の詳細を示しています。

- *rtd-adr* は、マウントされる RTD アドレスです。
- *MVCid* は、使用される VOLSER です。
- *vtss-name* は、この要求の VTSS の名前です。
- *calling-module* は、マウントを要求している VTCS モジュールです。
- *storclas* は、この要求の STORCLAS です。

システムアクション: HSC は、指定された MVC を RTD からマウント解除するように指示されました。

ユーザーの対応: なし。これは情報メッセージです。

SLS6896E

Mount of MVC volser on RTD rtdaddr failed. Enter CANCEL to terminate VTCS request or RETRY to attempt recovery

説明: 指定されたマウントが失敗しました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: CANCEL を入力して VTCS 要求を終了するか、RETRY を入力して回復を試行してください。

SLS6897E

Invalid TAPEPLEX name 'NNNN' specified for option 'KKKKKK'

説明: キーワード KKKKKK に指定された名前 NNNN は、TapePlex 名でないか、有効な TapePlex 名として CDS に追加されていません。

システムアクション: そのユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: 制御カードを適切に修正して、ジョブを再実行してください。TapePlex 名が正しい場合は、VTCS 構成を確認してください。

SLS6898W

RTD RRRR device type of TTTTTTTT not verified. LSM AA:LL is offline

説明: VTCS は、格納先の LSM がオフラインのため、RTD RRRR のデバイスタイプを検証できませんでした。VTCS は、このデバイスのタイプを LSM が最後にオンラインだったときと同じであるとみなします。デバイスタイプが有効な RTD デバイス

タイプでない場合は、このメッセージのあとにメッセージ SLS6619E が発行されま
す。

システムアクション: VTCS は、検証されていないデバイスタイプを使用し続けます。

ユーザーの対応: LSM をオンラインにすることをお勧めします。デバイスタイプが正
しい場合は、これ以上のアクションは必要ありません。そうでない場合は、RTD を
オンラインにすることをお勧めします。

SLS6899E

*Device DDDD cannot be used as an RTD on this host because it is not
defined to TTTTTTTT*

説明: デバイス DDDD は、VTCS 構成内の RTD として定義されています。このデバ
イスは TapePlex TTTTTTTT の HSC 構成に含まれていないため、この定義は無効で
す。

システムアクション: VTCS は処理を続行しますが、このデバイスをこの VTCS ホスト
の RTD として使用することはできません。

ユーザーの対応: VTCS CONFIG と TapePlex TTTTTTTT の LIBGEN で、デバイス
DDDD の定義と使用を確認します。

- 定義がローカルデバイス (TapePlex LOCALHSC) 用である場合は、ローカルホスト
の LIBGEN で DDDD がデバイスとして定義されているはずです。
- 定義がストレージマネージャー TTTTTTTT 内のリモートデバイス用である場合
は、その TapePlex へのアクセスを提供するホストの LIBGEN で DDDD が定義さ
れているはずです。

必要な場合は、HSC の「SET SLIDRIVS」ユーティリティを使用して該当す
る HSC LIBGEN を変更します。問題が修正されたら、コマンド「VT VARY
RTD(DDDD)」を使用してドライブ情報の再配置を試行してください。

SLS6900I

*VOLUME LEVEL SYNCH REPLICATION {SUCCESSFUL|FAILED|DROPPED} FOR VTV
vtvid FROM VTSS privtss TO VTSS secvtss*

説明: VTCS は、プライマリ VTSS privtss からセカンダリ VTSS secvtss への VTV vtvid
の同期レプリケーションの試行が成功または失敗したこと、あるいは破棄されたこ
とを検出しました。破棄された条件は、同期レプリケーションの開始時に存在しま
したが、タイムアウトしたか、または失敗として報告されませんでした。

システムアクション: VTV の同期レプリケーションが成功した場合、これ以上のアクションは実行されません。非拡張レプリケーションの試行が失敗したか破棄された場合、VTCS は関連する CLINK と任意のセカンダリ VTD を回復し、失敗した VTV に対して非同期レプリケーションを 1 回試みます。拡張レプリケーションの試行が失敗した場合、現時点ではリソースの回復は一切試みられません。ただし、VTCS は、失敗した VTV に対して非同期要求を 1 回試みます。

ユーザーの対応: 同期レプリケーションが成功した場合、ユーザーの対応は不要です。拡張レプリケーションの試みが失敗した場合、手動で状態を変更しなければならない可能性があります。Display LINKSto コマンドを発行し、すべてのリンクの現在の状態を表示します。必要であれば、リンクの状態を変更して必要な状態に戻します。

SLS6901I

VTV VVVVVV rejected; unknown tapeplex name TTTTTTTT encountered in the manifest file

説明: マニフェストファイル内で、TapePlex 名 TTTTTTTT が VTV VVVVVV に関連付けられていますが、この TapePlex 名は VTCS 構成で定義されていません。

システムアクション: この VTV を無視して (インポートせずに) 処理が続行されます。

ユーザーの対応: (TapePlex TTTTTTTT が VTCS 構成からなくなったために) VTV が拒否されることが予期されていた場合、必要なアクションはありません。そうでない場合は、VTCS 構成で TapePlex TTTTTTTT を定義してからこの VTV をインポートしてください。

SLS6902W

STORCLAS SSS references invalid tapeplex XXX

説明: ストレージクラス SSS で、TapePlex XXX を使用して VTV のコピーを格納するように指定されています。しかし、この TapePlex を参照するデバイスが定義されていないようです。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。問題が解決されるまで、このストレージクラスを参照する VTV は常駐としてロックされます。

ユーザーの対応: TapePlex XXX を参照するデバイスを構成に追加するか、またはストレージクラスの定義を修正してください。

SLS6903E

VTSS NNNNNNNN does not have 32 RTD support

説明: VTSS NNNNNNNN が 32 RTD サポートなしで検出されました。16 個を超える RTD/CLink またはチャンネルインタフェースアドレス ci:n (n は 2 または 3) を含む無効な構成が定義されています。

システムアクション: VTSS の初期化が強制終了され、VTSS が「アクセス不能」に設定された状態で HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: 構成パラメータを修正し、CONFIG ユーティリティを再実行して VTCS 構成を再定義してください。

SLS6904E

RC CCCCCC1 returned from CDS Logging request. An error message briefly describing the error condition is appended

説明: VTCS はイベントを記録しようとしたが、この操作はエラーメッセージに示された理由で失敗しました。

システムアクション: このロギング操作は失敗し、これに関連する要求は再スケジュールされるか、失敗します。

ユーザーの対応: 報告されたリターンコードに応じて、適切なアクションを実行してください。

- 7501 - No log files defined.

VTCS のロギングポリシーが要求に応じて定義されていますが、HSC でロギングが確立されていません。HSC 内にロギングを設定する方法については、HSC のドキュメントを参照してください。

- 7502 - log file(s) are full.

オフロードプロセスが実行され、ログ機能が再確立されるまで、重要な VTCS イベントに対してこれ以上のロギングまたは CDS 更新が許可されないため、VTCS の機能は低下します。

- 7503 - Failure during logging operation.

VTCS がイベントを記録しようとしたときに、内部エラーが発生しました。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡して、生成されたリターンコードを伝えてください。

SLS6905E

VTCS batch updates to the CDS are disallowed where VTCS logging is mandatory. Run CONFIG to revert to optional VTCS batch updates to the CDS are disallowed where VTCS logging is mandatory

説明: VTCS は CDS のバッチ更新を実行しようとしたますが、VTCS 内のロギングが必須として指定されています。

システムアクション: この操作は失敗します。バッチプロセスを有効にして CDS を更新するには、VTCS 内のロギングをオプションとして指定してください。

ユーザーの対応: 上記の原因としてもっとも可能性が高いのは、VTCS 内のロギングが必須として指定されていることです。VTCS 内のロギングをオプションに戻すには、グローバル変数 LOGPOL=OPTional を指定して CONFIG を実行してください。

SLS6906I

MVCDRAIN has set READONLY(OFF) for MVC mvc

説明: MVCDRAIN で READONLY(OFF) が指定されました。このメッセージは、この MVC に対して READONLY(OFF) が設定されたことを確認します。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6908E

MVC CCCCCC1 unable to turn CCCCCC2 Do Not Scratch indicator. RC=CCCCC3, Reason=CCCCC4

説明: CONFIG は、MVC CCCCCC1 の処理中に「Do Not Scratch」インジケータを CCCCCC2 (ON または OFF) にしようとしていましたが、エラーが発生しました。

システムアクション: CONFIG は終了し、リターンコード CCCCCC3 と理由 CCCCCC4 が返されます。

ユーザーの対応: CONFIG の入力正しいことを確認します (これによって処理される MVC が決まるため)。削除対象となるすべての MVC が使用中でなく、空であることを確認します。削除対象となるすべての MVC が正しい状態であれば、CONFIG を再実行してください。エラーを修正できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6909E

Date error - CCCCCC1

説明: VTCS は日付を別の形式に変換しようとしたますが、CCCCCCC1 に示されたエラーが発生しました。

システムアクション: 日付の変換が失敗します。

ユーザーの対応: 無効なユーザー入力がこの障害の原因だった場合は、日付を修正してコマンドを再発行してください。

SLS6910E

CCCCCCC1 error for DDName CCCCCC2

説明: VTCS は DD 名 CCCCCC2 に対して操作 CCCCCC1 を実行しようとしたますが、この操作は失敗しました。

システムアクション: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの対応: 無効なユーザー JCL がこの障害の原因だった場合は、ジョブを修正して再発行してください。

SLS6911E

SWSLOGAN error message - CCCCCC1

説明: VTCS モジュール SWSLOGAN がログファイルの分析を試行したときに、CCCCCCC1 に示されたエラーが発生しました。

システムアクション: VTCS が実行しようとしていた回復アクションが失敗します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6912E

Unknown sub-command CCCCCC1 submitted with LOGUTIL recovery command

説明: VTCS は、入力データストリームで指定された回復アクションを実行しようとしたますが、サブコマンド CCCCCC1 が認識されないため、実行するアクションを特定できません。

システムアクション: VTCS が実行しようとしていた回復アクションが失敗します。

ユーザーの対応: サブコマンドを修正してジョブを再発行してください。

SLS6913E

Logging utility #

説明: VTCS はユーティリティを実行しようとしたますが、警告またはエラー状態が検出されました。

システムアクション: 警告が生成された場合は、処理が続行されます。エラー状態が報告された場合は、そのユーティリティーの処理が失敗します。

ユーザーの対応: ユーザー入力がこの障害の原因だった場合は、ジョブを修正して再発行してください。

SLS6914E

OPEN error for DDName XXXXXXXX

説明: ログユーティリティーは、指定された DD 名 XXXXXXXX のオープンに失敗しました

システムアクション: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの対応: 無効なユーザー JCL がこの障害の原因だった場合は、ジョブを修正して再発行してください。

SLS6915E

SORT error processing log file

説明: ログユーティリティーは、ログファイルを処理するために SORT を呼び出します。SORT から 0 以外のリターンコードが返されました。

システムアクション: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの対応: SORTOUT ファイルに SORT によって生成されたエラーメッセージがないかを調べ、SLSPRINT ファイルにログユーティリティーによって生成されたエラーメッセージがないかを調べてください。

SLS6917E

*Sequence number check error: record NNNNNNNN, last seqno
XXXXXXXXXXXXXXXXXX, next seqno YYYYYYYYYYYYYYYY*

説明: ログユーティリティーの SORT 出口の出力フェーズ中に、指定されたレコードが連続するシーケンス番号の順でないことがわかりました。レコード NNNNNNNN のシーケンス番号は YYYYYYYYYYYYYYYY ですが、直前に読み取られたシーケンス番号は XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX でした。これはログファイルの整合性エラーです。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルユーティリティーへの入力を修正して、連続したログファイルレコードのセットを指定してください。

SLS6918E

BLKID validation error: record NNNNNNNN, last PPPPP blkid XXXXXXXX, next start blkid YYYYYYYY

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。新しい VTV を追加するログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、MVC 上の VTV の開始ブロック番号 YYYYYYYY が、(PPPPP が「end」のときに) 直前の VTV の終了ブロック番号 XXXXXXXX より 1 つ大きい番号でなかったか、または (PPPPP が「start」のときに) 直前の VTV の開始ブロック番号 XXXXXXXX より大きい番号ではありませんでした。これは、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティーがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティーが欠落した理由を特定してください

SLS6919E

Reset EOT to 0 validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMMM VTV count XXXX, VTV del count YYYY

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。MVC MMMMMM の EOT blkid を 0 にリセットするログファイルレコード NNNNNNNN を処理するときは、アクティブな VTV のカウントフィールドと削除された VTV のカウントフィールドも 0 であるべきです。

XXXX または YYYY、あるいはその両方が 0 でないことがわかりました。これは、予想外のデータ検証エラーの状況です。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6920E

CCCCCCC1 error for CDS

説明: VTCS は、CDS に対して操作 CCCCCC1 を実行しようとしたましたが、この操作は失敗しました。

システムアクション: VTCS が処理しようとしていたコマンドが失敗します。

ユーザーの対応: 無効なユーザー JCL がこの障害の原因だった場合は、ジョブを修正して再発行してください。

SLS6921W

CCCCCCC1 transaction sequence number warning: CDS CCCCCC2: Log files CCCCCC3

説明: このロギングシステムでは、記録される各更新に対して昇順のシーケンス番号が使用されます。このシーケンス番号は、ログレコードと CDS に書き込まれます。

VTCS ロギングユーティリティー *CCCCCCC1* は、CDS に最後に記録された更新によって、ログレコードシーケンス番号 *CCCCCCC2* の書き込みが発生したことを検出しました。

ジョブに提供されるログファイルには、最高値の次に高いログレコードシーケンス番号 (*CCCCCCC2* + 1) が含まれているべきですが、ログファイルはログレコードシーケンス番号 *CCCCCCC3* から始まっています。

この相違がある場合は、記録されたトランザクションが回復プロセスから除外されていることになるため、回復が不完全になる可能性があります。

システムアクション: 処理は続行されますが、この不一致について調べることをお勧めします。記録されたトランザクションのデータセットが回復プロセスから除外されている場合は、そのデータセットを含めてジョブを再実行するようにしてください。

ユーザーの対応: この不一致について調べ、必要な場合は、欠落した記録済みトランザクションのデータセットを含めて回復を再実行してください。

SLS6922E

*Reset EOT chain error A: record NNNNNNNN, MVC MMMMMM reset blkid
XXXXXXXX, VTV start blkid YYYYYYYY, flags FF*

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。MVC MMMMMM の EOT *blkid* を XXXXXXXX にリセットするログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、開始 *blkid* が YYYYYYYY である VTV に予期しないフラグ *FF* が付けられていることがわかりました。検出されるチェーンエラーの状況には 2 つの可能性があり、「chain error A」の値は 1 または 2 になります。

これは予想外のデータ検証エラーの状況であり、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティーがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティーが欠落した理由がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6923E

*Reset EOT BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM blkid
YYYYYYYY, chain end*

*Reset EOT toBBBBBBB error A: rec NNNNNNNN, MVC MMMMM DDDDDD constructs
CCCCCCCC, VTV count XXXX, VTV del count YYYY*

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。MVC MMMMM の EOT blkid をBBBBBBB にリセットするログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、VTV カウントフィールドの検証でエラー A が発生し、DDDDDD の作成カウントがCCCCCCCCになりました。

- エラー A が 1 の場合、DDDDDD は「VTV」になり、したがって VTV の作成カウントがリセットされた VTV のカウント XXXX より大きくなりました。
- エラー A が 2 の場合、DDDDDD は「unlink」になり、したがってリンク切断の作成カウントがリセットされた VTV の削除カウント YYYY より大きくなりました。

これは、予想外のデータ検証エラーの状況です。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6924E

*BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM reset EOT blkid
XXXXXXXX, start blkid YYYYYYYY*

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。MVC MMMMM に新しい VTV を追加するログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、開始 blkid YYYYYYYY が直前にリセットされた EOT blkid XXXXXXXX と同じではありませんでした。

これは予想外のデータ検証エラーの状況であり、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティーがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティーが欠落した理由がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6925I

XX NNNNNNNN

説明: ログユーティリティーの解析フェーズが完了し、各種レコードまたは作成カウント NNNNNNNN が報告されています。

XX は可変テキストで、次のいずれかになります。

- SORT に読み込まれたレコード
- 日時範囲に含まれるレコード
- 日時範囲に含まれないレコード
- SLS6925I のレコードタイプは次のように処理されます
- SLS6925I A - MVC への VTV の追加、40,341
- SLS6925I B - MVC にインポートされた VTV、515
- SLS6925I E - 逆方向への EOT のリセット、336
- SLS6925I F - MVC の初回使用または再使用、237
- SLS6925I G - インポートされた MVC、16
- SLS6925I R - MVC からの VTV のリクレイム、17,866
- SLS6925I U - MVC からの VTV のリンク切断、20,508
- SLS6925I V - 新しいバージョンの VTV、19,633
- SLS6925I W - インポートされた VTV、515
- SLS6925I X - VTV の電子エクスポート、196
- スキップされた不要なレコードタイプ
- 処理されたシステムの数
- システム HOSTNAME から処理されたレコード
- MVC の数

- VTV の数
- 作成された VTV バージョンの数
- 削除された VTV バージョンの数
- 存在する VTV バージョンの数

上記の HOSTNAME は、HSC ホストの ID 名です。ログファイルで検出されたシステム名ごとに 1 行ずつ出力されます。

システムアクション: ログファイルユーティリティーは処理を続行します。

ユーザーの対応: なし。情報のみを示すメッセージです。

SLS6926I

VTSS NNNNNNNN does not support the MVC initialization (Write New VOL1 Label) feature

説明: MVC の初期化機能が要求されましたが、VTSS NNNNNNNN はこの機能をサポートしないマイクロコードレベルにあります。

システムアクション: 処理は続行されますが、この VTSS では MVC の初期化を実行できません。

ユーザーの対応: MVC の初期化機能が必要な場合は、サポートするマイクロコードレベルに VTSS をアップグレードして HSC/VTCS をリサイクルするか、または VTSS をオフラインおよびオンラインにしてこの機能をアクティブにしてください。

SLS6927E

Add after reset EOT locate BLKID error: record NNNNNNNN, MVC MMMMMM blkid XXXXXXXX, chain end

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。以前に EOT blkid が XXXXXXXX にリセットされた MVC MMMMMM に追加するログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、チェーンの終端に到達する前に開始 blkid が同じかそれより大きいレコードが見つかりませんでした。

これは予想外のデータ検証エラーの状況であり、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティーがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティが欠落した理由がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6928E

*Reset EOT BLKID validation error: record NNNNNNNN, MVC MMMMM blkid
YYYYYYYY, chain end*

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。MVC MMMMMM の EOT blkid を YYYYYYYY にリセットするログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、一致する (同じかそれより大きい) 開始 blkid が見つかる前にチェーンの終端に到達しました。

これは予想外のデータ検証エラーの状況であり、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティが欠落した理由がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6929E

VTV # contains tapeplex # that is unrecognized to the target CDS

*A tapeplex name on the VTV record is not defined in the VTCS
configuration on the target CDS.*

説明: ソース CDS 内で、ターゲット CDS の VTCS 構成で認識されていない TapePlex 名が VTV に検出されました。

システムアクション: すべての VTV と MVC がチェックされたあとで、処理が異常終了します。

ユーザーの対応: TAPEPLEX 文でターゲット VTCS 構成にこの TapePlex 名を追加して、CONFIG ユーティリティーを実行してください。

SLS6930E

*Locate VTV connector error E: record NNNNNNNN, MVC MMMMM t/s
XXXXXXXXXXXXXXXXXX, VTV start bilked YYYYYYYY, FLAGS FF*

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。VTV の開始 blkid が YYYYYYYY であるログファイルレコード NNNNNNNN の処理中に、タイムスタンプ XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX と MVC

MMMMMM の照合で VTV コネクタの検索エラー E が発生し、予期しないフラグ FF が付けられました。エラー E は、内部の数値診断値です。

これは予想外のデータ検証エラーの状況であり、ログファイルに記録されていない不明なアクティビティーがいくつか存在することを示しています。

システムアクション: この SORT は破棄され、ログファイルユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: ログファイルのアクティビティーが欠落した理由がない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6931E

No active VTCS system found.Command: XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

説明: MVC プールレポートユーティリティーは、アクティブな VTCS システムから情報を取得する必要があります。内部コマンド XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX を発行したときに、アクティブな VTCS システムが見つかりませんでした。

システムアクション: 現在のユーティリティー要求は強制終了されます。

ユーザーの対応: ユーティリティー要求の期間中に VTCS がアクティブであることを確認してください。

SLS6932E

Inventry syntax error: RRR

説明: このメッセージの前に出力された INVENTORY ユーティリティーの構文に、エラー RRR が含まれています。

- CDScheck の値は Full、Mvc、または None である必要があります。
- STOPleot の値は NO または YES である必要があります。
- TERMerr の値は NO または YES である必要があります。
- STOPleot(YES) を指定できるのは CDScheck(Full/Mvc) を指定した場合だけです。
- TERMerr(YES) を指定できるのは CDScheck(Full/Mvc) を指定した場合だけです。

システムアクション: 処理は終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの対応: 構文を修正してからユーティリティーを再実行してください。

SLS6933I

VTV:VVVVVV MVC:MMMMM Loc:PPP/BBBBBBBB Create:CCC Migrate:RRR 000

説明: このメッセージには、MVC MMMMMM のインベントリの実行中にこの MVC で見つかった VTV VVVVVV の詳細が示されます。これらの詳細は、CDS ではなく MVC MMMMMM に記録されたものです。

- PPPP/BBBBBBBB は、MVC MMMMMM 上での VTV VVVVVV の開始位置を示しています。PPPP はパーティション、BBBBBBBB はブロック情報です。
- CCC は、VTV VVVVVV が作成された日時です (既知の場合)。
- RRR は、VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に移行された日付です (既知の場合)。
- OOO は、INVENTORY ユーティリティーに CDScheck(Full/Mvc) を指定した場合にのみ出力されるオプションのコメントです。VTV VVVVVV の常駐または MVC コピーが存在し、それがこのメッセージに示されたコピーとは異なることが CDS に示されている場合は、VTV VVVVVV の CDS コピーを示すメッセージ SLS6934I が出力されます。

OOO は、MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーに関連して CDS に記録された VTV VVVVVV の詳細に関するコメントです。

- 「CDS VTV is not defined」 - VTV VVVVVV は CDS に定義されていません。

これはエラーです。この CDS を使用しているときに VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に移行された場合、この状況は発生しないはずです。

- 「CDS shows no VTV copy」 - VTV VVVVVV のコピーが 1 度も作成されていないことが CDS に示されています。

これはエラーです。この CDS を使用しているときに VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に移行された場合、この状況は発生しないはずです。

- 「CDS shows an older VTV」 - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーの作成日時が、MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーより古く (前に) なっています。

これはエラーです。この CDS を使用しているときに VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に移行された場合、この状況は発生しないはずです。

- 「CDS shows an newer VTV」 - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーの作成日時が、MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーより新しく (あとに) なっています。

これは正常であり、次のようにして発生します。

- VTV VVVVVV が日時 CCC に作成され、MVC MMMMMM のブロック BBB に移行されます。
- その後の日時 DDD に、VTV VVVVVV の別のコピーが作成されます。
- VTCS は、MVC MMMMMM からリンク切断された VTV VVVVVV があることを示すように CDS を更新しますが、VTV VVVVVV は依然として MVC MMMMMM 上に物理的に存在します。
- 「CDS shows same age VTV」 - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーの作成日時が、MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーと同じになっています。しかし、CDS には、VTV VVVVVV のコピーが MVC MMMMMM 上の位置 PPPP/BBBBBBBB にあることが示されていません。

これは正常であり、次のようにして発生します。

- VTV VVVVVV が日時 CCC に作成され、MVC MMMMMM のブロック BBB に移行されます。
- MVC MMMMMM がドレインされます。
- VTV VVVVVV が MVC MMMMMM からリコールされ、MVC NNNNNN に移行されます。
- VTCS は、MVC MMMMMM からリンク切断された VTV VVVVVV があることを示すように CDS を更新しますが、VTV VVVVVV は依然として MVC MMMMMM 上に物理的に存在します。
- 「CDS shows matching VTV」 - CDS に記録された VTV VVVVVV のコピーの作成日時が、MVC MMMMMM で見つかった VTV のコピーと同じになっています。さらに、CDS にも、この VTV の移行コピーが MVC MMMMMM 上の位置 PPPP/BBBBBBBB にあることが示されています。

これは正常であり、これが VTV VVVVVV の現在のコピーであることを示しています。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: コメント「CDS VTV is not defined」、「CDS shows no VTV copy」、または「CDS shows an older VTV」が出力された場合:

- この状況になった理由を調べます。
- 「CDS VTV is not defined」が出力され、VTV VVVVVV を CDS に定義する必要がある場合は、適切な手順でこれを定義します。

- CDS を MVC MMMMMM の内容と一致させる必要がある場合は、MVC MMMMMM の監査を実行してください。

それ以外の場合は、特にありません。

SLS6934I

VTV VVVVVV: TTT CREATED CCC MIGRATED RRR

説明: このメッセージには、MVC のインベントリの実行中に MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV に関して CDS に記録された詳細が示されます。

TTT は次のとおりです。

- 「Not on MVC MMMMMM」 - MVC MMMMMM 上に VTV VVVVVV のコピーが存在しないことが CDS に示されている場合、または
- 「MVC MMMMMM block BBB」 - ブロック BBB を開始位置として、MVC MMMMMM 上に VTV VVVVVV のコピーが存在することが CDS に示されている場合。

TTT の値に関係なく、ほかの MVC に VTV VVVVVV のコピーが存在している可能性があります。

- CCC は、VTV VVVVVV が作成された日時です (既知の場合)。
- 「Migrated RRR」は、VTV VVVVVV が MVC MMMMMM に移行された日付を示しています。これは、MVC MMMMMM に VTV VVVVVV のコピーが存在することが CDS に示されており、日付が既知である場合にのみ出力されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6935E

VTV: VVVVVV MVC: MMMMMM Loc: PPP/BBBBBBBB Create: CCC Migrate: RRR

説明: このメッセージには、VTV VVVVVV に関して CDS に記録された詳細が示されます。

- PPPP/BBBBBBBB は、MVC MMMMMM 上の VTV VVVVVV の開始位置 (パーティションとブロック) を示しています。
- CCC は、VTV VVVVVV が作成された日時です (既知の場合)。

- *RRR* は、*VTV VVVVVV* が *MVC MMMMMM* に移行された日付です (既知の場合)。

CDS には *VTV VVVVVV* のコピーが *MVC MMMMMM* 上に存在することが示されていますが、*MVC* のインベントリの実行中に *MVC MMMMMM* で *VTV VVVVVV* が見つかりませんでした。

システムアクション: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーに *TERMerr(YES)* が指定された場合は、*MVC MMMMMM* の処理が終了します。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: *CDS* を *MVC MMMMMM* の内容と一致させる必要がある場合は、*MVC MMMMMM* の監査を実行してください。それ以外の場合は、特にありません。

SLS6936E

The CDS does not contain VTV VVVVVV, found during inventory processing of MVC MMMMMM

説明: *MVC* のインベントリの実行中に *MVC MMMMMM* で *VTV VVVVVV* が見つかりましたが、この *VTV* は *CDS* に定義されていません。

システムアクション: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーに *TERMerr(YES)* が指定された場合は、*MVC MMMMMM* の処理が終了します。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: *VTV VVVVVV* を *CDS* に定義する必要がある場合は、適切な手順でこれを定義してください。その後、*CDS* を *MVC MMMMMM* の内容と一致させる必要がある場合は、*MVC MMMMMM* の監査を実行してください。

SLS6937I

Inventory of MVC MMMMMM terminated at block BBB1, VTV VVVVVV. Logical end-of-tape is at block BBB2

説明: *MVC* のインベントリの実行中に、*MVC MMMMMM* のブロック *BBB1* で *VTV VVVVVV* が見つかりました。

ブロック *BBB1* は、この *MVC* の論理的なテープの終わり (LEOT) 位置 (つまり、次の移行が発生する位置) として *CDS* に示されているブロック *BBB2* と同じか、またはそれを越えています。*MVC MMMMMM* がドレインまたはリクレイムされた場合は、リコールされた *VTV* がまだ *MVC* 上に物理的に存在するため、これはエラーを示すものではありません。

INVENTORY ユーティリティーに STOPleot(YES) が指定されました (論理的なテープの終わり (LEOT) 位置に達したときにその処理が終了します)。

システムアクション: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 0 に設定されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6938E

VTV VVVVVV, found during inventory processing of MVC MMMMMM, is inconsistent with the CDS

説明: MVC のインベントリの実行中に、MVC MMMMMM で VTV VVVVVV が見つかりました。この CDS を使用して VTV VVVVVV を MVC MMMMMM に移行した場合にはあり得ない形で、CDS 内の VTV VVVVVV の詳細と MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV の詳細が相違しています。

このメッセージの前に発行されたメッセージ SLS6933I に、MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーの詳細と相違の概要が示されます。

VTV VVVVVV の常駐または MVC コピーが存在することが CDS に示されている場合は、このメッセージの前に発行されたメッセージ SLS6934I に CDS 内の VTV VVVVVV の詳細が示されます。

システムアクション: リターンコードが 8 に設定されます。INVENTORY ユーティリティーに TERMerr(YES) が指定された場合は、MVC MMMMMM の処理が終了します。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: MVC MMMMMM で見つかった VTV VVVVVV のコピーと CDS 内の VTV VVVVVV のコピーが異なる理由を調べます。CDS を MVC MMMMMM の内容と一致させる必要がある場合は、MVC MMMMMM の監査を実行してください。

SLS6939E

Unable to determine the position of the end of VTV VVVVVV. [Inventory of MVC MMMMMM terminated|Media verify of MVC DMV102 terminated.]

説明: MVC に対するインベントリ (メディア検証) の実行中に、MVC MMMMMM で VTV VVVVVV が見つかりました。

VTCS は、MVC MMMMMM 上の VTV VVVVVV の終了位置を特定できなかったため、MVC MMMMMM により多くの VTV が存在するかどうかを確認できませんでした。

システムアクション: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6940E

ECAM error CCC/SSS (possible data loss) occurred reading VTV VVVVVV, during [inventory|media verify] processing of MVC MMMMMM

説明: MVC に対するインベントリ (メディア検証) の実行中に、MVC MMMMMM で VTV VVVVVV が見つかりました。この VTV の読み取り中に、VTV のこのコピーが消失または破損した可能性があることを示す ECAM エラー CCC/SSS が発生しました。

システムアクション: 処理が続行されます。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの対応: この VTV の使用可能なコピーがほかに存在する場合は、VTVMaint ユーティリティを使用してこの VTV のリンクを MVC MMMMMM から切断し、VTV のこのコピーを使用できないようにすることを検討してください。サポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6941E

ECAM error CCC/SSS occurred reading VTV VVVVVV, during [inventory|media verify] processing of MVC MMMMMM

説明: MVC のインベントリ (メディア検証) の実行中に、MVC MMMMMM で VTV VVVVVV が見つかりました。この VTV の読み取り中に ECAM エラー CCC/SSS が発生しました。

システムアクション: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 8 に設定されます。

ユーザーの対応: このエラーに対するアクションが該当する ELS のマニュアルに示されている場合は、それを実行してください。サポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6942I

No VTVs were found on MVC MMMMMM

説明: インベントリが実行された MVC MMMMMM で VTV が見つかりませんでした。

システムアクション: MVC MMMMMM の処理が終了します。リターンコードが 0 に設定されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6943E

MVC MMMMMM is not empty, request failed

説明: 要求されたアクションには、MVC MMMMMM が空であることが求められます。MVC が空でないため、このアクションを完了できません。

「Display MVC」または MVC レポート出力では、この MVC に VTV が 1 つもないことが示される場合もありますが、この MVC は空ではありません。空であるためには、MVC に VTV が 1 つもないことが示され、MVC がドレインされている必要があります。

システムアクション: MVC に対して要求された処理が失敗します。

ユーザーの対応: MVC をドレインしてから、MVC に対してアクションを再試行してください。

SLS6944I

NNNN MVC|VTV definitions deleted from|targeted for deletion from|added to|targeted for addition to configuration

説明: CONFIG または SET VOLPARM の実行中に、VTV または MVC、あるいはその両方の定義が変更されました。

CONFIG に NOUPDATE が指定されているか、VOLPARM に APPLY(NO) が指定されている場合は、変更の対象になった VTV または MVC、あるいはその両方の定義がこのメッセージに反映されます。

このメッセージで VTV または MVC、あるいはその両方が削除されたことが示された場合は、データベースからそれらが物理的に削除されたわけではないことに注意してください。正確には、論理的な削除状態が設定されており、占有中のスペースは再使用されません。

このメッセージで VTV または MVC、あるいはその両方が追加されたことが示された場合、それは論理的な削除状態が解除されたか、または以前に定義されていなかった新しいボリュームが追加されたことを反映している可能性があります。

システムアクション: NOUPDATE を指定せずに CONFIG を実行したか、または APPLY(YES) を指定せずに SET VOLPARM を実行した場合は、VTV または MVC、あるいはその両方の範囲定義が構成内で変更され、それ以外の場合、構成は更新されません。

ユーザーの対応: 削除された VTV または MVC 定義のリストを取得するには、DECOMP に LISTDELR キーワードを指定して実行してください。VTV または MVC 定義が追加された場合は、DECOMP をそのまま実行して、定義されているすべての VTV と MVC のレポートを取得してください。

SLS6945E

MVC MMMMMM is mounted, request failed

説明: 要求されたアクションには、MVC MMMMMM がマウントされていないことが求められます。MVC がマウントされているため、このアクションを完了できません。

システムアクション: MVC に対して要求された処理が失敗します。

ユーザーの対応: この MVC をマウント解除してから、この MVC に対するアクションを再試行してください。

SLS6946E

Host HHHHHHH1 (PROCESS ID IIIIII, A BBB TASK) has waited N minutes for TTTT RRRRRR held by Host HHHHHHH2

説明: このメッセージは、システム内の別のホストまたはタスクによってロックされているリソースを待機しているホスト、プロセス識別子、およびタスクタイプを識別します。

- *HHHHHHH1* は、リソースを必要としているホスト名です。
- *IIIII* は、待機しているタスクのプロセス ID です
- *BBB* は、ロックを待機しているタスクのタイプであり、次のいずれかの値が含まれます。
 - Clk - Clink タスク
 - Cmd - コマンドタスク
 - Csh - Clink スケジューラタスク
 - Drv - RTD スケジューラタスク

- DSP - メインディスパッチャータスク
 - Inv - インベントリマネージャータスク
 - MSc - 移行スケジューラタスク
 - RCM - ドレイン/スペースリクレイムマネージャータスク
 - RTD - RTD タスク
 - Scr - スクラッチマネージャータスク
 - SS - VTSS タスク
 - unk - 不明なタスク
- *N* は、分単位の経過時間です。
 - *TTTT* は、ロックされているリソースタイプであり、次のいずれかの値が含まれます。
 - lock slot
 - VTD
 - VTV
 - MVC
 - RTD
 - *RRRRRR* は、ロックされているリソースであり、次のいずれかが含まれます。
 - ロックスロット番号
 - VTD アドレス
 - VTV の *volser*
 - MVC の *volser*
 - RTD アドレス
 - *HHHHHHH2* は、リソースをロックしているホスト名です。

システムアクション: 現在処理中の要求は、あとで処理するように再度キューに入れます。要求されたリソースがその時点でまだ使用できない場合は、このエラーメッセージが削除され、経過時間を更新して再発行されます。要求されたリソースのロックが所有ホストによって解放されるまで、このプロセスが繰り返されます。

ユーザーの対応: 要求されたリソースを現在保持しているホストを調べます。Display LOCKS コマンドを使用して、システム内の各ホストおよびタスクによって現在保持されているロックの詳細を表示できます。ロックが保持される原因となったアクティビティが正常に処理されている場合は、実行すべきアクションはありません。

ん。最終的にはロックが取得され、メッセージ SLS6946E は VTCS によって自動的に削除されます。

ロックが保持される原因となったアクティビティーがスタックしたように見える場合は、要求をキャンセルすることを検討してください。ロックが保持されている理由または解放されていない理由を特定できない場合は、StorageTek に相談してください。

SLS6948E

No MGMTCLAS statements have been defined or loaded.UUUUUUUU processing has been abandoned

説明: VTCS ユーティリティー UUUUUUUU を実行しようとしたのですが、MGMTCLAS 文が定義またはロードされていないため失敗しました。このユーティリティーが実行する処理は MGMTCLAS (および関連する) 文で決定されるため、処理が中止されました。

ユーティリティーの文に POLICYDD(*ddd*) が指定されていた場合は、//*ddd* で指定された MGMTDEF ファイルに MGMTCLAS 文がありませんでした。

ユーティリティーの文に POLICYDD(*ddd*) が指定されなかった場合:

- HSC/VTCS アドレス空間に MGMTDEF ファイルがロードされていないか、または
- HSC/VTCS アドレス空間の MGMTDEF コマンドで指定されたファイルに MGMTCLAS 文がありませんでした。

システムアクション: 処理は終了し、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: 関連する MGMTDEF ファイルに MGMTCLAS 文があることを確認してから、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6949I

Initiating swap of MVC VVVVVV from RTD RRRRRRRR to device type TTTTTTTT

説明: MVC VVVVVV の処理中にエラーが発生しました。この MVC は、RTD RRRRRRRR からデバイスタイプ TTTTTTTT へのスワップ中です。

システムアクション: 現在のアクションが別の RTD に対して試行されます。スワップ先のデバイスタイプは、MVCATTR SWAPTO ポリシー定義の影響を受けています。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。MVC が破損しているか、ま

たは疑わしい場合には、MVC DRAIN コマンドを使用して MVC からすべての VTV を削除します。同じ RTD 上で問題が再発する場合は、VARY コマンドを使用して RTD をオフラインにしてから、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6950I

The CDS containsBBBBB free blocks

説明: CDS に、拡張のために使用できるBBBBB 個の空きブロックがあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SLS6951I

VTSS VVVVVVVV does not support global MAXVTVSZ of NNNN - defaulting to DDDD

説明: VTSS VVVVVVVV は、グローバル MAXVTVSZ パラメータ (NNNN) で指定された VTV サイズをサポートしないマイクロコードレベルにあるため、このサイズの VTV を作成できません。

システムアクション: 処理は続行されますが、要求されたサイズの VTV は作成されません。MAXVTVSZ の指定は、構成 (DDDD) 内のすべての VTSS でサポートされる最大の VTV サイズにデフォルト設定されます。

ユーザーの対応: 要求されたサイズの VTV が必要な場合は、サポートするマイクロコードレベルに VTSS をアップグレードして HSC/VTCS をリサイクルするか、または VTSS をオフラインおよびオンラインにしてこの機能をアクティブにしてください。

SLS6952I

Config Warning: XXXXXXXX

説明: 構成ユーティリティーの実行時に、注意すべき可能性のある状況が検出されました。メッセージ XXXXXXXX は、この警告の理由を示しています。

システムアクション: エラー状態が検出されなければ、残りの構成文が処理され、CDS が更新されます。構成は終了し、RC=4 が返されます。

ユーザーの対応: メッセージテキストを見直して、警告の理由を確認してください。構成後の必要なタスクを実行してください。

SLS6953W

AAA VVVVVV is an invalid volser, it is not defined in the CDS

説明: LOGUTIL ユーティリティーの実行中に、エラーが発生しました。AAA (VTV または MVC) キーワードに対して volser VVVVVV が指定されました。VVVVVV は、CDS に定義された有効な AAA (VTV または MVC) の volser ではありません。

システムアクション: ユーティリティーが次の volser に対して続行されます。volser VVVVVV が最後に処理される volser である場合は、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: volser パラメータを修正して、ユーティリティーを再実行してください。

SLS6954W

MVC VVVVVV contains zero qualifying VTVs

説明: MVC VVVVVV 上の VTV を回復するため、FOR_LOSTMVC ユーティリティーが要求されました。特定の VTV フィルタの適用後、適格な VTV がありませんでした。このため、回復は必要ありません。

システムアクション: ユーティリティーが次の MVC に対して続行されます。volser VVVVVV が最後に処理される MVC だった場合は、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: VTV キーワードが指定された場合を除き、ありません。VTV キーワードが指定された場合は、それを削除してからユーティリティーを再実行してください。

SLS6955W

VTV v1: MVC m1 was picked as the recovery MVC but contains errors

説明: LOGUTIL ユーティリティーは、VTV v1 を回復するための最有力候補として MVC m1 を選択しました。この MVC は、CDS に存在しないか、LOST、BROKE、および DATA CHECK ビットの組み合わせのいくつかがオンになっています。この MVC に対して RECALL または AUDIT を試行すると、問題が発生する可能性があります。

システムアクション: そのユーティリティーの処理は続行されます。

ユーザーの対応: MVC の問題を修正してから、この MVC に対して RECALL または AUDIT を実行してみてください。RECALL または AUDIT が失敗し、代替 MVC コ

ピーが存在する場合は、VTV の別の代替 MVC コピーに対してこの操作を試行してください。

SLS6956E

CCCCCCCC parameter exceeds NNNNNNNN volumes

説明: LOGUTIL ユーティリティーに CCCCCCCC パラメータが指定されました。このパラメータに指定されたボリューム数が NNNNNNNN (許容最大数) を超えています。

システムアクション: ユーティリティーは RC=8 を返して終了します。

ユーザーの対応: パラメータを修正して、ユーティリティーを再実行してください。

SLS6957I

One or more volsers were duplicated on the CCC parameter

説明: LOGUTIL ユーティリティーに CCC パラメータが指定されました。CCC パラメータで少なくとも 1 つの volser が重複していることがわかりました。

システムアクション: 重複する volser は無視されます。

ユーザーの対応: 必要な場合は、パラメータを修正してユーティリティーを再実行してください。

SLS6958E

Volume MMMMMM is not an MVC

説明: MVC MMMMMM に対して AUDIT または INVENTORY が実行されていました。VTCS は、MVC 上の VTV を検索するために ECAM 呼び出しを発行しました。ECAM の応答 (RC=5/114、抑制されている) は、このボリュームが MVC としてフォーマットされていないことを示しています。

システムアクション: このボリュームの処理は終了し、RC=8 が返されます。

- AUDIT が実行されていた場合:
 - VTCS は、MVC 上にあるものとして CDS に示されているのに見つからなかった VTV を確認しません。これは、このような VTV が MVC からリンク切断されないようにするために必要です。
 - MVC は「Being audited/Audit failed」状態のままになります。

- INVENTORY が実行されていて、CDScheck(Full) が指定された場合、VTCS は MVC 上にあるものとして CDS に示されているのに見つからなかった VTV を確認します。INVENTORY は CDS を更新しないため、これを行なっても安全です。

ユーザーの対応:

- 問題が解決されるまで、この MVC には書き込まないようにしてください。これを実現するには、「MVCMAINT MVC(MMMMMM) READONLY(ON)」を実行して、MVC を読み取り専用としてマークします。
- 回復アクションが必要な場合は、「MVCRPT MVC(MMMMMM) DETail」を実行して、MVC 上にあるものとして CDS に示されている VTV を確認できます。
- 正しいテープがマウントされたことを確認します。MVC ボリュームではなく MVC 以外のボリュームがマウントされた状態で、同じ volser を持つボリュームが複数存在しないことを確認します。その場合、今度は正しいボリュームをマウントして AUDIT または INVENTORY を再実行します。
- 正しいボリューム (MVC のはず) がマウントされていた場合、または問題を解決できない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6959I

XXXXXXXX copy of VTV VVVVVV found; recovery is not necessary since the VTV is not in deleted status

説明: UNDELETE ユーティリティーによって VTV VVVVVV の回復が要求されました。UNDELETE ユーティリティーは、削除ステータスになっている VTV のみを回復します。削除ステータスになるには、その VTV に常駐または移行コピーがあってはなりません。VTV VVVVVV には XXXXXXXX (resident または migrated) コピーがあるため、回復は必要ありません。

システムアクション: ユーティリティーが次の VTV に対して続行されます。volser VVVVVV が最後に処理される VTV だった場合は、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: なし

SLS6960E

The manifest file contains NN MVC volsers. The maximum number that can be specified is LL

説明: MVCMAINT が実行され、マニフェストファイルを使用して処理対象の MVC が指定されました。コマンドの形式は「MVCMAINT MANIFEST(ddname) options」

でした。マニフェストファイルには *NN* 個の MVC *volser* が含まれています。マニフェストファイルを使用して指定できる MVC *volser* の最大数は、*LL* です。

システムアクション: どの MVC も処理されません。ユーティリティーは終了し、RC=8 が返されます。

ユーザーの対応: マニフェストファイルを使用して MVC *volser* を指定する代わりに、MVCMAINT コマンドを「MVCMAINT MVC(*volser*(s)) options」の形式で作成します。マニフェストファイルを使用したときに処理される MVC *volser* を確認するには、マニフェストファイルに対して MVC RPT を実行します。

SLS6961E

UUU parameter PPP requires HSC/VTCS active

説明: ユーティリティー *UUU* を実行しようとしたが、パラメータ *PPP* が指定され、HSC/VTCS がアクティブでないために失敗しました。

システムアクション: ユーティリティーはリターンコード 8 で終了します。

ユーザーの対応: このシステムで HSC/VTCS がアクティブであることを確認してから、ユーティリティーを再実行してください。

SLS6962I

Requested version of VTV VVVVV does not exist, recovery is not possible

説明: VTV *VVVVV* の要求されたバージョンを回復できません。回復する VTV バージョンは、LOCATE_VTV コマンドの VERSION または DATE/TIME パラメータで指定されます。LOGUTIL 構造にはこの VTV バージョンの移行または電子エクスポートされたコピーが見つからなかったため、回復を実行できません。

システムアクション: ユーティリティーが次の VTV に対して続行されます。volser *VVVVV* が最後に処理される VTV だった場合は、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: LOGUTIL LOGDD に正しい CDS ログファイルが含まれていたことを確認します。そうでない場合は、正しいログファイルを含めてから、ユーティリティーを再実行してください。

また、VERSION または DATE/TIME パラメータに正しいバージョン番号が指定されていたことも確認します。検出されたすべてのバージョンは、レポート出力に一覧表示されます。間違ったバージョンが指定されていた場合は、正しいバージョン番号を指定してユーティリティーを再実行してください。

SLS6963I

Recovery of version 0 is not permitted, YYYY-MM-DD HH:MM:SS matches version 0 for VTV VVVVVV

説明: LOCATE_VTV ユーティリティーでは、VTV のバージョン 0 の回復は許可されません。LOCATE_VTV ユーティリティーが実行され、DATE=YYYY-MM-DD と TIME=HH:MM:SS で VTV VVVVVV の回復が要求されました。これらの値はこの VTV のバージョン 0 と一致するため、この VTV の回復は許可されません。

システムアクション: ユーティリティーが次の VTV に対して続行されます。volser VVVVVV が最後に処理される VTV だった場合は、ユーティリティーが終了します。

ユーザーの対応: この VTV のバージョン 0 を回復する必要がある場合は、別のユーティリティー (AUDIT や UNDELETE など) を使用してデータを回復することを検討してください。DATE/TIME パラメータに不正な値が指定された場合は、正しい値を指定して、このユーティリティーを再実行してください。

SLS6964W

VTV version VVVVVV CDATE CTIME is newer than version 0. Ensure correct CDS and log files were used

説明: LOCATE_VTV ユーティリティーが実行され、VTV VVVVVV の回復が要求されました。ログファイルに、作成日付が CDATE で作成時間が CTIME である VTV VVVVVV のバージョンが見つかりました。VTV のこのバージョンは、バージョン 0 よりも新しくなっています。この状況が発生する可能性があるのは、次の 2 つの場合だけです。

- LOGUTIL LOGDD DD 文に指定されたデータセットが、ユーティリティーによって使用されている CDS に関連付けられていません。
- ログのデータセットより古い CDS コピーが、ユーティリティーによって使用されています。

システムアクション: ユーティリティーが VTV VVVVVV の次のバージョンに対して続行されます。CDATE CTIME がこの VTV の最新バージョンである場合、ユーティリティーは次の VTV に進みます。処理対象の VTV がなくなると、ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: CDS またはログファイルに不正なデータセット名が指定された場合は、データセット名を修正してユーティリティーを再実行してください。こ

の VTV バージョンの回復が依然として必要な場合は、DATE/TIME パラメータに CDATE/CTIME を指定してユーティリティを再実行してください。

SLS6965E

An internal error has occurred during LOGUTIL processing: VTV VVVVVV, XXXXXXXX

説明: LOGUTIL コマンドの処理中に内部エラーが発生しました。現在処理中の VTV volser と内部ストレージアドレスが診断用に表示されます

システムアクション: ログファイルユーティリティは異常終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6966I

RTD: NNNN placed in OFFLINE/MAINTENANCE mode, XXXXXX does not support partitioning

説明: RTD NNNN が保守モードになったか、この RTD へのパスがオフラインになりました。

VTCS 構成でパーティション分割が有効になっていますが、RTD または VTSS がパーティション分割をサポートしていません。XXXXXX は「the RTD」または「VTSS: vtssname」になります。

システムアクション: RTD の構成に応じて、指定された RTD が保守モードになるか、またはその RTD へのパスがオフラインになります。

ユーザーの対応: VTCS でパーティション分割が有効になっている構成では、パーティション分割モードをサポートできるすべての RTD デバイスタイプで、適切なマイクロコードがそのドライブで実行されている必要があります。

また、VTCS でパーティション分割が有効になっている場合に、パーティション分割モードをサポートできる RTD がパーティション分割モードをサポートできない VTSS に接続されていると、その RTD は保守またはオフラインモードになります。

必要な場合は、Oracle/StorageTek サポートに連絡してください。

SLS6967E

CF structure conflict:

```
CF structure SSSSSSSSSSSSSS is in use by host(s) using
CDS: dsname
CDS creation      date=yyyymmdd time=hh:mm:ss
```

Last CDS restore date=yyyymmdd time=hh:mm:ss

説明: 異なる CDS を使用している複数のシステムでは、同一の結合機構構造の使用は許可されません。結合機構構造 SSSSSSSSSSSSSSSSS は、この HSC/VTCS が起動される前に、このホストまたは別のホストで実行中の HSC/VTCS によってすでに初期化されています。

このメッセージには、初期化を行なった HSC/VTCS によって使用された CDS の特性が示されます。この HSC/VTCS では、初期化を行なった HSC/VTCS とは異なる CDS が使用されているため、結合機構構造 SSSSSSSSSSSSSSSSS の使用は許可されません。

システムアクション: VTCS の初期化が終了します。

ユーザーの対応: 各 CDS にそれぞれ異なる結合機構構造名が指定されていることを確認してから、この HSC/VTCS を停止して再起動します。さらにサポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6968E

MVC, MMMMM, cannot be mounted on RTD RRRRRRRR because it is mounted on another device

説明: VTCS は、仮想ライブラリ拡張内の RTD RRRRRRRR に MVC MMMMM をマウントしようとして失敗しました。MVC が別のデバイス (このシステムに RTD として定義されているかどうかにかかわらず) にマウントされているため、この要求は失敗しました。

システムアクション: 代替 MVC が使用可能な場合は、その MVC を使用して要求が再試行されます。そうでない場合、VTCS は連続して発生したエラーの数に応じて、MVC MMMMM のマウントを再試行するか、または要求を取り消します。

ユーザーの対応: VTCS が MVC の場所を認識できなかったことを示す問題を調べてください。原因がわからない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6969I

RECLAIM MVC MMMMM unable to free space EOT remains PPPP/BBBBBBBB VTV count VVV deleted VTV count DDD

説明: このメッセージは、パーティション分割されたテープボリュームに対して生成されます。リクレイムの処理中に、MVC MMMMM 用にパーティションを解放で

きませんでした。EOT はリセットされず、*PPPP/BBBBBBBB* (*PPPP* はパーティション ID、*BBBBBBBB* はブロック ID) のままになります。VTV のカウント *VVV* (VTV の合計数) および *DDD* (削除された VTV のカウント) も変更されません。

システムアクション: MVC の使用状況は変わりません。これには、VTV のカウントに加えて、MVC の破棄されたスペースと使用中のスペースも含まれます。

ユーザーの対応: 空きパーティションの数が少ない MVC はドレインすることをお勧めします。空きパーティションがまったくない MVC はドレインする必要があります。MVC の詳細レポートに、空きパーティションが一覧表示されます。

SLS6970E

CDS free block calculation failed with RC=X'RRRRRRRR'

説明: CONFIG の処理で、構成変更に合わせて CDS を更新する前に、CDS 内の空きブロックの数を特定する HSC サービスが呼び出されました。このサービスは失敗し、リターンコード *X'RRRRRRRR'* が返されました。

システムアクション: CDS は構成変更に合わせて更新されません。CONFIG の処理は終了し、RC=12 が返されます。

ユーザーの対応: この問題を StorageTek ソフトウェアサポートに報告してください。

SLS6971E

The configuration changes require MMM free CDS blocks, but the CDS contains only NNN free blocks

説明: CONFIG の処理で、VTCS 構成が変更されたために CDS を更新する必要があることが検出されました。これらの変更には *MMM* 個の空き CDS ブロックが必要ですが、CDS には *NNN* 個の空きブロックしかありません。

システムアクション: CDS は構成変更に合わせて更新されません。CONFIG の処理は終了し、RC=12 が返されます。

ユーザーの対応: (CDS EXpand を使用して) 現在の CDS のサイズを変更するか、または新しい CDS を作成して、更新対象の CDS に少なくとも *MMM* 個の空き CDS ブロックが含まれるようにします。その後、CONFIG ユーティリティーを再実行してください。

SLS6972E

VTV V1 cannot be chained to MVC V2.Partition PPPP is not empty

説明: ログユーティリティーは、ログファイルレコードを使用して MVC 上に存在する VTV の図を作成します。VTV V1 を MVC V2 に移行したログファイルレコードが検出されました。VTV V1 は MVC 上の複数のパーティションに分散していました。分散した VTV を 1 つのパーティションに結合するには、そのパーティションが空 (VTV のない状態) である必要があります。ログユーティリティーは、VTV V1 をパーティション PPPP に結合しようとしたが、このパーティションが空でないことを検出しました。

システムアクション: ユーティリティーは失敗し、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: ログファイルの内容には疑わしい点があります。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6973E

Illegal attempt to CCC the partition map for MVC V1

説明: ログファイルの処理中に、MVC V1 のパーティションマップの CCC (create または free) を試行することになったレコードが検出されました。パーティションマップに結合されたアクティブな VTV が存在したため、パーティションマップの CCC の試行は失敗しました。

システムアクション: ユーティリティーは失敗し、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: ログファイルの内容には疑わしい点があります。StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS6974I

Fault reported by VTSS:VV Model:MM Serial:NN FSC:FFFF FRU:UU

説明: モデル番号 MM、シリアル番号 NN の VTSS VV で、ハードウェアの問題が発生しました。障害症状コード (FSC) は X'FFFF'、現場交換可能ユニット (FRU) 情報は X'UU' です。FRU 情報は、使用可能な場合にのみ表示されます。メッセージ SLS6659I にサービス情報メッセージ (SIM) のセンスバイトが表示されています。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6975E

VTSS VV cannot generate a MIM request.Contact StorageTek hardware support

説明: VTSS VV は、通常であれば MIM (マシン先導保守) 要求が生成される条件を検出しました。保守ポートが有効でないため、VTSS はサービスコールを開始できません。メッセージ SLS6659I にサービス情報メッセージ (SIM) のセンスバイトが表示され、メッセージ SLS6974I に追加情報が表示されています。

システムアクション: 正常な処理が続行されます。

ユーザーの対応: StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS6976I

Mount of VVVVVV; MVC is X format, CDS shows MVC is Y format

説明: 指定された MVC がマウントされたときに、その MVC のパーティション分割形式が CDS に反映されたものと異なっていました。X と Y の値は、場合に応じて「Partitioned」または「Standard」になります。

システムアクション: 指定された MVC は AUDIT 状態になります。

ユーザーの対応: この MVC を監査して、MVC の形式と内容を CDS に合わせて解決するようにしてください。必要な場合は、Oracle/StorageTek サポートに連絡してください。

SLS6977E

VTSS VVVVVVV IP Client task manager unexpectedly failed

説明: VTSS VVVVVVVV の制御タスクで、IP クライアントタスクマネージャーが予期せず失敗したことが検出されました。

システムアクション: 異常終了が発生します。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6978I

VTSS VVVVVVV IP Client task manager recovery processing

説明: 異常終了が発生したため、VTSS IP クライアントタスクマネージャーの回復ルーチンに入りました。回復アクションが試行されます。

システムアクション: 異常終了が発生し、IP クライアントタスクマネージャーが自身の再起動を試行します。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6979E

*VTSS VVVVVVVV TCP/IP CCCCCCCCCCCC IIIIIIII error RRRRRRRR EEEEEEEE
DDDDDDDDDDDDDD*

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、インスタンス *IIIIIII* (該当する場合) でコマンド *CCCCCCCCCCCC* を発行しましたが、エラーが発生しました。

- *RRRRRRRR* (該当する場合) は、RETCODE フィールドの 10 進値です。
- *EEEEEEEE* (該当する場合) は、ERRNO フィールドの 10 進値です。
- *DDDDDDDDDDDDDD* (該当する場合) は、エラー番号のメッセージ名です。

システムアクション: コマンドが発行されたときのコンテキストに応じて、アクションが実行されます。異常終了が発生することもあります。IP クライアントタスクマネージャーが自身の再起動を試行する場合と、現在実行中の要求が失敗するだけの場合があります。エラーが 1 つの接続にのみ関連していることがあり、その場合は接続エラーの切り分けと回復手順が実行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6980E

VTSS VVVVVVVV Connection N RRRRRRRR

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、CONFIG 内の IP 定義を使用して VTSS *VVVVVVVV* に対するコマンドを処理しているときに、エラーを受信しました。このコマンドは理由 *RRRRRRRR* のために失敗しました。TCP/IP 接続とコマンド結果の詳細については、関連するメッセージを参照してください。

システムアクション: VTSS の IP クライアントタスクマネージャーが初期化中である場合は、この接続が使用不可としてマークされます。VTCS は、ほかの接続を続行します。

- 定義されているすべての接続の確立に失敗した場合、この VTSS のクライアントタスクマネージャーは終了します。

- VTSS IP クライアントタスクマネージャーの初期化が完了してからこのエラーが発生した場合、接続はエラーとしてマークされます。接続エラーの回復が定期的に行われるときに、接続の再確立が試行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。IP 接続定義に正しい名前または IP アドレスが指定されていることを確認します。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。

VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6981I

VTSS VVVVVVV Connection N established

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、CONFIG 内の IP 定義 N を使用して VTSS VVVVVVVV への接続に成功しました。TCP/IP の詳細については、関連するメッセージ SLS6984I を参照してください。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは情報提供のみです。

SLS6982I

VTV VVVVVV with MGMTCLAS MMM cannot be XXXXXXXXXXXX synchronously from VTSS SSS

説明: MGMTCLAS MMM を持つ VTV VVVVVV が VTSS SSS 内の VTD にマウントされました。この管理クラスまたは関連するストレージクラスで、この VTV に対して次を行うことが指定されています。

- 同期レプリケーション (管理クラスで REP(YES_SYNC) が指定された場合)、または
- 同期エクスポート (関連するストレージクラスで TAPEPLEX(TTT) SYNC(YES) が指定された場合)。

VTCS はこの要求を受け入れることができません。この理由として次が考えられます。

- VTCS 構成に SYNCHREP=YES が指定されていません。

- VTSS SSS またはターゲット VTSS が同期レプリケーションをサポートしていません。
- すべてのターゲット VTSS がオフラインになっています。
- VTSS SSS からターゲット VTSS へのオンラインの CLINK が存在しません。
- VTSS SSS 内の「ECAM only」の VTD 上に VTV がマウントされています。同期操作では、これらの VTD を使用できません。
- 同期レプリケーション要求の場合、VTSS SSS がクラスタの一部になっていません。
- 同期エクスポート要求の場合:
 - *ttt* が TapePlex の名前ではありません。
 - *ttt* が別の TapePlex ではなくローカル TapePlex の名前です。

システムアクション: VTCS は、要求されたアクション (レプリケーションまたはエクスポート) の VTV 上での同期実行を (マウント時に) 要求しません。実行が可能な場合、VTCS は VTV をマウント解除したあとで非同期的にアクションを実行します。

ユーザーの対応: 次のすべてが真であることを確認し、必要な修正アクションを実行してください。

- VTCS 構成に SYNCHREP=YES が指定されています。コマンド「VT D CONFIG」で SYNCHREP の値が表示されます
- VTSS SSS とターゲット VTSS で同期レプリケーションがサポートされます。コマンド「VT D VTSS DET」で、VTSS に「Sync replicate」サポートが含まれているかどうかを示されます。
- ターゲット VTSS がオンラインになっています。コマンド「VT QU VTSS」で VTSS のステータスが表示されます。
- VTSS SSS からターゲット VTSS へのオンラインの CLINK が存在します。コマンド「VT D CLINK」で CLINK のステータスが表示されます。
- 同期レプリケーションまたはエクスポートに必要な VTV が、VTSS SSS 内の「ECAM only」の VTD にマウントされていません。コマンド「VT D VTD ALL VTSS(SSS)」で、VTSS SSS 内の VTD (「ECAM only」の VTD を含む) が表示されます。
- 同期レプリケーション要求の場合、VTSS SSS がクラスタの一部になっています。コマンド「VT D CLUSTER」で、VTSS SSS がクラスタの一部になっているかどうかを示されます。

- 同期エクスポート要求の場合、*TTT* がローカル TapePlex 以外の TapePlex の名前になっています。

SLS6983I

MVC VVVVVV has been initialized

説明: MVC VVVVVV が初期化されました。新しい VOL1 ラベルがこの MVC に書き込まれましたが、これは、VOL1 ラベルがこの MVC に含まれておらず、この MVC で INITMVC=YES が有効になっていたためです。

システムアクション: HSC の処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SLS6984I

VTSS VVVVVVV Connection N AAAAAAAA BBBBBBBB PPPPP SSSSS

説明: このメッセージは、TCP/IP 接続の詳細を示し、発生したイベントを記述する前のメッセージと組み合わせて発行されます。

- YYYYYYYY は、VTSS 名です
- *N* は、CONFIG に定義されている VTSS の序数接続定義です
- AAAAAAAA は、DNS 名または IP アドレスによる接続定義です。
 - AAAAAAAA が DNS 名の場合、BBBBBBB は対応する IP アドレスになります。
 - AAAAAAAA が IP アドレスの場合、BBBBBBB は対応する DNS 名になります。
- PPPPP はポートです。
- SSSSS はソケットです。

表示される情報の長さが1つのメッセージで対応できる長さを超えた場合は、2つのメッセージが発行されます。

最初の SLS6984 メッセージは AAAAAAAA フィールドまでを含みます。

2つ目の SLS6984 メッセージは「continued...」で始まり、BBBBBBB、PPPPP、および SSSSS フィールドを含みます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは情報提供のみです。

SLS6985I

VTSS VVVVVVVV X of Y IP Client task manager connections SSSSSSSS

説明: VTSS VVVVVVVV に含まれる Y 個の IP クライアントタスクマネージャー接続のうち、X 個が SSSSSSSS 状態になっています。状態 SSSSSSSS は次のいずれかです。

- active - 接続は現在アクティブにコマンドを処理しています
- ready - 接続はコマンドを処理できる状態です

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは情報提供用です。X の値が Y の値より小さい場合は、接続の問題の性質を示すエラーメッセージが前に発行されています。

SLS6986E

VTSS VVVVVVVV IP Client task manager failed to RRRRRRRR any connections .Task shutting down

説明: VTSS YYYYYYYY の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、CONFIG 内の TCP/IP 接続定義の確立または検証 (RRRRRRRR) に失敗しました。この VTSS は TCP/IP で制御できません。

システムアクション: VTSS IP クライアントタスクマネージャーが終了し、この VTSS は使用不可状態のままになります。

ユーザーの対応: CONFIG 内の TCP/IP 接続定義が正しいことを確認します。失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6987I

subsystem AAAAAAAAA XXXXXXXX, but expected YYYYYYYY

説明: サブシステムフィールド AAAAAAAAA の値は、YYYYYYY が予期されましたが、XXXXXXX になっています。

システムアクション: この接続は使用不可としてマークされます。VTCS は、ほかの接続を続行します。定義されているすべての接続の確立に失敗した場合、この VTSS のクライアントタスクマネージャーは終了します。

ユーザーの対応: これは、前の SLS6980 エラーメッセージに対する追加情報を示しています。これは、CONFIG に定義された VTSS と指定された IP リンクを介して接続されている VTSS が (名前または IP アドレスで) 一致しないことを示しています。こ

の不一致の原因として、間違った名前が指定されたか、または複数の接続が指定されたが、それらが異なる VTSS に解決されたことが考えられます。

SLS6988E

VTSS VVVVVVVV All IP connections are now in an error state

説明: VTSS VVVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、最後の (または唯一の) 使用可能な IP 接続をエラーとしてマークしました。VTSS は、その TCP/IP 接続を失ったため、TCP/IP によって制御できなくなりました。

システムアクション: VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、エラーとしてマークされた接続を使用して、VTSS との接続の確立を定期的に再試行します。再試行の頻度は、システムによって決定された初期の回復期間中は高く、その後は低くなります。VTSS がオンライン状態である間は、無期限で再試行が継続されます。保留中の要求はすべて失敗します。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の詳細を調べます。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。

VTSS 内の IP カードが障害の原因として疑われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6989E

VTSS VVVVVVVV All connections in error and initial recovery time interval exceeded

説明: VTSS VVVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、定義されている初期の回復期間中に、この VTSS への接続の再確立を頻繁に試行しました。この期間が完了しましたが、再確立された接続はありません。

システムアクション: VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、接続の再確立の試行を無期限で継続しますが、その頻度は低くなります。VTSS は使用不可状態のままになります。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の詳細を調べます。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS をオフラインにしてからオンラインにすると、ただちに接続の確立が再試行されます。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6990E

If OPTION is specified, it must have the value UNAVAIL

説明: VTVRPT でオプションパラメータ OPTION が指定されましたが、UNAVAIL 以外の値が指定されました。

システムアクション: VTVRPT は終了し、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: OPTION(UNAVAIL) を指定するか、OPTION パラメータを削除してから、VTVRPT ユーティリティーを再実行してください。

SLS6991I

VTSS VVVVVVV Connection N attempting to reestablish connectivity

説明: VTSS VVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、CONFIG 内の IP 定義 N を使用して接続の再確立を試行しています。これは、VTSS がオンライン状態である間に定期的に発生する自動的な接続回復アクションです。

システムアクション: VTCS は、IP 接続を使用して接続の再確立を試行します。この試行の成功または失敗は、後続のメッセージで報告されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の詳細を調べます。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6992E

VTSS VVVVVVV TCP/IP SELECTEX error and all socket activity masks zero .Task shutting down

説明: VTSS VVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、アクティビティーを確認するために SELECTEX マクロを発行しました。ソケットアクティビティーのマスクが設定されなかったため、このエラーはおそらく、タイムアウトまたは ECB 処理、あるいはその両方に関係していました。

システムアクション: これは予期しないエラーであるため、この VTSS の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは終了します。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の詳細を調べます。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS を

オフラインにしてからオンラインにすると、ただちに接続の確立が再試行されます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6993E

VTSS VVVVVVVV MMMMMMMM

説明: VTSS VVVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、予期しない状況を検出しました。このメッセージの内容は、エラーの状況に応じて変化します。エラーが接続の処理に関連する場合は、次のようなメッセージが作成されます。

VTSS VVVVVVVV Connection N MMMMMMMM

変数テキスト *MMMMMMMM* には、特定のエラーと有用なフィールドの情報が詳しく示されます。

システムアクション: 予期しないエラーの性質に応じて、それに対応するシステムのアクションとシステムの実行継続の方法が決まります。

ユーザーの対応: 該当する VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6994E

VTSS VVVVVVVV Connection N RRRRRRRR AA BB

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、CONFIG 内の IP 定義 N を使用して VTSS VVVVVVVV に対する READ コマンドの処理中に受信した TCP/IP メッセージ内でエラーを検出しました。このエラーは、理由 *RRRRRRRR* として報告されています。変数フィールド *AA* および *BB* は、検出されたエラー理由に依存します。

次のエラーが検出されます。

- サポートされないプロトコルタイプ *AA*
- 無効なメッセージタイプおよびプロトコルタイプ *AA BB*

(*AA* = メッセージタイプ、*BB* = プロトコルタイプ)

- 矛盾するメッセージタイプとメッセージ長 *AA BB*

(*AA* = メッセージタイプ、*BB* = メッセージ長)

- 予期しないシーケンス番号の受信 *AA BB*

(*AA* = 予期されたシーケンス番号、*BB* = 実際に受信したシーケンス番号)

- 計算された CRC が受信した CRC と一致しない *AA BB*

(*AA* = 計算された CRC 値、*BB* = 実際に受信した CRC 値)

システムアクション: VTSS の IP クライアントタスクマネージャーが初期化中である場合は、この接続が使用不可としてマークされます。VTCS は、ほかの接続を続行します。

- 定義されているすべての接続の確立に失敗した場合、この VTSS のクライアントタスクマネージャーは終了します。
- VTSS IP クライアントタスクマネージャーの初期化が完了してからこのエラーが発生した場合、接続はエラーとしてマークされます。接続エラーの回復が定期的に実行されるたびに、接続の再確立が試行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。IP 接続定義に正しい名前または IP アドレスが指定されていることを確認します。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6995E

VTSS VVVVVVVV Connection N ECAM FSC/Error FFFF EEEE DDDDDDDD

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、CONFIG 内の IP 定義 *N* を使用して、VTSS VVVVVVVV から ECAM エラー応答メッセージを受信しました。

- *FFFF* は FSC のフィールド、*EEEE* はエラーインジケータのフィールドです。
- *DDDDDDDD* は、エラーの説明です。

TCP/IP 接続とコマンド結果の詳細については、関連するメッセージを参照してください。

システムアクション: アクティブな VTCS ECAM 要求は失敗します。FSC/エラーが 0000/0000 または 0000/0004 である場合、この接続はエラーとしてマークされます。接続エラーの回復が定期的に実行されるたびに、接続の再確立が試行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。IP 接続定義に正しい名前または IP アドレスが指定されていることを確認します。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS6997W

STORCLAS SSS is in error, STORMNGR NNNNNNNN does not support FFF

説明: STORCLAS SSS にエラーがあります。STORCLAS 文のパラメータとして FFF がコーディングされていますが、STORMNGR NNNNNNNN はこのパラメータをサポートしていません。

システムアクション: このパラメータはサポートされていないため、受け入れることができません。

ユーザーの対応: STORCLAS 文を修正するか、STORMNGR でこのパラメータがサポートされない理由を確認してください。

SLS6998I

VTV VVVVVV is being recalled from tapeplex TTTTTTTT

説明: VTCS は、ローカル TapePlex でのマウント要求に対応するため、リモート TapePlex TTTTTTTT から VTV をリコールする Cross TapePlex Autorecall (CTA) 要求を発行しました。リモート TapePlex がローカル TapePlex に VTV を電子エクスポートしたあと、ローカル TapePlex がそのマウントを完了します。

システムアクション: ローカルシステムが CTA 処理を実行してマウント要求に対応します。

ユーザーの対応: なし

SLS6999E

VTSS VVVVVVVV Connection N Error EEEE DDDDDDDD

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、CONFIG 内の IP 定義 N を使用して VTSS YYYYYYYY からパケット転送エラーを示すメッセージを受信しました。EEEE はエラーインジケータのフィールド、DDDDDDDD は説明です。TCP/IP 接続とコマンド結果の詳細については、関連するメッセージを参照してください。

システムアクション: VTSS の IP クライアントタスクマネージャーが初期化中である場合、この接続は使用不可としてマークされます。VTCS は、ほかの接続を続行します。

- 定義されているすべての接続の確立に失敗した場合、この VTSS のクライアントタスクマネージャーは終了します。
- VTSS IP クライアントタスクマネージャーの初期化が完了してからこのエラーが発生した場合、接続はエラーとしてマークされます。接続エラーの回復が定期的に行われるときに、接続の再確立が試行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。IP 接続定義に正しい名前または IP アドレスが指定されていることを確認します。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS7500I

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX.....

説明: VTSS IP クライアントタスクマネージャーモジュールは、READ コマンドの処理中に受信した TCP/IP メッセージ内でエラーを検出したか、またはパケット転送エラーを示すメッセージを受信しました。このメッセージは、前の SLS6994、SLS6995、または SLS6999 メッセージでエラーとして報告された関連する TCP/IP メッセージの最初の 60 バイトを示しています。TCP/IP 接続とコマンド結果の詳細については、関連するメッセージを参照してください。

システムアクション: VTSS の IP クライアントタスクマネージャーが初期化中である場合は、この接続が使用不可としてマークされます。VTCS は、ほかの接続を続行します。

- 定義されているすべての接続の確立に失敗した場合、この VTSS のクライアントタスクマネージャーは終了します。
- VTSS IP クライアントタスクマネージャーの初期化が完了してからこのエラーが発生した場合、接続はエラーとしてマークされます。接続エラーの回復が定期的に行われるときに、接続の再確立が試行されます。

ユーザーの対応: 失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探して、問題の原因を突き止めます。IP 接続定義に正しい名前ま

たは IP アドレスが指定されていることを確認します。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが問題の原因だと思われる場合は、そのカードを交換します。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS7501E

No MVC volumes have been defined

説明: CDS 内に MVC ボリュームが定義されていませんが、RTD は定義されています。

システムアクション: VTCS の処理は続行されますが、VTV を移行できないため、処理に重大な影響が発生する可能性があります。

ユーザーの対応: MVC ボリュームを定義するか、VTCS 構成から RTD を削除します。MVC ボリュームを定義するには、次のいずれかの方法を使用します。

- SET VOLPARM コマンド。
- CONFIG MVCVOL 文。

MVC ボリュームを定義するか、VTCS 構成から RTD を削除すると、メッセージ SLS7501E は自動的に削除されます。

SLS7502I

VTSS VVVVVVV Connection N closed

説明: VTSS VVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャモジュールは、CONFIG 内の IP 接続定義 N を閉じました。これは、以前のエラー、再構成、あるいは終了または VTSS のオフライン化によって開始された通常のクローズイベントの結果である可能性があります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは情報提供のみです。

SLS7503I

VTSS VVVVVVV Connection N dynamic IP Address/Port DDDDDD underway

説明: VTSS VVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャモジュールは、CONFIG 内の IP 定義 N に対して動的な変更を加えています。動的変更の説明 DDDDDD は、「add」、「change」、または「delete」です。

CONFIG 内の定義は、現在実行されている定義から変更されました。追加の場合は、新しい接続が開きます。変更の場合は、現在の接続がいったん閉じてから、新しい定義で再度開きます。削除の場合は、現在の接続が閉じます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: これは情報提供のみです。

SLS7504E

No STORMNGRs were found with deduplication enabled

説明: 複製解除機能が有効になっている STORMNGR が見つかりませんでした。ストレージクラスのレポートでは、複製解除機能が有効になっている STORMNGR のみが報告されます。

システムアクション: ユーティリティは終了し、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: 複製解除機能を有効にしてから、レポートを再実行してください。

SLS7505I

No valid MVCs were found

説明: 有効な MVC が見つかりませんでした。MVC を有効にするには、MVC を CDS で定義し、その CDS に対して定義されている 1 つ以上の STORMNGR に MVC を配置する必要があります。有効な MVC が見つからなかったか、または STORCLAS パラメータで不適格にされました。

システムアクション: ユーティリティは終了し、リターンコード 4 が返されます。

ユーザーの対応: 有効な MVC が存在する場合は、STORCLAS パラメータを指定せずにレポートを実行してみてください。

SLS7506E

VTSS VVVVVVV No (potentially) working IP connections remain

説明: 新しい CONFIG が実装され、1 つ以上の IP 接続定義が削除されました。VTSS VVVVVVV の VTSS IP クライアントタスクマネージャーは、最後の使用可能な IP 接続を削除しました。VTSS は、その TCP/IP 接続を失ったため、TCP/IP によって制御できなくなりました。

システムアクション: VTSS IP クライアントタスクマネージャーはアクティブなままですが、新しい CONFIG の実行によって新しい有効な IP 接続定義のセットが実装されたときにのみ、処理を実行できます。保留中の要求はすべて失敗します。

ユーザーの対応: 起動時に初期化されなかった IP 接続定義に関して、失敗した VTSS IP クライアントタスクマネージャーに関連するエラーメッセージを探し、問題の詳細を調べます。ネットワークインフラストラクチャーが物理的に存在し、安定して動作していることを確認します。VTSS 内の IP カードが障害の原因として疑われる場合は、そのカードを交換します。新しい CONFIG の実装によって多くの IP 接続定義が誤って失われないようにしてください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS7507I

Invalid (MAXAGE|TIMEOUT) n specified

説明: DRMONitr ユーティリティコマンド文に無効な MAXAGE または TIMEOUT、あるいはその両方の値が指定されました。

システムアクション: DRMONitr ユーティリティは中止され、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: 値を修正してユーティリティを再発行してください。

SLS7508I

DRMONitr runtime has exceeded TIMEOUT limit of nnn minutes

説明: DRMONitr ユーティリティの実行時間が、TIMEOUT パラメータで指定された許容可能な実行時間 (nnn、分単位) を超えました。

システムアクション: DRMONitr ユーティリティは処理を続行し、指定された残りのすべての VTV の DR コピーのステータスを確認します。指定された TIMEOUT 値が 0 でない場合は、リターンコード 8 が設定されます。指定された TIMEOUT 値が 0 であり、VTV の DR コピーが不完全であることがわかった場合は、リターンコード 4 が設定されます。

ユーザーの対応: タイムアウト状態の理由を調べます。それに応じて TIMEOUT 値を調整してください

SLS7509I

VTV selection by (MGMTclas|VTVid|DSN) found no VTVs to monitor

説明: 指定された VTV 選択条件項目 (MGMTclas、VTVid、または DSN) では、モニターする VTV を選択できません。

システムアクション: DRMONitr ユーティリティは中止され、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: VTV の選択で正しい選択条件が指定されていることを確認してください。また、VTV を選択できない理由を示す可能性のあるユーティリティーの例外メッセージがないかどうかを確認してください。

SLS7510I

VTV {selection|destination} criteria not specified on DRMONitr utility command statement

説明: DRMONitr ユーティリティーコマンド文に、次が指定されていません。

- モニター対象の VTV を識別する選択条件、または
- VTV コピーの出力先を識別する出力先条件

システムアクション: DRMONitr ユーティリティーは中止され、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: VTV の選択条件が指定されていないためにエラーが発生した場合は、DRMONitr コマンド文に MGMTclas、VTVid、または DSN を指定して、モニター対象の VTV を識別する必要があります。VTV の出力先条件が指定されていないためにエラーが発生した場合は、STORclas または REPLICAT、あるいはその両方を指定して、VTV コピーの出力先を識別する必要があります。

SLS7511I

Required function not specified on DRCHKPT utility command statement

説明: DRCHKPT ユーティリティーコマンド文に、必要な機能が指定されていません。この目的のためには、DRCHKPT ユーティリティーコマンド文に SET または CLEAR を指定する必要があります。

システムアクション: DRCHKPT ユーティリティーは中止され、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: DRCHKPT コマンド文に SET または CLEAR を指定して、必要な機能を指定してください。

SLS7512E

MVC MMMMMM rejected for migration because it needs to be audited to resolve anomalies

説明: MVC MMMMMM が移行用に選択されましたが、VTCS が計算したこの MVC の残りスペースがマイナスだったため、使用できません。これは、CDS が MVC の内容と同期していない場合に発生することがあります。

システムアクション: VTCS は、この MVC のステータスを「audit required」に変更して、監査が完了するまではこの MVC に移行できないようにします。

ユーザーの対応: AUDIT MVC(MMMMMM) を実行して、MVC の内容が CDS に正確に反映されるようにしてください。このエラーの発生原因がわからない場合や、サポートが必要な場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS7513I

RECALWER=YES|NO is an obsolete parameter.RECALWER=NO is now the default always used

説明: エラー時リコール処理のデフォルトは、CONFIG GLOBAL 文に指定できなくなりました。製品のデフォルトは、RECALWER=NO です。

エラー時リコール処理が必要な場合は、この処理をサポートする文 (CONSOLID、EEXPORT、MVCDRAIN、RECALL など) で明示的に指定できます。

システムアクション: CONFIG ユーティリティーは処理を続行します。

ユーザーの対応: 都合のよいときに、CONFIG ファイルを更新して、古いパラメータである RECALWER を削除してください。

SLS7514I

Incompatible VTCS configuration detected by DRCHKPT utility

説明: DRCHKPT ユーティリティーは、CDS 内の VTCS 構成の非互換性を検出しました。

システムアクション: DRCHKPT ユーティリティーは中止され、リターンコード 8 が返されます。

ユーザーの対応: CONFIGURATION ユーティリティーを実行して、CDS 内の VTCS 構成の非互換性を修正してください。

SLS7515E

RTD CCCCCCCC has a bad configuration on the Library and/or paths: SSSS1/SSSS2

説明: VTCS は、RTD CCCCCCCC を初期化するとき、デバイスパス (SSSS1) および HSC (SSSS2) からデバイスのシリアル番号を取得しました。

2つのシリアル番号は一致するはずですが、一致しませんでした。

このテストは RTD の物理的なケーブル接続が VTCS 構成内の RTD の定義と一致しないエラーを検出することを目的としていますが、HSC/VTCS がアクティブな状態で RTD が交換された場合にも、このメッセージが出力されることがあります。

システムアクション: この RTD は破損しているとみなされ、使用されませんが、強制的にオフラインまたは保守モードになることはありません。

ユーザーの対応: 構成が最近変更された場合は、RTD の物理的なケーブル接続が VTCS 構成内の RTD の定義と一致することを確認します。エラーを修正してから、再試行するために RTD をオンライン (*) にしてください。

HSC/VTCS がアクティブな状態で RTD が交換された場合は、次のいずれかのアクションを実行して、HSC が新しいシリアル番号を認識できるようにします。

- この RTD を含む ACS が F CONFIG コマンドをサポートしており、RTD が交換されてからオンラインになるまでの間にこのコマンドが発行されなかった場合は、F CONFIG UPDate ACS(*acs-id*) DRVinfo コマンドをすぐに発行します。その後、再試行するために RTD をオンライン (*) にしてください。
- この RTD を含む ACS が F CONFIG コマンドをサポートしない場合は、この RTD を含む LSM をオフラインにしてからオンラインにします。その後、再試行するために RTD をオンライン (*) にします (*すでにオンラインだった場合も含みます)。
- 上記のいずれの方法でもエラーが解決しない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SLS7516E

VTSS VVVVVVV reported: TTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTT

説明: VTSS VVVVVVVV でサービス情報メッセージ (SIM) イベントが発生しました。TTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTTT は、関連する障害症状コード (FSC) の説明です。

システムアクション: 特定の FSC に関連付けられたヘルプ情報がある場合は、メッセージ SLS7516E のあとに複数行のメッセージ SLS7517I が発行されます。

ユーザーの対応: FSC の説明に基づいてエラーを解決できない場合は、Oracle/StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS7517I

- TapePlex *EEE* への CLINK 接続を VTSS *XXX* (およびそのような接続を持っているクラスター *CCC* 内のほかの VTSS) から削除します。

その後、CONFIG ユーティリティを実行してください (RESET オプションは必要ありません)。VTCS が構成変更を認識すると、この問題は自動的に解決されます。

SLS7519E

Invalid cluster CCC

```
The configuration of cluster CCC is invalid
VTSSs PPP and SSS have different connectivity
VTSS XXX has connectivity to TTT RTDs in LLL, but
VTSS YYY does not
LLL TTT RTDs: DDDD
(Clinks from VTSS PPP and VTSS SSS will be terminated)
```

説明: VTCS は、クラスター *CCC* の構成でエラーを検出しました。

メッセージ内の「*LLL*」は、「ACS *NNN*」または「stormngr *MMM*」です。

クラスター内の各 VTSS は、デバイスタイプと場所ごとに、RTD に対する同一の接続を持っている必要があります。つまり、クラスター内の 1 つの VTSS が場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD への接続を持っている場合は、クラスター内のほかのすべての VTSS もその接続を持っている必要があります。

VTCS は、VTSS *XXX* が場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD への接続を持っているが、VTSS *YYY* は持っていないことを検出しました。

DDDD は、場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD のデバイス数 (最大 6) を示しており、この場所では、VTSS *XXX* はこれらの RTD への接続を持っていますが、VTSS *YYY* は持っていません。

システムアクション: VTSS *PPP* から VTSS *SSS* への CLINK がある場合、VTCS はそれらを終了します。その後は、VTSS *PPP* から VTSS *SSS* に VTV をレプリケートできなくなります。

ユーザーの対応: クラスター *CCC* 内の各 VTSS が場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD に対する同一の接続を持っていることを確認します。

D CONFIG で、構成内の各 RTD のデバイスタイプと場所、およびその RTD への接続を持っている VTSS が表示されます。

VTCS 構成が VTSS XXX と VTSS YYY のどちらに関して正しいかによって、構成を次のように変更します。

- 場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD への接続を VTSS YYY (およびそのような接続を持っていないクラスタ CCC 内のほかの VTSS) に追加します。

VTSS YYY が「*LLL TTT RTDs: DDDD*」で示される各デバイスへの接続を持つ必要はありませんが、VTSS YYY は場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD の少なくとも 1 つに対する接続を持つ必要があります。

- 場所 *LLL* にあるデバイスタイプ *TTT* の RTD への接続を VTSS XXX (およびそのような接続を持っているクラスタ CCC 内のほかの VTSS) から削除します。

その後、CONFIG ユーティリティを実行してください (RESET オプションは必要ありません)。VTCS が構成変更を認識すると、この問題は自動的に解決されます。

SLS7520E

Unable to read the partition map for MVC MMMMMM. The MVC has been marked as readonly

説明: MVC MMMMMM がパーティション分割モードで書き込まれました。CDS には、パーティション分割された MVC ごとにパーティションの使用状況を記述する (「パーティションマップ」と呼ばれる) レコードがあるはずですが。

VTCS は MVC MMMMMM のパーティションマップを読み取ることができず、このパーティションマップが存在しないか、または存在するが MVC レコードに正しくリンクされていないことが示されました。

システムアクション: VTCS は、MVC MMMMMM のパーティションマップをデフォルトの内容で作成し、それを MVC レコードにリンクします。MVC がドレインまたは監査されるまで、このパーティションマップにパーティションの使用状況は反映されません。

VTCS は、パーティションマップにパーティションの使用状況が正確に反映されるまで、この MVC への移行を防止するため、CDS 内でこの MVC を読み取り専用としてマークします。

ユーザーの対応: この MVC をドレインまたは監査してください。

MVC のドレインまたは監査中にこのメッセージが発行されても、ドレインまたは監査を再実行する必要はありません。

ドレインまたは監査が正常に完了したら、MVCMAINT MVC(MMMMMM)
READONLY(OFF) を実行してこの MVC を書き込み可能としてマークできます。

SLS7521E

Failed mount/dismount on DDDDDDD: RRRRRRR

説明: 別の TapePlex に送られたデバイス DDDDDDD の RTD マウントまたはマウント解除が失敗しました。RRRRRRR は、その別の TapePlex から返されたメッセージです。

システムアクション: リモート TapePlex で発生したエラーの理由に応じて、VTCS はマウントまたはマウント解除に失敗するか、または使用ダイアログを開始してこの状況を回復できるようにします。

ユーザーの対応: 理由 RRRRRRR に、調べる必要がある追加メッセージが含まれている可能性があります。これには、通常、エラーに関するより正確な情報が含まれています。

さらに、デバイス DDDDDDD を処理しているはずの TapePlex のログを調べます。これによって、RTD の状態やボリュームのマウント機能に関する追加情報を得られるはずですが。

関連する SLS6894I または SLS6895I メッセージに、マウントまたはマウント解除の理由に関する情報が含まれているはずですが。

SLS7522E

Found NNNN duplicate MVCs in SSSSSSS

説明: VTCS は、起動時または MVC プールが変更されたときに、MVC のすべてのストレージマネージャーを検索します。ストレージマネージャー SSSSSSS をスキャンしたときに、ローカル CDS またはほかのストレージマネージャーでも見つかった MVC が NNNN 個見つかりました。

システムアクション: 影響を受ける MVC は、「*MANY*」と呼ばれるエラーの場所に配置されます。この場所に配置された MVC 上の VTV コピーの参照は、正しいコピーがどの場所にあるかを VTCS が特定できないため、失敗するはずですが。

ユーザーの対応: MVC レポートを実行して、影響を受ける MVC を識別します。その後、ローカル HSC と各ストレージマネージャーの両方で VOLRPT を実行します。レポートを相互に確認することで、各 MVC の複数のバージョンを識別できるはずですが。

構成に問題があり、VTCS が 2 つの異なるルートでストレージマネージャーから参照された結果、この問題が発生した可能性もあります。CDS に特定の MVC を定義すべきでない場合もあります。

SLS7523I

*Error during {catalog lookup|SDD processing} for {DDN|DSN} DDDDDDDD;
reason explanation*

説明: SMC クライアントから要求された VTCS の操作で、DSN パラメータまたは変換された DDN パラメータの処理中にエラーが検出されました。

システムアクション: 要求された操作は、エラーになった DSN に対して実行されません。カタログ検索または SDD プロセスを実行できなかった場合は、どの VTV も処理されません。

ユーザーの対応: エラーの理由を特定して、SMC 要求を再発行してください。

SLS7529I

*Migrate|Recall of VTV VVVVVV has failed because of a timestamp
mismatch*

説明: MIGRATE または RECALL コマンドに指定された TIMESTAMP パラメータが、移行またはリコールのために要求された VTV コピーと一致しません。

システムアクション: この VTV はスキップされ、可能な場合は処理が続行されます。

ユーザーの対応: 可能な場合は、GTF の実行中にこの VTV の移行またはリコールを再試行してください。Oracle/StorageTek サポートに連絡して、トレースデータセットを提出してください。

SLS7530I

*Copy of VTV VVVVVV on MVC MMMMMM rejected; MVC is located within
unknown STORMNGR SSSSSSSS*

説明: VTV VVVVVV のコピーが MVC MMMMMM 上にあること、および MVC MMMMMM が STORMNGR SSSSSSSS 内に配置されていることがマニフェストファイルに示されています。この STORMNGR は VTCS 構成に定義されていません。

システムアクション: MVC MMMMMM 上の VTV VVVVVV のコピーは無視されますが、VTV VVVVVV のほかのコピーは処理されます。VTV VVVVVV のすべてのコピーが未知の STORMNGR 内に配置されている場合、その VTV はインポートされません。

ユーザーの対応: (STORMNGR SSSSSSSS が VTCS 構成にないために) MVC MMMMMM 上の VTV VVVVVV のコピーが拒否されることが予想された場合、必要なアクションはありません。そうでない場合は、VTCS 構成に STORMNGR SSSSSSSS を定義してから、この VTV を (再度) インポートしてください。

SLS7533I

Links to RRRRRRRR from VTSS VVVVVVVV established; state is SSSSSSSS

説明: ソース VTSS VVVVVVVV からターゲット VTSS RRRRRRRR へのレプリケーションリンクが確立されました。リンクの状態は ONLINE、OFFLINE、OFF-FAIL のいずれかになります。

- ONLINE 状態は、レプリケーションリンクへの接続が成功し、リンクが使用可能な状態になっていることを示します。
- OFFLINE 状態は、レプリケーションリンクがオフラインに変更されたことを示します。
- OFF-FAIL 状態は、レプリケーションリンクが障害のためオフライン状態に変更されたことを示します。

システムアクション: VTCS 処理は続行されます。

ユーザーの対応: リンクの現在のステータスがが必要な状態を示していない場合は、Vary LINKSto コマンドを発行して必要な状態に変更します。

SLS7535I

Replication link LLLLLLLL from VTSS VVVVVVVV returned ecam error CC=CCC RC=RRR from QQQQQQQQ attempt

説明: VTSS VVVVVVVV からのレプリケーションリンク LLLLLLLL に対して ecam 要求 QQQQQQQQ が発行されましたが、条件コード CCC および理由コード RRR で失敗しました。

システムアクション: エラーの性質やそのときに行われていた処理によっては、レプリケーションリンクが無効化されます。ただし、VTCS は利用可能な任意のレプリケーションリンクを使ってレプリケーションを試みます。

ユーザーの対応: エラーの理由を調査することをお勧めします。SYSLOG で、エラーの性質に関するほかの通知がないか確認してください。問題が続く場合は、Oracle/StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

SLS7538I

VTSS VVVVVVVV cluster|tapeplex DDDDDDDD Enhanced Replication disabled, not all connectivity supports enhanced replication.

説明: VTSS VVVVVVVV は拡張レプリケーション機能をサポートしていますが、クラスタ内の接続またはリモート TapePlex DDDDDDDD への接続の一部が拡張レプリケーションをサポートしていないため、拡張レプリケーション機能は抑制されました。拡張レプリケーションを実行できるのは、ローカルクラスタ内の接続またはリモート TapePlex への接続のすべてが拡張レプリケーションをサポートしている場合だけです。

システムアクション: VTCS の処理は続行されますが、すべてのレプリケーションは拡張レプリケーション方式を使わずに行われます。

ユーザーの対応: 拡張レプリケーションが必要な場合は、ローカルクラスタ内の接続またはリモート TapePlex への接続のすべてが拡張レプリケーションをサポートする必要があります。

SLS7550E

MAXVTVSZ>4000 not supported by MMMMMMM for STORCLAS SSSSSS referenced by MGMTCLAS CCCCCC

説明: STORCLAS で参照されている STORMNGR は、4G バイトを超える VTV をサポートしていません。

システムアクション: STORCLAS を参照する MGMTCLAS の MAXVTVSZ は 4000 に設定されます。

ユーザーの対応: このメッセージを回避するには、この STORCLAS を参照する任意の MGMTCLAS に MAXVTVSZ(4000) を追加するか、4G バイトを超える VTV をサポートするように STORMNGR をアップグレードしてください。

SLS7551W

STORMNGR SSSSSSS does not support VTVs greater than 4GB, global MAXVTVSZ set to DDDD

説明: この VLE は、4G バイトを超える VTV をサポートしていません。または、通信エラーのため VTCS で VLE の機能を特定できません。

システムアクション: 処理は続行されますが、最大 VTV サイズは 4G バイト以下になり、その最大サイズが表示されます。

ユーザーの対応: 4G バイトを超える VTV をサポートするように STORMNGR をアップグレードするか、VLE との通信を確立してください。

SLS7552E

PATH: RRRR placed in OFFLINE mode, VVVVVVVV does not support VTVs greater than 4GB.

説明: PATH RRRR の接続先である STORMNGR VVVVVVVV は 4G バイトを超える VTV をサポートしていませんが、CDS が 4G バイトを超える VTV をサポートしているか、4G バイトを超える VTV が CDS 内に存在しています。

システムアクション: RTD および関連するパスがオフラインになります。

ユーザーの対応: 4G バイトを超える VTV をサポートするように STORMNGR をアップグレードするか、4G バイトを超える VTV を CDS から削除してください。

SLS7553I

Partition ID service failure RC=NNNN RRR request from CCCCCCCC+XXXX VVVVVV TTTTTTTT

説明: VTCS ALP パーティション ID アクセスメソッドサービスが、モジュール CCCCCCCC + オフセット XXXX からの要求 RRR を処理しているときにエラーを検出しました。要求パラメータの VVVVVV は VTV の検証 volser を識別し、TTTTTTTT は ALP トークン値を表します。

システムアクション: VTCS タスクは追加のメッセージを発行して処理を停止します。異常終了する場合があります。

ユーザーの対応: 診断情報を収集し、このエラーを StorageTek カスタマサポートに報告します。異常終了が発生しない場合、このエラーは、VTCS が処理を継続するうえで重大ではありません。

SLS7554E

EXPORT Early Delete VTV(s) removed from VTSS VVVV

説明: 自動移行中に、リモート TapePlex への電子エクスポートを保留していた VTV が、EDLTeexp 管理クラスの設定により、VTSS VVVV から削除されました。リモート TapePlex への CLINK のすべてが、正常に動作していません。TapePlex の CLINK が ONLINE に変更されたら、VTCS RECONCIL ユーティリティーを実行する必要があります。

システムアクション: 自動移行タスクは続行されます。

ユーザーの対応: リモート TapePlex の CLINK が *ONLINE* に変更されたあと、VTCS *RECONCIL* ユーティリティーを実行します。

SLS7555E

NNNN EEXPORT Early Delete VTV(s) removed from VTSS VVVV

説明: 自動移行中に、リモート TapePlex への電子エクスポートを保留していた *NNNN* 個の VTV が、*EDLTexp* 管理クラスの設定により、VTSS *VVVV* から削除されました。リモート TapePlex への CLINK のすべてが、正常に動作していません。TapePlex の CLINK が *ONLINE* に変更されたら、VTCS *RECONCIL* ユーティリティーを実行する必要があります。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: リモート TapePlex の CLINK が *ONLINE* に変更されたあと、VTCS *RECONCIL* ユーティリティーを実行します。

SLS8000I

Unexpected exception thrown: RRRRRRRRR

説明: ソフトウェアエラーが検出され、それによって例外が生成されました。理由 *RRRRRRRRR* は、発生したエラーの詳細を示します。

システムアクション: 必要に応じてプロセスのダンプが取られます。また、障害の発生しているタスクやスレッドの回復も試みられます。

ユーザーの対応: このエラーは予想外のものなので、どの回復アクションも成功しない可能性があります。したがって、システムを確認し、障害の発生したプロセスを必要に応じて再起動してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8001I

PPPPPPP/NNNN: Uncaught exception terminating thread

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPP* でソフトウェアエラーが検出され、それによって例外が生成されました。エラーから回復するためのアクティブな回復ルーチンは存在していません。

システムアクション: 影響のあるタスクやスレッドが終了されます。通常、追加の回復アクションは実行されません。

ユーザーの対応: おそらく、影響のあるプロセスを再起動する必要があります。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8002I

PPPPPPPP/NNNN: Abnormal thread termination: RRRRRRRRR

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* 内のあるソフトウェアスレッドが、予期しないかたちで終了することを決定しました。理由 *RRRRRRRRR* は、トリガーとなったエラーの詳細を示します。

システムアクション: 影響のあるタスクやスレッドが終了されます。ダンプも取られる可能性があります。通常、追加の回復アクションは実行されません。

ユーザーの対応: おそらく、影響のあるプロセスを再起動する必要があります。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8003I

PPPPPPPP/NNNN: Call to terminate()

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* の実行時環境がプロセスの続行は不可能と判断したことを意味するソフトウェアエラーが発生しました。

システムアクション: 影響のあるプロセスが終了されます。ダンプも取られる可能性があります。状況によっては、障害の発生したプロセスをシステムが再起動することもあります。

ユーザーの対応: 障害の発生したプロセスが再起動されたことを確認します。そうでなかった場合、プロセスの停止と起動を手動で実行してください。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8004I

PPPPPPPP/NNNN: Unexpected exception called

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* でソフトウェアエラーが検出され、それによって例外が生成されました。エラーから回復するためのアクティブな回復ルーチンは存在していません。

システムアクション: 影響のあるタスクやスレッドが終了されます。通常、追加の回復アクションは実行されません。

ユーザーの対応: おそらく、影響のあるプロセスを再起動する必要があります。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8005I

PPPPPPP/NNNN: Call to terminate()

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPP* の実行時環境がプロセスの続行は不可能と判断したことを意味するソフトウェアエラーが発生しました。

システムアクション: 影響のあるプロセスが終了されます。ダンプも取られる可能性があります。状況によっては、障害の発生したプロセスをシステムが再起動することもあります。

ユーザーの対応: 障害の発生したプロセスが再起動されたことを確認します。そうでなかった場合、プロセスの停止と起動を手動で実行してください。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8006I

Cannot create TCP/IP socket: RRRRRRRRR

説明: TCP/IP 通信用のソケットの作成が試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: ソケットの作成を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これは、ネットワークリソースまたはサーバーリソースの問題である可能性があります。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8007I

Cannot bind to port NNNN: RRRRRRRRR

説明: TCP/IP 通信用ポート *NNNN* へのバインドが試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRRR* で失敗しました。この理由が「すでに使用中のアドレス」である場合、それはおそらく、あるサーバーコンポーネントの終了処理が完了する前に代替のコンポーネントが起動されたことを意味しています。

システムアクション: ポートへのバインドを試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これは、ネットワークリソースまたはサーバーリソースの問題である可能性があります。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8008I

Listen on port NNNN failed: RRRRRRRRR

説明: TCP/IP 通信用ポート *NNNN* への接続の待機が試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: ポートへの待機を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これは、ネットワークリソースまたはサーバーリソースの問題である可能性があります。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8009I

Cannot create AF_UNIX socket: RRRRRRRRR

説明: サーバーとして内部通信を行うためのソケットの作成が試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: ソケットの作成を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、サーバーリソースの問題です。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8010I

Cannot bind to file FFFFFFFF: RRRRRRRRR

説明: 内部通信用のファイル *FFFFFFF* へのバインドが試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRRR* で失敗しました。この理由が「すでに使用中のアドレス」である場合、それはおそらく、あるサーバーコンポーネントの終了処理が完了する前に代替のコンポーネントが起動されたことを意味しています。

システムアクション: ファイルへのバインドを試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、サーバーリソースの問題です。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8011I

Listen on file FFFFFFFF failed: RRRRRRRR

説明: 内部通信用のファイル *FFFFFFF* への接続の待機が試みられました。これがエラーコード *RRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: ファイルへのバインドを試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、サーバーリソースの問題です。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8012I

Failed lookup of HHHHHHHH:PPPP: RRRRRRRR

説明: ネットワークアドレス *HHHHHHHH* とポート *PPPP* の解決が試みられましたが、それがエラーコード *RRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: アドレスの解決を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: *HHHHHHHH* が有効な IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、DNS アドレスのいずれかであることを確認してください。短形式の DNS アドレスが有効になるのは、DNS 検索接尾辞のいずれかを使って完全なアドレスに変換できる場合だけです。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8013I

Failed connect to HHHHHHHH:PPPP: RRRRRRRR

説明: ネットワークアドレス *HHHHHHHH* とポート *PPPP* への接続が試みられましたが、それがエラーコード *RRRRRRRR* で失敗しました。この理由が「接続拒否」である場合、それはおそらく、サーバーコンポーネントが実行されていないことを意味しています。この理由が「ホストへのルートなし」や「接続タイムアウト」である場合、それはおそらく、何らかのネットワークの問題を示しています。

システムアクション: そのアドレスへの接続を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: システム *HHHHHHHH* が稼働していることを確認します。その後、システムへのネットワークルートが適切であり、正しく機能していることを確認します。ターゲットシステムが別のサブネット上にある場合は、デフォルトルーターが

正しく構成されている必要があります。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8014I

Cannot create AF_UNIX socket

説明: クライアントとして内部通信を行うためのソケットの作成が試みられました。

システムアクション: ソケットの作成を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: これはおそらく、サーバーリソースの問題です。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8015I

Failed connect to FFFFFFFF: RRRRRRRR

説明: 内部通信用のファイル *FFFFFFFF* への接続が試みられましたが、それがエラーコード *RRRRRRRR* で失敗しました。この理由が「接続拒否」である場合、それはおそらく、サーバーコンポーネントが実行されていないことを意味しています。

システムアクション: そのアドレスへの接続を試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: ファイル *FFFFFFFF* に接続したはずのサービスが稼働していることを確認します。同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8016I

Accept on port NNNN failed: RRRRRRRR

説明: ポート *NNNN* 上での接続の受け入れが試みられましたが、それがエラーコード *RRRRRRRR* で失敗しました。

システムアクション: 接続の受け入れを試みていた関数が失敗します。通常これにより、接続を試みていたサーバーコンポーネント内で追加の障害が発生します。

ユーザーの対応: 同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。

SLS8017I

Connection from SSSSSSSS

説明: サーバーが TCP/IP 接続要求をシステム *SSSSSSSS* から受信しました。

システムアクション: 接続の性質に応じて、サーバーコンポーネント内で処理が進められます。

ユーザーの対応: これは情報提供専用です。

SLS8018I

PPPPPPPP: PGMI server running

説明: プロセス *PPPPPPPP* で、コマンド実行を処理するためのサーバーコンポーネントのインスタンスが起動されました。

システムアクション: これからコマンドの処理が開始されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8019I

Process PPPP trace state is SSSS

説明: プロセス *PPPP* のトレース状態が *SSSS* に変更されました。

システムアクション: 「Off」の場合、トレースが無効化されました。「On」の場合、トレースの実行先となっているファイルが報告されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8020I

PPPPPPPP/NNNN: Normal shutdown complete

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* が、サービスレベルの変化の結果としてシャットダウンされました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SLS8021I

Dump written to FFFFFFFF

説明: ソフトウェアエラーが発生し、障害の発生したプロセスのダンプがファイル *FFFFFFF* に書き込まれました。

システムアクション: 可能であれば、回復ルーチンが呼び出されます。エラーの性質や理由に応じて、回復は成功することもしないこともあります。

ユーザーの対応: 同じ時間の前後に生成された追加メッセージも、どの関数に影響があったかを知る手掛かりとなります。StorageTek ソフトウェアサポートに問題を連絡してください。

SLS8022I

Response to message NNNN was RRRRRRRR

説明: ID NNNNN の未処理メッセージに対して REPLY コマンドが使用されました。応答テキストは RRRRRRRR でした。

システムアクション: メッセージへの応答を待っていた関数が呼び起こされ、関連テキストが渡されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8023I

Message NNNN has been deleted

説明: ID NNNNN の未処理メッセージがシステムによって削除されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SLS8024I

Manual dump of process PPPP initiated: TTTTTTTT

説明: プロセス PPPP の手動ダンプがコマンド経由で開始されました。ダンプの理由が TTTTTTTT として与えられました。

システムアクション: ダンプの取得が完了したら、処理が続行されるはずです。

ユーザーの対応: これが StorageTek ソフトウェアサポートの要求であった場合、DIAGS コマンドまたは GUI を使って生成されたダンプを関連するサポートバンドルに追加してください。

SLS8025I

*Security failure on CCCCCCC command matching rule on line LLLL
RRRRRRRR*

説明: ユーザーが CCCCCCC コマンドの実行を試みましたが、LLLL 行の PERMIT/ALLOW ルールに一致しました。RRRRRRRR は、障害のトリガーになっている可能性のある追加リソースです。

システムアクション: コマンドの実行が拒否されます。

ユーザーの対応: システム管理者に連絡し、ユーザーの ID に対応する PERMIT/ALLOW ルールを確認してもらってください。

SLS8026I

*Security warning on CCCCCCCC command matching rule on line LLLL
RRRRRRRR*

説明: ユーザーが CCCCCCCC コマンドの実行を試みましたが、LLLL 行の PERMIT/ALLOW ルールに一致しました。RRRRRRRR は、障害のトリガーになっている可能性のある追加リソースです。一致したルールは現在、警告のみを発行するように設定されています。

システムアクション: コマンドの実行は続行されます。

ユーザーの対応: システム管理者に連絡し、ユーザーの ID に対応する PERMIT/ALLOW ルールを確認してもらってください。

SLS8027I

Process PPPPPPPP/NNNN received termination request

説明: サービスレベルに変化があったため、ID NNNN のプロセス PPPPPPPP がシャットダウン要求を受信しました。

システムアクション: そのプロセスが実行している作業がすべて停止されたあと、シャットダウン要求が受け入れられます。通常はこの時点から、新しい要求は拒否されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8028I

*PPPPPPPP/NNNN: Communication failure writing TTTTTTTT to logger:
RRRRRRRR*

説明: ID NNNN のプロセス PPPPPPPP が TTTTTTTT タイプのメッセージをロガープロセスに送信しようとした際に、内部通信エラーが発生しました。この障害の理由は RRRRRRRR です。この問題のもっとも可能性の高い理由は、ロガープロセスでの障害発生です。

システムアクション: プロセス PPPPPPPP は接続をリセットし、ロガープロセスへの再接続を試みます。プロセスが利用可能でなければ、プロセスが利用可能になるまで

再試行が繰り返されます。この障害の結果、一部のメッセージが失われている可能性があります。

ユーザーの対応: このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

SLS8029I

Command CCCCCCCC: Internal Comms error: RRRRRRRR

説明: コマンド CCCCCCCC の実行時に、RRRRRRRR の理由で内部通信障害が発生しました。この障害の理由としては、さまざまな正常な理由が考えられます。典型的な理由としては、外部コマンドがキャンセルされたことや、コマンド実行中にサービスレベルが変化したことが挙げられます。

システムアクション: タイミングに応じて、コマンド CCCCCCCC の実行が続行されることもされないこともあります。

ユーザーの対応: このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。また、すべてのクライアントシステムがその時点で何をしていたかも確認してください。

SLS8030I

Connection NNNNNNNN authorisation failure: RRRRRRRR

説明: TCP/IP 接続上で名前 NNNNNNNN を使ってクライアントの承認を行っていたときに、RRRRRRRR の理由で障害が発生しました。クライアントのネットワークアドレスは、先の SLS8017 メッセージからわかります。

システムアクション: この接続要求はすぐに異常終了します。

ユーザーの対応: クライアントの構成や設定を確認します。また、すべてのクライアントシステムがその時点で何をしていたかも確認してください。

SLS8031I

PPPPPPPP/NNNN: Communication failure to CDS proxy: RRRRRRRR

説明: ID NNNN のプロセス PPPPPPPP と CDS プロキシプロセスとの内部通信で障害が発生しました。これが発生する可能性があるのは、ELS ホストへの接続が CDS によって管理される共有 CDS モードの場合だけです。

システムアクション: これは通常、後続のエラーを引き起こします。プロセスから CDS への通信が途切れたので、I/O が失われた可能性があるからです。

ユーザーの対応: 「dbserv」プロセスから ELS ホストへの接続を確認するとともに、このプロセスが実行されていることを確認してください。サービスレベルをいったん下げてから上げることで状態をリセットしなければならない可能性があります。

SLS8032I

Connected to CDS server SSSSSSSS

説明: ネットワークアドレスが ssssssss の ELS システムとの接続を、CDS プロキシプロセスが確立しました。

システムアクション: CDS へのアクセスが許可されるようになり、処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8033I

Communication failure to CDS server: RRRRRRRR

説明: CDS プロキシプロセスが ELS ホストと通信しているときに、RRRRRRRR の理由で通信障害が発生しました。

システムアクション: これは通常、後続のエラーを引き起こします。ほかのプロセスから CDS への通信が途切れたので、I/O が失われた可能性があるからです。

ユーザーの対応: 「dbserv」プロセスから ELS ホストへの接続を確認するとともに、このプロセスが実行されていることを確認してください。また、ELS ホストが稼働していることと、DBSERVER コマンドが正しく発行されたことも確認してください。サービスレベルをいったん下げてから上げることで状態をリセットしなければならない可能性があります。

SLS8034I

Trying to reconnect to CDS server SSSSSSSS

説明: CDS プロキシプロセスが、ELS ホスト ssssssss への再接続を試みています。

システムアクション: これは、接続が確立されるまで無期限に行われます。CDS へのアクセスを必要とする関数の中には、その時点までに障害が発生するものもあれば、ハングアップするものもあります。

ユーザーの対応: ELS ホストが稼働していることと、DBSERVER コマンドが正しく発行されたことを確認してください。

SLS8035I

Communication failure to CDS client: RRRRRRRR

説明: CDS プロキシプロセスが、そのクライアントプロセスのうちの1つが RRRRRRRR の理由で内部接続を破棄したことを検出しました。

システムアクション: 処理は続行され、そのクライアントの I/O 要求は破棄されます。

ユーザーの対応: ほかのプロセスで、問題の原因の手掛かりとなる可能性のあるエラーメッセージがないか確認してください。

SLS8036I

CDS version: VVVVVV Primary DSN: DDDDDDDD

説明: CDS サーバーとして機能する ELS システムに CDS プロキシが正常に接続しました。ELS のバージョンは VVVVVV、プライマリ CDS は DDDDDDDDDD です

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8037I

Cannot create shared memory segment

説明: プロセス間通信に使用される共有メモリーセグメントをプロセスが作成できませんでした。

システムアクション: プロセスはスタートアップ処理を中止し、ダンプを取ります。

ユーザーの対応: ほかのプロセスで、問題の原因の手掛かりとなる可能性のあるエラーメッセージがないか確認してください。LDOM のリブートを試みます。

SLS8038I

Cannot attach shared memory segment

説明: プロセス間通信に使用される共有メモリーセグメントにプロセスが接続できませんでした。おそらく互換性がありません。

システムアクション: プロセスはスタートアップ処理を中止し、ダンプを取ります。

ユーザーの対応: ほかのプロセスで、問題の原因の手掛かりとなる可能性のあるエラーメッセージがないか確認してください。LDOM のリブートを試みます。

SLS8039I

Local configuration change to host NNNN with name SSSSSSSS

説明: ローカル構成が更新され、システムに ID *NNNN* と名前 *SSSSSSSS* が割り当てられました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8040I*Configuration connection from NNNN as host SSSSSSSS*

説明: ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムからのクラスタ接続が受信されました。

システムアクション: 処理が続行されます。これには、両方のシステムの構成情報が正しいことを確認することが含まれます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8041I*Configuration connection to NNNN as host SSSSSSSS using AAAAAAAA*

説明: ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムへのクラスタ接続が、ネットワークアドレス *AAAAAAA* を使って試みられました。

システムアクション: 処理が続行されます。これには、両方のシステムの構成情報が正しいことを確認することが含まれます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8042I*Configuration sent to NNNN as host SSSSSSSS*

説明: このシステムは、自身の構成が、ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムの構成よりも新しいと推論しました。したがってこれは、両方のシステムの同期を取るために、変更済みの構成をこのターゲットにアップロードしています。

システムアクション: 処理が続行されます。構成更新の受信が完了すると、その更新の読み取りを求める通知がさまざまなプロセスに送信されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8043I

Configuration received from NNNN as host SSSSSSSS

説明: ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムは、自身の構成が、このシステムの構成よりも新しいと推論しました。したがってそのシステムは、両方のシステムの同期を取るために、変更済みの構成をこのシステムにダウンロードしています。

システムアクション: 処理が続行されます。構成更新の受信が完了すると、その更新の読み取りを求める通知がさまざまなプロセスに送信されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8044I

Configuration connection to # NNNN as host SSSSSSSS terminated: RRRRRRRR

説明: ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムへのクラスタ接続が、*RRRRRRRR* の理由で終了されました。

システムアクション: 処理が続行されます。終了の理由によっては、ほかのエラーメッセージが発行される可能性もあります。

ユーザーの対応: これが予期した状況でない場合、問題の原因の手掛かりとなる可能性のあるエラーメッセージがないか確認してください。

SLS8045I

PPPPPPPP/NNNN: SQL error: EEEEEEEE Return Code: RRRR

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* から CDS へのアクセス時に、*EEEEEEEE* の内部 SQL エラーが発生しました。処理のリターンコードは *RRRR* でした。

システムアクション: これは通常、後続のエラーを引き起こします。CDS へのアクセスが途切れたので、I/O が失われた可能性があるからです。エラーの性質によっては、処理が中止される前に再試行が何回か試みられる可能性があります。

ユーザーの対応: ほかのプロセスで、問題の原因の手掛かりとなる可能性のあるエラーメッセージがないか確認してください。サービスレベルをいったん下げてから上げることで状態をリセットしなければならない可能性があります。2つのシステムが存在するクラスタ環境では、プライマリシステムへの通信が失われた場合にエラーが発生する可能性があります。

SLS8046I

CDS unavailable: RRRRRRRR

説明: RRRRRRRR の理由で CDS が使用できないため、現在の処理を完了できませんでした。

システムアクション: CDS へのアクセスを試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: 「dbserv」プロセスから ELS ホストへの接続を確認するとともに、このプロセスが実行されていることを確認してください。サービスレベルをいったん下げてから上げることで状態をリセットしなければならない可能性があります。

SLS8047I

DS access error: RRRRRRRR

説明: CDS へのアクセス時に RRRRRRRR の理由でエラーが返されたため、現在の処理を完了できませんでした。

システムアクション: CDS へのアクセスを試みていた関数が失敗します。

ユーザーの対応: このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

SLS8048I

PPPPPPPP: Parameter change detected

説明: プロセス PPPPPPPP は、メインのパラメータファイルが変更されたことを示す通知を受け取りました。

システムアクション: このプロセスは、更新されたパラメータファイルを読み取って処理します。

ユーザーの対応: これは情報提供専用です。

SLS8049I

Restart of process PPPPPPPP detected

説明: プロセス PPPPPPPP で制御不可能な終了が発生したあと、プロセスが再起動されました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8050I

*Received=RRRR/rrrrrrrr, Sent=SSSS/ssssssss, Duplicate reads=DDDD,
Cache reads=CCCC*

説明: これは、ELS ホスト経由で CDS にアクセスした場合の統計のレポートであり、通常は「dbserv」プロセスのシャットダウン時に発行されます。

RRRR/rrrrrrrr 値は、ELS ホストから受信されたメッセージの数と転送バイト数です。

SSSS/ssssssss 値は、ELS ホストに送信されたメッセージの数と転送バイト数です。

DDDD 値は、ELS ホストへの読み取り要求のうち、同じ要求がすでに処理中であるために抑制されたものの数です。

CCCC 値は、ELS ホストへの読み取り要求のうち、クライアント側のキャッシュによって要求が満たされたものの数です。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8051I

Number of CDS I/O operations=IIII, Response time=TTTTTTT

説明: これは、ELS ホスト経由で CDS にアクセスした場合の統計のレポートであり、通常は各プロセスによって CDS への I/O の停止時に発行されます。*IIII* 値は、実行された CDS I/O 操作の数です。*TTTTTTT* 値は、CDS I/O 要求の平均応答時間です。これは、ときどき予想よりも小さい値に見える可能性があります、それは、一部の要求がキャッシュによって満たされたり、要求が既存の要求と重複していたりするためです。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8052I

Configuration connection from NNNN as host SSSSSSSS rejected

説明: ID *NNNN*、名前 *SSSSSSSS* のシステムが、このシステムに接続してクラスタに参加しようとしていました。この試みは拒否されましたが、それは、そのシステムがクラスタの一部と判断されなかったからです。

システムアクション: このシステムでは処理は続行されます。接続を試みたシステムでは、処理は障害状態に落ち込み、開始を拒否するはずですが、これは、CDS でのスプリットブレインシナリオを避けるためです。

ユーザーの対応: 2つのシステムの履歴を調査してください。このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

この状況からの回復を試みる場合は、完全な状態と履歴を入手することが重要です。そうしないと、容易に間違った判断を下し、CDS の内容を破壊してしまう恐れがあります。

SLS8053I

Allowing MySQL to start: RRRRRRRR

説明: クラスタ制御プロセスが、SQL ベースの CDS へのアクセスを許可してもかまわないと判断しました。この決定の理由は *RRRRRRRR* として与えられました。

システムアクション: 処理が続行され、内部 SQL データベースが起動されます。

ユーザーの対応: なし。

SLS8054I

Configuration shutdown - Possible split-brain condition

説明: クラスタ制御プロセスは、開始を続行するとスプリットブレイン状態に陥る可能性があることを検出しました。

システムアクション: クラスタリングプロセスがシャットダウンされ、それにより、ほかの依存するプロセスもすべてシャットダウンされます。内部 SQL CDS へのアクセスは無効化されます。

ユーザーの対応: システムの履歴を調査してください。このシステム上とほかのすべてのシステム上で、このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

この状況からの回復を試みる場合は、完全な状態と履歴を入手することが重要です。そうしないと、容易に間違った判断を下し、CDS の内容を破壊してしまう恐れがあります。

SLS8055I

Cluster connection to NNNN down. In single server mode

説明: クラスタ制御プロセスから ID *NNNN* のホストへの接続が確立できないか、その接続で障害が発生しました。

システムアクション: 処理が続行されます。これは、単一のコピーがアクティブになった状態で CDS が実行されているにすぎないこと、およびこのあと 1 つでも障害が発生すれば致命的な状況に陥る可能性があることを意味しています。

この接続喪失の理由によっては、一時的なエラーが報告される可能性があります。

ユーザーの対応: システムの履歴を調査してください。このシステム上とほかのすべてのシステム上で、このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

SLS8056I

Database state compromised - Check service levels

説明: 内部 SQL データベースの状態のチェックから、必要な部分のいくつかが機能していないことが判明しました。

システムアクション: 処理が続行されます。これは、単一のコピーがアクティブになった状態で CDS が実行されているにすぎないこと、およびこのあと 1 つでも障害が発生すれば致命的な状況に陥る可能性があることを意味しています。

ユーザーの対応: システムの履歴を調査してください。このシステム上とほかのすべてのシステム上で、このエラーメッセージのトリガーにもなっている可能性がある追加メッセージがないか確認してください。

クラスタの各メンバーのサービスレベルが正しいことを確認し、必要であれば調整してください。

SLS8057I

Process PPPPPPPP/NNNN running

説明: ID *NNNN* のプロセス *PPPPPPPP* が実行を開始しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

第3章 SMC メッセージ

この章では、SMC によって発行されるメッセージについて説明します。これらのメッセージは、「SMC」接頭辞で識別されます。

注記:

SMC5000 の範囲にあるメッセージは、SMC ユーティリティーによって発行されます。

メッセージの説明

SMC0000

{{CCCCCCCC}} command string

レベル: 0

説明: SMC がオペレータコンソールから入力コマンドを受信しました。コンソール名またはユーザー ID が示され (使用可能な場合)、そのあとにコマンド文字列が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0001

SMC subsystem initializing

レベル: 0

説明: SMC の MVS 開始コマンドが入力され、SMC サブシステムの初期化プロセスが開始されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0002

CCCCCCCCCCCCCCCC failed; return code=XXXX1, reason code=XXXX2

レベル: 0

説明: MVS 機能またはマクロ CCCCCCCCCCCCCCCC が完了し、指定された 0 以外のリターンコード XXXX1 と理由コード XXXX2 が返されました。

システムアクション: エラーのタイプによっては、開始または終了の続行が試みられることがあります。MVS 機能が「Requested SDUMP」と示されている場合は、TRACE SNAP プロセス中にエラーが発生しており、要求された SDUMP を生成することなく処理を続行します。

ユーザーの対応: SYSLOG またはジョブログで IBM 関連のメッセージを探し、該当する IBM ドキュメントの説明を参照してください。

SMC0003

SMC subsystem SSSS terminating

レベル: 0

説明: SMC の MVS 停止コマンドが入力され、SMC サブシステムの終了プロセスが開始されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0004

MVS release is down-level

レベル: 0

説明: このバージョンの SMC に必要なサービスをサポートしていない MVS システム上で SMC を初期化しようとした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: MVS を必要なリリースレベルにアップグレードします。

SMC0005

Invalid command CCCCCCCC [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 未定義のコマンド CCCCCCCC が SMC によって検出されました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0006

SMC subsystem not dynamic

レベル: 0

説明: SMC が、IEFSSNxx parmlib メンバーの定位置形式を使用して、動的でないサブシステムとして定義されていました。SMC は動的サブシステムとして実行する必要があります。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: IEFSSNxx parmlib メンバー内のサブシステム定義のキーワード形式を使用して SMC サブシステムを定義するか、または IEFSSNxx parmlib メンバーから SMC サブシステムを削除します。

SMC0007

SMCCVT incompatible with previous version; defaulting to COLD start

レベル: 4

説明: 初期化中に、SMC サブシステムは、同じ名前の以前の SMC サブシステムが互換性のないバージョンであることを検出しました。COLD 開始パラメータが指定されていませんでした。

システムアクション: 初期化を続行しますが、COLD 開始モードで行われます (SMC サブシステムの CVT が再構築されます)。

ユーザーの対応: なし

SMC0008

Not running from an authorized linklib; SMC subsystem terminating

レベル: 0

説明: SMC サブシステム初期化モジュール SMCBINT が、承認されていないライブラリから実行されました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: SMC リンクライブラリが APF で承認されていることを確認します。

SMC0009

Job JJJJJJJJ JOBnnnn active at termination

レベル: 4

説明: SMC サブシステムは MVS 停止 (P) コマンドを受信しましたが、テープ割り当てまたはメッセージ処理でアクティブなジョブ JJJJJJJJ が存在します。SMC0012 メッセージが以前に発行されましたが、1 分間待ってもジョブ割り当てまたはメッセージ処理が完了していません。

システムアクション: 終了処理が続行します。このジョブに対する割り当てへの影響はなく、マウントまたはマウント解除も自動化されません。

ユーザーの対応: なし

SMC0010

Unable to acquire storage for CCCCCC; return code=XXXX

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステムは、指定された動的制御ブロックまたはモジュール CCCCCC のための十分なストレージを取得できませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: 使用できる十分な CSA ストレージが存在することを確認します。該当する IBM ドキュメントのリターンコード XXXX の説明を参照してください。

SMC0011

Load failed for module MMMMMMM

レベル: 0

説明: SMC サブシステムは、必要なモジュール MMMMMMM をロードできませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: SMC 起動プロシージャが、その STEPLIB 連結内のすべての SMC 分散ロードライブラリにアクセスできることを確認します。

SMC0012

Termination waiting for job JJJJJJJJ JOBnnnnn [in allocation|in message handling]

レベル: 0

説明: SMC サブシステムは MVS 停止コマンドを受信しましたが、テープ割り当てまたはメッセージ処理でアクティブなジョブ JJJJJJJJ が存在します。

システムアクション: SMC は 30 秒間、またはすべてのアクティブなプロセスが完了するまで待機します。

ユーザーの対応: SMC が終了したときに、テープ割り当てまたはメッセージ処理を実行しているジョブが存在しないことを確認します。すべての MVS 割り当て回復メッセージに応答します。

SMC0013

TRACE settings:

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: TRACE コマンドが LIST キーワードとともに指定されました。SMC0013 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0014

Unmatched [quote|or invalid parenthesis] detected; command ignored [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、引用符で囲まれた終了していない文字列、または無効な括弧や不揃いの括弧を含むコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0015

Invalid keyword KKKKKKKK for the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、無効なキーワード KKKKKKKK を指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が継続されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0016

Invalid value VVVVVVVV for keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、キーワード KKKKKKKK を無効な値 VVVVVVVV とともに指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が継続されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0017

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command requires a value [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、キーワード KKKKKKKK を (ほとんどのキーワードに必要な) 付随する値なしで指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が継続されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0018

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is not allowed for EEEEEEEE [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、現在のオペレーティング環境 EEEEEEEE では有効でないキーワード KKKKKKKK を指定するコマンドを検出しました。たとえば、ユーザーが JES2 と JES3 のどちらを実行しているかに応じて、一部のキーワードまたは keyword=value のペアが無効になることがあります。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 指定されたキーワードが、使用している環境で有効であることを確認します。

SMC0019

Duplicate keyword KKKKKKKK specified for the CCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、同じキーワード KKKKKKKK を複数回指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0020

Keyword KKKKKKK1 of the CCCCCC command is mutually exclusive with keyword KKKKKKK2 [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、複数のキーワードを指定していて、そのうちの 2 つ (KKKKKKK1 と KKKKKKK2) が相互に排他的であるコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0021

{COLD|WARM} start failure

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステムがエラーを検出しました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: SYSLOG またはジョブログで SMC 関連のメッセージを探します。関連するメッセージには、SMC0002、SMC0004、SMC0006、SMC0008、SMC0010、または SMC0011 があります (ただし、これらに限定されるわけではありません)。

SMC0022

Invalid format or missing keywords for the CCCCCCCC command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、コマンド行に含まれるキーワードが多すぎるか、または少なすぎるコマンド CCCCCCCC を検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0023

CCCCCCCC command successfully processed [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドが SMC によって正常に検証および処理されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0024

SSSS subsystem initialization complete; RC=NN

レベル: 0

説明: SMC 初期化プロセスが NN という最大のリターンコードで完了しました。このリターンコードは、SMCPARMS または SMCCMDS ファイルの処理からのものか、

あるいは自動再同期 (定義された TapePlex との通信の試み) からのものである可能性があります。

- SMCBINT MAXRC(NN) プログラムパラメータが指定され、その値が指定された MAXRC を超えており、かつ入力コマンドによってリターンコードが設定された場合、サブシステムは終了します。
- SMCBINT PLEXRC(MM) プログラムパラメータが指定され、その値が指定された PLEXRC を超えており、かつ SMC が定義された TapePlex と通信しようとしてリターンコードが設定された場合、サブシステムは終了します。
- MAXRC または PLEXRC パラメータが指定されなかった場合、あるいはコマンドまたは TapePlex 自動再同期を処理するためのリターンコードが指定された値を超えていない場合、SMC は通常の動作を開始する準備ができています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0025

No {CCCCCCCC|control block} entries to list [(no JES3 tape setup)]

レベル: 0

説明: 次のいずれかが発生しました。

- コマンド CCCCCCCC が LIST キーワードとともに指定されました。ただし、指定されたコマンドの SMC キュー内にエントリが見つかりませんでした。
- LIST コマンドが制御ブロックキーワードとともに指定されました。ただし、指定されたタイプの制御ブロックが見つかりませんでした。
- SMC JES3 固有の制御ブロック名に対して LIST コマンドが指定されました。ただし、SMC は JES3 テープが設定されたシステム上で動作していません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0027

Keyword KKKKKKK1 of the CCCCCCCC command requires keyword KKKKKKK2 [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SMC が、キーワード *KKKKKKK1* を指定するコマンドを検出しましたが、相互に必要なキーワード *KKKKKKK2* が指定されていませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0028

STOP command received

レベル: 0

説明: MVS 停止 ('P') コマンドが SMC によって受信され、SMC サブシステムの終了プロセスの開始が設定されました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了処理を開始します。

ユーザーの対応: なし

SMC0029

CCCCCCC command processing error; [matching entry not found|command line truncated; will be ignored|parameter truncated; command ignored] [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: CCCCCCC コマンドの処理中にエラーが見つかりました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: LIST キーワードを使用してエントリの現在の SMC キューを表示したあと、コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0030

TRACE JOBNAME=JJJJJJJJ [STEPNAME=SSSSSSSS][PROCSTEP=PPPPPPPP] [SNAPDUMP DDDDDDDD] CCCCCCCC

レベル: 0

説明: TRACE コマンドが LIST キーワードとともに指定されました。SMC0030 メッセージには、ジョブ、ステップ、および PROC ステップと、トレースのために指定されている関連付けられたプロセスが一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0031

No SMC start mode specified; defaulting to WARM start

レベル: 4

説明: SMC の初期化中に、サブシステムは、初期化プログラムの実行パラメータで WARM 開始も COLD 開始も指定されていないことを検出しました。

システムアクション: WARM 開始モードで初期化を続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0032

Number of SMC startup parameters specified exceeds maximum of n

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは、含まれているパラメータが多すぎる実行パラメータ文字列を検出しました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: サブシステム初期化起動プロシーチャーを修正して、正しい実行パラメータ文字列を指定します。

SMC0033

SMC startup parameter PPPPPPP may not have a value

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは有効な実行パラメータを検出しましたが、それは値が許可されない場所で keyword=value のペアとして指定されていました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: サブシステム初期化起動プロシーチャーを修正して、正しい実行パラメータ文字列を指定します。

SMC0034

SMC startup parameter P P P P P P P P must have a value

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは有効な実行パラメータを検出しましたが、それは値が必要であるにもかかわらず keyword=value のペアとして指定されていませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: サブシステム初期化起動プロシーチャーを修正して、正しい実行パラメータ文字列を指定します。

SMC0035

Error processing SMC startup parameter P P P P P P P P; C C C C C C C C C C C C

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは実行パラメータ文字列内にエラーを検出しました。文字列 C C C C C C C C C C C C は、検出されたエラーのタイプを示します。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: サブシステム初期化起動プロシーチャーを修正して、正しい実行パラメータ文字列を指定します。

SMC0036

SMC startup parameter P P P P P P P P successfully processed

レベル: 4

説明: SMC の初期化中に、実行パラメータ P P P P P P P P が正常に検証および処理されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0037

Invalid SMC startup parameters; subsystem terminating

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは、実行パラメータ文字列の処理中にエラーを検出しました。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: SYSLOG またはジョブログで SMC 関連のメッセージを探します。関連するメッセージには、SMC0032、SMC0033、SMC0034、または SMC0035 があります (ただし、これらに限定されるわけではありません)。

SMC0038

Another SMC system SSSS is already active

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは、システム上ですでにアクティブになっている別の SMC サブシステム SSSS を検出しました。

システムアクション: 初期中の SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: システム上で同時にアクティブにできる SMC は 1 つだけです。

- SMC SSSS がアクティブであるために現在の SMC を初期化できない場合は、SMC SSSS を終了します。
- SMC SSSS が異常終了していて、実際にはアクティブでない場合は、RESET 実行パラメータを使用して現在の SMC サブシステムを再起動します。

SMC0039

Identically named subsystem SSSS is already active

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは、システム上ですでにアクティブになっている同じ名前を持つサブシステム SSSS を検出しました。

システムアクション: 初期中の SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: サブシステム SMC SSSS がアクティブであるかどうかを判定します。その場合は、SMC SSSS を終了します。SMC SSSS が異常終了していて、実際にはアクティブでない場合は、RESET 実行パラメータを使用して現在の SMC サブシステムを再起動します。

SMC0040

SMC subsystem SSSS is already active; RESET specified; startup continuing

レベル: 4

説明: SMC サブシステム SSSS の初期化中に、初期化プログラムは以前の SMC サブシステムが異常終了したことを検出しましたが、ユーザーはこの状態を無視するために RESET 実行パラメータを指定しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0041

{Command|Comment} beginning at line nnnn of {SMCCMDS|SMCPARMS} is unterminated

レベル: 4

説明: 入力コマンドファイルの行 *nnnn* から始まるコマンドまたはコメントが継続文字 (+) で終了しましたが、続きが見つかりませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。終了していない文字列を含むコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認します。

SMC0042

Job JJJJJJJJ step SSSSSSSS not allocatable before SMC modification

レベル: 4

説明: ジョブ *JJJJJJJJ* のステップ *SSSSSSSS* の実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは、割り当て操作が実行されるまでそのジョブステップを割り当てできないことを検出しました。

システムアクション: なし。このジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの対応: JCL を修正します。

SMC0043

Job JJJJJJJJ step SSSSSSSS not allocatable at MINLVL=nn; actual failing level=nn; failing DD DDDDDDDD

レベル: 4

説明: テープ割り当てを含むジョブの実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは、そのジョブを指定された最小除外レベル (MINLVL) で割り当てできないことを検出しました。

システムアクション: このジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの対応: JCL を修正するか、または指定されたジョブの MINLVL を失敗したレベルより小さい値に変更します。

SMC0044

SMC subsystem termination in progress; no allocation influence for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS の実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは SMC サブシステムが終了中であることを検出しました。

システムアクション: このジョブに対する割り当て操作は実行されません。

ユーザーの対応: なし

SMC0045

Conflicting exclusion criteria for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS DD DDDDDDDD

レベル: 8

説明: メッセージ SMC0045 と SMC0046 は、常に一緒に生成されます。詳細は、メッセージ SMC0046 の説明を参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0046

CCCCCCCCCCCCCCCC would have excluded all devices; not honored

レベル: 8

説明: SMC 割り当てコンポーネントがジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS DD DDDDDDDD に除外条件 CCCCCCCCCCCCCC を適用しようとしたときに、現在の除外レベル EDL にデバイスが残っていませんでした。メッセージ SMC0045 と SMC0046 は、常に一緒に生成されます。

除外条件については、SMC 出版物にあるドライブ除外レベルの表を参照してください。

システムアクション: なし。すべてのデバイスを除外する条件は無視されます。

ユーザーの対応: メッセージを調べて、どの除外条件を適用できなかったのかを判定します。可能な場合は、割り当てポリシーの指定を変更して (たとえば、メディアや記録技法と互換性のないサブプール名またはエソテリック名を指定している) 競合するポリシーを除外します。

SMC0047

Esoteric EEEEEEEE contains no known devices; ignored for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS DD DDDDDDDD

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS の実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは、現在の EDL 内にどのテープデバイスも含んでいなかった (POLicy、TAPEREQ、またはユーザー出口からの) ユーザーポリシーエソテリック EEEEEEEE を検出しました。

システムアクション: 指定されたエソテリックは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0048

Support ending for CCCCCCCC1, change to CCCCCCCC2

レベル: 0

説明: CCCCCCCC1 コマンドまたはキーワードが入力されました。ただし、このコマンドまたはキーワードは次のリリースではサポートされず、CCCCCCCC2 コマンドまたはキーワードが同等の機能を提供します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: CCCCCCCC1 コマンドまたはキーワードを CCCCCCCC2 に変更します。

SMC0049

No eligible TAPEPLEX for job JJJJJJJJ

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ の実行中に、SMC 割り当てコンポーネントで正しいリリースレベルの TapePlex が見つからなかったか、または有効な TAPEplex コマンドが処理されませんでした。

システムアクション: ALLOCDEF FAILnoinfo が指定されている場合、SMC は、すべてのデバイスを不適格としてマークします。それ以外の場合、このジョブに対する割り当て操作は実行されません。

ユーザーの対応:

- MVS SSCVT チェーンを使用して、または TAPEplex コマンドの LOCSUBsys パラメータで TapePlex が暗黙的に指定されている場合は、ホスト上の HSC または MVS/CSC がアクティブであり、かつ正しいレベルにあることを確認します。
- TAPEplex コマンドを使用して別のホスト上の TapePlex が定義されている場合は、SERVer コマンドによって定義されたリモートホスト上の HSC がアクティブであり、かつ正しいレベルにあることを確認します。また、リモートホスト上で HTTP サーバーがアクティブであることも確認します。

SMC0051

*SMC subsystem interface error for job JJJJJJJJ; reason=SSSSSSSS
function=CCCCCCCC*

レベル: 4

説明: MVS イニシエータアドレス空間内の SMC 処理が割り当てまたはマウント要求を処理するために SMC サブシステムと通信しようとしたが、エラーを検出しました。失敗の理由が SSSSSSSS であるのに対して、試行された機能は CCCCCCCC でした。

システムアクション: SMC は、割り当てまたはマウント要求の処理を終了します。

ユーザーの対応: 関連する SMC サブシステムまたは MVS エラーメッセージを探すことによって、エラーの原因を調査します。

SMC0052

User exit nn {inactive|abended and disabled}

レベル: 8

説明: ジョブの実行中に、SMC 割り当てまたはメッセージ処理コンポーネントがユーザー出口 *nn* を呼び出しました。ただし、このユーザー出口は現在非アクティブであるか、または異常終了して現在無効になっています。

システムアクション: ユーザー出口なしで処理を続行します。

ユーザーの対応: ユーザー出口を修正します。

SMC0053

***** SMC U1099 ABEND AT CCCCCCn *****

レベル: 0

説明: SMC タスクが、モジュール CCCCCCCC 内で異常終了シーケンス番号 *n* で異常終了しました。

システムアクション: 異常終了がテープ割り当てジョブのアドレス空間内で発生した場合、SMC サブシステムはそのジョブの割り当てを実行しません。異常終了が SMC によって開始されたタスクのアドレス空間内で発生した場合は、SMC サブシステムの再起動が必要になることがあります。

ユーザーの対応: SYSLOG またはジョブログで SMC または IBM 関連のメッセージを探します。関連するログ、ダンプデータセット、および JCL を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0054

*MSGJOB LVL=nn for {DEFAULT SETTING|JOBNAME=JJJJJJJJ}
[STEPNAME=SSSSSSSS][PROCSTEP=PPPPPPPP]*

レベル: 0

説明: MSGJOB コマンドが LIST キーワードとともに指定されました。MSGJOB キュー内にある一意のジョブ、ジョブステップ、PROC ステップの各エントリが個別の SMC0054 メッセージで表示されたあと、最後の SMC0054 メッセージに SMC のデフォルトが表示されます。*nn* はメッセージレベルを示し、その示されたレベル以下のすべてのメッセージがそのジョブの JES2 ではジョブログに、JES3 ではシステムログに生成されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0055

*ALLOCJOB {BYPASSed|MINLVL=nn}[SEPLVL=MIN|MAX|nn] for
{JOBNAME=JJJJJJJJ}[STEPNAME=SSSSSSSS][PROCSTEP=PPPPPPPP][SNAPDUMP
DDDDDD] PPPPPPPP*

レベル: 0

説明: ALLOCJOB コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。ALLOCJOB キュー内にある一意のジョブ、ジョブステップ、PROC ステップの各エントリが個別の SMC0055 メッセージで表示されます。BYPASSED メッセージは、指定されたジョブ、ジョブステップ、または PROC ステップのどのテープ割り当ても SMC による影響を受けないことを示します。MINLVL=nn は、アフィニティーと GDG チェーンが分離される望ましい最小除外レベルを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0056

nn Bytes:

```
AAAAAAA +0000| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
AAAAAAA +0010| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
AAAAAAA +0000| XX.XX XX.XX XX.XX XX.XX | CC..CC |
```

レベル: 0

説明: SMC LIst コマンドが発行されました。SMC0056 の複数行メッセージには、nn バイトのストレージが変換済みの 16 進数 (XX.XX) と文字 (CC.CC) の形式で一覧表示されます。各行には、16 進数アドレス AAAAAAAA で始まる次の 16 (X'10') バイトのストレージが一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0057

No {SMCPARMS|SMCCMDS} DDNAME statement found

レベル: 8

説明: SMC の初期化中に、指定された SMCPARMS DD または SMCCMDS DD が SMC 起動プロシージャー内に存在しませんでした。

システムアクション: 初期化を続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0058

Error opening {DDNAME {SMCPARMS|SMCCMDS}|DSNAME DDDDDDDD}

レベル: 0

説明: SMC が READ コマンドを検出しましたが、指定された DDNAME または DSNAME を開くことができませんでした。

システムアクション: READ コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: SYSLOG またはジョブログで IBM 関連のメッセージを探し、該当する IBM ドキュメントで詳細を参照してください。

SMC0059

Identically named subsystem SSSS is initializing

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC サブシステム初期化プログラムは、すでに初期化中である (ただし、まだ完全にはアクティブになっていない) 同じ名前を持つ SMC サブシステム SSSS を検出しました。

システムアクション: 現在初期中の SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: システム上で同時にアクティブにできる SMC は 1 つだけです。以前の SMC サブシステム SSSS が異常終了していて、実際にはアクティブでない場合は、RESET 実行パラメータを使用して SMC SSSS を再起動します。

SMC0060

I/O error reading {DDNAME {SMCPARMS|SMCCMDS}|DSNAME DDDDDDDD}

レベル: 0

説明: SMC が、SMC 起動プロシージャーで指定された SMCPARMS または SMCCMDS データセット、あるいは READ コマンドで指定されたデータセットを読み取ろうとしているときに I/O エラーを受信しました。

システムアクション: 示されたデータセットは処理されません。

ユーザーの対応: エラーの原因を特定します。入力データセットが PDS である場合は、メンバー名が指定されたことを確認します。

SMC0061

Command beginning at line nnnn of {SMCCMDS|SMCPARMS} is too long; input ignored

レベル: 4

説明: SMC が、指定されたファイルの行 *nnnn* から始まる複数行コマンドを検出しました。このコマンドは、長さが 1024 文字を超えています。

システムアクション: 処理が続行されます。複数行の全体が無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセットの構文が正しいことを確認します。

SMC0062

Command CCCCCC [with parameter PPPPPPP] is not allowed [{from console|at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS}]

レベル: 0

説明: SMC が、示されたコマンド起点ではサポートされていないコマンドまたはコマンドパラメータを検出しました。たとえば、READ コマンドは、別の READ コマンドの処理中に検出された場合はサポートされません。

システムアクション: そのコマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 有効なコマンド起点からコマンドを発行します。

SMC0063

MSGDEF settings:

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: MSGDEF コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0063 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0066

ALLOCDEF settings:

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: ALLOCDEF コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0066 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0067

SMSDEF settings:

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: SMSDEF コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0067 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0068

*Cannot substitute for esoteric EEEEEEEE at MINLVL=n job JJJJJJJJ step
SSSSSSSS DD DDDDDDDD*

レベル: 8

説明: JES3 上でのジョブ JJJJJJJJ のステップ SSSSSSSS の実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは、そのジョブステップを指定された最小レベル (MINLVL) で割り当てできなかったことを確認しました。

たとえば、デフォルトの最小除外レベル 2 で実行している場合、このメッセージは、SMC が特定のボリュームのメディアタイプと互換性のあるドライブのみを含むエソテリックを選択できないことを示します。

システムアクション: なし。エソテリック置換は実行されません。このジョブは、あとで、互換性のないドライブ上でボリュームが要求されたために失敗する可能性があります。

ユーザーの対応: エソテリック定義の要件については、SMC のドキュメントを参照してください。

SMC0069

TREQDEF command already in progress

レベル: 0

説明: SMC TREQDEF が入力されましたが、TREQDEF コマンドはすでに SMC によって処理されています。

システムアクション: 2 番目の TREQDEF コマンドは抑制されます。

ユーザーの対応: 最初の TREQDEF コマンドの実行が完了するのを待ってから、新しい TREQDEF コマンドを入力します。

SMC0070

SMC maintenance has been applied; reassemble SMCERSLV

レベル: 0

説明: SMC 保守が適用され、モジュール SMCERSLV に影響を与えましたが、SMCERSLV が再アセンブルされませんでした。

システムアクション: SMC は初期化されません。

ユーザーの対応: 正しいレベルの SMC マクロを使用して SMCERSLV を再アセンブルし、SMC を再起動します。

SMC0071

SMCERSLV JES3 release level LLLLLL1 does not match JES3 release level LLLLLL2

レベル: 0

説明: モジュール SMCERSLV が、アクティブな JES3 リリースレベル LLLLLL2 とは異なる JES3 リリースレベル LLLLLL1 を使用してアセンブルされました。

システムアクション: SMC は初期化されません。

ユーザーの対応: 正しいレベルの JES3 マクロを使用して SMCERSLV を再アセンブルし、SMC を再起動します。

SMC0073

JES3 C/I waiting for SMC to initialize; Start SMC or reply "GO" to continue

レベル: 0

説明: JES3 が、テープマウントを必要とするジョブの JCL のスキャンを開始しましたが、SMC は初期化されていないため、割り当てに影響しません。

システムアクション: JES3 C/I プロセスは、SMC が起動されるか、またはオペレータが「GO」と応答するまで待ちます。

ユーザーの対応: SMC の割り当て操作を行わずに続行するには、SMC を起動するか、または「GO」と応答します。

SMC0074

*Unsupported virtual label type for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS DD
DDDDDDDD*

レベル: 8

説明: サポートされていないラベルタイプ (NL) のため、DD のすべての仮想デバイスが以前に除外されています。仮想ドライブを要求している以降の除外条件を適用できませんでした。メッセージ SMC0046 には、適用されなかった条件が示されています。

システムアクション: DD は非仮想ドライブに割り当てられます。非ライブラリドライブはライブラリドライブより優先されます。

ユーザーの対応: サポートされているラベルタイプを要求するように JCL を変更するか、または割り当てを別のデバイスタイプに宛てるようにポリシーを変更します。

SMC0075

*SEPLVL cannot be less than MINLVL on the CCCCCC command [at line nnnn
of SMCCMDS|SMCPARMS]*

レベル: 0

説明: SMC が、適用可能な MINLVL より低い SEPLVL か、または適用可能な SEPLVL より高い MINLVL を指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内のコマンド MINLVL と SEPLVL の値が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0076

Xtype CCCCCCCC (XX) has inconsistent {device type|location type|VTSS|ACS} between device XXXX1 and device XXXX2

レベル: 4

説明: JES3 環境で、SMC が、異種デバイスを含む XTYPE を検出しました。ここで、CCCCCCCC は JES3 SETNAME 名を表します。この XTYPE を使用すると、メディア、記録技法、または場所に基づいて、正しくないデバイスに割り当てられることがあります。

システムアクション: XTYPE 内で見つかった最初のデバイスのデバイス特性に基づいて割り当てが実行されます。

ユーザーの対応: JES3 初期化パラメータの要件については、SMC のドキュメントを参照してください。

SMC0077

Subtask CCCCCCCC terminating at retry count N; please stop and restart SMC subsystem

レベル: 0

説明: 指定された SMC サブシステムタスクが *N* 回異常終了し、再起動できませんでした。サブシステムは現在、必要なサービスなしで動作しています。

システムアクション: 処理が続行されます。ただし、特定の割り当てまたはコマンド機能に影響を与える可能性があります。

ユーザーの対応: SMC サブシステムを停止して再起動します。指定されたサブタスクが SMCOCMD である場合は、MVS CANCEL コマンドを使用してサブシステムを終了します。

SMC0078

No command prefix defined

レベル: 0

説明: SMCPARMS データセット内にコマンド接頭辞を指定する CMDDEF コマンドがありませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: コマンド接頭辞が必要な場合は、SMCPARMS データセットに CMDDEF コマンドを追加します。このコマンドは、次回 SMC が初期化されたときに処理されます。

SMC0079

The command prefix is P P P P P P P P

レベル: 0

説明: サブシステムのコマンド接頭辞が P P P P P P P P に設定されています。

システムアクション: SMC は現在、先頭に P P P P P P P P が付いたコマンドを受け入れません。

ユーザーの対応: なし

SMC0080

Command prefix value V V V V V V V V contains invalid character C at line nnnn of SMCPARMS

レベル: 0

説明: CMDDEF コマンドのコマンド接頭辞値 V V V V V V V V に無効な文字 C が含まれていました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: CMDDEF コマンドの説明に示されているコマンド接頭辞の有効な文字のリストを確認します。SMCPARMS データセット内の CMDDEF コマンドを新しい接頭辞値に更新します。このコマンドは、次回 SMC が初期化されたときに処理されます。

SMC0081

Command prefix not added; [prefix is not unique|CPF system error]

レベル: 0

説明: 接頭辞が一意でなかったか、またはシステムエラーが発生したため、コマンド接頭辞が CPF 機能によって許可されませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応:

- 接頭辞が一意でない場合は、MVS DISPLAY OPDATA コマンドを発行し、この接頭辞をほかのサブシステムの接頭辞と比較します。コマンド接頭辞に、コマンド文字列、コマンドの略語、またはコマンドを呼び出すどの文字列も含めることはできません。コマンド接頭辞に、同じ文字で始まる既存の接頭辞のサブセットまたはスーパーセットである文字列を含めることはできません。
- CPF エラーが発生した場合は、SYSLOG で IBM 関連のメッセージを探し、該当する IBM ドキュメントの説明を参照してください。

SMC0082

Command prefix already set

レベル: 0

説明: コマンド接頭辞は、SMC の初期化中に 1 回だけ指定でき、実行中は変更できません。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンド接頭辞を変更するには、SMCPARMS データセット内の CMDDEF 文を更新し、SMC をリサイクルします。

SMC0083

Unable to locate {JES3 SETNAME table|JES3 SETUNIT table}

レベル: 0

説明: JES3 システム上での SMC サブシステムの初期化中に、示された JES3 制御構造が見つかりませんでした。SMC を初期化できませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: 現在のレベルの JES3 マクロを使用して SMCERSLV を再アセンブリします。詳細は、「ELS のインストール」を参照してください。

SMC0084

MMM DD YYYY HH:MM:SS SSSS active on hostid HHHH

レベル: 0

説明: 日付 (MMM DD YYYY)、時間 (HH:MM:SS)、サブシステム名 (SSSS)、および MVS hostid (HHHH) が 1 日に 1 回 (真夜中) と SMC の初期化中に表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0085

SMCBPREI: IEFSSI failed RC=XX RS=XXXX

レベル: 0

説明: SMC サブシステム初期化前ルーチン (SMCBPREI) がエラーを検出しました。

システムアクション:

- リターンコード (RC) が 4 以下の場合、SMC サブシステムが定義されていました。
- リターンコード (RC) が 8 以上の場合、SMC サブシステムが定義されていませんでした。

ユーザーの対応: リターンコード (RC) と理由 (RS) を調査し、必要なアクションを実行します。リターンコードと理由は、IBM のマニュアルである MVS プログラミング: 承認されたアセンブラサービスのリファレンスに記載されています。

SMC0086

SMC SUBSYSTEM TASKS:

```

A(PCE)  A(TCB)  USE   CT-S PROGRAM  JOBNAME  JOBID LAST
-----
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 BB-W SMCBINT  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 BM-W SMCBMID  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 QM-W SMCQGR   JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 J
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 O -W SMCOCMD  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 BL-W SMCBLOG  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
XXXXXXXX XXXXXXXX 00001 QW-X SMCQWRK  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
....
XXXXXXXX XXXXXXXX nnnnn QW-X SMCQWRK  JJJJJJJJ Jnnnn TTTTTT
    
```

SMCQWRK executing tasks=*nn* waiting tasks=*nn* requests=*nn*

レベル: 0

説明: SMC LIST TASK コマンドが発行されました。SMC0086 の複数行メッセージには、各 SMC サブシステムタスクのステータスが一覧表示されます。最終行には、現在実行中および作業を待機中の SMCQWRK タスクの数のほか、処理された要求の総数が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0087

*EXTVOLESOT esoteric EEEEEEEE not found [at line nnnn of SMCCMDS]
SMCPARMS]*

レベル: 0

説明: ALLOCDEF コマンドが、EEEEEEEE を指定する EXTVOLESOT キーワードとともに発行されました。ただし、指定されたエソテリック名が有効な MVS エソテリックではありません。

システムアクション: 指定された ALLOCDEF コマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 有効な MVS エソテリック名を指定して ALLOCDEF コマンドを再発行します。

SMC0088

*Unable to [acquire/release] resource CCCCCCCC; attempt by JJJJJJJJ
XXXXXXXXX1 owned by XXXXXXXX2*

レベル: 0

説明: 共有された SMC リソースを正常に取得または解放できませんでした。ジョブ JJJJJJJJ は現在リソースを取得または解放しようとしているタスクですが、別のタスクがそのリソースを保持しているために取得または解放できません。

システムアクション: ジョブ名 JJJJJJJJ は正しく処理されない可能性があります。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0089

Unable to start subtask CCCCCCCC

レベル: 0

説明: 初期化中に、示された SMC サブシステムタスクを正常に接続できませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: SYSLOG または SMC ジョブログで関連する MVS または SMC メッセージを探します。

SMC0090

Unable to restart subtask CCCCCCCC

レベル: 0

説明: サブシステムの処理中に、示された SMC サブシステムタスクが異常終了し、再起動できませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。ただし、サブシステムの処理またはコマンド機能に影響を与える可能性があります。

ユーザーの対応: SMC サブシステムを停止して再起動します。示されたサブタスクが SMCOCMD である場合は、MVS CANCEL コマンドを使用してサブシステムを終了します。

SMC0091

Could not allocate job JJJJJJJJ step SSSSSSSS after applying all exclusion levels; backing up until allocatable

レベル: 8

説明: 示されたジョブステップは、そのステップ内のすべての DD にすべての除外条件が適用された場合は割り当てられません。つまり、各 DD に一意のドライブを割り当てて残りのドライブセットが不足しています。

システムアクション: 残りのドライブセットがステップ内のすべての DD への割り当てが可能になるまで、SMC は、ステップ内の選択された DD に対する除外条件をバックアウトします。

ユーザーの対応: なし

SMC0092*IDAX Settings:*

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: IDAX コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0092 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0093*TCPIP SETTINGS:*

CCCC....CCCC

TCPIP TCPNAME=CCCCCCCC ADSNAME=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: TCPIP LIST コマンドが発行されました。TCPNAME と ADSNAME の現在の値が表示されます。SMC がデフォルト設定を使用している場合は、「default」が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0094*MOUNTDEF settings:*

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: MOUNTDEF コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0094 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定が一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0095

UX01 function code UX01RPLY not supported

レベル: 4

説明: UX01RPLY (WTOR メッセージへの応答) のファンクションコードの戻りは、SMC によってサポートされていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0096

Invalid UX01 function code XX

レベル: 4

説明: ユーザー出口 01 が XX の無効なファンクションコードを返しました。

システムアクション: UX01 のこの呼び出しによって返されたデータはすべて無視されます。

ユーザーの対応: 有効なファンクションコードのみを返すように UX01 を修正します。

SMC0097

UX01 function code XX not valid for message MMMMMMMM

レベル: 4

説明: SMC は、メッセージ (マウント、マウント解除、またはスワップ) に対して返されたアクションコードが、SMC のデフォルトメッセージのアクションに一致しないことを検出しました。

システムアクション: UX01 のこの呼び出しによって返されたデータはすべて無視されます。

ユーザーの対応: メッセージと互換性のあるファンクションコードを返すように UX01 を修正します。

SMC0098

UX01 drive XXXX1 does not match message drive XXXX2, using UX01 drive

レベル: 4

説明: UX01 から返されたデバイスアドレスが、メッセージで示されたアドレスに一致しません。

システムアクション: UX01 から返されたデバイスアドレスは、メッセージ処理で使用されます。

ユーザーの対応: UX01 が期待どおりに機能していることを確認します。

SMC0099

Drive XXXX not a TAPEPLEX drive

レベル: 4

説明: ユーザー出口 01 が、ライブラリまたは仮想ドライブではないドライブ XXXX を返しました。

システムアクション: UX01 のこの呼び出しによって返されたデータはすべて無視されます。

ユーザーの対応: UX01 が期待どおりに機能していることを確認します。

SMC0100

Invalid UX01 drive XXXX

レベル: 4

説明: ユーザー出口 01 が、このシステム上の有効なテープデバイスとして定義されていない XXXX の無効なドライブアドレスを返しました。

システムアクション: UX01 のこの呼び出しによって返されたデータはすべて無視されます。

ユーザーの対応: UX01 を修正します。

SMC0101

Invalid UX01 or TAPEREQ subpool SSSSSSSSSSSS from TAPEPLEX PPPPPPPP for job JJJJJJJJ

レベル: 4

説明: POLicy、TAPEREQ、またはユーザー出口 01 が、マウント要求のデバイスを所有する、TAPEplex PPPPPPPP によって認識されていないサブプール名を指定しました。

システムアクション: デフォルトのサブプール 0 が使用されます。

ユーザーの対応: 有効なサブプールを指定するように POLICY、TAPEREQ、または UX01 を修正します。

SMC0102

Invalid UX01 volser VVVVV

レベル: 4

説明: ユーザー出口 01 が、無効な文字を含むボリュームシリアルを返しました。

システムアクション: UX01 のこの呼び出しによって返されたボリュームシリアルは無視されます。

ユーザーの対応: 有効なボリュームシリアルを返すように UX01 を修正します。

SMC0103

Unrecoverable mount error on device XXXX volser VVVVV for JOB JJJJJJJ

レベル: 3

説明: SMC が、メッセージ IAT5210 で要求されたマウントに対する IAT5310 メッセージへの応答としてボリュームマウントのエラーを検出しました。

システムアクション: SMC はマウントループを解除し、示されたデバイス XXXX にマウント解除を発行します。ジョブは MDS VERIFY キュー内に残ります。

ユーザーの対応: マウントエラーの原因について IAT5310 メッセージを参照し、修正アクションを取ってください。

SMC0104

Default recording technique set for TAPEPLEX=CCCCCCC device XXXX

レベル: 4

説明: TapePlex CCCCCC から構成照会応答で、TapePlex が所有するデバイスとしてデバイスアドレス XXXX が返されましたが、そのデバイスのモデルタイプを判定できませんでした。

システムアクション: SMC は UCB デバイスタイプに基づいて、そのデバイスのデフォルトの記録技法を設定します。処理を続行します。

ユーザーの対応: SMC を含むすべての NCS 製品に新しいデバイスタイプのすべての保守が適用されていることを確認するか、または正しいモデル情報を指定してそのデバイスに対する SMC UNITAttr コマンドを発行します。

SMC0105

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is required

レベル: 0

説明: コマンド CCCCCCCC が、必要なキーワード KKKKKKKK なしで発行されました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 必要なキーワードを指定してコマンドを再発行します。

SMC0106

Mount of volser VVVVVV in TAPEPLEX PPPPPPPP on device XXXX not in library

レベル: 0

説明: SMC MOUNTDEF VOLWATCH オプションが ON になっています。SMC は、TapePlex PPPPPPPP 内に常駐するボリュームが非ライブラリドライブへのマウントを要求されていることを検出しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: マウントを要求しているジョブを取り消すか、またはそのマウント要求を満たすためにボリュームを取り出します。

SMC0107

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is required

レベル: 0

説明: コマンド CCCCCCCC が、必要なキーワード KKKKKKKK なしで発行されました。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 必要なキーワードを指定してコマンドを再発行します。

SMC0108

No compatible drive found for SWAP processing

レベル: 0

説明: SMC が DDR スワップ処理をインターセプトしました。スワップ先として選択された元のデバイスはデバイスからのスワップに対応しておらず、SMC は互換性のある代替デバイスを見つけることができませんでした。

システムアクション: MOUNTDEF SWAPAUTOREPLY が ON に設定されている場合は、IGF500D または IGF509D メッセージに NO で応答します。MOUNTDEF SWAPAUTOREPLY が OFF に設定されている場合は、DDR スワップ処理を続行します。

ユーザーの対応: IGF500D または IGF509D メッセージが引き続き未処理であり、かつ使用可能な互換デバイスが存在しない場合は、スワッププロセスを停止するためにメッセージ IGF500D または IGF509D に NO と応答します。互換デバイスがオフラインである場合は、それをオンラインに変更し、メッセージ IGF500D または IGF509D にそのデバイス番号で応答します。

SMC0109

*The SMC subsystem is running in key n; results are unpredictable;
reply 'Y' to continue or 'N' to terminate*

レベル: 0

説明: 初期化中に、SMC は 1-7 までのキーではなく、キー n で実行されていることを検出しました。

システムアクション: SMC は、応答が受信されるまで待ちます。

ユーザーの対応: N の応答により SMC が停止します。Y の応答により SMC が初期化を続行しますが、結果は予測できません。考えられる問題として SOC1 と SOC4 の ABEND があります。このメッセージを防ぐには、プログラムプロパティテーブル (PPT) を「PPT PGMNAME(SMCBINT),SYST,KEY(n)」に更新します。ここで、n は 1-7 までの値です。

SMC0110

Allow swap of VVVVVV from XXXX1 to XXXX2; Reply 'Y', 'N' or DEVICE

レベル: 0

説明: SMC が DDR スワップ処理をインターセプトしました。SMC は、スワップを許可するオペレータの承認を待っています。

システムアクション: SMC は処理を続行しますが、スワップは、オペレータの応答が入力されるまで完了できません。

ユーザーの対応: 選択されたデバイス XXXX2 を使用してスワップを続行できるようにするには、Y と応答します。デバイスへの別のスワップを選択するには、そのデバイスアドレスで応答します。SMC は、新しいデバイスアドレスを検証しません。スワップを取り消すには、N と応答します。デバイス XXXX1 の I/O エラーによってスワップが発生した場合は、N と応答すると、そのジョブが失敗します。

SMC0111

USERMSG SETTINGS:

CCCC....CCCC

レベル: 0

説明: SMC により、USERMSG コマンドを使用して追加されたメッセージが一覧表示されました。

システムアクション: SMC のデフォルトメッセージと USERMSG で追加されたメッセージはどちらも、各ライブラリサブシステムのユーザー出口 01 に送信されます。SMC は、USERMSG で追加されたメッセージをユーザー出口 01 からの応答に従って処理します。

ユーザーの対応: なし。

SMC0112

Cannot add duplicate message ID MMMMMMMM at line nnnn of SMCPARMS

レベル: 0

説明: SMC がインターセプトする新しいメッセージ ID を追加するために、USERMSG コマンドが発行されました。指定されたメッセージ ID MMMMMMMM は、すでに SMC に対して定義されているメッセージの重複です。

システムアクション: このメッセージは追加されません。

ユーザーの対応: なし

SMC0113

```
SERVER=SSSSSSSS CCCCCCCC
```

```
Status={active|never active|inactive|disabled}
```

```
Messages=nnnn
```

```
Retries=nnnn
```

```
Init errors=nnnn
```

```
Errors=nnnn
```

レベル: 0

説明: SERVER コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0113 の複数行メッセージには、SMC サブシステムに対して定義されている各サーバーのサーバー設定とステータスが一覧表示されます。

- *Status* は、サーバーのステータスを示します。
 - *active* は、このサーバーが、指定された TapePlex にアクセスするための現在のパスであることを示します。
 - *never active* は、このパス上で通信が試行されなかったか、または試行されても成功しなかったことを示します。
 - *inactive* は、別のサーバーパスがアクティブであるか、またはこのパス上における最後の通信の試みが失敗したことを示します。
 - *disabled* は、このサーバーが無効にされたのが、非互換性が検出されたためか、FAIL の制限に達したためか、またはオペレータコマンドによってかを示します。
- *Messages* は、このサーバーパス上の論理的なメッセージ (ボリューム検索要求、マウント、マウント解除) の数を示します。
- *Retries* は、試行されたメッセージ再試行の回数を示します。
- *Init errors* は、非アクティブなサーバーに関するエラーの現在の数を示します。
- *Errors* は、このサーバーに関するエラーの総数を示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0116

Cannot find TAPEPLEX|STORMNGR PPPPPPP for SERVER SSSSSSSS [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SERVer コマンドが、以前には定義されていなかった TapePlex または STORMNGR 名とともに発行されました。

システムアクション: このサーバーは追加も更新もされません。

ユーザーの対応: TapePlex を定義するには TAPEplex コマンドを、また STORMNGR を定義するには STORMNGR コマンドを指定してから、SERVer コマンドを指定します。

SMC0117

Cannot change TAPEPLEX|STORMNGR name for existing SERVER SSSSSSSS [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: SERVer コマンドが既存のサーバーの名前とともに発行されましたが、その TAPEPLEX または STORMNGR 名が、そのサーバーが最初に定義されたときに設定された名前に一致しませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: Tapeplex または STORMNGR 名を省略するか、Tapeplex または STORMNGR 名を既存のサーバーに一致するように変更するか、あるいは新しいサーバーを追加するためにサーバー名を変更します。

SMC0118

No LOCSUBSYS for [LOCENABLE|LOCDISABLE] parameter on TAPEPLEX command [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: TAPEplex コマンドが LOCENABLE または LOCDISABLE パラメータとともに発行されましたが、TapePlex が LOCSUBSYS サブシステム名で定義されていませんでした。

システムアクション: このメッセージは警告です。TapePlex が追加または変更されませんが、LOCENABLE または LOCDISABLE パラメータは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0119

[SERVER|LOCSUBSYS] CCCCCCCC now disabled

レベル: 0

説明: SMC が FAIL カウントを超える TCP/IP エラーを検出したか、またはローカルサブシステムの致命的エラーを検出しました。無効化の理由については、前述の SMC0128/SMC0129 メッセージを参照してください。

システムアクション: なし。関連付けられたライブラリに対して追加のサーバーパスが定義されていない場合、このホストからそのライブラリハードウェアにはアクセスできなくなります。

ユーザーの対応: TCP/IP ネットワーク、SMC サーバー、ホストオペレーティングシステム、または HSC サブシステムに関する問題を修正し、SERVer または LOCSUBsys に対して再度 ENABLE を実行します。

SMC0120

NAME must be specified to add or modify a SERVER [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: ユーザーが新しいサーバーを追加するか、または既存のサーバーパスを変更するために SERVer コマンドを入力しましたが、サーバーパス名が指定されていませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: サーバーパス名を指定して SERVer コマンドを入力します。

SMC0121

UEXIT nn is now [ENABLED/DISABLED]

レベル: 0

説明: ユーザーが UEXIT *nn* ENABLE または DISABLE コマンドを入力したか、または SMC が指定されたユーザー出口で異常終了を検出しました。指定されたユーザー出口は現在、ENABLED または DISABLED になっています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 異常終了のために SMC がユーザー出口を自動的に無効にした場合は、その出口もリロードされないかぎり、再度有効にはできません。

SMC0122

UEXIT=nn

Status={active|disabled|abended}

CCCC....CCCC

Sequence=nn

Loaded=YYYY-MM-DD HH:MM:SS

Changed=YYYY-MM-DD HH:MM:SS

レベル: 0

説明: UEXIT コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0122 の複数行メッセージには、定義されている各ユーザー出口のユーザー出口ステータスが一覧表示されます。

- *nn* は、SMC ユーザー出口番号 (タイプ) を示します。
- *Status* は、ユーザー出口ステータスを示します。
 - *active* は、その出口がロードされ、アクティブになっていることを示します。
 - *disabled* は、その出口はロードされているが、UEXIT の *disable* キーワードによって非アクティブ化されたことを示します。
 - *abended* は、そのユーザー出口が異常終了したことを示します。この出口を再度アクティブ化するには、新しいバージョンをロードする必要があります。
- *Sequence* は、このユーザー出口に対して実行されたロードの回数を示します。
- *Loaded* は、このバージョンのモジュールがいつロードされたかを示します。
- *Changed* は、このバージョンのモジュールがいつアクティブ化または無効化されたかを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0123

Drive range mismatch between CLIENT(XXXX1-XXXX2) and SERVER (XXXX3-XXXX4)

レベル: 0

説明: DRIVemap コマンドが発行されました。指定された CLient 範囲のいずれかが、対応する SErver 範囲の形式に一致しませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: CLient パラメータと SErver パラメータの形式およびドライブの数が対応していることを確認して、コマンドを再発行します。

SMC0124

ABENDED or INACTIVE UEXIT nn must be reloaded to ENABLE [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: UEXIT nn ENABLE コマンドが、以前に異常終了したか、またはリターンコードによってそれ自体を無効にしたユーザー出口に対して発行されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: UEXit コマンドを LOAD キーワードとともに使用して、その出口をリロードします。

SMC0125

UEXIT nn already [ENABLED/DISABLED][at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: UEXIT nn ENABLE または DISABLE コマンドが発行されましたが、その出口は、すでに指定された状態になっていました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 変更しようとしている出口番号を確認します。

SMC0126

UEXIT nn not valid for [JES2/JES3] [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: UEXIT コマンドが、この構成では有効でないユーザー出口番号に対して発行されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 使用している構成のユーザー出口番号を確認します。

SMC0127

Cannot resolve HOST name H...H [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: HOST キーワードを指定して SERVer コマンドが発行されました。ただし、SMC は、指定された HOST 名を使用して IP アドレスを解決できませんでした。

システムアクション: SERVer コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 正しい HOST 名を入力するか、または代わりに IPADDRESS キーワードを使用します。

SMC0128

TapePlex error:

```
{Fatal comm error detected|
Initialization error number nn or {nn|unlimited}|
Comm error number nn of {nn|unlimited}
Comm error limit exceeded}
JOB=JJJJJJJJ IIIIIIII TASK=XXXXXXXXXXXXXXXXX {MSG=XXXXXXXXX}
TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT {SUBSYSTEM=AAAA|SERVER=SSSSSSSS}
REQUEST=FFFF
{Client {IP=NNN.NNN.NNN.NNN} socket=NN port={nnnn|ANY}}
{Server IP=NNNN.NNNN.NNNN.NNNN port=nnnn}
{Bytes out=nnnn in=nnnn}
{Error=EEEE...EEEE}
{Reason=RRRR...RRRR}
{Response from STK HTTP server follows: HHHH...HHHH}
SMC comm RC=nnnn
```

レベル: 4

説明: SMC が、TapePlex または STORMNGR と通信しようとしているときにインタフェースまたは通信エラーを検出しました。SMC0128 の複数行メッセージには、最初に、エラーに関連付けられたジョブ名、トランザクションタイプ、および TapePlex または STORMNGR 名が一覧表示されます。

通信エラーが、この同じホスト上のクロスメモリーサービスを使用している (つまり、サーバーを使用していない) ローカル TAPEPLEX または STORMNGR に対して生成された場合は、次の行にインタフェースエラーが表示されます。

通信エラーが、TCP/IP を使用しているリモート HTTP サーバーか、それに関連付けられたリモート HSC TapePlex または STORMNGR に対して生成された場合は、いずれかのメッセージ理由行が表示されます。

理由文字列の例には次のものがあります。

- 特定の TCP/IP 機能エラー (接続、送信、受信など)
- データエラー (不完全または無効なデータ応答)
- サブシステムが非アクティブ、見つからない、または互換性のないリリースレベルにある
- サブシステム機能エラー
- HTTP サーバーが承認されていない
- HSC ASCOMM エラー
- インタフェースまたは通信タイムアウト

特定のリモートエラーによって、次のような HTTP サーバー全体の応答が表示されることがあります。

HTTP 1.0 401 Unauthorized

メッセージに「Comm error limit (nnn) exceeded」が示されている場合は、SMC0128 メッセージに続けて SMC0119 メッセージが表示され、サーバーパスは SMC によって無効にされます。

メッセージに「Initialization error」が示されている場合は、指定されたサーバーパスへの正常な通信の前にエラーが発生しました。このようなエラーは、サーバーパス上の累積エラーカウントにはカウントされず、指定されたサーバーは SMC によって自動的に無効にされません。

また、「Initialization error」メッセージは要求ごとに生成されるのではなく、そのパスが正常にアクティブ化されるまで 5 分間隔で生成されるだけです。

システムアクション: 割り当てまたはマウントイベントが SMC によって処理されない可能性があります。

ユーザーの対応: 示されたエラー理由を使用して、問題の原因を特定します。エラーがリモートサーバーに対して生成された場合は、HTTP サーバーがアクティブであることを確認します。

SMC0129

{ERROR|WARNING}: No cartridge transport(s) for XXXX1- [XXXX2] for {UNITATTR|DRIVEMAP} {ADDRESS|CLIENT}

レベル: 0

説明: UNITATTR または DRIVEMAP コマンドが、デバイス XXXX1 または範囲 XXXX1-XXXX2 を指定して発行されました。指定されたどのデバイスも MVS で定義されたカートリッジトランスポートデバイスではありません。

システムアクション: 次のいずれかを実行します。

- メッセージに ERROR が示されている場合、このコマンドは処理されません。
- メッセージに WARNING が示されている場合、SMC はこの値を格納し、それを使用して、MVS で定義されていない RTD デバイスのアドレスを変換する可能性があります。

ユーザーの対応: コマンドで指定されたデバイスを確認し、それが正しくない場合はコマンドを再発行します。

SMC0130

TAPEPLEX Pppppppp1 has same LOCSUBSYS SSSS as TAPEPLEX Pppppppp2 [at line nnnn of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: TAPEplex コマンドが発行され、指定された TapePlex 名 Pppppppp1 は異なりますが、LOCSUBSYS 名が既存の TapePlex Pppppppp2 と同じでした。

システムアクション: TAPEplex コマンドは実行されません。

ユーザーの対応: エラーを修正し、コマンドを再送信します。

SMC0131

Cannot use [TAPEPLEX|SUBSYSTEM] CCCCCCCC from user exit or POLICY; RRRRRRRR

レベル: 4

説明: SMC POLICY の TapePlex 名、またはユーザー出口からの TapePlex または SUBSYSTEM 名が、指定された理由 RRRRRRRR のために SMC によって使用されませんでした。

システムアクション: SMC は、ほかの条件を使用してライブラリの所有権を確立します。このポリシーまたは出口からのほかのデータは適用されません。

ユーザーの対応: RRRRRRRR によって指定された状態を修正します。

SMC0132

Mount retry limit exceeded for volser=VVVVVV device=XXXX from TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=SSSSSSSS

レベル: 4

説明: SMC マウントまたはマウント TAPEREQ 取得処理は、MVS マウントが引き続き保留中であり、再試行すべきであることを確認した場合、再試行を試みる前に待機します。マウントまたはマウントポリシー取得再試行の制限に達すると、SMC0132 メッセージが表示されます。

システムアクション: このメッセージが発行されたあと、SMC はこのマウント要求を引き続き処理しません。

ユーザーの対応: HSC マウントの問題の原因を調査します。問題を解決したあと、必要に応じて SMC RESYNChronize REStart コマンドまたは HSC MOUNT コマンドを発行します。

SMC0133

TAPEPLEX|STORMNGR=PPPPPPPP

CCCC....CCCC

Status={disabled|active|inactive|never active}

Requests=nnnn

[SERVER=SSSSSSSS

Status={disabled|active|inactive|never active}]

ERRORS=XXX

レベル: 3

説明: TAPEPlex または STORMNGR コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0133 の複数行メッセージには、SMC サブシステムに対して定義されている各 TapePlex または STORMNGR のパラメータとステータスが一覧表示されます。オプションで、SERVerlist キーワードが指定された場合は、この TapePlex または STORMNGR に関連付けられたすべてのサーバーのサーバーステータスも表示されます。

TapePlex ステータスは、TapePlex または STORMNGR のステータスを示します。

- *disabled* は、TapePlex または STORMNGR がオペレータコマンドによって無効にされたことを示します。
- *active* は、この TapePlex または STORMNGR への最後の通信が成功したことを示します。
- *inactive* は、この TapePlex または STORMNGR への通信パスが以前はアクティブであったが、現在はアクティブでなくなっていることを示します。
- *never active* は、この TapePlex または STORMNGR への通信パスが一度も正常に確立されていないことを示します。

Requests は、指定された TapePlex または STORMNGR に送信された要求 (構成、ボリューム検索、マウント、マウント解除、およびスワップ) の総数を示します。

SERVER キーワードが指定された場合は、この TapePlex または STORMNGR に対して定義されている各サーバーパスも、そのステータスとともに表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0134

No UNITATTR in effect for device(s) XXXX1[-XXXX2]

レベル: 0

説明: デバイスに対して UNITATTR コマンドが入力されなかったか、または以前に入力された UNITATTR コマンドが TapePlex からの情報によってオーバーライドされました。

システムアクション: UNITATTR OFF パラメータが指定された場合、このデバイスは処理されません。

ユーザーの対応: なし

SMC0135

{Mount/dismount message|Client response WTOR message|WTOR message issued by server} from TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=SSSSSSSS

レベル: 0

説明: SMC0136 のヘルプを参照してください。

SMC0136

HSC mount or dismount message

レベル: 4

説明: WTORDEST(CLIENT) または ECHOMNTERR(ON) オプションが有効になっています。HSC TapePlex に対してマウントまたはマウント解除が実行されましたが、正常に完了しませんでした。SMC0135 メッセージは、マウントまたはマウント解除が要求された TapePlex 名とサーバー名を示します。SMC0136 は、単に SMC クライアント上の HSC サーバーのマウントまたはマウント解除メッセージをエコーします。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: HSC マウントまたはマウント解除メッセージに示されている問題を修正します。

注記:

メッセージ SMC0135 および SMC0136 は、メッセージレベルが 12 以上である場合は、WTORDEST や ECHOMNTERR の設定には関係なくすべてのマウントエラーに対して発行され、またメッセージレベルが 16 以上である場合は、すべての HSC マウントおよびマウント解除メッセージに対して発行されます。

SMC0137

HSC mount or dismount WTOR message

レベル: 4

説明: TAPEplex WTORDEST(CLIENT) が設定された HSC TapePlex に対してマウントまたはマウント解除が実行されました。HSC が、クライアントによって処理される WTOR を発行しました。SMC0135 メッセージは、マウントまたはマウント解除が要求された TapePlex 名とサーバー名を示します。

システムアクション: SMC は、指定されたメッセージ応答を転送して、サーバーに対してマウントまたはマウント解除を再処理します。

ユーザーの対応: 対応する HSC メッセージについてメッセージの説明を参照し、指示されているとおりに応答します。

注記:

MSGDef コマンドの SMCWtorpfx パラメータを使用すると、メッセージの SMC0137 の部分を抑制できます。

SMC0138

XML {input|output} parse error RC=nnn; transaction=TTTTTTTT TAPEPLEX|STORMNGR=PPPPPPP

レベル: 0

説明: SMC が XML 解析エラーを検出しました。入力 XML トランザクションを解析できないときは、入力 XML エラーが生成されます。トランザクション応答データを XML に変換できないときは、出力 XML エラーが発生します。

システムアクション: エラーのタイプやサーバーの特性によっては、割り当てまたはマウントイベントが SMC によって処理されない可能性があります。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0139

UNITATTR for device XXXX MODEL=MMMMMMMM [TAPEPLEX=PPPPPPP]

レベル: 0

説明: UNITATTR コマンドが Llst パラメータとともに発行されました。デバイスに関連付けられたモデルと TapePlex が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

nnnnnnnn

SMC0140 DFSMS message

レベル: 0

説明: DFSMS ACS ルーチンが DFSMS メッセージを発行しました。NNNNNNNN は JCL 文番号か、またはそれが動的割り当てである場合は DDNAME になります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

nnnnnnnn

SMC0141 UNIT=value VVVVVVV1 replaced by VVVVVVV2

レベル: 0

説明: DFSMS ACS ルーチンがエソテリックを変更しました。

- NNNNNNNN は JCL 文番号か、またはそれが動的割り当てである場合は DDNAME です。
- VVVVVVV1 は、JCL 内にあったエソテリックです。JCL 内で UNIT パラメータが使用されていなかった場合、これは NULL-UNIT になります。
- VVVVVVV2 は、DFSMS ACS ルーチンによって指定されたエソテリックです。

システムアクション: 割り当てのために DFSMS ACS ルーチンによって指定された新しいエソテリックを使用します。

ユーザーの対応: なし

SMC0142

Invalid reply to prior message from TAPEPLEX=PPPPPPPP SERVER=SSSSSSSS

レベル: 0

説明: TapePlex PPPPPPPP に対して WTORDEST(CLIENT) オプションが指定され、SMC がサーバー SSSSSSSS 経由で HSC にマウントまたはマウント解除要求を伝達しました。SMC がこの要求を再処理しようとしたとき、HSC は、応答が無効であったことを示す通知を返しました。

システムアクション: SMC は、HSC メッセージを再表示します。

ユーザーの対応: 示されたメッセージについてのメッセージの説明を参照し、有効な応答を決定します。

SMC0143

UNITATTR MODEL=MMMMMMM1 cannot override real MODEL MMMMMMM2 for
TAPEPLEX=PPPPPPP device=XXXX

レベル: 0

説明: モデル MMMMMMM1 を指定したデバイス XXXX に対して UNITATTR が指定されました。ただし、TapePlex PPPPPPP から構成照会情報が返されたとき、実際のモデルは MMMMMMM2 でした。

システムアクション: SMC は、構成照会応答から返された実際のモデルに基づいて、そのデバイスの記録技法を設定します。処理を続行します。

ユーザーの対応: SMC を含むすべての NCS 製品に新しいデバイスタイプのすべての保守が適用されていることを確認するか、または正しいモデル情報を指定してそのデバイスに対する SMC UNITAttr コマンドを発行します。

SMC0144

Mount of volser=VVVVVV on device=XXXX; drive is in use; reply 'C' to cancel mount or 'R' to retry

レベル: 0

説明: SMC が HSC にマウントまたはマウント解除要求を伝達しました。HSC は、ドライブが使用中であることを示すメッセージで応答しました。

システムアクション: マウントが未処理である場合、SMC は 30 秒ごとにマウントを自動的に再処理します。マウントが保留中でなくなるか、またはドライブが使用可能になると、メッセージは DOM 処理されます。

ユーザーの対応: ドライブが使用可能になるまで待つか、「C」と応答して要求を取り消すか、または「R」と応答してただちに再試行します。

SMC0145

Mount of volser=VVVVVV on device=XXXX; volume is in use; reply 'C' to cancel mount or 'R' to retry

レベル: 0

説明: SMC が HSC にマウントまたはマウント解除要求を伝達しました。HSC は、ドライブが使用中であることを示すメッセージで応答しました。

システムアクション: SMC は、マウントが未処理であることを検証します。マウントが未処理である場合、SMC は 30 秒ごとにマウントを自動的に再処理します。マウ

ントが保留中でなくなるか、またはボリュームが使用可能になると、メッセージは DOM 処理されます。

ユーザーの対応: ボリュームが使用可能になるまで待つか、「C」と応答して要求を取り消すか、または「R」と応答してただちに再試行します。

SMC0146

All devices marked ineligible for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS due to volume lookup failure

レベル: 4

説明: SMC 割り当てでボリューム情報を取得しようとしたとき、ライブラリサーバーとの通信障害が発生しました。ALLOCDEF のオプション FAILNOINFO が指定されました。

システムアクション: SMC は、すべてのデバイスを割り当てに対して不適格としてマークします。このジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの対応: 通信障害の原因を調査し、ジョブを再送信します。

SMC0147

PPPPPPP1 is incompatible with PPPPPPPP2 on the TAPEREQ command line nnnn of TREQDEF DSN

レベル: 0

説明: TREQDEF コマンドで指定されたデータセット内の行 nnnn にある PPPPPPPP1 と PPPPPPPP2 に互換性がありません。

システムアクション: SMC は、追加のエラーにフラグを付けて、TAPEREQ 文を引き続き処理します。

ユーザーの対応: エラーを修正し、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0148

PPPPPPP on the TAPEREQ command at line nnnn of TREQDEF DSN is not valid in a JES3 environment

レベル: 0

説明: TREQDEF コマンドで指定されたデータセットの行 nnnn に指定されているパラメータ PPPPPPPP が、テープ設定環境を含む JES3 では有効ではありません。

システムアクション: SMC は、追加のエラーにフラグを付けて、TAPEREQ 文を引き続き処理します。

ユーザーの対応: エラーを修正し、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0149

TREQDEF specifications not installed, reason code *nn*

レベル: 0

説明: TREQDEF コマンドで指定されたデータセット内の TAPEREQ 文がインストールされていませんでした。

- 08 - TAPEREQ 文での構文エラー
- 12 - TAPEREQ 構造が初期化されていません
- 404 - TREQDEF のロックでの SMC サービスエラー
- その他 - 説明については、Display RC=*nn* を使用します

システムアクション: なし

ユーザーの対応: エラーを修正し、TREQDEF コマンドを再発行します。

SMC0150

TREQDEF specifications installed from *DDDDDDDD*

レベル: 0

説明: TREQDEF コマンドで指定されたデータセット内の TAPEREQ 文が正常にインストールされました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0151

TREQDEF status:

Loaded from *DDDDDDDD*

Title: *TTTTTTTT*

{Loaded on *YYYY-MM-DD* at *HH:MM:SS*}

Not active due to error; process RC=nn}

レベル: 0

説明: TREQDEF コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。現在の TAPEREQ 文は、データセット DDDDDDDD からロードされました。タイトル TTTTTTTT は、OPTION 文で指定されていた場合に表示されます。エラーのために現在アクティブな TREQDEF ファイルが存在しなかった場合は、「not active due to error」というメッセージが表示されますが、TREQDEF に対して最後に使用されたデータセット名は使用可能であり、TREQDEF RELOAD コマンドで使用できます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0152

TREQDEF DSN command has not been previously issued

レベル: 0

説明: TREQDEF LIST または RELOAD コマンドが、その前の TREQDEF DSN コマンドなしで指定されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: LIST または RELOAD キーワードを指定して TREQDEF を発行する前に、DSN キーワードを指定して TREQDEF コマンドを発行します。

SMC0153

Dynamic allocation failed for DDDDDDDD

レベル: 0

説明: SMC は、SMC コマンドで指定されたデータセット名 DDDDDDDD を割り当てることができませんでした。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 指定されたデータセット名を見直して、それがカタログ化された MVS データセットであることを確認し、コマンドを再発行します。

SMC0154

UNITATTR model MMMMMMM ignored for TAPEPLEX device XXXX

レベル: 0

説明: UNITATTR コマンドが、デバイス XXXX を指定して発行されました。このデバイスは、SMC が認識している TapePlex に対して定義されています。SMC は、TapePlex からデバイスモデルを取得します。

システムアクション: UNITATTR コマンドは、このデバイスを処理しません。

ユーザーの対応: なし

SMC0155

LOG settings:

CCCC....CCCC

Logging currently {INACTIVE|ACTIVE}

レベル: 0

説明: LOG コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0155 の複数行メッセージには、SMC サブシステムの現在の設定とステータスが一覧表示されます。

さらに、ACTIVE のログステータスは、ロギングが開始されたことを示します。INACTIVE は、ロギングが開始されていないか、または EOF で停止されたことを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0156

SMCLOG file is not currently opened

レベル: 0

説明: LOG コマンドが STOP キーワードとともに発行されました。ただし、ロギングは現在アクティブではありません。

システムアクション: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0157

SMCLOG file is already opened

レベル: 0

説明: LOG コマンドが START キーワードとともに発行されました。ただし、ログインはすでにアクティブです。

システムアクション: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0158

No SMCLOG DD; logging cannot be started

レベル: 0

説明: LOG コマンドが START キーワードとともに発行されました。ただし、SMC サブシステムの起動 JCL 内に SMCLOG DD が存在しませんでした。

システムアクション: LOG コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: SMC サブシステムの起動 JCL に SMCLOG DD を追加してから、SMC サブシステムを再起動します。

SMC0159

Logging {started|stopped}

レベル: 0

説明: LOG コマンドが START または STOP キーワードとともに発行されました。

システムアクション: SMC ロギングが開始または停止されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0160

Invalid range XXXX1-XXXX2 for keyword ADDRESS of the UNITATTR command

レベル: 0

説明: UNITATTR コマンドが、デバイス範囲 XXXX1-XXXX2 を指定して発行されました。ここで、XXXX1 は XXXX2 より大きい値です。

システムアクション: UNITATTR コマンドは、このデバイス範囲を処理しません。

ユーザーの対応: 有効な範囲を指定してコマンドを再発行します。

SMC0161

Restoring all default settings for the CCC...CCC command

レベル: 0

説明: CCC...CCC コマンドが OFF パラメータとともに発行されました。SMC サブシステムのすべての SMC 値が復元されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0162

CCC...CCC object successfully {added|updated|deleted}

レベル: 0

説明: CCC...CCC コマンドが正常に処理されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0163

DRIVEMAP settings:

CLIENT=XXXX1{-XXXX2} SERVER=XXXX3{-XXXX4}

レベル: 0

説明: DRIVEMAP コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0163 の複数行メッセージには、現在アクティブな DRIVEMAP が一覧表示されます。クライアント/サーバーの範囲ごとに 1 行が生成されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0164

CLIENT range XXXX1{-XXXX2} not found for the OFF keyword of the DRIVEMAP command

レベル: 0

説明: DRIVEMAP コマンドが OFF パラメータおよび CLIENT パラメータとともに発行されました。CLIENT パラメータに一致する DRIVEMAP 範囲が見つかりませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0165

Keyword {CLIENT/SERVER} range XXXX1{-XXXX2} overlaps with previous DRIVEMAP entry

レベル: 0

説明: 以前に発行された DRIVEMAP コマンドで指定された範囲と重複するクライアントまたはサーバーの範囲を含む DRIVEMAP コマンドが発行されました。

システムアクション: DRIVEMAP コマンドは処理されません。

ユーザーの対応: DRIVEMAP LIST コマンドを発行して、現在アクティブな DRIVEMAP 範囲のリストを表示します。新しい範囲を指定するように DRIVEMAP コマンドを修正します。または、DRIVEMAP CLIENT(XXXX1-XXXX2) OFF コマンドを使用して既存の重複した範囲を非アクティブ化し、固有の範囲を使用してコマンドを再度指定します。

SMC0166

Excessive READ depth at line nn of DSN DDDDDDDD

レベル: 0

説明: ファイルから READ コマンドが発行されました。ただし、すでに開かれているコマンドファイルが多すぎるため、READ コマンドの深さを超えました。READ コマンドの深さは、組み込みの READ コマンドのために、同時に開くことのできるファイルの数として定義されます。

システムアクション: READ コマンドは処理されません。

ユーザーの対応: READ コマンドの深さを減らすようにコマンドファイルを再構築し、参照されるファイルに再帰的なループが含まれないようにします。

SMC0167*CCCCCCC summary:**TAPEPLEX|STORMNGR P P P P P P P P is {disabled|inactive|active on**{local subsystem SSSS|server SSSSSSSS}**{All TAPEPLEX|STORMNGR(s) active|**n of n TAPE TAPEPLEX|STORMNGR(s) active|**WARNING: All TAPEPLEX|STORMNGR(s) inactive|**WARNING: No TAPEPLEX|STORMNGR(s) defined|**WARNING: No TAPEPLEX|STORMNGR(s) enabled}*

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドが発行され、TapePlex および STORMNGR の再同期が実行されました。各 TapePlex が複数行 WTO 内の 1 行で表され、そのステータスが表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0168*WARNING: No TREQDEF command processed*

レベル: 4

説明: 起動時に、SMCPARMS または SMCCMDS ファイル内に TREQDEF コマンドが見つかりませんでした。

システムアクション: 割り当てまたはマウント要求に対する TAPEREQ 処理は実行されません。

ユーザーの対応: インストールによって以前に HSC または MVS/CSC で TREQDEF が指定されていた場合は、SMC に TREQDEF コマンドを発行し、SMCCMDS (または SMCPARMS) ファイルに TREQDEF コマンドを追加します。

SMC0169

WARNING: {SMCCMDS|SMCPARMS} processing TIMEOUT; startup continuing

レベル: 4

説明: SMC サブシステムの起動中に、起動コマンド処理が、示されたコマンドファイルを完了できませんでした。

システムアクション: SMC は起動処理を続行しますが、一部の起動コマンドが処理されなかった可能性があります。

ユーザーの対応: なし

SMC0170

{Request timeout|SMC subsystem terminating}; request to subsystem SSSS aborted

レベル: 4

説明: SMC がサブシステム SSSS に要求を発行しましたが、応答が制限時間内に受信されなかったか、または SMC サブシステムが終了しました。

システムアクション: SMC は、HSC の応答を待つことなく処理を続行します。さらに、要求タイムアウトが示されている場合は、指定されたサブシステムへの SMC サーバーパスが無効になります。

ユーザーの対応: SMC に応答していないサブシステムのステータスをチェックし、問題を修正します。問題を修正したあと、該当するサーバーパスを有効にします。

SMC0171

Allocatability test matrix retries exceeded

レベル: 0

説明: SMC は、そのテストマトリックスを使用するジョブステップの割り当て可能性を計算済みの再試行回数で判定できませんでした。

システムアクション: 通常は、そのジョブステップが割り当て可能になるまで、SMC の「バックアウト」除外条件で処理を続行します。

JES3 CI エソテリックの置換中に、SMC が元の適格デバイスのリストに戻したあとでも割り当て可能性マトリックスを解決できない場合は、異常終了が発生し、エソテリック置換は実行されません。

ユーザーの対応: 可能な場合は、割り当てトレースをオンにしてジョブを再実行します。トレースとログ出力を保存し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0172

Specified TAPEPLEX|STORMNGR P P P P P P P P not {defined|HSC|active|enabled|valid for UUI}

レベル: 0

説明: SMC コマンドが TAPEPLEX または STORMNGR P P P P P P P P を指定して発行されました。ただし、TAPEPLEX または STORMNGR が SMC に対して定義されていないか、または適格でないため、このコマンドを完了できません。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: 有効な TAPEPLEX または STORMNGR を指定するか、あるいは TAPEPLEX または STORMNGR ステータスを修正してコマンドを再発行します。

SMC0173

Response from {TAPEPLEX|STORMNGR} P P P P P P P P:

CCCC....CCCC

{UUI failure; RC=return_code, RS=reason_code error_text}

Response RC=nn

レベル: 0

説明: TAPEplex または STORMNGR P P P P P P P P を指定する SMC Route コマンドが発行されました。SMC0173 メッセージには、TAPEPLEX または STORMNGR の名前に続いて応答が表示されます。リターンコードの重大度およびコマンドからの応答メッセージの使用可否に応じて、「UUI failure」という出力が表示されることがあります。このメッセージ行には、コマンドのリターンコード、理由コード、および短い説明文が含まれます。SMC0173 メッセージは、コマンドのリターンコードの表示で終了します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0174

ASCOMM ACK timeout for job=JJJJJJJJ (DS=SSSS-NNNN)

レベル: 4

説明: SMC がジョブ JJJJJJJJ からの要求に応答しましたが、確認応答が制限時間内に受信されませんでした。ジョブに関連付けられた内部データ領域は、ブロック番号 SSSS から NNNN の長さになります。

システムアクション: SMC は、確認応答を待つことなく処理を続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0175

Communication initialized on TAPEPLEX|STORMNGR=name {SERVER=name}

レベル: 4

説明: SMC が、指定された TapePlex または STORMNGR との初回の通信に成功しました。さらに、選択された通信パスがリモートサーバーであった場合は、そのサーバーも表示されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

注記:

このメッセージは、通信があるサーバーから別のサーバーに切り替えられるか、またはエラーのあとに通信が再確立されるたびに生成されます。

SMC0176

No active TAPEPLEX(s) for DISPLAY command

レベル: 0

説明: DISPLAY コマンドが入力されました。ただし、SMC はどの TapePlex とも通信を確立できません。

システムアクション: DISPLAY (または QUERY) VOLUME コマンドが入力された場合は、要求を送信する TapePlex が存在しないため、このコマンドは終了します。DISPLAY DRIVE コマンドが入力された場合は、表示されるドライブ情報に

TapePlex 所有権が反映されない可能性があります、このコマンドは続行されま
す。

ユーザーの対応: なし

SMC0177

SMC {DISPLAY|QUERY} VOLUME

Volser	TapePlex	Location	Media	Rectech	Volume	Data
VVVVVV	PPPPPPP	{AA:LL}	MMMMMMM	RRRRRRR	DDDDDD	

レベル: 0

説明: Display Volume コマンドが入力されました。SMC0177 メッセージには、要求に一致する volser が一覧表示されます。ALLtapeplex パラメータが指定された場合は、アスタリスク (*) で始まる重複した volser (見つかった場合) が一覧表示されます。表示されるボリュームの Rectech には、そのボリュームのメディアタイプ、VOLATTR (存在する場合)、および密度などのボリュームデータの組み合わせが反映されています。たとえば、RECTECH が STK1RC であるボリュームは、そのボリュームに対して STK1RC の RECTECH を指定する VOLATTR を持っているか、または 9840C ドライブにスクラッチとしてマウントされたと認識されている可能性があります。ボリュームの Volume Data には、HSC CDS 内に格納されているそのボリュームの既知の特性 (ボリューム密度など) が反映されています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0178

SMC {DISPLAY|QUERY} DRIVE

Addr	TapePlex	Location	Model	SMC Status	MVS Status
CCUU	PPPPPPP	AA:LL:PP:DD	MMMMMMM	XXXX-VVVVV	SSSSSSSS

または:

Addr	TapePlex	Location	Model	S Serial Number	MVS Status
CCUU	PPPPPPP	AA:LL:PP:DD	MMMMMMM	Z NNNNNNNNNN	SSSSSSSS

レベル: 0

説明: DISPLAY DRIVE コマンドが入力されました。SMC0178 メッセージには、要求に一致するデバイスアドレスが一覧表示されます。

- P P P P P P P P は TapePlex です。
- X X X X は、そのドライブの最後の SMC マウント/マウント解除ステータスです。
- V V V V V V は、マウントまたはマウント解除された最後のボリュームシリアルです。
- Z は、シリアル番号のソースまたはステータスです。
 - X は、ライブラリ XAPI 構成を示します。
 - R は、RCD (Read Configuration Data) チャンネルコマンドを示します。
 - M は、XAPI 構成に一致した RCD シリアル番号を示します。
 - - RCD I/O 要求に使用できるパスがないことを示します。
- N N N N N N N N N N は、ドライブシリアル番号です (使用できない場合は空白)。

X X X X は次のいずれかです。

- MNTD

実ボリュームの自動マウントが正常に完了しました。

- DISM

マウント解除が HSC TapePlex またはサーバーに送信されました。DISM は、マウント解除が発行されたあと、そのドライブに別のボリュームがマウントされるまで表示されます。

- VMNT

仮想ボリュームの自動マウントが VSM に送信されましたが、SMC メッセージ処理コンポーネントによってモニターされていません。MVS ステータスは、そのボリュームが実際にマウントされているかどうかを記録します。

- PEND

実マウントまたは仮想マウントが SMC メッセージ処理コンポーネントによってモニターされており、HSC TapePlex またはサーバーからの最終応答を待っています。

- MNTM

HSC TapePlex またはサーバーが、実ボリュームを手動でマウントする必要があることを示す最終リターンコードを返しました。

- FAIL

自動マウントが失敗しました。オペレータの介入が必要です。

- CSCM

自動マウントが MVS/CSC に送信されましたが、SMC メッセージ処理コンポーネントによってモニターされていません。MVS ステータスは、そのボリュームが実際にマウントされているかどうかを記録します。

- SWAP

そのドライブのスワップが現在進行中であり、SMC スワップマネージャーによってモニターされています。

- MISS

実ボリュームまたは仮想ボリュームの自動マウントが完了しておらず、現在 SMC マウントモニターコンポーネントによってモニターされています。

- BYPS

ユーザー出口 01 が、指定されたドライブのマウント/マウント解除が SMC によってモニターされないことを示すリターンコードを指定しました。

- なし

指定されたドライブでは SMC ステータスを使用できません。

注記:

ステータス MNTM、MISS、または FAIL では、マウントが引き続き MVS 保留中の場合は SMC0231 アクションメッセージが生成されます。ステータス VMNT では、仮想マウントのタイムアウト値を超えたあとに仮想マウントが引き続き保留中の場合は SMC0231 アクションメッセージが生成されることがあります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0179

{TAPEPLEX|ESOTERIC} VVVVVVV not defined for CCCCCCCC

レベル: 0

説明: TAPEPLEX または ESOTERIC VVVVVVV を指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。ただし、VVVVVVV が SMC または MVS に対して定義されていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 指定されたコマンドを修正して再入力します。

SMC0180

POLICY=CCCCCCC {scr only|spec only|scr + spec|scr error|spec error|in error|scr defined|spec defined}

Scratch policy: (displays entered policy values)

Specific policy: (displays entered policy values)

Created on mmm dd yyyy hh:mm:ss[at line nnn of dsname| from console userid]

Changed on mmm dd yyyy hh:mm:ss[at line nnn of dsname| from console userid]

レベル: 0

説明: POLICY LIST コマンドが受信されました。TERse オプションが指定されている場合は、各ポリシーの最初の行だけが表示されます。Created と Changed のデータは、DETail オプションが入力されている場合にのみ表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0181

WARNING: SMS MGMTPOL specified and no POLICY statements defined

レベル: 8

説明: ALLOCDef SMS オプションと SMSDef MGMTPol オプションの両方がオンですが、起動時にどの POLICY コマンドも処理されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: DFSMS ACS 管理クラスルーチンで指定されたポリシー名に対するポリシー定義を指定します。

SMC0182

POLICY CCCCCCCC not defined for TREQDEF statement nnnn

レベル: 8

説明: TREQDEF データセットの検証中に、TAPEREQ 文により、定義済みの POLICY に一致しないポリシー名 CCCCCCCC が指定されました。

システムアクション: TREQDEF 定義が拒否されます。

ユーザーの対応: POLICY コマンドが確実に TREQDEF コマンドの前に処理されるようにするか、または TAPEREQ 文を変更して POLICY 名を修正します。

SMC0183

POLICY CCCCCCCC not found in any TAPEREQ statement

レベル: 8

説明: ポリシーの検証中に、SMC が、どの TAPEREQ 文でも指定されていないポリシー名 CCCCCCCC を見つけました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 非アクティブな POLICY 文を削除するか、または TAPEREQ 文でポリシー名を指定します。

SMC0184

{Specific|Scratch} POLICY CCCCCCCC marked in error

レベル: 0

説明: SMC に追加される POLICY に、VOLTYPE(SPECIFIC) でスクラッチサブプール名を指定するなどの、ポリシー指定エラーが含まれています。

システムアクション: 処理が続行されます。SMC は、指定された POLICY オブジェクトを作成します。ただし、SMC はこの POLICY オブジェクトをエラーとしてマークすることにより、指定された POLICY オブジェクトへのどの参照でもそれがわかる

ようにします。ただし、このような場合、返される POLICY は空になり、デフォルトのテープポリシー属性が割り当てまたはマウントイベントに適用されることを示します。

ユーザーの対応: POLICY コマンドを修正して再発行します。

SMC0185

Non-POLICY TAPEREQ statements detected

レベル: 8

説明: 1 つ以上の TAPEREQ 文が POLICY キーワードを指定していませんでした。既存の TAPEREQ 文を POLICY 形式に変換することをお勧めします。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: POLICY 形式を使用するには、TAPEREQ 文を変換します。

SMC0186

No matching POLICY found for SMS management class CCCCCC

レベル: 8

説明: SMC の割り当てまたはマウントメッセージの処理中に指定された SMS MGMTPol では、ACS ルーチンから返された SMS 管理クラスが定義済みの POLICY に一致せず、SMSDEF VTVMGMT がオフです。

システムアクション: ポリシー名は無視されます。TAPEREQ がロードされている場合、SMC は TAPEREQ を使用してポリシーを検索しようとします。

ユーザーの対応: 見つからない POLICY を定義するか、または有効な POLICY 名を指定するように ACS ルーチンを修正します。

SMC0187

WARNING: Could not find device XXXX for TAPEPLEX PPPPPPP specified in UNITATTR

レベル: 0

説明: TAPEPLEX PPPPPPP に属するとされるデバイス XXXX に対して UNITATTR が指定されました。ただし、返された構成照会に、指定されたデバイスが含まれていませんでした。

システムアクション: なし。SMC は、この UNITATTR を適用します。サーバーが起動中に構成照会を処理するタイミングによっては、構成照会応答で一部のデバイスが返されないことがあります。

ユーザーの対応: 指定されたデバイスが指定された TAPEPLEX に実際に属していることを確認します。

SMC0188

Non-virtual MEDIA or RECTECH is not allowed with MGMTCLAS

レベル: 0

説明: MGMTCLAS を非仮想 MEDIA または RECTECH、あるいはその両方とともに指定する POLICY 文が入力されました。ただし、MGMTCLAS は仮想ポリシーに対してのみ指定すべきです。

システムアクション: この POLICY は拒否されます。

ユーザーの対応: POLICY を修正し、POLICY コマンドを再発行します。

SMC0189

CCCCCCCC entry EEEEEEE not found for {list|update|delete}

レベル: 0

説明: エントリ EEEEEEE を一覧表示、削除、または更新するように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。ただし、EEEEEE に一致するエントリが見つかりませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: CCCCCCCC コマンドを LIST オプションとともに発行して、すべての CCCCCCCC エントリを一覧表示します。次に、正しいエントリ名を指定してコマンドを再発行します。

SMC0190

CCCCCCCC 00000000 set to {ON|OFF|XXXXXXXX}

レベル: 0

説明: オプション 00000000 を ON、OFF、または指定された値 XXXXXXXX に設定するように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。1つの CCCCCCCC コ

マンドで複数のオプションが指定された場合は、指定されたオプションごとに1つずつ、複数の SMC0190 メッセージが発行されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

注記:

SMC0190 メッセージは、MSGDef VERBose(ON) が指定されている場合にのみ表示されます。

SMC0191

CCCCCCCC 00000000 set to {ON|OFF|XXXXXXXX} for entry EEEEEEEE

レベル: 0

説明: CCCCCCCC のエントリ EEEEEEEE に対して、オプション OOOOOOOO を ON、OFF、または指定された値 XXXXXXXX に設定するように指定する CCCCCCCC コマンドが入力されました。1つの CCCCCCCC コマンドで複数のオプションが指定された場合は、指定されたオプションごとに1つずつ、複数の SMC0191 メッセージが発行されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

注記:

SMC0191 メッセージは、MSGDef VERBose(ON) が指定されている場合にのみ表示されます。

SMC0192

Specific volume lookup failure(s) occurred for job JJJJJJJJ

レベル: 4

説明: ジョブ JJJJJJJJ での特定のボリュームに対する割り当て処理中に、ボリューム検索で通信障害が示されました。ALLOCDef FAILNOINFO オプションが指定されていませんでした。

システムアクション: 処理が続行されます。割り当てが、そのボリュームと互換性のないデバイスに宛てられる可能性があります。

ユーザーの対応: 通信障害の原因を特定して修正します。

SMC0193

Scratch volume lookup failure(s) occurred for job JJJJJJJJ

レベル: 8

説明: ジョブ JJJJJJJJ でのスクラッチボリュームに対する割り当て処理中に、ボリューム検索で通信障害が示されました。ALLOCDf FAILNOINFO が OFF または SPECIFIC に設定されていました。

システムアクション: POLicy、TAPEREQ、ユーザー出口、または DFSMS ACS ルーチンで指定されたポリシーを使用して割り当てを続行します。

ユーザーの対応: 通信障害の原因を特定して修正します。ポリシー情報が、スクラッチボリュームを適切な TapePlex およびメディアに割り当てるために十分であることを確認します。

SMC0194

TAPEPLEX Pppppppp from [POLICY|user exit] conflicts with ESOTERIC EEEEEEEE from [POLICY/TAPEREQ|user exit] for job JJJJJJJJ

レベル: 8

説明: SMC POLicy またはユーザー出口によって指定された TapePlex 名が、POLicy/TAPEREQ またはユーザー出口のエソテリック名によって暗黙的に指定されているものと異なります。

注記:

SMC0194 メッセージは、SMC MSGDef VERBose(ON) が指定されている場合にのみ表示されます。

システムアクション: SMC は、ボリューム情報にどの TapePlex を使用すべきかを、まず POLicy TapePlex、次に POLicy または TAPEREQ のエソテリック名 (エソテリック内のすべてのドライブが1つのライブラリ内に存在する場合)、次にユーザー出口の TapePlex またはサブシステム名、最後にユーザー出口から返されたエソテリック名によって暗黙的に指定されている TapePlex に基づいて判定します。このエソテリック名は、それがポリシーまたはユーザー出口の TapePlex 名と競合する場合でも、引き続きドライブ除外プロセスで使用されます。

ユーザーの対応: 適用可能な POLicy、TAPEREQ、およびユーザー出口の値を見直して、意図したポリシーが指定されるようにします。

SMC0195

READ processing started for {SMC PARMS|SMCCMDS|data set name}

レベル: 0

説明: SMC が、指定されたファイル内のコマンドの処理を開始しました。

注記:

SMC0195 メッセージは、SMC MSGDef VERBose(ON) が指定されている場合にのみ表示され
ます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0196

READ processing complete; RC=nn from {SMCPARMS|SMCCMDS|data set name}

レベル: 0

説明: SMC が、指定されたファイル内のコマンドの処理を完了しました。どのコマ
ンドも、最大のリターンコードは *nn* です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0197

*WARNING: POLICY Pppppppp is specified; ignoring {esoteric subpool|
subsystem|TapePlex} from user exit for job JJJJJJJJ*

レベル: 8

説明: 割り当てユーザー出口がエソテリック、サブプール、TapePlex、またはサブシ
ステムデータを返しましたが、ポリシー *PPPPPPPP* が有効になっています。

システムアクション: このポリシーが情報の唯一のソースであるため、ユーザー出口か
ら返されたデータは無視されます。

ユーザーの対応: 指定されたポリシーに、適用すべきすべてのポリシー情報が含まれ
ていることを確認します。

SMC0200

ALLOC event ignored

レベル: 8

説明: SMC テープ割り当てサービスを必要としていた SMC から READ コマンドが指定されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: ディスクデータセットに対して READ コマンドを発行します。

SMC0201*{TAPEREQ|CONTROL} statements can only be input using the TREQDEF command*

レベル: 0

説明: TAPEREQ 制御文が TREQDEF コマンドではなく、SMC READ コマンドを使用して読み取られました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: TAPEREQ 制御文を読み取るには、TREQDEF コマンドを発行します。

SMC0202*Update error not applied because {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY for entry PPPPPPP already exists.*

レベル: 0

説明: 間違った POLICY 文が入力されました。SCRATCH または SPECIFIC ポリシーがすでに存在するため、更新エラーは適用されませんでした。SCRATCH または SPECIFIC ポリシーが存在しなかったとしたら、POLICY が入力され、エラーとしてフラグが付けられていました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: POLICY コマンドを修正して再発行します。

SMC0203**COMMTEST:**

```
JOB=JJJJJJJJ IIIIIIII TASK=XXXXXXXXXXXXXXXXX {MSG=XXXXXXXXX}
{TAPEPLEX|STORMNGR}=LLLLLLLL {SUBSYSTEM=AAAA|SERVER=SSSSSSSS}
```

```
REQUEST=FFFF
{Client {IP=NNN.NNN.NNN.NNN} socket=NN port={nnnn|ANY}}
{Server IP=NNNN.NNNN.NNNN.NNNN port=nnnn}
{Bytes out=nnnn in=nnnn}
{Error=EEEE....EEEE}
{Reason=RRRR....RRRR}
{Response from STK HTTP server follows: HHHH...HHHH}
Current LIBPATH status=
  {active|inactive|never active|disabled}
SMC comm RC=nnnn elapsed time=nn.nn
```

レベル: 0

説明: COMMtest コマンドが入力されました。SMC0203 メッセージは、試行された通信パスごとに表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: SMC comm RC が 0 に等しくない場合は、「Error=」と「Reason=」の出力行で指定されたテキストを確認します。この情報を使用して、問題を修正し、COMMTEST コマンドを再送信します。

SMC0204

No eligible COMMPATH(s) found

レベル: 0

説明: COMMtest コマンドが入力されましたが、指定された TAPEPlex、STORMNGR、SERVer、ステータスの各パラメータにより、テストのための適格な通信パスが選択されませんでした。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: COMMtest コマンドを修正して再発行します。

SMC0205

Disabling bind to PORTRANGE nnnn-nnnn; any ephemeral port will be used

レベル: 0

説明: TCPip PORTrange (OFF) コマンドが入力されました。ソケットは nnnn-nnnn の固定されたポート範囲にバインドされなくなりますが、任意の一時的なポートが使用されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0206

No PORTRANGE currently defined

レベル: 0

説明: TCPip PORTrange (OFF) コマンドが入力されましたが、現在、どのアクティブな PORTrange も無効にするように指定されていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0207

Specified SERVER SSSSSSSS not {found|defined for TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT}

レベル: 0

説明: 特定の TapePlex または STORMNGR とサーバーを指定する COMMtest コマンドが入力されました。ただし、そのサーバーが SMC に対して定義されていないか、指定された TapePlex または STORMNGR に対して定義されていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: COMMtest コマンドを修正して再発行します。

SMC0208

NEW TAPEPLEX=PPPPPPP1 MODEL=MMMMMMM1 for device XXXX OLD TAPEPLEX=PPPPPPP2 MODEL=MMMMMMM2

レベル: 8

説明: TapePlex 所有権を TapePlex PPPPPPP2 から変更したか、またはそのモデルタイプをモデル MMMMMMM2 から MMMMMMM1 に変更したデバイス XXXX に対する TapePlex PPPPPPP1 からの構成照会応答が受信されました。

システムアクション: 処理が続行されます。SMC は、TapePlex 所有権とモデルを新しい値に設定します。

ユーザーの対応: このメッセージは、2 つ以上の TapePlex に対して同じデバイスアドレスが定義されていて、一方の TapePlex から受信された構成情報がもう一方の

TapePlex の構成情報によって置き換えられたことを示している可能性があります。この場合は、そのデバイスに対して、どちらの TapePlex がこのホスト上のデバイスの所有者であるかを指定する UNITAttr コマンドを発行します。

SMC0209

HTTP Server {already started | already stopped} not active for update

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArt または HTTP STOp コマンドが発行されましたが、HTTP サーバーは、すでに適切な動作状態にあるか、またはそのチューニングパラメータを更新するために使用できません。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC0210

HTTP Server commencing startup

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArt コマンドが発行されました。

システムアクション: SMC HTTP サーバーの起動を続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0211

HTTP Server startup complete

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArt コマンドが発行され、HTTP サーバーはその初期化を完了して、受信クライアント要求を処理する準備ができました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0212

HTTP Server startup failure [;auto restart will be attempted]

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArT コマンドが発行されましたが、エラーのために SMC HTTP サーバーを初期化できませんでした。

システムアクション: SMC HTTP サーバーの起動は終了します。TCP/IP がアクティブでないためにサーバーの起動が失敗した場合、SMC は HTTP サーバーを指定されたポート上で定期的に起動しようとしています。

ユーザーの対応: 以前のメッセージをチェックして、SMC HTTP サーバーを初期化できなかった理由を特定します。

SMC0213

HTTP Server commencing shutdown

レベル: 0

説明: SMC HTTP STOp コマンドが発行されました。

システムアクション: SMC HTTP サーバーのシャットダウンを続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0214

HTTP Server shutdown complete

レベル: 0

説明: SMC HTTP STOp コマンドが発行され、HTTP サーバーはそのシャットダウンを完了しており、これ以上の受信クライアント要求は処理されません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0215

HTTP Server status:

```
HTTP Server started at mon dd hh:mm:ss
PORT=nnnnn IP=nnn.nnn.nnn.nnn (IPv4|IPv6)
HSIOTASKS=n
---- Interval Statistics ----
Active connects : curr=nnnn high=nnnn
Connect rate/min: curr=nnnn last=nnnn high=nnnn ave=nnnn
I/O req rate/min: curr=nnnn last=nnnn high=nnnn ave=nnnn
```

レベル: 0

説明: SMC HTTP LIst コマンドが発行されました。

システムアクション: 開始日時、ポート番号と IP アドレス (既知の場合)、開始された I/O サブタスクの数、およびパフォーマンスに関する間隔統計の概要を含む SMC HTTP サーバーのステータスが表示されます。

間隔統計には、アクティブな接続要求の合計数、1 分当たりの接続速度、および 1 分当たりの合計 I/O 速度が表示されます。

SMC HTTP LIst DETail が指定された場合は、ソケット I/O の統計、HTTP I/O サブタスクのステータス、および CGI モジュールの統計も表示されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0216

HTTP Server accept {error|warning|info}:

Socket=nn, port=nnnn

{TCPNAME=TTTTTTTT}{, ADSNAME=AAAAAAAA}

{ERROR=EEEEEEEE}

(REASON=RRRRRRRR}

SMC comm RC=nnn

レベル: 重要度に応じて 0、4、または 8

説明: SMC HTTP リスナーサブタスクが、指定されたソケットおよびポート上でソケットエラーを検出しました。各メッセージは、重要度に応じて「error」、 「warning」、または「info」で区別され、それぞれメッセージレベル 0、4、および 8 で生成されます。

システムアクション: 受信クライアント要求は処理されません。要求元の SMC クライアントは、その SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定に応じて、この同じサーバーまたは別のサーバーに対して要求を再試行します。

ユーザーの対応: このあとに SMC0212 または SMC0219 メッセージが生成される場合は、SMC HTTP サーバーがアクティブでなくなっているため、続けて SMC HTTP START コマンドが必要です。

SMC0217

HTTP Server socket {error|warning|Info}:

Socket=nn {, CGI module=MMMMMMMM}{, from hostid=HHHH)

{, job=JJJJJJJJ}

{ERROR=EEEEEEEE}

(REASON=RRRRRRRR}

SMC comm RC=nnn

レベル: 0、4、または 8

説明: SMC HTTP ソケット I/O サブタスクが、指定された要求元の指定されたソケット上でエラーを検出しました。各メッセージは、重要度に応じて「error」、「warning」、または「info」で区別され、それぞれメッセージレベル 0、4、および 8 で生成されます。

システムアクション: 接続されたソケットはシャットダウンされるため、入力要求が正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは、その SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定に応じて、この同じサーバーまたは別のサーバーに対して要求を再試行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0218

HTTP Server {listener | socket I/O} subtask started

レベル: 0

説明: SMC HTTP STArt コマンドが発行されたか、または回復が試行され、示された SMC HTTP サーバーサブタスクが開始されています。

システムアクション: SMC HTTP サーバーの起動または回復を続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0219

HTTP Server {listener | socket I/O} subtask terminated; CCCCCC

レベル: 0

説明: 示された SMC HTTP サーバーサブタスクが CCCCCCCC で指定された理由のために異常終了しています。

システムアクション: SMC HTTP サーバーはエラーのタイプに応じて、終了するか、または回復を試みます。

ユーザーの対応: なし

SMC0220

FFFFFFFF invocation error:

Socket=nn {, CGI module=MMMMMMMM}{, from hostid=HHHH)

{, job=JJJJJJJJ}

{ERROR=EEEEEEEE}

SMC comm RC=nnn

レベル: 0

説明: 示された SMC HTTP サーバーサブタスクが CCCCCCCC で指定された理由のために異常終了しています。

システムアクション: SMC HTTP サーバーはエラーのタイプに応じて、終了するか、または回復を試みます。

ユーザーの対応: なし。

SMC0221

CGI module MMMMMMMM abend count=NN.

レベル: 0

説明: CGI モジュール MMMMMMMM の NN 回目の異常終了が発生しました。

システムアクション: 接続されたソケットはシャットダウンされるため、入力要求が正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは、その SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定に応じて、この同じサーバーまたは別のサーバーに対して要求を再試行します。

ユーザーの対応: Oracle/StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0222

SIMULATE command results: CCCC...CCCC

レベル: 0

説明: CGI モジュール *MMMMMMMM* で *NN* 回目の異常終了が発生し、許可される異常終了カウントを超えました。このモジュールは非アクティブ化されます。

システムアクション: 接続されたソケットはシャットダウンされるため、入力要求が正しく処理されない可能性があります。要求元の SMC クライアントは、その SMC クライアントの TAPEPLEX と SERVER の設定に応じて、この同じサーバーまたは別のサーバーに対して要求を再試行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0223

このメッセージは、次の 2 つの形式のいずれかで表示されます。

POLICY VALIDATE results:

CCCC...CCCC

POLICY VALIDATE RC={4|8}; {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY name reason

または:

POLICY VALIDATE RC={4|8}; {SCRATCH|SPECIFIC} POLICY name reason

レベル: 0

説明: SMC POLICY VALIDATE コマンドが発行されました。

システムアクション: SMC POLICY VALIDATE の結果が表示されます。

- 最初のバージョンは Llst キーワードが入力された場合に表示され、POLICY 属性を検証結果とともに一覧表示します。
- 2 番目のバージョンは Llst キーワードが入力されていない場合に表示され、検証リターンコードが 4 または 8 になったポリシーオブジェクトごとに 1 つのサマリ一行のみが表示されます。

ユーザーの対応: RC=4 または 8 の理由をすべて調査して、警告エラーの原因になっている基盤となる POLICY または環境条件を修正します。

SMC0224

POLICY VALIDATE complete; highest RC={0|4|8}

レベル: 0

説明: SMC POLICY VALIDATE コマンドが発行されました。

システムアクション: このメッセージは SMC0223 メッセージのあとに発行され、検証されたすべてのポリシーに対する最大の RC を表示します。

ユーザーの対応: なし。最大の RC が 0 より大きい場合は、前の SMC0223 メッセージを参照してください。

SMC0225

Mount for job jobname rejected by the TAPEPLEX tapeplex-name; SUBPOOL subpool-name invalid

レベル: 0

説明: TAPEPLEX *tapeplex-name* がジョブ *jobname* からのマウントを拒否しました。マウント拒否の理由が表示されます。

システムアクション: マウントは実行されません。ジョブは続行できません。

ユーザーの対応: 示されたサブプールは、このジョブの SMC ポリシーで指定されました。ただし、指定された SUBPOOL が HSC サーバーに対して定義されていないか、または現在のホストが HSC POOLPARM で指定された SUBPOOL にアクセスできません。このホストが指定されたサブプールにアクセスできるように HSC POOLPARM の定義を修正するか、またはこのホストからアクセスできる有効なサブプール名を要求するように SMC ポリシーを修正します。

SMC0226

*Path switch from SERVER=SSSSSSSS to PPPPPPPP for TAPEPLEX|
STORMNGR=TTTTTTTT*

レベル: 4

説明: SMC が、TapePlex または STORMNGR *TTTTTTTT* への通信パスをセカンダリサーバー *SSSSSSSS* からプライマリサーバー *PPPPPPPP* に自動的に切り替えました。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0227

Keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command ignored; RRRRRRRR

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドで、受け入れられなくなったキーワードが指定されました。キーワード KKKKKKKK は、この製品の現在のバージョンで廃止されているか、または現在の処理環境では受け入れられない可能性があります。

システムアクション: キーワード KKKKKKKK とそれに関連付けられたすべての値が破棄されますが、コマンドの残りの部分は引き続き処理されます。

ユーザーの対応: このキーワードが現在のリリースで廃止されている場合は、今後のリリースでエラーとしてフラグが付けられ、コマンド全体が無効にされる可能性があるため、コマンドからこのキーワードを削除します。

SMC0228

Copyright (C) 1991, 2010, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

レベル: 0

説明: このメッセージは、SMC の初期化中に発行されます。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0229

Invalid value VVVVVVV for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: SMC が、無効な値 VVVVVVV を指定するコマンドを検出しました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドデータセット内の構文が正しいことを確認するか、または修正されたコマンドを入力します。

SMC0230

IEFJFRQ exit smcxJFRQ is inactive.SMC is unable to influence tape allocation

レベル: 0

説明: 出口ルーチン `smcxJFRQ` がそのエラーしきい値に達し、オペレーティングシステムによって非アクティブにされました。

`smcxJFRQ` 中の `smcx` は、SMC に属するサブシステム名に置き換えられます。このルーチンが非アクティブにされたときに、IBM メッセージ CSV430I が発行されました。メッセージ CSV430I とともに、このジョブの SVC ダンプが実行された可能性があります。

ダンプのタイトルは次のようになります。

```
DUMP TITLE=COMPON=SSI,COMPID=5752SC1B6,ISSUER=IEFJSARR,
        MODULE=IEFJRASP,ABEND=aaaa,REASON=rrrrrrrr
```

システムアクション: SMC は、テープ割り当てを正しいドライブに宛てることができません。SMC は 1 分ごとに SMC0230 を削除し、出口ルーチンの状態を再チェックします。出口ルーチンが依然として非アクティブである場合は、SMC0230 が再発行されます。

ユーザーの対応: その出口が非アクティブになった理由を調査します。出口を表示するには、次の MVS コマンドを使用します。

```
DISPLAY PROG,EXIT,EXITNAME=IEFJFRQ,DIAG
```

出口の状態は、次のいずれかの方法でアクティブにすることができます。

- MVS SETPROG コマンドを使用します。

```
SETPROG EXIT,MODIFY,EX=IEFJFRQ,MOD=smcxJFRQ,STATE=ACTIVE
```

- SMC を停止して再起動します。

失敗したジョブの SVC ダンプとジョブログは保持してください。失敗の分析については、Oracle ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC0231

MTP DDDD: RRRRRRRR

レベル: 0

説明: SMC が、デバイス `DDDD` に対して保留中のマウントを検出しましたが、そのデバイスの最終 HSC/VTCS メッセージ応答を待機している SMC マウントサブタス

クが存在しません。指定された理由 *RRRRRRRR* は、最終 HSC/VTCS マウント応答メッセージであるか、または SMC VTD マウントモニターからのものです。

システムアクション: 次のいずれかを実行します。

- 次のメッセージの場合:

```
SMC0231 MTP DDDD: Monitor detected missed mount for {job=JJJJJJJJ,}
volser=VVVVVV
```

保留中のマウントが SMC VTV マウントモニターによって検出され、VTV *VVVVVV* のマウントが自動的に再処理されるため、最終 HSC/VTCS メッセージ応答を待機するようになります。

- 次のメッセージの場合:

```
SMC0231 MTP DDDD: SLSnnnn message
```

保留中のマウントの状態は、最終 HSC/VTCS *SLSnnnn* メッセージによって発生します。この場合は、VTV マウントが自動的に再処理され、別の HSC/VTCS 最終応答を待機します。ただし、「実」マウントは、手動の介入が必要になっている可能性があるため自動的に再処理されません。

ユーザーの対応: *DDDD* が (VTD ではなく) 「実」デバイスを表している場合は、理由 *RRRRRRRR* によって示されているエラーを修正し、SMC RESYNChronize コマンドを発行します。

次の点に注意してください。

- 最終 HSC/VTCS マウント応答の *SLSnnnn* メッセージにデバイスアドレスが表示されることがあります。ドライブホスト機能が使用され、HSC/VTCS サーバーがドライブマッピングの異なるリモートホスト上で動作している場合は、理由 *RRRRRRRR* に示されているデバイスアドレスがローカルデバイス *DDDD* と同じではない可能性があります。
- SMC0231 メッセージはアクションメッセージであり、デバイス *DDDD* のマウントが保留中でなくなるまで DOM 処理されません。

SMC0232

Warning: No TAPEPLEX command processed

レベル: 4

説明: SMC サブシステムが初期化を完了しましたが、TAPEPLEX コマンドが SMCPARMS または SMCCMDS データセットのどちらにも見つかりませんでした。SMC は、MVS SSVT をスキャンすることによってローカル TAPEPLEX の存在を検出しようとしています。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: ローカル TAPEPLEX であっても、SMC TAPEPLEX コマンドを使用して明示的に定義することをお勧めします。

SMC0233

SWAPLIMIT=NNNNNN exceeded; swap processing cancelled

レベル: 0

説明: 現在のジョブステップ volser スワップシリーズのシステムによって開始されたスワップイベントの数が、MOUNTDef SWAPLimit(*nn*,*bypassReply*) コマンドによって指定されている許可される最大数を超えています。

システムアクション: SWAPLIMIT *bypassReply* が OFF に設定されている場合は、IGF500D または IGF509D メッセージに NO で応答します。SWAPLimit *bypassReply* が ON に設定されている場合は、DDR スワップ処理を続行します。

ユーザーの対応: IGF500D または IGF509D メッセージが引き続き未処理であり、かつオフラインの互換デバイスが存在する場合は、それをオンラインに変更し、メッセージ IGF500D または IGF509D にそのデバイス番号で応答します。それ以外の場合は、メッセージ IGF500D または IGF509D に NO と応答してスワッププロセスを停止します。

SMC0234

WARNING: using swap to device=CUU1 instead of SMC selected swap to device=CUU2

レベル: 0

説明: オペレータが、SMC 拡張スワッププロセスによって選択されたものとは異なるデバイスアドレスを含む SMC SMC0110 拡張スワップメッセージに応答するのではなく、IBM IGF500D または IGF509D メッセージに応答しました。

システムアクション: スワップを続行しますが、このデバイスは互換性がない可能性があります。

ユーザーの対応: もっとも互換性のあるデバイスがスワップ先のデバイスとして確実に選択されるようにするために、IBM IGF500D または IGF509D メッセージではなく、SMC SMC0110 拡張スワップメッセージに応答します。

SMC0235**WARNING:**

low scratch; TAPEPLEX=TTTTTTTT subpool=SSSSSSSSSSS

{med=MMMMMMMM|med/rt=MMMMMMMM/RRRRRRRR}

loc={VSM|ACS=NN|LSM=NN:NN} lbl={AL|NL|SL} vols=NNNN

レベル: 0

説明: 指定された場所にある、指定されたメディア、記録技法、およびラベルタイプのサブプール SSSSSSSSSSSS 内にはスクラッチボリュームが NNNNN 個しか残っていません。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: 指定されたサブプールにスクラッチボリュームを追加します。

SMC0236

CCCCCCCC command RC exceeds MAXRC=nn at startup

レベル: 0

説明: SMC が MAXRC 起動パラメータで起動され、SMC の初期化中に、SMC CCCCCCCC コマンドが MAXRC の指定を超える完了コードを返しました。

システムアクション: SMCPARMS および SMCCMDS データセットで指定されたコマンドの残りの部分について処理を続行します。ただし、SMC サブシステムの初期化は、SMCPARMS および SMCCMDS 処理の完了時に SMC0237 メッセージで終了します。

ユーザーの対応: 指定された CCCCCCCC コマンドを修正し、SMC を再起動します。

注記:

前の SMC0236 メッセージには関係なく、SMCPARMS および SMCCMDS データセット内のすべての SMC コマンドが起動時に処理されるため、起動時には複数の SMC0236 メッセージが生成される可能性があります。

SMC0237

SMC terminating due to {MAXRC=nn exceeded|PLEXRC=nn exceeded|fatal error} at startup

レベル: 0

説明: SMC の起動時に致命的エラーが検出されたか、あるいは SMC が MAXRC パラメータで起動され、SMCPARMS または SMCCMDS データセット内の (SMC0236 メッセージによって示されている) コマンドが指定された MAXRC 値を超えたか、または起動時にサブシステム自動再同期が指定された PLEXRC 値を超えました。

システムアクション: SMC サブシステムまたは SMCUSIM ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: エラー状態にあるコマンドを示す SMC0236 メッセージ、見つからないコマンド文を示す SMC0232 または SMC0241 メッセージ、あるいは起動時の TapePlex ステータスを示す SMC0167 メッセージについて SMC ログを確認します。示されたコマンドを修正または挿入するか、あるいは必要な TapePlex がアクティブであることを確認し、SMC を再起動するか、または SMCUSIM 要求を再送信します。

SMC0238

SMC subsystem CCCC not already active; RESET specified; startup continuing

レベル: 0

説明: SMC が RESET 起動パラメータで起動されましたが、SMC は前回正常に停止したように見えるため、RESET オプションは不要になっています。

システムアクション: SMC サブシステムは、初期化を続行します。

ユーザーの対応: RESET 起動パラメータを削除します。RESET 起動パラメータは、StorageTek ソフトウェアサポートの指示でのみ使用するようになっています。

SMC0239

*LIMIT settings:
MAXCLIENTS=OFF|nnn
MAXTASKS=OFF|nnn
MAXIDLE=OFF|nnn
AUTO=OFF|ON*

レベル: 0

説明: LIMIT LIST コマンドが発行されました。MAXCLIENTS、MAXTASKS、MAXIDLE、および AUTO の現在の値が表示されます。SMC がデフォルト設定を使用している場合は、「OFF」が表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0240

CCCCCCCCCCCCCCCC caused all devices to be excluded

レベル: 8

説明: SMC 割り当てコンポーネントがジョブ JJJJJJJ のステップ SSSSSSS DD DDDDDDDD に除外条件 CCCCCCCCCCCCCC を適用したときに、現在の除外レベル EDL にデバイスが残っていなかったため、このジョブは割り当てに失敗しました。

除外条件については、SMC 出版物にあるドライブ除外レベルの表を参照してください。詳細は、メッセージ SMC0043 の説明を参照してください。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: メッセージ SMC0043 を参照してください。

SMC0241

WARNING: STORMNGR entry SSSSSSS has no SERVER(s) defined

レベル: 0

説明: SMC の起動プロセス中に STORMNGR コマンドが入力されました。SMCPARMS および SMCCMDS データセットのすべてのコマンドが処理されたあと、指定された STORMNGR には、関連付けられた SERVER 通信パスが定義されていません。

システムアクション: このメッセージにより、SMC の起動時にリターンコード 8 が返されるため、SMCBINT プログラムパラメータ MAXRC(0|4) が指定されている場合は SMC を初期化できなくなる可能性があります。

ユーザーの対応: SMCCMDS または SMCPARMS データセットの STORMNGR 定義のあとに SERVER 定義を追加します。

SMC0242

Cannot add STORMNGR CCC...CCC before TAPEPLEX(es)

レベル: 0

説明: STORMNGR コマンドは、TAPEPLEX コマンドのあとに入力する必要があります。

システムアクション: 処理が続行されます。

ユーザーの対応: TAPEPLEX コマンドは、STORMNGR コマンドの前に入力します。

SMC0243

CCCCCCCC command specifies {TAPEPLEX|STORMNGR} NNNNNNNN; but NNNNNNNN is a {STORMNGR|TAPEPLEX} [at line NNNN of {SMCCMDS|SMCPARMS}]

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドが入力され、示された TapePlex または Sun Storage Manager を指定しました。ただし、名前 NNNNNNNN が、記述されているエンティティのタイプではありません。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: エンティティタイプを TAPEPLEX から STORMNGR またはその逆に変更し、コマンドを再発行します。

SMC0244

METADATA command not supported for {non-UII origin|non-XML responses|command CCCC}

レベル: 0

説明: METADATA コマンドが処理されましたが、そのコマンドは次のいずれかの理由で無効です。

- non-UII origin

このコマンドがオペレータコンソール、あるいは SMCPARMS または SMCCMDS データセットから受信されたことを示します。METADATA コマンドは、UII インタフェースからのみ許可されます。つまり SMCUUUI または SMCUSIM ユーティリティからか、あるいは UII プログラムインタフェースからのどちらかです。

- non-XML responses

この METADATA コマンドが UI インタフェースから受信されたが、XML 応答が要求されなかったことを示します。METADATA は、XML 応答としてのみ有効です。

- command CCCC

指定されたコマンド CCCC が XML 出力を生成しないため、メタデータが使用できないことを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: METADATA コマンドを修正します。

SMC0245

Code NNNN (X'XXXX'): SSSSSSSSSS

または:

Code NNNN (X'xxxx'):

Reason: SSSSSSSS

Explanation: SSSSSSSS

レベル: 0

説明: 理由コード NNNN または 16 進数の理由コード XXXX を指定する Display RC コマンドが処理されました。対応する理由が表示されます。DETAIL オプションが指定された場合は、理由コードの説明も表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0246

HTTP Server initapi error:

{TCPNAME=TTTTTTTT}{, ADSNAME=AAAAAAAA}

{ERROR=EEEEEEEE}

{REASON=RRRRRRRR}

SMC comm RC=nnn

レベル: 0

説明: SMC HTTP サーバーの初期化中にエラーが検出されました。エラー (EEEEEEEE) は TCP/IP リターンコード (ERRNO) であり、理由 (RRRRRRRR) は TCP/IP 理由コードです。

システムアクション: HTTP サーバーの初期化は 8 のリターンコードで終了します。MAXRC(4) が有効である場合は、SMC が終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正し、SMC HTTP サーバーコンポーネントまたは SMC を再起動します。

SMC0247

Mount failed for write-protected VTV VVVVVV on drive DDDD

レベル: 8

説明: 書き込み保護状態にある VTV を変更しようとしてしました。

状況としては、その VTV が、VTCS 7.0 以上を実行している別の TAPEPLEX から Cross TAPEPLEX Replication 経由で受信されたことが考えられます。VTV が CTR によって受信された場合は、VTV のデータ整合性を保持するために、その VTV が書き込み保護状態にされました。おそらく障害回復テストジョブが、その CTR VTV を変更しようとしてしました。

システムアクション: ボリュームはマウントされません。

ユーザーの対応: その VTV が書き込み保護状態にある理由を調査します。

VTV が CTR 経由で受信された場合、このメッセージは、現在の障害回復計画の見直しと修正が必要になる可能性があることを示します。変更される可能性のある CTR VTV を実際の障害で使用しようとしていた場合、このような VTV の状態は認識されないことがあるため、障害回復が十分に機能しない可能性があります。アプリケーションを実行する前に、既存のボリュームを変更するのではなく新しいボリュームが作成されるように、あるいは変更されているデータセットがバックアップから新しい VTV に復元されるように、アプリケーションを変更するようにしてください。

SMC0248

TCP/IP is inactive; host name XXXXXXXX resolution deferred [at line NNNN of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: TCP/IP が非アクティブである間に HOST パラメータを指定した SERVER コマンドが処理されたため、SMC はホスト名を解決できませんでした。

システムアクション: この SERVER コマンドは受け入れられます。TCP/IP がアクティブになると、SMC はホスト名を解決しようとします。解決に失敗した場合は、エラーメッセージが生成され、サーバーとの通信がそれ以上試みられることはありません。解決に成功した場合、SMC は、解決された IP アドレスを使用して通信します。

ユーザーの対応: TCP/IP を起動して、SMC がサーバーと通信できるようにします。

SMC0249

Warning: No available ports condition detected

レベル: 0

説明: このメッセージは、SMC が TCPIP コマンドで定義された PORTRANGE 内の空きポートを見つけることに失敗したあと、その定義された PORTRANGE が不足している可能性があることを示すために定期的に発行されます。

システムアクション: システムは待機してから、そのトランザクションを複数回再試行します。いずれの再試行も成功しなかった場合は、「IP no free ports in PORTRANGE」の理由で SMC0128 メッセージが発行されます。このメッセージが発行されない場合は、再試行が成功し、空きポートが取得されたことを意味します。

ユーザーの対応: ポート数を増やした PORTRANGE を指定して TCPIP コマンドを発行します。状態が変化しない場合は、StorageTek サポートに連絡してください。

SMC0250

MTP DDDD job=JJJJJJJJ volser=VVVVVV since MMM DD HH:MM:SS YYYY

レベル: 0

説明: このメッセージは、MONITOR コマンドの MISSEDMNT パラメータの設定に基づいて発行されます。MISSEDMNT が 0 以外の値に設定されている場合、このメッセージは、保留中ではあるが、まだ完了していないすべてのマウントについて指定された間隔で生成されます。

システムアクション: なし。SMC マウントモニターは、可能であれば、このマウントを再処理しようとしています。

ユーザーの対応: なし

SMC0251

IOS003A limit exceeded for volser VVVVVV on drive DDDD

レベル: 0

説明: ドライブ *DDDD* 上の *volser VVVVVV* のマウントを再処理しようとするマウントモニターによる試みが、MOUNTDEF コマンドで指定された IOS003A の制限を超えました。

システムアクション: ボリュームはマウントされません。

ユーザーの対応: HSC マウントの問題の原因を調査します。問題を解決したあと、必要に応じて SMC RESYNChronize コマンドまたは HSC MOUNT コマンドを発行します。

SMC0252

All devices marked ineligible for job JJJJJJJJ step SSSSSSSS due to ALLOCFAIL policy

レベル: 0

説明: ジョブステップに適用可能なポリシーに対して ALLOCFAIL パラメータが指定されました。

システムアクション: SMC は、すべてのデバイスを割り当てに対して不適格としてマークします。このジョブは MVS によって失敗させられるか、または JES3 によって明示的に取り消されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0260

TAPEPLEX|STORMNGR CCCCCCC comppath PPPPPPP inactive; RC=RRRR, EEEEEEEEEEE

レベル: 0

説明: SMC が、指定された通信パス *PPPPPPP* を使用して TAPEPLEX または STORMNGR と通信できません。ここで、*PPPPPPP* はサーバー名または (local) で

す。値 *RRRR* は 10 進数のリターンコードであり、変換された説明 *EEEEEEEEEEEE* が付いています。

システムアクション: このメッセージは、定義されているローカルの通信パスまたは *SERVER* ごとに発行され、SMC が *TAPEPLEX* と通信できないかぎりスクロールできません。

ユーザーの対応: 少なくとも 1 つの通信パスについて、報告されたエラーを修正します。

SMC0261

TAPEPLEX|STORMNGR CCCCCCCC inactive; no available communication paths

レベル: 0

説明: *TAPEPLEX* または *STORMNGR CCCCCCCC* に定義された通信パスがないか、またはすべてのパスが無効のステータスになっています。

システムアクション: *TAPEPLEX* または *STORMNGR* への通信は試行されません。

ユーザーの対応: 通信パスを追加するか、または既存のローカルパスまたは *SERVER* を有効にします。

SMC0262

ROUTE waiting for TAPEPLEX|STORMNGR=TTTTTTTT, SERVER=SSSSSSSS, UII request ID=XXXXXXXXXXXXXXXX, command=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: 指定された *TAPEPLEX TTTTTTTT* に *ROUTE* コマンドが発行されました。ただし、応答が 20 秒以内に受信されませんでした。SMC0262 メッセージはまた、要求に使用された *SERVER*、割り当てられた *UII* 要求 ID、およびコマンド動詞も示します。

システムアクション: SMC は、ふたたび応答を待ちます。応答が受信されない場合、以降の SMC0262 メッセージは 10 分間隔で生成されます。

ユーザーの対応: なし

SMC0267

SMC SSSS status: start time=MON DD HH:MM:SS YYYY; release=RR

レベル: 0

説明: 入力コマンドへの応答です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0268

Unrecognized XML tag=TTTTTTTT for command=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: XML 形式の入力要求に、このコマンドでは有効として認識されなかったタグが含まれていました。

このメッセージは、現在のソフトウェアレベルが以前のレベルでは有効であったタグをサポートしていないか、または新しいタグをサポートするようにアップグレードされていない場合に表示されることがあります。

システムアクション: パラメータは無視されます。

ユーザーの対応: コマンドが正しく指定されていることを確認します。

SMC0269

Value=VVVVVVV is invalid type for keyword or tag=KKKKKKKK in command=CCCCCCCC [at line NNNN of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 入力コマンドに、必要なタイプではないキーワードまたは XML タグの値 (たとえば、有効な数値ではないか、またはリストを許可しないパラメータに対するリスト) が含まれていました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: エラーを修正し、要求を再度指定します。

SMC0270

Keyword or tag=KKKKKKKK may not have a value in command CCCCCCCC [at line NNNN of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 入力コマンドに、値を許可しないキーワードまたは XML タグに対する値が含まれていました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: エラーを修正し、要求を再度指定します。

SMC0271

Length of value=VVVVVVV is invalid for keyword or tag=KKKKKK in command CCCCCCCC [at line NNNN of SMCCMDS|SMCPARMS]

レベル: 0

説明: 入力コマンドに、必要な長さより短い、または長いキーワードまたは XML タグの値が含まれていました。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: エラーを修正し、要求を再度指定します。

SMC0272

*Error parsing XML values for XML tag=TTTTTTTT in command=CCCCCCCC;
RC=NNN*

レベル: 0

説明: XML コマンドに、表示されたタグに関連した値または解析エラーが含まれていました。解析のリターンコードは、診断のためにメッセージに含まれています。

システムアクション: 処理が続行されます。コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: エラーを修正し、要求を再度指定します。

SMC0276

The smf_token does not point to a valid SMF record

レベル: 0

説明: smf_token が無効です。有効な SMF レコードを指していません。次のいずれかが当てはまります。

- アドレスの部分が内部バッファの範囲外です。
- トークンの時間または日付の部分が、内部バッファの示された位置にあるデータに一致しません。これは、内部バッファがラップしているときに古いトークンが使用されたために発生することがあります。

システムアクション: get_stats 要求は拒否されます。

ユーザーの対応: 有効なトークンを使用して要求を再送信します。0 のトークンを指定すると、内部バッファ内の最初の SMF レコードが返されます。

SMC0277

CSV control statement error; reason code=NN; reason description

レベル: 0

説明: CSV 制御文にエラーが含まれていました。エラーの理由コードと説明のテキストが表示されます。

システムアクション: この CSV 文は拒否されます。関連付けられた UUI 要求は処理されません。

ユーザーの対応: 示されたエラーを修正し、要求を再送信します。

SMC0280

READ REPLACEPOLICY command started {at line NNN of SMCCMDS|SMCPARMS}

レベル: 0

説明: READ コマンドが REPlacepolicy キーワードとともに指定されました。このメッセージの前に入力された POLICY 文で、新しい POLICY ファイルに含まれていないものはすべて、論理的に削除されたとして扱われます。

システムアクション: READ コマンドを続行します。

ユーザーの対応: なし

SMC0281

READ REPLACEPOLICY command complete; RC=NN {at line NNN of SMCCMDS|SMCPARMS}

レベル: 0

説明: REPlacepolicy キーワードを指定する READ コマンドが完了しました。このメッセージが発行されたあと、SMC0280 メッセージと SMC0281 メッセージの間で処理されなかった SMC POLICY 文への参照はすべて、無効として扱われます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 0 以外のリターンコードは、既存の TAPEREQ 文が、新しい POLICY データセットに含まれていなかった POLICY を参照していることを示します。

SMC0282

*WARNING: TREQDEF statement NNN references {not defined|now deleted}
POLICY Pppppppp*

レベル: 0

説明: REPlacepolicy キーワードを指定する READ コマンドが処理されました。TAPEREQ の再検証中に、TREQDEF 文 NNN が、現在は未定義であるか、または REPlacepolicy プロセスの一部として削除された POLICY を参照したためにエラー状態にあることがわかりました。

システムアクション: 無効な TAPEREQ はアクティブなままになり、「null」の POLICY を参照します。

ユーザーの対応: 指定された POLICY を追加するか、または指定された TREQDEF 文を修正します。

SMC0283

READ REPLACEPOLICY specified in nested READ level N without prior READ REPLACEPOLICY {at line NNN of SMCCMDS|SMCPARMS}

レベル: 4

説明: REPlacepolicy キーワードを指定する READ コマンドが処理されました。ただし、それはレベル n の入れ子の READ コマンド (つまり、REPlacepolicy を指定しなかった READ コマンドの一部として読み取られた READ REPlacepolicy コマンド) 内で検出されました。この組み合わせにより、予測できない結果が発生することがあります。

システムアクション: READ コマンドを続行します。

ユーザーの対応: 最後の POLICY が意図したものであることを検証します。

SMC0284

CCCCCCCC command parameter=PPpppppp value=VVVVVVVV is invalid; RRRRRRRRRR

レベル: 0

説明: CCCCCCCC コマンドのパラメータ Pppppppp に無効な値 VVVVVVVV が指定されました。値はコマンドコンテキストのため無効です。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: パラメータ値を修正し、コマンドを再送信します。

SMC0285

VMSG task for server SSSSSSSS [START|STOP|message prefix updated]

レベル: 0

説明: サーバー SSSSSSSS の VMSG タスクが STARTED、STOPPED であるか、メッセージ接頭辞が更新されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC0286

VMSG server SSSSSSSS exception reason: RRR...RRR

レベル: 4

説明: サーバー SSSSSSSS の VMSG タスクが、要求の処理中に例外を検出しました。

システムアクション: VMSG 要求が再試行されます。

ユーザーの対応: エラーの原因を調査します。必要に応じて、サーバーに関連付けられた VMSG タスクを停止して再起動します。

SMC0287

PPPPPPPP SSS...SSS

レベル: 0

説明: このメッセージは VMSG タスクの応答として受信されます。PPPPPPPP は指定されたメッセージ接頭辞で、メッセージ接頭辞が指定されない場合はサーバー名です。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: 特定のメッセージについては関連する製品を参照してください。

SMC0288

Policy PPPPPPPP contains esoteric EEEEEEEE that is no longer valid

レベル: 8

説明: ジョブの実行中に、SMC 割り当てコンポーネントは、現在の EDT で定義されていない、ポリシー PPPPPPPP からのユーザーポリシーエソテリック EEEEEEEE を検出しました。

システムアクション: この割り当てでは、エソテリックのプリファレンス設定は省略されます。

ユーザーの対応: ポリシーからエソテリックを削除するか、または現在の EDT にエソテリックを追加します。

SMC0289

Unable to find any JES3 managed devices acceptable to SMC

レベル: 0

説明: JES3 システム上での SMC サブシステムの初期化中に、SMC は、受け入れ可能な JES3 管理対象デバイスを見つけることができませんでした。

システムアクション: SMC サブシステムは終了します。

ユーザーの対応: 詳細は、『SMC の構成および管理』ガイド、「割り振り」章、「SMC 割り振り処理 - JES3 の考慮事項」セクションを参照してください。JES3 初期化デックを確認して修正します。

SMC0290

{MOUNT|DISMOUNT} command failed; RC=NNNN:reason explanation

レベル: 0

説明: ユーザーが発行したマウントまたはマウント解除コマンドを完了できませんでした。理由コードとテキストが表示されます。エラーコードに関する追加情報は、SMC Display RC NNNN DETail コマンドを使用して入手できる可能性があります。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 理由を特定し、エラーを修正します。

SMC0291

SSS...SSS

レベル: 0

説明: マウントまたはマウント解除中にエラーが検出されました。メッセージには具体的なエラーが表示されます。

システムアクション: そのコマンドは実行されません。

ユーザーの対応: 理由を特定し、エラーを修正します。

SMC0292

{MOUNT|DISMOUNT} of VVVVVV on DDDD succeeded

レベル: 0

説明: 要求されたコマンドが正常に実行されました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0293

Cannot resolve HOST name NNNNN

レベル: 0

説明: HOST キーワードを指定して XCLIENT コマンドが発行されました。ただし、SMC は、指定された HOST 名を使用して IP アドレスを解決できませんでした。

システムアクション: XCLIENT コマンドは無視されます。

ユーザーの対応: 正しい HOST 名を入力するか、または代わりに IPADDRESS キーワードを使用します。

SMC0294

CCCCCC entry

レベル: 0

説明: XCLIENT コマンドが LIST キーワードとともに発行されました。SMC0294 の複数行メッセージには、XCLIENT の設定が一覧表示されます。

- XCLIENT - クライアントの IP アドレス
- HOST - クライアントのホスト名 (XCLIENT コマンドで指定された場合)

- NAME - クライアントの名前 (XCLIENT コマンドで指定された場合)
- PORTRANGE - クライアントポートの範囲 (XCLIENT コマンドで指定された場合)
- PROTVER - プロトコルのバージョン。0 は「セキュアでない」古いプロトコルバージョンを示します。1 は XAPI セキュリティープロトコルを示します。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0295

CCCCCCC entry EEEEEEE already exists; add command ignored

レベル: 0

説明: エントリ *EEEEEEE* を追加するように指定する *CCCCCCC* コマンドが入力されました。ところが、エントリ *EEEEEEE* はすでに存在しています。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 正しいエントリ名を指定してコマンドを再発行してください。

SMC0296

XUDB=NNNNNNNN

レベル: 0

説明: *XUDB LIST* コマンドが入力されました。*XUDB* エントリが一覧表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0297

XSECUSERNAME NNNNNNNN not defined

レベル: 0

説明: ユーザー ID *NNNNNNNN* をデフォルトの XAPI ユーザー ID として定義するように指定する *TCPIP XSECUSERNAME* コマンドが入力されました。ただし、ユーザー ID *NNNNNNNN* が有効な XAPI ユーザー ID として定義されていません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: まず、XUDB コマンドを使用して *NNNNNNNN* を XAPI ユーザー ID として定義する必要があります。

SMC0298

WARNING: SERVER(s) defined {without ICSF active|without a valid XUDB entry}

レベル: 0

説明: SMCCMDS または SMCPARMS ファイルでリモートサーバーが定義されましたが、(1) IBM ICSF 製品がインストールされていないかアクティブでないため、あるいは (2) 有効な XUDB エントリが定義されていなかったため、XAPI セキュリティーの問題が発生する可能性があります。このような不足があるため、このクライアントはこれらのリモートサーバーにログインできない可能性があります。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: リモートサーバーにリリース 7.3 以上の SMC HTTP サーバー (XAPI セキュリティーに対応している) が少なくとも 1 つ含まれている場合は、次のいずれかを行う必要があります。

- このクライアント、およびリリース 7.3 以上のすべての SMC HTTP サーバーで、IBM ICSF 製品をアクティブにし、XUDB コマンドを使用して 1 つ以上の XAPI ユーザー ID を定義します。または、
- リリース 7.3 以上のすべての SMC HTTP サーバーで XCLIENT コマンドを発行して、このクライアントにこれらのサーバーでの XAPI セキュリティーログインを免除します。

XCLIENT および XUDB コマンドは、SERVer コマンドの前に指定する必要があります。

ただし、すべてのリモートサーバーがリリース 7.3 より前の SMC HTTP サーバー (XAPI セキュリティーに対応していない) であれば、ICSF および有効な XUDB 定義がなくてもこのクライアントはこれらのサーバーと通信できるため、この SMC0298 メッセージは無視してかまいません。

SMC0299

WARNING: HTTP Server started {without ICSF active | without XCLIENT or XUDB entries}

レベル: 0

説明: SMC HTTP サーバーは XAPI セキュリティーを有効にして起動を開始していますが、ICSF がアクティブでないか、有効な XCLIENT または XUDB 文が入力されていませんでした。

システムアクション: この状態では、SMC HTTP サーバーはすべての要求を無許可として拒否するため、リモートクライアントはこの TapePlex にアクセスできません。

ユーザーの対応: ICSF がアクティブでない場合は、アクティブにする必要があります。あるいは、XAPI セキュリティー全体を無効にするか、承認するクライアントごとに XCLIENT コマンドを追加する必要があります。有効な XCLIENT または XUDB コマンドが入力されていなかった場合は、リモートクライアントがこの TapePlex にアクセスできるようにするには、免除するクライアントを XCLIENT コマンドで追加するか、XAPI ユーザーを定義する必要があります。

XCLIENT および XUDB コマンドは、HTTP コマンドの前に指定する必要があります。

SMC0300

Message | Command NNNNNN Help Text:

レベル: 0

説明: Help コマンドが発行されました。メッセージまたはコマンドのヘルプテキストが表示されます。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC0301

Help for XXXXXX not found

レベル: 0

説明: Help コマンドが発行されました。サブジェクト XXXXXX が見つかりません。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 有効なサブジェクトを指定して Help コマンドを再入力します。

SMC0302

XXXXXX is an invalid range

レベル: 0

説明: HELP コマンドが発行されました。サブジェクト XXXXXX は無効な範囲です。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: 有効なサブジェクトを指定して HELP コマンドを再入力します。

SMC0304

VMSG TASK STATUS:

TAPEPLEX=CCCCCCCC SERVER=CCCCCCCC

Prefix=PPPPPPP Msg types=MMM...MMM

Status: SSSSSSSS

Started: mon dd hh:mm:ss

Last msg: mon dd hh:mm:ss

WTOS=NNNNNN WTORS=NNNNNN DOMS=NNNNNN

レベル: 0

説明: SMC *VMSG LIst* コマンドが発行されました。SMC0304 の複数行メッセージには、各 *VMSG* タスクのステータスが一覧表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC0350

XAPI request type=RRRRRRRR jobname=JJJJJJJJ for TAPEPLEX=TTTTTTTTT

returned error: error-text

レベル: 0

説明: TAPEPLEX *TTTTTTTTT* が、内部で生成された SMC コマンドへの応答としてエラーを返しました。request type は、SMC 要求タイプ(つまり、XLIBSTAT、XCONFIG、XMOUNT など)を示します。

- 要求がボリュームまたはクラッチ情報に対するものである場合は、割り当てが失敗するか、または (ALLOCDEF コマンドの FAILNOINFO パラメータの設定によっては) ジョブが不適切なデバイスに割り当てられる可能性があります。
- 要求がライブラリのステータスに対するものである場合、サーバーは非アクティブなままです。

- 要求が構成情報に対するものである場合は、SMC が割り当てに影響したり、TAPEPLEX に関連付けられたドライブのマウントまたはマウント解除を実行したりできない可能性があります。
- 要求がマウントに対するものである場合、そのマウントは SMC マウントモニターによって正常に再処理されるか、または実行されない可能性があります。
- 要求がマウント解除に対するものである場合、そのボリュームはドライブ上に残ります。そのボリュームまたはドライブに対する以降の要求では、マウント解除が実行されます。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: SMC と HSC の保守を見直して、相互に必要な保守がすべて両方の製品に適用されていることを確認します。問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC5001

SMC is not {active|JES3} cannot continue

レベル: 0

説明: アクティブな SMC サブシステムが存在しないシステム上でユーティリティーが送信されたか、または SMCUPJS ユーティリティーが JES3 以外のシステム上で送信されました。

システムアクション: レポート処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: SMC サブシステムを起動し、ユーティリティージョブを再送信します。

SMC5002

Utility release level n.n is incompatible with SMC release n.n

レベル: 0

説明: ユーティリティーのロードモジュールが、ホスト上の SMC サブシステムと同じリリースレベルにありません。

システムアクション: レポート処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: リリースレベルが SMC サブシステムに一致するユーティリティージョブを再送信します。

SMC5003

*No active Tapeplexes; {unable to determine drive characteristics|
unable to continue}*

レベル: 0

説明: アクティブなライブラリが存在しないシステム上でユーティリティーが送信されたか、あるいは SMC サブシステムがまだ割り当てまたはメッセージ要求をまだ処理していません。SMCUUUI ユーティリティーの場合、定義された HSC ライブラリは存在しません。

システムアクション: レポート処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: ライブラリサブシステムを起動します。次に、RESYNC コマンドを発行し、ジョブを再送信します。

SMC5004

**** WARNING: HCD esoteric not found*

レベル: 0

説明: SMCUPJS ユーティリティーが、対応する HCD エソテリックがない JES3 SETUNIT 文によって定義されたエソテリックを見つけました。

システムアクション: レポート処理を続行しますが、4 のリターンコードが返されません。

ユーザーの対応: 不一致を調査して修正します。

SMC5005

**** WARNING: HCD esoteric does not match JES3 esoteric*

レベル: 0

説明: SMCUPJS ユーティリティーが、その HCD と JES3 の定義内に異なるデバイスを含むエソテリックを見つけました。

システムアクション: このレポートには、HCD エソテリックに存在しない JES3 デバイスと、JES3 エソテリックに存在しない HCD デバイスが一覧表示されます。レポート処理を続行しますが、4 のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: 不一致を調査して修正します。

SMC5006

***** WARNING: XTYPE contains inconsistent location or drive characteristics**

レベル: 0

説明: XTYPE 内に含まれている各ドライブの場所タイプ(ライブラリ、仮想、非ライブラリ、または不明)、場所(ACS または VTSS)、または記録技法が同じではありません。

システムアクション: レポート処理を続行しますが、4 のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: デバイスと XTYPE の対応を示すレポートを確認して不整合を特定し、不一致を修正します。

SMC5007

***** WARNING: XTYPE contains unknown or MODEL(IGNORE) devices**

レベル: 0

説明: XTYPE 内の 1 つ以上のドライブが UNKNOWN と MODEL(IGNORE) のどちらか、または両方です。ただし、XTYPE 内の 1 つ以上のドライブが NOT UNKNOWN または MODEL(IGNORE) です。

システムアクション: レポート処理を続行しますが、4 のリターンコードが返されます。

ユーザーの対応: XTYPE が意図したとおりに定義されていることを確認します。

SMC5008

SMCUDBX input parameter error

レベル: 0

説明: SMCUDBX ユーティリティーへの入力 PARM でエラーが検出されました。エラーの詳細な説明が続きます。

システムアクション: ユーティリティー処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: 示されたエラーを修正し、ジョブを再送信します。

SMC5009

Unable to load TMS interface routine {SLUDRCA1|SLUDRTL|SLUDRRMM|SLUDRZAR}

レベル:

説明: SMCUDBX ユーティリティは、入力 TMS パラメータに基づいて対応するテープ管理アクセスルーチンをロードしようとしたが、ロードに失敗しました。

システムアクション: ユーティリティ処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: SMCUDBX ユーティリティが、JOB LIB、STEPLIB、または MVS LINKLIST ライブラリを使用して、テープ管理システムに適した SLUDR* ルーチンを含むロードライブラリを使用できることを確認します。

SMC5010

Error opening file DDNAME DDDDDDDD

レベル: 0

説明: ユーティリティは DDNAME DDDDDDDD を開くことができませんでした。

システムアクション: ユーティリティ処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: 必要な DD 文を指定するように実行 JCL を修正します。

SMC5011

Error processing ZARA interface for subsystem SSSS

レベル: 0

説明: ユーザーが、サブシステム ID SSSS を使用して ZARA テープ管理システムからの抽出を要求しました。このメッセージのあとに、エラーの詳細な説明が続きます。

システムアクション: ユーティリティ処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: 示されたエラーを修正し、ジョブを再送信します。

SMC5012

Unexpected return code XXXX from TMS interface

レベル: 0

説明: TMS 抽出ルーチンから予期しないリターンコード XXXX が受信されました。

システムアクション: ユーティリティー処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: ユーザーが TMS 抽出ルーチンを変更している場合は、そのルーチンを修正します。それ以外の場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してサポートを依頼してください。

SMC5013

No VLF control record found by SLUDRTLM

レベル: 0

説明: ユーザーが SMCUDBX テープ管理システムとして TLMS を指定しましたが、入力ファイルに CA-DYNAM/TLMS VLF レコードが含まれていませんでした。

システムアクション: ユーティリティー処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: DBTMS DD 文で正しい入力ファイルが指定されていたことを確認し、ジョブを再送信します。

SMC5014

Error reading file DDNAME DDDDDDDD [;unterminated {comment} continuation] line detected]

レベル: 0

説明: ユーティリティーは、指定されたデータセット上で I/O エラーまたはシステムエラーを検出しました。

システムアクション: ユーティリティー処理は、8 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、ジョブを再送信してください。

SMC5015

DDNAME DDDDDDDD is required; cannot continue

レベル: 0

説明: 指定された DD 名が、入力要求に基づいて必要です。

システムアクション: ユーティリティー処理は、12 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: 必要な DD 文を指定し、ジョブを再送信します。

SMC5016

Processing complete; UUI commands processed = nn, highest RC=nn

レベル: 0

説明: UUI 処理が完了しました。

システムアクション: なし

ユーザーの対応: なし

SMC5017

Error processing program PARMS; error description

レベル: 0

説明: ユーティリティープログラム PARM にエラーが含まれていました。

システムアクション: ユーティリティー処理は、12 のリターンコードで終了します。

ユーザーの対応: エラーを修正して、ジョブを再送信してください。

SMC5018

No SRMMDATA found for SMC subsystem=SSSS; cannot continue

レベル: 0

説明: SMC メディアと記録技法の RMCODE 値をその名前とともに一覧表示するために SMCUSRМ ユーティリティープログラムが起動されましたが、SRMMDATA データが SMC サブシステム SSSS によってロードされていなかったか、または SMCUSRМ ユーティリティーで見つけることができませんでした。

システムアクション: SMCUSRМ ユーティリティーは終了します。

ユーザーの対応: SMC サブシステム SSSS のログをチェックしてエラーの原因を特定し、SMC サブシステムを再起動します。

SMC5020

CSV parsing error; [error text]

レベル: 0

説明: UUI IN CSV コマンドに構文エラーが含まれていました。

システムアクション: CSV コマンドに続く要求は処理されません。

ユーザーの対応: エラーを修正して、ジョブを再送信してください。

SMC5021

UII command bypassed due to previous CSV error

レベル: 0

説明: 構文エラーを含む CSV コマンドのあとに UII 要求が受信されました。

システムアクション: 要求は処理されません。

ユーザーの対応: エラーを修正して、ジョブを再送信してください。

SMC5022

CSV command ignored due to missing CSVOUT DD

レベル: 0

説明: CSV コマンドが処理されましたが、SMCUUI ユーティリティーに対して CSVOUT DD が指定されませんでした。

システムアクション: CSV コマンドは無視されます。以降の要求は、CSV 出力なしで処理されます。

ユーザーの対応: CSVOUT DD 文を指定し、ジョブを再送信します。

SMC5023

MMMMMMMM not executing from authorized library; cannot continue

レベル: 0

説明: SMC ユーティリティーモジュール MMMMMMM が APF 以外のライブラリから実行されましたが、APF 承認が必要です。

システムアクション: プログラムの実行は終了します。

ユーザーの対応: SMC リンクライブラリが APF で承認されていることを確認します。

SMC5024

TEXTOUT command ignored due to missing TEXTOUT DD

レベル: 0

説明: TEXTOUT コマンドが処理されましたが、SMCUUI または SMCUSIM ユーティリティーに対して TEXTOUT DD が指定されませんでした。

システムアクション: TEXTOUT コマンドは無視されます。以降の要求は、TEXTOUT 出力なしで処理されます。

ユーザーの対応: TEXTOUT DD 文を指定し、ジョブを再送信します。

SMC5025

CCCCCCC command not allowed from UUUUUUUU utility

レベル: 0

説明: 共通の UII パーサーが SMCUII ユーティリティーと SMCUSIM ユーティリティーの両方に含まれています。ただし、SMCUSIM では SMC UII コマンドのみが許可され、HSC または VTCS UII コマンドは許可されないため、特定の UII 制御文およびコマンドは SMCUSIM 環境からは許可されません。たとえば、別の TapePlex を選択するための PLEXDEST UII 制御文は SMCUSIM ユーティリティーからは許可されません。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。

ユーザーの対応: ユーティリティーの入力を修正し、ジョブを再送信します。

SMC5026

Request not processed; no valid output type

レベル: 0

説明: 指定された唯一の出力タイプが CSV である UII 要求が受信されましたが、機能コマンドが処理されたときに現在の CSV 定義が存在しませんでした。

システムアクション: そのコマンドは処理されません。CSV 文が見つかった場合は、以降のコマンドが処理されます。

ユーザーの対応: UII 入力を修正し、ジョブを再送信します。

SMC5027

Simulated SMC startup complete; RC=NN

レベル: 0

説明: SMCUSIM ユーティリティーが実行され、起動シミュレーションを実行しました。SMCPARMS、SMCCMDS、および起動 RESYNC コマンド内のどのコマンドも、最大のリターンコードは NN でした。

システムアクション: SMCPARMS または SMCCMDS リターンコードが指定された MAXRC パラメータを超えているか、または RESYNC リターンコードが PLEXRC パラメータを超えている場合、SMCUSIM ユーティリティーは RC=12 で終了します。それ以外の場合、処理は続行されます。

ユーザーの対応: なし

SMC5028

SMC table CCCCCC is empty

レベル: 0

説明: SMCUPJS ユーティリティーが、テーブル CCCCCC が空であることを見つけました。

システムアクション: 次のテーブルを使用してレポート処理を続行します。

ユーザーの対応: 詳細は、『SMC の構成および管理』ガイド、「割り振り」章、「SMC 割り振り処理 - JES3 の考慮事項」セクションを参照してください。JES3 初期化デックを確認して修正します。

SMC9000

Copyright (c) YYYY, YYYY, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが起動されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9001

Communication server initialization starting

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動処理が開始されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9002

Communication server initialization complete

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動処理が完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9003

Communication server release=N.N.N active on host=HHHHHHHH, port=NNNN, TapePlex=PPPPPPP

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのステータスメッセージには、リリース、ホスト名、待機ポート番号、および TapePlex 名が表示されます。このステータスメッセージは、起動時と、毎日午前 0 時すぎに 1 回、表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9004

Error allocating shared memory segment, key=XXXXXXXX, errno=NN (CCCC ...CCCC); { server terminating | RESET specified, continuing | EXCL not specified, continuing}

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動時に、XAPI 通信サーバーが必要な共有メモリーセグメントの定義を試みている際に、示されたエラーが検出されました。

システムアクション: 共有メモリーセグメントは XAPI 通信サーバーの起動オプションに応じて、排他または共有でなければいけない可能性があります。排他オプション (EXCL) が指定された場合、サーバーは終了します。それ以外の場合、XAPI 通信サーバーの起動処理は続行され、示された共有メモリーセグメントが共有 (つまりリセット) されます。

ユーザーの対応: EXCL が指定された場合、アクティブな XAPI 通信サーバーがすでに存在していれば、重複する XAPI 通信サーバーの起動は阻止されます。XAPI 通信が

まだ開始されていないことが間違いない場合は、RESET 起動オプションを指定できません。あるいは、UNIX の機能を使って既存の IPC 共有メモリーセグメントを削除することもできます。

SMC9005

Error attaching shared memory segment, id=XXXXXXXX, errno=NN (CCCC..CCCC); SSSSSSSS terminating

レベル: 0

説明: XAPI 通信の実行中に、XAPI 通信サーバーのタスクが、必要な共有メモリーセグメントへの接続を試みているときに、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの示されたサービス SSSSSSSS が終了します。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使って IPC 共有メモリーセグメントのステータスを確認します。共有メモリーセグメントが間違って削除されていた場合には、XAPI 通信サーバーを再起動する必要があります。

SMC9006

Error initializing CCCCCCCC semaphore, errno=NN (CCCC...CCCC); server terminating

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動時に、XAPI 通信サーバーが必要なセマフォの初期化を試みている際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、セマフォを初期化できなかった理由を突きとめます。

SMC9007

Error in EEEEEEEE variable; using { default | truncated } value=VVVV...VVVV

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、示された環境変数 EEEEEEEE を取得する際にエラーを検出しました。

システムアクション: 示された環境変数 *EEEEEEEE* で、デフォルト値または末尾が切り捨てられた値 *VVVV...VVVV* が使用されます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された環境変数 *EEEEEEEE* の値を確認します。

SMC9008

Error writing WTO mqe id=QQQQ...QQQQ errno=NN (CCCC...CCCC) trying printf

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、VSMc WTO メッセージサービスによって出力されるメッセージをキューに追加する際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーは代わりにメッセージを *stdout* に書き込みます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された IPC メッセージキュー *QQQQ...QQQQ* のステータスを確認します。

SMC9009

Error msgsnd diag message queue=QQQQ...QQQQ errno=NN (CCCC...CCCC); { log service | trace service} disabled trying printf

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、そのログサービスおよびトレースサービスに出力するための診断用のログレコードまたはトレースレコードをキューに追加する際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーのログサービスまたはトレースサービスが無効化されます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された IPC メッセージキュー *QQQQ...QQQQ* のステータスを確認します。

SMC9010

Error { creating | opening | reading | writing | retrying } file=FFFF...FFFF errno=NN (CCCC...CCCC); SSSSSSS terminating

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、ファイル *FFFF...FFFF* を処理しているときに、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: 示された XAPI 通信サーバーサービス *SSSSSSSS* が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、ファイル操作が失敗した理由を突きとめます。

SMC9011

{ log | trace } file at NNNNN bytes

レベル: 8

説明: XAPI 通信サーバーが、示された数のバイトをログファイルまたはトレースファイルに書き込みました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9012

Unknown message type=NNNN on diag message queue=QQQQ...QQQQ; message ignored

レベル: 04

説明: XAPI 通信サーバーの診断サービスがそのキュー *QQQQ...QQQQ* 内で、未知のメッセージタイプ *NNNN* を検出しました。

システムアクション: 未知のメッセージは無視されます。

ユーザーの対応: 問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9013

Communication server termination starting

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理が開始されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9014

*Communication server terminating { work | service } process
PPPPPPP=NNNNN*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理中に、示されたプロセス *PPPPPPP* (pid=*NNNNN*) が要求どおりに終了しませんでした。

システムアクション: 示されたプロセスは強制的に終了され、終了処理が続行されま
す。

ユーザーの対応: なし。

SMC9015

Communication server termination complete

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理が完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9016

*ftok errno=NN (CCCC...CCCC) for { WTO message queue | diagnostic
message queue | HTTPCVT } from path=FFFF...FFFF; server terminating*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、示された *ftok* エラーをファイルパス *FFFF...FFFF* で
検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、*ftok* 操作が失敗した理由を突き
とめます。

SMC9017

*Internal error; file=SSSS...SSSS[NNNN], function=FFFFFFFF, RRRR
...RRRR {errno=NN (CCCC...CCCC) }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、ソースファイル SSSS...SSSS の NNNN 行目、関数 FFFFFFFF 内で、内部エラーを検出しました。理由 RRRR...RRRR と可能な *errno* も表示されます。

システムアクション: 現在の処理は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9018

Error starting work process smcvcvt; no free HTTPREQ

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが新しいトランザクション要求を受信しましたが、サーバーのタスク上限に達したため、その要求を処理できませんでした。

システムアクション: 新しいトランザクション要求は拒否されます。

ユーザーの対応: 作業負荷を複数の XAPI 通信サーバーに分散させます。

SMC9019

Abnormal termination; process=NNNNN, signal=NN (CCCC...CCCC)

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのプロセス *nnnn* が予想外のシグナル *NN* で終了しました。

システムアクション: 現在の要求は終了します。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9020

NNN stack trace entries returned for process=NNNNN

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのプロセス *NNNNN* が終了しました。

システムアクション: プロセス *NNNNN* で使用可能だった *NNN* 件のバックトレースエントリが、一覧表示されます。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9021

*Core dump { generated to file: FFFF...FFFF |
requested but could not be written |
requested but could not be renamed |
request failed, errno=NN (CCCC...CCCC) }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのあるプロセスが終了しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーがコアダンプイメージを要求しました。コアダンプイメージの結果が表示されます。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9022

CCCCCCCC command received

レベル: 8

説明: CCCCCCCC オペレータコマンドが XAPI 通信サーバーによって受信されました。

システムアクション: CCCCCCCC コマンドの処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9023

CCCCCCCC command RC=NN

レベル: 8

説明: CCCCCCCC オペレータコマンドが XAPI 通信サーバーによって処理され、リターンコード NN で完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9024

CCCCCCCC is an invalid command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに CCCCCCCC オペレータコマンドが入力されましたが、CCCCCCCC は有効なコマンドではありません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9025

CCCCCCCC command requires a value

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに入力された cccccccc オペレータコマンドには値が含まれていませんでしたが、CCCCCCCC コマンドには値が必要です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9026

VVVVVVV is an invalid value for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに入力された CCCCCCCC オペレータコマンドの値 VVVVVVVV が無効です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9027

KKKKKKKK=VVVVVVVV

レベル: 0

説明: あるオペレータコマンドが XAPI 通信サーバーに入力された結果、値のリストが表示されました。キーワードまたはコマンド KKKKKKKK の値が VVVVVVVV です。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9028

Startup parameter PPPPPPPP successfully processed

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション PPPPPPPP が指定され、起動処理時に正常に処理されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9029

Startup parameter PPPPPPPP { is invalid | requires a value | contains an invalid value }

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション PPPPPPPP が指定されましたが、このオプションが起動処理時に、示された理由により正常に処理されませんでした。

システムアクション: コマンド行オプション PPPPPPPP は拒否されますが、起動処理は続行されます。

ユーザーの対応: コマンド行オプションを修正します。

SMC9030

Startup parameter PPPPPPPP is mutually exclusive with XXXXXXXX

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション PPPPPPPP と XXXXXXXX が指定されましたが、PPPPPPPP と XXXXXXXX を一緒に指定することはできません。

システムアクション: コマンド行オプション PPPPPPPP は受け入れられ、コマンド行オプション XXXXXXXX は拒否されますが、起動処理は続行されます。

ユーザーの対応: コマンド行オプションを修正します。

SMC9031

Line parse error={ mismatched or invalid quotes detected |

```
mismatched or invalid parenthesis detected |
maximum token number exceeded | parameter truncated }
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、示された解析エラーのため、そのコマンド行を処理できませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9032

```
XAPI PORT=NNNNN IPADDRESS=NNN.NNN.NNN.NNN HOST=HHHH...HHHH
MAXCLIENTS=NNN XSECURITY={ ON | OFF }
Total: I/Os=NNNNNN bytes=NNNNNN accepts=NNNNNN intervals=NNNNNN
Total: processed input reqs=NNNNNN rejects=NNNNNN
Last: I/Os=NNNNNN bytes=NNNNNN accepts=NNNNNN
High: I/Os=NNNNNN bytes=NNNNNN accepts=NNNNNN tasks=NNNNNN
Avg: I/Os=NNNNNN bytes=NNNNNN accepts=NNNNNN
Total: errs=NNNNNN retries=NNNNNN
Total: maxclient errs=NNNNNN other errs=NNNNNN xsec errs=NNNNNN
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの XAPI LIST I/O コマンドが受信されました。現在の XAPI 設定と、I/O やエラーの統計情報が表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9033

```
Current tasks:
Name Pid Tid Count Last Time Status
smcvmai NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvwts NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvdts NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvops NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvmon NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvlis NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvwrk-NNNN NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの XAPI LIST TASKS コマンドが受信されました。XAPI 通信サーバーの現在のシステムタスクや作業タスクが、それらの実行回数やステータスとともに表示されます。*smcvwrk-NNNN* 作業タスクは、作業負荷やプロセス *hi-water* によっては複数個表示される可能性があります。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9034

process reuse required for cmd server; retrying

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、要求の処理に使用可能なフリータスクが存在しません。

システムアクション: XAPI 通信サーバーは、要求の処理に使用可能な再利用可能タスクを見つけようとします。

ユーザーの対応: なし。

SMC9035

task recovery failed for cmd server; now in single user mode

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、要求の処理に使用可能なフリータスクも再利用可能タスクも存在しません。

システムアクション: XAPI 通信サーバーのオペレータコマンドサービスは、シングルタスクモードで要求を処理します。

ユーザーの対応: なし。

SMC9036

{ Thread XXXXXXXX | Process NNNNN } active at termination

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理中に、最初の XAPI 通信サーバー終了シグナルのあとの終了処理時に、示されたスレッドまたはプロセスがアクティブになっていました。

システムアクション: 示されたプロセスは強制的に終了され、終了処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9037

Server status:

```
Server name=CCCC release=N.N.N version=CCCC started on MM/DD ...
TapePlex=CCCCCCCC type={ ACSLS | oVTCS }
RLIMITM=NNN RLIMITS=NNN RLIMITW=NNN
Task mode=MMMM (CCCC...CCCC) signal handling={ VTCS | SMCV }
Work task={ PERMWORK | TERMWORK } (CCCC...CCCC)
System name=SSSS release=NN machine=MMMM ({ little | big } endian)
System version=CCCC...CCCC
rlimit_stack=NNN rlimit_data=NNN rlimit_as=NNN rlimit_nproc=NNN
...more rlimit values
SSCVT shared segment key=XXXXXXXX id=NNNNNN size=NNNN
CVT shared segment key=XXXXXXXX id=NNNNNN size=NNNN
WTO message queue key=XXXXXXXX id=NNNNNN
DIAG message queue key=XXXXXXXX id=NNNNNN
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの `XAPI LIST SERVER` コマンドが受信されました。XAPI 通信サーバーの現在の設定と環境が、その IPC リソースとともに表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC メッセージ

以下では、SMC によって発行されるメッセージについて説明します。これらのメッセージは、「SMC」接頭辞で識別されます。

SMC9000

Copyright (c) YYYY, YYYY, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが起動されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9001

Communication server initialization starting

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動処理が開始されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9002

Communication server initialization complete

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動処理が完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9003

Communication server release=N.N.N active on host=HHHHHHHH, port=NNNN, TapePlex=PPPPPPPP

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのステータスメッセージには、リリース、ホスト名、待機ポート番号、および TapePlex 名が表示されます。このステータスメッセージは、起動時と、毎日午前 0 時すぎに 1 回、表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9004

Error allocating shared memory segment, key=XXXXXXXX, errno=NN (CCCC ...CCCC); { server terminating | RESET specified, continuing | EXCL not specified, continuing}

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動時に、XAPI 通信サーバーが必要な共有メモリーセグメントの定義を試みている際に、示されたエラーが検出されました。

システムアクション: 共有メモリーセグメントは XAPI 通信サーバーの起動オプションに応じて、排他または共有でなければいけない可能性があります。排他オプション (EXCL) が指定された場合、サーバーは終了します。それ以外の場合、XAPI 通信サーバーの起動処理は続行され、示された共有メモリーセグメントが共有 (つまりリセット) されます。

ユーザーの対応: EXCL が指定された場合、アクティブな XAPI 通信サーバーがすでに存在していれば、重複する XAPI 通信サーバーの起動は阻止されます。XAPI 通信がまだ開始されていないことが間違いない場合は、RESET 起動オプションを指定できます。あるいは、UNIX の機能を使って既存の IPC 共有メモリーセグメントを削除することもできます。

SMC9005

*Error attaching shared memory segment, id=XXXXXXXX, errno=NN (CCCC..
..CCCC); SSSSSSSS terminating*

レベル: 0

説明: XAPI 通信の実行中に、XAPI 通信サーバーのタスクが、必要な共有メモリーセグメントへの接続を試みているときに、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの示されたサービス SSSSSSSS が終了します。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使って IPC 共有メモリーセグメントのステータスを確認します。共有メモリーセグメントが間違っていて削除されていた場合には、XAPI 通信サーバーを再起動する必要があります。

SMC9006

*Error initializing CCCCCCCC semaphore, errno=NN (CCCC...CCCC); server
terminating*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動時に、XAPI 通信サーバーが必要なセマフォの初期化を試みている際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、セマフォを初期化できなかった理由を突きとめます。

SMC9007

*Error in EEEEEEEE variable; using { default | truncated } value=VVVV
...VVVV*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、示された環境変数 *EEEEEEEE* を取得する際にエラーを検出しました。

システムアクション: 示された環境変数 *EEEEEEEE* で、デフォルト値または末尾が切り捨てられた値 *VVVV...VVVV* が使用されます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された環境変数 *EEEEEEEE* の値を確認します。

SMC9008

*Error writing WTO mqe id=QQQQ...QQQQ errno=NN (CCCC...CCCC) trying
printf*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、VSMc WTO メッセージサービスによって出力されるメッセージをキューに追加する際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーは代わりにメッセージを *stdout* に書き込みます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された IPC メッセージキュー *QQQQ...QQQQ* のステータスを確認します。

SMC9009

*Error msgsnd diag message queue=QQQQ...QQQQ errno=NN (CCCC...CCCC);
{ log service | trace service} disabled trying printf*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、そのログサービスおよびトレースサービスに出力するための診断用のログレコードまたはトレースレコードをキューに追加する際に、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーのログサービスまたはトレースサービスが無効化されます。

ユーザーの対応: UNIX サービスを使用して、示された IPC メッセージキュー QQQQ...QQQQ のステータスを確認します。

SMC9010

Error { creating | opening | reading | writing | retrying } file=FFFF...FFFF errno=NN (CCCC...CCCC); SSSSSSSS terminating

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、ファイル FFFF...FFFF を処理しているときに、示されたエラーを検出しました。

システムアクション: 示された XAPI 通信サーバーサービス SSSSSSSS が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、ファイル操作が失敗した理由を突きとめます。

SMC9011

{ log | trace } file at NNNNN bytes

レベル: 8

説明: XAPI 通信サーバーが、示された数のバイトをログファイルまたはトレースファイルに書き込みました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9012

Unknown message type=NNNN on diag message queue=QQQQ...QQQQ; message ignored

レベル: 04

説明: XAPI 通信サーバーの診断サービスがそのキュー QQQQ...QQQQ 内で、未知のメッセージタイプ NNNN を検出しました。

システムアクション: 未知のメッセージは無視されます。

ユーザーの対応: 問題が続く場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9013

Communication server termination starting

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理が開始されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9014

*Communication server terminating { work | service } process
PPPPPPP=NNNNN*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理中に、示されたプロセス *PPPPPPP* (pid=*NNNNN*) が要求どおりに終了しませんでした。

システムアクション: 示されたプロセスは強制的に終了され、終了処理が続行されま
す。

ユーザーの対応: なし。

SMC9015

Communication server termination complete

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理が完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9016

*ftok errno=NN (CCCC...CCCC) for { WTO message queue | diagnostic
message queue | HTTPCVT } from path=FFFF...FFFF; server terminating*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、示された *ftok* エラーをファイルパス *FFFF...FFFF* で検出しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が終了します。

ユーザーの対応: 示された *errno* と理由に基づいて、*ftok* 操作が失敗した理由を突きとめます。

SMC9017

Internal error; file=SSSS...SSSS[NNNN], function=FFFFFFFF, RRRR...RRRR {errno=NN (CCCC...CCCC) }

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、ソースファイル *SSSS...SSSS* の *NNNN* 行目、関数 *FFFFFFFF* 内で、内部エラーを検出しました。理由 *RRRR...RRRR* と可能な *errno* も表示されます。

システムアクション: 現在の処理は終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9018

Error starting work process smvcvvt; no free HTTPREQ

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが新しいトランザクション要求を受信しましたが、サーバーのタスク上限に達したため、その要求を処理できませんでした。

システムアクション: 新しいトランザクション要求は拒否されます。

ユーザーの対応: 作業負荷を複数の XAPI 通信サーバーに分散させます。

SMC9019

Abnormal termination; process=NNNNN, signal=NN (CCCC...CCCC)

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのプロセス *nnnn* が予想外のシグナル *NN* で終了しました。

システムアクション: 現在の要求は終了します。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9020

NNN stack trace entries returned for process=NNNNN

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのプロセス NNNNN が終了しました。

システムアクション: プロセス NNNNN で使用可能だった NNN 件のバクトレースエントリが、一覧表示されます。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9021

*Core dump { generated to file: FFFF...FFFF |
requested but could not be written |
requested but could not be renamed |
request failed, errno=NN (CCCC...CCCC) }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーのあるプロセスが終了しました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーがコアダンプイメージを要求しました。コアダンプイメージの結果が表示されます。

ユーザーの対応: SMC9020 および SMC9021 メッセージに示された診断情報を収集し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9022

CCCCCCCC command received

レベル: 8

説明: CCCCCCCC オペレータコマンドが XAPI 通信サーバーによって受信されました。

システムアクション: CCCCCCCC コマンドの処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9023

CCCCCCCC command RC=NN

レベル: 8

説明: CCCCCCCC オペレータコマンドが XAPI 通信サーバーによって処理され、リターンコード NN で完了しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9024

CCCCCCCC is an invalid command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに CCCCCCCC オペレータコマンドが入力されましたが、CCCCCCCC は有効なコマンドではありません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9025

CCCCCCCC command requires a value

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに入力された ccccccc オペレータコマンドには値が含まれていませんでしたが、CCCCCCCC コマンドには値が必要です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9026

VVVVVVV is an invalid value for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに入力された CCCCCCCC オペレータコマンドの値 VVVVVVV が無効です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9027

KKKKKKKK=VVVVVVVV

レベル: 0

説明: あるオペレータコマンドが XAPI 通信サーバーに入力された結果、値のリストが表示されました。キーワードまたはコマンド *KKKKKKKK* の値が *VVVVVVVV* です。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9028

Startup parameter PPPPPPPP successfully processed

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション *PPPPPPPP* が指定され、起動処理時に正常に処理されました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9029

Startup parameter PPPPPPPP { is invalid | requires a value | contains an invalid value }

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション *PPPPPPPP* が指定されましたが、このオプションが起動処理時に、示された理由により正常に処理されませんでした。

システムアクション: コマンド行オプション *PPPPPPPP* は拒否されますが、起動処理は続行されます。

ユーザーの対応: コマンド行オプションを修正します。

SMC9030

Startup parameter PPPPPPP is mutually exclusive with XXXXXXXX

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの実行可能ファイルの開始時にコマンド行オプション PPPPPPP と XXXXXXXX が指定されましたが、PPPPPPP と XXXXXXXX を一緒に指定することはできません。

システムアクション: コマンド行オプション PPPPPPP は受け入れられ、コマンド行オプション XXXXXXXX は拒否されますが、起動処理は続行されます。

ユーザーの対応: コマンド行オプションを修正します。

SMC9031

Line parse error={ mismatched or invalid quotes detected | mismatched or invalid parenthesis detected | maximum token number exceeded | parameter truncated }

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、示された解析エラーのため、そのコマンド行を処理できませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9032

*XAPI PORT=NNNN IPADDRESS=NNN.NNN.NNN.NNN HOST=HHHH...HHH
MAXCLIENTS=NNN XSECURITY={ ON | OFF }
Total: I/Os=NNNNN bytes=NNNNN accepts=NNNNN intervals=NNNNN
Total: processed input reqs=NNNNN rejects=NNNNN
Last: I/Os=NNNNN bytes=NNNNN accepts=NNNNN
High: I/Os=NNNNN bytes=NNNNN accepts=NNNNN tasks=NNNNN
Avg: I/Os=NNNNN bytes=NNNNN accepts=NNNNN
Total: errs=NNNNN retries=NNNNN
Total: maxclient errs=NNNNN other errs=NNNNN xsec errs=NNNNN*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの XAPI LIST I/O コマンドが受信されました。現在の XAPI 設定と、I/O やエラーの統計情報が表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9033

Current tasks:

```
Name Pid Tid Count Last Time Status
smcvmai NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvwts NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvdts NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvops NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvmon NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvlis NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
smcvwrk-NNNN NNNNN XXXXXXXX NNNNNN MM/DD HH:MM:SS SSSS...SSSS
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの XAPI LIST TASKS コマンドが受信されました。XAPI 通信サーバーの現在のシステムタスクや作業タスクが、それらの実行回数やステータスとともに表示されます。smcvwrk-NNNN 作業タスクは、作業負荷やプロセス *hi-water* によっては複数個表示される可能性があります。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9034

process reuse required for cmd server; retrying

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、要求の処理に使用可能なフリータスクが存在しません。

システムアクション: XAPI 通信サーバーは、要求の処理に使用可能な再利用可能タスクを見つけようとします。

ユーザーの対応: なし。

SMC9035

task recovery failed for cmd server; now in single user mode

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーにオペレータコマンドが入力されましたが、要求の処理に使用可能なフリータスクも再利用可能タスクも存在しません。

システムアクション: XAPI 通信サーバーのオペレータコマンドサービスは、シングルタスクモードで要求を処理します。

ユーザーの対応: なし。

SMC9036

{ Thread XXXXXXXX | Process NNNNN } active at termination

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの終了処理中に、最初の XAPI 通信サーバー終了シグナルのあとの終了処理時に、示されたスレッドまたはプロセスがアクティブになりました。

システムアクション: 示されたプロセスは強制的に終了され、終了処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9037

Server status:

Server name=CCCC release=N.N.N version=CCCC started on MM/DD ...

TapePlex=CCCCCCCC type={ ACSLS | oVTCS }

RLIMITM=NNN RLIMITS=NNN RLIMITW=NNN

Task mode=MMMM (CCCC...CCCC) signal handling={ VTCS | SMCV }

Work task={ PERMWORK | TERMWORK } (CCCC...CCCC)

System name=SSSS release=NN machine=MMMM ({ little | big } endian)

System version=CCCC...CCCC

rlimit_stack=NNN rlimit_data=NNN rlimit_as=NNN rlimit_nproc=NNN

...more rlimit values

SSCVT shared segment key=XXXXXXXX id=NNNNNN size=NNNN

CVT shared segment key=XXXXXXXX id=NNNNNN size=NNNN

WTO message queue key=XXXXXXXX id=NNNNNN

DIAG message queue key=XXXXXXXX id=NNNNNN

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの *XAPI LIST SERVER* コマンドが受信されました。XAPI 通信サーバーの現在の設定と環境が、その IPC リソースとともに表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9038

control block name:

```
XXXXXXXX +0000|XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX|CCCC...CCCC|
XXXXXXXX +0010|XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX XXXXXXXX|CCCC...CCCC|
...
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの *XAPI LIST CB* コマンドが受信されました。指定された制御ブロックが、文字 16 進で、16 バイトずつインクリメントされながら表示されます。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9039

malloc() failure, bytes=NNNN,request=CCCC...CCCC;

```
{ transaction lost | csv output lost | XML parse failure |
HTTP metadata lost | work task terminated | request terminated }
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、要求または制御ブロック *CCCC...CCCC* で *NNNN* バイトの *malloc* を試みましたが、ストレージが使用可能ではありませんでした。

システムアクション: トランザクションまたは要求が終了します。

ユーザーの対応: 適切な UNIX コマンドを使ってメモリーの使用状況を確認し、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9040

ACSLs cp_proc_int failure=NNNN;work task terminated

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、プロセス開始時に *ACSLs c1_proc_init* RPC サービスを呼び出そうとしましたが、示されたリターンコードで要求が失敗しました。

システムアクション: トランザクションまたは要求が終了します。

ユーザーの対応: ACSLS がアクティブであることを確認します。

SMC9041

```
Communication error: { TCP/IP cccc failure ( reqId=XXXXXXXX ... ) |
Unsuccessful login from CCCC...CCCC port=NNNNN |
TCP/IP bind failure; port=NNNNN, socket=NN, CCCC...CCCC; retrying |
TCP/IP accept failure; port=NNNNN, socket=NN, CCCC...CCCC |
requests=NNN exceeds MAXCLIENTS=NNN;
rejected connection from CCCC...CCCC |
free HTTPREQ error; rejected connection from CCCC...CCCC |
work task start error; rejected connection from CCCC...CCCC |
AF_UNIX accept failure; socket=NN, file=CCCC...CCCC;errno=NN |
XML parse failure; reqId=XXXXXXXX |
work task start error; retrying |
XAPI work task limit exceeded |
command listener attach failure; start work task error }
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが要求を受信しましたが、示された通信エラーのため、要求が拒否されました。示されるエラーのほとんどは、内部または外部リソースの制約に起因する一時的なエラーです。ほとんどの場合、クライアントは拒否された要求を再試行します。

システムアクション: トランザクションまたは要求が拒否されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9042

```
Invalid format for the CCCCCCCC command
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに CCCCCCCC オペレータコマンドが入力されましたが、このコマンドに含まれていたトークンが多すぎるか少なすぎるため、これは有効なコマンドではありませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9043

```
IPC error: { socketpair failure=NN-NN; errno=NN (CCCC...CCCC) |
sem_init failure; errno=NN (CCCC...CCCC), HTTPTASK=NNNN |
```

```
sem_wait failure; errno=NN (CCCC...CCCC), HTTPTASK=NNNN |  
sem_timedwait failure; errno=NN (CCCC...CCCC), HTTPTASK=NNNN |  
sem_post failure; errno=NN (CCCC...CCCC), HTTPTASK=NNNN }
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが要求を受信しましたが、示された IPC エラーのため、要求が拒否されました。

システムアクション: トランザクションまたは要求が終了します。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9044

```
Invalid HOSTNAME specified; header=HHHHHHHH, actual=AAAAAAAA
```

レベル: 8

説明: XAPI 通信サーバーが要求を受信しましたが、その XAPI 要求ヘッダーに指定されたホスト名 *HHHHHHHH* が、実際の *gethostbyaddr()* のホスト名 *AAAAAAAA* に一致しません。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9045

```
Request id=XXXX pid=NNNN (CCCC...CCCC) cancelled;  
RC=NNNN reason=NNNN
```

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが *CCCC...CCCC* 要求を受信しましたが、この要求が VSMc PGMI プロセッサ内で、示されたリターンコマンドと理由コードで終了しました。

システムアクション: 要求が終了されます。

ユーザーの対応: VSMc ログを確認し、失敗の原因を調べます。

SMC9046

```
XAPI server not active
```

レベル: 0

説明: ACSLS *cmd_proc* 実行可能ファイルに *XCMD* コマンドが入力されましたが、コマンドを受信すべき XAPI サーバーがアクティブになっていませんでした。

システムアクション: そのリクエストは拒否されます。

ユーザーの対応: ACSLS XAPI サーバーを起動します。

SMC9047

Startup file=CCCC...CCCC does not exist

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが起動されましたが、起動処理コマンドと初期化コマンドを含む示されたファイルが存在しません。

システムアクション: XAPI 通信の起動処理が続行されます。

ユーザーの対応: 示されたパスに起動処理ファイルを移動してください。

SMC9048

*CCCCCCCC command { not allowed from operator |
not allowed from file | not allowed from XCMD |
not allowed from VSM }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに *CCCCCCCC* オペレータコマンドが入力されましたが、このコマンドは、示されたコマンド発行元では許可されません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: 許可される発行元からコマンドを再入力してください。

SMC9049

*{ XCLIENT | XUDB } record { for IPADDRESS nnn.nnn.nnn added |
for IPADDRESS nnn.nnn.nnn updated |
(suppressed) updated |
(suppressed) updated in VSMc |
(suppressed) added |
(suppressed) added in VSMc |
(suppressed) exists; updated in VSMc |
(suppressed) add error; RC=nn, reason=cccc...cccc |
(suppressed) deleted |
(suppressed) deleted from VSMc }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに *XCLIENT* または *XUDB* オペレータコマンドが入力されました。

システムアクション: 示されたとおりに、XAPI 通信サーバーの共有メモリー内または VSMc テーブル内で、*XCLIENT* または *XUDB* レコードが更新、追加、または削除されます。XAPI 通信サーバーログでは、*XUDB* ユーザー情報は (suppressed) と表示されません。

ユーザーの対応: なし。

SMC9050

No { XCLIENT | XUDB } records to list

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに *XCLIENT LIST* または *XUDB LIST* オペレータコマンドが入力されましたが、一覧表示の対象となる指定されたタイプのレコードが、1 件もありません。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9051

*{ no matching | matching } XUDB record
{ found for update | found for delete | already exists }*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに *XUDB ADD*、*UPDATE*、または *DELETE* オペレータコマンドが入力されましたが、レコードがすでに存在している (*ADD* の場合) か、存在していません (*UPDATE* または *DELETE* の場合)。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9052

*{ No XUDB(s) defined; user(s) defined in VSMc |
No XCLIENT(s) defined; XAPI server using VSMc definitions }*

No XUDB(s) or XCLIENT(s) defined; XAPI server will reject all requests }

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーに *XUDB DELETE* オペレータコマンドが入力されましたが、XAPI セキュリティーユーザー ID がもう定義されていません。

システムアクション: ほかのアプリケーションセキュリティー (VSMc からのセキュリティーなど) が存在しない場合、すべての受信要求が拒否される可能性があります。

ユーザーの対応: XAPI 通信サーバーの *XSECURITY* が *OFF* になっているか、適切なユーザーが VSMc 内に定義されていることを確認してください。

SMC9053

Communication server terminating; invalid startup parameters

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの起動時に無効なコマンド行オプションが指定されました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が終了します。

ユーザーの対応: コマンド行オプションを修正し、再起動します。

SMC9054

Startup file=CCCC...CCCC processing starting

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが起動され、起動処理コマンドと初期化コマンドを含むファイル *CCCC...CCCC* が、処理対象として開かれました。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9055

Startup file=CCCC...CCCC processing complete; RC=NN

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが起動され、起動処理コマンドと初期化コマンドを含むファイル CCCC...CCCC の処理が完了しました。示されたリターンコードは、ファイル内で処理されたすべてのコマンドのリターンコードの中で、もっとも高いものです。

システムアクション: XAPI 通信サーバーの起動処理が続行されます。

ユーザーの対応: なし。

SMC9101

Invalid keyword KKKKKKKK for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、無効なキーワード KKKKKKKK が指定されたコマンド CCCCCCCC を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9102

Invalid value VVVVVVVV for keyword or tag KKKKKKKK of the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、キーワード KKKKKKKK に無効な値 VVVVVVVV が指定されたコマンド CCCCCCCC を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9103

Keyword or tag KKKKKKKK of the CCCCCCCC command requires a value

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、キーワード KKKKKKKK に必須の値が指定されていないコマンド CCCCCCCC を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9104

Unexpected format for positional parameter in command CCCCCCCC

レベル: 0

説明: コマンド CCCCCCCC の位置指定パラメータが正しくフォーマットされていません。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9105

Duplicate keyword or tag KKKKKKKK specified for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、キーワード KKKKKKKK が複数個指定されたコマンド CCCCCCCC を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9106

Keyword or tag KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is mutually exclusive with keyword or tag XXXXXXXX command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出したコマンド CCCCCCCC では複数のキーワードが指定されていましたが、そのうちの2つ (KKKKKKKK と XXXXXXXX) は互いに排他です。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9107

Keyword or tag KKKKKKKK of the CCCCCCCC command requires keyword or tag RRRRRRRR command

レベル: 0

Explanation: XAPI 通信サーバーが検出したコマンド `CCCCCCCC` ではキーワード `KKKKKKKK` が指定されていましたが、相互に必要な必須キーワードである `RRRRRRRR` が指定されていませんでした。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9108

Keyword or tag KKKKKKKK of the CCCCCCCC command is required command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーは、必須キーワード `KKKKKKKK` が指定されていないコマンド `CCCCCCCC` を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9109

Invalid range VVVV...VVVV for keyword KKKKKKKK of the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出したコマンド `CCCCCCCC` では、キーワード `KKKKKKKK` に範囲値 `VVVV...VVVV` が指定されていました。しかし、この範囲値は無効です。左の値が右の値より大きいか、左右の値のフォーマットが異なっているからです。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9110

Unrecognized XML tag=TTTTTTTT for the CCCCCCCC command

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出した XML フォーマットの入力要求に含まれているタグ `TTTTTTTT` は、`CCCCCCCC` コマンドでは有効なタグとして認識されません。この

メッセージは、現在のソフトウェアレベルが以前のレベルでは有効であったタグをサポートしていないか、または新しいタグをサポートするようにアップグレードされていない場合に表示されることがあります。

システムアクション: その個別のパラメータは無視されますが、コマンドの処理は続行されます。

ユーザーの対応: コマンドが正しく指定されていることを確認します。

SMC9111

Value=VVVVVVV is invalid type for keyword or tag=KKKKKKKK in command=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが、キーワード *KKKKKKKK* に無効な値タイプが指定されたコマンド *CCCCCCCC* を検出しました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9112

Keyword or tag=KKKKKKKK may not have a value in command=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出したコマンド *CCCCCCCC* で、値を指定できないキーワードまたは XML タグに対する値が含まれていました。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9113

Length of value=VVV...VVV is invalid for keyword or tag=KKKKKKKK in command=CCCCCCCC

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出したコマンド *CCCCCCCC* に含まれていたキーワード値 *VVV...VVV* が長すぎます。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9114

*Error parsing XML values for XML tag=TTTTTTTT in command=CCCCCCCC;
RC=NNNN*

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーが検出した XML フォーマットのコマンドに、表示されたタグに関する値または解析エラーが含まれていました。解析のリターンコードは、診断のためにメッセージに含まれています。

システムアクション: そのコマンドは拒否されます。

ユーザーの対応: コマンドを修正して再入力します。

SMC9115

Error: EEEE...EEEE; AAAA...AAAA

レベル: 0

説明: XAPI 通信サーバーの処理中に EEEE...EEEE エラーが発生しました。

システムアクション: EEEE...EEEE エラーが発生したため、システムはアクション AAAA...AAAA を取りました。

ユーザーの対応: StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

SMC9998

CCCC...CCCC

レベル: 12

説明: XAPI 通信サーバーが診断メッセージを発行しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

SMC9999

Error: EEEE...EEEE; AAAA...AAAA

レベル: 12

説明: XAPI 通信サーバーが診断メッセージを発行しました。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: なし。

第4章 HSC コード

この章では、HSC によって発行される次のコードについて説明します。

- 「HSC リターンコード」
- 「HSC 異常終了理由コード」
- 「HSC メッセージのルートコードと記述子コード」

HSC リターンコード

次の表に、HSC リターンコードとそれに関連する説明を示します。リターンコードは、発行モジュール、コンポーネント、またはユーティリティーに従ってグループ化されています。

HSC オペレータコマンドのリターンコード

次の表では、HSC オペレータコマンドのリターンコードについて説明します。

表4.1 HSC オペレータコマンドのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	ORCOK	OK のリターンコード
X'000A'	ORCNOSSI	SMF SSI モジュールがロードされていません
X'0004'	ORCMORE	さらに処理が必要です
X'000B'	ORCNOSLT	SSVT 内にスロットがありません
X'000C'	ORCNOCMD	コマンド SSI モジュールがロードされていません
X'000D'	ORCCMD	オペレータコマンドルーチンが異常終了しました。SDUMP が取得されました
X'000E'	ORCFORCE	オペレータコマンドコンポーネントが WMSG 031D への応答「TERM」で強制的に停止されました。
X'000F'	ORCXCLSV	相互に排他的なパラメータが指定されました

HSC 初期化/終了のリターンコード

次の表では、HSC 初期化/終了のリターンコードについて説明します。

表4.2 HSC 初期化/終了のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	BRCOK	操作がエラーなしで実行されました
X'0004'	BRC4	リターンコード 4 (致命的でないエラー)
X'0008'	BRC8	操作の実行でエラーが発生しました
X'0012'	BRC12	SLSBCITP 初期化モジュールのエラー
X'0016'	BRC16	初期化/終了モジュールがロードされませんでした
X'0508'	BRCFLOAD	いずれかの初期化モジュールでのロードエラー
X'0509'	BRCFMODL	呼び出されたモジュールが不正なリターンコードを返しました

HSC マウント/マウント解除のリターンコード

次の表では、HSC マウント/マウント解除のリターンコードについて説明します。

表4.3 HSC マウント/マウント解除のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	MRCOK	正常な復帰
X'0704'	MRCSTOP	処理の停止
X'0708'	MRCNOACS	ローカル HCT が見つかりませんでした (SLSMINIT)
X'070C'	MRCNOHCT	ACS エントリが見つかりません (SLSMINIT)
X'0710'	MRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'0714'	MRCRETRY	再試行
X'0718'	MRCRVFWC	ボリュームの正しくないセルの回復
X'071C'	MRCRVFCC	ボリュームの CAP セルの回復
X'0720'	MRCVAS	ボリュームはすでに選択されています
X'0724'	MRCVNE	ボリュームはエラントではありません
X'0728'	MRCERSEL	ボリュームはエラントであり、かつ選択されました

同一値	名前	説明
X'072C'	MRCRTRYI	互換性のないスクラッチマウント再試行
X'0730'	MRCUSE	制限を超えたクリーナを使用
X'0734'	MRCEJECT	取り出し応答
X'0738'	MRCKEEP	保持応答
X'073C'	MRCFSPNT	ドライブが使用済みクリーニングカートリッジのロードに失敗しました
X'0740'	MRCRTNVL	マウント解除で LMU volser が一致しません
X'0744'	MRCLSMOF	LSM がオフラインでした
X'0748'	MRCACSOFF	ACS が切り離されました
X'074C'	MRCVNOD	マウント解除するボリュームがドライブ上にありません
X'0750'	MRCDRVLD	ドライブセルのスキャンではロード済みと示されています
X'0754'	MRCLMUER	セルのスキャンで LMU エラーが返されました
X'0758'	MRCVERNT	ボリュームはエラントです
X'075C'	MRCVTCSN	仮想マウント。VTCS がアクティブではありません

HSC ユーティリティのリターンコード

次の表では、HSC ユーティリティのリターンコードについて説明します。

表4.4 HSC ユーティリティのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	URCOK	正常な復帰
X'1501'	URCUACT	ALS の終了時にユーティリティがアクティブに機能しています
X'1502'	URCSCU	スクラッチ更新が処理中です
X'1503'	URCSRDR	スクラッチ再分配が処理中です
X'1504'	URCAUD	Audit ユーティリティが処理中です
X'1505'	URCTRM	ユーティリティの終了が進行中です

同一値	名前	説明
X'1506'	URCSUB	サブシステムがアクティブではありません
X'1507'	URCDSFAL	RECONFIG データ領域が失敗しました
X'1508'	URCDSTRM	RECONFIG データ領域が終了しました
X'1509'	URCDVARF	RECONFIG データ領域の DVAR がいっぱいです
X'150A'	URCDSFMM	RECONFIG データ領域サブファイルのレコード番号が CDSDEF と RECDEF で一致しません
X'150B'	URCDSNNW	RECONFIG データ領域の RECDEF が見つかりません

次の表では、HSC Audit ユーティリティのリターンコードについて説明します。

表4.5 Audit ユーティリティのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	URCOK	正常な復帰
X'2001'	URCUACT	重複が見つかりました
X'2002'	URCSCU	ボリュームが追加されました
X'2003'	URCSR D	ボリュームが更新されました
X'2004'	URCAUD	ボリュームが選択されました (使用不可)
X'2005'	URCTRM	カートリッジの取り出しに失敗しました
X'2006'	URCSUB	CAP を取得できません
X'2007'	URCDSFAL	ボリューム/MEDIA が一致しません
X'2008'	URCDSTRM	MEDIA 読み取り不可 – 既存のテープ
X'2009'	URCDVARF	MEDIA 読み取り不可 – 新しいテープ
X'2010'	URCDSFMM	カートリッジの取り出しに失敗しました – MEDIA
X'2011'	URCDSNNW	ボリュームが読み取り不可になりました
X'2050'	URCETRM	ASCOMM からのシグナルによる早期停止
X'2098'	URCALER	LMU/LSM エラーが発生しました
X'2099'	URCAIOE	I/O エラーが検出されました

HSC CAP 処理のリターンコード

次の表では、HSC CAP 処理のリターンコードについて説明します。

表4.6 HSC CAP 処理のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	URCOK	CAP がエラーなしで要求を完了しました
X'2504'	CRCLSM	無効な LSMid
X'2508'	CRCLSMOF	LSM は手動モードです (オフライン)
X'250C'	CRCATHS	無効な IATHSid
X'2510'	CRCATHOF	ACS は切り離されています (オフライン)
X'2514'	CRCBSYCP	指定された CAP はビジー状態です
X'2518'	CRCBADCP	CAP ACS とボリューム/セル/ドライブ ACS の不一致
X'251C'	CRCRLSCP	CAP は解放されています
X'2520'	CRCIDLCP	CAP が使用されていません
X'2524'	CRCNOCAP	使用できる (優先度が 1 以上の) CAP がありません
X'2528'	CRCLMUER	LMU 要求の失敗
X'252C'	CRCVBSY	VOLSER はすでに選択されています
X'2530'	CRCVDUP	要求された volser は重複です
X'2534'	CRCERRNT	カートリッジはエラントです
X'2538'	CRCOPRAB	オペレータがプロセスを中止しました
X'253C'	CRCVRCER	ボリューム/セルの制御エラー
X'2540'	CRCNOSPC	ACS で使用できるセルがありません
X'2544'	CRCDR CER	データベースサーバーのエラー
X'2548'	CRCFR CER	構成の制御エラー
X'254A'	CRCRECER	エラントなボリュームのエラーの回復
X'2550'	CRCIN VFN	無効な CAP 機能が要求されました
X'2554'	CRCMTCAP	オペレータに CAP を空にするよう依頼してください
X'254C'	CRCLNOCP	LSM は CAP を制御していません
X'2558'	CRCVOL	無効な volser
X'2560'	CRCNOVOL	CAP ドアがボリュームなしで閉じられました

同一値	名前	説明
X'2564'	CRCCAPOF	CAP LSM がオフラインです
X'2566'	CRCCOFFP	CAP がオフラインを保留中です
X'256C'	CRCOPRRT	オペレータの再試行要求
X'2570'	CRCNCNCL	要求を取り消せません
X'2574'	CRCTFULL	ターゲットがいっぱいです
X'2578'	CRCABEND	CAP ABEND - ソフトウェア障害
X'257C'	CRCOPRDE	オペレータがボリュームを削除しました
X'2584'	CRCLSMPO	パスの LSM がオフラインです
X'2588'	CRCAUTER	不特定の要求で AUTO が指定されました
X'258C'	CRCCAPER	4410 に 0 以外の CAP が指定されました
X'2590'	CRCCAUTO	CAP は AUTO モードにあります
X'2594'	CRCSTTER	CCAPDS と CDS の間のステータスエラー
X'2598'	CRCINVID	無効な CAP
X'25A0'	CRCNAUTO	CAP AUTO サービスが使用できません
X'25A4'	CRCPRFNA	この CAP に対する CAPPref が無効です
X'25A8'	CRCANCEL	取り消しコマンドが受信されました (x22)
X'25AC'	CRCNOACT	仕様をアクティブ化できません。CAP
X'25B0'	CRCSTAT	CAP を既存の状態に変更します (CAP がすでに ON の場合は F CAP ON)
X'25B4'	CRCAMBIG	ACS と LSM が CAP を別々に識別しません
X'25B8'	CRCRECVR	CAP は RECOVER 処理中です
X'25BC'	CRCNOTAC	メディアがドライブと互換性がありません
X'25C0'	CRCVREAD	LS 入力中の無効な volser
X'25C4'	CRCACDNY	アクセスがユーザー出口 14 によって拒否されました
X'25C8'	CRCURMED	読み取り不可のメディア (LMU からの?)
X'25CE'	CRCCAPNO	CAP が動作していません
X'25D0'	CRCCUNAL	CAP が割り当てられていません

HSC ボリューム/セルのリターンコード

次の表では、HSC ボリューム/セルのリターンコードについて説明します。

表4.7 HSC ボリューム/セルのリターンコード - パラメータリストなし

同一値	名前	説明
X'0000'	VR15GOOD	レジスタ 15 は正常な復帰を示します
X'40F1'	VR15BAD	レジスタ 15 はエラーの戻りを示します
X'40F2'	VR15ACTV	レジスタ 15 は終了時のアクティブな VAT を示します
X'40F3'	VR15NOTF	レジスタ 15 は VAT キュー上にない VAT を示します
X'40F4'	VR15NOTO	レジスタ 15 は所有されていない VAT を示します
X'40F5'	VR15SPE1	レジスタ 15 は不正な数のサブプールエントリを示します
X'40F6'	VR15SPE2	レジスタ 15 は不正な数/順序のサブプールを示します
X'40F7'	VR15SPE3	レジスタ 15 は不正なサブプールエントリの範囲を示します
X'40F8'	VR15SPE4	レジスタ 15 は不正なラベルタイプを示します
X'40F9'	VR15SPE5	レジスタ 15 はすでに定義されているサブプールを示します
X'40FA'	VR15SPE6	レジスタ 15 は順序が異なるサブプールを示します
X'4100'	VR15ATFL	ATTACH SLSVSCCHK が失敗しました
X'4104'	VR15DOWL	VCAM のレベル低下
X'4108'	VR15IOER	VCAM の処理中の I/O エラー

次の表では、パラメータリスト付きの HSC ボリューム/セルのリターンコードについて説明します。

表4.8 HSC ボリューム/セルのリターンコード - パラメータリスト付き

同一値	名前	説明
X'0000'	VRCOK	機能は正常です

同一値	名前	説明
X'4001'	VRCVNF	ボリュームが見つかりません
X'4002'	VRCVAS	ボリュームはすでに選択されています
X'4003'	VRCVER	ボリュームはエラントです
X'4004'	VRCVNS	ボリュームが選択されていません
X'4005'	VRCVNO	VAT が呼び出し元によって所有されていません
X'4006'	VRCRNO	VAR がシステムによって所有されていません
X'4007'	VRC1VC	不正な VAR 変更
X'4008'	VRCVSC	ボリュームはすでにスクラッチになっています
X'4009'	VRCLNC	場所がセルではありません
X'4010'	VRCVDP	ボリュームが重複しています
X'4011'	VRCNSC	スクラッチボリュームがありません
X'4012'	VRCAIP	監査が処理中です
X'4013'	VRCNCA	使用できるセルがありません
X'4014'	VRCCIN	セル ID を割り当てるできません
X'4015'	VRCCAF	セルはすでに空いています
X'4016'	VRCILI	無効な LSM ID
X'4017'	VRCICI	無効なセル ID
X'4018'	VRCVNE	ボリュームはエラントではありません
X'4019'	VRCIPI	無効なパネルインデックス
X'401A'	VRCBAL	バランスがとれていない空きセル数
X'4020'	VRCCVL	セルにボリュームがあります
X'4021'	VRCCNV	セルにボリュームがありません
X'4022'	VRCTRM	セルのスキャンが終了しました
X'4023'	VRCIET	無効でエラントなレコード
X'4024'	VRCISP	無効なスクラッチサブプールインデックス
X'4025'	VRCILB	無効なラベルタイプ
X'4026'	VRCLWS	サブプール修飾子のないラベル
X'4027'	VRCNCL	クリーニングカートリッジがありません

同一値	名前	説明
X'4028'	VRC SCL	クリーナをスクラッチしようとする不正な試み
X'4029'	VRC NCM	通信できません
X'4030'	VRC NSV	スクラッチボリュームではありません
X'4031'	VRC SAE	エラントな回復によって選択されたボリューム
X'4032'	VRC NAP	スクラッチ選択として承認されていません
X'4033'	VRC ABT	スクラッチ選択の中止
X'4034'	VRC MVC	VSM MVC をスクラッチすることは不正です
X'4037'	VRC DRTST	DR テストによってスクラッチ要求が妨げられています
X'4038'	VRC IVI	無効な VAULT ID
X'4039'	VRC NSA	使用できるスロットがありません
X'4040'	VRC IVLTN	無効な VAULT 名
X'4041'	VRC ISI	無効な SLOT ID
X'4042'	VRC SIN	SLOT を割り当てることができません
X'4043'	VRC SAF	SLOT はすでに空いています
X'4044'	VRC SNA	SLOT が割り当てられていません
X'4045'	VRC SAL	SLOT が割り当てられています
X'4046'	VRC SOR	SLOT が範囲外です
X'4048'	VRC DRINV	無効な DRTEST サブプール
X'4049'	VRC DTOK	トークン時間のあとに選択されたボリューム
X'4050'	VRC SCRDN	ボリュームスクラッチが UX14 によって拒否されました
X'4098'	VRC IOS	データベース I/O エラー (ボリューム選択済み)
X'4099'	VRC IOE	データベース I/O エラー
X'4101'	VRC VIOE	VOLP カードイメージサブファイルの読み取り中の I/O エラー

HSC 構成のリターンコード

次の表では、HSC 構成のリターンコードについて説明します。

表4.9 HSC 構成のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	FRCOKAY	機能が正常に完了しました
X'0004'	FRCMORE	さらにデータが存在します (FIGMGR LOP=Y)
X'4502'	FRCIPLST	無効な Plist
X'4504'	FRCDBIO	データベースの読み取り/書き込み中のエラー
X'4508'	FRCNHOST	HCT 内に一致するホスト ID が見つかりません
X'450C'	FRCILTIV	ILLT が無効か、またはサポートされていません
X'4510'	FRCCPOOL	セルプール内に使用可能なストレージがありません
X'0000'	FRCSACT	サブシステムはアクティブです
X'4512'	FRCSIAT	サブシステムが非アクティブです
X'0000'	FRCAACT	ACS が接続されています
X'4514'	FRCAIAT	ACS が切り離されています
X'0000'	FRCLACT	LSM は自動状態にあります
X'4516'	FRCLIAT	LSM は手動状態にあります
X'4518'	FRCCIAT	CAP がアクティブではありません
X'451A'	FRCCMANL	CAP は手動モードにあります
X'451C'	FRCCACT	CAP がアイドル状態ではありません
X'451D'	FRCCOFF	CAP がオフラインです
X'451E'	FRCCLEAN	ドライブにクリーニングが必要です
X'4520'	FRCALFLG	ドライブにはすでにフラグが付けられています
X'4522'	FRCAINV	ACS 識別子が無効です
X'4524'	FRCLINV	LSM 識別子が無効です
X'4526'	FRCCINV	CAP 識別子が無効です
X'4528'	FRCUINV	ユニットアドレスが無効です
X'452C'	FRCDINV	ドライブ識別子が無効です
X'452E'	FRCMINV	LSM モードが無効です
X'452F'	FRCAINV	ACS モードが無効です

同一値	名前	説明
X'4530'	FRCLKIV	ロックトークンモードが無効です
X'4532'	FRCALOK	LSM ロックが使用できません
X'4534'	FRCNLOK	LSM が以前にロックされていません
X'4536'	FRCRECFD	キューレコードが見つかりました
X'453A'	FRCITOKN	トークンが正しくありませんでした
X'453C'	FRCIDATA	データが無効でした
X'453E'	FRCTNFND	DATA 型が見つかりません
X'4542'	FRCRCAP	CAP を解放できませんでした
X'4544'	FRCNCAP	使用できる CAP がありません
X'4546'	FRCHCAP	CAP がこのホストによって所有されていません
X'4548'	FRCACAP	CAP をアクティブ化できませんでした
X'4550'	FRCABNR	CAP がアクティブ化されましたが、回復が必要です
X'4552'	FRCNUCB	このホスト上で UCB が生成されていません
X'4554'	FRCNATT	SLSFLSMC を接続できませんでした
X'4556'	FRCNMODE	FIGMGR モードが要求されませんでした
X'455A'	FRCPANIV	パネルが無効です
X'455C'	FRCROWIV	行が無効です
X'455E'	FRCCOLIV	列が無効です
X'4560'	FRCLMUC	LMU 構成の読み取りエラー
X'4562'	FRCNFER	構成の一致エラー
X'4564'	FRCNBRD	ホスト間のブロードキャストエラー
X'4566'	FRCLMUL	LSM ステータスの変更中の LMU エラー
X'4568'	FRCNRLS	データベースの解放に失敗しました
X'456A'	FRCVRYFL	LMURQST ステーション変更の失敗
X'456B'	FRCNRSRV	CDS 上に予約がありません
X'456C'	FRCNRECF	レコードが見つかりません
X'456D'	FRCSELCT	レコードはすでに選択されています

同一値	名前	説明
X'456E'	FRCNAREA	構成変更後の出力のための容量が不足しています
X'456F'	FRCLOGIC	構成マネージャーのエラー
X'4570'	FRCNFTW	ACS には 9740 の LSM が含まれています
X'4571'	FRCNF20	LSM には 20 のドライブパネルがあります
X'4572'	FRCDRVNM	CDS/メモリー内ドライブの不一致
X'4573'	FRCDRVTY	ドライブタイプが変更されました

HSC LMU サーバーのリターンコード

次の図では、HSC LMU サーバーのリターンコードについて説明します。

表4.10 HSC LMU サーバーのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	LMUOKAY	機能が正常に完了しました
X'6500'	LMUESINV	ソースが無効です
X'6501'	LMUESEMP	ソースが空です
X'6502'	LMUESVNM	ソース volser が一致しません
X'6503'	LMUESVNR	ソース volser が読み取り不可です
X'6504'	LMUESUVL	ソース上の予期しない volser です
X'6505'	LMUETINV	ターゲットが無効です
X'6506'	LMUETFUL	ターゲットがいっぱいです
X'6507'	LMUESTNA	ソース/ターゲットが同じ ATHS 内にありません
X'6508'	LMUESTNL	ソース/ターゲットが同じ LSM 内にありません
X'6509'	LMUESTNS	ソース/ターゲットが同じタイプではありません
X'6510'	LMUENPTP	xfer に使用できるパススルーポートがありません
X'6511'	LMUENLMU	LMU がオンラインではありません
X'6512'	LMUELLMU	LMU との通信が失われました
X'6513'	LMUEMIHX	未着割り込みハンドラによって取り消されました
X'6514'	LMUELSME	LSM ハードウェアエラー
X'6515'	LMUELMUE	LMU ハードウェアエラー

同一値	名前	説明
X'6516'	LMUECMNT	CAP は保守モードにあります
X'6517'	LMUECDOP	CAP ドアが開いています
X'6518'	LMUEENTP	挿入要求が保留されています
X'6519'	LMUEEJTP	取り出し要求が保留されています
X'6520'	LMUECCTP	CAP カタログが保留されています
X'6521'	LMUEDLDE	ドライブのロードエラー
X'6522'	LMUEDULE	ドライブのアンロードエラー
X'6523'	LMUEDALC	ドライブの割り当てエラー
X'6524'	LMUECRST	CAP がすでにこのホストに予約されています
X'6525'	LMUECRSO	CAP がホストに予約されています
X'6526'	LMUECNRT	CAP がこのホストに予約されていません
X'6527'	LMUEMPND	CAP との間の移動が保留されています
X'6528'	LMUEDEAD	LMU が停止しています
X'6529'	LMUEIOPT	無効なオプションフラグが指定されました
X'652A'	LMUECRHG	CAP がほかのホストグループに予約されています
X'6530'	LMUEIOPC	オプションコードが無効です
X'6531'	LMUESTBY	ステーションはスタンバイ状態にあります
X'6532'	LMUEVUXR	volser が予期せず読み取り可能です
X'6533'	LMUEECBI	ECB Parm が無効です
X'6534'	LMUEEC2I	ECB2 Parm が無効です
X'6535'	LMUEVTMI	VIEW 時間が無効です
X'6536'	LMUEVVOB	不正な VIEW オブジェクト
X'6537'	LMUEDDSV	デバイスが VIEW をサポートしていません
X'6538'	LMUECMPT	互換性レベル機能が一致しません
X'6540'	LMUESTNF	初期化のためのステーションが見つかりません
X'6541'	LMUELAF	LMU リスナーの接続に失敗しました
X'6542'	LMUETAF	LMU タイマーの接続に失敗しました
X'6543'	LMUEDAF	LMU ドライバの接続に失敗しました

同一値	名前	説明
X'6544'	LMUESAF	LMU ステーションシミュレータの接続に失敗しました
X'6545'	LMUELSAF	LMU シミュレータの接続に失敗しました
X'6546'	LMUEWAF	LMU ワーカーの接続に失敗しました
X'6547'	LMUEMNS	LMU レベルが HSC でサポートされていません
X'6548'	LMUEENHCT	LVT 内に HCT アドレスが見つかりませんでした
X'6549'	LMUEORIP	オフライン要求はすでに進行中です
X'6550'	LMUENOFF	ステーションがオフラインではありません
X'6551'	LMUENONL	ステーションがオンラインではありません
X'6552'	LMUELDNE	LMU が存在しません
X'6553'	LMUENSTA	ステーションが存在しません
X'6554'	LMUENSPN	ソースとターゲットが同じパネル内にありません
X'6555'	LMUESOFF	ステーションがオフラインです
X'6558'	LMUEINVF	無効な機能
X'6568'	LMUENMSG	ブロードキャストメッセージが存在しません
X'6574'	LMUEICIV	volser 内の無効な文字
X'6575'	LMUEICIM	メッセージ内の無効な文字
X'6578'	LMUENSEQ	ステーションのオンライン変更でのシーケンス番号がありません
X'6579'	LMUEVSTO	ステーションのオンライン変更でのタイムアウト
X'657B'	LMUEVACC	要求が強制オフラインによって取り消されました
X'657C'	LMUENVST	要求によってオンラインに変更されたステーションはありません
X'657D'	LMUEBCON	TCP/IP 接続の失敗
X'6582'	LMUEMFAC	カートリッジに対する動作が検出されました
X'6584'	LMUEIBID	無効なブロードキャスト ID
X'6586'	LMUEDNRW	ドライブが巻き戻されていません
X'6588'	LMUEDMEE	マウントの失敗 - メディアエラー
X'6590'	LMUEUAST	ステーションを割り当てることができません

同一値	名前	説明
X'6591'	LMUEOFST	ステーションのオープンに失敗しました
X'6592'	LMUELSMO	LSM がオフラインです
X'6593'	LMUESHPF	ホストバスグループの設定に失敗しました
X'6595'	LMUEEOTR	挿入操作が終了しました
X'6596'	LMUERDNW	解放が機能しませんでした
X'6598'	LMUEINVR	LMU から無効な応答が受信されました
X'65A0'	LMUELON	LSM はオンラインです
X'65A1'	LMUELPON	LSM はオンラインを保留中です
X'65A2'	LMUELPOF	LSM はオフラインを保留中です
X'65A3'	LMUELNON	LSM は準備ができていません
X'65A4'	LMUELNOF	LSM がオフラインではありません
X'65A5'	LMUELMM	LSM は保守モードにあります
X'65A6'	LMUEIOE	LSM I/O エラー
X'65A7'	LMUECINV	無効な取り消し要求
X'65A8'	LMUEKILD	要求が取り消されました
X'65A9'	LMUECRNA	取り消される要求がアクティブではありません
X'65A9'	LMUECLAT	指定された要求を取り消すには遅すぎます
X'65AB'	LMUEFOFF	LSM が強制的にオフラインになりました
X'65AC'	LMUESMMC	メディアが一致しません
X'65AD'	LMUESMVM	メディアと volser が一致しません
X'65AE'	LMUESIMD	互換性のないメディア/ドライブ
X'65AF'	LMUEMMAG	CAP マガジンがありません
X'65B0'	LMUERQBE	バッファがすべてのリクエストキューエントリ を収めるほど十分に大きくありません
X'65B1'	LMUERQBR	要求 qcount、rqueues に必要なバッファ
X'65B2'	LMUEMNTO	保守ドアが開いています
X'65E0'	LMUEAUTO	自動操作が完了しました
X'65F1'	LMUETERM	サーバーが終了処理中です

同一値	名前	説明
X'65FF'	LMUEPRGD	要求が削除されました

HSC データベースサーバーのリターンコード

次の表では、HSC データベースサーバーのリターンコードについて説明します。

表4.11 HSC データベースサーバーのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	DRCOK	操作がエラーなしで実行されました
X'7004'	DRCPRMER	DB 上の永続的な I/O エラー
X'7008'	DRCNODDN	ファイルの DDNAME 文がありません
X'700C'	DRCRNF	レコードが見つかりません
X'7010'	DRCLOGIC	論理エラー、不正なパラメータ
X'7014'	DRCNTRSV	データベースがこのタスクや、このタスクのどの親によっても予約されていません
X'7020'	DRCRTCNQ	CDS コピーが技法に一致していません
X'7024'	DRCHACT	ホストがアクティブです
X'7028'	DRCHQIS	ホストがアクティブです
X'702C'	DRCHNON	ホストが実在しません
X'7030'	DRCINOB	ITT ブロックがありません
X'7034'	DRCSHIO	CDS 上の修正不可能な I/O エラー
X'7038'	DRCRETIO	I/O パスが中止されました
X'703C'	DRCENBAD	DEERE からの不正な ENABLE
X'7040'	DRCBDEYE	レコード内の不正な目印
X'7044'	DRCHRCVH	このホストは削除されました
X'704C'	DRCABEND	ユーザー出口が異常終了しました
X'7050'	DRCALLOC	動的割り当てに失敗しました
X'7054'	DRCOPNER	オープンエラー
X'7058'	DRCATTCH	DIOM 接続に失敗しました

同一値	名前	説明
X'705C'	DRCPARME	PARMLIB エントリにエラーが見つかりました
X'7060'	DRCNVS	PARMLIB エントリにエラーが見つかりました
X'7064'	DRCUNALO	データベースが割り当てられていません
X'7068'	DRCERROR	データベースが割り当てられていません
X'7078'	DRCLNMM	データベースが割り当てられていません
X'707C'	DRCFMMM	予約済み
X'7080'	DRCEOSF	サブファイルの終わり
X'7084'	DRCSFNF	サブファイルが見つかりません
X'7088'	DRCINVLN	RECLN < 1 または > 4000
X'708C'	DRCDSTUTR	すべての CDS コピーが信頼できません
X'7090'	DRCDSTMLT	CDS コピーが 1 つの CDS からのもではありません
X'7094'	DRCNRDIR	SLSDRDIR ディレクトリを再構築できません
X'7098'	DRCFCORR	破損が見つかりました。読み取りを再試行します。
X'709C'	DRCFSHSQ	シャドウシーケンスの同期がとれていません
X'70A0'	DRCHSTIC	起動時に互換性のないホストが見つかりました
X'70A4'	DRCRDEOF	CDS 内にブロック読み取りがありません
X'70A8'	DRCNCBAD	新しい CDS は使用できないデータセットです
X'70AC'	DRCNCSIZ	新しい CDS のサイズが不足しています
X'70B0'	DRCNCIOE	新しい CDS の初期化中の I/O エラー
X'70B4'	DRCDEXSI	CDS 現在のサイズは変更されていません
X'70B8'	DRCNOREF	リフレッシュは必要ありません
X'7400'	DRCDUPL	追加で重複レコードが見つかりました
C'E'	DRCENA	スイッチの有効化が入力されました
C'D'	DRCDISA	スイッチの無効化が入力されました

HSC アドレス空間通信のリターンコード

次の表では、HSC アドレス空間通信のリターンコードについて説明します。

表4.12 HSC アドレス空間通信のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	DRCOK	機能が完了しました
X'8004'	QRCNOALS	ALS がアクティブではありません
X'800C'	QRCINVFC	無効なファンクションコード
X'8010'	QRCNOLVT	PC ルーチンで LVT が見つかりませんでした
X'8014'	QRCQNOA	ASCOMM がアクティブではありません
X'8018'	QRCINVOP	無効な QUAB オプション
X'801C'	QRCINVTK	無効なトークン
X'8020'	QRCEDTIS	終了専用のタスクが発行されました
X'8024'	QRCTABND	ASCOMM サーバータスクが異常終了しました
X'8028'	QRCXDPER	DATA または RSP 内の XDPLST オフセットが不正です
X'8078'	QRCGMFAL	GETMAIN 要求

次の表では、HSC アドレス空間通信のファンクションコードについて説明します。

表4.13 HSC アドレス空間通信のファンクションコード

同一値	名前	説明
1	QFCXUSER	HSC ユーザーインタフェース要求
2	QFCUNSEL	選択解除
3	QFCSVARS	名前付き変数サービス
4	QFCSVXIQ	VOL/CELL サブプールの照会サービス
5	QFCVXST	VOL/CELL スクラッチしきい値の設定
9	QFCSLCD	ロード/呼び出し/削除サービス
12	QFCUINCT	カートリッジの初期化
21	QFCUCFGR	MVS/CSC 構成の検証
24	QFCUEJCT	カートリッジの取り出し
35	QFCUAUDT	監査
36	QFCUSCUP	スクラッチ更新
48	QFCXTLMS	VM テープ管理インタフェース

同一値	名前	説明
49	QFCUENTR	ユーティリティーサーバーの入力
64	QFCUMERG	CDS マージ
68	QFCUVOLR	ボリュームレポート
70	QFCUSCRD	スクラッチ再分配
80	QFCUMOVE	カートリッジの移動
124	QFCTOCMD	オペレータコマンド
127	QFCAVLKP	割り当てボリューム検索
130	QFCJVLKP	ジョブ処理のボリューム検索
131	QFCJTLKP	ジョブ処理の TAPEREQ 検索
132	QFCJDLKP	ジョブ処理のドライブ検索
134	QFCMRQST	マウント/マウント解除要求
135	QFCMEJW	マウント/マウント解除の取り出しトレ
140	QFCEVLKP	JES3 ボリューム検索
150	QFCFMGR	構成管理
151	QFCMVPST	スクラッチのマウントおよび送信
152	QFCSTRAC	クロスメモリー SLSTRACE
160	QFCSTSR	VTCS QUIM サーバー要求ハンドラ

HSC 回復のリターンコード

次の表では、HSC 回復のリターンコードについて説明します。

表4.14 回復のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	RRCOK	正常な復帰
X'8504'	RRCCINIT	初期化の停止
X'8508'	RRCVOLER	ボリュームはエラントです
X'850C'	RRCHOACT	ホストはアクティブです
X'8510'	RRCNOITT	ホスト回復のための ITT レコードがありません
X'8514'	RRCACHDI	ACS が切り離されています

同一値	名前	説明
X'8518'	RRCLSMOF	LSM がオフラインです
X'851C'	RRCVOLDE	ボリュームが存在しません
X'8520'	RRCDBERR	データベースエラー
X'8524'	RRCNOCAP	使用できる CAP がありません
X'8528'	RRCSHTDO	サブシステムを終了しています
X'852C'	RRCABEND	SLS ABEND を受信しました。上位 2 バイトには異常終了時点での R15 の下位 2 バイト (理由コード) が含まれています
X'8530'	RRCBHOST	無効な hostid
X'8534'	RRCVOLNE	ボリュームはエラントではありません
X'8538'	RRCVOLUN	ボリュームを選択解除してください
X'8540'	RRCHRCAC	ホスト回復はすでに進行中です
X'8544'	RRCLMUER	LMU エラー
X'8548'	RRSELERR	エラントなボリュームの回復によって選択されました
X'854C'	RRCVOLME	ドライブ上のボリュームマウントがエラントです
X'85FC'	RRCMVSAB	MVS ABEND を受信しました。上位 2 バイトには異常終了フラグビットとシステム完了コードが含まれています
X'8550'	RRCDRVLD	ドライブがロードされましたが、メッセージは要求されませんでした
X'8554'	RRCVLMSM	強制巻き戻しのあとの正しくないボリューム

HSC サービスコンポーネントのリターンコード

次の表では、HSC サービスコンポーネントのリターンコードについて説明します。

表4.15 サービスコンポーネントのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	SRCOK	サービスが正常に完了しました
X'0004'	SRCMORE	さらに処理が必要です
X'9000'	SEIDPGMI	PGMI/TMI 移動タイプ要求

同一値	名前	説明
X'9001'	SRCVRF	CDS 内にボリュームが見つかりません
X'9002'	SRCCRNF	セルがストレージセルではありません
X'9003'	SRCSERR	FROM ボリュームを選択できませんでした
X'9004'	SCRACSI	ACS ID が無効です
X'9005'	SCRACSD	ACS ID が切り離されています
X'9006'	SCRINVL	無効な LSM ID
X'9007'	SRCLMOF	LSM ID がオフラインです
X'9008'	SRCLMUE	LMU エラー
X'9009'	SRCNCEL	サービスに使用できるセルがありません
X'9010'	SRCNLMS	サービスに使用できる LSM がありません
X'9011'	SRCAUDA	競合する Audit ユーティリティがアクティブです
X'9012'	SRCAREC	LSM x の監査が推奨されます
X'9013'	SRCNMAT	ボリュームが場所と一致しません
X'9014'	SCREXUR	外部ラベルが読み取り不可です
X'9015'	SRCCEMY	セルが空です
X'9016'	SRCTCPF	「TO」パネルがソースパネルと競合しています
X'9017'	SRCTLOF	「TO」LSM がオフラインです
X'9018'	SRCSTUC	カートリッジがスタックしています
X'9019'	SRCLOFF	LMURQST LSM オフラインインジケータ VAR
X'901A'	SRCVRAC	特定の ACS 内にボリュームが見つかりません
X'901B'	SRCNSUBS	HSC サブシステムがアクティブではありません
X'901C'	SRCESNES	ESTAE が確立されていません
X'901D'	SRC SABND	サービスが異常終了しました
X'9020'	SRCBDVL	VALUEEL に指定された長さが値を格納するには短すぎました
X'9021'	SRCNOMA	指定された NAME に対する一致が見つかりません
X'9030'	SRC SACIL	INLEN に指定された長さが無効でした

同一値	名前	説明
X'9031'	SRCSACOL	OUTLEN に指定された長さが無効でした
X'9032'	SRCSACTB	指定された累計値テーブルに対する一致が見つかりません
X'9033'	SRCSACEL	無効な要素が見つかりました
X'9034'	SRCSACPL	無効なパラメータリストが見つかりました
X'9035'	SRSACDT	無効なデータ型が見つかりました
X'9036'	SRCSACER	SLSSACCM の論理エラー
X'9040'	SRCMINL	長さが最小値に対して十分ではありません
X'9041'	SRCINVC	コマンドが有効ではありません
X'9050'	SVXINEND	リストの終わり
X'9051'	SVXIVFUN	無効な SVXINQ ファンクションコード
X'9052'	SVXINOMT	サブプール名に対する一致が見つかりません
X'9053'	SVXINOAC	ACS に対する一致が見つかりません
X'0954'	SVXINOLM	LSM に対する一致が見つかりません
X'9055'	SVXINSBF	サブプールデータが見つかりません
X'9056'	SVXINOSP	バッファ内に領域が用意されていません
X'9057'	SVXINCAL	無効な SVXINQ 要求
X'9058'	SVXINMSC	MSC が見つかりません
X'9060'	SRCINVMN	無効なモニター文字列
X'9070'	SRCNOMON	モニターサービスが使用できません
X'9071'	SRCNOSTR	使用できるストレージがありません
X'9080'	SRCSVINV	コンソール ID が無効です
X'9090'	SRCUXBUX	BUXCHT がなく、すべてが非アクティブです
X'9091'	SRCUXNUM	不正なユーザー出口番号
X'9092'	SRCUXMOD	モジュールが見つかりません
X'9093'	SRCUXERR	モジュール上のロードエラー
X'9094'	SRCUXPLT	不正な機能または plist
X'9095'	SRCUXSTA	ステータスが要求に対して無効です

同一値	名前	説明
X'9096'	SRCUXLOK	ロックの試行が失敗しました
X'9097'	SRCUXLGC	論理エラーが発生しました
X'9098'	SRCUXDDN	SLSUEXIT DD がありません
X'9099'	SRCUXNOD	動的なロードは許可されていません
X'909A'	SRCABEND	ソフトウェア障害
X'90A0'	SRCNPPTH	SPATH パス指定に使用できる CAP がありません
X'90B0'	SRCNAV	サービスが使用できません
X'90FF'	SRCUNKN	SLSSMOVE からの不明なエラー
X'9101'	SRC SABAN	スクラッチ要求が試行されませんでした。サービスが稼働していません
X'9102'	SRC SABRL	スクラッチ要求が OK ではありませんでした。再試行中であり、Q ロック済み
X'9103'	SRC SABLK	スクラッチ要求が処理されませんでした。Q ロック済み
X'9104'	SRC SABAO	サブタスクの接続時間が切れました
X'9105'	SRC SABDN	切り離し要求が試行されませんでした。サービスが稼働していません
X'9106'	SRC SABDO	サブタスクの切り離し時間が切れました
X'9107'	SRC SABTS	サブタスクは引き続き終了処理中です
X'9108'	SRC SABS N	サブタスク名が重複しているか、または同じです。接続されません
X'9109'	SRC SABAT	不正な MVS 接続マクロのリターンコード
X'9110'	SRC SABIM	初期化および接続できません。最大回数
X'9120'	SRC CVFNS	FLSM レコードが指定されていません
X'9121'	SRC CVIFR	無効な FLSM レコードが指定されました
X'9122'	SRC CVILN	場所/FLSM LSM 番号が異なります
X'9123'	SRC CVIPT	無効なパネルタイプ
X'9124'	SRC CV CNA	セルを割り当てることができません
X'9130'	SRC ACDNY	アクセスが拒否されました

同一値	名前	説明
X'9131'	SRCWRTPR	書き込み保護

HSC ホスト通信サービスのリターンコード

次の表では、HSC ホスト通信サービスのリターンコードについて説明します。

表4.16 HSC ホスト通信サービスのリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	HCSEOK	機能が正常に完了しました
X'9201'	HCSEININT	サービスが初期化されていません
X'9202'	HCSETRMP	終了はすでに進行中です
X'9203'	HCSEINVF	無効な機能が要求されました
X'9204'	HCSEINVL	無効なメッセージデータ長が指定されました
X'9205'	HCSEINTRG	以前に登録されていません
X'9206'	HCSENOMS	使用できるメッセージがありません
X'9207'	HCSESWND	メソッドの切り替えが必要です
X'9208'	HCSEINVT	無効なメッセージタイプ
X'9209'	HCSEINVH	無効なホスト指定タイプ
X'920A'	HCSENHST	一致するホストが見つかりません
X'920B'	HCSENCMS	ホストへの CDS メッセージがありません
X'920C'	HCSEINVM	無効なメソッド (パスが定義されていません)
X'920D'	HCSEUNKM	不明なメソッドが指定されました
X'920E'	HCSEHMLM	ホストのメソッド制限を超えました
X'920F'	HCSEACTV	アクティブな VTAMPATH に対してアクションが試行されました
X'9210'	HCSEACTL	アクティブな LMUPATH に対してアクションが試行されました
X'9211'	HCSEACTL	現在のメソッドに対して DEL ALL が指定されました
X'9212'	HCSEMXP	LMUPATH 定義の最大数を超えました

同一値	名前	説明
X'9213'	HCSEINVA	無効な ACSid (メソッドが LMU ではありません)
X'9214'	HSEUNDA	未定義の ACSid (LMUPATH)
X'9215'	HCSENMVP	削除対象の一致する VTAMPATH がありません
X'9216'	HCSENMPL	削除対象の一致する LMUPATH がありません
X'9217'	HCSESWTE	切り替えルーチンがエラーを返しました
X'9218'	HCSEINVP	無効なメッセージ優先度が指定されました
X'9219'	HCSEINVB	無効な制御ブロックが渡されました
X'921A'	HCSEIMLM	無効なメソッド制限
X'921B'	HCSEEMLM	ホストエントリのメソッド制限を超えました
X'921C'	HSCEHNVL	LMU 経由でホストを使用できません
X'921D'	HSCENSCA	アクティブな送信対話がありません
X'921E'	HCSEISWF	無効な「switch from」パラメータ
X'921F'	HCSEABND	異常終了が発生しました

HSC UUI リターンコード

次の表では、統合ユーザーインターフェース (UUI) のリターンコードについて説明します。

表4.17 統合ユーザーインターフェース (UUI) のリターンコード

同一値	名前	説明
X'0000'	NRCOKAY	機能が正常に完了しました
X'0004'	NRCWARN	警告
X'0008'	NRCERROR	コマンド処理エラー
X'0020'	NRCFATAL	UUI 致命的または環境エラー
X'0028'	NRCTOKEN	UUI トークン識別子が存在しません

HSC UUI の理由コード

次の表では、HSC 統合ユーザーインターフェース (UUI) の理由コードについて説明します。

表4.18 統合ユーザーインタフェース (UI) の理由コード

同一値	名前	説明
X'0004'	NRCLLEN	UI 要求の長さエラー
X'0008'	NCREXIT	UI の出口が指定されていません
X'000C'	NRCPARSE	UI 要求の解析エラー
X'0010'	NRCREQNM	UI 要求が見つかりません
X'0014'	NRCORIG	UI 要求の起点
X'0018'	NRCAUTH	UI に権限がありません
X'001C'	NRCUTILL	UI ユーティリティーのレベルが LVT ではありません
X'0020'	NRCADVM	UI の高度管理機能
X'0024'	NRCSRCE	UI 要求ソース (HSC/VTCS)
X'0028'	NRCXML	UI の XML 形式エラー
X'002C'	NRCUNSUP	UI が機能をサポートしていません
X'0030'	NRCINVPR	UI の無効なパラメータ値
X'0034'	NRCNOVSM	UI VSM がアクティブではないか、またはライブラリがありません
X'0038'	NRCCSV	UI の CSV 指定エラー
X'003C'	NRCCSVF	UI の CSV 形式エラー
X'0040'	NRCRMTDD	UI はリモート DD (DCB) を開けません
X'0044'	NRCRVLV	UI の HSC が svc レベルを要求しません

HSC 異常終了理由コード

次の表に、HSC 異常終了理由コードとそれに関連する説明を示します。理由コードは、発行モジュール、コンポーネント、またはユーティリティーに従ってグループ化されています。

HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード

次の表では、HSC オペレータコマンドの異常終了理由コードについて説明します。

表4.19 HSC オペレータコマンドの異常終了理由コード

同一値	説明
0001	オペレータの DISPLAY VOLUME コマンドに応答してデータベースボリューム読み取り要求が発行されました。DVLRD から無効なリターンコードが受信されました。 R2 = DVLRD リターンコード
0002	SLSSPARS ルーチンによって構文エラーが検出されました。ただし、SLSOCLEX は、構文エラーが発生した時点を特定できませんでした。 R9 = ORQX R8 = SLSYKEYH
0003	HSC オペレータコマンドルーチンは ESTAE 環境を確立できませんでした。ESTAE なしでコマンド処理を続行できませんでした。 R2 = ESTAE マクロからのリターンコード
0004	SLSPARSE ルーチンによってパラメータ ID が返されました。ただし、SLSOCLEX は、パラメータ ID を指定された解析テーブル上のパラメータエントリと照合できませんでした。 R8 = SLSYKEYH
0005	SRMM からの 0 以外のリターンコード。
0006	SLSONTAB から 0 以外のリターンコードが受信されました。 R2 = SLSONTAB リターンコード
0008	SLSONTAB から 0 以外のリターンコードが受信されました。 R2 = SLSONTAB リターンコード
000A	VSSTA から 0 以外のリターンコードが受信されました。 R2 = VSSTA リターンコード
000C	VCSTA から 0 以外のリターンコードが受信されました。 R2 = VCSTA リターンコード
000E	一致する ACS ID を見つける前に LCB キューの終わりに達しました。
0010	SLSONTAB からの 0 以外のリターンコード。

同一値	説明
	R2 = SLSONTAB リターンコード
0012	SLSONTAB からの 0 以外のリターンコード。R2 = SLSONTAB リターンコード
0014	SLSFCNF FUNC=STATNID からの 0 以外のリターンコード R2 = SLSFCNF リターンコード
0015	デバイスアドレスをドライブ ID に変換するための構成制御要求が発行されました。SLSFCNF FUNC=DRIVEID からの無効なりターンコード。 R2 = SLSFCNF リターンコード
0016	SLSFCNF FUNC=ATHSMODE からの 0 以外のリターンコード。 R2 = SLSFCNF リターンコード
0017	ホスト間のブロードキャストメッセージを書き込むための LMU サーバー要求が発行されました。LMURQST BCSTWRT から無効なりターンコードが受信されました。 R2 = LMURQST リターンコード
0018	ドライブにクリーニングのフラグを付けるための構成制御要求が発行されました。FFLGDRIV からの無効なりターンコード。 R2 = FFLGDRIV リターンコード
0019	CAP 要求に対する無効な機能。
0020	非論理的な LMU エラーリターンコード。
0021	PATH 処理のエラー - SPPEDEF SPPEID フィールドが破損しています。

HSC マウント/マウント解除の異常終了理由コード

次の表では、HSC マウント/マウント解除の異常終了理由コードについて説明します。

表4.20 HSC マウント/マウント解除の異常終了理由コード

同一値	説明
0075	SLSMAIM によって ASCOMM 要求が受信されました。ただし、それには無効な DRIVEid が含まれていました。これはプログラムの論理エラーです。

同一値	説明
0076	SLSMAIM によって ASCOMM 要求が受信されました。ただし、それは無効な機能を示していました。これはプログラムの論理エラーです。
0077	LMU サーバー機能が要求されました。ただし、それは無効なりターンコードを返しました。これはプログラムの論理エラーです。
0078	マウント/マウント解除がマウント機能を要求しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス
0079	メールが受信されました。ただし、マウント、マウント解除、スワップのいずれも設定されていませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0080	マウント/マウント解除の ITT ルーチンが呼び出されたとき、ITT で指定されたルーチンが正しくありませんでした。これはプログラムの論理エラーです。 R3 = ITT のアドレス
0081	マウント/マウント解除がボリューム/セル機能を要求しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス
0082	マウント/マウント解除がセルのスキャンを要求しました。指定された LCCE が無効でした。これはプログラムの論理エラーです。 R4 = LCCE へのポインタ
0083	マウント/マウント解除が回復機能を要求しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス
0084	マウント/マウント解除が RECVOL 機能を要求しました。復帰時、返された場所が無効でした。これはプログラムの論理エラーです。 R2 = RITT のアドレス
0085	マウント/マウント解除が CAP 共通機能を要求しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス

同一値	説明
0086	マウント/マウント解除が解析機能を要求しました。復帰時、無効なリターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。
0087	マウント/マウント解除が構成機能を要求しました。復帰時、無効なリターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なリターンコードを検出した命令のアドレス
0088	マウント/マウント解除は、ボリュームが存在するオフライン LSM を通知するメッセージの発行を要求しました。ただし、MFCR が VAT を指していませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0089	マウント/マウント解除は、ESTAE の確立または削除を試みました。ただし、ESTAE マクロが 0 以外のリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトには ESTAE リターンコードが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なリターンコードを検出した命令のアドレス
009E	モジュールは ACS の大きな LSMid を生成しようとしてしました。それは ICOINLSM LSMid を超える値を生成しました。これはプログラムの論理エラーです。 R4 = LSM のための LSM アドレス
009F	マウント/マウント解除が DB サーバー機能を要求しました。復帰時、無効なリターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なリターンコードを検出した命令のアドレス
0100	マウント/マウント解除が STIMERM 機能を要求しました。復帰時、0 以外のリターンコードがありました。理由コードの上位 2 バイトには STIMERM リターンコードが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。
0101	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。なぜか、ECB リスト内のいずれかの ECB を POST 処理せずに実行しています。これはプログラムの論理エラーです。
0102	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。それは、CAP が開いていたことを示すフラグを設定せずに終了 CAP の実行を要求しました。これはプログラムの論理エラーです。

同一値	説明
0103	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。それはメッセージの発行を要求しました。ただし、無効な要求元がメッセージを要求しました。これはプログラムの論理エラーです。
0104	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。それは LMU エラーメッセージの発行を要求しました。ただし、無効な要求元がメッセージを要求しました。これはプログラムの論理エラーです。
0105	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。スワップ要求に有効なデバイス番号が含まれていませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0106	マウント/マウント解除に論理エラーがありました。リンク支援ルーチンが、サポートされていない機能に対して呼び出されました。
0107	マウント/マウント解除が SLSMHTH タスクで受信した異常終了が多すぎます。これはプログラムの論理エラーです。
0108	マウント/マウント解除が SVC91 の SVCUPDT から 0 以外のリターンコードを受信しました。
0109	マウント/マウント解除が SVOLACC から無効なリターンコードを受信しました。
010A	仮想マウントに対する要求が受信されましたが、テキストに SLSTMAIN のためのアドレスが含まれていませんでした。
0110	SLSMDRVR の無効な parmlist。

HSC ユーティリティの異常終了理由コード

次の表では、HSC ユーティリティの異常終了理由コードについて説明します。

表4.21 HSC ユーティリティの異常終了理由コード

同一値	説明
0150	SLUIO に渡されたファンクションコードを認識できません。
0151	ユーティリティサーバーの ASCOMM タスクを開始できませんでした
0152	フェーズ 2 サーバーからの ASCOMM 応答領域 (UADRA) 内の応答を認識できません - SLSUAUDT2。
0153	フェーズ 3 サーバーからの ASCOMM 応答領域 (UADRA) 内の応答を認識できません - SLSUAUDT3。

同一値	説明
0154	フェーズ 4 サーバーからの ASCOMM 応答領域 (UADRA) 内の応答を認識できません - SLSUAUDT4。
0155	ユーティリティープログラムからの ASCOMM データ領域 (UADDA または USUDA) 内のファンクションコードを認識できません。
0156	サブルーチン SLSUAAVL 内のボリューム特性を認識できません。
0157	SLSUALSM の接続に失敗しました。
0158	SLSUALSM タスクからの応答コードを認識できません。
0159	この LSM のための LSM エントリアドレスが登録されていません。
0160	サブルーチン SLSUAPAV からのリターンコードを認識できません。
0161	セルカタログ (LCCD) 内の LSM スキャンからの戻り値が文書化されていません。
0162	ASCOMM データ領域 (UICDA) 内のファンクションコードを認識できません。
0163	キーワードテーブルからの戻り値記述子ブロックが予期したとおりに取得されませんでした。
0164	Init Carts サーバーからの ASCOMM 応答領域 (UICRA) 内の応答を認識できません - SLSUINCT。
0165	ACS/LSM テーブルエントリが予期したとおりに取得されませんでした。
0166	SLUBKP10 からの 0 以外のリターンコード。
0167	SLSJINTA からのエラーの戻り (初期化はアクティブ)。
0168	SLUEJCT から SLSUEJCT に無効な CAPid が渡されました。
0169	SLSUSCRD ユーティリティーサーバーからの予期しないリターンコード。
0170	SLSUSCUP ユーティリティーサーバーからの予期しないリターンコード。
0171	無効な ASCOMM トークン。トークンフィールドがオーバーレイされていた可能性があります。
0172	ボリューム/セルからの予期しないリターンコード。
0174	ユーティリティーの解析エラーレポータが、解析テーブル内で解析エラーにフラグが付けられずに呼び出されました。
0176	指定されたボリュームが存在する ACS の CAP が見つかりません。

同一値	説明
0177	フィールド UECDFUNC 内の SLUEJCT から UECDA 内の SLSUEJCT に無効なファンクションコードが渡されました。「reserve CAP」、「eject」、または「release CAP」にすべきであり、その他は許可されません。
0178	UCTA からの無効な ACS ID。
0179	論理エラー。ファイルの終わり。
0180	無効な応答が受信されました。
0181	設定ユーティリティーが、予期される目印に一致しない目印を持つブロックを読み取りました。 R2 = ブロック R3 = 目印 R14 = 読み取りを行なっているアドレス
0182	必要なキーワードを見つけることができません。 R2 = キーワード R8 = SLSYKEYH (解析テーブル)
0183	データベースブロック内の一致するホスト ID の検索中に論理エラーが発生しました。 R14 = 問題が検出されたアドレス
0184	SLUIO が大きすぎるメッセージを生成するよう要求されました。
0185	UENTCFGA チェーンに監査対象の LSM の正しい FLSM レコードがありません。 R8+70x = FACS チェーン R9+Cx = LSM id R5 = UCTL R8 = UENT
0186	テーブル検索の失敗 - デバイスタイプテーブルに対して UCBTYP R2 = UCB

同一値	説明
0187	ACS の LSM レコードの数が、この ACS (ACSCTLISM) 内の LSM の数に一致しません。
0188	FIGMGR からの予期しないリターンコード。
0190	PGMI QDSN 要求からの予期しないリターンコード。
0191	ASCOMM からの予期しないリターンコード (タスクの終了が予期されるときの正常なリターンコードか、または予期しないタスクの終了)。
0192	ASCOMM SLUMERGE から受信されたパラメータタイプが無効です。
0200	TIOT 内に SLSCNTL DD エントリが見つかりましたが、UCB アドレスフィールドにはバイナリ 0 が含まれています。
0201	論理ルーチン OPEN が、DFSORT による E35 ユーザー出口の最初の呼び出しで出力レコードが渡されなかったことを検出しました。
0202	論理ルーチン READ がファイルの終わりを検出しました。コード 0202 は破損したデータセットを示します。問題の特定のためにデータセットのコピーを作成し、それを復元または再作成します。
0203	論理ルーチン DELTABLK。ソートされるとみなされたデルタレコードの順序が間違っていることがわかりました。
0204	論理ルーチン DELTABLK。現在のデルタレコード内の「after」イメージテキストの長さが、その「after」イメージを受信する制御データベースブロック内の領域を超えています。
0205	論理ルーチン APPLY。DDname SLSDELTA を含むソートされるデルタデータセットが空です。
0206	無効な UEVT チェーン。UEVT チェーンが破損しています (つまり、チェーンヘッダーが 0 か、またはいずれかの UEVT エントリに「UEVT」が目印として含まれていません)。
0207	無効な UEST チェーン。UEST チェーンが破損しています (つまり、チェーンヘッダーが 0 か、またはいずれかの UEST エントリに「UEST」が目印として含まれていません)。
0208	ESTAE ルーティングが正常に確立されませんでした。発行元の ESTAE マクロからのリターンコードが 0 ではありませんでした。
0209	空きセルの検索中および割り当てマップの調整中に論理エラーが発生しました。

同一値	説明
0210	読み取り/書き込みのリターンコードが0ではないか、またはファイルの終わりです。
0211	データセットの構成または CDS のレコードサイズ、あるいはその両方が無効か、CDS の特性を判定しようとしているときにエラーが発生しました。 R2 = SLUALCSZ からのリターンコード 8 - TIOT 内に DDname が見つかりません 12 - ファイルの JFCB を読み取ることができません 16 - ファイルの JFCB 内に DSN が見つかりません 20 - ファイルのブロックサイズが 4096 ではありませんでした 24 - ファイルのボリューム情報を取得できません 28 - ファイルの VTOC 情報を取得できません 32 - ファイルの DSORG が無効です 36 - CDS ファイルに複数のエクステン트가含まれていました 40 - 無効な UCBTYP (VM のみ)

HSC CAP 共通の異常終了理由コード

次の表では、HSC CAP 共通の異常終了理由コードについて説明します。

表4.22 HSC CAP 共通の異常終了理由コード

同一値	説明
0252	LMU が MOVE 要求の完了 ECB を送信するのに 10 分を超える時間がかかりました。
0253	LMU サーバーで入力プロセスを開始しようとしているときにエラーが発生しました。情報コードには LMU サーバーからのリターンコードが含まれています。
0256	VOL/CELL ボリューム挿入、ボリューム更新、またはセル取得機能からの予期しないリターンコード。

同一値	説明
0257	カートリッジを挿入しているときの SLSCNCAP からの予期しないリターンコード。
0258	オペレータから VOLSER を取得しているときの SLSCGVOL からの予期しないリターンコード。
0259	ボリュームレコードを挿入しているときの SLSCCVOL からの予期しないリターンコード。
025A	オペレータから VOLSER を取得したあと、CAP カタログ内に無効なセルエントリが残ります。
025B	エラントカートリッジが発生しなかった移動エラーのあと、VAR から VOL/CELL までを削除しようとしているときにエラーが発生しました。
025C	ボリュームレコードを作成しようとして、領域なしまたはカートリッジの重複以外のリターンコードが返されました。情報コードには不正なリターンコードが含まれています。
025D	LMU サーバーのインタフェースルーチン SLSCNCAP を使用しようとしているときに、予期しないリターンコードが受信されました。情報コードには不正なリターンコードが含まれています。
025E	CAP END が要求されましたが、1 つ以上の CAP CONTROL BLOCK ステータスフィールドが誤って設定されました。
0260	初期化で、対応する LSM のない ACS が見つかりました。
0261	SLSCMCAP でエラーが発生したあと、ボリュームを選択解除しようとした。情報コードは VVUNS RC です。 R2 = SLSCMCAP リターンコード
0262	SLSCASET に無効な PARMLIST が渡されました
0263	HSC が終了処理中に、現在の CAP 操作を中止しているときの予期しないリターンコード。
0266	読み取り不可のメディアタイプ (?) でボリュームを追加/更新しようとしてしました。読み取り不可のメディアの挿入は事前に防止されるべきでした。

HSC サブシステム割り当てモジュールの異常終了理由コード

次の表では、HSC サブシステム割り当てモジュールの異常終了理由コードについて説明します。

表4.23 HSC サブシステム割り当てモジュールの異常終了理由コード

同一値	説明
0352	ボリューム検索が、データベース VOL 読み取り機能からエラー条件を受信しました。
0353	ボリューム検索が、VOL/CELL スクラッチ優先からエラー条件を受信しました。
0367	ボリューム検索が、SLSTGVSP から予期しないリターンコードを受信しました。

HSC ボリューム/セルの異常終了理由コード

次の表では、HSC ボリューム/セルの異常終了理由コードについて説明します。

表4.24 HSC ボリューム/セルの異常終了理由コード

同一値	説明
0400	セル割り当てマップ (VCAM) 内のパネルタイプを認識できません。
0404	ESTAE を確立できません。
0405	クロック値を取得できません。
0406	VCSCN マクロによって生成された SLSVCSCN パラメータ領域内のファンクションコードを認識できません。
0407	データベース I/O エラー
0408	セルのスキャンの作業領域 (VCSCNIWK) の形式が正しくありません (ヘッダー ID フィールドが正しくありません)。
0409	LSM パステーブル構築中の内部エラー
0410	HSC の終了時に、選択されたボリュームを選択解除できません。
0412	SLSVQCHK ルーチンが予期しないリターンコードを返しました。
0414	VAT キュー上にボリュームシリアル番号が検出されましたが、データベースには存在しません。
0415	ボリューム/セル機能が、無効なボリューム/セルリターンコードを返しました。 R2 = リターンコード
0416	クリーナの選択解除後にクリーナ選択カウントが負になったか、またはクリーナ VCAM の同期後に低クリーナ volser が高クリーナ volser より大きくなりました。

同一値	説明
0418	SLSVINSP が不正なファンクションコードで呼び出されました。
0420	構造の境界外に格納しようとした。
0422	MOVE ルーチンからの VCPANLST (包含/除外のためのボリューム/セルパネルリスト) が無効です。
0424	FIGMGR からの RC が無効です。R2 にはリターンコードが含まれています。
0425	ドライブの有効なクリーナメディアがありません。

HSC 構成制御の異常終了理由コード

次の図では、HSC 構成制御の異常終了理由コードについて説明します。

表4.25 HSC 構成制御の異常終了理由コード

同一値	説明
0450	無効な ACS インデックス。
0451	無効な LSMid (LRQST 内)。
0452	セルプールの GET に失敗しました。
0453	無効な CAPid (LRQST 内)。
0454	CAP が別のホストに予約されています。
0455	SLSCAPA から返された LSMid が無効です。
0456	LMU ではステーションをオフラインに変更できますが、HST ではできません。
0457	ドライブテーブル (FDRVT) 内に一致する HOST ID がありません。
0458	無効な LSM ID (in HST 内)。
0459	ブロードキャストのための LMU レジスタに障害が発生しました。
0460	リスナーサブタスクが制御を受け取りましたが、終了 ECB も LMU ブロードキャスト ECB も POST 処理されていません。
0461	LMSid が無効です (LST 内)。
0462	HOSTid が LSM ロックワードと一致しません。
0463	TCB アドレスが LSM ロックワードと一致しません。
0464	LMU ドライバからの予期しないリターンコード。
0465	LSM の選択解除に失敗しました (ただし、I/O エラーではありません)。

同一値	説明
0466	ITT レコードを削除できません。
0467	制御データベースの解放 (DRLSE マクロ) に失敗しました。
0468	制御データベースの I/O エラー。
0469	LMURQST ブロードキャスト読み取り要求が失敗しました。
0470	無効なドライブ ID。
0471	FIGMGR Plist 内に無効なデータが検出されました。
0472	FIGMGR UPDATE が失敗しました。
0473	構成処理中の予期しない FIGMGR リターンコード。

HSC 初期化/終了の異常終了理由コード

次の表では、HSC 初期化/終了の異常終了理由コードについて説明します。

表4.26 HSC 初期化/終了の異常終了理由コード

同一値	説明
0501	HSC 初期化/終了ルーチンは ESTAE 環境を確立できませんでした。ESTAE なしで処理を続行できませんでした。 R2 = ESTAE マクロからのリターンコード
0502	プライマリ JES 名が SSCVT チェーン内に見つかりません。
0504	SSCVT 内の初期化/終了フラグが、起動中に、ほかの何らかのプロセスによって変更されました。
0506	SSCVT 内の初期化/終了フラグが、シャットダウン中に、ほかの何らかのプロセスによって変更されました。
0508	SSCVT 内の初期化/終了フラグが、シャットダウン中に、ほかの何らかのプロセスによって変更されました。
0510	初期化/終了サービスルーチンが、サブシステムの初期化中にロードされませんでした。

HSC インストールコンポーネントの異常終了理由コード

次の図では、HSC 初期化コンポーネントの異常終了理由コードについて説明します。

表4.27 HSC インストールコンポーネントの異常終了理由コード

同一値	説明
0550	パラメータの数が無効です。指定されたモジュールが、最後のパラメータアドレスの上位ビットが設定されていないパラメータリストで呼び出されました。これはプログラムの論理エラーです。
0551	無効な LIBGEN - パススルーポート。処理されている LIBGEN が無効でした。パススルーポートに指定された近傍が LIBGEN 内にありませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0552	DSCB を読み取るために OBTAIN が発行されました。0 以外のリターンコードが返されました。これは障害レベルのエラーです。 R11 = リターンコード
0553	無効なリターンコード。インストール機能が呼び出されました。無効なリターンコードが受信されました。これはプログラムの論理エラーです。 R10 = リターンコード R14 = 機能の呼び出しのあとのアドレス
0554	IEFEB4UV リターンコードが無効です。ユニット名を検索するために IEFEB4UV が呼び出されました。0 または 4 以外のリターンコードが返されました。これは障害レベルのエラーです。 R11 = リターンコード
0555	無効なデバイスタイプ (VM のみ)。SLICDATA はデバイス特性を取得するためのテーブル検索を実行していましたが、CDS を含むデバイスが見つかりませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0556	SLICDATA はパネルタイプのパネルマップを検索しようとしたしましたが、見つかりませんでした。
0557	SLICDATA がディメンションサービスからライブラリ要素に関するエラーを受信しました。
0558	SLICDATA が、ドライブレコードの構築時に予期しないエラーを検出しました。

HSC TMS/ユーザーインタフェースの異常終了理由コード

次の表では、HSC TMS/ユーザーインタフェースの異常終了理由コードについて説明します。

表4.28 HSC TMS/ユーザーインタフェースの異常終了理由コード

同一値	説明
0600	ESTAE マクロが配置に失敗しました。
0601	SLSTLMS ファイルに対する OPEN が失敗しました。
0602	回復不可能な IUCV エラーが発生しました。
0603	SLSTLMS ファイルに対する ALLOC が失敗しました。
0605	ユーザーインタフェースがデータベースサーバー機能を実行しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス
0606	ユーザーインタフェースがボリューム/セル機能を実行しました。復帰時、無効なりターンコードがありました。これはプログラムの論理エラーです。 R14 = 無効なりターンコードを検出した命令のアドレス
0607	ユーザーは「call until EOF」形式の PGMI インタフェースを呼び出そうとしましたが、PGMI 要求が完了する前に終了しました。

HSC LMU ドライバの異常終了理由コード

次の表では、HSC LMU ドライバの異常終了理由コードについて説明します。

表4.29 HSC LMU ドライバの異常終了理由コード

同一値	説明
0650	構成制御要求が行われました。ただし、リターンコードが無効でした。理由コードの上位 2 バイトには構成リターンコードの上位 2 バイトが含まれています。
0651	SLSLQ は、要求された SLSLQ 操作を呼び出し元が正しく直列化していないことを検出しました。検出は VIA CS 論理によります。
0652	要求待ちのキュー上に要求が存在するかどうかを確認するためのチェックが行われました。テストは正常でした。ただし、LQUEUE POP の実行に失敗しました。

同一値	説明
0653	SLSLATOQ の呼び出し元が LCBLOCK を保持しているかどうかを確認するためのチェックが行われました。保持していませんでした。
0654	ESTAE 環境は以前に確立されていましたが、ESTAE 環境を取り消そうとして失敗しました。ドライバは終了しようとしていました。
0655	割り当てられているはずのステーションの割り当てを解除しようとしているときに、SVC 99 からエラーコードが返されました。
0656	ESTAE 回復ルーチンの確立を 3 回試みましたが、ESTAE サービスからリターンコード = 00 が取得されませんでした。
0657	呼び出されたエントリポイントに対応する LRT エントリにソースタイプ記述子ビットが含まれていません。
0661	LRQ は完了済みと想定されていましたが、アクティブ、待機、または停止キュー上にあったか、あるいは LCB ロックが保持されていませんでした。
0663	ESTAE を確立できません。
0664	ESTAE の取り消しに失敗しました。起動時に回復ルーチンを確立したあと、ESTAE ルーチンを取り消そうとしてエラーが発生しました。
0665	LMU の応答エラー。LMU サーバーのアクティブなリクエストキューに存在しない、シーケンス番号を含む応答が受信されました。
0666	ESTAE の起動に失敗しました。ESTAE 回復ルーチンの確立を 3 回試みたあと、ESTAE サービスから R/C = 00 が受信されませんでした。
0667	ドライバの接続に失敗しました。SLSLDRV の接続を 3 回試みましたが、接続に失敗したか、または SLSLDRV を正しく初期化できなかったかのどちらかです。
0668	クロスメモリー POST エラー。LMU ドライバのシミュレート書き込みルーチンがクロスメモリー POST を発行しようとしたときにエラーが発生しました。
0669	クロスメモリー POST エラー。LMU ドライバのシミュレート読み取りルーチンがクロスメモリー POST を発行しようとしたときにエラーが発生しました。
0670	LMU ドライバのキュー検索が、キューに入れられているよりも多くの要素をスキャンしようとしたときにエラーが発生しました。キューが破損しています。

同一値	説明
0671	LMU ドライバがキューに要素を追加しようとしたときにエラーが発生しました。その要素がすでにキュー上にあったか、またはキューヘッダーが破損していました。
0672	LMU ドライバがキューから要素を削除しようとしたときにエラーが発生しました。その要素がキュー上にありませんでした。
0673	LMU ドライバがキューから要素を削除しようとしたときにエラーが発生しました。キュー上の個数が最大値を超えています。
0674	STIMERM が失敗しました。LMU ドライバがキューから要素を削除しようとしたときにエラーが発生しました。キュー上の個数が最大値を超えています。
0675	SLSFLSMM によって無効なリターンコードが指定されました。 R14 = リターンコード
0676	ユーザー異常終了が生成されました。ローカル作業領域内の WABNDMSG に、ユーザー異常終了をトリガーする 0 以外の値が配置されました。
0677	ユーザー異常終了が生成されました。ローカル作業領域内の WABNDMSG に、ユーザー異常終了をトリガーする 0 以外の値が配置されました。
0678	ユーザー異常終了が生成されました。以前の異常終了または早すぎる終了のあとの SLSLDRV の再起動時に UCB が再初期化されませんでした。
0679	LMU 要求または要求修飾子のエントリが見つかりません。
067A	シミュレーションが要求されましたが、シミュレータ LINK モジュールをロードできませんでした。

HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード

次の表では、HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コードについて説明します。

表4.30 HSC サブシステムデータベースモジュールの異常終了理由コード

同一値	説明
0700	内部エラー。DPV が使用できないときに CDS を予約しようとした。
0701	修正不可能な CDS の破損。データベースモジュールが CDS の破損を検出しました。SLSDRDIR はエラーを修正できませんでした。この理由コードは、

同一値	説明
	CDS 領域割り当てが不足している場合に SLICREAT 中に発生することがあります。
0702	修正不可能な CDS の破損。データベースモジュールが CDS の破損を検出しました。SLSDRDIR は CDS を再構築できましたが、破損は残っています。
0704	内部エラー。非所有者がデータベースの予約を解放しようとした。
0705	サブファイルの拡張時に FREE データベースブロックを見つけることができません。ユーザーはより大きな CDS を割り当てる必要があります。
0707	再書き込みプロセス中にボリュームの VARINUSE フラグが ON ではありません。
0708	指定された置換 VAR には別のボリュームシリアル番号が含まれています。
070A	ブロックの同期をとろうとしているときに BDAM または I/O エラーが発生しました。
070B	VAR 領域をスキャンしようとしているときに BDAM または I/O エラーが発生しました。
070C	内部エラー。DEEREPL にバッファが渡されていません。
070D	最後の CDS コピーがエラー状態にあります。システムを停止する必要があります。
070E	DHB を再書き込みしようとして I/O エラーが発生しました。
070F	Hostid が、渡された DHB レコード内のどれにも一致しません。
0710	割り当てに使用できる ITT ブロックがありませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0711	内部エラー。ブロック番号がインデックスの境界内にありません。
0712	内部エラー。呼び出し元が正しくないトークンを指定しました (ITT のメモリアドレスに一致しません)。
0713	内部エラー。指定されたオフセットの長さが許可される値を超えています。
0714	内部エラー。DCH アイボールが無効です。
0715	内部エラー。DCH がキャッシュされていません。
0716	内部エラー。VAR 領域がオーバーフローしました。
0717	内部エラー。呼び出し元が、アクティブなホストまたは存在しないホストを指定しました。

同一値	説明
0718	内部エラー。指定されたホスト用に ITT エクステントを取得できませんでした (a)。現在のホスト用の ITT エクステントがありません (b)。
071A	内部エラー。CDS レコードの目印が、それに対して定義されている 4 文字のサブファイル ID に一致しません。
071B	内部エラー。SCAN に指定された OPTION フィールドが無効です。
071C	内部エラー。内部サブルーチン NEXTRITT が OK または EOF 以外の値を返しました。
071D	内部エラー。SCAN の初期化時に呼び出し元によって指定されたいずれかの LSM が有効ではありません。
071E	CDS を読み取ろうとしているときに予期しないエラーが発生しました。
071F	このタスクで RESERVE が保持されることなく、SLSDAWRC が呼び出されました。
0720	ハートビートを接続しようとして失敗しました。R2 = ATTACH リターンコード
0723	内部エラー。ESTAE を確立できません。メッセージ 723E に付随します。
0724	内部エラー。プログラムがユーザー出口に無効なエントリタイプを渡しました - SLSUX06。メッセージ 724E に付随します。
0725	指定された ACS のエラントなレコードを見つけようとして失敗しました。ACS はメッセージ 725I で示されます。
0726	内部エラー。呼び出し元が無効な ACS を指定しました。メッセージ 726I に付随します。
072A	FIGMGR 呼び出しから 0 以外のリターンコードが受信されました。
072B	相対パネルの FLSM レコード内に一致するパネルタイプが見つかりません。
0731	内部エラー。DRPHY の呼び出し元が、データベース読み取りルーチン SLSDRDSR に無効なパラメータデータを指定しました。
0732	内部エラー。無効な BDAM パラメータ。
0733	ほかのジャーナルで以前 I/O エラーが発生したため、ジャーナルを切り替えることができません。
0735	両方のジャーナルで I/O エラーが発生しました。
0736	ジャーナルの切り替えのあと、新しい現在のジャーナルが、まだリセットされていないことを示しています。

同一値	説明
0748	呼び出し元が、ILLTERNT フィールドが DES 領域内がない VAR を渡しました。メッセージ 748I が発行されました。
0749	呼び出し元が、X'00' の回復ルーチン値で ITT レコードを書き込もうとしています。
074A	SLSDIOM がアクティブな CDS 要求で終了しました。
074B	どのプライマリもアクティブでないときに CDS を予約しようとしています。
074C	エラー分析中に CDS を予約しようとして失敗しました。
074D	内部エラー。CDS レベルの HCSRQST エラー。
074E	内部エラー。無効な DCVININFO が指定されました。

HSC WTO サーバーの異常終了理由コード

次の表では、HSC WTO サーバーの異常終了理由コードについて説明します。

表4.31 HSC WTO サーバーの異常終了理由コード

同一値	説明
0750	サブシステムメッセージ書き込みルーチンによってインタフェースエラーが検出されました。これは内部エラーです。 R2 = より具体的なエラー理由コード
0751	複数行の要求を出力しようとしているときに WTO から 0 以外のリターンコードが受信されました。これは内部エラーです。 R14 = リターンコード

HSC ASCOMM 異常終了理由コード

次の表では、HSC ASCOMM 異常終了理由コードについて説明します。

表4.32 HSC ASCOMM 異常終了理由コード

同一値	説明
0802	ASCOMM の終了がすでに進行中です。SLSQDRV ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。この異常終了によって ASCOMM ドライバタスクは終了しません。

同一値	説明
0803	<p>SLSQWRK の ATTACH が失敗しました。SLSQDRV ESTAE ルーチンはダンプを生成し、QMTB を解放して再試行します。この異常終了によって ASCOMM ドライバタスクは終了しません。</p> <p>R14 = 違反のアドレス</p>
0804	<p>ESTAE を確立できません。ASCOMM が ESTAE を確立または削除しようとして、0 以外のリターンコードが返されました。理由コードの上位 2 バイトには ESTAE リターンコードが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R14 = 命令アドレス</p>
0805	<p>QXTRACT サービスが、ASCOMM によって接続されていないタスクから呼び出されました。これは障害レベルのエラーです。</p>
080C	<p>QMTB 内に無効なオプションが見つかりました。SLSQDRV ESTAE ルーチンはダンプを生成し、QMTB を解放して再試行します。この異常終了によって ASCOMM ドライバタスクは終了しません。</p>
080E	<p>QMTB キュー上の要素が無効です。ルーチンの ESTAE は、システムダンプに無効なストレージアドレスが含まれています。</p>
0810	<p>呼び出し元によって指定された応答トークンが ASCOMM 内部テーブル内に見つかりませんでした。応答を発行しているタスクは強制終了されます。</p>
0811	<p>応答の長さが、元の要求で指定されたサイズを超えていました。応答を発行しているタスクは強制終了されます。</p>
0815	<p>呼び出し元によって指定されたタスクトークンが 0 でした。応答を発行しているタスクは強制終了されます。</p>
0820	<p>呼び出し元によって指定された応答トークンが 0 でした。応答を発行しているタスクは強制終了されます。</p>
0827	<p>リンクインデックスを割り当てることができません。ASCOMM の初期化は終了します。これにより、サブシステム全体の初期化が行われなくなります。</p>
0829	<p>ASCOMM ドライバの接続に失敗しました。ASCOMM の初期化は終了します。これにより、サブシステム全体の初期化が行われなくなります。</p>
0830	<p>ASCOMM ドライバの初期化に失敗しました。ASCOMM の初期化は終了します。これにより、サブシステム全体の初期化が行われなくなります。</p>

同一値	説明
0833	無条件 SETLOCK が失敗しました。
0834	LVT を見つけることができません。SRB は終了します。

HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード

次の表では、HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コードについて説明します。

表4.33 HSC サブシステムサービスモジュールの異常終了理由コード

同一値	説明
0900	許可される最大の保存/作業領域を超える領域を割り当てようという試みが SLSCALL によって検出されました。これはプログラムの論理エラーです。 R9 = 呼び出されているモジュール R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0901	保存/作業領域として 72 バイト未満の領域を割り当てようという試みが SLSCALL によって検出されました。これはプログラムの論理エラーです。 R9 = 呼び出されているモジュール R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0902	部分的な保存領域スタックを解放しようという試みが SLSBSADB によって検出されました。これはプログラムの論理エラーです。
0903	部分的な保存領域スタックを解放しようという試みが SLSBSADS によって検出されました。これはプログラムの論理エラーです。
0904	最大値を超える初期の保存領域スタックを割り当てようという試みが SLSMAINP によって検出されました。これはプログラムの論理エラーです。
0905	無効なパラメータを指定した、ロック/ロック解除サービスの呼び出しが行われました。R1 が 0 以外か、または R0 が 0 でした。これはプログラムの論理エラーです。

同一値	説明
0906	ロック/ロック解除サービスの呼び出しが行われましたが、使用できる DPV がありませんでした。これはプログラムの論理エラーです。
0907	ロック/ロック解除サービスの呼び出しが行われました。ENQ または DEQ が発行され、無効なリターンコードが返されました。これはプログラムの論理エラーです。
0908	SSAT サービスの呼び出しが行われました。ただし、無効なエントリが指定されました。これはプログラムの論理エラーです。 R2 = 無効なエントリ
0909	SSAT SET サービスの呼び出しが行われました。ただし、アクティブな ENQ が、要求元が SET をすでに処理していたことを示しています。これはプログラムの論理エラーです。
0910	内部サブルーチン PARSK000 からのリターンコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えていました。 R2 = リターンコード
0911	SLSSSATS が ESTAE の作成または削除のどちらかを試みました。ESTAE が 0 以外のリターンコードを返しました。これはプログラムの論理エラーです。 R2 = リターンコード
0912	内部サブルーチン PARSV000 からのリターンコードが、ジャンプテーブルで処理できる値を超えていました。 R2 = リターンコード
0913	ボリューム/セルルーチンの呼び出しで、無効なリターンコードが返されました。 R14 = ボリューム/セルルーチンを呼び出している領域
0914	SLSSHSRQ ルーチンの呼び出しで、無効な機能が要求されました。
0915	SLSSHSRQ ルーチンの呼び出しで、無効な要求または応答が指定されました。
0916	別のホストからの要求を処理するためのタスクが接続されました。ATTACH が 0 以外のリターンコードを返しました。

同一値	説明
	R14 = リターンコード
0917	SRIBRQ マクロが、無効なファンクションコードとともに発行されました。 R10 = SRIBPL のアドレス
0918	このモジュールの ESTAE を確立しようとしているときにエラーが発生しました。 R15 = リターンコード
0919	このモジュールの ESTAE を確立しようとしているときにエラーが発生しました。 R15 = リターンコード
0920	STIMERM シミュレーション中にエラーが発生しました。STIMERM マクロで ERRET が指定されていませんでした。 R15 = リターンコード
0921	STIMERM CPOOL FREE ルーチンでエラーが発生しました。セルを解放できませんでした。 R15 = リターンコード
0922	SLSSACCM 処理中にエラーが発生しました。 R8 = SRCSACTION テーブル R7 = SRCSACEL 要素 R2 = リターンコード R15 = リターンコード
0923	SLSSUXQP 処理中にエラーが発生しました。 R5 = ユーザー出口エン트리コード R8 = SACCUM のためのトークン
0924	SLSSUXCP 処理中にエラーが発生しました。R7 = ユーザー出口エン트리 BUXCHB

同一値	説明
	R8 = BUXCHT のためのアドレス
0925	SLSCALL に渡されたエントリポイントアドレスが 0 でした。 R9 = 呼び出されているモジュールは 0 を含みます R12 = 呼び出しを行なっているモジュール R14 = 戻りアドレス
0926	LSMid が無効です。
0927	モジュール ATTACH 要求がタイムアウトしました。 R4 = SLS1972D メッセージで始まるモジュール ATTACH 要求
0928	サブルーチンによって不明なリターンコードが受信されました。リターンコードは、SCCELLV パラメータリストの SCELBDRC フィールドに配置されます。
0929	要求元が、動作の宛先またはターゲットの無効な場所を指定しました。
0930	ユニットアドレスの SRMM RESOLVE からの予期しないリターンコード。
0931	UENT (ユーティリティエントリ) 制御ブロックチェーンでエラーが検出されました。
0942	サブシステム検証 SSREQ を使用して HSC のサブシステムインデックス値を取得しているときに SSI 要求が失敗しました。

HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード

次の表では、HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コードについて説明します。

表4.34 HSC 回復コンポーネントの異常終了理由コード

同一値	説明
8502	ホスト回復 RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、それには無効な HOST ID が含まれていました。同じホスト回復の場合、HOST ID と LVTHID は異なります。これは障害レベルのエラーです。 R9 = RRPL
8506	回復 RRPL が渡されましたが、それには無効な ACHS ID が含まれていました。これは障害レベルのエラーです。

同一値	説明
	R9 = RRPL
850A	回復 LSM RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、それには無効な LSM ID が含まれていました。これは障害レベルのエラーです。
	R9 = RRPL
850E	クリーンな CAP RRPL が SLSRMQUE に渡されましたが、それには無効な CAP ID が含まれていました。これは障害レベルのエラーです。
	R9 = RRPL
8516	VOL/CELL 機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。
851A	構成機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。
851E	CAP 共通機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。
8522	クリーンなボリューム RRPL が SLSRMQUE に渡されました。ただし、VOLSER が無効でした。これはプログラムの論理エラーです。
	R9 = RRPL
8526	無効な RRPL が指定されました。これはプログラムの論理エラーです。
	R9 = RRPL
852A	LMU サーバー機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。
852E	RCVTERRA によって許可されるエラーの数を超過しました。
8532	回復 ITT 回復ルーチンが呼び出されましたが、別の ITT 回復ルーチンを指定した ITT が渡されました。これはプログラムの論理エラーです。
	R9 = RITT
	R10 = RITP

同一値	説明
8536	<p>ホスト回復の実行を担当するタスクが異常終了しました。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R9 = RRPL</p>
853A	<p>クリーンなボリューム RRPL が SLSRMQUE に渡されました。ただし、呼び出し元で LSM がロックされていました。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R9 = RRPL</p>
853E	<p>データベースサーバー機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。</p>
8542	<p>無効なパラメータリストが回復機能に渡されました。これはプログラムの論理エラーです。</p>
8546	<p>回復機能が要求されました。ただし、それは無効なリターンコードを返しました。理由コードの上位 2 バイトにはリターンコードの上位 2 バイトが含まれています。これはプログラムの論理エラーです。</p>
854A	<p>回復で、無効なソースまたは宛先レコードを含む DES が検出されました。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R3 = チェックされている場所</p> <p>R9 = DES</p>
854E	<p>回復でタスクを接続できませんでした。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R14 = 接続のリターンコード</p>
8552	<p>回復で無効な LTCE が受信されました。これはプログラムの論理エラーです。</p> <p>R2 = LTCB</p> <p>R3 = LTCE</p>
8556	<p>CAP または LSM の回復が要求されましたが、LSMid テーブル内に LSM が見つかりませんでした。</p>

同一値	説明
	R2 = LSMid
	R6 = LSMid テーブル
855A	CAP または LSM の回復が要求されました。ただし、指定された ITT に 0 のルーチンタイプが含まれていました。
	R9 = RRPL

HSC ホスト通信の異常終了理由コード

次の表では、HSC ホスト通信の異常終了理由コードについて説明します。

表4.35 HSC ホスト通信の異常終了理由コード

同一値	説明
9200	ESTAE エラーが発生しました。 R2 = ESTAE エラーリターンコード
9201	ATTACH エラーが発生しました。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。SLSHINIT は初期化にエラーリターンコードを渡します。 R2 = ATTACH エラーリターンコード
9202	不明な ECB が送信されました。ディスパッチされたタスクが、POST 処理された ECB を判定できませんでした。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。
9203	不明なリターンコード。SLSHWRT は呼び出し元にエラーリターンコードを返します。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。
9204	CDS メソッドからの下方切り替えが試行されました。SLSHSWT は呼び出し元にエラーリターンコードを返します。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。
9205	現在のメソッドが不明です。SLSHSWT は呼び出し元にエラーリターンコードを渡します。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。
9206	出口ワークキューにエントリを追加できません。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。
9207	VTAM 出口ワークキューを削除できません。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。

同一値	説明
9208	VTAM 出口ワークキューのエントリタイプが不明です。ESTAE ルーチンはダンプを生成し、再試行します。

HSC メッセージのルートコードと記述子コード

次の表に、メッセージ番号のルートコードと記述子コードへの相互参照リストを示します。

あるメッセージに次の表に示されているルートコードが関連付けられていない場合、そのメッセージはコマンドへの応答です。この場合、メッセージは、そのコマンドが発行されたコンソールにのみルーティングされます。

表4.36 HSC メッセージのルートコードと記述子コード

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0001I		5
SLS0002I		5
SLS0003I		5
SLS0004I		5
SLS0005I		5
SLS0006I		5
SLS0007I	11	5
SLS0010I		5
SLS0011I		5
SLS0013I		5
SLS0015I	2,11	5
SLS0016I	2,11	5
SLS0017I	2,11	5
SLS0018I		5
SLS0019I	2,11	5
SLS0020I		5
SLS0021I		5
SLS0022I		5

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0023I		5
SLS0024I	11	5
SLS0028I	11	5
SLS0029I	11	5
SLS0030I		2
SLS0031D	2,3,5,11	2
SLS0032I	2,11	4
SLS0033A	9	2
SLS0034I	9,11	5
SLS0035A	3,5,11	2
SLS0036I	3,5,11	4
SLS0037I	3,5,11	4
SLS0040I		5
SLS0041I		5
SLS0042I	3,11	4
SLS0045I		5
SLS0046I		5
SLS0047I		5
SLS0048I	11	5
SLS0049I	11	5
SLS0050I		5
SLS0053I		5
SLS0054I	3,11	5
SLS0055I		5
SLS0056I		5
SLS0057I	2,11	4
SLS0059I	3,11	5
SLS0060I		5

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0061I		5
SLS0062I		5
SLS0063I		5
SLS0068I		5
SLS0069I	2,11	5
SLS0070I	3,11	5
SLS0071I	2,11	5
SLS0072I	5,11	5
SLS0075D	3,5,11	2
SLS0076I	2,11	4
SLS0077I	3,5,11	4
SLS0078I	3,5,11	4
SLS0079I	3,5,11	4
SLS0080I	3,5,11	4
SLS0081I	3,5,11	4
SLS0082I	3,5,11	4
SLS0083I	3,5,11	4
SLS0085I	3,5,11	4
SLS0086I	3,5,11	4
SLS0087I	3,5,11	4
SLS0088D	3,5,11	2
SLS0089E	3,5,11	3
SLS0090I	3,5,11	4
SLS0091I	3,5,11	4
SLS0092I	3,5,11	4
SLS0093I	3,5,11	4
SLS0094E	3,5,11	11
SLS0096I	3,5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0098A	3,5,11	2
SLS0099I	3,5,11	4
SLS0100D	3,5,11	2
SLS0101I		5
SLS0103E	3,11	11
SLS0104D	3,5,11	2
SLS0105A	3,5,11	2
SLS0107D	3,5,11	2
SLS0108D	3,5,11	2
SLS0109D	3,5,11	2
SLS0110I	3,5,11	4
SLS0111I	3,5,11	4
SLS0112E	3,11	11
SLS0113D	3,5,11	2
SLS0114D	3,5,11	2
SLS0115I	3,5,11	4
SLS0116I	3,5,11	4
SLS0117E	3,11	11
SLS0118D	3,5,11	2
SLS0119D	3,5,11	2
SLS0120E	3,11	11
SLS0121I	3,11	4
SLS0122D	3,5,11	2
SLS0123I	3,11	4
SLS0124I	3,5,11	4
SLS0125D	3,5,11	2
SLS0127I	3,11	4
SLS0128A	3,5,11	2

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0129I	2,11	4
SLS0130I	3,5,11	4
SLS0131I	3,11	4
SLS0132I	3,5,11	4
SLS0133I	3,5,11	4
SLS0134D	3,5,11	2
SLS0135I	3,5,11	4
SLS0136D	3,5,11	2
SLS0137E	3,11	11
SLS0138D	3,5,11	2
SLS0139I	3,5,11	4
SLS0140I	3,5,11	4
SLS0141I	3,5,11	4
SLS0142I	3,5,11	4
SLS0143I	3,5,11	4
SLS0144I	3,5,11	4
SLS0145I	3,5,11	4
SLS0146I	3,5,11	4
SLS0147I	3,5,11	4
SLS0148I	3,11	4
SLS0149I	3,11	4
SLS0154A	2,11	2
SLS0250D	3,5,11	2
SLS0251E	3,5,11	3
SLS0252I	3,5,11	4
SLS0254I	3,5,11	4
SLS0255E	3,5,11	3
SLS0256I	3,5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0257I	3,5,11	4
SLS0258I	3,5,11	4
SLS0259A	3,5,11	2
SLS0261A	3,5,11	2
SLS0262A	3,5,11	4
SLS0263D	3,5,11	2
SLS0265A	3,5,11	2
SLS0266I	3,5,11	4
SLS0267A	3,5,11	2
SLS0268I	3,5,11	4
SLS0269I	3,5,11	4
SLS0301I	11	4
SLS0303I	3,11	4
SLS0306I	3,11	4
SLS0308I	3,11	4
SLS0310I	3,11	4
SLS0313E	2,11	11
SLS0315I	2,5	4
SLS0316I	2,5	4
SLS0317I	3,5,11	4
SLS0318I	2,5	4
SLS0319I	2,5	4
SLS0320I	2,11	4
SLS0360E	2,3,11	11
SLS0381A	2,3,11	11
SLS0404I	5,11	4
SLS0410I	3,5,11	4
SLS0411I	3,5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0451I	2,11	4
SLS0452I	2,11	4
SLS0453I	3,11	4
SLS0454I	2,11	4
SLS0455I	2,11	4
SLS0456I	3,11	4
SLS0457I	3,11	4
SLS0458I	3,11	4
SLS0460I	2	4
SLS0500I	2	4
SLS0501I	2,11	4
SLS0503I	2,11	4
SLS0504I	2,11	4
SLS0505I	2,11	4
SLS0506I	2,3,5	4
SLS0507I	2,11	4
SLS0508I	2,11	4
SLS0509I	2,11	4
SLS0510I	2,11	4
SLS0511I	2,11	4
SLS0512E	2,11	3
SLS0518D	2,11	2
SLS0519I	2,11	4
SLS0520I	2,11	4
SLS0521I	2,11	4
SLS0522I	2,11	4
SLS0523I	5,11	4
SLS0524I	5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0525I	2,11	4
SLS0527I	2,3,5	4
SLS0529I	5,11	4
SLS0530I	2,11	4
SLS0531I	2,5,11	3
SLS0545I	2,3,5,11	4
SLS0548I	3,11	4
SLS0600I		5
SLS0601I		5
SLS0602I		5
SLS0603I		5
SLS0604I		5
SLS0605I		5
SLS0606I		5
SLS0607I		5
SLS0608I		5
SLS0609I		5
SLS0610I	11	5
SLS0611I		5
SLS0612I	11	5
SLS0613I		5
SLS0651I	3,11	4
SLS0652I	3,11	4
SLS0653I	3,11	4
SLS0655I	3,11	4
SLS0660I	3,11	4
SLS0661E	3,11	11
SLS0662I	3,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0663I	3,11	4
SLS0664I	3,11	4
SLS0665E	3,11	11
SLS0666A	3,11	2
SLS0667I	3,11	4
SLS0668I	3,11	4
SLS0669A	3,11	2
SLS0670I	3,11	4
SLS0671I	3,11	4
SLS0672E	3,11	11
SLS0673I	3,11	4
SLS0674I	2,11	4
SLS0675E	3,11	3
SLS0676I	2,11	4
SLS0677I	3,11	4
SLS0678I	3,11	4
SLS0679E	2,11	11
SLS0680I	2,11	4
SLS0681I	3,11	4
SLS0682D	3,11	2
SLS0683I	3,11	4
SLS0684I	3,11	4
SLS0685I	3,11	4
SLS0686I	3,11	4
SLS0687I	11	4
SLS0688I	3,11	4
SLS0689I	3,11	4
SLS0690E	3,11	3

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0691I	2,3,5,11	
SLS0696A	3,11	4
SLS0697I	3,11	4
SLS0698I	3,11	4
SLS0699I	3,11	4
SLS0702I	3,11	4
SLS0704E	2,11	3
SLS0707I	11	4
SLS0708I	11	4
SLS0712I	11	4
SLS0713I	11	4
SLS0714I	11	4
SLS0715I	2,11	4
SLS0717I	2,11	4
SLS0719I	2,11	4
SLS0720I	2,11	4
SLS0721I	11	4
SLS0723I	2,11	4
SLS0724I	2,11	4
SLS0725I	2,5,11	3
SLS0730I	2,3,5,11	4
SLS0745I	5,11	4
SLS0746I	5,11	4
SLS0747I	2,5,11	4
SLS0750I	2,11	4
SLS0751I	2,11	4
SLS0752I	2,11	4
SLS0760I	2,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0761I	2,11	3
SLS0762I	2,11	3
SLS0764I	2,5,11	4
SLS0765E	2,5,11	11
SLS0766E	2,5,11	3
SLS0767E	2,5,11	3
SLS0768E	2,5,11	3
SLS0769I	2,5,11	4
SLS0770I	2,5,11	4
SLS0805I	2,11	4
SLS0810I	2,11	4
SLS0850I	2,11	4
SLS0851I	2,11	4
SLS0852I	2,11	4
SLS0853I	2,11	4
SLS0854D	3,5,11	2
SLS0856D	3,5,11	2
SLS0857I	11	4
SLS0858I	11	4
SLS0860D	3,5,11	2
SLS0863I	2,11	4
SLS0864I	3,5,11	4
SLS0865I	2,11	4
SLS0866I	2,11	4
SLS0867E	3,5,11	11
SLS0868I	3,11	4
SLS0869D	3,5,11	2
SLS0870I	3,5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0871I	3,5,11	4
SLS0873I	3,5,11	4
SLS0900I	3,11	4
SLS0901D	3,5,11	2
SLS0902D	3,5,11	2
SLS0903D	3,5,11	2
SLS0904I	3,11	4
SLS0905D	3,5,11	2
SLS0906E	3,5,11	11
SLS0907I	3,5,11	4
SLS0908I	3,5,11	4
SLS0909D	3,5,11	2
SLS0910I	3,5,11	7
SLS0911D	3,5,11	2
SLS0912I	3,5,11	4
SLS0913I	3,5,11	4
SLS0917I	11	4
SLS0923I	3,11	4
SLS0925D	3,5,11	2
SLS0926I	3,5,11	4
SLS0927A	3,5,11	2
SLS0928A	3,5,11	2
SLS0929I	3,5,11	4
SLS0931I	3,5,11	4
SLS0934D	3,5,11	2
SLS0935D	3,5,11	2
SLS0936D	3,5,11	2
SLS0937D	3,5,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS0950I	2,11	7
SLS0951I	2,11	7
SLS0952I	2,11	7
SLS0953I	2,11	4
SLS0954D	2,11	2
SLS0955E	2,11	11
SLS0973I	5,11	7
SLS0974A	5,11	7,11
SLS1000I	11	5
SLS1001I	11	5
SLS1002I	11	5
SLS1003I	11	5
SLS1004I	11	5
SLS1005I	11	5
SLS1007I	2,3,11	5
SLS1010I		5
SLS1011I		5
SLS1012I		5
SLS1014I		5
SLS1015I		5
SLS1016I		5
SLS1018I		5
SLS1026I		5
SLS1027I		5
SLS1028I		5
SLS1030I		5
SLS1031I	11	5
SLS1032I	11	5

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1033I	11	5
SLS1034I	11	5
SLS1035I		5
SLS1037I	11	5
SLS1038I	11	5
SLS1039I	11	5
SLS1040I	11	5
SLS1041I	11	5
SLS1042I	11	5
SLS1050I	11	5
SLS1051I	11	5
SLS1052I	11	5
SLS1071D	2,3,11	2
SLS1072I	11	4
SLS1074I	11	5
SLS1075D	3,5,11	2
SLS1250D	3,5,11	2
SLS1300D	2,3,11	2
SLS1301I	2,3	4
SLS1317I	2,11	4
SLS1320I	1,3,5,11	2,7
SLS1403I	5,11	11
SLS1406I	5,11	11
SLS1407I	3,5,11	4
SLS1408I	3,5,11	4
SLS1409I	5,11	11
SLS1450I	11	4
SLS1500I	2,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1501I	2,11	4
SLS1502I	11	4
SLS1505I	2,3,5,11	4
SLS1506I	2,3,5,11	4
SLS1507I	2,11	5
SLS1508I	2,11	5
SLS1509I	2,11	5
SLS1510I	2,11	5
SLS1512I	2,11	5
SLS1513I	2,3,5,11	4
SLS1515I	2,11	4
SLS1519I	2,11	5
SLS1600I	11	5
SLS1601I	11	5
SLS1602I		5
SLS1603I		5
SLS1604I		5
SLS1605I		5
SLS1606I		5
SLS1607I		5
SLS1608I		5
SLS1610I		5
SLS1611I		5
SLS1612I		5
SLS1613I		5
SLS1614I		5
SLS1615I		5
SLS1616I		5

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1617I		5
SLS1618I		5
SLS1619I		5
SLS1620I		5
SLS1625I		5
SLS1626I		5
SLS1627I		5
SLS1628I		5
SLS1629I		5
SLS1630I		5
SLS1631I		5
SLS1636I		5
SLS1650E	2,3,11	11
SLS1651I	2,3,11	4
SLS1652I	2,3,11	4
SLS1653D	2,3,11	2
SLS1654I	2,3,11	4
SLS1655I	2,3,11	4
SLS1656E	2,3,11	11
SLS1657I	2,3,11	4
SLS1658E	2,3,11	11
SLS1559E	2,3,11	11
SLS1660E	2,3,11	3
SLS1661I	2,11	4
SLS1662I	2,11	4
SLS1663I	2,3,11	11
SLS1664A	2,3,11	11
SLS1665E	2,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1700I	2,11	4
SLS1701I	2,11	4
SLS1702I	2,11	4
SLS1703I	2,11	11
SLS1704I	2,11	4
SLS1705E		11
SLS1706E	2,11	11
SLS1708I	2,11	5
SLS1709I	2,11	11
SLS1710E	2,11	11
SLS1711I	2,11	11
SLS1712I	2,11	4
SLS1713I	2,11	5
SLS1714I	2,11	5
SLS1715I	11	4
SLS1717I	2,11	4
SLS1718I	2,11	4
SLS1719I	2,11	4
SLS1720E	2,11	5
SLS1721I	2,11	4
SLS1722I	2,11	4
SLS1723I	2,11	4
SLS1724I	2,11	4
SLS1725I	2,11	5
SLS1727I	2,11	11
SLS1729I	2,11	11
SLS1730I	2,11	4
SLS1731I	2,11	11

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1733I	2,11	11
SLS1735I	2,11	4
SLS1737E	2,11	3
SLS1738E	2,11	3
SLS1900I	2,11	5
SLS1901I	2,11	4
SLS1902D	2,11	4
SLS1903I	2,11	4
SLS1904E	2,11	3
SLS1905I	2,11	4
SLS1906I	2	4
SLS1950I		5
SLS1951I		5
SLS1952I		5
SLS1953I	2,11	5
SLS1954I		5
SLS1955I		5
SLS1956I		5
SLS1957I		5
SLS1958I		5
SLS1959I	5	5
SLS1960I	5	5
SLS1961I	5	5
SLS1962I	2,11	4
SLS1963I	2,11	4
SLS1964I		5
SLS1965I		4
SLS1966I	2,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS1969I	2,11	4
SLS1970I	11	4
SLS1971I	2,11	4
SLS1972D	2,11	4
SLS2008I	11	5
SLS2009I	11	5
SLS2011I		5
SLS2012I		5
SLS2013I		5
SLS2014I	11	5
SLS2033I		5
SLS2034I		5
SLS2038I		5
SLS2039I		5
SLS2075I	11	2
SLS2080I	3,5,11	4
SLS2081I	3,5,11	4
SLS2082I	3,5,11	4
SLS2102D	3,5,11	2
SLS2108D	3,5,11	2
SLS2114D	3,5,11	2
SLS2124I	3,5,11	4
SLS2126I	3,5,11	2
SLS2154I	11	5
SLS2155I	11	5
SLS2169I	11	5
SLS2250I	3,11	4
SLS2251A	3,5,11	2

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2252A	3,5,11	2
SLS2253I	3,11	4
SLS2254A	3,5,11	2
SLS2255I	3,5,11	2
SLS2256I	3,5,11	2
SLS2257I	3,5,11	4
SLS2258I	3,5,11	4
SLS2259A	3,5,11	2
SLS2260I	3,5,11	2
SLS2261I	3,5,11	2
SLS2262I	3,5,11	4
SLS2263I	3,5,11	4
SLS2264E	3,11	11
SLS2267I	3,5,11	4
SLS2276I	3,5,11	4
SLS2303I	3,11	4
SLS2305I	3,11	4
SLS2375I	20	10
SLS2412I	3,5,11	4
SLS2450E	2,11	3
SLS2459I	2,11	4
SLS2460I	2,11	4
SLS2463I	2,3,11	4
SLS2501I	2,11	4
SLS2502I	2,11	4
SLS2526I	2,11	4
SLS2528I	2,11	4
SLS2550I	3,5,11	2

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2559I	3,5,11	2
SLS2580E	3,5,11	2
SLS2581A	3,5,11	2
SLS2610I		5
SLS2615I		5
SLS2616D		5
SLS2617I		5
SLS2618I		5
SLS2620I		5
SLS2621I		5
SLS2622I		5
SLS2623I		5
SLS2624I		5
SLS2625I	11	5
SLS2627I		5
SLS2628I		5
SLS2629I	11	5
SLS2630I		5
SLS2631I		5
SLS2632I		5
SLS2633E		4
SLS2635I		5
SLS2636A	9	2
SLS2637I		4
SLS2639I	5	4
SLS2640I		5
SLS2641I		5
SLS2642I		5

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2643I		5
SLS2644I		5
SLS2645I		5
SLS2646I		5
SLS2647I	2,11	4
SLS2648I	2,11	4
SLS2651I	2,3,11	4
SLS2654I		5
SLS2656I		5
SLS2701E	2,11	11
SLS2702E	2,11	11
SLS2716I		4,8,9
SLS2740I	5	11
SLS2641E	2,11	11
SLS2850I	3,5,11	4
SLS2901D	3,5,11	2
SLS2911D	3,5,11	2
SLS2912I		5
SLS2914I	11	5
SLS2915I	11	5
SLS2916I	11	4
SLS2934I	3,5,11	4
SLS2962I	3,5,11	4
SLS2964E	3,5,11	11
SLS2972I	11	5
SLS2973I	11	5
SLS2974I	2,11	4
SLS2976I	2,11	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS2977I	2,11	4
SLS2978A	9	2
SLS2979I		4
SLS2980I		5
SLS2984D	3,5,11	2
SLS2985I		5
SLS2986I		5
SLS4266A	3,5,11	2
SLS4306I	1,3,11	2,7
SLS4308I	1,3,11	2,7
SLS4310D	1,3,11	2
SLS4451I	2,3,11	4
SLS4453I	2,3,11	4
SLS4454I	2,3,11	4
SLS4455E	2,3,11	4
SLS4650E	2,3,11	3
SLS4736E	2,11	11
SLS4737E	2,11	11
SLS4738I	2,11	11
SLS6001I	3,11	4
SLS6002I	3,11	4
SLS6004I	3,11	4
SLS6009I	11	5
SLS6010I	11	5
SLS6011I	11	5

第5章 SMC のリターンコードと理由コード

この章では、SMC によって発行される次のコードについて説明します。

- 「SMC UUI のリターンコードと理由コード」
- 「SMC ASCOMM の理由コード」
- 「SMC 通信コンポーネントの理由コード」

SMC UUI のリターンコードと理由コード

次のリターンコードは、外部ユーザーの TAPEPLEX または SMC との通信のための SMC UUI コンポーネントによって設定されます。

UUI R15 処理コード

UUI 処理中、R15 には、要求の現在のステータスを識別するために次のいずれかの値が含まれています。

表5.1 SMC UUI R15 処理コード

10 進数値	16 進数値	説明
1	1	さらに返すデータがあります
2	2	すべてのデータが返されました (EOF)
3	3	次の読み取りのタイムアウト。次のデータが使用可能になる前に、次の読み取りのタイムアウトが発生しました

UUI 機能のリターンコード

NCOMRSRC フィールドには、エラーの重要度を示す次のいずれかの値 (または、要求が正常に完了した場合は 0) が含まれています。

表5.2 SMC UUI 機能のリターンコード

10 進数値	16 進数値	説明
4	4	コマンドが警告メッセージを発行しました

10 進数値	16 進数値	説明
8	8	コマンドがエラーメッセージを発行しました
12	X'000C'	コマンドが致命的エラーを発行しました
16	X'000A'	ABEND が検出されました

UUI 機能の理由コード

NCOMRSRC フィールドが 0 以外である場合、NCOMRSRS フィールドには次のいずれかの値が含まれています。

表5.3 SMC UUI 機能の理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
4	4	要求の長さエラー
8	8	出口が指定されていません
12	X'000C'	要求解析エラー
16	X'000A'	要求が見つかりません
20	X'0014'	コマンド起点エラー
24	X'0018'	LINKLIB が承認されていません
28	X'001C'	サービスのリリースに互換性がありません
32	X'0020'	VTCS 拡張管理機能が必要です
36	X'0024'	要求が取り消されたか、または HSC が非アクティブです
40	X'0028'	不正な形式の XML がサーバーから受信されました
48	X'0030'	無効なパラメータ値
52	X'0034'	VSM がサーバー上でアクティブではありません
54	X'0036'	テープレス CDS に対して有効ではありません
56	X'0038'	CSV パラメータのキーワードエラー
60	X'003C'	CSV パラメータの形式エラー
61	X'003D'	SDD パラメータまたは解析エラー
62	X'003E'	SDD または NCOMIDDN ファイルが見つかりません

10 進数値	16 進数値	説明
63	X'003F'	SDD または NCOMIDDN ファイル I/O エラー
64	X'0040'	リモートファイル I/O がサポートされていません
65	X'0041'	SDD または NCOMIDDN ファイルがすでに存在します
66	X'0042'	SDD または NCOMIDDN ファイルの制限を超えました
67	X'0043'	SDD または NCOMIDDN のサイズ制限を超えました
68	X'0044'	必要なサービスレベルではありません
72	X'0048'	ユーザー ID が承認されていません
76	X'004C'	指定された UUI タスクが見つかりません
80	X'0050'	動的再構成がアクティブです
84	X'0054'	トランザクションタイムアウトが発生しました
92	X'005C'	サブタスク内で ABEND が発生しました
96	X'0060'	機能プロセスエラー
300	X'012C'	SMC がアクティブではありません
301	X'012D'	UUI 要求ヘッダーエラー
302	X'012E'	Tapeplex がエラーにより非アクティブです
304	X'0130'	UUI がサーバーのリリースでサポートされていません
305	X'0131'	XAPI がリリースでサポートされていません
308	X'0134'	要求タイプが無効です
312	X'0138'	新しいトークン取得中のエラー
316	X'013C'	モジュールロードエラー
320	X'0140'	タスク接続エラー
324	X'0144'	UUI に対してアクティブな TAPEPLEX がありません
328	X'0148'	TAPEPLEX または LVT アドレスがありません
332	X'014C'	TapePlex 名が見つかりません

10 進数値	16 進数値	説明
336	X'0150'	TAPEPLEX が無効になっています
340	X'0154'	TAPEPLEX は MVS/CSC です
344	X'0158'	TAEPLEX アドレスが無効です
348	X'015C'	NCSCOMM PLIST が無効です
352	X'0160'	PLIST が OUTPUT に対して無効です
356	X'0164'	CSV パラメータに整合性がありません
360	X'0168'	TapePlex 名が一致していません
364	X'016C'	LOCALHSC に対するローカル HSC がありません
368	X'0170'	Linklib が承認されていません
372	X'0174'	リモート XML の解析エラー
373	X'0175'	要求されていない XML が返されました
374	X'0176'	XML バッファ処理でのエラー
376	X'0178'	XML 開始タグが見つかりません
380	X'017C'	XML 終了タグが見つかりません
384	X'0180'	SMC COMM からのエラー。
388	X'0184'	ユーティリティーにローカル HSC を使用
392	X'0188'	応答の長さが 0 です
396	X'018C'	応答の長さが大きすぎます
400	X'0190'	要求されたサービスが非アクティブです
404	X'0194'	SMC サービスエラーが非アクティブです
420	X'01A4'	ユーティリティーのリリースが SMC サブシステムと互換性がありません
424	X'01A8'	要求に対して返されたデータがありません
428	X'01AC'	UUI クライアントの早期シャットダウン

SMC ASCOMM の理由コード

次の理由コードは、MVS のアドレス空間の間の通信およびアドレス空間内の通信のための SMC ASCOMM コンポーネントによって設定されます。これらのコードは、UUI 要求にも返される場合があります。

表5.4 SMC ASCOMM の理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
500	X'01F4'	さらに返すデータがあります
504	X'01F8'	すべてのデータが返されました (EOF)
508	X'01FC'	次の読み取りのタイムアウト。次のデータが使用可能になる前に、次の読み取りのタイムアウトが発生しました
512	X'0200'	GETMAIN ストレージがありません
516	X'0204'	データ領域ストレージがありません
520	X'0208'	ASCOMM モジュールのインデックスが無効です
524	X'020C'	QASTOKN 取得エラー
528	X'0210'	応答のタイムアウトが発生しました
532	X'0214'	最終 ACK タイムアウトが発生しました
536	X'0218'	インデックスが作成されたモジュールが見つかりません
540	X'021C'	非同期サービスはすでに進行中です。要求はバイパスされました
544	X'0220'	TAPEPLEX (SMC 以外) ASCOMM タイムアウトが発生しました
548	X'0224'	TAPEPLEX (SMC 以外) ASCOMM エラーが発生しました
552	X'0228'	TAPEPLEX (SMC 以外) ASCOMM 異常終了が発生しました
560	X'0230'	ASCOMM タスクが異常終了しました

SMC 通信コンポーネントの理由コード

次の理由コードは、さまざまな SMC 通信コンポーネントによって設定されます。これらのコードは、UII 要求にも返される場合があります。

次の理由コードは、ローカルまたはリモート通信のための SMC TAPEPLEX 通信によって設定されます。

表5.5 SMC 通信コンポーネントの理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
600	X'0258'	TAPEPLEX のアクティブな COMMPATH がありません
604	X'025C'	TAPEPLEX が無効にされました
608	X'0260'	TAPEPLEX サブシステムが非アクティブです
612	X'0264'	TAPEPLEX サブシステムが有効ではありません
616	X'0268'	TAPEPLEX サブシステムが SSCVT 上にありません
620	X'026C'	TAPEPLEX サブシステムのリリースエラー
624	X'0270'	TAPEPLEX は VLE です

次の理由コードは、SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンによって設定されます。

表5.6 SMC 通信コンポーネントの TCP/IP ルーチンの理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
700	X'02BC'	リモートトランザクションが無効です
708	X'02C4'	TCPIP setsockopt() のエラー
712	X'02C8'	TCPIP socket() のエラー
716	X'02CC'	TCPIP setsockopt() のエラー
720	X'02D0'	空きポートがありません (SMCCTCPP)
724	X'02D4'	TCPIP bind() のエラー
728	X'02D8'	TCPIP connect() のエラー
732	X'02DC'	TCPIP send() のエラー
736	X'02E0'	TCPIP recv() のエラー
740	X'02E4'	TCPIP タイムアウトエラー
744	X'02E8'	TCPIP listen() のエラー
748	X'02EC'	TCPIP getclientid() のエラー
752	X'02F0'	TCPIP accept() のエラー
756	X'02F4'	TCPIP givesocket() のエラー

10 進数値	16 進数値	説明
760	X'02F8'	TCPIP takesocket() のエラー
762	X'02FA'	サーバーのホスト名が無効です
763	X'02FB'	TCP/IP がアクティブではありません
764	X'02FC'	TCPIP getsockname() のエラー
768	X'0300'	TCPIP NTOP/PTON エラー
772	X'0304'	TCPIP selectex() エラー
776	X'0308'	UII シャットダウンのためのソケットがありません
780	X'030C'	SEND selectex() での例外 FDS
784	X'0310'	RECV selectex() での例外 FDS

次の理由コードは、SMC CGI ルーチンまたは HTTP サーバルーチンによって設定されます。

表5.7 SMC CGI ルーチン/HTTP サーバルーチンの理由コード

10 進数値	16 進数値	説明
800	X'0320'	HTTP タスクの制限を超えました
804	X'0324'	CGI モジュールが見つかりません
808	X'0328'	CGI モジュールが異常終了しました
812	X'032C'	CGI モジュールが承認されていません
816	X'0330'	CGI モジュールがサポートされていません
820	X'0334'	CGI モジュールがエラーを返しました
832	X'0340'	CGI 入力機能エラー
836	X'0344'	CGI 出力機能エラー
840	X'0348'	CGI サービス機能エラー
844	X'034C'	Web ブラウザからの要求が承認されていません
848	X'0350'	HTTP サーバーが終了しました
996	X'03E4'	不明な論理エラー

第6章 VTCS コード

この章では、VTCS によって発行される次のコードについて説明します。

- 「VTCS のリターンコードと理由コード」
- 「VTCS 異常終了理由コード」
- 「VTCS メッセージのルートコードと記述子コード」

VTCS のリターンコードと理由コード

次の表では、VTCS のリターンコードと理由コードについて説明します。

表6.1 VTCS のリターンコードと理由コード

同一値	説明
X'029A'	VTCS 内部エラー
X'6A00'	REQMAN 機能呼び出しが無効です
X'6A01'	終了が要求されました
X'6A02'	レコードがロックされ、要求がキューに入れられました
X'6A03'	要求の待機中にタイムアウトしました
X'6A04'	VTD デバイス番号が無効です
X'6A05'	ボリュームがドライブからマウント解除されていません
X'6A06'	余分な RQM ECB が送信されました
X'6A07'	サブプール名が無効です
X'6A08'	使用できる MVC がありません
X'6A09'	VTV の場所を確認できませんでした
X'6A0A'	ボリューム (VOLL) リストが無効です
X'6A0B'	要求マネージャー (RQM) のパラメータが無効です
X'6A0C'	以前の要求が削除されておらず、キューにも入れ直されていません
X'6A0D'	MVC レコードのロックが保持されていません

同一値	説明
X'6A0E'	VTV レコードのロックが保持されていません
X'6A0F'	再キューイングのターゲットが RQM ではありません
X'6A10'	要求 (VREQ) が無効です
X'6A11'	MVC をマウントできませんでした
X'6A12'	VCI 要求をデコードできません
X'6A13'	リコール中にドライブ状態が更新されました
X'6A14'	VTSS サブシステム名が無効です
X'6A15'	要求がオペレータによって中止されました
X'6A16'	VTV が以前のエラーによってフェンシングされました
X'6A17'	MVC ステータスが変更されました
X'6A18'	PGMI 呼び出しからの不正な戻り
X'6A19'	不正な RTD デバイス番号
X'6A1A'	不正なメディアまたはデバイスタイプ
X'6A1B'	VTV はすでに使用されています
X'6A1C'	スクラッチのマウントがバイパスされました
X'6A1E'	VTSS がオフラインです
X'6A1F'	VTSS に VTV がありません
X'6A48'	VLE の MVC で VTV が見つかりません
X'6AFE'	REQMAN 呼び出しで ABEND が発生しました
X'6AFF'	要求は (すでに) 削除されました
X'A0A0'	VSM システムが停止しています
X'A0A1'	MVC カートリッジが見つかりません
X'A0A2'	VTV が見つかりません
X'A0A3'	VTV カートリッジがスクラッチされました
X'A0A4'	VTV カートリッジがスクラッチ解除されました
X'A0A5'	VTV カートリッジがスクラッチステータスにありません
X'A0A6'	VTV カートリッジはすでにスクラッチになっています
X'A0A7'	スクラッチサブプールが見つかりません

同一値	説明
X'A0A8'	VTD ユニットアドレスが見つかりません
X'A0A9'	VTV は使用されています
X'A0AA'	無効な Volser が指定されました
X'A0AB'	VTSS が見つかりませんでした
X'A0AC'	VCI の応答エラー
X'A0AD'	RMM API エラー
X'A0AE'	VTV が RMM 内でスクラッチ以外です

VTCS 異常終了理由コード

次の表では、VTCS 異常終了理由コードについて説明します。

表6.2 VTCS 異常終了理由コード

同一値	説明
0607	PGMIの「call until EOF」オプションの使用が正しくありません
6600	接続の失敗
6601	ESTAE を確立できません
6602	SWSMAIN が不明な TURB タイプを受信しました
6603	0 以外の REQMAN RC
6607	ベクトルフィールド内のベクトルパラメータがエラーです
6608	ベクトルフィールド内のパラメータが未定義です
6609	ベクトルパラメータが SWSVETAB 内にありません
660A	ECAMVECT 機能が無効です
660B	要求されたパラメータが応答内にありません
660C	HSC 登録の失敗
660D	HSC ASCOMM の失敗
660E	最大の監査サブタスクカウントを超えました
6610	タスク数がタスクテーブルエントリを超えています
6612	イベント通知要求が無効です
6613	不正な VTV バージョンが検出されました

同一値	説明
6614	LOGUTIL 処理中に内部エラーが発生しました
6661	ステータスマネージャーの呼び出しが不正です
6A00	REQMAN 機能呼び出しが無効です
6A0B	要求マネージャー (RQM) のパラメータが無効です
6A0D	MVC レコードのロックが保持されていません
6A0E	VTV レコードのロックが保持されていません
6A0F	再キューイングのターゲットが RQM ではありません
6A10	要求 (VREQ) が無効です
6A18	PGMI 呼び出しからの不正な戻り
6A21	不正な機能またはパラメータ
6A23	CDS I/O エラー
6A24	不正なヘッダーレコード
6A3A	結合機構での内部エラー
6A39	結合機構へのアクセス中のエラー

VTCS メッセージのルートコードと記述子コード

次の表に、メッセージ番号のルートコードと記述子コードへの相互参照リストを示します。

あるメッセージに次の表に示されているルートコードが関連付けられていない場合、そのメッセージはコマンドへの応答です。この場合、メッセージは、そのコマンドが発行されたコンソールにのみルーティングされます。

表6.3 VTCS メッセージのルートコードと記述子コード

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
02I		
03I		
04I		
05I	2,3,5	4
06I		

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
07I		
08E	2,3,5	3
09I	3	4
10E		
11I	2,3,5	4
12E		
13E	2,3,5	3
14I	3,5	4
15I	2,3,5	4
16I	2,3,5	4
17E	2,3,5	3
18E	2,3,5	
19E	2,3,5	
20E	2,3,5	
21E	2,3,5	
22I		
23I		
24I		
25E	2,3,5	3
26E	2,3,5	3
27E	2,3,5	3
28E	2,3,5	3
29E	2,3,5	3
30I	3,5	4
31I	3,5	4
32I	2,3,5	4
33I	2,3,5	4
34I	3,5	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
35I	3,5	4
36I	3,5	4
37I	3,5	4
38I	3,5	4
39I	2,3,5	4
40I	3,5	4
41I	3,5	4
42I	3,5	4
43I	3,5	4
44I	3,5	4
45I	3,5	4
46I	3,5	4
47I	3,5	4
48I	3,5	4
49I	3,5	4
50I	3,5	4
SLS6651E	2,3,5	11
SLS6652I	2,3,5	4
SLS6653I	3,5	4
SLS6654I	3,5	4
SLS6655I	3,5	4
SLS6656I		
SLS6657E	2,3,5	3
SLS6658E	2,3,5	3
SLS6659I	2,3,5	11
SLS6660I	2,3,5	4
SLS6661E	2,3,5	11
SLS6662E	2,3,5	11

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS6663I	7	11
SLS6665I	3,5	4
SLS6666E	2,3,5	11
SLS6667I	3,5	4
SLS6668I	3,5	4
SLS6669E	2,3,5	11
SLS6670E	2,3,5	3
SLS6671E	2,3,5	3
SLS6672I		
SLS6673I	3,5	4
SLS6674I		
SLS6675E	2,3,5	3
SLS6676E	2,3,5	11
SLS6677I		
SLS6678E	2,3,5	11
SLS6679E	2,3,5	11
SLS6680E	2,3,5	11
SLS6681I	3,5	4
SLS6682I		
SLS6683I	3,5	4
SLS6684I	3,5	4
SLS6685I	3,5	4
SLS6686I	3,5	4
SLS6687I	3,5	4
SLS6688E	3,5	3
SLS6689E	3,5	3
SLS6690E	3,5	3
SLS6691I	3,5	4

メッセージ ID	ルートコード	記述子コード
SLS6692E	2,3,5	3
SLS6693I	3,5	4
SLS6694E	2,3,5	3
SLS6695E	2,3,5	11
SLS6696I	3,5	4
SLS6697I	3,5	4
SLS6698I	2,3,5	4
SLS6699E	2,3,5	11
SLS6700E	2,3,5	11
SLS6701I	2,3,5	4
SLS6702E	2,3,5	3
SLS6703I	3,5	4
SLS6704E	2,3,5	3
SLS6727I	11	7
SLS6740E	2,3,5	4
SLS6741I	2,3,5	11
SLS6742I	2,3,5	4
SLS6743E	2,3,5	11
SLS6744I	2,3,5	3
SLS6745I	2,3,5	4
SLS6746E	2,3,5	11
SLS6747E	2,3,5	3

第7章 ECAM と VLE UII のリターンコード

SLS メッセージ (SLS6684I、SLS5079E、SLS5080E、および SLS6751I を含む) には、ECAM の完了コード (CC) とリターンコード (RC) が含まれます。次の表では、これらのコードについて説明します。

ECAM メッセージの完了コードとリターンコード

SLS メッセージ (SLS6684I、SLS5079E、SLS5080E、および SLS6751I を含む) には、ECAM の完了コード (CC) とリターンコード (RC) が含まれます。次の表では、これらのコードについて説明します。

表7.1 ECAM 完了コード、リターンコード、および説明

完了コード	リターンコード	説明
00	00	正常に完了しました
00	02	非同期プロセスに対する要求が受け入れられました
00	100	成功、インベントリの終わり
00	101	成功、要求を処理中です
00	103	成功、データ損失で完了しました。MVC からの不正なリコールである可能性があります
02	01	キーパラメータに対する一致が見つかりません
03	00	パラメータフィールド内の値が無効です
03	03	ベクトルフィールドがエラー状態にあります
03	08	チェックサムが無効です
03	09	ベクトルフィールド内の値が重複しています
04	02	必要なパラメータ数が正しくありません
04	03	変更値が指定されていません
04	04	キーパラメータ数が正しくありません

完了コード	リターンコード	説明
05	106	IUP フェンシングのために RTD にアクセスできません
05	107	RTD 要求が取り消されました
05	108	ユーザーの対応については、「 CC5 RC108 」を参照してください。
05	109	ユーザーの対応については、「 CC5 RC109 」を参照してください。
05	111	ユーザーの対応については、「 CC5 RC111 」を参照してください。
05	112	ユーザーの対応については、「 CC5 RC112 」を参照してください。
05	113	ユーザーの対応については、「 CC5 RC113 」を参照してください。
05	114	ユーザーの対応については、「 CC5 RC114 」を参照してください。
05	115	ユーザーの対応については、「 CC5 RC115 」を参照してください。
05	116	ユーザーの対応については、「 CC5 RC116 」を参照してください。
05	117	ユーザーの対応については、「 CC5 RC117 」を参照してください。
05	118	ユーザーの対応については、「 CC5 RC118 」を参照してください。
05	158	実際のブロック ID が予期されたブロック ID に一致しません
05	167	ユーザーの対応については、「 CC5 RC167 」を参照してください。
07	00	このパラメータは別のパラメータと競合します
08	19 または 119	VTV インベントリがいっぱいです
08	120	バックエンド容量が不足しています

完了コード	リターンコード	説明
09	30	キャッシュの再初期化によって操作が中断され、そのために失敗しました
09	121	VTV がビジー状態です
09	122	VTV が存在します - VTV は CDS ではなく、バッファ内にあります。修正するには VTSS 監査を実行します
09	123	VTV が存在しません
09	124	VTD がビジー状態です
09	125	VTV インベントリが使用できません
09	126	VTV が破損しています
09	127	ユーザーの対応については、「 CC9 RC127 」を参照してください。
09	128	ユーザーの対応については、「 CC9 RC128 」を参照してください。
09	129	ユーザーの対応については、「 CC9 RC129 」を参照してください。
09	131	RTD に対する要求が存在しません。VTSS のウォームブート後に VTCS がクリーンアップを実行しています。情報のみです。
09	132	ユーザーの対応については、「 CC9 RC132 」を参照してください。
09	133	ユーザーの対応については、「 CC9 RC133 」を参照してください。
09	135	ユーザーの対応については、「 CC9 RC135 」を参照してください。
09	139	VTV は VTSS によって回復されています
09	140	VTCS での使用のために予約されています。VTSS によって生成されたものではありません
09	141	NLK ポートが RTD に接続されていません (別の VTSS に接続、またはまったく接続されていない?)

完了コード	リターンコード	説明
09	142	NLK ポートが別の VTSS に接続されていません (RTD に接続、またはまったく接続されていない?)
09	143	指定されたサブシステム名がセカンダリ VTSS の実際の名前に一致しません。
09	144	ユーザーの対応については、「 CC9 RC144 」を参照してください。
09	145	ECART がサポートされていません
09	146	VDID への論理パスが確立されていません
09	147	62K ページの VTV のサポートはありません
09	148	2GB または 4GB 仮想カートリッジタイプのサポートはありません
09	149	要求が ESCON インタフェース上でサポートされていません
09	150	同期レプリケーションがタイムアウトのために失敗しました
09	151	CLINK VDID はすでに別の CLINK によって使用されています
09	152	CLINK VDID がすでに割り当てられている VDID に一致しません
09	153	MVC の位置が失われました
09	154	スタック型移行キューがいっぱいです
09	155	移行、VTVID が重複しています
09	157	ICE カードは RTD パス 0 および 1 のみをサポートしています
09	159	RTD は ALP をサポートしていません
09	160	T10KC ドライブは要求をサポートしていません
09	161	RTD が ALP です
09	162	TTFB VTD はすでにマウントされています
09	163	T10KB ドライブタイプのパラメータが無効です

完了コード	リターンコード	説明
09	164	T10KC ドライブタイプのパラメータが無効です
09	165	RTD 名が VSM6 で定義されていません
09	166	VTD はアクティブです
09	00	前提条件の値がサブシステム内の値と等しくありません
97	137	VTV にエラーがあります。警告: データチェックを含む MVC からの不正なリコールである可能性があります
98	01	メッセージが終了していません
98	02	自己定義情報が無効です
98	03	このメッセージに対する予期しないパラメータ
98	04	メッセージヘッダー内のメッセージタイプが無効です
98	05	REquest メッセージヘッダー内の予約フィールドが 0 以外です
98	06	メッセージ内のパラメータが重複しています
98	156	VDID パラメータが必要です
99	03	要求を処理できません - サポート機能が機能していません
254	N/A	<p>VTCS から VTSS への通信に失敗しました。VTCS が ECAM-T メッセージの送信先として使用できる VTD がありません。</p> <p>アクション: VTSS がホストに対してオンラインであり、サブシステム名が正常であることを確認して HSC をバウンスします。</p>
255	N/A	<p>VTCS から VTSS への通信に失敗しました。考えられる原因: (1) VTSS 名が変更された (2) VTSS がハードウェアダウン (3) VTSS に DAC がある。</p> <p>アクション: すべてが正常であることを確認して HSC をバウンスします。</p>

完了コード	リターンコード	説明
255	12	メッセージ SLS6698I で報告された VTD への EXCP がインタフェース制御チェック以外のエラーで失敗しました。
255	16	メッセージ SLS6698I で報告された VTD への EXCP がインタフェース制御チェックで失敗しました。
255	20	デバイスへのパスが存在しないため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。
255	24	UCBLOCK マクロが 0 以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。
255	28	IOSCAPU マクロが 0 以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。

CC5 RC108

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=108

説明: 有効なサブシステムコマンドではないコマンド (CCCCCCCC) を入力しようとしてしました。

システムアクション: VTCS ソフトウェアは返された ERPA コードを解釈して、適切なシステムアクションを決定します。次のメッセージがメッセージ SLS6684I のあとに表示されます。

SLS6625E RTD DDDDDD REPORTED RRRRRRRR:XXXXXXXXXX

ここで、RRRRRRRR は問題のメッセージテキストです。例:

- WRITE DATA CHECK
- PATH EQU CHK
- DRIVE EQU CHK

また、XXXXXXXXXX は 3 バイト目に ERPA コードを含むセンスバイトです。VTCS は、3 バイト目から、実行すべき適切なアクションを決定します。例:

- MVC の別の RTD へのスワップを開始する
- RTD を保守モードにする。

スワップが開始された場合は、スワップが発行されたことを示すとともに、スワップされる MVC を識別する次のメッセージがメッセージ SLS6625E のあとに表示されます。

SLS6605I INITIATING SWAP OF MVC VVVVVV FROM RTD DDDDDD

ユーザーの対応:

- スワップが成功した場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡しないでください。
- スワップが失敗し、次のメッセージが表示された場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してメッセージ SLS6625E の内容を伝えてください。

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6629E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO DISMOUNT MVC VVVVVV

SLS6662E RTD DDDDDD PUT IN MAINTENANCE MODE BECAUSE OF ERROR

- スワップが開始されず、メッセージ SLS6625E の直後に次のメッセージが表示された場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して SLS6625E メッセージの内容を送信してください。

SLS6628E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO MOUNT MVC VVVVVV

SLS6629E RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX FAILED TO DISMOUNT MVC VVVVVV

SLS6662E RTD DDDDDD PUT IN MAINTENANCE MODE BECAUSE OF ERROR

さらに、サイトのサポートサービスに次の手順を実行してもらってください。

1. MVC レポートを実行して MVC のステータスをチェックします。
2. このステータスに B (破損) と D (データチェック) のどちらか、または両方が示されている場合は、MVC を取り出しにより排出します。

3. MVC からすべての VTV が排出されたら、テープ分析ユーティリティーでカートリッジを検査して、カートリッジに問題があるかどうかを判定します。
4. そのカートリッジを MVC としてサービスに返すことになっている場合は、取り出しなしで 2 番目の MVCDRAIN を発行します。

排出プロセスが MVC からのすべての VTV の排出に失敗し、これらの VTV の二重化コピーが存在しない場合は、そのカートリッジを回復のために StorageTek ハードウェアサポートに送信してください。

CC5 RC109

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=109

説明: VTSS と RTD の間に通信エラーが存在します。この状態の原因として、RTD に MVC がマウントされていて、その RTD がドライブまたはケーブルの問題のために準備完了状態から外れていることが考えられます。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: MVC に照会して、診断のためにそれを SYSLOG に表示してから、次のコマンドを使用して RTD をオフラインに変更します。

.VT Q MVC(volser)

MVC のステータスを判定します

.VT Q RTD(rtd-id)

RTD に MVC がマウントされているかどうかを確認します

前の表示で RTD に MVC がマウントされていないことが示されている場合は、次のコマンドを発行して RTD をオフラインに変更します。

.VT V RTD (rtd-id) OFFline

RTD に MVC がマウントされている場合は、まず RTD をオンラインに変更してからオフラインに変更して、RTD から MVC をアンロードします。次のコマンドを発行します。

.VT V RTD (rtd-id) ONline

.VT V RTD (rtd-id) OFFline

StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、RTD アドレスと MVC を示してください。

CC5 RC111

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=111

説明: RTD がドライブの問題を報告しているか、または現在そこにマウントされている MVC に問題があります。

システムアクション: マウント要求は失敗します。

ユーザーの対応: 次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを使用して RTD に照会し、MVC volser をメモします。

.VT Q RTD (rtd-id)

2. RTD を表示したあと、HSC View コマンドを使用して、外部ラベルが MVC の予期された volser に一致していることを確認します。

(HSC 接頭辞) VIEW DR ADDRESS(rtd-id)

外部ラベルが MVC volser に一致している場合は、RTD の配線の問題が存在する可能性があります。

3. 内部ラベルをチェックして、それが MVC volser に一致していることを確認します。

一致していない場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、RTD アドレスと Query コマンドにある MVC volser を示してください。

外部ラベルが一致していない場合は、カートリッジを取り出して分析します。

CC5 RC112

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=112

説明: RTD が 15 分の内部 VTCS タイマー時間内に MVC をマウントしなかったため、カートリッジ要求のタイムアウトが発生しています。このタイムアウトは、次のいずれかの状態か、またはその他の何らかのタイムアウトの原因を示している可能性があります。

- MVC が別の RTD で使用されている。
- コンソールに未処理のメッセージがある。

- パスの LSM がオフラインであるために PTP がブロックされている。
- LSM 内に問題の原因であるドライブまたは不良ケーブルが存在する可能性がある。
- LSM ドアが開いている。
- HSC COMMPATH が LMU または VTAM ではなく、CDS である。
- 要求が再処理されている。

ユーザーの対応: マウントが実行され、ほかに報告されたエラーがない場合は通常、タイムアウトに関してサービス呼び出しは必要ありません。サイトのサポートサービスに、SYSLOG を確認して LMU エラーやマウント失敗などの考えられる問題の状態を調査してもらうことにより、StorageTek ハードウェアサポートに連絡すべきかどうかを判断してください。

CC5 RC113

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=113

説明: マウントされている実テープカートリッジがありませんでした。このコマンドが最初に RTD に送信されたときに RTD はオンラインで準備完了状態でしたが、マウントが実行される前に、RTD ドライブが準備完了状態から外れました。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: MVC カートリッジを取り出し、マウントされない原因になる可能性のある見目の欠陥がないかどうか検査します。物理カートリッジに問題を見つけた場合は、さらに診断を行うためにサイトのサポートサービスに検査してもらうか、または StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CC5 RC114

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=114

説明: 実テープカートリッジが MVC ではありません。これは MVC が何らかの原因で、別のジョブによって誤って再初期化されたことを示している可能性があります。このマウントが移行要求から発生した場合は、新しいボリュームが選択され、要求が再試行されます。このマウントがリコール要求から発生し、かつ MVC が以前に使用されていて有効であるとわかっている場合は、VTV の別のコピーから要求が再試行されます。ECAM CC5 RC114 は、すべての再試行が失敗した場合にのみ発行されます。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスに連絡して、次の点を調査します。

- MVC が以前に使用されていない場合は、それが正しく初期化されたかどうかを確認します。
- 重複した MVC の範囲が存在しないことを確認します。
- テープカートリッジに対して何らかのテープ初期化ジョブが実行されたかどうかをチェックします。

この調査で MVC に関するこれらのどの問題も明らかにならなかった場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CC5 RC115

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=115

説明: リコール要求中に、テープの終わりの状態が検出されました。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスに連絡して、MVC を監査します。この監査によって、CDS が有効なテープの終わりの状態に更新されます。次に、要求を再試行します。次のいずれかを行います。

- 要求が再度失敗した場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。
- 監査に失敗した場合は、MVC を取り出しにより排出します。

CC5 RC116

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=116

説明: MVC の位置が無効です。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: 次のコマンドを発行して、MVC に無効な MIR が含まれているかどうかを判定します。

`.VT Q MVC (volser)`

MIR が無効な場合は、MVC を取り出しにより排出するようにしてください。MVC からすべての VTV が正常に排出された場合は、MVCMAINT を実行して、MVC および顧客のテープ分析ユーティリティー (FATAR など) によって分析されたカートリッジに対して INVLDMIR OFF を設定します。そのカートリッジを MVC として

サービスに返すことになっている場合は、取り出しなしで 2 番目の MVCDRAIN を発行します。

MVC からすべての VTV を排出できず、かつこれらの VTV の二重化コピーが存在しない場合は、そのカートリッジを回復のために StorageTek ハードウェアサポートに送付してください

CC5 RC117

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=117

説明: 実テープカートリッジが読み取り専用です。

システムアクション: システムは、MVC が移行要求のためにマウントされたが、カートリッジが読み取り専用状態にあったことを示すメッセージ SLS6687I を発行します。新しいボリュームが選択され、移行要求が再試行されます。

ユーザーの対応: カートリッジを取り出し、外部の書き込み保護メカニズムを検査します。書き込み保護メカニズムが書き込み保護に設定されている場合は、書き込み保護モードでなくなるように設定し、カートリッジをライブラリに再挿入します。書き込み保護メカニズムが正しく設定されていて、読み取り専用の問題の原因ではない場合は、サイトのサポートサービスに連絡して次を実行します。

- 顧客のセキュリティーソフトウェアがカートリッジを保護しており、HSC によって開始されたタスクが MVC に書き込むための適切な承認が定義されていないかどうかを判定します。
- MVC に照会して、読み取り専用のステータスをチェックします。

.VT Q MVC (volser)

- ステータスが読み取り専用を示している場合は、MVCMAINT を使用して READONLY をオフにします。この問題はまた、このユーティリティーによって CDS にインポートされた MVC の結果としても発生する可能性があります。これらの MVC は、MVCMAINT を使用してこのステータスをオフにするまで読み取り専用になります。

この ECAM メッセージについてサービス呼び出しを行わないでください。

CC5 RC118

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=118

説明: データチェックで、MVC 上の VTV の内部ラベルを読み取っています。

システムアクション: VTV の二重化コピーが存在する場合、VTCS は 2 番目のコピーから VTV を回復します。それ以外の場合、要求は失敗します。

ユーザーの対応: これは、メディアの問題である可能性があります。MVC に照会して、MVC がデータチェックを検出したかどうかを判定します。

.VT Q MVC(volser)

サイトのサポートサービスに連絡してください。MVC がデータチェックを検出した場合は、MVC を取り出しにより排出します。MVC からすべての VTV が正常に排出されたら、テープ分析ユーティリティー (FATAR など) を使用してカートリッジを検査および分析して、カートリッジに問題があるかどうかを判定します。次に、そのカートリッジを MVC としてサービスに返すことになっている場合は、取り出しなしで 2 番目の MVC DRAIN を発行します。排出プロセスが MVC からのすべての VTV の排出に失敗し、かつこれらの VTV の二重化コピーが存在しない場合は、そのカートリッジを回復のために StorageTek ハードウェアサポートに送付してください。

サイトのサポートサービスで、CC5 RC118 がメディアの問題のために発生したわけではないことが確認された場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CC5 RC167

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=5 RC=117

説明: 転送されたブロック (バイト数) がメディアサイズに一致しません。

CC9 RC127

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=127

説明: RTD はビジー状態です。つまり、別の要求を処理中です。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: VTCS ロックに照会して、現在停止しているホストによってロックが保持されているかどうかを判定します。

.VT Q LOCKS

ロックを保持しているホストが現在停止していることを確認した場合は、サイトのサポートサービスに連絡してください。これによって、HSC Recover コマンドが発行されます。

(HSC 接頭辞) RECOVER host-id

保持されているロックが問題ではない場合や、HSC Recover コマンドによって問題が解決されない場合は、StorageTek ソフトウェアサポートに連絡してください。

CC9 RC128

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=128

説明: VTCS が、オフラインであるか、または VTSS に対して動作不可能な RTD にマウントしようとしています。これは、VTSS が内部的に RTD を自身に対してオフラインにしたが、VTCS がそれを認識できなかったという、RTD に関連して VTSS と VTCS の間で同期がとれていない状態を示しています。

システムアクション: 要求は失敗します。

ユーザーの対応: 次のコマンドを使用して RTD をオフラインに変更します。

.VT VRTD (rtd-id) OFFline

そのあと、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CC9 RC129

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=129

説明: RTD が構成解除されています。これは通常 VTSS 実装で発生し、VTSS ハードウェア構成と VTCS ソフトウェア構成の間か、または HSC LIBGEN と VTCS CONFIG の間に構成の不一致が存在することを示します。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスに連絡して、LIBGEN 内の RTD に対して最近変更が行われたかどうかを判定し、VTCS CONFIG が Reset とともに実行されたことを確認します。すべてのソフトウェア構成が正しいと確認された場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。ハードウェアサポートは、ハードウェア診断を実行する前に、VTSS 操作パネルが顧客の VTCS 構成に一致していることを確認します。

CC9 RC132

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=132

説明: インタフェースが、すでに別の RTD に割り当てられています。これは、VTSS ハードウェア構成と VTCS ソフトウェア構成の間でハードウェア構成の不一致を示しているか、または RTD の配線の問題である可能性があります。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスに連絡します。RTD に対して最近変更が行われた場合は、VTCS CONFIG が RESET とともに実行されたことを確認します。VTCS 構成の正確性を確認します。それが正しいと思える場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。ハードウェアサポートは、ハードウェア診断を実行する前に、VTSS 操作パネルが VTCS 構成に一致していることを確認します。

CC9 RC133

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=133

説明: インタフェースが制御ユニットモードで構成されているため、VTCS が要求を処理できません。このエラーは、VTSS のインストール時に検出されます。これは、VTCS がインタフェースを Nearlink インタフェースと認識しているにもかかわらず、VTSS はそれをホストインタフェースと認識していることを示します。このエラーメッセージが不良な ICE カードを示すわけではありませんが、その ICE カードは、この問題が CSE によって解決されるまで使用できません。その修正は中断を伴います。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: StorageTek ハードウェアサポートに連絡してください。

CC9 RC135

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=135

説明: RTD がオンラインです。操作パネルから構成を変更できません。この状態は、Oracle CSE が RTD 定義を削除しようとしているときの VSM の再構成中にのみ発生します。VTSS から RTD を削除するには、次のアクションを実行します。

- VTCS CONFIG を RESET とともに発行します。
- VTCS を停止し、再起動 (バウンス) して、内部 VTSS テーブルから RTD を解放します。
- VTCS を再度停止して、VTSS から RTD を削除できるようにします。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスが、これを計画されたアクティビティとして開始している可能性があります。その場合は、Oracle CSE がすでにサイトにいるため、サービス呼び出しは必要ありません。

CC9 RC144

RTD DDDDDD ON VTSS XXXXXXXX RETURNED ECAM ERROR CC=9 RC=144

説明: このメッセージは、VSM4 にのみ関連しています。チャンネルプロセッサが、この CIP が制御しているほかのポート上の RTD でビジー状態でした。(CIP 上のペアの RTD は、VTCS ソフトウェアによって制御されます。)この ECAM メッセージは、Reset なしで実行された VTCS 構成か、または VTCS ソフトウェアの問題が発生している可能性を示します。

システムアクション: なし。

ユーザーの対応: サイトのサポートサービスに連絡して、このメッセージを発行しているホスト上に PTF L1H11I6 があることを確認します。ある場合は、VTCS 構成の正確性を確認します。その構成が正確である場合は、StorageTek ハードウェアサポートに連絡して、VTSS 操作パネルが VTCS 構成に一致していることを確認します。ハードウェア構成が正しい場合は、さらに診断を行うために、CSE はこの問題を StorageTek ソフトウェアサポートに割り当てます。

次の表では、ECAM の完了コードとリターンコードについて説明します。

表7.2 ECAM 完了コード、リターンコード、および説明

リターンコード	理由コード	説明
00	00	正常に完了しました
00	02	非同期プロセスに対する要求が受け入れられました
00	100	成功、インベントリの終わり
00	101	成功、要求を処理中です
00	103	成功、データ損失で完了しました。MVC からの不正なリコールである可能性があります
02	01	キーパラメータに対する一致が見つかりません
03	00	パラメータフィールド内の値が無効です
03	03	ベクトルフィールドがエラー状態にあります
03	08	チェックサムが無効です
03	09	ベクトルフィールド内の値が重複しています
04	02	必要なパラメータ数が正しくありません

リターンコード	理由コード	説明
04	03	変更値が指定されていません
04	04	キーパラメータ数が正しくありません
05	106	IUP フェンシングのために RTD にアクセスできません
05	107	RTD 要求が取り消されました
05	108	ユーザーの対応については、「 CC5 RC108 」を参照してください。
05	109	ユーザーの対応については、「 CC5 RC109 」を参照してください。
05	111	ユーザーの対応については、「 CC5 RC111 」を参照してください。
05	112	ユーザーの対応については、「 CC5 RC112 」を参照してください。
05	113	ユーザーの対応については、「 CC5 RC113 」を参照してください。
05	114	ユーザーの対応については、「 CC5 RC114 」を参照してください。
05	115	ユーザーの対応については、「 CC5 RC115 」を参照してください。
05	116	ユーザーの対応については、「 CC5 RC116 」を参照してください。
05	117	ユーザーの対応については、「 CC5 RC117 」を参照してください。
05	118	ユーザーの対応については、「 CC5 RC118 」を参照してください。
05	158	実際のブロック ID が予期されたブロック ID に一致しません
07	00	このパラメータは別のパラメータと競合します
08	19 または 119	VTV インベントリがいっぱいです
08	120	バックエンド容量が不足しています

リターンコード	理由コード	説明
09	30	キャッシュの再初期化によって操作が中断され、そのために失敗しました
09	121	VTV がビジー状態です
09	122	VTV が存在します - VTV は CDS ではなく、バッファ内にあります。修正するには VTSS 監査を実行します
09	123	VTV が存在しません
09	124	VTD がビジー状態です
09	125	VTV インベントリが使用できません
09	126	VTV が破損しています
09	127	ユーザーの対応については、「 CC9 RC127 」を参照してください。
09	128	ユーザーの対応については、「 CC9 RC128 」を参照してください。
09	129	ユーザーの対応については、「 CC9 RC129 」を参照してください。
09	131	RTD に対する要求が存在しません。VTSS のウォームブート後に VTCS がクリーンアップを実行しています。情報のみです。
09	132	ユーザーの対応については、「 CC9 RC132 」を参照してください。
09	133	ユーザーの対応については、「 CC9 RC133 」を参照してください。
09	135	ユーザーの対応については、「 CC9 RC135 」を参照してください。
09	139	VTV は VTSS によって回復されています
09	140	VTCS での使用のために予約されています。VTSS によって生成されたものではありません
09	141	NLK ポートが RTD に接続されていません (別の VTSS に接続、またはまったく接続されていない?)

リターンコード	理由コード	説明
09	142	NLK ポートが別の VTSS に接続されていません (RTD に接続、またはまったく接続されていない?)
09	143	指定されたサブシステム名がセカンダリ VTSS の実際の名前に一致しません。
09	144	ユーザーの対応については、「 CC9 RC144 」を参照してください。
09	145	ECART がサポートされていません
09	146	VDID への論理パスが確立されていません
09	147	62K ページの VTV のサポートはありません
09	148	2GB または 4GB 仮想カートリッジタイプのサポートはありません
09	149	要求が ESCON インタフェース上でサポートされていません
09	150	同期レプリケーションがタイムアウトのために失敗しました
09	151	CLINK VDID はすでに別の CLINK によって使用されています
09	152	CLINK VDID がすでに割り当てられている VDID に一致しません
09	153	MVC の位置が失われました
09	154	スタック型移行キューがいっぱいです
09	155	移行、VTVID が重複しています
09	157	ICE カードは RTD パス 0 および 1 のみをサポートしています
09	159	RTD は ALP をサポートしていません
09	160	T10KC ドライブは要求をサポートしていません
09	161	RTD が ALP です
09	162	TTFB VTD はすでにマウントされています
09	163	T10KB ドライブタイプのパラメータが無効です

リターンコード	理由コード	説明
09	164	T10KC ドライブタイプのパラメータが無効です
09	165	RTD 名が VSM6 で定義されていません
09	166	VTD はアクティブです
09	00	前提条件の値がサブシステム内の値と等しくありません
97	137	VTV にエラーがあります。警告: データチェックを含む MVC からの不正なリコールである可能性があります
98	01	メッセージが終了していません
98	02	自己定義情報が無効です
98	03	このメッセージに対する予期しないパラメータ
98	04	メッセージヘッダー内のメッセージタイプが無効です
98	05	REquest メッセージヘッダー内の予約フィールドが 0 以外です
98	06	メッセージ内のパラメータが重複しています
98	156	VDID パラメータが必要です
99	03	要求を処理できません - サポート機能が機能していません
254	N/A	<p>VTCS から VTSS への通信に失敗しました。VTCS が ECAM-T メッセージの送信先として使用できる VTD がありません。</p> <p>アクション: VTSS がホストに対してオンラインであり、サブシステム名が正常であることを確認して HSC をバウンズします。</p>
255	N/A	<p>VTCS から VTSS への通信に失敗しました。考えられる原因: (1) VTSS 名が変更された (2) VTSS がハードウェアダウン (3) VTSS に DAC がある。</p> <p>アクション: すべてが正常であることを確認して HSC をバウンズします。</p>

リターンコード	理由コード	説明
255	12	メッセージ SLS6698I で報告された VTD への EXCP がインタフェース制御チェック以外のエラーで失敗しました。
255	16	メッセージ SLS6698I で報告された VTD への EXCP がインタフェース制御チェックで失敗しました。
255	20	デバイスへのパスが存在しないため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。
255	24	UCBLOCK マクロが 0 以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。
255	28	IOSCAPU マクロが 0 以外のリターンコードを返したため、VTCS はメッセージ SLS6698I で報告された VTD に EXCP を発行できませんでした。

VLE UUI リターンコード

次の表では、UUI コマンドへの応答として特に VLE によって生成される可能性のあるリターンコードについて説明します。

表7.3 VLE UUI リターンコード

リターンコード	理由コード	説明
5	108	VTSS または VLE のどちらかによって一般的なエラー条件が報告されます。これは ECAM 応答に一致しています。
5	109	通信障害が発生しています。これは ECAM 応答に一致しています。
5	111	デバイスに別の VMVC がマウントされています。これは ECAM 応答に一致しています。
5	113	DEVICEID 接続上にマウントされている VMVC が存在しません。これは ECAM 応答に一致しています。

リターンコード	理由コード	説明
5	115	VMVC ファイルシステムがほぼいっぱいです。これは ECAM 応答に一致しています。
5	116	要求された VTV コピーが VMVC 上に存在しません。これは ECAM 応答に一致しています。
8	119	VTSS インベントリがいっぱいです。これは ECAM 応答に一致しています。
8	120	VTSS には VTV を格納するための容量が不足しています。これは ECAM 応答に一致しています。
9	121	VTSS がターゲット VTV をビジー状態として報告しています。これは ECAM 応答に一致しています。
9	122	VTSS がターゲット VTV をすでに存在しているとして報告しています。これは ECAM 応答に一致しています。
9	123	VTSS がターゲット VTV を存在しないか、または見つからないとして報告しています。これは ECAM 応答に一致しています。
9	126	VTSS がターゲット VTV を破損しているとして報告しています。これは ECAM 応答に一致しています。
9	128	VTSS が VLE に、操作に必要なデバイスがオフラインであるか、または動作不可能であることを報告しました。
9	132	RTDNO= パラメータと、VTSS から VLE への接続を開始したデバイスの間で不一致が検出されました。
9	139	VTSS がターゲット VTV を回復中として報告しています。これは ECAM 応答に一致しています。
10	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
11	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
11	3	VMVC が別のデバイスにマウントされています。
12	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。

リターンコード	理由コード	説明
12	6	現在マウントされている VMVC volser が VOLUME パラメータに一致しません。
13	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
13	9	指定された Timestmp パラメータが、移行のために要求されている VTV コピーに一致しません。
13	10	VTV のコピーを COPYFROM= のどの場所からも取得できません。
14	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
15	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
15	7	PREVVTV パラメータで識別された VTV を見つけることができませんでした。
16	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
16	8	ディスクプールが VLE に認識されていないにもかかわらず、DISKPOOL パラメータが指定されています。
17	xxx	コマンドに関連付けられた一般的なエラー。
17	7	削除される VTV コピーが VMVC 上に存在しません。
17	9	指定された Timestmp パラメータが、削除のために要求されている VTV コピーに一致しません。
30	1	DEVICEID 接続の値が不明です。
30	2	このデバイスは、VMVC に関連付けられたほかの何らかの種類の操作をすでに実行しています。
30	4	VMVC volser が VLE に認識されていません。
30	5	VMVC が DEVICEID 接続とは異なるサーバーに接続しています。
xx	93	VLE コンプレックス内のノード間の通信を実行しているときに通信タイムアウトが発生しました。

リターンコード	理由コード	説明
XX	94	API プロトコル違反です。つまり、最後の MOUNT_VMVC コマンドのバージョンと互換性のないバージョンのコマンドを発行しようとした。
XX	95	COPYFROM パラメータで指定されたソース VLE 名がソース VLE の構成内で不明です。
XX	96	COPTFROM パラメータで指定されたソース VLE がコマンドを実行するための接続を拒否したか、またはそのソース VLE に接続できませんでした。
XXX	97	この操作をサポートするために必要なコンプレックス内の VLE ノードがオフラインです。
XXX	98	パラメータまたはコマンドに関する一般的な問題。
XXX	99	コマンド実行中の一般的な不特定のエラー。